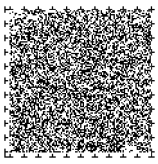
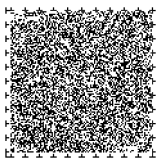
令和７年度実施
西東京市の障害者福祉に関する調査報告書

令 和 8 年 3 月

西 東 京 市





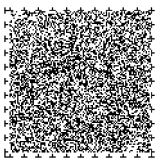
目　次

Ⅰ　調査の概要……1
　1　調査の目的……2
　2　調査対象及び方法、回収状況……2
　3　調査内容……3
　4　報告書の見方……7

Ⅱ　調査結果　～障害者調査～……9
　1　あなた自身のことについて……10
　2　障害について……28
　3　日常生活について……56
　4　就労について……102
　5　相談支援や情報入手について……116
　6　福祉サービスについて……140
　7　地域生活支援事業について……200
　8　西東京市について……208

Ⅲ　調査結果　～障害児調査～……247
　1　お子さんのことについて……248
　2　障害について……272
　3　日常生活について……302
　4　幼稚園や保育所、学校での生活について……342
　5　相談支援や情報入手について……366
　6　福祉サービスについて……382
　7　地域生活支援事業について……428
　8　子どもの意見の尊重について……436
　9　西東京市について……440

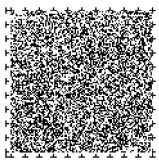
Ⅳ　調査結果　～特別支援教育利用者調査～……477
　1　お子さんのことについて……478
　2　学校生活について……482
　3　相談支援や情報入手について……486
　4　子どもの意見の尊重について……493
　5　西東京市について……494



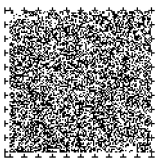
Ⅴ　調査結果　～施設入所者調査～ 501
　1　事業所の概要について 502
　2　施設入所ニーズの変化について 507
　3　施設入所者の地域移行について 518
　4　事業所での取り組みについて 529

Ⅵ　ヒアリング 541
　1　目的 542
　2　実施場所 542
　3　実施日程 542
　4　実施団体・事業所 542
　5　意見のまとめ 544

Ⅶ　資料編 553
　1　障害者調査票 554
　2　障害児調査票 626
　3　特別支援教育利用者調査票 640
　4　施設入所者調査票 647



Ⅰ　調査概要



Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

令和９～11 年度を計画期間とする第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画の策定に向けて、市内に在住する障害者及び障害児などの生活状況、福祉サービスの利用状況及び今後の意向を把握し、次期計画に必要となる障害福祉・障害児福祉施策の現状把握のための基礎資料を作成することを目的として実施しました。

2　調査対象及び方法、回収状況

①　市民向け調査

対象地域：西東京市在住の市民
抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出
調査期間：令和７年 10 月 17 日～令和７年 11 月７日
調査方法：郵送配布、郵送回収または専用のホームページからＷｅｂ回答
※発達障害者の方には関係機関に来所した際、調査協力に賛同した方のみに配布し、郵送回収。
※特別支援教育利用者調査は各学校から調査票を配布し、郵送回収。

対象種別による対象者、発送数及び回収率等は以下の表の通り。

番号	対象種別	対象者	発送数	回収数	回収率
01	身体障害者調査	身体障害者手帳所持者	834人	511人	61.3%
02	知的障害者調査	愛の手帳（療育手帳）所持者	638人	358人	56.1%
03	精神障害者調査	精神障害者保健福祉手帳所持者	897人	421人	46.9%
04	自立支援医療費制度受給者調査	自立支援医療（精神通院）を受けている方	100人	47人	47.0%
05	難病患者調査	難病医療費等助成対象疾病を患っている方	200人	121人	60.5%
06	発達障害者調査	発達障害と診断されたことがある方	50人	3人	6.0%
07	児童調査	障害者手帳を持っている、自立支援医療（精神通院）を受けている、難病医療費等の助成対象となっている児童の保護者	381人	219人	57.5%
08	特別支援教育利用者調査	障害の有無にかかわらず特別支援教育を受けている児童の保護者	511人	158人	30.9%
合計			3,611人	1,838人	50.9%

※発達障害者調査については、回収数が少なく、統計的な有意性を担保できないことから、障害種別による結果を割愛しています。なお、調査全体集計には反映されています。

② 事業所向け調査
対象地域：西東京市から施設入所支援の決定を受けた方が入所している市内外の障害者施設
抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出
調査期間：令和７年 10 月 17 日～令和７年 11 月７日
調査方法：郵送配布、郵送回収または専用のホームページからＷｅｂ回答

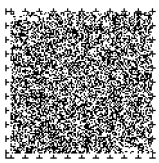
対象種別による対象者、発送数及び回収率等は以下の表の通り。

番号	対象種別	対象者	発送数	回収数	回収率
09	施設入所者調査	西東京市から支援決定を受けた方が入所している障害者施設	50件	31件	62.0%
合計			50件	31件	62.0%

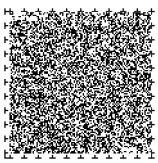
３　調査内容

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	特支教育	施設入所
調査票の記入者	単一	問１	問１	問１	問１	問１	問１	問１	問１	－
年齢	単一	問２	問２	問２	問２	問２	問２	問２	－	－
学年	単一	－	－	－	－	－	－	－	問２	－
暮らしている場所	単一	問３	問３	問３	問３	問３	問３	問３	問３	－
バリアフリー対応	単一	問４	問４	問４	問４	問４	問４	問４	－	－
同居者	複数	問５	問５	問５	問５	問５	問５	問５	問４	－
同居者の方の特徴	複数	問６	問６	問６	問６	問６	問６	問６	問５	－
介助・支援者	単一	問７	問７	問７	問７	問７	問７	問７	－	－
介助・支援者の年齢	単一	問８	問８	問８	問８	問８	問８	問８	－	－
介助・支援者の就労状況	複数	－	－	－	－	－	－	問９	－	－
介助・支援者が就労にあたって不足している支援	複数	－	－	－	－	－	－	問 10	－	－
介助・支援者が働いていない理由	単一	－	－	－	－	－	－	問 11	－	－
暮らしの状況	単一	問９	問９	問９	問９	問９	問９	問 12	問６	－
障害について	複数	問 10	問 10	問 10	問 10	問 10	問 10	問 13	問７	－
身体障害の内容	複数	問 11	－	－	－	－	－	問 15	－	－
愛の手帳の程度	単一	－	問 11	－	－	－	－	－	－	－
精神障害者保健福祉手帳の程度	単一	－	－	問 11	－	－	－	－	－	－
発達障害の診断内容	複数	－	－	－	－	－	問 11	－	－	－
障害に気づいた時期	単一	問 12	問 12	問 12	問 11	問 11	問 12	問 14	－	－
お子さんの診断内容	複数	－	－	－	－	－	－	問 16	問８	－
体調の変化から医療機関受診までの期間	単一	－	－	問 13	問 12	－	－	－	－	－
通院頻度	単一	－	－	問 14	問 13	問 12	－	－	－	－
通院で困っていること	複数	－	－	問 15	問 14	問 13	－	－	－	－
自宅での医療的ケア	複数	問 13	問 13	問 16	問 15	問 14	問 15	問 17	－	－
障害に気づいたきっかけ	単一	－	－	－	－	－	－	問 19	－	－
発達障害と知った時の相談先	複数	－	－	－	－	－	問 13	－	－	－
発達の遅れや障害があると気がついたときに相談した機関	複数	－	－	－	－	－	－	問 20	－	－
相談しなかった理由	複数	－	－	－	－	－	問 14	問 21	－	－
医療的なケアに関して困っていること	複数	問 14	問 14	問 17	問 16	問 15	問 16	問 18	問９	－
特別支援教室、特別支援学級に通うきっかけ	単一	－	－	－	－	－	－	－	問 10	－

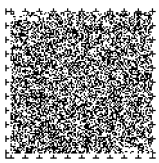
設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	特支教育	施設入所
要介護認定	単一	問 15	問 15	問 18	問 17	問 16	問 17	－	－	－
療育や支援で充実させるべきこと	複数	－	－	－	－	－	－	問 22	－	－
差別・偏見を感じたことがあるか	単一	問 16	問 16	問 19	問 18	問 17	問 18	問 23	問 31	－
差別・偏見を受けた場所	複数	問 17	問 17	問 20	問 19	問 18	問 19	問 24	問 32	－
介助が必要な動作	単一	問 18	問 18	問 21	問 20	問 19	問 20	問 25	－	－
平日の過ごし方	単一	問 19	問 19	問 22	問 21	問 20	問 21	－	－	－
外出頻度	単一	問 20	問 20	問 23	問 22	問 21	問 22	－	－	－
外出する際に利用する移動手段	複数	問 21	問 21	問 24	問 23	問 22	問 23	問 26	－	－
外出支援の必要性	単一	問 22	問 22	問 25	問 24	問 23	問 24	問 27	－	－
外出をためらう理由	複数	問 23	問 23	問 26	問 25	問 24	問 25	問 28	－	－
公共交通機関が利用しづらい・利用できない理由	自由	問 24	問 24	問 27	問 26	問 25	問 26	問 29	－	－
趣味や楽しみ（楽しいこと）の有無	単一	問 25	問 25	問 28	問 27	問 26	問 27	問 30	－	－
楽しいことの内容	複数	問 26	問 26	問 29	問 28	問 27	問 28	問 31	－	－
楽しいことがある場所	複数	－	－	－	－	－	－	問 32	－	－
参加したいと思う活動	複数	問 27	問 27	問 30	問 29	問 28	問 29	問 33	－	－
収入を伴う仕事の実施状況	単一	問 28	問 28	問 31	問 30	問 29	問 30	－	－	－
仕事形態	単一	問 29	問 29	問 32	問 31	問 30	問 31	－	－	－
就職のための支援サポート	複数	問 30	問 30	問 33	問 32	問 31	問 32	－	－	－
仕事で困っていること	複数	問 31	問 31	問 34	問 33	問 32	問 33	－	－	－
働かない理由	単一	問 32	問 32	問 35	問 34	問 33	問 34	－	－	－
今後の就労意向	単一	問 33	問 33	問 36	問 35	問 34	問 35	－	－	－
障害者が働くために必要なこと	複数	問 34	問 34	問 37	問 36	問 35	問 36	－	－	－
学校などの種類	単一	－	－	－	－	－	－	問 34	－	－
学校等での生活で困っていること	複数	－	－	－	－	－	－	問 35	問 11	－
学校教育への要望	複数	－	－	－	－	－	－	－	問 12	－
頻度の多い過ごし方	単一	－	－	－	－	－	－	問 36	問 13	－
放課後の過ごし方で困っていること	複数	－	－	－	－	－	－	問 37	問 14	－
高校卒業後の過ごし方	単一	－	－	－	－	－	－	問 38	－	－
高校卒業後で不安に感じること	複数	－	－	－	－	－	－	問 39	－	－
悩みや将来についての相談	単一	問 35	問 35	問 38	問 37	問 36	問 37	問 44	－	－
親族以外で相談している人や場所	複数	問 36	問 36	問 39	問 38	問 37	問 38	問 45	問 17	－
親族以外に相談したいこと	複数	問 37	問 37	問 40	問 39	問 38	問 39	－	－	－
親なき後の将来の生活	複数	問 38	問 38	問 41	問 40	問 39	問 40	問 40	問 27	－
自分らしく働くために必要なこと	複数	－	－	－	－	－	－	問 41	－	－
生活情報の入手状況	単一	問 39	問 39	問 42	問 41	問 40	問 41	問 46	－	－
福祉サービス情報の入手先	複数	問 40	問 40	問 43	問 42	問 41	問 42	問 47	問 18	－
情報取得やコミュニケーションをとる際に困ること	複数	問 41	問 41	問 44	問 43	問 42	問 43	－	－	－
対応しやすいコミュニケーション手段	複数	問 42	問 42	問 45	問 44	問 43	問 44	－	－	－
障害者総合支援センター「フレンドリー」の認知	単一	問 43	問 43	問 46	問 45	問 44	問 45	問 48	問 19	－
西東京市の福祉施設の認知	単一	問 44	問 44	問 47	問 46	問 45	問 46	問 49	問 20	－
西東京市の講座や事業の認知	単一	問 45	問 45	問 48	問 47	問 46	問 47	問 50	－	－
福祉サービスの利用状況	複数	問 46	問 46	問 49	問 48	問 47	問 48	問 51	－	－
現在利用している事業所は市内の事業所か	単一	問 47	問 47	問 50	問 49	問 48	問 49	問 52	－	－



設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	特支教育	施設入所
市外の事業所を利用している理由	自由	問 48	問 48	問 51	問 50	問 49	問 50	問 53	－	－
障害福祉サービスについて困っていること	複数	問 49	問 49	問 52	問 51	問 50	問 51	問 54	問 22	－
利用したい福祉サービス	自由	問 50	問 50	問 53	問 52	問 51	問 52	－	－	－
サービス等利用計画の作成について	単一	問 51	問 51	問 54	問 53	問 52	問 53	問 55	問 23	－
自分で作成している理由・作成してもらえない理由	自由	問 52	問 52	問 55	問 54	問 53	問 54	問 56	問 24	－
福祉サービスの必要性	単一	問 53	問 53	問 56	問 55	問 54	問 55	問 57	問 25	－
福祉サービスを十分利用できているか	単一	問 54	問 54	問 57	問 56	問 55	問 56	問 58	問 26	－
十分に利用できてない理由	複数	問 55	問 55	問 58	問 57	問 56	問 57	問 59	－	－
２年後に必要とするサービス	複数	問 56	問 56	問 59	問 58	問 57	問 58	問 60	－	－
５年後どのように暮らしたいか	単一	問 57	問 57	問 60	問 59	問 58	問 59	－	－	－
５年後について相談できる人	複数	問 58	問 58	問 61	問 60	問 59	問 60	－	－	－
成年後見制度の認知	単一	問 59	問 59	問 62	問 61	問 60	問 61	－	－	－
成年後見制度を利用する理由	複数	問 60	問 60	問 63	問 62	問 61	問 62	－	－	－
災害で不安なこと	複数	問 61	問 61	問 64	問 63	問 62	問 63	問 61	問 37	－
サポートファイルの認知	単一	問 62	問 62	問 65	問 64	問 63	問 64	問 42	問 15	
どのようなサポートファイルを利用したいか	自由	問 63	問 63	問 66	問 65	問 64	問 65	問 43	問 16	－
過去１年間に地域生活支援事業を利用したことがあるか	複数	問 64	問 64	問 67	問 66	問 65	問 66	問 62	－	－
利用しているサービス事業所は市内の事業所か	単一	問 65	問 65	問 68	問 67	問 66	問 67	問 63	－	－
市外の事業所を利用している理由	自由	問 66	問 66	問 69	問 68	問 67	問 68	問 64	－	－
過去１年間に障害福祉サービス、地域生活支援事業を利用したことがあるか	複数	－	－	－	－	－	－	－	問 21	－
地域生活支援事業について困っていること	複数	問 67	問 67	問 70	問 69	問 68	問 69	問 65	－	－
西東京市子ども条例の認知	単一	－	－	－	－	－	－	問 66	問 28	－
お子さんの意見を聞いていますか	単一	－	－	－	－	－	－	問 67	問 29	－
障害者（児）施策に満足しているか	単一	問 68	問 68	問 71	問 70	問 69	問 70	問 68	問 30	－
自宅以外に居心地のいい場所	単一	問 69	問 69	問 72	問 71	問 70	問 71	問 69	問 33	－
具体的な場所	自由	問 70	問 70	問 73	問 72	問 71	問 72	問 70	問 34	－
西東京市は住みやすいまちか	単一	－	－	－	－	－	－	問 71	問 35	－
「障害」に対する市民の理解を高めるために必要なこと	複数	問 71	問 71	問 74	問 73	問 72	問 73	問 72	問 36	－
障害者施策で充実させること	単一	問 72	問 72	問 75	問 74	問 73	問 74	問 73	問 38	－
ご意見・ご要望	自由	問 73	問 73	問 76	問 75	問 74	問 75	問 74	問 39	－
事業所の主な対象者	複数	－	－	－	－	－	－	－	－	問１
事業開始年度	数値	－	－	－	－	－	－	－	－	問２
定員・利用者数	数値	－	－	－	－	－	－	－	－	問３
ニーズの変化	単一	－	－	－	－	－	－	－	－	問４
サービスの定員に対する充足率	単一	－	－	－	－	－	－	－	－	問５
サービス提供を断った理由	複数	－	－	－	－	－	－	－	－	問６
ニーズに対応するための対策	単一	－	－	－	－	－	－	－	－	問７
事業継続について	単一	－	－	－	－	－	－	－	－	問８
医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者の方への配慮	複数	－	－	－	－	－	－	－	－	問９



設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	特支教育	施設入所
医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者の方への福祉サービス提供のために必要なこと	複数	－	－	－	－	－	－	－	－	問 10
サービスを提供する上での課題	自由	－	－	－	－	－	－	－	－	問 11
事業所から地域生活に移行した利用者	単一	－	－	－	－	－	－	－	－	問 12
地域生活に移行した人の生活拠点	複数	－	－	－	－	－	－	－	－	問 13
地域生活への移行を進める上で工夫していること	複数	－	－	－	－	－	－	－	－	問 14
地域生活への移行を希望している方	単一	－	－	－	－	－	－	－	－	問 15
地域生活への移行ができる可能性	数値	－	－	－	－	－	－	－	－	問 16
地域生活の移行先	複数	－	－	－	－	－	－	－	－	問 17
地域生活への移行を進める上での課題	複数	－	－	－	－	－	－	－	－	問 18
ニーズを把握するための取組	自由	－	－	－	－	－	－	－	－	問 19
組織と連携した取り組み	単一	－	－	－	－	－	－	－	－	問 20
抱えている課題に対して実施していること	自由	－	－	－	－	－	－	－	－	問 21



４　報告書の見方

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。

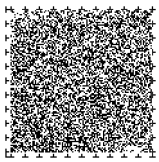
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、【属性別】のコメントにおいて回答者数が 10 人未満の場合及び【障害種別】のコメントで有効回答数が少ない場合はコメントの対象から除外しています。

・Ⅱ章以降では、以下の調査結果（図表、文章）において略称を用いています。

番号	調査票の名称		略称
01	身体障害者調査	⇒	身体
02	知的障害者調査	⇒	知的
03	精神障害者調査	⇒	精神
04	自立支援医療費制度受給者調査	⇒	自立
05	難病患者調査	⇒	難病
06	発達障害者調査	⇒	発達
07	障害児調査	⇒	児童
08	特別支援教育利用者調査	⇒	特支
09	施設入所者調査	⇒	入所



Ⅱ　調査結果
～障害者調査～

Ⅱ　調査結果　～障害者調査～

1　あなた自身のことについて

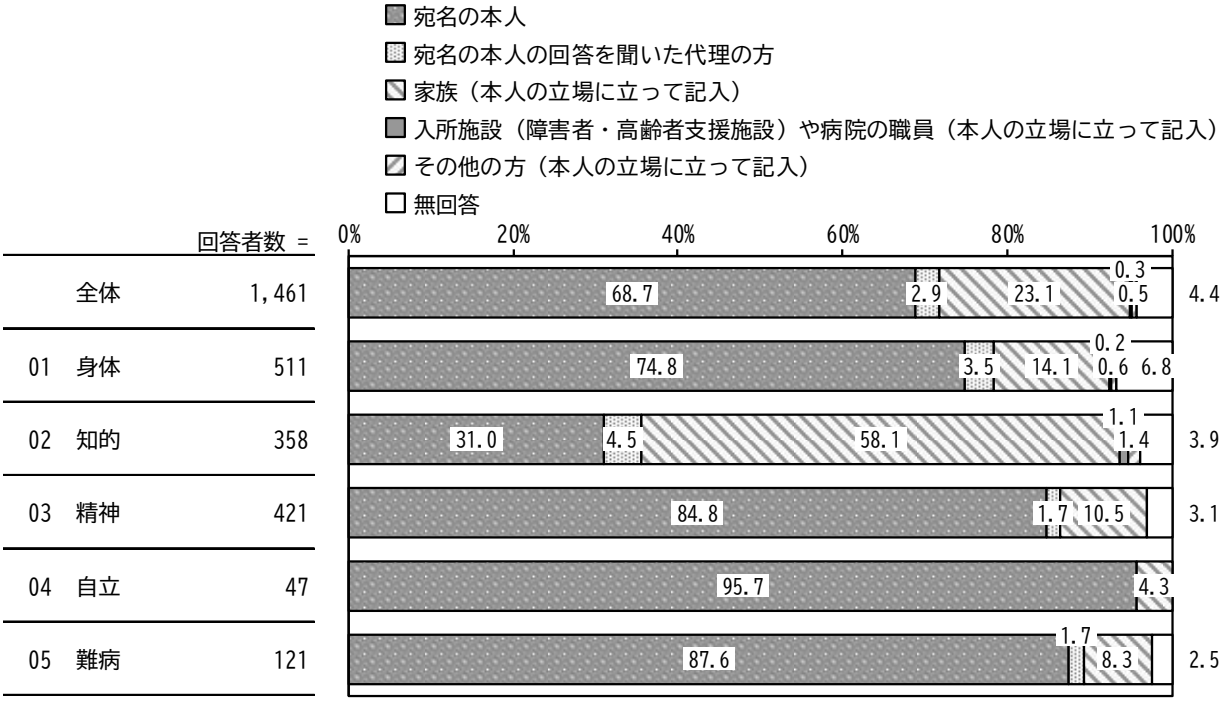
問　この調査票に記入される方についてお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	1	1	1	1	1	1

「宛名の本人」の割合が 68.7%と最も高く、次いで「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が 23.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的以外の障害種別は「宛名の本人」の割合が高いが、知的では「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『50～59 歳』、『60～64 歳』、『65～69 歳』で「宛名の本人」、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』で「宛名の本人」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「宛名の本人」、『障害者手帳所持者がいる』で「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「宛名の本人の回答を聞いた代理の方」の割合が高くなっています。

		調査数	宛名の本人	宛名の本人の回答を聞いた代理の方	家族（本人の立場に立って記入）	入所施設（障害者・高齢者支援施設）や病院の職員（本人の立場に立って記入）	その他の方（本人の立場に立って記入）	無回答
全　体		1,461	68.7	2.9	23.1	0.3	0.5	4.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	44.4	3.7	44.4	0.0	3.7	3.7
	20～29歳	164	50.6	4.9	43.3	0.0	0.6	0.6
	30～39歳	195	56.9	3.6	34.9	0.0	0.5	4.1
	40～49歳	185	68.6	2.2	24.9	0.5	0.0	3.8
	50～59歳	229	79.9	0.9	17.0	0.9	0.4	0.9
	60～64歳	109	82.6	2.8	10.1	0.0	0.0	4.6
	65～69歳	91	81.3	1.1	15.4	0.0	0.0	2.2
	70歳以上	444	72.3	3.8	16.9	0.5	0.9	5.6
世帯構成	ひとり暮らし	274	91.2	1.1	3.6	0.0	1.1	2.9
	核家族世帯	695	63.5	3.6	30.1	0.0	0.1	2.7
	三世代世帯	32	65.6	3.1	28.1	0.0	0.0	3.1
	その他の世帯	436	65.1	3.2	24.5	1.1	0.9	5.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	66.7	2.4	26.1	0.8	0.4	3.6
	障害者手帳所持者がいる	227	52.4	2.6	39.2	1.3	0.4	4.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	85.3	0.0	8.8	0.0	0.0	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	60.0	2.7	32.0	1.3	0.0	4.0
	あてはまらない	320	68.1	5.6	23.4	0.0	0.3	2.5
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	18～39歳	58	77.6	1.7	10.3	3.4	0.0	6.9
	40～59歳	309	58.3	5.8	33.0	0.6	0.3	1.9
	60歳代	213	65.3	4.2	27.2	0.0	0.5	2.8
	70歳代	146	69.2	2.7	26.0	0.0	0.0	2.1
	80歳以上	120	69.2	0.8	21.7	0.0	0.8	7.5
	わからない	105	50.5	1.9	41.0	0.0	3.8	2.9
生活困窮	ゆとりがある	113	70.8	6.2	16.8	0.9	0.0	5.3
	まあまあゆとりがある	610	64.6	3.3	28.7	0.3	0.5	2.6
	やや苦しい	538	71.9	2.4	20.4	0.4	0.7	4.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	79.3	2.2	15.6	0.0	0.7	2.2
サービス	利用している	500	48.0	4.2	41.8	0.8	0.4	4.8
	利用していない	863	81.9	2.3	11.7	0.1	0.5	3.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	56.4	2.6	33.3	0.0	0.0	7.7
	１年以上、３年未満	74	75.7	5.4	18.9	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	89	79.8	1.1	11.2	0.0	0.0	7.9
	５年以上、10年未満	209	85.6	2.9	9.6	0.0	0.0	1.9
	10年以上	917	64.1	3.3	28.2	0.4	0.4	3.5
	わからない	56	66.1	0.0	16.1	1.8	5.4	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	61.8	4.5	24.1	0.3	0.8	8.6
	視覚障害がある	28	46.4	14.3	28.6	3.6	0.0	7.1
	聴覚障害がある	69	71.0	1.4	17.4	0.0	1.4	8.7

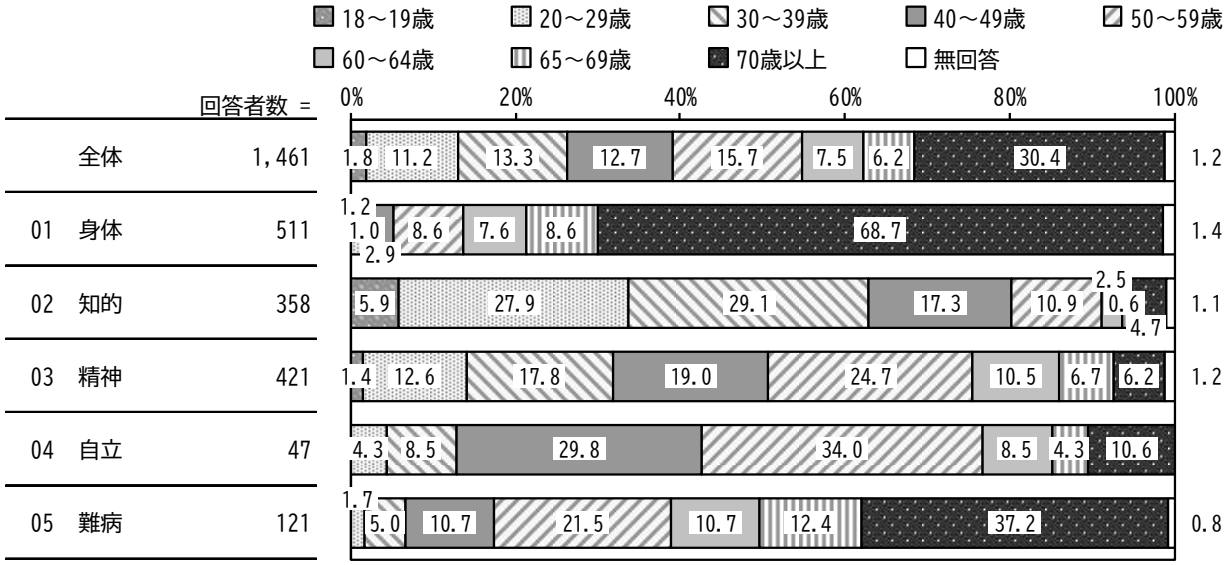
問　あなたの年齢をお答えください。（令和７年 10 月１日現在）【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	2	2	2	2	2	2

「70 歳以上」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「50～59 歳」の割合が 15.7%、「30～39 歳」の割合が 13.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「20～29 歳」「30～39 歳」、自立で「40～49 歳」「50～59 歳」、身体で「70 歳以上」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「20～29 歳」、『その他の世帯』で「70 歳以上」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で「20～29 歳」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「40～49 歳」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「70 歳以上」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が上がるほど「70 歳以上」の割合が高い傾向にあり、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「20～29 歳」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「20～29 歳」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「20～29 歳」「30～39 歳」の割合が高く、『利用していない』で「60～64 歳」「65～69 歳」「70 歳以上」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「70 歳以上」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「70 歳以上」の割合が高くなっています。

		調査数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
全　体		1,461	1.8	11.2	13.3	12.7	15.7	7.5	6.2	30.4	1.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	164	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	195	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	185	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	229	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	109	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	91	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70歳以上	444	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	0.0	3.6	7.7	10.6	21.2	9.9	7.3	39.4	0.4
	核家族世帯	695	3.5	17.8	18.3	16.7	14.2	6.8	3.2	19.6	0.0
	三世代世帯	32	3.1	40.6	15.6	6.3	15.6	6.3	6.3	3.1	3.1
	その他の世帯	436	0.5	3.7	9.6	8.7	15.4	7.3	10.6	44.3	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	0.2	4.6	14.3	14.9	12.5	5.8	7.6	39.8	0.2
	障害者手帳所持者がいる	227	1.8	11.5	17.2	15.9	15.0	6.6	4.0	28.2	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	2.9	23.5	50.0	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	2.7	5.3	18.7	13.3	17.3	5.3	5.3	32.0	0.0
	あてはまらない	320	5.3	25.0	13.8	8.1	16.9	8.4	5.6	16.9	0.0
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	0.0	10.3	27.6	17.2	8.6	8.6	8.6	19.0	0.0
	40～59歳	309	5.5	24.9	10.4	11.3	19.4	3.6	2.9	22.0	0.0
	60歳代	213	0.9	12.7	26.3	6.1	7.5	13.1	14.1	19.2	0.0
	70歳代	146	0.0	0.7	6.8	24.0	11.0	1.4	6.8	48.6	0.7
	80歳以上	120	0.0	0.0	2.5	10.0	18.3	8.3	0.8	59.2	0.8
	わからない	105	1.9	13.3	13.3	10.5	12.4	6.7	8.6	33.3	0.0
生活困窮	ゆとりがある	113	4.4	26.5	20.4	8.0	9.7	6.2	3.5	21.2	0.0
	まあまあゆとりがある	610	2.8	13.1	14.4	11.3	12.1	6.2	6.4	33.4	0.2
	やや苦しい	538	0.7	8.6	11.0	14.5	20.6	8.4	5.9	29.9	0.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	0.0	3.0	15.6	16.3	20.0	11.9	8.1	24.4	0.7
サービス	利用している	500	2.8	19.8	18.4	13.2	13.4	4.6	3.2	23.2	1.4
	利用していない	863	1.2	7.0	10.9	12.7	17.4	9.7	8.3	31.9	0.9
障害に気づいた時期	１年未満	39	0.0	10.3	15.4	2.6	2.6	10.3	7.7	48.7	2.6
	１年以上、３年未満	74	0.0	10.8	8.1	10.8	18.9	6.8	5.4	39.2	0.0
	３年以上、５年未満	89	2.2	10.1	5.6	12.4	13.5	6.7	4.5	41.6	3.4
	５年以上、10年未満	209	1.0	12.0	12.0	6.7	14.4	8.6	8.1	36.8	0.5
	10年以上	917	2.0	11.7	15.6	14.9	16.2	7.4	5.9	25.6	0.7
	わからない	56	5.4	14.3	14.3	12.5	16.1	8.9	8.9	16.1	3.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	1.1	5.9	10.4	10.4	14.4	8.3	8.3	39.0	2.1
	視覚障害がある	28	0.0	0.0	3.6	7.1	3.6	10.7	7.1	67.9	0.0
	聴覚障害がある	69	0.0	2.9	1.4	1.4	10.1	4.3	1.4	76.8	1.4

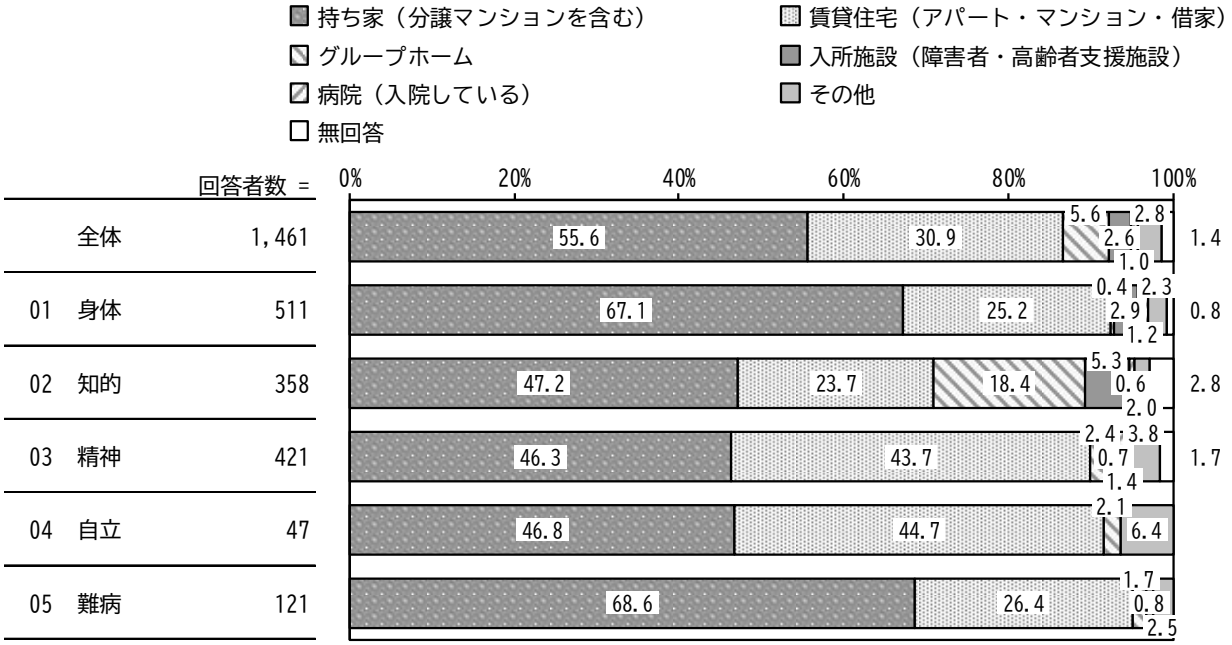
問　あなたは、現在どこで暮らしていますか。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	3	3	3	3	3	3

「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が 30.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体・難病で「持ち家（分譲マンションを含む）」、精神、自立で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」、知的で「グループホーム」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳以上』で「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「持ち家（分譲マンションを含む）」、『ひとり暮らし』で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」、『障害者手帳所持者がいる』で「グループホーム」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「グループホーム」の割合が高く、『利用していない』で「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が高くなっています。

		調査数	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	グループホーム	入所施設（障害者・高齢者支援施設）	病院（入院している）	その他	無回答
全　体		1,461	55.6	30.9	5.6	2.6	1.0	2.8	1.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	55.6	40.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	164	56.7	29.3	9.1	0.0	0.6	3.0	1.2
	30～39歳	195	46.7	32.3	13.8	1.0	0.5	3.6	2.1
	40～49歳	185	50.3	34.1	9.2	2.2	1.1	3.2	0.0
	50～59歳	229	47.6	39.3	4.8	3.5	1.7	3.1	0.0
	60～64歳	109	56.9	32.1	5.5	1.8	0.9	2.8	0.0
	65～69歳	91	59.3	35.2	0.0	2.2	0.0	2.2	1.1
	70歳以上	444	66.0	24.5	1.1	4.5	1.1	2.5	0.2
世帯構成	ひとり暮らし	274	32.5	59.1	2.9	1.8	0.0	3.3	0.4
	核家族世帯	695	68.3	24.5	2.0	0.4	0.7	3.0	1.0
	三世代世帯	32	78.1	15.6	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0
	その他の世帯	436	49.5	25.9	13.5	6.9	2.1	2.1	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	71.3	17.5	1.6	4.0	1.6	3.4	0.6
	障害者手帳所持者がいる	227	42.7	28.2	19.8	7.0	1.3	0.9	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	61.8	38.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	50.7	26.7	8.0	9.3	2.7	2.7	0.0
	あてはまらない	320	62.5	30.3	3.4	0.3	0.6	1.9	0.9
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	34.5	50.0	8.6	5.2	0.0	1.7	0.0
	40～59歳	309	59.9	30.7	5.8	1.9	0.0	1.3	0.3
	60歳代	213	62.4	27.7	3.3	1.4	0.0	4.7	0.5
	70歳代	146	74.7	21.9	0.7	0.0	2.1	0.7	0.0
	80歳以上	120	60.8	25.8	2.5	0.8	3.3	5.8	0.8
	わからない	105	15.2	32.4	27.6	17.1	3.8	3.8	0.0
生活困窮	ゆとりがある	113	65.5	19.5	8.0	2.7	0.9	2.7	0.9
	まあまあゆとりがある	610	64.9	21.0	8.0	2.8	0.5	2.0	0.8
	やや苦しい	538	51.1	37.2	3.7	2.2	1.3	3.9	0.6
	不自由が多く、生活が苦しい	135	31.1	62.2	0.7	2.2	0.7	2.2	0.7
サービス	利用している	500	45.2	29.8	14.6	3.6	1.2	3.4	2.2
	利用していない	863	62.8	31.6	0.6	1.7	0.3	2.1	0.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	69.2	12.8	7.7	5.1	0.0	2.6	2.6
	１年以上、３年未満	74	52.7	35.1	8.1	1.4	0.0	2.7	0.0
	３年以上、５年未満	89	67.4	24.7	0.0	2.2	1.1	3.4	1.1
	５年以上、10年未満	209	56.9	34.9	1.4	1.4	0.0	4.3	1.0
	10年以上	917	55.3	30.5	6.8	2.9	1.2	2.1	1.2
	わからない	56	50.0	26.8	8.9	3.6	1.8	5.4	3.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	50.0	33.4	7.0	2.9	1.1	3.2	2.4
	視覚障害がある	28	67.9	28.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	69	75.4	13.0	1.4	2.9	1.4	5.8	0.0

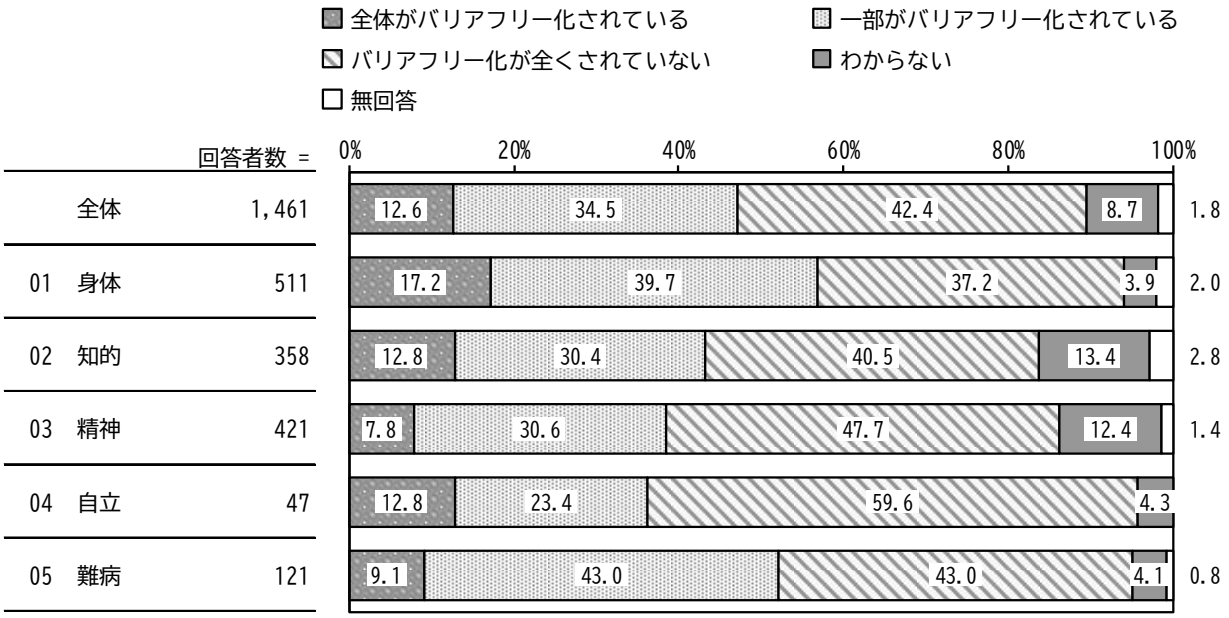
問　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	4	4	4	4	4	4

「全体がバリアフリー化されている」の割合が 12.6%、「一部がバリアフリー化されている」の割合が 34.5%、「バリアフリー化が全くされていない」の割合が 42.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『30～39 歳』で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「全体がバリアフリー化されている」の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「一部がバリアフリー化されている」の割合が低くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「一部がバリアフリー化されている」の割合が高くなっています。

		調査数	全体がバリアフリー化されている	一部がバリアフリー化されている	バリアフリー化が全くされていない	わからない	無回答
全　体		1,461	12.6	34.5	42.4	8.7	1.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	14.8	29.6	40.7	11.1	3.7
	20～29歳	164	9.1	34.1	39.0	16.5	1.2
	30～39歳	195	11.3	26.2	52.8	9.2	0.5
	40～49歳	185	8.1	28.6	50.8	11.4	1.1
	50～59歳	229	10.5	34.5	45.4	8.7	0.9
	60～64歳	109	5.5	44.0	39.4	11.0	0.0
	65～69歳	91	15.4	34.1	46.2	4.4	0.0
	70歳以上	444	18.7	39.6	35.1	5.0	1.6
世帯構成	ひとり暮らし	274	6.9	27.7	52.6	12.8	0.0
	核家族世帯	695	11.9	37.0	41.7	7.9	1.4
	三世代世帯	32	3.1	43.8	43.8	9.4	0.0
	その他の世帯	436	18.3	34.9	38.3	7.8	0.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	14.5	38.2	39.8	6.0	1.4
	障害者手帳所持者がいる	227	17.6	36.6	34.8	9.7	1.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	2.9	41.2	47.1	5.9	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	14.7	30.7	48.0	6.7	0.0
	あてはまらない	320	12.2	34.4	44.1	8.8	0.6
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	19.0	19.0	50.0	10.3	1.7
	40～59歳	309	11.3	38.8	41.1	7.8	1.0
	60歳代	213	10.3	41.8	42.7	5.2	0.0
	70歳代	146	13.7	39.7	38.4	7.5	0.7
	80歳以上	120	11.7	35.0	39.2	10.8	3.3
	わからない	105	23.8	21.9	35.2	19.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	113	20.4	32.7	32.7	10.6	3.5
	まあまあゆとりがある	610	15.6	39.0	35.6	9.0	0.8
	やや苦しい	538	10.2	33.6	48.3	7.2	0.6
	不自由が多く、生活が苦しい	135	5.9	24.4	57.0	11.1	1.5
サービス	利用している	500	13.0	37.4	37.0	10.6	2.0
	利用していない	863	12.2	34.3	45.0	7.0	1.6
障害に気づいた時期	１年未満	39	17.9	35.9	33.3	10.3	2.6
	１年以上、３年未満	74	4.1	37.8	47.3	8.1	2.7
	３年以上、５年未満	89	18.0	42.7	34.8	3.4	1.1
	５年以上、10年未満	209	8.6	38.3	44.5	8.6	0.0
	10年以上	917	13.2	33.6	43.5	7.9	1.9
	わからない	56	10.7	23.2	33.9	28.6	3.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	13.9	33.4	38.0	11.8	2.9
	視覚障害がある	28	7.1	42.9	42.9	3.6	3.6
	聴覚障害がある	69	15.9	30.4	44.9	7.2	1.4

問　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	5	5	5	5	5	5

「配偶者（夫、妻）・パートナー」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「母親」の割合が 29.3%、「父親」の割合が 21.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「配偶者（夫、妻）・パートナー」「子ども」、知的で「父親」「母親」「兄弟・姉妹」「入所施設の職員や仲間」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとり暮らしをしている	配偶者（夫、妻）・パートナー	子ども	子どもの配偶者・パートナー	父親	母親	祖父母	兄弟・姉妹	親戚	入所施設の職員や仲間	その他	無回答
全　体		1,461	18.8	33.4	18.2	1.8	21.9	29.3	1.6	12.6	0.5	6.2	3.6	1.6
障害種別	身体	511	22.1	52.3	27.4	4.1	2.2	4.7	1.0	2.5	0.6	3.1	2.7	2.3
	知的	358	3.9	2.8	2.2	0.0	56.4	64.2	2.5	30.2	1.1	18.7	7.3	1.7
	精神	421	27.1	25.7	14.0	0.5	22.8	36.3	2.1	14.0	0.0	0.7	2.1	1.2
	自立	47	19.1	53.2	34.0	2.1	10.6	19.1	0.0	2.1	2.1	2.1	4.3	0.0
	難病	121	19.0	63.6	35.5	1.7	4.1	9.1	0.0	2.5	0.0	1.7	1.7	0.8

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」、『18～19 歳』で「父親」「母親」「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『その他の世帯』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」「入所施設の職員や仲間」、『核家族世帯』、『三世代世帯』で「子ども」、『三世代世帯』で「父親」「母親」「祖父母」「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」「子ども」、『障害者手帳所持者がいる』で「入所施設の職員や仲間」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど「子ども」の割合が高く、『70 歳代』から『17 歳以下』まで年齢が下がるほど「ひとり暮らしをしている」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ひとり暮らしをしている」、『ゆとりがある』で「父親」「母親」「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「父親」「母親」「兄弟・姉妹」「入所施設の職員や仲間」の割合が高く、『利用していない』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」「子ども」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」「子ども」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとり暮らしをしている	配偶者（夫、妻）・パートナー	子ども	子どもの配偶者・パートナー	父親	母親	祖父母	兄弟・姉妹	親戚	入所施設の職員や仲間	その他	無回答
全　体		1,461	18.8	33.4	18.2	1.8	21.9	29.3	1.6	12.6	0.5	6.2	3.6	1.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	88.9	3.7	66.7	3.7	3.7	0.0	0.0
	20～29歳	164	6.1	3.7	1.2	0.0	70.1	79.9	7.3	43.9	1.2	4.3	6.1	0.6
	30～39歳	195	10.8	10.8	6.2	0.5	49.2	55.4	2.6	17.4	0.5	10.3	7.2	0.0
	40～49歳	185	15.7	26.5	16.8	1.1	27.6	43.8	0.5	13.0	0.5	9.2	2.7	0.0
	50～59歳	229	25.3	39.7	21.4	0.0	12.2	23.6	0.4	7.0	0.0	6.1	3.9	0.0
	60～64歳	109	24.8	45.0	25.7	0.9	4.6	18.3	0.9	6.4	0.9	3.7	1.8	0.9
	65～69歳	91	22.0	61.5	20.9	0.0	1.1	5.5	1.1	6.6	0.0	3.3	1.1	1.1
	70歳以上	444	24.3	48.4	27.9	5.0	0.5	0.9	0.2	1.6	0.5	5.4	2.7	1.4
世帯構成	ひとり暮らし	274	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	核家族世帯	695	0.0	24.7	36.5	3.6	43.7	57.6	0.0	22.6	0.7	1.4	2.2	0.0
	三世代世帯	32	0.0	28.1	37.5	3.1	50.0	87.5	62.5	28.1	0.0	3.1	0.0	0.0
	その他の世帯	436	0.0	70.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	4.1	0.7	18.1	8.7	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	0.0	44.6	16.1	1.8	29.3	44.0	3.6	15.9	0.8	5.4	2.6	0.0
	障害者手帳所持者がいる	227	0.0	35.7	21.6	2.6	19.4	27.3	0.4	17.6	0.4	23.3	6.2	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	73.5	85.3	5.9	8.8	14.7	0.0	8.8	0.0	0.0	2.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	0.0	38.7	18.7	4.0	21.3	36.0	2.7	12.0	1.3	16.0	4.0	0.0
	あてはまらない	320	0.0	37.5	29.1	2.8	32.2	37.2	0.3	17.8	0.6	2.5	5.6	0.0
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	58	17.2	39.7	32.8	1.7	3.4	3.4	0.0	0.0	1.7	12.1	8.6	1.7
	40～59歳	309	13.3	31.4	23.3	2.6	29.8	38.5	2.9	22.7	0.3	4.9	2.9	0.0
	60歳代	213	11.7	34.7	19.7	2.3	33.8	39.4	1.4	15.0	0.9	2.8	1.9	0.0
	70歳代	146	4.8	48.6	13.7	2.7	21.9	34.9	1.4	11.6	0.7	1.4	3.4	1.4
	80歳以上	120	6.7	50.0	10.0	2.5	16.7	26.7	1.7	10.0	0.0	2.5	0.8	2.5
	わからない	105	35.2	6.7	2.9	1.0	7.6	9.5	1.0	5.7	1.0	36.2	12.4	0.0
生活困窮	ゆとりがある	113	12.4	22.1	14.2	1.8	41.6	46.0	4.4	23.0	0.0	8.8	5.3	0.9
	まあまあゆとりがある	610	14.6	34.4	17.9	2.6	25.4	30.8	1.8	13.4	1.0	9.0	3.6	0.2
	やや苦しい	538	20.6	35.7	21.0	1.3	17.5	28.3	1.3	11.3	0.4	3.5	3.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	31.9	31.9	14.8	0.7	13.3	22.2	0.0	8.9	0.0	1.5	3.7	1.5
サービス	利用している	500	17.6	15.8	9.4	1.2	33.0	41.4	2.2	18.6	0.8	13.4	5.6	1.6
	利用していない	863	19.4	43.7	23.8	1.9	16.2	23.4	1.4	9.7	0.3	1.5	2.1	1.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	38.5	28.2	7.7	20.5	15.4	0.0	7.7	0.0	7.7	5.1	5.1
	１年以上、３年未満	74	23.0	44.6	25.7	1.4	9.5	14.9	0.0	5.4	0.0	5.4	5.4	0.0
	３年以上、５年未満	89	12.4	47.2	27.0	6.7	11.2	22.5	2.2	9.0	1.1	2.2	2.2	1.1
	５年以上、10年未満	209	20.6	46.4	25.4	1.4	16.7	17.7	1.9	6.2	0.5	1.9	1.9	1.4
	10年以上	917	18.5	29.6	15.2	1.1	25.8	35.0	1.4	15.6	0.4	7.4	3.6	1.1
	わからない	56	17.9	8.9	5.4	1.8	30.4	42.9	7.1	14.3	3.6	10.7	8.9	3.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	21.1	31.3	16.6	2.1	16.8	25.4	1.3	11.2	0.5	7.2	4.5	2.7
	視覚障害がある	28	14.3	57.1	28.6	7.1	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0
	聴覚障害がある	69	21.7	49.3	26.1	2.9	4.3	2.9	2.9	4.3	0.0	4.3	5.8	0.0

【同居者で「ひとり暮らしをしている」以外を回答された方にお聞きします。】

問　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	6	6	6	6	6	6

「65歳以上の高齢者がいる」の割合が43.2%と最も高く、次いで「あてはまらない」の割合が27.5%、「障害者手帳所持者がいる」の割合が19.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「65歳以上の高齢者がいる」の割合が高くなっています。

		調査数	65歳以上の高齢者がいる	障害者手帳所持者がいる	妊婦や小学生以下の子どもがいる	病気などの理由で不自由な方がいる	あてはまらない	無回答
全　体		1,163	43.2	19.5	2.9	6.4	27.5	13.6 (%)
障害種別	身体	386	53.9	15.3	0.5	7.3	22.8	13.7
	知的	338	34.0	29.0	0.3	5.0	29.6	14.5
	精神	302	41.4	18.2	5.3	7.9	27.5	14.6
	自立	38	28.9	18.4	10.5	7.9	34.2	13.2
	難病	97	44.3	7.2	11.3	2.1	37.1	7.2

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70歳以上』で「65歳以上の高齢者がいる」、『18～19歳』で「あてはまらない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「65歳以上の高齢者がいる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『70歳代』から『17歳以下』まで年齢が下がるほど「障害者手帳所持者がいる」の割合が高い傾向にあり、『18～39歳』から『70歳代』まで年齢が上がるほど「65歳以上の高齢者がいる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「障害者手帳所持者がいる」、『ゆとりがある』で「あてはまらない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害者手帳所持者がいる」の割合が高く、『利用していない』で「65歳以上の高齢者がいる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「65歳以上の高齢者がいる」の割合が高くなっています。

		調査数	65歳以上の高齢者がいる	障害者手帳所持者がいる	妊婦や小学生以下の子どもがいる	病気などの理由で不自由な方がいる	あてはまらない	無回答	
全　体		1,163	43.2	19.5	2.9	6.4	27.5	13.6	(%)
本人の年齢	18～19歳	27	3.7	14.8	7.4	7.4	63.0	11.1	
	20～29歳	153	15.0	17.0	0.7	2.6	52.3	15.7	
	30～39歳	174	41.4	22.4	4.6	8.0	25.3	11.5	
	40～49歳	156	48.1	23.1	10.9	6.4	16.7	14.1	
	50～59歳	171	36.8	19.9	3.5	7.6	31.6	12.3	
	60～64歳	81	35.8	18.5	0.0	4.9	33.3	18.5	
	65～69歳	70	54.3	12.9	0.0	5.7	25.7	12.9	
	70歳以上	330	60.6	19.4	0.0	7.3	16.4	13.3	
世帯構成	ひとり暮らし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	核家族世帯	695	42.0	16.5	4.6	6.0	31.9	11.9	
	三世代世帯	32	81.3	6.3	6.3	6.3	3.1	12.5	
	その他の世帯	436	42.2	25.2	0.0	7.1	22.2	16.3	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	100.0	16.3	0.6	9.0	0.0	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	227	36.1	100.0	2.2	14.5	0.0	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	8.8	14.7	100.0	8.8	0.0	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	60.0	44.0	4.0	100.0	0.0	0.0	
	あてはまらない	320	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
介助者の年齢	17歳以下	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	47	14.9	34.0	4.3	4.3	46.8	8.5	
	40～59歳	268	16.0	17.5	4.9	4.5	50.0	14.2	
	60歳代	188	44.7	19.7	1.6	6.4	29.3	12.2	
	70歳代	137	84.7	13.9	0.0	2.2	3.6	10.9	
	80歳以上	109	74.3	14.7	0.0	5.5	5.5	11.9	
	わからない	68	25.0	52.9	1.5	19.1	17.6	17.6	
生活困窮	ゆとりがある	98	33.7	15.3	2.0	4.1	38.8	13.3	
	まあまあゆとりがある	520	42.9	21.0	1.3	4.8	28.7	12.3	
	やや苦しい	421	48.2	15.7	4.5	7.6	25.4	13.8	
	不自由が多く、生活が苦しい	90	35.6	41.1	4.4	14.4	21.1	10.0	
サービス	利用している	404	38.4	26.2	0.2	6.7	27.0	14.6	
	利用していない	683	46.0	15.5	4.7	6.1	29.3	12.0	
障害に気づいた時期	１年未満	32	46.9	15.6	0.0	6.3	34.4	15.6	
	１年以上、３年未満	57	43.9	14.0	3.5	1.8	22.8	21.1	
	３年以上、５年未満	77	45.5	19.5	2.6	6.5	33.8	6.5	
	５年以上、10年未満	163	41.1	14.7	4.3	8.6	28.8	17.8	
	10年以上	737	43.8	21.6	2.8	6.2	26.6	11.8	
	わからない	44	50.0	11.4	0.0	2.3	20.5	20.5	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	285	51.6	23.2	1.1	6.7	23.5	8.8	
	視覚障害がある	24	33.3	16.7	4.2	12.5	33.3	8.3	
	聴覚障害がある	54	53.7	22.2	0.0	3.7	16.7	22.2	

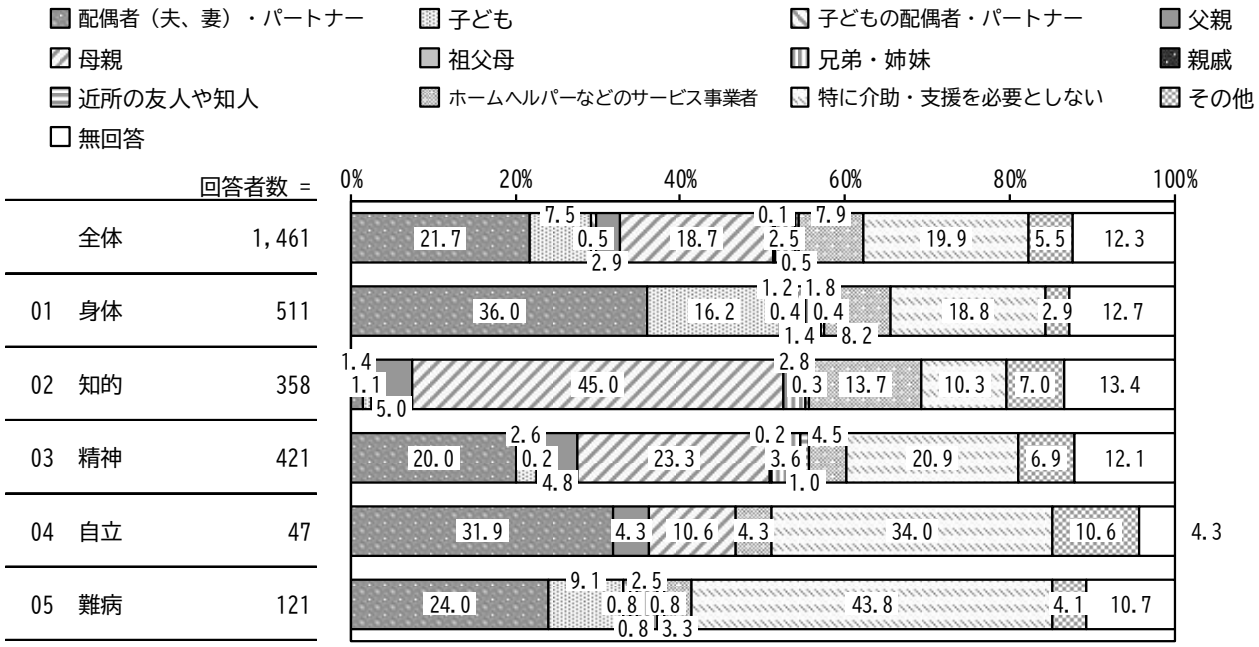
問　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	7	7	7	7	7	7

「配偶者（夫、妻）・パートナー」の割合が 21.7%と最も高く、次いで「特に介助・支援を必要としない」の割合が 19.9%、「母親」の割合が 18.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「配偶者（夫、妻）・パートナー」、知的で「母親」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」、『70 歳以上』で「子ども」、『18～19 歳』で「母親」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『その他の世帯』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」、『三世代世帯』で「母親」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「ホームヘルパーなどのサービス事業者」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「母親」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「母親」「ホームヘルパーなどのサービス事業者」の割合が高く、『利用していない』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「配偶者（夫、妻）・パートナー」、『視覚障害がある』で「子ども」の割合が高くなっています。

		調査数	配偶者（夫、妻）・パートナー	子ども	子どもの配偶者・パートナー	父親	母親	祖父母	兄弟・姉妹	親戚	近所の友人や知人	ホームヘルパーなどのサービス事業者	特に介助・支援を必要としない	その他	無回答
全　体		1,461	21.7	7.5	0.5	2.9	18.7	0.1	2.5	0.0	0.5	7.9	19.9	5.5	12.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	0.0	0.0	3.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	11.1	3.7	11.1
	20～29歳	164	4.3	0.0	0.0	4.9	58.5	0.0	0.0	0.0	0.6	3.0	11.6	6.1	11.0
	30～39歳	195	8.2	0.0	0.0	7.2	35.4	0.5	1.0	0.0	0.5	11.3	17.9	5.1	12.8
	40～49歳	185	17.3	2.2	0.0	4.3	26.5	0.0	2.2	0.0	0.0	7.6	23.8	4.9	11.4
	50～59歳	229	24.0	1.3	0.4	3.5	13.5	0.0	3.9	0.0	1.3	4.8	31.4	7.9	7.9
	60～64歳	109	27.5	4.6	0.0	1.8	8.3	0.0	6.4	0.0	0.0	6.4	29.4	7.3	8.3
	65～69歳	91	44.0	7.7	0.0	0.0	1.1	0.0	3.3	0.0	1.1	8.8	16.5	6.6	11.0
	70歳以上	444	30.6	20.3	1.6	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.5	10.8	15.8	4.1	13.7
世帯構成	ひとり暮らし	274	1.1	10.2	0.4	1.1	5.1	0.0	4.4	0.0	2.2	15.3	31.8	9.5	19.0
	核家族世帯	695	13.1	10.2	0.9	5.3	34.7	0.0	2.2	0.0	0.0	1.6	19.0	2.4	10.6
	三世代世帯	32	18.8	3.1	0.0	3.1	40.6	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.9	0.0	9.4
	その他の世帯	436	49.1	1.8	0.2	0.0	1.1	0.0	2.1	0.0	0.5	14.4	14.7	8.5	7.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	29.3	4.0	0.4	5.0	22.3	0.2	3.6	0.0	0.0	4.2	16.3	3.2	11.6
	障害者手帳所持者がいる	227	18.5	7.9	0.9	2.6	15.9	0.0	2.2	0.0	0.0	20.7	15.0	9.7	6.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	32.4	2.9	0.0	0.0	14.7	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	38.2	2.9	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	16.0	6.7	0.0	5.3	8.0	0.0	5.3	0.0	0.0	14.7	20.0	12.0	12.0
	あてはまらない	320	25.3	10.9	0.9	2.2	27.8	0.0	0.3	0.0	0.6	1.9	20.3	4.4	5.3
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	31.0	31.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	1.7	20.7	0.0	12.1	0.0
	40～59歳	309	27.8	18.8	1.3	1.0	34.0	0.0	4.5	0.0	1.3	8.4	0.0	2.9	0.0
	60歳代	213	33.8	10.3	0.5	8.9	35.2	0.0	5.6	0.0	0.5	2.3	0.0	2.8	0.0
	70歳代	146	50.7	1.4	0.7	5.5	34.9	0.0	3.4	0.0	1.4	0.7	0.0	1.4	0.0
	80歳以上	120	50.8	2.5	0.8	10.0	29.2	0.8	2.5	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	わからない	105	1.0	1.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	36.2	0.0
生活困窮	ゆとりがある	113	15.0	7.1	0.9	4.4	29.2	0.0	0.9	0.0	0.0	4.4	18.6	7.1	12.4
	まあまあゆとりがある	610	21.3	7.5	0.7	2.1	20.7	0.0	2.0	0.0	0.5	9.8	22.0	4.8	8.7
	やや苦しい	538	24.9	8.4	0.6	2.8	18.4	0.2	3.2	0.0	0.2	5.9	20.1	4.6	10.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	20.0	5.9	0.0	5.9	9.6	0.0	5.2	0.0	2.2	12.6	17.8	11.1	9.6
サービス	利用している	500	12.0	5.8	0.8	3.2	29.0	0.0	2.4	0.0	0.2	17.4	6.8	7.8	14.6
	利用していない	863	28.0	8.5	0.1	2.2	13.1	0.1	2.3	0.0	0.8	2.9	28.5	3.9	9.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	25.6	5.1	2.6	7.7	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1	7.7	15.4
	１年以上、３年未満	74	35.1	9.5	0.0	1.4	9.5	0.0	1.4	0.0	2.7	8.1	17.6	4.1	10.8
	３年以上、５年未満	89	28.1	10.1	2.2	0.0	11.2	0.0	2.2	0.0	1.1	6.7	21.3	7.9	9.0
	５年以上、10年未満	209	35.9	9.6	0.0	4.8	7.2	0.0	1.0	0.0	1.0	5.3	24.4	2.9	8.1
	10年以上	917	18.4	6.5	0.3	2.4	24.3	0.1	2.9	0.0	0.2	8.9	18.1	5.7	12.0
	わからない	56	7.1	3.6	0.0	5.4	25.0	0.0	1.8	0.0	1.8	5.4	23.2	12.5	14.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	23.0	8.8	0.8	2.7	13.4	0.0	4.3	0.0	0.3	13.4	11.2	6.7	15.5
	視覚障害がある	28	32.1	25.0	3.6	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	3.6	14.3
	聴覚障害がある	69	36.2	18.8	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	4.3	18.8	5.8	10.1

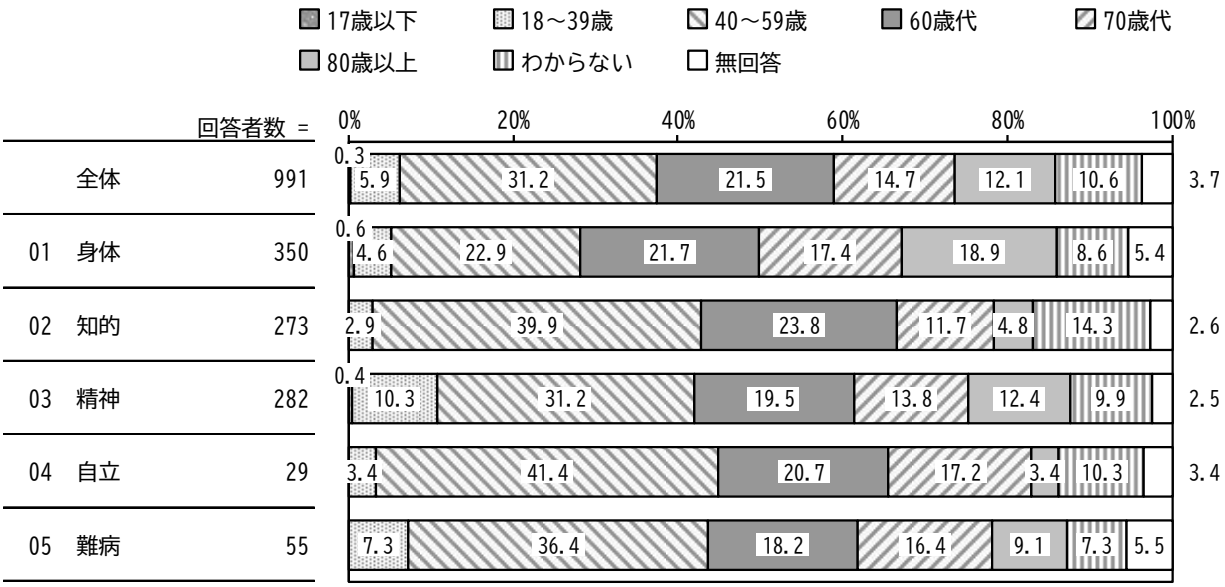
問　前設問で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「わからない」に○をしてください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	8	8	8	8	8	8

「40～59 歳」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 21.5%、「70 歳代」の割合が 14.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「40～59 歳」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、本人が『18～19 歳』では介助者の年齢が「40～59 歳」、本人が『65～69 歳』では介助者の年齢が「60 歳代」、本人が『40～49 歳』では介助者の年齢が「70 歳代」、本人が『70 歳以上』では介助者の年齢が「80 歳以上」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「40～59 歳」、『ひとり暮らし』で「わからない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「40～59 歳」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「70 歳代」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「わからない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「70 歳代」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「わからない」の割合が高く、『利用していない』で「70 歳代」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「18～39 歳」「80 歳以上」、『１年未満』で「わからない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「80 歳以上」の割合が高くなっています。

		調査数	17歳以下	18～39歳	40～59歳	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
全　体		991	0.3	5.9	31.2	21.5	14.7	12.1	10.6	3.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	21	0.0	0.0	81.0	9.5	0.0	0.0	9.5	0.0
	20～29歳	127	0.0	4.7	60.6	21.3	0.8	0.0	11.0	1.6
	30～39歳	135	0.0	11.9	23.7	41.5	7.4	2.2	10.4	3.0
	40～49歳	120	1.7	8.3	29.2	10.8	29.2	10.0	9.2	1.7
	50～59歳	139	0.7	3.6	43.2	11.5	11.5	15.8	9.4	4.3
	60～64歳	68	0.0	7.4	16.2	41.2	2.9	14.7	10.3	7.4
	65～69歳	66	0.0	7.6	13.6	45.5	15.2	1.5	13.6	3.0
	70歳以上	313	0.0	3.5	21.7	13.1	22.7	22.7	11.2	5.1
世帯構成	ひとり暮らし	135	0.7	7.4	30.4	18.5	5.2	5.9	27.4	4.4
	核家族世帯	489	0.4	4.5	37.8	25.8	15.3	10.6	2.7	2.9
	三世代世帯	22	0.0	0.0	50.0	27.3	9.1	4.5	4.5	4.5
	その他の世帯	339	0.0	7.4	21.2	16.5	17.7	16.5	15.9	4.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	362	0.3	1.9	11.9	23.2	32.0	22.4	4.7	3.6
	障害者手帳所持者がいる	178	0.6	9.0	26.4	20.8	10.7	9.0	20.2	3.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	19	0.0	10.5	68.4	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	51	0.0	3.9	23.5	23.5	5.9	11.8	25.5	5.9
	あてはまらない	238	0.0	9.2	56.3	23.1	2.1	2.5	5.0	1.7
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	309	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	213	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	146	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	120	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	わからない	105	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	78	0.0	5.1	39.7	28.2	3.8	9.0	11.5	2.6
	まあまあゆとりがある	423	0.0	4.3	31.2	23.6	17.0	9.7	10.9	3.3
	やや苦しい	372	0.8	6.5	30.9	19.1	15.3	15.3	8.9	3.2
	不自由が多く、生活が苦しい	98	0.0	9.2	25.5	18.4	11.2	12.2	15.3	8.2
サービス	利用している	393	0.3	5.1	33.8	20.1	11.2	10.2	16.8	2.5
	利用していない	535	0.4	7.1	29.7	23.2	17.4	12.9	5.2	4.1
障害に気づいた時期	１年未満	24	0.0	8.3	25.0	20.8	12.5	16.7	16.7	0.0
	１年以上、３年未満	53	0.0	15.1	30.2	13.2	15.1	18.9	7.5	0.0
	３年以上、５年未満	62	0.0	11.3	25.8	16.1	19.4	14.5	8.1	4.8
	５年以上、10年未満	141	0.0	8.5	27.7	24.8	12.1	14.2	7.8	5.0
	10年以上	641	0.3	4.2	33.9	22.2	15.0	10.1	10.8	3.6
	わからない	35	0.0	2.9	14.3	25.7	17.1	11.4	20.0	8.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	274	0.0	4.0	25.5	21.5	15.7	16.1	13.5	3.6
	視覚障害がある	22	4.5	0.0	40.9	9.1	18.2	13.6	4.5	9.1
	聴覚障害がある	49	2.0	4.1	12.2	20.4	16.3	26.5	10.2	8.2

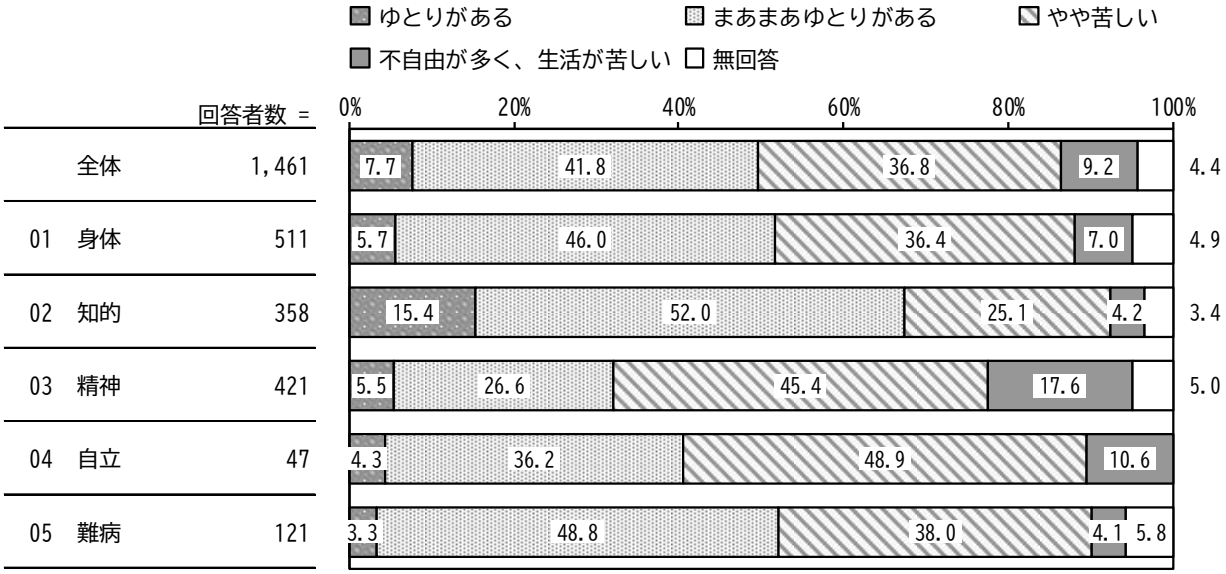
問　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	9	9	9	9	9	9

「まあまあゆとりがある」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 36.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「まあまあゆとりがある」、自立で「やや苦しい」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「ゆとりがある」、『18～19 歳』で「まあまあゆとりがある」、『50～59 歳』で「やや苦しい」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『その他の世帯』で「まあまあゆとりがある」、『ひとり暮らし』で「不自由が多く、生活が苦しい」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「やや苦しい」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『17 歳以下』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど「まあまあゆとりがある」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「やや苦しい」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「まあまあゆとりがある」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「まあまあゆとりがある」の割合が高くなっています。

		調査数	ゆとりがある	まあまあゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい	無回答
全　体		1,461	7.7	41.8	36.8	9.2	4.4
本人の年齢	18～19歳	27	18.5	63.0	14.8	0.0	3.7
	20～29歳	164	18.3	48.8	28.0	2.4	2.4
	30～39歳	195	11.8	45.1	30.3	10.8	2.1
	40～49歳	185	4.9	37.3	42.2	11.9	3.8
	50～59歳	229	4.8	32.3	48.5	11.8	2.6
	60～64歳	109	6.4	34.9	41.3	14.7	2.8
	65～69歳	91	4.4	42.9	35.2	12.1	5.5
	70歳以上	444	5.4	45.9	36.3	7.4	5.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	5.1	32.5	40.5	15.7	6.2
	核家族世帯	695	9.8	42.7	37.8	7.2	2.4
	三世代世帯	32	12.5	43.8	40.6	3.1	0.0
	その他の世帯	436	6.0	47.9	33.3	8.9	3.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	6.6	44.4	40.4	6.4	2.2
	障害者手帳所持者がいる	227	6.6	48.0	29.1	16.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	20.6	55.9	11.8	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	5.3	33.3	42.7	17.3	1.3
	あてはまらない	320	11.9	46.6	33.4	5.9	2.2
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	6.9	31.0	41.4	15.5	5.2
	40～59歳	309	10.0	42.7	37.2	8.1	1.9
	60歳代	213	10.3	46.9	33.3	8.5	0.9
	70歳代	146	2.1	49.3	39.0	7.5	2.1
	80歳以上	120	5.8	34.2	47.5	10.0	2.5
	わからない	105	8.6	43.8	31.4	14.3	1.9
生活困窮	ゆとりがある	113	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	610	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	538	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	135	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
サービス	利用している	500	9.0	42.2	34.0	10.6	4.2
	利用していない	863	6.0	42.2	39.5	8.2	4.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	10.3	51.3	23.1	10.3	5.1
	１年以上、３年未満	74	8.1	44.6	33.8	12.2	1.4
	３年以上、５年未満	89	5.6	53.9	30.3	7.9	2.2
	５年以上、10年未満	209	8.1	38.3	42.6	8.6	2.4
	10年以上	917	7.6	40.9	37.8	9.2	4.5
	わからない	56	16.1	39.3	30.4	7.1	7.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	6.1	34.8	42.5	11.8	4.8
	視覚障害がある	28	7.1	46.4	32.1	14.3	0.0
	聴覚障害がある	69	4.3	56.5	30.4	4.3	4.3

(%)

2　障害について

問　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	10	10	10	10	10	10

「愛の手帳（療育手帳）を持っている」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「身体障害者手帳を持っている」の割合が 35.9%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」、「訪問看護などの医療的ケアを受けている」の割合が 27.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「訪問看護などの医療的ケアを受けている」、精神で「愛の手帳（療育手帳）を持っている」、「自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている」の割合が高くなっています。

		調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	強度行動障害と言われたことがある	どれにもあてはまらない	無回答
全　体		1,461	35.9	52.0	27.7	24.9	10.1	1.9	10.8	27.7	1.2	1.0	0.8 (%)
障害種別	身体	511	96.3	0.8	0.6	0.6	5.9	2.9	0.0	33.9	0.2	0.8	2.0
	知的	358	2.5	98.3	1.1	3.1	0.6	0.3	20.7	24.9	4.2	0.0	0.3
	精神	421	5.5	95.0	92.9	72.4	0.7	2.6	18.1	23.8	0.5	0.5	0.0
	自立	47	0.0	6.4	4.3	91.5	0.0	0.0	10.6	21.3	0.0	4.3	0.0
	難病	121	0.0	0.0	0.8	0.8	92.6	0.8	0.0	26.4	0.0	5.8	0.8

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳以上』で「身体障害者手帳を持っている」「訪問看護などの医療的ケアを受けている」、『40～49 歳』、『50～59 歳』で「精神障害者保健福祉手帳を持っている」、『40～49 歳』で「自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている」、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「発達障害と診断されたことがある」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「愛の手帳（療育手帳）を持っている」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「精神障害者保健福祉手帳を持っている」「自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「愛の手帳（療育手帳）を持っている」「発達障害と診断されたことがある」「訪問看護などの医療的ケアを受けている」の割合が高く、『利用していない』で「身体障害者手帳を持っている」「難病医療費等助成対象疾病を患っている」の割合が高くなっています。

		調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	強度行動障害と言われたことがある	どれにもあてはまらない	無回答
全　体		1,461	35.9	52.0	27.7	24.9	10.1	1.9	10.8	27.7	1.2	1.0	0.8
本人の年齢	18～19歳	27	3.7	100.0	22.2	11.1	3.7	0.0	33.3	14.8	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	164	4.3	93.3	32.9	25.6	2.4	1.2	33.5	13.4	4.3	0.0	0.6
	30～39歳	195	3.6	91.3	38.5	31.8	3.6	1.5	24.1	20.5	2.1	0.0	0.0
	40～49歳	185	11.4	76.8	44.3	43.8	7.0	1.6	14.1	21.1	2.7	1.6	0.0
	50～59歳	229	23.6	59.0	41.5	38.0	12.7	2.2	6.6	24.0	0.0	1.7	0.0
	60～64歳	109	38.5	47.7	38.5	34.9	14.7	5.5	1.8	30.3	0.9	0.9	0.0
	65～69歳	91	51.6	29.7	25.3	22.0	18.7	5.5	2.2	35.2	0.0	1.1	0.0
	70歳以上	444	76.4	8.8	5.6	6.3	13.3	0.9	0.5	38.5	0.2	1.4	2.3
世帯構成	ひとり暮らし	274	44.5	43.8	38.7	31.4	9.9	1.5	5.1	31.8	0.7	1.1	1.1
	核家族世帯	695	24.5	65.0	30.4	28.1	7.9	2.2	16.1	24.0	1.6	0.9	0.3
	三世代世帯	32	21.9	62.5	31.3	28.1	15.6	0.0	18.8	28.1	3.1	0.0	0.0
	その他の世帯	436	49.1	36.7	17.2	16.3	13.5	2.1	6.0	30.0	0.9	1.4	1.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	41.2	48.2	25.5	24.1	10.6	2.2	9.6	31.7	1.2	0.6	0.8
	障害者手帳所持者がいる	227	26.9	66.5	25.1	23.8	4.0	2.6	10.6	32.2	2.2	0.9	0.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	44.1	47.1	47.1	32.4	2.9	17.6	8.8	0.0	2.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	38.7	50.7	30.7	34.7	12.0	4.0	13.3	26.7	1.3	0.0	1.3
	あてはまらない	320	27.5	56.3	24.1	22.8	12.8	1.3	16.6	22.2	1.6	1.9	0.3
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	27.6	62.1	50.0	34.5	10.3	1.7	10.3	19.0	3.4	0.0	1.7
	40～59歳	309	26.2	62.5	26.5	25.2	7.8	2.6	17.8	24.6	2.6	0.6	0.0
	60歳代	213	35.2	55.9	25.8	24.4	5.6	2.8	14.6	29.1	0.5	0.5	0.0
	70歳代	146	43.8	48.6	26.7	28.1	10.3	1.4	8.2	32.9	0.7	0.7	0.7
	80歳以上	120	55.0	38.3	29.2	21.7	8.3	1.7	4.2	40.8	0.0	0.8	1.7
	わからない	105	29.5	63.8	27.6	23.8	6.7	2.9	11.4	35.2	1.9	0.0	1.0
生活困窮	ゆとりがある	113	25.7	67.3	19.5	15.9	7.1	0.0	18.6	22.1	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	610	38.2	48.5	18.0	15.9	10.2	1.8	10.0	23.6	1.8	1.1	1.1
	やや苦しい	538	35.3	50.9	34.4	32.2	11.7	1.7	11.7	31.4	0.7	1.3	0.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	36.3	60.7	51.9	46.7	5.2	5.2	6.7	34.8	2.2	0.7	0.0
サービス	利用している	500	23.0	72.4	28.4	25.2	4.6	2.4	18.4	39.0	3.4	0.4	1.0
	利用していない	863	42.3	41.5	28.7	26.4	13.2	1.7	7.2	20.2	0.0	1.3	0.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	51.3	35.9	7.7	7.7	12.8	0.0	0.0	17.9	2.6	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	74	51.4	36.5	20.3	18.9	13.5	2.7	4.1	29.7	1.4	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	89	49.4	23.6	21.3	20.2	28.1	3.4	5.6	32.6	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	209	46.9	35.9	29.2	25.8	18.2	2.9	7.2	30.1	0.5	0.0	0.0
	10年以上	917	31.6	61.6	30.0	26.7	7.3	1.6	13.5	26.8	1.6	0.0	0.0
	わからない	56	19.6	83.9	44.6	28.6	1.8	1.8	16.1	30.4	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	41.7	48.9	24.6	24.9	11.8	3.5	7.0	100.0	1.3	0.0	0.0
	視覚障害がある	28	100.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	32.1	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	69	100.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	30.4	0.0	0.0	0.0

【障害についてで「身体障害者手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問　身体障害者手帳に記載されている障害名をお答えください。また、記載されている障害の程度（等級）についてもお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	11	－	－	－	－	－

「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害）」の割合が 29.7%、「聴覚障害」の割合が 14.0%となっています。

	調査数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害）	肢体不自由（体幹機能障害）	内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）	内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）	わからない	無回答	
全　体	492	5.9	14.0	0.4	1.6	29.7	10.6	36.0	1.2	2.6	3.9	(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『60～64 歳』で「肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害）」、『40～49 歳』で「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「肢体不自由（体幹機能障害）」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「肢体不自由（体幹機能障害）」「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）」の割合が高くなっています。

【障害の内容別の等級】

		調査数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答	
全　体		1,461	28.5	22.7	25.0	5.5	20.4	8.3	8.8	(%)
障害種別	視覚障害	29	27.6	34.5	3.4	6.9	17.2	6.9	3.4	
	聴覚障害	69		26.1	8.7	34.8		24.6	5.8	
	平衡機能障害	2			0.0		100.0		0.0	
	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	8			87.5	12.5			0.0	
	肢体不自由（上肢、下肢など）	146	10.3	17.8	14.4	31.5	15.8	5.5	4.8	
	肢体不自由（体幹機能障害）	52	15.4	30.8	15.4		34.6		3.8	
	内部障害（心臓、じん臓など）	177	55.4		8.5	29.4			6.8	
	内部障害（免疫、肝機能障害）	6	50.0	0.0	0.0	16.7			33.3	

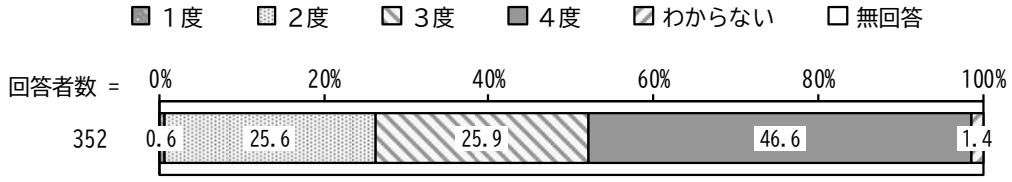
		調査数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害）	肢体不自由（体幹機能障害）	内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）	内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）	わからない	無回答
全　体		492	5.9	14.0	0.4	1.6	29.7	10.6	36.0	1.2	2.6	3.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	6	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
	30～39歳	5	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	40～49歳	15	13.3	6.7	0.0	0.0	40.0	0.0	46.7	0.0	6.7	0.0
	50～59歳	44	2.3	15.9	0.0	2.3	36.4	2.3	43.2	0.0	2.3	0.0
	60～64歳	38	7.9	7.9	0.0	2.6	57.9	7.9	18.4	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	44	4.5	2.3	0.0	2.3	50.0	11.4	29.5	0.0	2.3	0.0
	70歳以上	334	6.0	15.9	0.6	1.5	22.5	12.6	38.6	1.5	2.7	4.8
世帯構成	ひとり暮らし	110	3.6	13.6	1.8	0.0	32.7	13.6	31.8	0.0	1.8	5.5
	核家族世帯	160	6.9	13.1	0.0	2.5	28.8	7.5	38.1	0.6	4.4	3.1
	三世代世帯	7	0.0	28.6	0.0	0.0	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	205	6.8	15.1	0.0	2.0	28.3	12.2	37.1	2.4	2.0	2.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	201	4.0	14.4	0.0	2.5	28.9	10.0	42.8	0.5	1.5	1.5
	障害者手帳所持者がいる	56	7.1	21.4	0.0	3.6	25.0	8.9	23.2	5.4	7.1	7.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	26	11.5	7.7	0.0	0.0	30.8	7.7	34.6	0.0	7.7	7.7
	あてはまらない	84	9.5	10.7	0.0	1.2	34.5	9.5	32.1	1.2	4.8	1.2
介助者の年齢	17歳以下	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	16	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	43.8	25.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	77	11.7	7.8	0.0	1.3	29.9	6.5	39.0	2.6	2.6	2.6
	60歳代	74	2.7	13.5	1.4	0.0	35.1	12.2	36.5	0.0	2.7	1.4
	70歳代	60	6.7	13.3	0.0	3.3	26.7	11.7	43.3	1.7	0.0	3.3
	80歳以上	63	6.3	20.6	0.0	0.0	14.3	12.7	42.9	0.0	3.2	4.8
	わからない	28	3.6	17.9	3.6	3.6	35.7	17.9	28.6	7.1	10.7	0.0
生活困窮	ゆとりがある	29	6.9	10.3	3.4	0.0	20.7	13.8	48.3	0.0	10.3	0.0
	まあまあゆとりがある	226	5.8	17.3	0.0	1.8	27.9	8.0	36.7	0.0	2.7	3.5
	やや苦しい	180	5.6	11.7	0.6	2.2	33.3	12.2	34.4	1.1	1.7	2.8
	不自由が多く、生活が苦しい	36	11.1	8.3	0.0	0.0	27.8	16.7	41.7	11.1	2.8	0.0
サービス	利用している	105	5.7	10.5	1.9	0.0	34.3	19.0	33.3	1.9	1.0	3.8
	利用していない	350	5.1	14.0	0.0	2.0	30.6	8.3	37.4	0.6	2.9	2.6
障害に気づいた時期	１年未満	20	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	5.0	65.0	0.0	0.0	10.0
	１年以上、３年未満	36	2.8	19.4	0.0	8.3	11.1	8.3	55.6	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	44	6.8	13.6	0.0	4.5	22.7	9.1	40.9	0.0	4.5	4.5
	５年以上、10年未満	96	3.1	10.4	0.0	0.0	28.1	16.7	39.6	1.0	2.1	2.1
	10年以上	277	6.9	14.4	0.7	1.1	36.5	9.0	30.7	1.8	1.8	3.6
	わからない	7	14.3	57.1	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	139	0.0	0.0	0.0	2.9	34.5	18.7	42.4	1.4	2.9	7.2
	視覚障害がある	28	100.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	69	1.4	100.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	1.4	0.0	0.0

【障害についてで「愛の手帳（療育手帳）を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問　愛の手帳（療育手帳）に記載されている障害の程度をお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	－	11	－	－	－	－

「４度」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「３度」の割合が 25.9%、「２度」の割合が 25.6%となっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「４度」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『その他の世帯』で「２度」、『ひとり暮らし』で「４度」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「４度」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が上がるほど「３度」の割合が高い傾向にあり、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「２度」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』、『不自由が多く、生活が苦しい』で「４度」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「２度」「３度」の割合が高く、『利用していない』で「４度」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「２度」、『１年未満』で「３度」、『５年以上、10 年未満』で「４度」の割合が高くなっています。

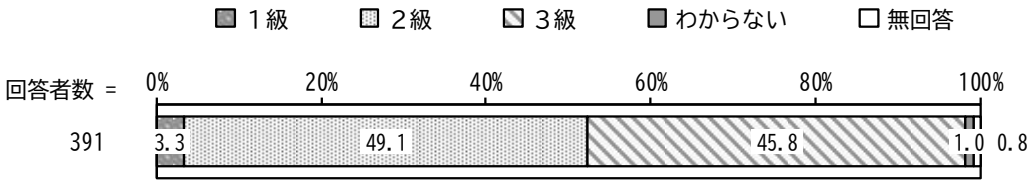
		調査数	1度	2度	3度	4度	わからない	無回答	
全　体		352	0.6	25.6	25.9	46.6	1.4	0.0	(%)
本人の年齢	18～19歳	21	0.0	0.0	33.3	61.9	4.8	0.0	
	20～29歳	98	0.0	30.6	28.6	40.8	0.0	0.0	
	30～39歳	104	1.9	28.8	24.0	45.2	0.0	0.0	
	40～49歳	62	0.0	21.0	30.6	48.4	0.0	0.0	
	50～59歳	39	0.0	30.8	12.8	51.3	5.1	0.0	
	60～64歳	9	0.0	11.1	22.2	66.7	0.0	0.0	
	65～69歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	70歳以上	13	0.0	30.8	23.1	30.8	15.4	0.0	
世帯構成	ひとり暮らし	13	0.0	7.7	0.0	92.3	0.0	0.0	
	核家族世帯	243	0.4	22.2	29.2	48.1	0.0	0.0	
	三世代世帯	10	0.0	30.0	20.0	50.0	0.0	0.0	
	その他の世帯	81	1.2	39.5	22.2	30.9	6.2	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	115	0.0	23.5	27.8	47.0	1.7	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	96	1.0	32.3	26.0	37.5	3.1	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	17	0.0	35.3	5.9	58.8	0.0	0.0	
	あてはまらない	99	1.0	21.2	30.3	47.5	0.0	0.0	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	7	0.0	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	
	40～59歳	108	0.0	34.3	25.0	38.9	1.9	0.0	
	60歳代	65	0.0	26.2	24.6	47.7	1.5	0.0	
	70歳代	32	0.0	21.9	31.3	46.9	0.0	0.0	
	80歳以上	12	0.0	8.3	50.0	41.7	0.0	0.0	
	わからない	38	2.6	36.8	21.1	36.8	2.6	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	54	0.0	11.1	22.2	64.8	1.9	0.0	
	まあまあゆとりがある	184	1.1	27.7	29.3	40.2	1.6	0.0	
	やや苦しい	87	0.0	29.9	25.3	43.7	1.1	0.0	
	不自由が多く、生活が苦しい	15	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	
サービス	利用している	220	0.5	37.7	29.5	30.0	2.3	0.0	
	利用していない	105	1.0	3.8	15.2	80.0	0.0	0.0	
障害に気づいた時期	１年未満	11	0.0	45.5	36.4	18.2	0.0	0.0	
	１年以上、３年未満	12	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
	３年以上、５年未満	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	５年以上、10年未満	14	0.0	0.0	7.1	92.9	0.0	0.0	
	10年以上	285	0.7	27.0	27.0	44.2	1.1	0.0	
	わからない	22	0.0	9.1	18.2	63.6	9.1	0.0	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	86	0.0	23.3	29.1	45.3	2.3	0.0	
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【障害についてで「精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問　精神障害者保健福祉手帳に記載されている障害の程度（等級）をお答えください。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	－	－	11	－	－	－

「１級」の割合が 3.3%、「２級」の割合が 49.1%、「３級」の割合が 45.8%となっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「１級」、『20～29 歳』で「３級」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「３級」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』、『あてはまらない』で「３級」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が上がるほど「２級」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「２級」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「２級」の割合が高く、『利用していない』で「３級」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「３級」の割合が高くなっています。

		調査数	1級	2級	3級	わからない	無回答
全　体		391	3.3	49.1	45.8	1.0	0.8
本人の年齢	18～19歳	6	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	20～29歳	53	0.0	32.1	66.0	1.9	0.0
	30～39歳	72	2.8	41.7	55.6	0.0	0.0
	40～49歳	78	1.3	55.1	39.7	1.3	2.6
	50～59歳	93	2.2	58.1	39.8	0.0	0.0
	60～64歳	42	2.4	54.8	40.5	2.4	0.0
	65～69歳	23	17.4	56.5	26.1	0.0	0.0
	70歳以上	22	13.6	45.5	36.4	4.5	0.0
世帯構成	ひとり暮らし	104	1.0	50.0	47.1	1.9	0.0
	核家族世帯	202	3.5	49.5	45.5	0.5	1.0
	三世代世帯	10	0.0	30.0	70.0	0.0	0.0
	その他の世帯	73	6.8	50.7	41.1	1.4	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	120	5.0	55.8	39.2	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	51	9.8	51.0	39.2	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	16	6.3	18.8	62.5	0.0	12.5
	病気などの理由で不自由な方がいる	21	4.8	52.4	38.1	0.0	4.8
	あてはまらない	77	1.3	35.1	62.3	1.3	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	29	3.4	27.6	69.0	0.0	0.0
	40～59歳	82	2.4	48.8	47.6	0.0	1.2
	60歳代	53	5.7	49.1	43.4	1.9	0.0
	70歳代	35	2.9	57.1	37.1	2.9	0.0
	80歳以上	32	6.3	59.4	28.1	3.1	3.1
	わからない	28	10.7	64.3	21.4	3.6	0.0
生活困窮	ゆとりがある	22	4.5	36.4	54.5	4.5	0.0
	まあまあゆとりがある	107	2.8	45.8	50.5	0.9	0.0
	やや苦しい	179	3.9	48.6	45.3	1.1	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	66	3.0	59.1	36.4	0.0	1.5
サービス	利用している	134	4.5	54.5	37.3	2.2	1.5
	利用していない	244	2.0	47.1	50.0	0.4	0.4
障害に気づいた時期	１年未満	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	14	0.0	21.4	71.4	7.1	0.0
	３年以上、５年未満	18	0.0	22.2	77.8	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	59	1.7	35.6	62.7	0.0	0.0
	10年以上	268	3.4	55.2	40.3	0.7	0.4
	わからない	24	12.5	41.7	37.5	4.2	4.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	87	8.0	66.7	23.0	1.1	1.1
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

【障害についてで「身体障害者手帳を持っている」～「難病医療費等助成対象疾病を患っている」「発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

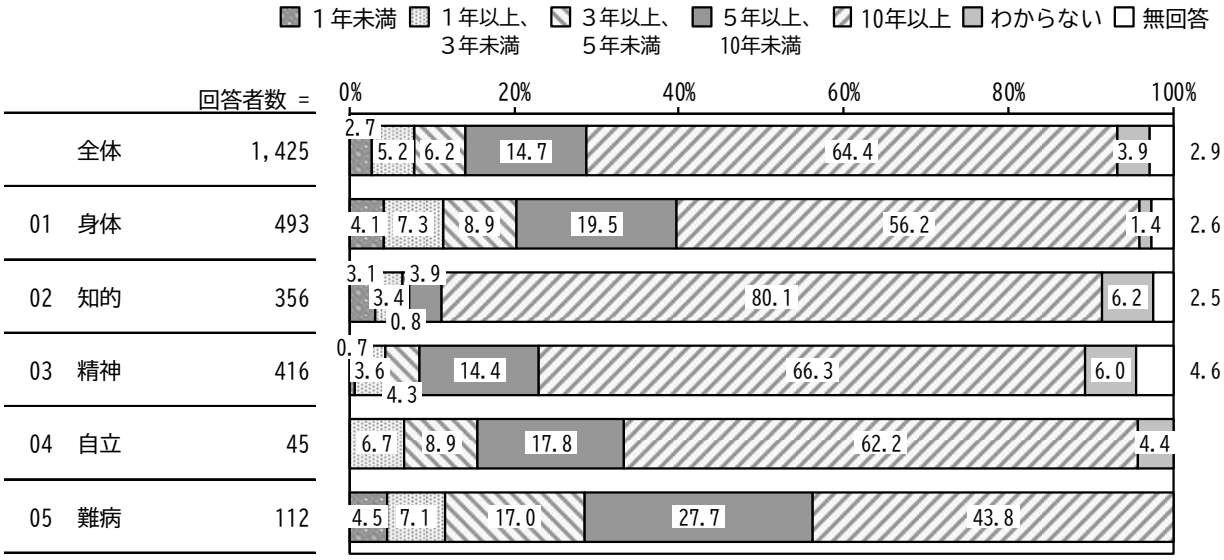
問　障害や疾病などがあることに気がついたのは、おおよそ何年前でしたか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	12	12	12	11	11	12

「10 年以上」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「５年以上、10 年未満」の割合が 14.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「３年以上、５年未満」「５年以上、10 年未満」、知的で「10 年以上」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『40～49 歳』で「10 年以上」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「３年以上、５年未満」「わからない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「５年以上、10 年未満」、『障害者手帳所持者がいる』で「10 年以上」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「10 年以上」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「10 年以上」の割合が高く、『利用していない』で「５年以上、10 年未満」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「10 年以上」の割合が低くなっています。

		調査数	1年未満	1年以上、3年未満	3年以上、5年未満	5年以上、10年未満	10年以上	わからない	無回答
全　体		1,425	2.7	5.2	6.2	14.7	64.4	3.9	2.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	0.0	7.4	7.4	66.7	11.1	7.4
	20～29歳	163	2.5	4.9	5.5	15.3	65.6	4.9	1.2
	30～39歳	195	3.1	3.1	2.6	12.8	73.3	4.1	1.0
	40～49歳	182	0.5	4.4	6.0	7.7	75.3	3.8	2.2
	50～59歳	224	0.4	6.3	5.4	13.4	66.5	4.0	4.0
	60～64歳	107	3.7	4.7	5.6	16.8	63.6	4.7	0.9
	65～69歳	90	3.3	4.4	4.4	18.9	60.0	5.6	3.3
	70歳以上	422	4.5	6.9	8.8	18.2	55.7	2.1	3.8
世帯構成	ひとり暮らし	267	1.9	6.4	4.1	16.1	63.7	3.7	4.1
	核家族世帯	682	3.1	4.4	6.0	13.3	67.2	3.8	2.2
	三世代世帯	32	0.0	0.0	12.5	12.5	62.5	12.5	0.0
	その他の世帯	423	2.6	6.4	7.6	16.1	61.2	3.3	2.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	493	3.0	5.1	7.1	13.6	65.5	4.5	1.2
	障害者手帳所持者がいる	223	2.2	3.6	6.7	10.8	71.3	2.2	3.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	33	0.0	6.1	6.1	21.2	63.6	0.0	3.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	73	2.7	1.4	6.8	19.2	63.0	1.4	5.5
	あてはまらない	310	3.5	4.2	8.4	15.2	63.2	2.9	2.6
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
	18～39歳	57	3.5	14.0	12.3	21.1	47.4	1.8	0.0
	40～59歳	305	2.0	5.2	5.2	12.8	71.1	1.6	2.0
	60歳代	210	2.4	3.3	4.8	16.7	67.6	4.3	1.0
	70歳代	144	2.1	5.6	8.3	11.8	66.7	4.2	1.4
	80歳以上	116	3.4	8.6	7.8	17.2	56.0	3.4	3.4
	わからない	103	3.9	3.9	4.9	10.7	67.0	6.8	2.9
生活困窮	ゆとりがある	112	3.6	5.4	4.5	15.2	62.5	8.0	0.9
	まあまあゆとりがある	591	3.4	5.6	8.1	13.5	63.5	3.7	2.2
	やや苦しい	528	1.7	4.7	5.1	16.9	65.7	3.2	2.7
	不自由が多く、生活が苦しい	134	3.0	6.7	5.2	13.4	62.7	3.0	6.0
サービス	利用している	490	2.7	3.9	4.9	10.6	71.0	4.5	2.4
	利用していない	844	2.7	5.2	7.2	16.9	62.7	3.0	2.3
障害に気づいた時期	１年未満	39	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	74	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	89	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	209	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	10年以上	917	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	わからない	56	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	365	1.9	4.9	6.6	16.4	63.0	4.1	3.0
	視覚障害がある	28	0.0	3.6	10.7	10.7	67.9	0.0	7.1
	聴覚障害がある	69	2.9	10.1	8.7	14.5	58.0	5.8	0.0

【障害についてで「精神障害者保健福祉手帳を持っている」「自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている」と回答された方にお聞きします。】

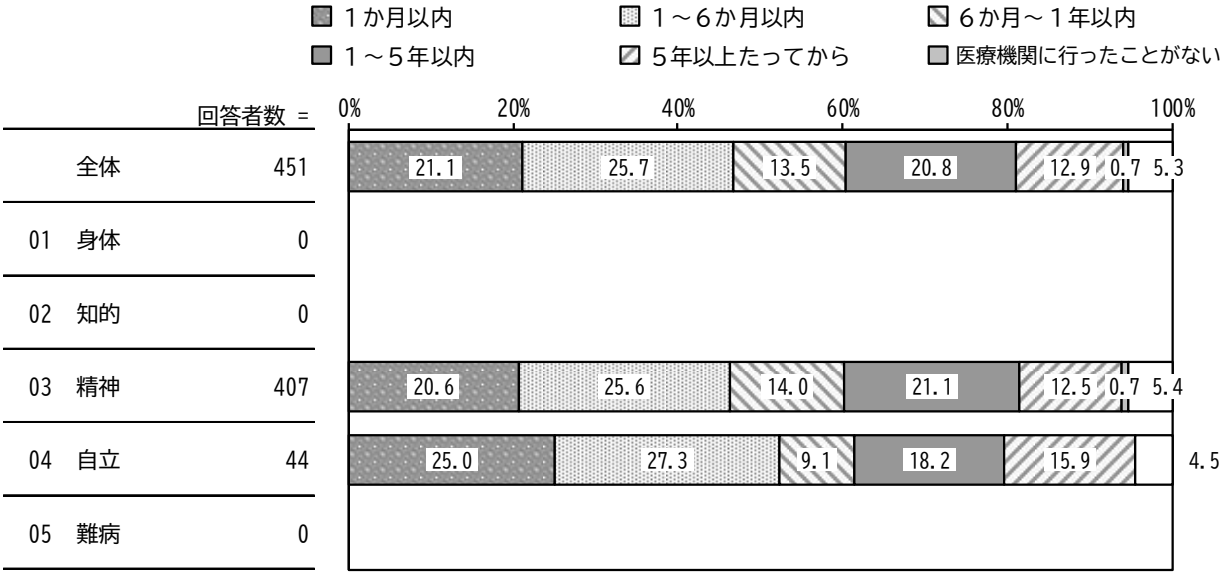
問　体調の変化に気がついてから、どれくらいで医療機関を受診しましたか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	－	－	13	12	－	－

「１～６か月以内」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「１か月以内」の割合が 21.1%、「１～５年以内」の割合が 20.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、大きな差はみられません。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳以上』で「１か月以内」、『30～39 歳』で「１～６か月以内」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「１～６か月以内」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「１か月以内」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「１～６か月以内」の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「１～５年以内」の割合が高く、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど「６か月～１年以内」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「１～５年以内」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、『利用している』で「１～５年以内」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「１～６か月以内」、『５年以上、10 年未満』で「１～５年以内」の割合が高くなっています。

		調査数	1か月以内	1～6か月以内	6か月～1年以内	1～5年以内	5年以上たってから	医療機関に行ったことがない	無回答
全　体		451	21.1	25.7	13.5	20.8	12.9	0.7	5.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	6	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	55	20.0	29.1	7.3	27.3	10.9	0.0	5.5
	30～39歳	79	15.2	38.0	10.1	16.5	16.5	1.3	2.5
	40～49歳	92	16.3	22.8	15.2	20.7	18.5	0.0	6.5
	50～59歳	112	25.0	24.1	17.0	19.6	9.8	0.9	3.6
	60～64歳	47	25.5	21.3	17.0	19.1	12.8	0.0	4.3
	65～69歳	28	25.0	21.4	17.9	14.3	7.1	3.6	10.7
	70歳以上	28	35.7	14.3	10.7	25.0	7.1	0.0	7.1
世帯構成	ひとり暮らし	115	19.1	27.0	16.5	16.5	15.7	1.7	3.5
	核家族世帯	233	21.0	24.9	12.9	22.3	13.3	0.4	5.2
	三世代世帯	11	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0
	その他の世帯	88	25.0	25.0	12.5	22.7	8.0	0.0	6.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	133	21.1	21.8	16.5	20.3	15.0	0.8	4.5
	障害者手帳所持者がいる	59	27.1	18.6	15.3	16.9	18.6	0.0	3.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	20	30.0	15.0	15.0	20.0	15.0	0.0	5.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	26	11.5	26.9	15.4	26.9	15.4	0.0	3.8
	あてはまらない	94	17.0	29.8	8.5	28.7	9.6	0.0	6.4
介助者の年齢	17歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	18～39歳	30	10.0	40.0	10.0	26.7	13.3	0.0	0.0
	40～59歳	98	21.4	25.5	12.2	26.5	7.1	0.0	7.1
	60歳代	60	18.3	25.0	16.7	25.0	11.7	0.0	3.3
	70歳代	41	22.0	29.3	9.8	24.4	7.3	0.0	7.3
	80歳以上	34	32.4	14.7	23.5	11.8	11.8	0.0	5.9
	わからない	30	16.7	16.7	20.0	26.7	10.0	3.3	6.7
生活困窮	ゆとりがある	25	20.0	28.0	16.0	8.0	16.0	0.0	12.0
	まあまあゆとりがある	125	24.8	21.6	13.6	24.0	11.2	1.6	3.2
	やや苦しい	207	19.8	28.0	13.0	20.3	13.0	0.5	5.3
	不自由が多く、生活が苦しい	74	16.2	27.0	13.5	23.0	14.9	0.0	5.4
サービス	利用している	146	19.9	23.3	15.1	24.0	11.6	0.7	5.5
	利用していない	289	21.5	27.3	12.8	18.7	14.2	0.7	4.8
障害に気づいた時期	１年未満	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	１年以上、３年未満	18	27.8	50.0	5.6	16.7	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	22	18.2	59.1	9.1	13.6	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	68	26.5	25.0	11.8	30.9	5.9	0.0	0.0
	10年以上	300	22.0	23.3	16.3	20.0	16.7	0.3	1.3
	わからない	26	7.7	19.2	0.0	23.1	15.4	3.8	30.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	104	23.1	25.0	9.6	26.0	10.6	0.0	5.8
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【障害についてで「精神障害者保健福祉手帳を持っている」～「難病医療費等助成対象疾病を患っている」と回答された方にお聞きします。】

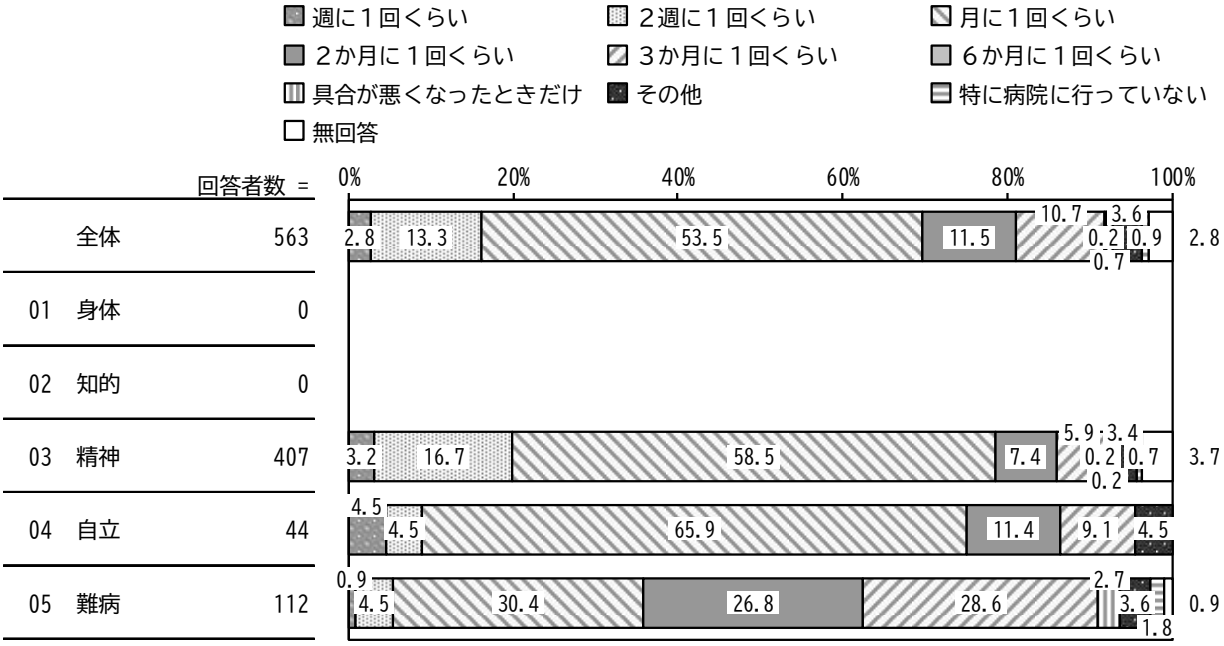
問　この１年間で、精神的な不調のために通っている医療機関への通院頻度をお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	－	－	14	13	12	－

「月に１回くらい」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「２週に１回くらい」の割合が 13.3%、「２か月に１回くらい」の割合が 11.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「月に１回くらい」、難病で「２か月に１回くらい」「３か月に１回くらい」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』、『70 歳以上』で「月に１回くらい」の割合が低くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「３か月に１回くらい」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「３か月に１回くらい」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「２週に１回くらい」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「月に１回くらい」の割合が高く、『利用していない』で「３か月に１回くらい」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「週に１回くらい」「２週に１回くらい」、『３年以上、５年未満』で「２か月に１回くらい」の割合が高くなっています。

		調査数	週に1回くらい	2週に1回くらい	月に1回くらい	2か月に1回くらい	3か月に1回くらい	6か月に1回くらい	具合が悪くなったときだけ	その他	特に病院に行っていない	無回答
全　体		563	2.8	13.3	53.5	11.5	10.7	0.2	0.7	3.6	0.9	2.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	6	0.0	0.0	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	20～29歳	57	3.5	21.1	40.4	14.0	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0
	30～39歳	85	4.7	20.0	55.3	9.4	5.9	0.0	0.0	1.2	1.2	2.4
	40～49歳	103	1.9	13.6	63.1	8.7	5.8	0.0	0.0	2.9	1.0	2.9
	50～59歳	136	4.4	11.8	57.4	8.8	12.5	0.7	0.7	1.5	0.7	1.5
	60～64歳	59	1.7	11.9	61.0	13.6	8.5	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7
	65～69歳	42	0.0	9.5	47.6	19.0	7.1	0.0	0.0	7.1	2.4	7.1
	70歳以上	70	1.4	5.7	40.0	17.1	17.1	0.0	4.3	10.0	1.4	2.9
世帯構成	ひとり暮らし	136	4.4	18.4	50.0	11.0	7.4	0.0	0.0	4.4	0.7	3.7
	核家族世帯	275	2.9	13.5	56.7	10.2	10.5	0.4	0.0	2.5	1.1	2.2
	三世代世帯	15	0.0	0.0	46.7	13.3	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	132	1.5	9.1	52.3	14.4	11.4	0.0	3.0	5.3	0.8	2.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	175	1.1	11.4	54.3	11.4	13.7	0.0	1.1	4.6	2.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	66	0.0	15.2	48.5	12.1	15.2	1.5	0.0	7.6	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	30	3.3	10.0	46.7	6.7	23.3	0.0	0.0	3.3	0.0	6.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	28	3.6	14.3	42.9	17.9	10.7	0.0	0.0	10.7	0.0	0.0
	あてはまらない	126	4.0	6.3	54.8	15.9	11.9	0.0	1.6	1.6	0.0	4.0
介助者の年齢	17歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	18～39歳	34	5.9	8.8	67.6	11.8	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0
	40～59歳	118	2.5	13.6	54.2	12.7	9.3	0.8	1.7	0.8	0.0	4.2
	60歳代	69	1.4	13.0	53.6	20.3	7.2	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4
	70歳代	50	4.0	14.0	60.0	4.0	6.0	0.0	0.0	6.0	2.0	4.0
	80歳以上	39	2.6	12.8	59.0	10.3	7.7	0.0	0.0	5.1	0.0	2.6
	わからない	34	2.9	17.6	41.2	5.9	5.9	0.0	2.9	17.6	2.9	2.9
生活困窮	ゆとりがある	29	0.0	24.1	44.8	6.9	13.8	0.0	0.0	6.9	0.0	3.4
	まあまあゆとりがある	177	0.6	12.4	50.3	14.1	14.7	0.6	1.1	3.4	1.7	1.1
	やや苦しい	252	4.4	11.5	56.7	11.1	9.5	0.0	0.4	3.2	0.4	2.8
	不自由が多く、生活が苦しい	78	3.8	16.7	59.0	9.0	3.8	0.0	0.0	1.3	1.3	5.1
サービス	利用している	159	4.4	13.8	57.9	8.2	5.7	0.6	0.6	2.5	2.5	3.8
	利用していない	380	2.4	13.4	52.4	12.4	12.9	0.0	0.3	3.4	0.3	2.6
障害に気づいた時期	１年未満	8	0.0	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
	１年以上、３年未満	26	11.5	19.2	50.0	11.5	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0
	３年以上、５年未満	41	0.0	14.6	48.8	17.1	14.6	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0
	５年以上、10年未満	99	3.0	11.1	50.5	13.1	14.1	0.0	1.0	6.1	0.0	1.0
	10年以上	349	2.3	13.2	57.6	10.9	10.0	0.3	0.3	4.0	0.6	0.9
	わからない	26	3.8	7.7	57.7	11.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	135	4.4	17.0	45.9	11.1	8.9	0.0	1.5	5.2	2.2	3.7
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【障害についてで「精神障害者保健福祉手帳を持っている」～「難病医療費等助成対象疾病病を患っている」と回答された方にお聞きします。】

問　通院の際に困っていることをお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	－	－	15	14	13	－

「病院までの移動が困難」の割合が 20.8%と最も高く、次いで「予定日の当日に体調不良で通院できない」の割合が 16.7%、「経済的な負担が大きい」の割合が 15.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「経済的な負担が大きい」、自立で「仕事を休みづらい（休めない）」の割合が高くなっています。

		調査数	予定日の当日に体調不良で通院できない	経済的な負担が大きい	病院までの移動が困難	同伴者がいない	介助者の負担が大きい	仕事を休みづらい（休めない）	主治医との意思疎通がとりづらい	病院を変えたいが相談できない	その他	特にない	無回答
全　体		563	16.7	15.8	20.8	5.2	5.0	8.5	9.6	3.2	9.4	40.5	2.8 (%)
障害種別	身体	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神	407	20.6	14.5	22.6	5.7	5.7	6.1	11.8	3.4	9.6	37.8	3.7
	自立	44	11.4	13.6	9.1	0.0	0.0	18.2	4.5	2.3	4.5	52.3	0.0
	難病	112	4.5	21.4	18.8	5.4	4.5	13.4	3.6	2.7	10.7	45.5	0.9

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『30～39 歳』で「予定日の当日に体調不良で通院できない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「病院までの移動が困難」「主治医との意思疎通がとりづらい」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「予定日の当日に体調不良で通院できない」「仕事を休みづらい（休めない）」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「予定日の当日に体調不良で通院できない」「経済的な負担が大きい」「同伴者がいない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「経済的な負担が大きい」「仕事を休みづらい（休めない）」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「経済的な負担が大きい」「主治医との意思疎通がとりづらい」、『１年以上、３年未満』、『５年以上、10 年未満』で「仕事を休みづらい（休めない）」の割合が高くなっています。

		調査数	予定日の当日に体調不良で通院できない	経済的な負担が大きい	病院までの移動が困難	同伴者がいない	介助者の負担が大きい	仕事を休みづらい（休めない）	主治医との意思疎通がとりづらい	病院を変えたいが相談できない	その他	特にない	無回答
全　体		563	16.7	15.8	20.8	5.2	5.0	8.5	9.6	3.2	9.4	40.5	2.8
本人の年齢	18～19歳	6	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0
	20～29歳	57	14.0	21.1	29.8	3.5	7.0	10.5	8.8	3.5	8.8	47.4	0.0
	30～39歳	85	27.1	21.2	18.8	2.4	4.7	9.4	18.8	3.5	9.4	30.6	2.4
	40～49歳	103	19.4	15.5	22.3	4.9	5.8	12.6	8.7	2.9	12.6	35.0	2.9
	50～59歳	136	17.6	15.4	19.9	5.9	3.7	11.0	7.4	2.9	6.6	41.9	2.2
	60～64歳	59	20.3	10.2	16.9	13.6	3.4	6.8	6.8	1.7	10.2	42.4	3.4
	65～69歳	42	0.0	14.3	14.3	2.4	0.0	2.4	9.5	4.8	11.9	45.2	4.8
	70歳以上	70	7.1	14.3	24.3	4.3	8.6	1.4	5.7	1.4	10.0	45.7	2.9
世帯構成	ひとり暮らし	136	21.3	13.2	17.6	7.4	0.7	8.8	7.4	2.9	10.3	39.0	2.2
	核家族世帯	275	14.2	16.0	21.5	4.7	5.8	9.1	10.9	2.9	10.2	41.8	2.9
	三世代世帯	15	6.7	13.3	33.3	0.0	6.7	6.7	20.0	0.0	6.7	46.7	0.0
	その他の世帯	132	18.9	18.9	22.0	4.5	7.6	7.6	8.3	3.8	7.6	37.9	2.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	175	10.3	15.4	22.3	0.6	8.6	5.1	13.7	4.6	10.3	43.4	1.7
	障害者手帳所持者がいる	66	22.7	16.7	33.3	9.1	3.0	3.0	12.1	4.5	12.1	34.8	1.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	30	20.0	30.0	26.7	16.7	0.0	20.0	10.0	3.3	20.0	20.0	3.3
	病気などの理由で不自由な方がいる	28	21.4	14.3	17.9	7.1	10.7	7.1	17.9	7.1	10.7	46.4	3.6
	あてはまらない	126	16.7	18.3	19.0	6.3	7.1	12.7	9.5	0.8	6.3	40.5	3.2
介助者の年齢	17歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	18～39歳	34	47.1	23.5	32.4	17.6	0.0	20.6	14.7	0.0	5.9	20.6	0.0
	40～59歳	118	25.4	14.4	25.4	3.4	10.2	13.6	10.2	2.5	5.9	31.4	2.5
	60歳代	69	20.3	18.8	29.0	2.9	8.7	7.2	15.9	2.9	10.1	40.6	1.4
	70歳代	50	10.0	22.0	20.0	0.0	6.0	4.0	10.0	4.0	14.0	40.0	2.0
	80歳以上	39	7.7	12.8	25.6	2.6	7.7	2.6	10.3	2.6	7.7	43.6	5.1
	わからない	34	11.8	26.5	17.6	11.8	2.9	2.9	5.9	0.0	14.7	29.4	2.9
生活困窮	ゆとりがある	29	13.8	10.3	13.8	0.0	3.4	3.4	3.4	0.0	10.3	58.6	6.9
	まあまあゆとりがある	177	5.6	8.5	11.9	1.1	2.3	7.3	3.4	0.6	6.2	61.6	0.6
	やや苦しい	252	19.0	19.0	26.2	5.2	7.1	10.7	12.7	5.2	12.3	28.2	3.2
	不自由が多く、生活が苦しい	78	34.6	28.2	29.5	15.4	6.4	9.0	15.4	3.8	6.4	23.1	2.6
サービス	利用している	159	18.9	10.7	23.9	4.4	8.2	3.8	8.8	1.3	9.4	40.3	3.8
	利用していない	380	16.1	17.9	20.0	5.3	3.4	10.0	9.5	3.4	9.5	41.1	2.1
障害に気づいた時期	１年未満	8	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	１年以上、３年未満	26	15.4	19.2	23.1	3.8	3.8	15.4	7.7	7.7	15.4	42.3	0.0
	３年以上、５年未満	41	9.8	19.5	17.1	2.4	4.9	4.9	0.0	0.0	17.1	48.8	0.0
	５年以上、10年未満	99	12.1	22.2	20.2	8.1	3.0	18.2	16.2	3.0	9.1	35.4	2.0
	10年以上	349	20.9	14.3	22.6	5.4	5.2	6.9	9.5	3.2	6.9	41.0	0.9
	わからない	26	0.0	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	30.8	46.2	7.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	135	15.6	13.3	22.2	6.7	8.1	3.0	7.4	0.7	11.1	37.8	3.7
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

※発達障害者調査については、回収数が少なく、統計的な有意性を担保できないことから、結果を割愛しています。

【障害についてで「発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

問　診断内容をお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	－	－	－	－	－	11

【障害についてで「発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

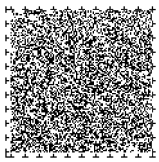
問　発達障害であると感じた際の相談先はどこですか。また、相談した人がいれば併せてお答えください。【○はいくつでも】

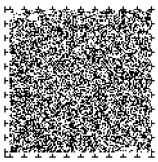
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	－	－	－	－	－	13

【発達障害と知った時の相談先で「特に相談していない」と回答された方にお聞きします。】

問　相談されなかった理由をお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	－	－	－	－	－	14





【障害についてで「訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	13	13	16	15	14	15

「リハビリテーション」の割合が 14.4%と最も高くなっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「自己注射」「リハビリテーション」の割合が高くなっています。

		調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開（それに伴う処置）	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にない	無回答
全　体		404	1.0	4.0	14.4	1.0	0.5	2.2	1.7	0.5	1.0	0.2	2.2	1.7	0.5	17.8	55.0	5.0
障害種別	身体	173	1.7	4.0	25.4	2.3	1.2	4.6	2.3	0.6	2.3	0.6	5.2	2.9	1.2	16.8	38.7	5.8
	知的	89	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	86.5	1.1
	精神	100	1.0	2.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0	59.0	8.0
	自立	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	40.0	10.0
	難病	32	0.0	15.6	28.1	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	15.6	46.9	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳以上』で「リハビリテーション」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『その他の世帯』で「リハビリテーション」の割合が高くなっています。

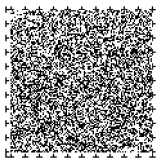
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「リハビリテーション」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「リハビリテーション」「褥瘡処置」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「自己注射」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「リハビリテーション」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「リハビリテーション」の割合が高くなっています。



		調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開（それに伴う処置）	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にない	無回答
全　体		404	1.0	4.0	14.4	1.0	0.5	2.2	1.7	0.5	1.0	0.2	2.2	1.7	0.5	17.8	55.0	5.0
本人の年齢	18～19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～29歳	22	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	86.4	0.0
	30～39歳	40	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	82.5	2.5
	40～49歳	39	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.9	74.4	7.7
	50～59歳	55	1.8	3.6	9.1	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	5.5	1.8	0.0	18.2	54.5	7.3
	60～64歳	33	0.0	9.1	15.2	9.1	3.0	6.1	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	54.5	6.1
	65～69歳	32	0.0	9.4	12.5	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	62.5	0.0
	70歳以上	171	1.8	2.9	25.1	0.6	0.6	3.5	2.3	0.0	2.3	0.6	3.5	2.9	1.2	20.5	38.6	5.3
世帯構成	ひとり暮らし	87	2.3	3.4	14.9	1.1	1.1	3.4	1.1	1.1	1.1	0.0	5.7	0.0	1.1	25.3	43.7	6.9
	核家族世帯	167	0.6	3.0	9.6	0.6	0.6	2.4	1.2	0.0	0.6	0.6	0.6	3.6	0.6	14.4	64.1	3.6
	三世代世帯	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8	11.1
	その他の世帯	131	0.8	5.3	21.4	1.5	0.0	1.5	2.3	0.8	1.5	0.0	2.3	0.0	0.0	17.6	51.1	3.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	159	1.3	3.8	17.0	0.6	0.6	1.9	1.9	0.0	0.6	0.6	1.9	1.3	0.0	18.2	52.2	5.0
	障害者手帳所持者がいる	73	2.7	1.4	9.6	1.4	0.0	4.1	2.7	1.4	1.4	1.4	2.7	1.4	0.0	13.7	60.3	4.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	20	0.0	0.0	30.0	5.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	10.0	60.0	0.0
	あてはまらない	71	0.0	5.6	8.5	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	5.6	1.4	9.9	73.2	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	11	0.0	0.0	36.4	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	54.5	0.0
	40～59歳	76	0.0	2.6	14.5	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3	19.7	59.2	2.6
	60歳代	62	3.2	3.2	11.3	1.6	0.0	3.2	1.6	1.6	1.6	0.0	4.8	4.8	0.0	24.2	53.2	3.2
	70歳代	48	0.0	4.2	16.7	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	22.9	52.1	6.3
	80歳以上	49	0.0	2.0	22.4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	12.2	49.0	8.2
	わからない	37	0.0	2.7	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	0.0	0.0	24.3	45.9	8.1
生活困窮	ゆとりがある	25	4.0	4.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0
	まあまあゆとりがある	144	1.4	1.4	17.4	0.7	0.0	2.1	2.1	0.0	1.4	0.7	0.7	2.8	0.7	14.6	60.4	4.2
	やや苦しい	169	0.0	4.1	11.2	1.8	1.2	1.8	1.8	1.2	1.2	0.0	3.0	0.6	0.0	20.7	53.8	4.7
	不自由が多く、生活が苦しい	47	2.1	10.6	14.9	0.0	0.0	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	2.1	2.1	17.0	42.6	8.5
サービス	利用している	195	1.0	3.6	19.5	0.5	0.0	3.1	1.0	0.0	2.1	0.5	1.5	1.5	0.5	19.5	47.7	5.6
	利用していない	174	0.6	4.6	7.5	1.1	1.1	1.1	1.7	0.6	0.0	0.0	3.4	1.7	0.6	15.5	64.4	3.4
障害に気づいた時期	１年未満	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	57.1	14.3
	１年以上、３年未満	22	4.5	0.0	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	18.2	45.5	4.5
	３年以上、５年未満	29	0.0	10.3	24.1	3.4	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	55.2	3.4
	５年以上、10年未満	63	4.8	6.3	28.6	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	1.6	1.6	4.8	1.6	0.0	14.3	47.6	0.0
	10年以上	246	0.0	3.7	10.6	0.4	0.4	2.4	0.8	0.4	1.2	0.0	2.0	1.2	0.8	18.7	58.1	4.9
	わからない	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	58.8	17.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	0.8	4.3	14.4	1.1	0.5	2.1	1.9	0.5	1.1	0.3	2.4	1.9	0.5	18.7	53.7	5.1
	視覚障害がある	9	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0
	聴覚障害がある	21	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	66.7	4.8

(%)

【障害についてで「訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問　あなたは、医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	14	14	17	16	15	16

「医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない」の割合が 15.8%と最も高く、次いで「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など)」の割合が 15.1%、「経済的な負担が大きい」の割合が 10.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「一時的に預かってくれるサービスの不足」、難病で「医療的ケアに対応できる専門医の不足」、身体で「経済的な負担が大きい」「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など)」の割合が高くなっています。

		調査数	一時的に預かってくれるサービスの不足	医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	医療的ケアに対応できる専門医の不足	経済的な負担が大きい	保護者や介護者などの就労に制限がある	災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）	チューブの自己抜去などの本人の行動特性	その他	医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない	無回答
全　体		404	4.2	5.4	4.0	3.2	4.2	10.9	5.4	15.1	0.7	6.9	15.8	47.0
障害種別	身体	173	4.6	8.1	5.8	2.3	5.8	17.9	7.5	22.5	1.7	6.4	12.7	41.6
	知的	89	3.4	5.6	2.2	3.4	1.1	6.7	3.4	6.7	0.0	10.1	15.7	57.3
	精神	100	4.0	3.0	4.0	6.0	3.0	5.0	6.0	15.0	0.0	6.0	20.0	42.0
	自立	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	60.0
	難病	32	3.1	0.0	0.0	0.0	9.4	6.3	0.0	3.1	0.0	3.1	18.8	59.4

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など)」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「医療的ケアに対応できる専門医の不足」「経済的な負担が大きい」「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など)」、『ゆとりがある』で「医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足」「医療的ケアに対応できる専門医の不足」「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など)」「医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない」の割合が高くなっています。

		調査数	一時的に預かってくれるサービスの不足	医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	医療的ケアに対応できる専門医の不足	経済的な負担が大きい	保護者や介護者などの就労に制限がある	災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）	チューブの自己抜去などの本人の行動特性	その他	医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない	無回答
全　体		404	4.2	5.4	4.0	3.2	4.2	10.9	5.4	15.1	0.7	6.9	15.8	47.0 (%)
本人の年齢	18～19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0
	20～29歳	22	0.0	4.5	4.5	13.6	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	22.7	59.1
	30～39歳	40	7.5	5.0	2.5	5.0	5.0	2.5	2.5	7.5	0.0	7.5	17.5	50.0
	40～49歳	39	5.1	5.1	2.6	0.0	2.6	7.7	2.6	12.8	0.0	10.3	7.7	56.4
	50～59歳	55	3.6	3.6	3.6	5.5	3.6	5.5	1.8	9.1	0.0	14.5	21.8	49.1
	60～64歳	33	6.1	6.1	6.1	3.0	3.0	6.1	9.1	24.2	0.0	3.0	15.2	42.4
	65～69歳	32	0.0	9.4	3.1	6.3	0.0	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	56.3
	70歳以上	171	4.7	5.8	4.7	1.2	5.8	17.5	6.4	21.1	1.8	6.4	15.8	39.2
世帯構成	ひとり暮らし	87	3.4	6.9	2.3	3.4	5.7	14.9	3.4	21.8	1.1	6.9	20.7	37.9
	核家族世帯	167	5.4	6.0	3.6	5.4	4.2	11.4	5.4	13.2	0.6	8.4	15.0	47.3
	三世代世帯	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8
	その他の世帯	131	3.8	4.6	6.1	0.8	3.8	7.6	6.9	14.5	0.8	6.1	13.7	49.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	159	3.8	3.1	2.5	2.5	3.8	13.8	5.0	14.5	0.6	6.9	11.3	48.4
	障害者手帳所持者がいる	73	4.1	9.6	8.2	8.2	2.7	12.3	12.3	15.1	0.0	13.7	15.1	32.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	20	5.0	5.0	0.0	10.0	0.0	15.0	0.0	25.0	0.0	10.0	25.0	30.0
	あてはまらない	71	2.8	1.4	4.2	2.8	5.6	4.2	7.0	9.9	1.4	4.2	19.7	57.7
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	11	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0	27.3	0.0	9.1	9.1	45.5
	40～59歳	76	3.9	1.3	7.9	3.9	7.9	2.6	10.5	13.2	1.3	5.3	21.1	47.4
	60歳代	62	8.1	6.5	4.8	6.5	0.0	9.7	9.7	22.6	1.6	6.5	11.3	45.2
	70歳代	48	10.4	6.3	2.1	0.0	2.1	20.8	0.0	8.3	0.0	6.3	10.4	52.1
	80歳以上	49	0.0	4.1	2.0	0.0	2.0	14.3	8.2	24.5	2.0	8.2	10.2	42.9
	わからない	37	0.0	10.8	8.1	5.4	5.4	16.2	0.0	18.9	0.0	5.4	16.2	43.2
生活困窮	ゆとりがある	25	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	8.0	4.0	12.0	0.0	4.0	40.0	36.0
	まあまあゆとりがある	144	4.2	3.5	4.2	2.8	2.8	6.9	3.5	9.7	0.7	6.3	16.7	51.4
	やや苦しい	169	3.0	5.3	2.4	3.0	3.6	12.4	5.9	16.0	1.2	8.3	13.0	46.7
	不自由が多く、生活が苦しい	47	8.5	14.9	10.6	8.5	14.9	23.4	10.6	27.7	0.0	8.5	6.4	38.3
サービス	利用している	195	5.6	7.2	5.6	3.1	5.6	14.4	8.7	17.9	1.0	8.2	16.9	37.9
	利用していない	174	2.9	3.4	2.3	3.4	1.7	8.0	2.3	12.1	0.0	4.6	14.4	56.3
障害に気づいた時期	１年未満	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1
	１年以上、３年未満	22	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	27.3	4.5	4.5	0.0	4.5	31.8	27.3
	３年以上、５年未満	29	3.4	10.3	6.9	6.9	13.8	17.2	3.4	27.6	0.0	10.3	6.9	41.4
	５年以上、10年未満	63	4.8	9.5	4.8	6.3	9.5	17.5	6.3	19.0	0.0	0.0	28.6	36.5
	10年以上	246	4.9	5.3	4.5	2.4	2.4	8.9	5.3	14.6	1.2	8.9	9.8	51.2
	わからない	17	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	5.9	0.0	5.9	41.2	35.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	3.7	4.8	2.9	2.7	3.5	10.2	5.1	14.4	0.8	7.2	15.5	47.3
	視覚障害がある	9	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1	33.3
	聴覚障害がある	21	4.8	9.5	9.5	4.8	9.5	14.3	4.8	23.8	0.0	4.8	23.8	47.6

問　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	15	15	18	17	16	17

「受けていない、または非該当」の割合が 63.3%と最も高くなっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「受けていない、または非該当」の割合が高くなっています。

		調査数	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	受けていない、または非該当	わからない	無回答
全　体		1,461	3.2	2.4	3.9	2.7	1.8	1.8	1.6	63.3	5.3	14.0 (%)
障害種別	身体	511	6.8	5.3	9.4	5.7	3.9	4.1	2.9	44.0	3.5	14.3
	知的	358	0.6	0.3	0.3	0.6	0.0	0.6	0.6	69.6	9.2	18.4
	精神	421	1.0	1.0	1.2	0.7	0.5	0.5	0.7	77.0	5.9	11.6
	自立	47	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.1	2.1	10.6
	難病	121	5.0	1.7	2.5	4.1	3.3	0.8	2.5	69.4	0.8	9.9

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「受けていない、または非該当」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「受けていない、または非該当」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「受けていない、または非該当」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『80 歳以上』で「受けていない、または非該当」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「受けていない、または非該当」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「受けていない、または非該当」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「要支援２」の割合が高くなっています。

		調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	受けていない、または非該当	わからない	無回答
全　体		1,461	3.2	2.4	3.9	2.7	1.8	1.8	1.6	63.3	5.3	14.0
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0
	20～29歳	164	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	74.4	7.9	17.1
	30～39歳	195	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.1	4.6	13.3
	40～49歳	185	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	1.1	0.0	78.4	4.3	15.1
	50～59歳	229	0.0	1.7	0.0	0.4	1.7	0.0	0.0	75.5	9.2	11.4
	60～64歳	109	0.9	1.8	0.9	1.8	0.9	2.8	2.8	75.2	5.5	7.3
	65～69歳	91	4.4	1.1	6.6	2.2	3.3	1.1	2.2	59.3	2.2	17.6
	70歳以上	444	9.2	6.1	10.8	7.7	3.8	4.5	3.8	35.8	3.2	15.1
世帯構成	ひとり暮らし	274	6.2	4.4	6.2	4.4	1.8	2.2	0.4	55.5	5.8	13.1
	核家族世帯	695	1.7	1.2	2.4	1.6	1.4	1.2	1.3	71.7	4.3	13.2
	三世代世帯	32	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	75.0	9.4	12.5
	その他の世帯	436	3.9	3.4	5.0	3.4	2.3	2.5	3.0	54.8	6.2	15.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	3.8	2.4	4.4	3.8	2.8	2.2	1.8	61.4	4.2	13.3
	障害者手帳所持者がいる	227	3.1	2.6	2.2	2.2	1.3	2.6	2.6	57.7	8.8	16.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2	2.9	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	4.0	6.7	5.3	4.0	0.0	5.3	5.3	56.0	4.0	9.3
	あてはまらない	320	1.6	1.3	3.1	0.6	0.9	0.6	1.9	73.1	4.7	12.2
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	3.4	0.0	0.0	1.7	0.0	3.4	1.7	69.0	10.3	10.3
	40～59歳	309	1.9	2.6	4.5	1.9	1.6	1.3	1.3	64.7	6.1	13.9
	60歳代	213	3.3	3.8	2.3	2.3	0.0	2.8	2.8	64.8	5.2	12.7
	70歳代	146	2.1	0.7	3.4	3.4	2.1	2.1	2.7	67.1	2.1	14.4
	80歳以上	120	5.0	5.0	6.7	5.0	3.3	3.3	0.8	49.2	6.7	15.0
	わからない	105	4.8	1.9	11.4	5.7	5.7	1.9	4.8	41.0	10.5	12.4
生活困窮	ゆとりがある	113	1.8	3.5	4.4	2.7	0.9	0.0	0.9	63.7	8.0	14.2
	まあまあゆとりがある	610	3.8	1.8	4.4	1.5	2.0	1.6	1.6	65.1	4.6	13.6
	やや苦しい	538	3.0	2.4	3.3	3.9	1.7	1.3	1.9	64.9	4.5	13.2
	不自由が多く、生活が苦しい	135	2.2	3.7	3.0	3.7	1.5	5.2	1.5	58.5	10.4	10.4
サービス	利用している	500	4.4	3.0	4.2	4.8	3.2	2.6	2.6	53.4	7.4	14.4
	利用していない	863	2.5	2.1	3.2	1.4	0.8	1.3	0.8	72.3	3.8	11.7
障害に気づいた時期	１年未満	39	5.1	5.1	10.3	0.0	7.7	2.6	2.6	51.3	5.1	10.3
	１年以上、３年未満	74	1.4	0.0	6.8	1.4	5.4	0.0	2.7	63.5	2.7	16.2
	３年以上、５年未満	89	5.6	3.4	6.7	6.7	1.1	2.2	1.1	57.3	2.2	13.5
	５年以上、10年未満	209	5.3	2.9	4.8	2.9	2.4	1.4	1.4	63.2	1.9	13.9
	10年以上	917	2.3	2.3	2.5	2.6	1.2	2.0	1.5	66.2	6.0	13.4
	わからない	56	3.6	0.0	3.6	1.8	0.0	0.0	0.0	55.4	21.4	14.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	3.7	2.7	7.8	6.1	3.5	3.7	3.7	51.6	7.0	10.2
	視覚障害がある	28	7.1	14.3	7.1	10.7	0.0	7.1	0.0	39.3	0.0	14.3
	聴覚障害がある	69	4.3	2.9	11.6	4.3	4.3	1.4	1.4	49.3	4.3	15.9

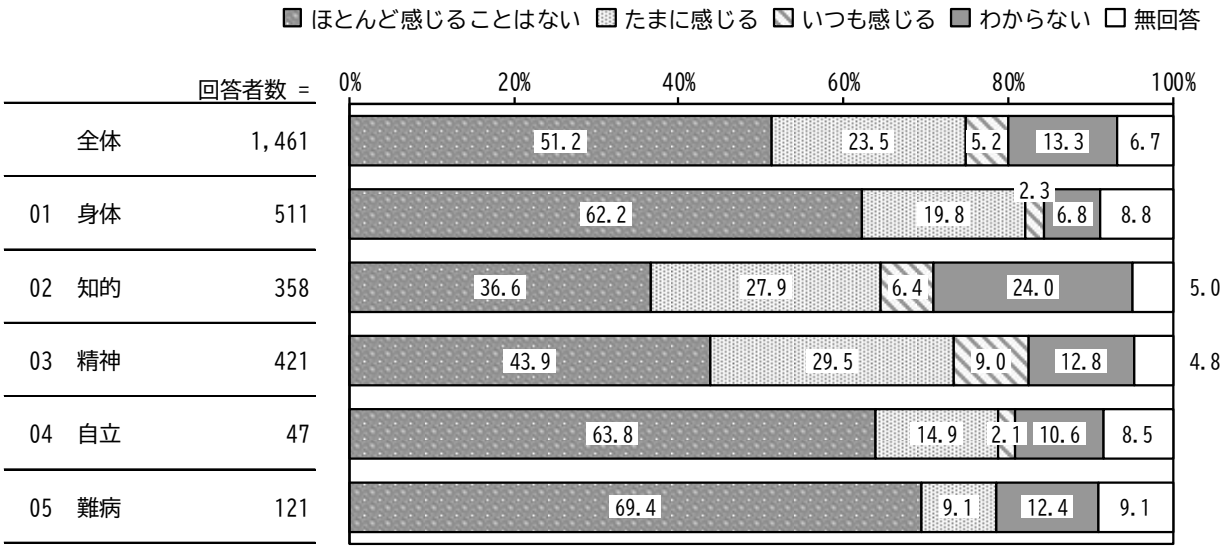
問　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	16	16	19	18	17	18

「ほとんど感じることはない」の割合が 51.2%、「たまに感じる」の割合が 23.5%、「いつも感じる」の割合が 5.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「ほとんど感じることはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』、『70 歳以上』で「ほとんど感じることはない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「ほとんど感じることはない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ほとんど感じることはない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が上がるほど「ほとんど感じることはない」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ほとんど感じることはない」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「たまに感じる」「いつも感じる」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「たまに感じる」の割合が高く、『利用していない』で「ほとんど感じることはない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「ほとんど感じることはない」の割合が低くなっています。

		調査数	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	無回答
全　体		1,461	51.2	23.5	5.2	13.3	6.7
本人の年齢	18～19歳	27	44.4	25.9	7.4	22.2	0.0
	20～29歳	164	37.2	29.3	9.8	19.5	4.3
	30～39歳	195	39.5	30.3	7.7	19.0	3.6
	40～49歳	185	41.6	30.8	6.5	13.0	8.1
	50～59歳	229	50.2	27.1	5.2	14.4	3.1
	60～64歳	109	51.4	24.8	7.3	11.9	4.6
	65～69歳	91	64.8	19.8	1.1	8.8	5.5
	70歳以上	444	63.7	14.4	1.8	9.2	10.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	52.9	24.8	8.0	8.0	6.2
	核家族世帯	695	48.8	24.0	5.0	15.5	6.6
	三世代世帯	32	56.3	25.0	6.3	9.4	3.1
	その他の世帯	436	53.7	22.5	3.4	13.8	6.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	55.4	21.5	3.2	11.4	8.6
	障害者手帳所持者がいる	227	43.6	27.8	7.5	17.6	3.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	55.9	20.6	2.9	17.6	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	49.3	18.7	9.3	18.7	4.0
	あてはまらない	320	52.2	23.4	4.7	14.7	5.0
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	58	43.1	25.9	5.2	19.0	6.9
	40～59歳	309	47.2	28.8	6.1	14.9	2.9
	60歳代	213	52.6	20.2	6.1	15.0	6.1
	70歳代	146	54.8	25.3	3.4	9.6	6.8
	80歳以上	120	57.5	16.7	5.0	8.3	12.5
	わからない	105	36.2	28.6	10.5	21.9	2.9
生活困窮	ゆとりがある	113	69.0	13.3	1.8	9.7	6.2
	まあまあゆとりがある	610	59.7	19.8	2.1	13.3	5.1
	やや苦しい	538	45.9	27.5	5.9	13.6	7.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	25.9	34.1	17.8	17.8	4.4
サービス	利用している	500	41.2	29.0	7.4	17.4	5.0
	利用していない	863	58.6	20.9	3.9	10.4	6.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	61.5	17.9	5.1	10.3	5.1
	１年以上、３年未満	74	70.3	10.8	2.7	12.2	4.1
	３年以上、５年未満	89	60.7	24.7	2.2	5.6	6.7
	５年以上、10年未満	209	55.0	26.8	3.8	7.7	6.7
	10年以上	917	47.7	25.8	5.9	14.9	5.7
	わからない	56	50.0	7.1	7.1	28.6	7.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	45.7	25.7	6.1	14.4	8.0
	視覚障害がある	28	53.6	21.4	7.1	10.7	7.1
	聴覚障害がある	69	53.6	26.1	1.4	10.1	8.7

(%)

【差別・偏見を感じたことがあるかで「たまに感じる」「いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	17	17	20	19	18	19

「バスや電車などの交通機関」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「スーパーやレストラン」の割合が 23.1%、「学校や職場」の割合が 20.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「スーパーやレストラン」の割合が高くなっています。

		調査数	学校や職場	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	障害福祉サービス事業所・施設	介護保険サービス事業所・施設	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	面接などの就職活動の場	余暇活動の場	その他	無回答
全　体		420	20.5	10.5	14.5	6.0	1.2	23.1	42.1	11.2	15.7	13.8	5.2 (%)
障害種別	身体	113	14.2	8.8	10.6	2.7	3.5	28.3	47.8	2.7	11.5	12.4	7.1
	知的	123	20.3	8.1	14.6	7.3	0.0	36.6	47.2	7.3	23.6	6.5	4.9
	精神	162	24.1	14.2	17.9	8.0	0.6	8.6	37.0	19.1	13.6	19.8	3.7
	自立	8	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	37.5	25.0	25.0	12.5
	難病	11	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	45.5	27.3	9.1	0.0	18.2	9.1

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳以上』で「スーパーやレストラン」、『60～64 歳』で「バスや電車などの交通機関」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「学校や職場」「余暇活動の場」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「面接などの就職活動の場」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「学校や職場」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害福祉サービス事業所・施設」「スーパーやレストラン」「バスや電車などの交通機関」「余暇活動の場」の割合が高く、『利用していない』で「学校や職場」「市役所などの公的機関」「面接などの就職活動の場」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「市役所などの公的機関」「障害福祉サービス事業所・施設」「バスや電車などの交通機関」「面接などの就職活動の場」の割合が高く、『聴覚障害がある』で「スーパーやレストラン」「余暇活動の場」の割合が高くなっています。

		調査数	学校や職場	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	障害福祉サービス事業所・施設	介護保険サービス事業所・施設	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	面接などの就職活動の場	余暇活動の場	その他	無回答
全　体		420	20.5	10.5	14.5	6.0	1.2	23.1	42.1	11.2	15.7	13.8	5.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	9	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0
	20～29歳	64	28.1	9.4	12.5	4.7	0.0	26.6	43.8	12.5	20.3	10.9	0.0
	30～39歳	74	27.0	12.2	17.6	6.8	0.0	23.0	40.5	16.2	23.0	13.5	6.8
	40～49歳	69	24.6	10.1	10.1	5.8	0.0	15.9	36.2	17.4	18.8	13.0	5.8
	50～59歳	74	18.9	13.5	13.5	12.2	2.7	20.3	43.2	10.8	10.8	17.6	1.4
	60～64歳	35	22.9	8.6	20.0	5.7	0.0	22.9	62.9	11.4	17.1	11.4	2.9
	65～69歳	19	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	15.8	31.6	0.0	5.3	31.6	10.5
	70歳以上	72	4.2	11.1	16.7	2.8	4.2	34.7	41.7	1.4	9.7	9.7	11.1
世帯構成	ひとり暮らし	90	12.2	16.7	14.4	6.7	3.3	20.0	35.6	10.0	7.8	22.2	6.7
	核家族世帯	202	25.7	7.4	15.3	6.4	0.0	21.8	43.6	12.4	17.3	11.4	4.0
	三世代世帯	10	50.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	40.0	0.0	30.0	0.0	0.0
	その他の世帯	113	15.0	11.5	13.3	5.3	0.9	30.1	45.1	11.5	18.6	12.4	6.2
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	124	20.2	6.5	16.9	8.9	0.0	22.6	46.0	9.7	16.1	12.1	3.2
	障害者手帳所持者がいる	80	18.8	12.5	17.5	10.0	0.0	25.0	40.0	15.0	23.8	10.0	11.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	8	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	25.0	12.5
	病気などの理由で不自由な方がいる	21	23.8	19.0	28.6	9.5	0.0	14.3	33.3	19.0	28.6	14.3	0.0
	あてはまらない	90	23.3	5.6	13.3	2.2	0.0	30.0	48.9	16.7	18.9	6.7	2.2
介助者の年齢	17歳以下	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	18～39歳	18	27.8	16.7	22.2	11.1	0.0	27.8	50.0	27.8	11.1	5.6	11.1
	40～59歳	108	19.4	6.5	17.6	5.6	0.0	29.6	41.7	11.1	13.9	10.2	1.9
	60歳代	56	26.8	10.7	17.9	8.9	1.8	19.6	46.4	8.9	21.4	21.4	3.6
	70歳代	42	4.8	9.5	14.3	4.8	0.0	19.0	50.0	11.9	19.0	4.8	2.4
	80歳以上	26	19.2	11.5	15.4	3.8	7.7	19.2	26.9	11.5	19.2	11.5	7.7
	わからない	41	19.5	14.6	12.2	2.4	0.0	24.4	41.5	2.4	12.2	14.6	12.2
生活困窮	ゆとりがある	17	41.2	17.6	11.8	11.8	0.0	17.6	41.2	11.8	5.9	5.9	0.0
	まあまあゆとりがある	134	23.9	5.2	11.9	3.0	0.0	30.6	44.8	6.0	17.2	10.4	5.2
	やや苦しい	180	19.4	12.2	13.9	4.4	1.7	21.1	47.8	12.2	16.1	16.7	2.8
	不自由が多く、生活が苦しい	70	14.3	14.3	21.4	14.3	2.9	20.0	24.3	20.0	17.1	14.3	8.6
サービス	利用している	182	15.9	7.7	13.7	9.3	1.6	31.3	46.2	7.1	19.2	14.8	4.9
	利用していない	214	25.2	13.1	15.4	3.3	0.5	16.4	38.3	14.5	13.6	13.6	4.2
障害に気づいた時期	１年未満	9	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3	33.3	0.0	22.2	11.1	22.2
	１年以上、３年未満	10	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	10.0	0.0
	３年以上、５年未満	24	16.7	4.2	12.5	0.0	0.0	20.8	37.5	12.5	16.7	4.2	12.5
	５年以上、10年未満	64	26.6	14.1	9.4	7.8	4.7	15.6	43.8	14.1	14.1	7.8	3.1
	10年以上	291	19.2	10.3	16.2	5.5	0.7	24.4	43.6	10.3	17.2	15.8	4.1
	わからない	8	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	25.0	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	119	10.9	13.4	16.8	10.1	2.5	23.5	43.7	5.9	12.6	13.4	7.6
	視覚障害がある	8	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	37.5	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0
	聴覚障害がある	19	10.5	5.3	21.1	0.0	5.3	47.4	26.3	0.0	21.1	5.3	5.3

3　日常生活について

問　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

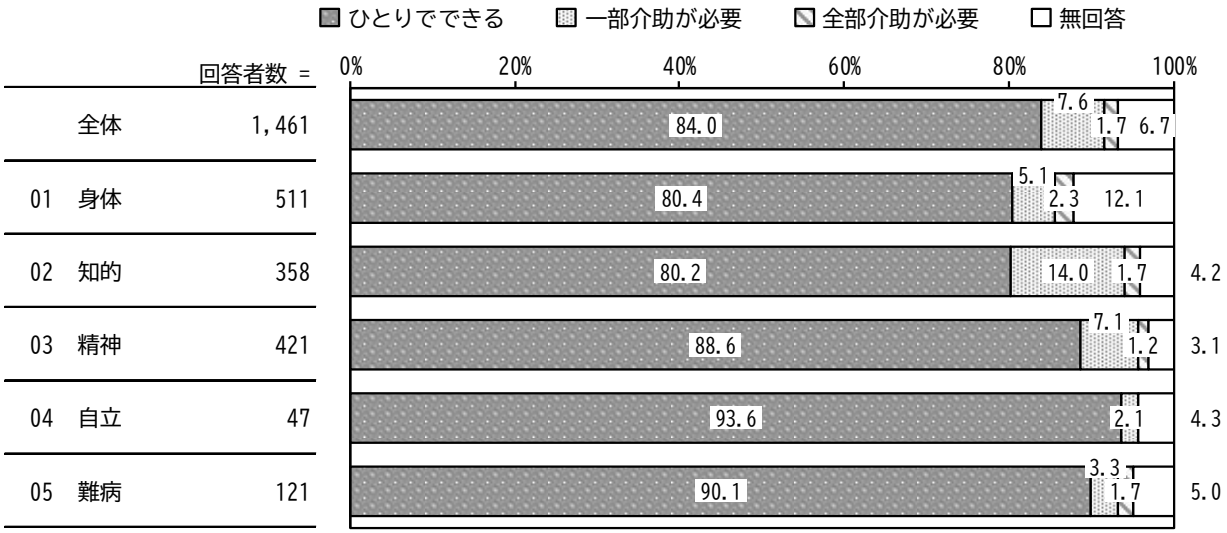
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	18	18	21	20	19	20

①　食事をする（ご飯を食べる）

「ひとりでできる」の割合が 84.0%、「一部介助が必要」の割合が 7.6%、「全部介助が必要」の割合が 1.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ひとりでできる」、知的で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「ひとりでできる」、『20～29 歳』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

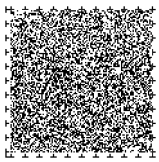
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『60 歳代』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



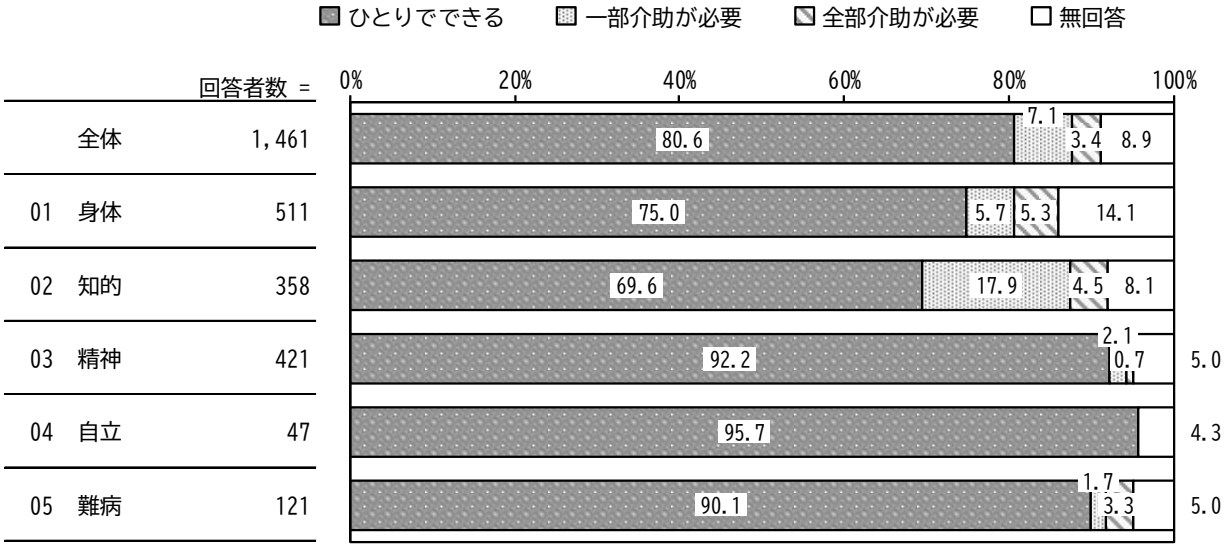
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	84.0	7.6	1.7	6.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	88.9	11.1	0.0	0.0
	20～29歳	164	80.5	16.5	2.4	0.6
	30～39歳	195	88.2	10.3	0.5	1.0
	40～49歳	185	90.3	5.9	0.0	3.8
	50～59歳	229	87.8	6.6	0.9	4.8
	60～64歳	109	89.9	3.7	2.8	3.7
	65～69歳	91	93.4	3.3	1.1	2.2
	70歳以上	444	75.9	5.9	3.2	15.1
世帯構成	ひとり暮らし	274	88.0	5.5	0.7	5.8
	核家族世帯	695	86.8	7.1	1.3	4.9
	三世代世帯	32	90.6	6.3	0.0	3.1
	その他の世帯	436	77.3	9.6	3.2	9.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	85.5	5.4	2.2	7.0
	障害者手帳所持者がいる	227	79.7	9.3	2.6	8.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	91.2	5.9	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	78.7	10.7	6.7	4.0
	あてはまらない	320	85.0	9.1	1.9	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	82.8	12.1	3.4	1.7
	40～59歳	309	80.6	12.3	1.6	5.5
	60歳代	213	88.7	5.6	2.8	2.8
	70歳代	146	84.9	6.8	2.7	5.5
	80歳以上	120	78.3	4.2	0.8	16.7
	わからない	105	73.3	16.2	4.8	5.7
生活困窮	ゆとりがある	113	88.5	4.4	0.9	6.2
	まあまあゆとりがある	610	85.6	7.7	1.5	5.2
	やや苦しい	538	83.6	7.2	2.6	6.5
	不自由が多く、生活が苦しい	135	78.5	11.1	0.7	9.6
サービス	利用している	500	75.6	15.6	2.4	6.4
	利用していない	863	90.8	3.5	1.0	4.6
障害に気づいた時期	１年未満	39	87.2	10.3	0.0	2.6
	１年以上、３年未満	74	87.8	2.7	2.7	6.8
	３年以上、５年未満	89	82.0	6.7	2.2	9.0
	５年以上、10年未満	209	87.6	6.2	1.0	5.3
	10年以上	917	83.9	8.5	1.9	5.8
	わからない	56	82.1	7.1	1.8	8.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	75.4	8.3	3.2	13.1
	視覚障害がある	28	64.3	17.9	0.0	17.9
	聴覚障害がある	69	85.5	2.9	1.4	10.1

② トイレの使用やオムツ交換をする

「ひとりでできる」の割合が 80.6%、「一部介助が必要」の割合が 7.1%、「全部介助が必要」の割合が 3.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ひとりでできる」、知的で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』、『視覚障害がある』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

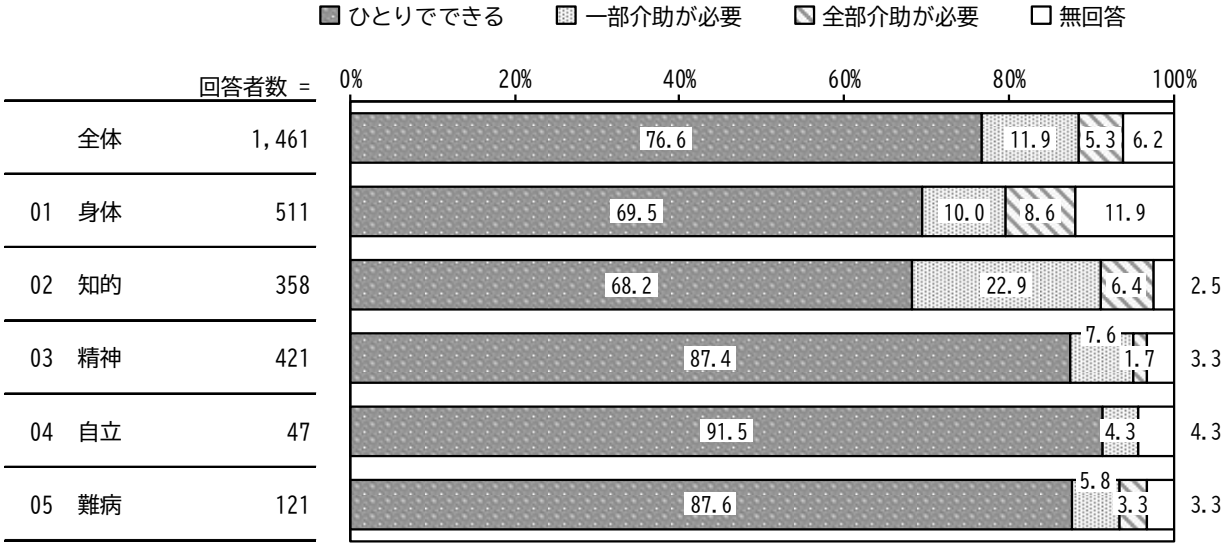
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	80.6	7.1	3.4	8.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	92.6	7.4	0.0	0.0
	20～29歳	164	79.3	15.2	3.7	1.8
	30～39歳	195	82.6	13.8	1.5	2.1
	40～49歳	185	88.6	4.9	1.1	5.4
	50～59歳	229	89.1	3.5	1.3	6.1
	60～64歳	109	88.1	0.9	4.6	6.4
	65～69歳	91	87.9	2.2	3.3	6.6
	70歳以上	444	69.4	6.5	6.3	17.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	88.3	2.2	0.7	8.8
	核家族世帯	695	82.3	7.2	3.3	7.2
	三世代世帯	32	87.5	9.4	0.0	3.1
	その他の世帯	436	73.6	9.9	5.7	10.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	79.3	7.4	4.6	8.8
	障害者手帳所持者がいる	227	72.7	11.5	6.6	9.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	97.1	0.0	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	76.0	8.0	9.3	6.7
	あてはまらない	320	83.8	7.5	2.8	5.9
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	87.9	5.2	3.4	3.4
	40～59歳	309	79.9	10.7	2.3	7.1
	60歳代	213	81.7	9.9	4.2	4.2
	70歳代	146	82.2	5.5	4.8	7.5
	80歳以上	120	71.7	5.0	3.3	20.0
	わからない	105	63.8	14.3	12.4	9.5
生活困窮	ゆとりがある	113	81.4	8.8	0.9	8.8
	まあまあゆとりがある	610	80.8	8.0	3.1	8.0
	やや苦しい	538	82.0	6.3	3.5	8.2
	不自由が多く、生活が苦しい	135	77.8	7.4	5.9	8.9
サービス	利用している	500	68.6	16.2	6.4	8.8
	利用していない	863	90.0	2.3	1.3	6.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	69.2	17.9	7.7	5.1
	１年以上、３年未満	74	85.1	4.1	2.7	8.1
	３年以上、５年未満	89	79.8	6.7	4.5	9.0
	５年以上、10年未満	209	87.6	4.3	1.9	6.2
	10年以上	917	80.3	8.2	3.8	7.7
	わからない	56	80.4	7.1	0.0	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	70.3	7.0	6.7	16.0
	視覚障害がある	28	67.9	14.3	0.0	17.9
	聴覚障害がある	69	73.9	5.8	2.9	17.4

③ お風呂に入る

「ひとりでできる」の割合が 76.6%、「一部介助が必要」の割合が 11.9%、「全部介助が必要」の割合が 5.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ひとりでできる」、知的で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『40～49 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』、『視覚障害がある』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

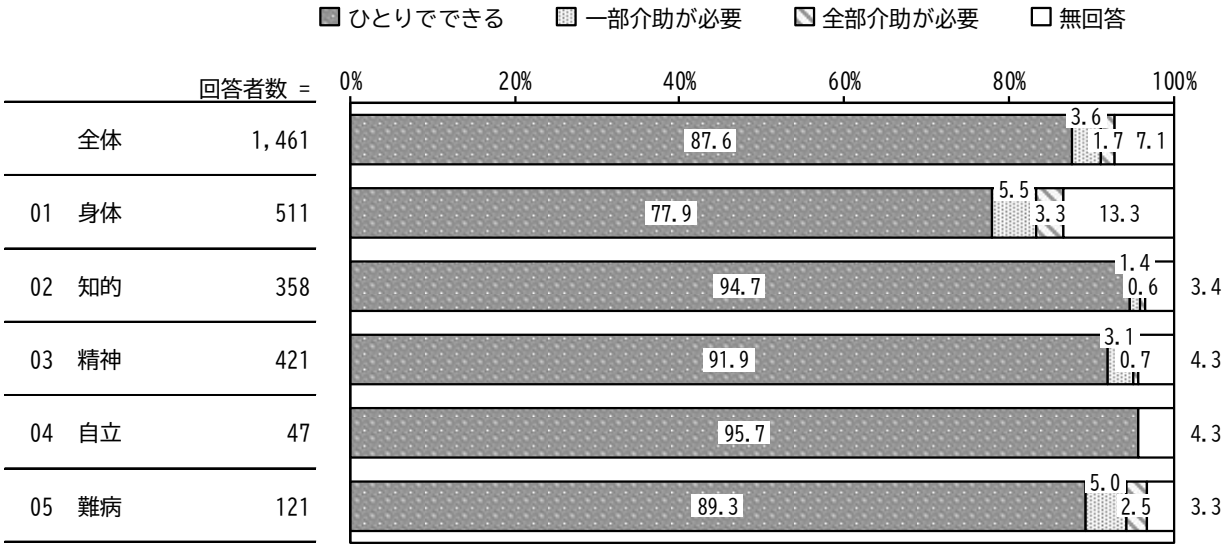
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	76.6	11.9	5.3	6.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	81.5	18.5	0.0	0.0
	20～29歳	164	72.6	19.5	7.3	0.6
	30～39歳	195	77.9	18.5	2.6	1.0
	40～49歳	185	89.2	6.5	1.6	2.7
	50～59歳	229	86.5	7.9	1.7	3.9
	60～64歳	109	84.4	6.4	3.7	5.5
	65～69歳	91	81.3	9.9	5.5	3.3
	70歳以上	444	64.9	11.9	9.9	13.3
世帯構成	ひとり暮らし	274	82.1	8.0	2.9	6.9
	核家族世帯	695	79.4	12.2	4.5	3.9
	三世代世帯	32	87.5	3.1	6.3	3.1
	その他の世帯	436	68.6	14.7	8.0	8.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	76.7	10.8	5.8	6.8
	障害者手帳所持者がいる	227	67.0	18.1	7.9	7.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	97.1	0.0	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	65.3	12.0	16.0	6.7
	あてはまらない	320	80.6	11.3	5.3	2.8
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	75.9	15.5	6.9	1.7
	40～59歳	309	73.1	16.8	5.5	4.5
	60歳代	213	76.1	15.5	5.2	3.3
	70歳代	146	78.8	11.0	6.2	4.1
	80歳以上	120	69.2	8.3	4.2	18.3
	わからない	105	56.2	22.9	17.1	3.8
生活困窮	ゆとりがある	113	82.3	10.6	3.5	3.5
	まあまあゆとりがある	610	76.2	14.1	4.1	5.6
	やや苦しい	538	79.0	9.7	5.9	5.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	68.1	13.3	9.6	8.9
サービス	利用している	500	62.0	23.4	9.8	4.8
	利用していない	863	86.3	6.0	2.4	5.2
障害に気づいた時期	１年未満	39	71.8	17.9	7.7	2.6
	１年以上、３年未満	74	81.1	10.8	2.7	5.4
	３年以上、５年未満	89	76.4	10.1	6.7	6.7
	５年以上、10年未満	209	81.3	10.0	4.3	4.3
	10年以上	917	76.3	12.6	5.7	5.3
	わからない	56	76.8	10.7	1.8	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	64.4	15.5	10.2	9.9
	視覚障害がある	28	64.3	10.7	7.1	17.9
	聴覚障害がある	69	69.6	10.1	4.3	15.9

④　寝返り、起き上がりをする

「ひとりでできる」の割合が 87.6%、「一部介助が必要」の割合が 3.6%、「全部介助が必要」の割合が 1.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的、自立で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳以上』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『80 歳以上』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、すべての特徴的な状態で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

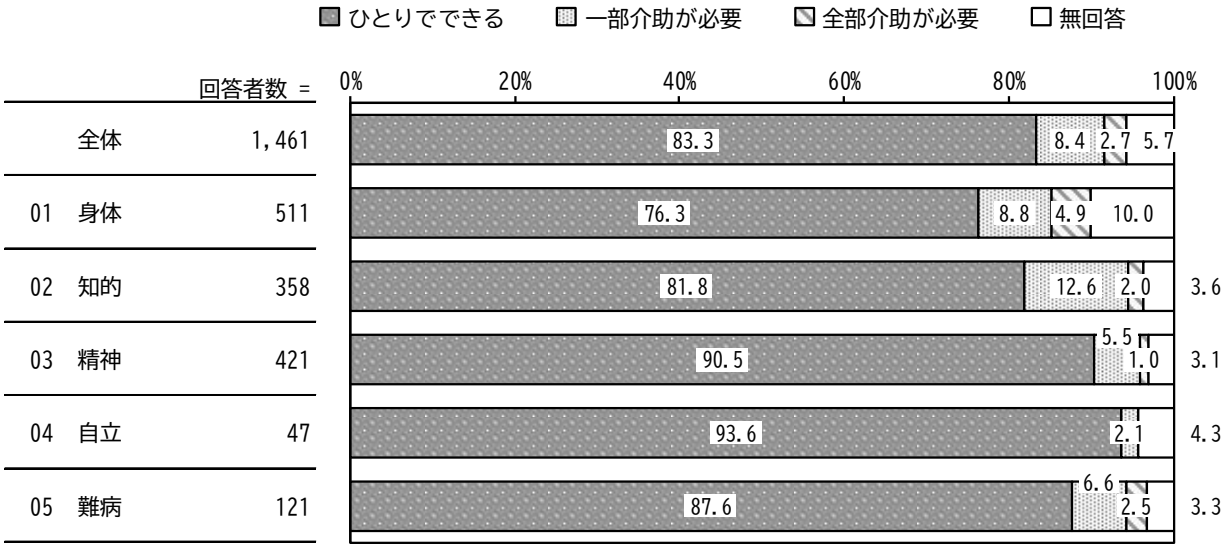
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	87.6	3.6	1.7	7.1 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	88.9	11.1	0.0	0.0
	20～29歳	164	96.3	2.4	0.6	0.6
	30～39歳	195	95.9	2.1	0.0	2.1
	40～49歳	185	96.2	1.1	0.0	2.7
	50～59歳	229	93.4	2.6	0.0	3.9
	60～64歳	109	89.9	1.8	2.8	5.5
	65～69歳	91	92.3	1.1	2.2	4.4
	70歳以上	444	73.4	6.5	4.3	15.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	89.1	2.9	0.7	7.3
	核家族世帯	695	91.4	3.0	1.2	4.5
	三世代世帯	32	93.8	0.0	0.0	6.3
	その他の世帯	436	81.4	4.8	3.4	10.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	86.1	3.6	2.6	7.8
	障害者手帳所持者がいる	227	85.9	4.0	2.6	7.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	97.1	0.0	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	78.7	6.7	8.0	6.7
	あてはまらない	320	91.6	3.4	1.3	3.8
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	89.7	5.2	3.4	1.7
	40～59歳	309	90.6	3.2	0.6	5.5
	60歳代	213	92.0	2.8	1.9	3.3
	70歳代	146	87.7	6.2	3.4	2.7
	80歳以上	120	75.8	2.5	1.7	20.0
	わからない	105	79.0	5.7	7.6	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	92.0	2.7	0.0	5.3
	まあまあゆとりがある	610	90.7	1.3	1.8	6.2
	やや苦しい	538	87.4	4.8	2.0	5.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	77.8	8.9	1.5	11.9
サービス	利用している	500	85.8	5.6	2.0	6.6
	利用していない	863	90.8	2.5	1.0	5.6
障害に気づいた時期	１年未満	39	84.6	7.7	0.0	7.7
	１年以上、３年未満	74	91.9	0.0	2.7	5.4
	３年以上、５年未満	89	85.4	5.6	3.4	5.6
	５年以上、10年未満	209	86.6	6.7	1.4	5.3
	10年以上	917	89.2	2.9	1.6	6.2
	わからない	56	85.7	3.6	0.0	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	77.8	5.6	4.0	12.6
	視覚障害がある	28	78.6	3.6	0.0	17.9
	聴覚障害がある	69	79.7	1.4	2.9	15.9

⑤　着替えをする

「ひとりでできる」の割合が 83.3%、「一部介助が必要」の割合が 8.4%、「全部介助が必要」の割合が 2.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『60 歳代』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ひとりでできる」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

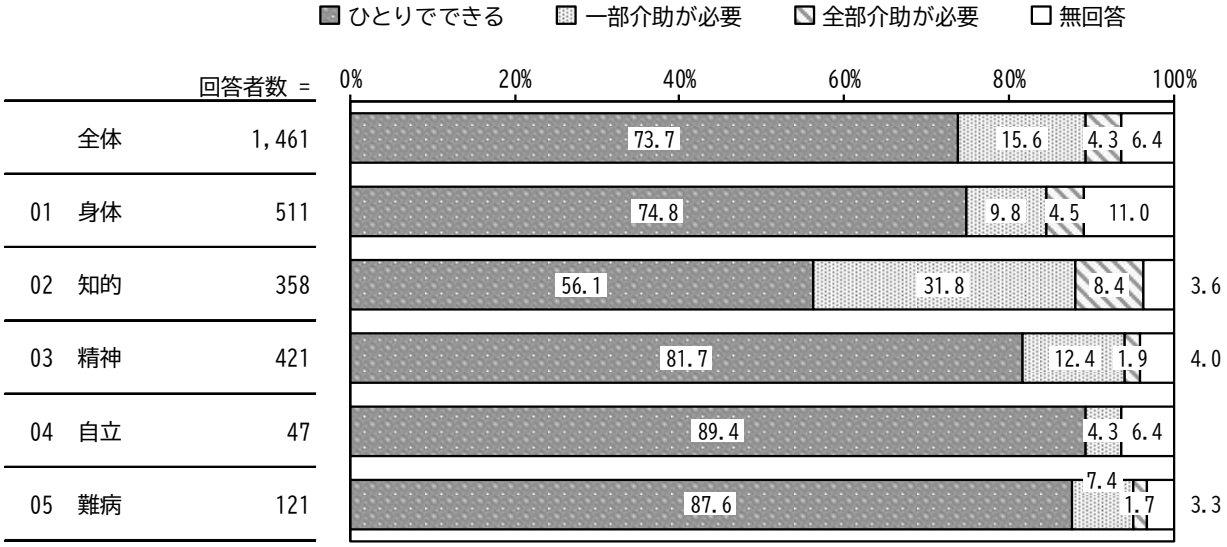
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	83.3	8.4	2.7	5.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	96.3	3.7	0.0	0.0
	20～29歳	164	81.7	15.9	1.8	0.6
	30～39歳	195	87.7	9.2	1.0	2.1
	40～49歳	185	92.4	4.9	1.1	1.6
	50～59歳	229	90.4	5.2	0.0	4.4
	60～64歳	109	86.2	4.6	3.7	5.5
	65～69歳	91	89.0	5.5	3.3	2.2
	70歳以上	444	72.5	9.9	5.6	11.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	88.3	5.1	0.7	5.8
	核家族世帯	695	86.0	8.2	2.2	3.6
	三世代世帯	32	87.5	12.5	0.0	0.0
	その他の世帯	436	76.4	10.3	4.8	8.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	83.1	7.8	3.4	5.8
	障害者手帳所持者がいる	227	79.7	11.5	3.5	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	97.1	0.0	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	72.0	12.0	10.7	5.3
	あてはまらない	320	85.3	9.4	2.2	3.1
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	82.8	12.1	3.4	1.7
	40～59歳	309	79.9	12.9	2.3	4.9
	60歳代	213	87.3	5.6	4.2	2.8
	70歳代	146	80.8	11.6	4.1	3.4
	80歳以上	120	75.8	6.7	2.5	15.0
	わからない	105	73.3	14.3	8.6	3.8
生活困窮	ゆとりがある	113	88.5	6.2	1.8	3.5
	まあまあゆとりがある	610	85.6	6.7	2.6	5.1
	やや苦しい	538	82.9	9.3	2.8	5.0
	不自由が多く、生活が苦しい	135	76.3	14.1	2.2	7.4
サービス	利用している	500	73.4	16.8	4.4	5.4
	利用していない	863	90.5	3.8	1.3	4.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	82.1	12.8	0.0	5.1
	１年以上、３年未満	74	86.5	4.1	2.7	6.8
	３年以上、５年未満	89	82.0	10.1	3.4	4.5
	５年以上、10年未満	209	85.2	9.6	2.4	2.9
	10年以上	917	83.6	8.4	2.8	5.1
	わからない	56	83.9	3.6	1.8	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	72.7	12.6	5.3	9.4
	視覚障害がある	28	78.6	3.6	0.0	17.9
	聴覚障害がある	69	81.2	4.3	2.9	11.6

⑥ 身だしなみを整える

「ひとりでできる」の割合が 73.7%、「一部介助が必要」の割合が 15.6%、「全部介助が必要」の割合が 4.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ひとりでできる」、知的で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「ひとりでできる」、『18～19 歳』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「ひとりでできる」、『視覚障害がある』、『聴覚障害がある』で「一部介助が必要」の割合が低くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	73.7	15.6	4.3	6.4
本人の年齢	18～19歳	27	63.0	37.0	0.0	0.0
	20～29歳	164	61.0	30.5	6.7	1.8
	30～39歳	195	70.3	22.6	6.2	1.0
	40～49歳	185	80.5	13.0	3.8	2.7
	50～59歳	229	81.2	13.1	1.3	4.4
	60～64歳	109	84.4	7.3	3.7	4.6
	65～69歳	91	87.9	7.7	2.2	2.2
	70歳以上	444	68.9	11.5	5.4	14.2
世帯構成	ひとり暮らし	274	86.9	4.7	1.5	6.9
	核家族世帯	695	73.2	18.4	4.0	4.3
	三世代世帯	32	84.4	9.4	6.3	0.0
	その他の世帯	436	66.3	18.3	6.4	8.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	71.7	16.5	5.0	6.8
	障害者手帳所持者がいる	227	63.4	25.6	6.2	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	88.2	8.8	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	57.3	22.7	13.3	6.7
	あてはまらない	320	74.1	17.8	4.1	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	70.7	20.7	6.9	1.7
	40～59歳	309	66.3	23.3	4.5	5.8
	60歳代	213	71.4	19.7	6.1	2.8
	70歳代	146	73.3	18.5	3.4	4.8
	80歳以上	120	70.0	11.7	2.5	15.8
	わからない	105	61.0	21.9	12.4	4.8
生活困窮	ゆとりがある	113	79.6	15.9	1.8	2.7
	まあまあゆとりがある	610	74.4	15.4	4.8	5.4
	やや苦しい	538	74.0	15.8	3.9	6.3
	不自由が多く、生活が苦しい	135	68.1	18.5	5.2	8.1
サービス	利用している	500	56.8	29.0	9.4	4.8
	利用していない	863	84.8	8.7	1.2	5.3
障害に気づいた時期	１年未満	39	69.2	23.1	2.6	5.1
	１年以上、３年未満	74	78.4	10.8	4.1	6.8
	３年以上、５年未満	89	80.9	10.1	4.5	4.5
	５年以上、10年未満	209	84.7	10.0	1.9	3.3
	10年以上	917	71.2	17.7	5.3	5.8
	わからない	56	76.8	14.3	1.8	7.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	64.7	17.4	6.4	11.5
	視覚障害がある	28	75.0	7.1	0.0	17.9
	聴覚障害がある	69	75.4	10.1	2.9	11.6

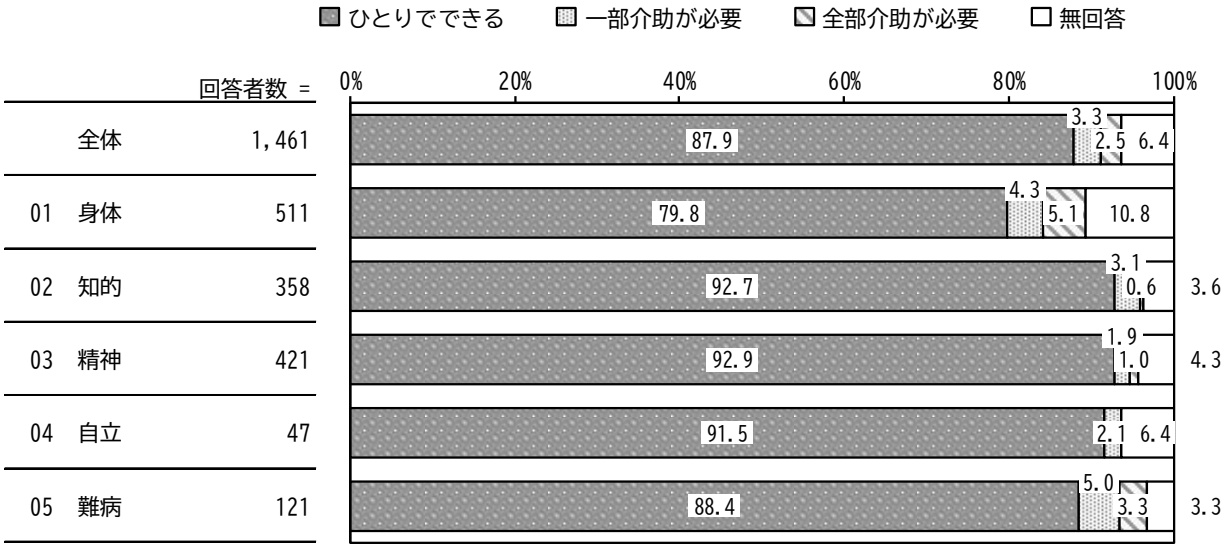
(%)

⑦　家の中を移動する

「ひとりでできる」の割合が 87.9%、「一部介助が必要」の割合が 3.3%、「全部介助が必要」の割合が 2.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』、『３年以上、５年未満』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

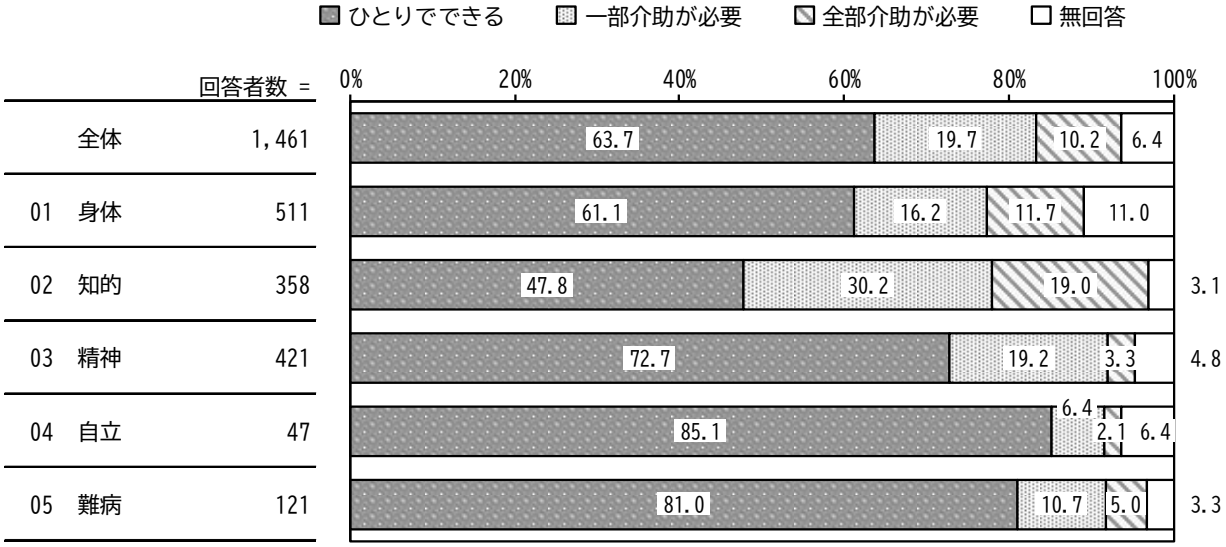
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	87.9	3.3	2.5	6.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	164	94.5	3.7	0.6	1.2
	30～39歳	195	96.4	1.0	0.5	2.1
	40～49歳	185	96.8	0.5	0.0	2.7
	50～59歳	229	93.0	2.2	0.4	4.4
	60～64歳	109	86.2	5.5	2.8	5.5
	65～69歳	91	94.5	0.0	3.3	2.2
	70歳以上	444	74.3	6.3	5.9	13.5
世帯構成	ひとり暮らし	274	90.9	1.5	0.7	6.9
	核家族世帯	695	91.7	2.7	1.4	4.2
	三世代世帯	32	90.6	9.4	0.0	0.0
	その他の世帯	436	81.0	5.0	5.0	8.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	84.7	4.8	3.4	7.2
	障害者手帳所持者がいる	227	86.3	4.8	3.5	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	97.1	0.0	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	74.7	10.7	8.0	6.7
	あてはまらない	320	92.5	2.8	1.6	3.1
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	93.1	1.7	3.4	1.7
	40～59歳	309	91.3	3.6	0.6	4.5
	60歳代	213	90.1	3.8	2.8	3.3
	70歳代	146	86.3	6.2	3.4	4.1
	80歳以上	120	75.8	3.3	3.3	17.5
	わからない	105	79.0	5.7	9.5	5.7
生活困窮	ゆとりがある	113	93.8	2.7	0.0	3.5
	まあまあゆとりがある	610	90.5	1.8	2.1	5.6
	やや苦しい	538	87.4	3.9	2.8	5.9
	不自由が多く、生活が苦しい	135	80.0	8.1	4.4	7.4
サービス	利用している	500	85.4	6.2	3.6	4.8
	利用していない	863	91.5	1.9	1.3	5.3
障害に気づいた時期	１年未満	39	82.1	5.1	5.1	7.7
	１年以上、３年未満	74	91.9	0.0	2.7	5.4
	３年以上、５年未満	89	83.1	7.9	4.5	4.5
	５年以上、10年未満	209	91.9	2.9	1.9	3.3
	10年以上	917	88.5	3.2	2.3	6.0
	わからない	56	87.5	5.4	1.8	5.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	77.3	6.4	5.1	11.2
	視覚障害がある	28	82.1	0.0	0.0	17.9
	聴覚障害がある	69	82.6	1.4	4.3	11.6

⑧ 外出をする

「ひとりでできる」の割合が 63.7%、「一部介助が必要」の割合が 19.7%、「全部介助が必要」の割合が 10.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ひとりでできる」、知的で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『60～64 歳』で「ひとりでできる」、『18～19 歳』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ひとりでできる」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

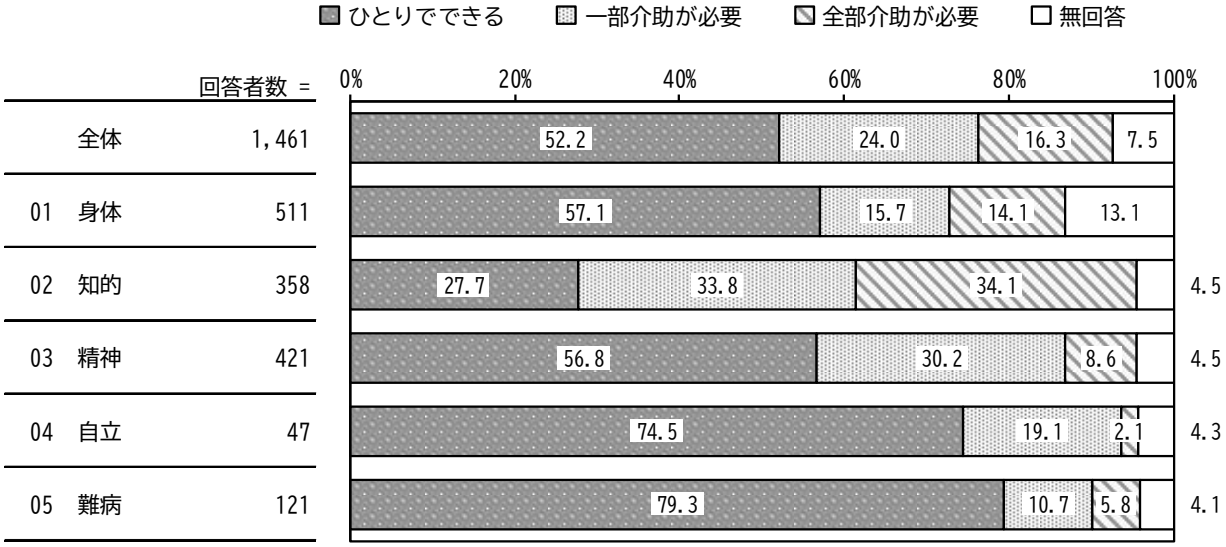
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	63.7	19.7	10.2	6.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	59.3	40.7	0.0	0.0
	20～29歳	164	53.0	31.1	14.6	1.2
	30～39歳	195	61.0	24.6	12.8	1.5
	40～49歳	185	73.0	16.8	7.0	3.2
	50～59歳	229	72.9	18.3	3.9	4.8
	60～64歳	109	77.1	13.8	4.6	4.6
	65～69歳	91	73.6	18.7	6.6	1.1
	70歳以上	444	55.4	15.8	14.9	14.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	77.4	11.3	4.7	6.6
	核家族世帯	695	64.2	21.4	10.1	4.3
	三世代世帯	32	78.1	15.6	6.3	0.0
	その他の世帯	436	53.7	22.9	14.2	9.2
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	61.8	19.5	11.8	7.0
	障害者手帳所持者がいる	227	53.7	24.7	16.3	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	73.5	23.5	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	46.7	22.7	22.7	8.0
	あてはまらない	320	62.8	24.7	9.1	3.4
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	58.6	29.3	10.3	1.7
	40～59歳	309	51.5	32.7	10.7	5.2
	60歳代	213	55.4	26.3	15.0	3.3
	70歳代	146	65.1	18.5	12.3	4.1
	80歳以上	120	56.7	18.3	8.3	16.7
	わからない	105	46.7	21.9	25.7	5.7
生活困窮	ゆとりがある	113	70.8	15.0	9.7	4.4
	まあまあゆとりがある	610	63.4	20.8	10.3	5.4
	やや苦しい	538	65.4	19.1	9.3	6.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	55.6	21.5	16.3	6.7
サービス	利用している	500	46.2	27.8	21.4	4.6
	利用していない	863	75.4	15.4	3.7	5.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	59.0	12.8	23.1	5.1
	１年以上、３年未満	74	66.2	20.3	6.8	6.8
	３年以上、５年未満	89	69.7	19.1	5.6	5.6
	５年以上、10年未満	209	71.8	17.7	6.7	3.8
	10年以上	917	61.3	21.4	11.7	5.7
	わからない	56	71.4	16.1	3.6	8.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	51.6	21.7	16.3	10.4
	視覚障害がある	28	21.4	39.3	17.9	21.4
	聴覚障害がある	69	71.0	7.2	10.1	11.6

⑨　家事をする（料理、掃除、洗濯）

「ひとりでできる」の割合が 52.2%、「一部介助が必要」の割合が 24.0%、「全部介助が必要」の割合が 16.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「ひとりでできる」、知的で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「ひとりでできる」、『18～19 歳』で「一部介助が必要」、『20～29 歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「ひとりでできる」、『視覚障害がある』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	52.2	24.0	16.3	7.5
本人の年齢	18～19歳	27	22.2	51.9	25.9	0.0
	20～29歳	164	32.9	34.8	29.3	3.0
	30～39歳	195	41.0	34.4	22.1	2.6
	40～49歳	185	57.8	28.1	11.9	2.2
	50～59歳	229	61.1	22.7	12.2	3.9
	60～64歳	109	60.6	24.8	9.2	5.5
	65～69歳	91	71.4	16.5	6.6	5.5
	70歳以上	444	53.4	14.6	16.2	15.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	73.4	15.3	4.7	6.6
	核家族世帯	695	46.9	28.9	19.1	5.0
	三世代世帯	32	53.1	25.0	18.8	3.1
	その他の世帯	436	47.9	22.2	19.0	10.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	50.8	21.9	19.1	8.2
	障害者手帳所持者がいる	227	43.2	26.9	24.2	5.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	76.5	20.6	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	45.3	16.0	32.0	6.7
	あてはまらない	320	48.4	31.6	16.3	3.8
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	55.2	25.9	17.2	1.7
	40～59歳	309	39.8	32.4	22.7	5.2
	60歳代	213	43.2	29.6	23.0	4.2
	70歳代	146	50.0	28.1	17.1	4.8
	80歳以上	120	44.2	22.5	15.0	18.3
	わからない	105	38.1	26.7	28.6	6.7
生活困窮	ゆとりがある	113	54.0	25.7	14.2	6.2
	まあまあゆとりがある	610	52.3	23.9	17.9	5.9
	やや苦しい	538	53.5	24.5	14.7	7.2
	不自由が多く、生活が苦しい	135	44.4	26.7	20.7	8.1
サービス	利用している	500	31.0	32.6	31.6	4.8
	利用していない	863	65.6	20.0	7.9	6.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	59.0	7.7	25.6	7.7
	１年以上、３年未満	74	50.0	21.6	18.9	9.5
	３年以上、５年未満	89	52.8	30.3	9.0	7.9
	５年以上、10年未満	209	65.6	19.6	10.0	4.8
	10年以上	917	49.0	25.7	18.8	6.5
	わからない	56	51.8	30.4	8.9	8.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	43.6	24.6	19.8	12.0
	視覚障害がある	28	25.0	35.7	17.9	21.4
	聴覚障害がある	69	66.7	4.3	14.5	14.5

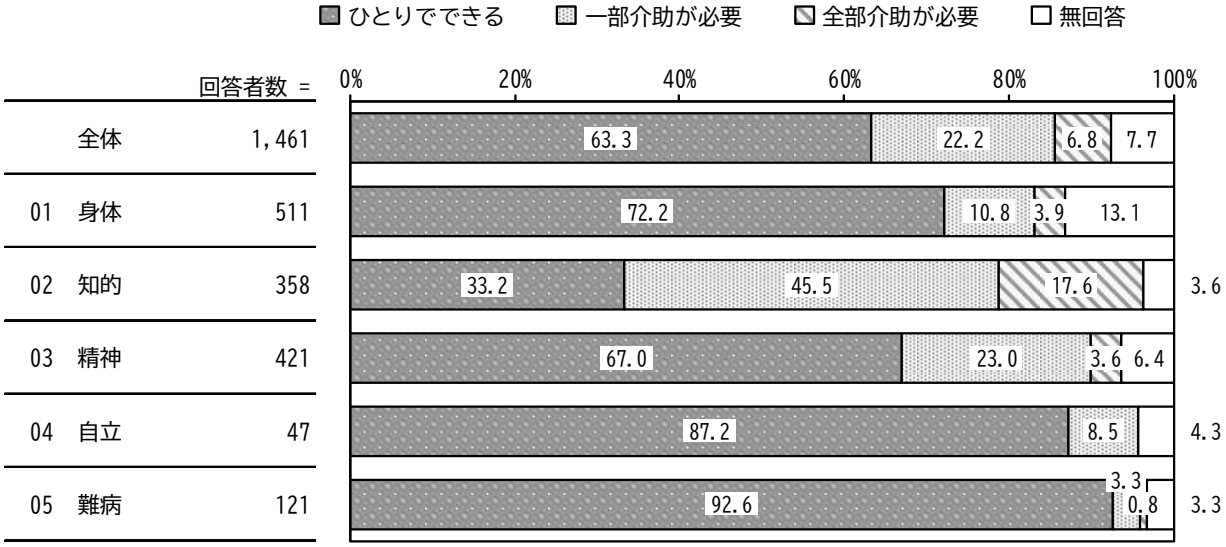
(%)

⑩　家族以外の人との意思疎通をする

「ひとりでできる」の割合が 63.3%、「一部介助が必要」の割合が 22.2%、「全部介助が必要」の割合が 6.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「ひとりでできる」、知的で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「ひとりでできる」、『18～19 歳』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「全部介助が必要」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』、『５年以上、10 年未満』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』、『視覚障害がある』で「ひとりでできる」、『視覚障害がある』で「一部介助が必要」の割合が低くなっています。

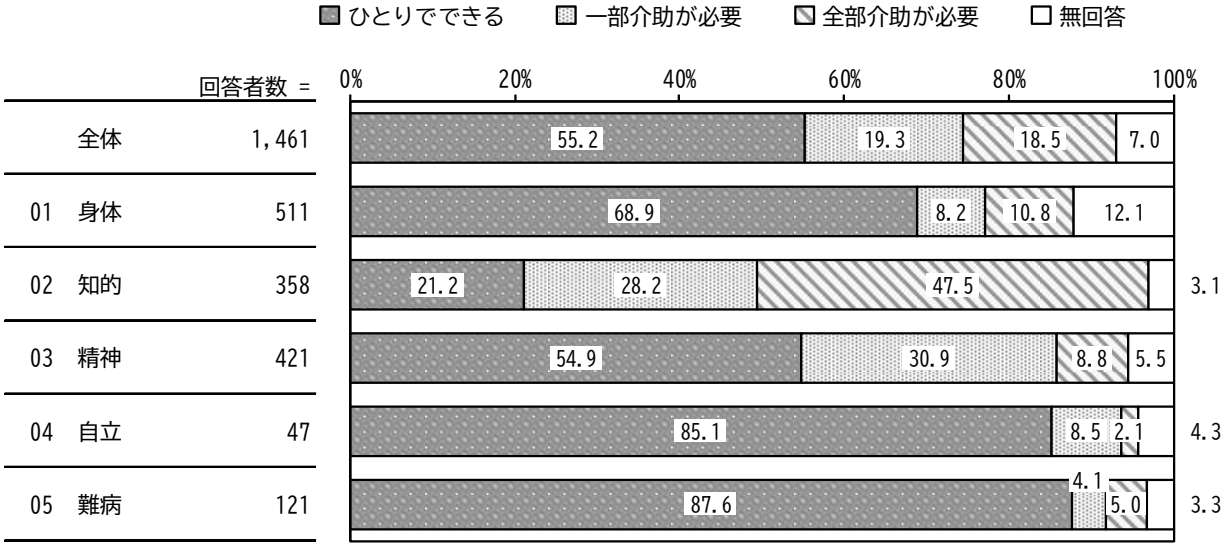
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	63.3	22.2	6.8	7.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	40.7	55.6	3.7	0.0
	20～29歳	164	47.0	40.2	11.0	1.8
	30～39歳	195	45.6	39.0	12.8	2.6
	40～49歳	185	67.0	22.7	7.0	3.2
	50～59歳	229	70.7	18.8	5.2	5.2
	60～64歳	109	76.1	14.7	3.7	5.5
	65～69歳	91	82.4	8.8	2.2	6.6
	70歳以上	444	66.7	12.4	5.2	15.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	80.3	8.4	1.5	9.9
	核家族世帯	695	60.6	27.6	7.5	4.3
	三世代世帯	32	65.6	25.0	6.3	3.1
	その他の世帯	436	58.0	22.2	9.2	10.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	64.1	20.5	8.0	7.4
	障害者手帳所持者がいる	227	48.9	33.5	11.5	6.2
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	82.4	14.7	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	54.7	22.7	14.7	8.0
	あてはまらない	320	61.9	29.4	5.3	3.4
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	62.1	22.4	12.1	3.4
	40～59歳	309	51.5	34.3	8.7	5.5
	60歳代	213	59.6	27.2	9.9	3.3
	70歳代	146	65.1	21.2	6.8	6.8
	80歳以上	120	61.7	16.7	3.3	18.3
	わからない	105	46.7	29.5	16.2	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	73.5	15.9	5.3	5.3
	まあまあゆとりがある	610	63.9	22.1	7.9	6.1
	やや苦しい	538	63.4	22.9	6.3	7.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	55.6	29.6	5.2	9.6
サービス	利用している	500	43.6	36.2	14.8	5.4
	利用していない	863	76.2	15.1	2.2	6.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	69.2	10.3	10.3	10.3
	１年以上、３年未満	74	66.2	18.9	8.1	6.8
	３年以上、５年未満	89	77.5	14.6	3.4	4.5
	５年以上、10年未満	209	79.4	11.5	2.9	6.2
	10年以上	917	58.9	26.7	7.9	6.5
	わからない	56	57.1	21.4	8.9	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	56.1	23.0	7.8	13.1
	視覚障害がある	28	57.1	14.3	3.6	25.0
	聴覚障害がある	69	60.9	18.8	4.3	15.9

⑪　お金の管理をする

「ひとりでできる」の割合が 55.2%、「一部介助が必要」の割合が 19.3%、「全部介助が必要」の割合が 18.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「ひとりでできる」、精神で「一部介助が必要」、知的で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「ひとりでできる」、『18～19 歳』で「一部介助が必要」、『20～29 歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』、『５年以上、10 年未満』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	55.2	19.3	18.5	7.0
本人の年齢	18～19歳	27	18.5	48.1	33.3	0.0
	20～29歳	164	31.1	27.4	38.4	3.0
	30～39歳	195	36.4	34.4	27.2	2.1
	40～49歳	185	56.2	25.9	15.1	2.7
	50～59歳	229	65.5	16.6	13.5	4.4
	60～64歳	109	67.0	14.7	11.9	6.4
	65～69歳	91	75.8	7.7	11.0	5.5
	70歳以上	444	62.4	9.9	13.7	14.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	77.7	11.3	4.4	6.6
	核家族世帯	695	48.6	24.5	22.7	4.2
	三世代世帯	32	56.3	28.1	12.5	3.1
	その他の世帯	436	52.8	15.4	21.3	10.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	54.8	18.1	19.7	7.4
	障害者手帳所持者がいる	227	45.4	17.6	31.7	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	76.5	20.6	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	49.3	13.3	29.3	8.0
	あてはまらない	320	49.4	26.6	20.3	3.8
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	56.9	20.7	20.7	1.7
	40～59歳	309	40.8	26.2	27.2	5.8
	60歳代	213	46.5	27.2	23.5	2.8
	70歳代	146	54.1	22.6	17.8	5.5
	80歳以上	120	52.5	17.5	12.5	17.5
	わからない	105	39.0	19.0	36.2	5.7
生活困窮	ゆとりがある	113	51.3	26.5	18.6	3.5
	まあまあゆとりがある	610	57.5	16.2	21.3	4.9
	やや苦しい	538	56.3	20.6	15.6	7.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	48.1	23.7	18.5	9.6
サービス	利用している	500	34.2	24.8	36.4	4.6
	利用していない	863	68.8	16.7	8.3	6.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	59.0	10.3	25.6	5.1
	１年以上、３年未満	74	64.9	10.8	18.9	5.4
	３年以上、５年未満	89	67.4	16.9	10.1	5.6
	５年以上、10年未満	209	68.4	16.3	10.5	4.8
	10年以上	917	50.6	21.5	21.8	6.1
	わからない	56	53.6	23.2	14.3	8.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	46.3	20.9	21.1	11.8
	視覚障害がある	28	39.3	14.3	21.4	25.0
	聴覚障害がある	69	68.1	7.2	10.1	14.5

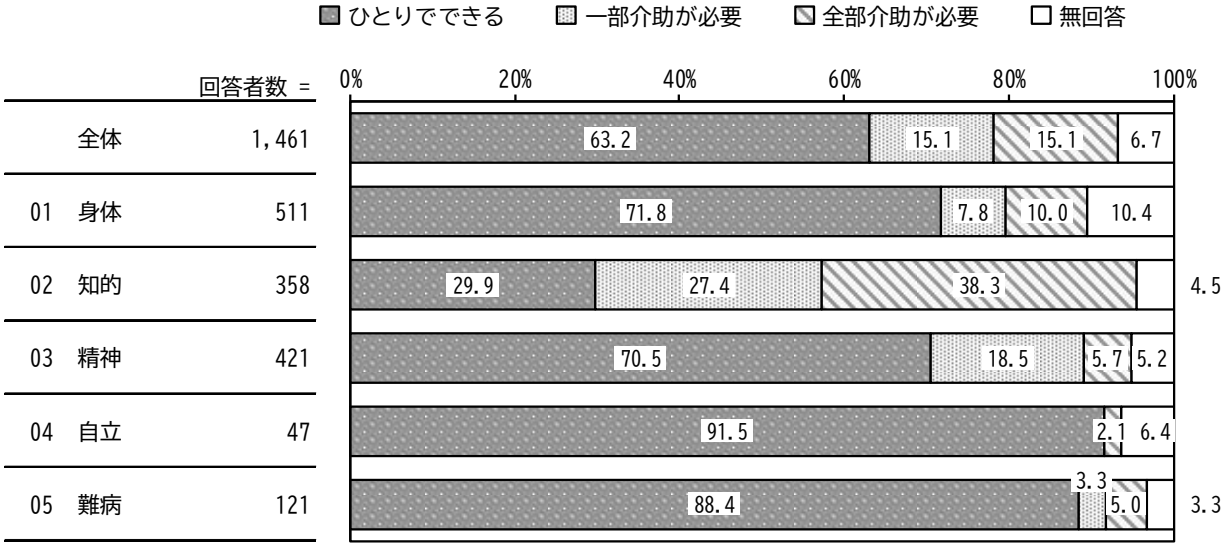
(%)

⑫　薬の管理をする

「ひとりでできる」の割合が 63.2%、「一部介助が必要」、「全部介助が必要」の割合が 15.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ひとりでできる」、知的で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「ひとりでできる」、『18～19 歳』で「一部介助が必要」、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「ひとりでできる」、『１年未満』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

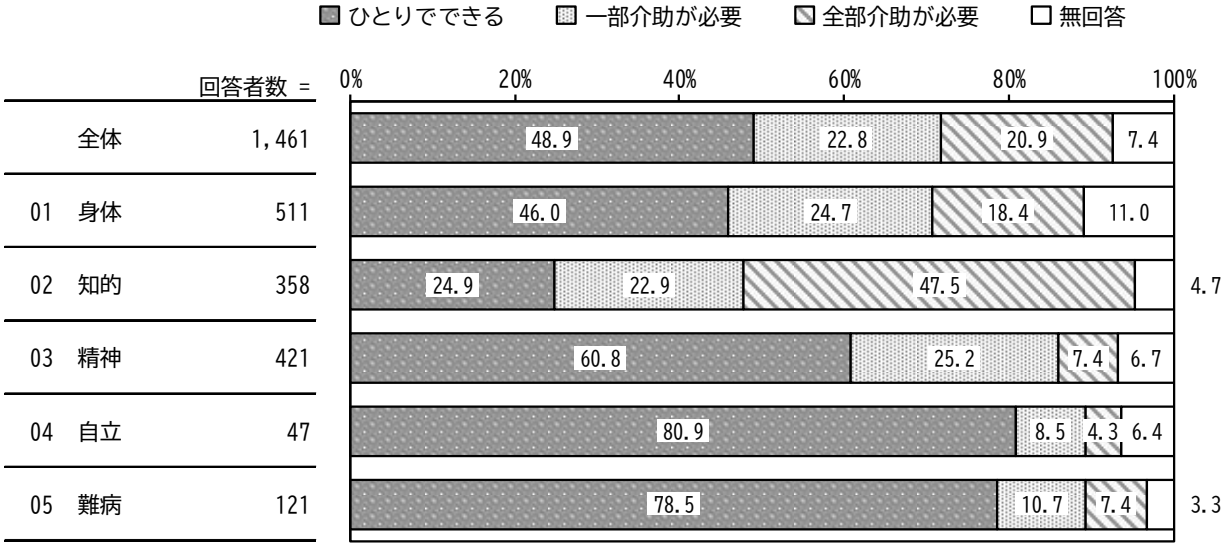
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	63.2	15.1	15.1	6.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	25.9	40.7	33.3	0.0
	20～29歳	164	39.0	26.2	31.7	3.0
	30～39歳	195	50.8	25.6	21.5	2.1
	40～49歳	185	67.6	17.3	11.9	3.2
	50～59歳	229	74.7	12.7	8.7	3.9
	60～64歳	109	77.1	8.3	7.3	7.3
	65～69歳	91	85.7	3.3	5.5	5.5
	70歳以上	444	64.2	9.2	13.7	12.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	83.2	7.3	2.6	6.9
	核家族世帯	695	58.3	19.3	17.7	4.7
	三世代世帯	32	68.8	18.8	12.5	0.0
	その他の世帯	436	58.7	13.3	19.3	8.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	63.5	13.7	15.9	6.8
	障害者手帳所持者がいる	227	52.0	17.6	25.1	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	85.3	11.8	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	53.3	14.7	26.7	5.3
	あてはまらない	320	58.4	20.6	17.2	3.8
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	60.3	22.4	15.5	1.7
	40～59歳	309	46.6	25.2	22.7	5.5
	60歳代	213	60.1	18.3	18.3	3.3
	70歳代	146	65.1	14.4	15.1	5.5
	80歳以上	120	62.5	12.5	10.8	14.2
	わからない	105	45.7	15.2	31.4	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	62.8	19.5	13.3	4.4
	まあまあゆとりがある	610	61.3	14.6	18.9	5.2
	やや苦しい	538	65.2	15.2	12.8	6.7
	不自由が多く、生活が苦しい	135	63.7	16.3	11.9	8.1
サービス	利用している	500	41.2	23.4	31.4	4.0
	利用していない	863	77.6	10.4	5.9	6.0
障害に気づいた時期	１年未満	39	64.1	7.7	25.6	2.6
	１年以上、３年未満	74	67.6	12.2	13.5	6.8
	３年以上、５年未満	89	69.7	13.5	12.4	4.5
	５年以上、10年未満	209	75.1	13.4	6.2	5.3
	10年以上	917	59.4	16.8	17.9	5.9
	わからない	56	67.9	8.9	10.7	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	54.8	17.9	15.8	11.5
	視覚障害がある	28	46.4	14.3	21.4	17.9
	聴覚障害がある	69	72.5	5.8	10.1	11.6

⑬　災害時の避難をする

「ひとりでできる」の割合が 48.9%、「一部介助が必要」の割合が 22.8%、「全部介助が必要」の割合が 20.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ひとりでできる」、知的で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「ひとりでできる」、『18～19 歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		1,461	48.9	22.8	20.9	7.4
本人の年齢	18～19歳	27	25.9	29.6	44.4	0.0
	20～29歳	164	36.6	24.4	37.2	1.8
	30～39歳	195	46.7	24.6	25.6	3.1
	40～49歳	185	59.5	21.1	15.7	3.8
	50～59歳	229	59.0	22.7	12.2	6.1
	60～64歳	109	58.7	21.1	13.8	6.4
	65～69歳	91	63.7	19.8	8.8	7.7
	70歳以上	444	41.2	22.5	22.7	13.5
世帯構成	ひとり暮らし	274	62.8	21.5	7.3	8.4
	核家族世帯	695	48.1	23.3	23.7	4.9
	三世代世帯	32	59.4	25.0	15.6	0.0
	その他の世帯	436	41.3	22.7	25.9	10.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	47.0	22.7	22.7	7.6
	障害者手帳所持者がいる	227	36.1	22.5	33.0	8.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	85.3	11.8	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	37.3	22.7	33.3	6.7
	あてはまらない	320	50.0	24.1	22.5	3.4
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	18～39歳	58	51.7	27.6	19.0	1.7
	40～59歳	309	37.5	26.9	30.4	5.2
	60歳代	213	40.4	28.2	27.2	4.2
	70歳代	146	47.3	25.3	20.5	6.8
	80歳以上	120	41.7	25.8	17.5	15.0
	わからない	105	25.7	26.7	39.0	8.6
生活困窮	ゆとりがある	113	55.8	19.5	20.4	4.4
	まあまあゆとりがある	610	50.3	20.5	23.8	5.4
	やや苦しい	538	48.5	25.3	18.4	7.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	39.3	27.4	23.0	10.4
サービス	利用している	500	25.6	28.4	41.2	4.8
	利用していない	863	64.3	20.6	9.0	6.0
障害に気づいた時期	１年未満	39	56.4	10.3	28.2	5.1
	１年以上、３年未満	74	52.7	25.7	14.9	6.8
	３年以上、５年未満	89	52.8	25.8	15.7	5.6
	５年以上、10年未満	209	59.3	22.5	12.9	5.3
	10年以上	917	45.6	23.9	24.1	6.4
	わからない	56	53.6	14.3	19.6	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	35.3	23.3	28.6	12.8
	視覚障害がある	28	14.3	35.7	35.7	14.3
	聴覚障害がある	69	47.8	26.1	14.5	11.6

(%)

問　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15 時）と夕方（15～18 時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

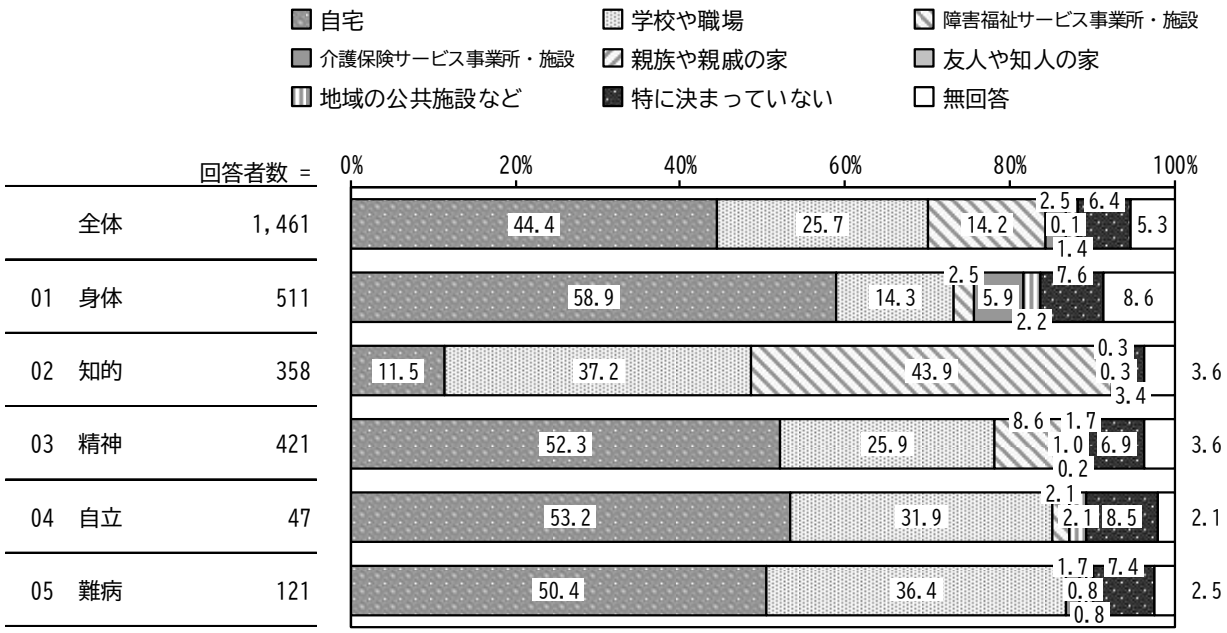
【昼過ぎを過ごす場所】（12～15 時）○は１つだけ

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	19	19	22	21	20	21

「自宅」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「学校や職場」の割合が 25.7%、「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が 14.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「自宅」、知的、難病で「学校や職場」、知的で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』、『70 歳以上』で「自宅」、『18～19 歳』で「学校や職場」、『20～29 歳』で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「学校や職場」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「学校や職場」、『障害者手帳所持者がいる』で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「学校や職場」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高く、『利用していない』で「自宅」「学校や職場」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「自宅」の割合が高くなっています。

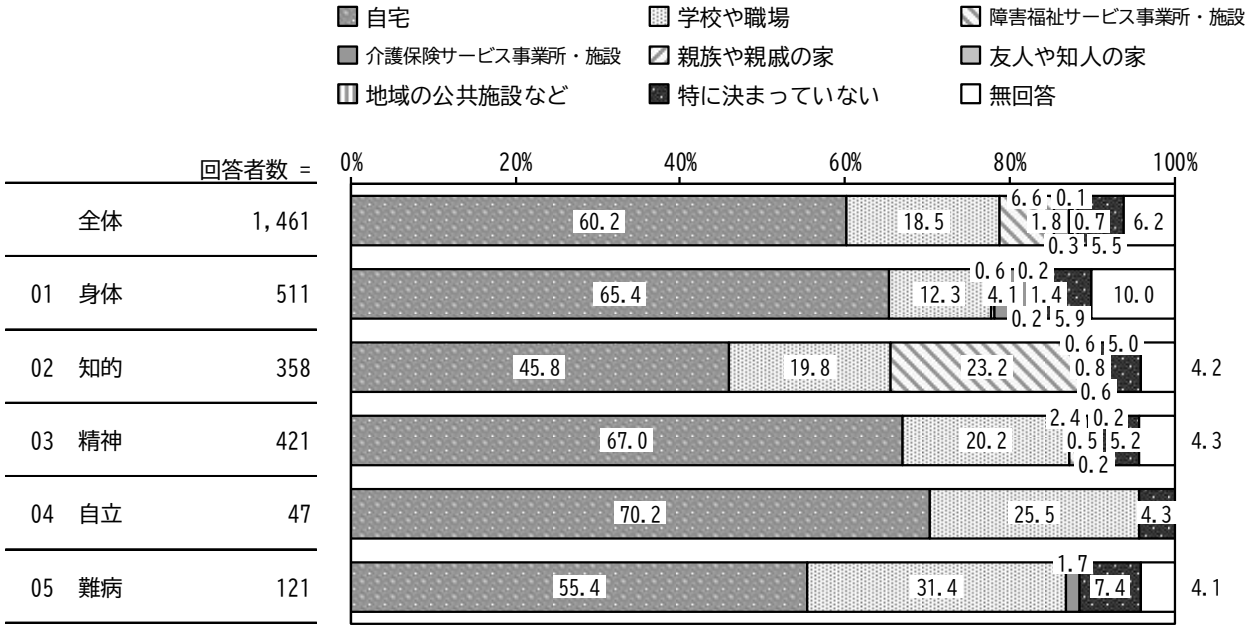
		調査数	自宅	学校や職場	障害福祉サービス事業所・施設	介護保険サービス事業所・施設	親族や親戚の家	友人や知人の家	地域の公共施設など	特に決まっていない	無回答
全　体		1,461	44.4	25.7	14.2	2.5	0.1	0.0	1.4	6.4	5.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	14.8	74.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	164	18.3	40.9	32.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	3.7
	30～39歳	195	29.2	35.4	28.2	0.0	0.0	0.0	1.5	3.1	2.6
	40～49歳	185	34.1	40.5	16.2	0.5	0.0	0.0	1.1	4.3	3.2
	50～59歳	229	36.7	34.9	15.7	0.4	0.4	0.0	0.4	6.1	5.2
	60～64歳	109	48.6	32.1	8.3	1.8	0.9	0.0	1.8	4.6	1.8
	65～69歳	91	68.1	13.2	3.3	4.4	0.0	0.0	1.1	4.4	5.5
	70歳以上	444	65.1	3.2	3.4	6.5	0.0	0.0	2.7	10.6	8.6
世帯構成	ひとり暮らし	274	53.3	16.4	8.4	2.2	0.4	0.0	1.1	12.4	5.8
	核家族世帯	695	40.7	31.9	16.8	0.9	0.1	0.0	1.4	4.0	4.0
	三世代世帯	32	25.0	62.5	9.4	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	436	46.3	19.0	14.2	5.3	0.0	0.0	1.8	6.4	6.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	49.4	21.1	11.8	3.4	0.0	0.0	2.2	6.2	6.0
	障害者手帳所持者がいる	227	35.2	22.5	26.4	2.6	0.0	0.0	2.2	5.3	5.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	32.4	61.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	45.3	18.7	16.0	8.0	0.0	0.0	2.7	2.7	6.7
	あてはまらない	320	39.1	38.8	15.0	1.6	0.3	0.0	0.9	2.5	1.9
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	55.2	22.4	15.5	1.7	0.0	0.0	3.4	1.7	0.0
	40～59歳	309	38.8	31.7	21.0	0.6	0.0	0.0	1.0	3.9	2.9
	60歳代	213	49.8	25.4	13.6	2.8	0.5	0.0	1.4	3.3	3.3
	70歳代	146	57.5	17.8	11.0	0.7	0.0	0.0	0.7	7.5	4.8
	80歳以上	120	53.3	7.5	11.7	2.5	0.0	0.0	3.3	11.7	10.0
	わからない	105	30.5	13.3	32.4	14.3	0.0	0.0	0.0	1.9	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	38.1	34.5	16.8	0.9	0.0	0.0	0.0	3.5	6.2
	まあまあゆとりがある	610	40.7	29.8	15.7	3.0	0.3	0.0	1.0	5.9	3.6
	やや苦しい	538	48.1	23.2	12.8	2.0	0.0	0.0	2.0	6.3	5.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	52.6	12.6	12.6	4.4	0.0	0.0	2.2	9.6	5.9
サービス	利用している	500	32.8	20.2	34.2	3.8	0.2	0.0	0.8	2.4	5.6
	利用していない	863	51.8	30.1	2.8	1.4	0.1	0.0	1.7	8.3	3.7
障害に気づいた時期	１年未満	39	43.6	23.1	20.5	2.6	0.0	0.0	2.6	5.1	2.6
	１年以上、３年未満	74	52.7	14.9	13.5	2.7	0.0	0.0	1.4	8.1	6.8
	３年以上、５年未満	89	56.2	30.3	2.2	3.4	0.0	0.0	1.1	2.2	4.5
	５年以上、10年未満	209	56.0	26.3	5.7	3.3	0.0	0.0	1.4	4.3	2.9
	10年以上	917	41.1	26.0	17.8	2.0	0.2	0.0	1.4	6.7	4.9
	わからない	56	39.3	32.1	10.7	3.6	0.0	0.0	0.0	10.7	3.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	50.0	15.5	13.9	4.0	0.0	0.0	2.1	6.1	8.3
	視覚障害がある	28	60.7	14.3	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	14.3
	聴覚障害がある	69	56.5	11.6	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	18.8	7.2

【夕方を過ごす場所】（15～18 時）○は１つだけ

「自宅」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「学校や職場」の割合が 18.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「自宅」、難病で「学校や職場」、知的で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』、『70 歳以上』で「自宅」、『20～29 歳』で「学校や職場」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「学校や職場」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「学校や職場」、『障害者手帳所持者がいる』で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「学校や職場」の割合が高く、『18～39 歳』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど「自宅」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「自宅」、『ゆとりがある』で「学校や職場」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高く、『利用していない』で「学校や職場」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「自宅」の割合が高くなっています。

		調査数	自宅	学校や職場	障害福祉サービス事業所・施設	介護保険サービス事業所・施設	親族や親戚の家	友人や知人の家	地域の公共施設など	特に決まっていない	無回答
全　体		1,461	60.2	18.5	6.6	1.8	0.3	0.1	0.7	5.5	6.2
本人の年齢	18～19歳	27	55.6	25.9	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0
	20～29歳	164	53.7	31.1	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	3.0
	30～39歳	195	49.2	25.6	16.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	4.1
	40～49歳	185	53.5	27.0	9.7	0.5	0.5	0.0	0.5	4.3	3.8
	50～59歳	229	57.6	24.9	6.6	0.0	0.4	0.0	0.9	4.4	5.2
	60～64歳	109	58.7	28.4	3.7	0.0	0.9	0.0	0.0	4.6	3.7
	65～69歳	91	71.4	14.3	1.1	2.2	1.1	0.0	0.0	4.4	5.5
	70歳以上	444	70.3	2.0	2.0	5.4	0.2	0.2	1.6	7.9	10.4
世帯構成	ひとり暮らし	274	65.0	13.9	2.9	1.5	0.4	0.4	1.5	8.0	6.6
	核家族世帯	695	62.4	22.2	4.9	0.1	0.4	0.0	0.3	4.6	5.0
	三世代世帯	32	59.4	40.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	436	54.4	14.2	12.2	5.0	0.2	0.0	0.9	5.5	7.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	65.3	13.7	4.4	2.8	0.8	0.0	0.4	6.0	6.6
	障害者手帳所持者がいる	227	45.8	15.4	20.3	2.6	0.9	0.0	0.4	6.6	7.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	38.2	52.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	58.7	10.7	9.3	6.7	0.0	0.0	0.0	5.3	9.3
	あてはまらない	320	60.6	28.8	5.0	0.6	0.0	0.0	0.3	2.2	2.5
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	62.1	19.0	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9
	40～59歳	309	62.5	21.7	7.4	0.6	0.3	0.0	1.0	3.9	2.6
	60歳代	213	69.5	18.3	5.6	0.5	0.0	0.0	0.5	2.3	3.3
	70歳代	146	74.0	8.9	4.1	0.7	0.7	0.0	0.7	6.2	4.8
	80歳以上	120	66.7	5.8	5.8	0.8	0.8	0.0	0.0	8.3	11.7
	わからない	105	40.0	8.6	26.7	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8	5.7
生活困窮	ゆとりがある	113	52.2	26.5	10.6	0.9	0.0	0.0	1.8	3.5	4.4
	まあまあゆとりがある	610	58.2	21.0	8.0	2.3	0.5	0.0	0.5	5.1	4.4
	やや苦しい	538	63.4	16.9	5.2	1.5	0.2	0.2	0.7	5.8	6.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	68.9	10.4	3.0	2.2	0.7	0.0	0.7	6.7	7.4
サービス	利用している	500	60.0	11.4	16.0	2.0	0.8	0.0	0.8	2.8	6.2
	利用していない	863	61.4	23.8	1.5	1.3	0.1	0.1	0.6	7.0	4.3
障害に気づいた時期	１年未満	39	53.8	17.9	17.9	2.6	0.0	0.0	0.0	5.1	2.6
	１年以上、３年未満	74	64.9	12.2	8.1	0.0	0.0	0.0	1.4	6.8	6.8
	３年以上、５年未満	89	64.0	23.6	1.1	2.2	0.0	0.0	1.1	1.1	6.7
	５年以上、10年未満	209	64.1	23.0	1.0	1.4	0.0	0.5	0.5	5.7	3.8
	10年以上	917	60.7	17.4	8.2	1.9	0.4	0.0	0.4	5.7	5.2
	わからない	56	46.4	23.2	8.9	3.6	0.0	0.0	1.8	8.9	7.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	62.6	9.6	7.5	2.7	1.3	0.0	0.3	5.3	10.7
	視覚障害がある	28	67.9	10.7	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	14.3
	聴覚障害がある	69	59.4	11.6	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	13.0	10.1

(%)

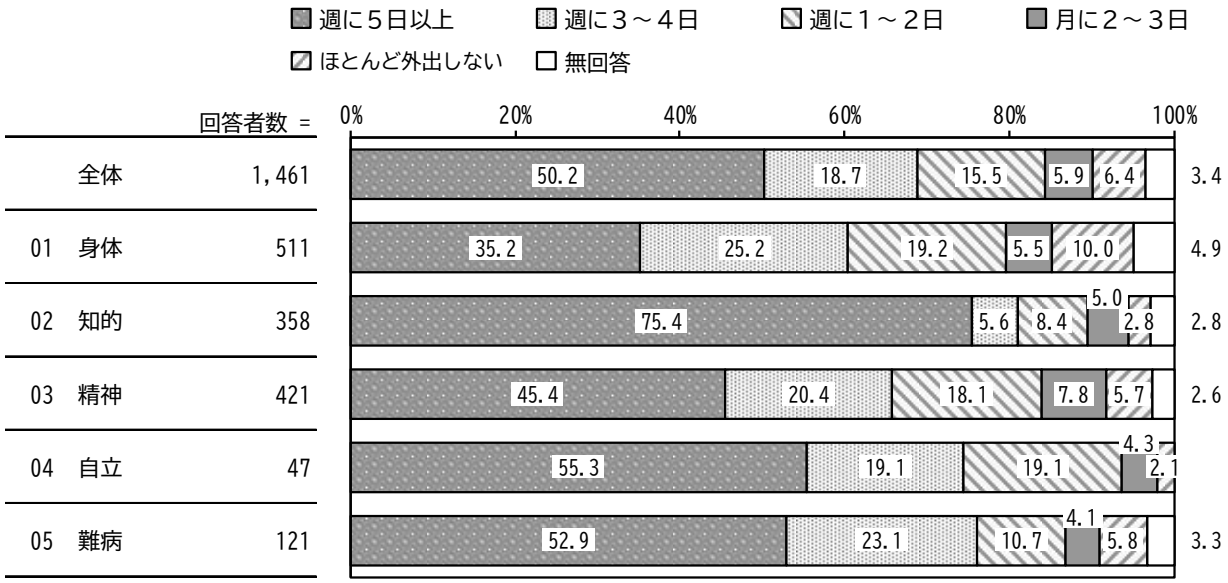
問　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	20	20	23	22	21	22

「週に５日以上」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「週に３～４日」の割合が 18.7%、「週に１～２日」の割合が 15.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「週に５日以上」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「週に５日以上」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「週に５日以上」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「週に５日以上」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「週に５日以上」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「週に５日以上」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「週に５日以上」の割合が高く、『利用していない』で「週に３～４日」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「週に５日以上」、『５年以上、10 年未満』で「週に３～４日」、『３年以上、５年未満』で「週に１～２日」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「週に５日以上」の割合が低くなっています。

		調査数	週に５日以上	週に３～４日	週に１～２日	月に２～３日	ほとんど外出しない	無回答
全　体		1,461	50.2	18.7	15.5	5.9	6.4	3.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	81.5	0.0	7.4	3.7	7.4	0.0
	20～29歳	164	76.2	7.3	10.4	3.0	1.8	1.2
	30～39歳	195	64.6	14.9	9.7	7.2	2.6	1.0
	40～49歳	185	59.5	13.5	14.6	6.5	3.2	2.7
	50～59歳	229	55.0	16.2	14.4	7.0	3.9	3.5
	60～64歳	109	55.0	21.1	12.8	2.8	6.4	1.8
	65～69歳	91	44.0	24.2	17.6	7.7	5.5	1.1
	70歳以上	444	26.4	27.0	22.1	6.3	12.2	6.1
世帯構成	ひとり暮らし	274	40.9	25.2	19.0	6.2	6.2	2.6
	核家族世帯	695	58.4	14.2	14.4	5.9	4.3	2.7
	三世代世帯	32	71.9	12.5	6.3	3.1	3.1	3.1
	その他の世帯	436	42.2	22.0	16.1	6.2	9.4	4.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	46.0	21.1	13.7	7.8	7.4	4.0
	障害者手帳所持者がいる	227	52.0	15.4	13.2	11.0	5.7	2.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	76.5	5.9	14.7	0.0	2.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	36.0	17.3	18.7	10.7	14.7	2.7
	あてはまらない	320	60.0	14.4	16.6	2.8	5.3	0.9
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	39.7	25.9	22.4	3.4	8.6	0.0
	40～59歳	309	58.6	14.2	15.2	5.8	5.2	1.0
	60歳代	213	50.2	17.8	17.4	8.0	4.2	2.3
	70歳代	146	41.1	25.3	14.4	7.5	7.5	4.1
	80歳以上	120	37.5	16.7	23.3	8.3	7.5	6.7
	わからない	105	39.0	18.1	16.2	4.8	18.1	3.8
生活困窮	ゆとりがある	113	66.4	15.9	9.7	1.8	3.5	2.7
	まあまあゆとりがある	610	54.9	17.5	14.9	5.2	5.2	2.1
	やや苦しい	538	46.5	19.9	16.2	5.9	7.8	3.7
	不自由が多く、生活が苦しい	135	38.5	18.5	18.5	12.6	8.1	3.7
サービス	利用している	500	55.4	14.4	16.0	5.4	6.4	2.4
	利用していない	863	48.9	21.8	15.2	6.5	5.4	2.2
障害に気づいた時期	１年未満	39	59.0	23.1	7.7	2.6	7.7	0.0
	１年以上、３年未満	74	50.0	23.0	12.2	5.4	6.8	2.7
	３年以上、５年未満	89	43.8	19.1	21.3	4.5	9.0	2.2
	５年以上、10年未満	209	45.5	26.3	16.7	3.8	6.2	1.4
	10年以上	917	52.8	16.5	15.3	6.3	6.0	3.2
	わからない	56	48.2	16.1	14.3	10.7	3.6	7.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	37.4	19.0	20.3	8.0	10.2	5.1
	視覚障害がある	28	28.6	28.6	17.9	7.1	10.7	7.1
	聴覚障害がある	69	43.5	20.3	21.7	2.9	8.7	2.9

問　外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	21	21	24	23	22	23

「電車」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「バス」の割合が 54.1%、「自家用車」の割合が 26.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「タクシー」の割合が高くなっています。

		調査数	電車	バス	タクシー	福祉タクシー（車いす等に対応した車両）	自家用車	その他	無回答
全　体		1,461	56.4	54.1	16.2	3.4	26.6	17.3	4.7
障害種別	身体	511	43.8	49.3	28.6	7.2	34.2	10.8	5.3
	知的	358	63.4	56.4	8.9	2.2	29.6	22.1	4.5
	精神	421	65.3	60.3	9.0	0.0	14.0	18.3	5.5
	自立	47	61.7	57.4	0.0	2.1	19.1	25.5	2.1
	難病	121	54.5	44.6	17.4	2.5	31.4	24.8	1.7

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『30～39 歳』で「電車」、『18～19 歳』で「バス」、『70 歳以上』で「タクシー」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「電車」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』、『あてはまらない』で「電車」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「福祉タクシー（車いす等に対応した車両）」、『あてはまらない』で「自家用車」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「電車」、『80 歳以上』で「タクシー」の割合が高くなっています。

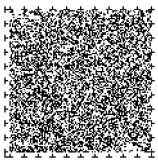
生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「タクシー」、『まあまあゆとりがある』で「自家用車」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「電車」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「自家用車」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「タクシー」の割合が高くなっています。

		調査数	電車	バス	タクシー	福祉タクシー（車いす等に対応した車両）	自家用車	その他	無回答
全　体		1,461	56.4	54.1	16.2	3.4	26.6	17.3	4.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	70.4	66.7	0.0	0.0	33.3	7.4	0.0
	20～29歳	164	72.6	62.2	4.3	0.6	31.7	18.3	1.8
	30～39歳	195	76.9	59.5	7.7	1.0	25.1	17.9	3.1
	40～49歳	185	64.3	61.1	11.4	1.1	20.5	21.1	2.7
	50～59歳	229	58.5	53.7	11.4	0.4	24.0	21.0	5.2
	60～64歳	109	57.8	53.2	11.9	3.7	29.4	22.9	1.8
	65～69歳	91	56.0	52.7	20.9	3.3	35.2	15.4	4.4
	70歳以上	444	36.0	46.8	29.3	8.1	27.0	12.4	7.4
世帯構成	ひとり暮らし	274	53.3	55.5	20.1	2.6	9.9	20.4	5.1
	核家族世帯	695	60.6	55.4	12.7	2.0	31.2	17.6	3.5
	三世代世帯	32	71.9	56.3	9.4	6.3	34.4	12.5	0.0
	その他の世帯	436	51.6	52.1	19.5	5.7	30.0	14.9	5.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	54.0	51.8	16.5	5.0	29.9	15.1	6.0
	障害者手帳所持者がいる	227	54.2	53.7	17.6	5.3	26.9	18.5	4.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	64.7	52.9	8.8	0.0	26.5	38.2	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	46.7	49.3	18.7	13.3	20.0	18.7	8.0
	あてはまらない	320	63.1	58.8	12.8	1.3	36.6	15.0	1.3
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	18～39歳	58	69.0	56.9	20.7	3.4	25.9	12.1	0.0
	40～59歳	309	57.3	55.7	14.9	2.3	34.0	16.5	1.6
	60歳代	213	57.3	53.5	14.6	3.3	35.2	14.1	2.3
	70歳代	146	60.3	56.2	22.6	2.7	32.2	13.0	4.1
	80歳以上	120	41.7	51.7	30.8	6.7	14.2	11.7	8.3
	わからない	105	44.8	48.6	17.1	7.6	12.4	21.9	12.4
生活困窮	ゆとりがある	113	59.3	51.3	10.6	0.0	25.7	16.8	6.2
	まあまあゆとりがある	610	58.7	56.2	15.2	4.1	33.4	15.9	2.8
	やや苦しい	538	55.8	55.2	16.0	2.6	23.2	17.8	5.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	51.1	48.1	22.2	5.9	13.3	20.7	5.2
サービス	利用している	500	52.6	53.6	19.8	5.6	26.4	19.2	3.4
	利用していない	863	60.7	56.2	14.9	1.5	27.2	16.5	4.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	35.9	41.0	12.8	5.1	46.2	20.5	7.7
	１年以上、３年未満	74	45.9	52.7	14.9	5.4	28.4	24.3	4.1
	３年以上、５年未満	89	56.2	43.8	15.7	6.7	34.8	12.4	1.1
	５年以上、10年未満	209	56.0	54.1	19.1	1.4	23.4	14.8	4.8
	10年以上	917	59.4	56.9	16.2	3.3	27.2	17.3	3.8
	わからない	56	62.5	57.1	8.9	1.8	10.7	17.9	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	43.0	45.5	22.7	8.3	23.8	16.0	7.2
	視覚障害がある	28	35.7	46.4	46.4	3.6	21.4	7.1	7.1
	聴覚障害がある	69	50.7	58.0	20.3	4.3	36.2	7.2	2.9



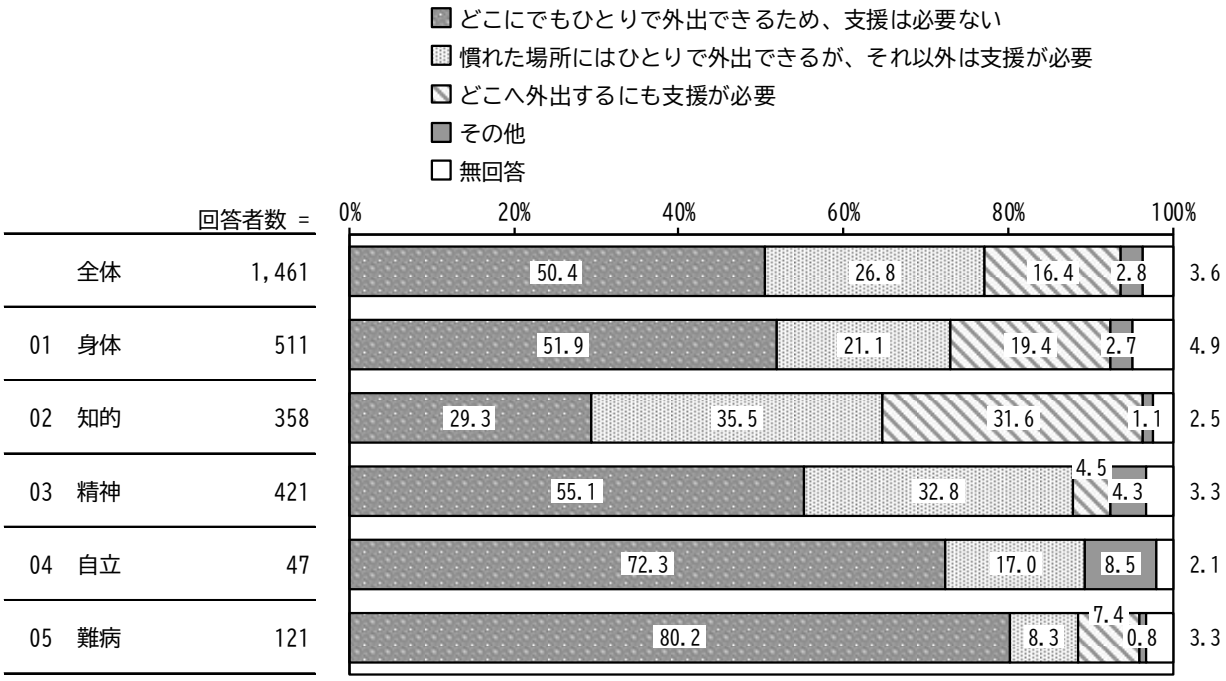
問　外出するときの支援の必要性についてお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	22	22	25	24	23	24

「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」の割合が 50.4%、「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」の割合が 26.8%、「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が 16.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」、知的で「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『60～64 歳』で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」、『18～19 歳』で「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」の割合が高い傾向にあります。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が高く、『利用していない』で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」、『視覚障害がある』で「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない	慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要	どこへ外出するにも支援が必要	その他	無回答	
全　体		1,461	50.4	26.8	16.4	2.8	3.6	(%)
本人の年齢	18～19歳	27	40.7	51.9	7.4	0.0	0.0	
	20～29歳	164	42.7	33.5	21.3	1.2	1.2	
	30～39歳	195	48.2	27.7	21.0	2.1	1.0	
	40～49歳	185	51.9	32.4	9.2	4.9	1.6	
	50～59歳	229	56.8	27.9	9.2	3.9	2.2	
	60～64歳	109	65.1	22.0	7.3	1.8	3.7	
	65～69歳	91	60.4	20.9	14.3	1.1	3.3	
	70歳以上	444	45.3	22.3	22.5	2.9	7.0	
世帯構成	ひとり暮らし	274	62.4	24.5	7.3	2.6	3.3	
	核家族世帯	695	47.6	30.1	16.3	3.0	3.0	
	三世代世帯	32	71.9	12.5	15.6	0.0	0.0	
	その他の世帯	436	45.4	24.8	22.5	2.8	4.6	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	48.8	25.1	19.5	2.8	3.8	
	障害者手帳所持者がいる	227	42.7	26.9	26.4	0.4	3.5	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	70.6	23.5	0.0	5.9	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	34.7	30.7	29.3	2.7	2.7	
	あてはまらない	320	49.4	30.3	15.0	2.8	2.5	
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	
	18～39歳	58	44.8	39.7	13.8	1.7	0.0	
	40～59歳	309	37.9	37.5	19.7	2.6	2.3	
	60歳代	213	40.4	31.0	22.5	2.3	3.8	
	70歳代	146	45.2	31.5	15.1	4.8	3.4	
	80歳以上	120	44.2	29.2	16.7	3.3	6.7	
	わからない	105	28.6	28.6	37.1	1.0	4.8	
生活困窮	ゆとりがある	113	60.2	23.0	15.0	0.0	1.8	
	まあまあゆとりがある	610	54.8	23.1	18.9	1.1	2.1	
	やや苦しい	538	47.6	29.0	14.5	4.3	4.6	
	不自由が多く、生活が苦しい	135	37.8	38.5	16.3	4.4	3.0	
サービス	利用している	500	28.4	34.0	32.2	3.0	2.4	
	利用していない	863	64.9	23.1	7.1	2.5	2.4	
障害に気づいた時期	１年未満	39	56.4	10.3	25.6	2.6	5.1	
	１年以上、３年未満	74	59.5	16.2	16.2	4.1	4.1	
	３年以上、５年未満	89	61.8	27.0	7.9	1.1	2.2	
	５年以上、10年未満	209	57.9	24.4	11.0	4.3	2.4	
	10年以上	917	46.8	29.8	18.1	2.5	2.8	
	わからない	56	48.2	23.2	16.1	5.4	7.1	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	36.6	29.9	24.6	3.2	5.6	
	視覚障害がある	28	17.9	46.4	28.6	0.0	7.1	
	聴覚障害がある	69	66.7	11.6	15.9	2.9	2.9	

問　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	23	23	26	25	24	25

「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「他人との会話が難しい」の割合が 17.3%、「電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」の割合が 12.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない」「他人との会話が難しい」、精神で「視線が気になる」「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」の割合が高くなっています。

		調査数	ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	視線が気になる	体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	バリアフリーの建物が少ない	車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない	障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	11.4	17.3	12.0	27.3	8.9	5.2	3.0	1.5	5.0	12.9	5.0	9.8	33.1	10.2
障害種別	身体	511	9.0	6.3	2.0	19.6	17.2	7.8	5.9	3.3	7.4	11.9	8.0	9.8	32.9	14.1
	知的	358	25.1	35.5	11.7	20.1	3.1	4.5	0.8	0.6	3.9	15.4	5.3	7.5	34.6	8.9
	精神	421	6.2	20.4	26.8	42.8	4.8	3.8	1.7	0.2	3.6	14.3	1.9	12.6	27.3	5.7
	自立	47	2.1	8.5	12.8	36.2	6.4	2.1	2.1	0.0	2.1	10.6	2.1	12.8	44.7	6.4
	難病	121	3.3	2.5	1.7	24.0	6.6	1.7	2.5	1.7	4.1	5.8	3.3	5.8	45.5	14.9

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない」「他人との会話が難しい」、『20～29 歳』、『40～49 歳』で「視線が気になる」の割合が高くなっています。

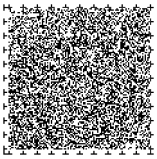
介助者の年齢別にみると、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど「他人との会話が難しい」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「視線が気になる」「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない」「他人との会話が難しい」「気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）」「電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い」の割合が高くなっています。

		調査数	ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	視線が気になる	体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	バリアフリーの建物が少ない	車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない	障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	11.4	17.3	12.0	27.3	8.9	5.2	3.0	1.5	5.0	12.9	5.0	9.8	33.1	10.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	22.2	44.4	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	11.1	40.7	3.7
	20～29歳	164	20.1	27.4	25.0	32.9	3.7	4.9	1.2	0.0	3.0	17.7	3.7	7.9	33.5	6.1
	30～39歳	195	16.9	34.4	19.0	32.8	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	12.8	2.1	12.3	28.2	7.7
	40～49歳	185	7.6	20.5	22.2	35.1	4.3	4.9	2.2	0.5	4.3	12.4	3.8	11.4	33.0	4.9
	50～59歳	229	9.2	20.5	13.5	30.1	6.6	5.2	3.5	2.2	3.9	15.3	4.4	12.7	37.1	6.6
	60～64歳	109	9.2	9.2	8.3	31.2	13.8	4.6	1.8	0.0	4.6	11.0	6.4	5.5	33.0	8.3
	65～69歳	91	3.3	3.3	6.6	25.3	12.1	8.8	7.7	2.2	5.5	12.1	5.5	6.6	42.9	7.7
	70歳以上	444	10.6	6.5	1.6	19.8	15.8	6.3	4.7	3.2	7.9	11.0	7.7	9.0	30.0	17.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	7.3	10.6	13.5	30.7	10.9	6.9	4.4	1.8	8.0	13.5	4.4	11.3	33.9	10.2
	核家族世帯	695	13.7	22.7	14.8	28.5	5.8	3.9	2.3	1.2	3.7	13.2	4.2	10.4	34.8	7.5
	三世代世帯	32	6.3	12.5	15.6	18.8	12.5	6.3	3.1	0.0	3.1	9.4	3.1	6.3	46.9	6.3
	その他の世帯	436	11.5	14.0	6.7	25.0	12.8	6.2	3.4	2.1	5.3	12.8	7.1	8.3	28.0	13.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	9.8	18.1	11.8	24.3	10.4	5.6	3.0	1.0	4.4	11.6	5.8	10.6	33.1	11.8
	障害者手帳所持者がいる	227	18.5	26.4	13.2	26.4	7.0	4.4	3.5	2.6	4.8	17.2	7.9	8.8	28.6	8.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	2.9	11.8	11.8	38.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	47.1	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	16.0	20.0	16.0	25.3	10.7	5.3	4.0	2.7	6.7	12.0	8.0	17.3	20.0	12.0
	あてはまらない	320	13.1	17.8	10.9	33.1	8.8	4.1	2.8	2.5	4.7	15.9	4.1	9.4	36.6	5.9
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	58	13.8	13.8	15.5	55.2	12.1	5.2	1.7	1.7	6.9	8.6	6.9	12.1	25.9	3.4
	40～59歳	309	14.2	21.7	13.3	28.2	8.7	5.5	2.9	2.6	4.5	16.8	3.9	11.0	30.1	8.4
	60歳代	213	16.4	22.1	12.2	30.5	14.1	7.0	3.8	1.4	5.6	16.9	4.7	13.1	31.0	7.5
	70歳代	146	10.3	17.8	13.7	29.5	6.8	0.0	1.4	2.1	5.5	8.2	7.5	8.2	32.2	8.2
	80歳以上	120	9.2	17.5	14.2	20.0	13.3	7.5	2.5	0.8	6.7	11.7	4.2	6.7	27.5	13.3
	わからない	105	17.1	19.0	13.3	28.6	7.6	8.6	3.8	1.9	8.6	17.1	9.5	9.5	22.9	13.3
生活困窮	ゆとりがある	113	7.1	11.5	6.2	17.7	3.5	1.8	0.9	0.0	0.9	8.0	0.9	4.4	53.1	15.0
	まあまあゆとりがある	610	12.5	18.4	6.6	19.8	6.4	3.1	2.6	1.3	3.3	11.0	4.4	9.3	39.5	8.5
	やや苦しい	538	10.8	17.8	15.4	33.8	11.2	7.2	2.4	1.5	5.2	14.5	5.6	11.7	26.4	10.0
	不自由が多く、生活が苦しい	135	14.1	21.5	29.6	45.2	17.8	9.6	10.4	3.0	14.8	20.7	10.4	10.4	14.1	7.4
サービス	利用している	500	24.2	29.0	15.4	29.8	10.4	7.2	4.4	2.6	9.2	20.8	7.6	10.6	23.8	7.0
	利用していない	863	4.3	11.0	10.5	27.7	7.9	4.1	2.3	0.9	2.8	8.8	3.2	9.4	40.1	8.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	10.3	15.4	0.0	17.9	7.7	5.1	0.0	2.6	2.6	7.7	7.7	10.3	30.8	17.9
	１年以上、３年未満	74	2.7	10.8	8.1	24.3	9.5	2.7	1.4	0.0	4.1	9.5	4.1	9.5	36.5	14.9
	３年以上、５年未満	89	6.7	14.6	13.5	32.6	11.2	5.6	5.6	2.2	10.1	14.6	4.5	11.2	27.0	9.0
	５年以上、10年未満	209	10.5	10.0	10.5	33.0	13.9	8.1	4.8	1.9	6.7	16.7	4.8	11.0	33.0	12.0
	10年以上	917	13.4	20.1	12.9	27.8	7.6	4.5	2.8	1.5	4.5	13.1	5.3	9.7	33.2	8.1
	わからない	56	3.6	23.2	16.1	19.6	10.7	12.5	1.8	0.0	5.4	12.5	3.6	10.7	32.1	16.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	15.5	16.3	12.6	31.8	14.2	8.3	5.1	3.5	9.6	15.8	7.5	9.6	24.6	10.2
	視覚障害がある	28	14.3	10.7	3.6	7.1	39.3	14.3	10.7	0.0	7.1	17.9	3.6	7.1	21.4	17.9
	聴覚障害がある	69	5.8	26.1	2.9	13.0	10.1	2.9	5.8	5.8	8.7	11.6	4.3	8.7	42.0	10.1



【外出をためらう理由で「電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」と回答された方にお聞きします。】

問　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	24	24	27	26	25	26

自由意見	**319　件**
パニックや体調急変への不安（トイレ確保、閉鎖空間等）	35　件
身体的・体力的な問題（長距離の歩行困難、体力低下等）	35　件
ルート・乗り換え・行き先などの理解や判断が困難	34　件
人混み・混雑への苦痛や他者の視線への恐怖	33　件
交通機関の利便性・アクセスへの不満（本数少、タクシー不足等）	28　件
単独での外出・移動が困難（介助や付き添いが必要）	23　件
乗務員・駅員とのコミュニケーション困難や対応への不満	21　件
周囲の乗客の配慮不足や無理解（優先席、舌打ち等）	20　件
乗降時の動作の遅れや支払い・システム利用の困難	19　件
駅・車両のバリアフリーや設備の問題（段差、階段等）	16　件
座席が確保できないことへの不安・身体的負担	15　件
障害特性による他者を困惑させる行為への懸念（大声、多動等）	13　件
車椅子や歩行器などの補助具利用に伴うハードル	12　件
交通費などの金銭面・経済的な負担	9　件
その他	6　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【パニックや体調急変への不安（トイレ確保、閉鎖空間等）】

●パニック障害があるため密閉空間での長時間移動はためらいやすい。

●駅まで距離があり歩けない。乗物が不意に揺れた場合、転倒して骨折する恐れがある。

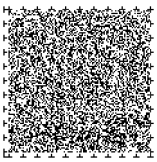
●車イスで家から移動する時の対応も、その後の道路もタクシーの乗り降りも、どうしても不安がある。数年、ヘルパーさんに散歩して頂いた時は、体重が重いせいもあり、うまく安心して乗る事が出来ず止めた。

【身体的・体力的な問題（長距離の歩行困難、体力低下等）】

●人工股関節の為長く歩けない。

●体力がない為、長時間乗ってられない。１人で移動できない。

●歩行が不安定で１人で乗り降りできない。支払いなど金銭の扱いが難しい。



【ルート・乗り換え・行き先などの理解や判断が困難】

●座席が確保できない。乗り換えが大変。

●待ち時間に立っているのがつらい。バスの時間がいまいち。タクシーは高額に感じる。電車の乗り換えが恐い。

●知っている区間・エリアについてはスムーズに利用できるが、それ以外は利用しづらい。人にきいても教えてくれないことがたまにある。

【人混み・混雑への苦痛や他者の視線への恐怖】

●段差があり転びやすい。混雑しているので、通行中押されたり、嫌な顔をされたりすることがあったため外出しなくなりました。

●混み合いの時等、倒される様で怖くて利用出来ない。

●バスが混むから。

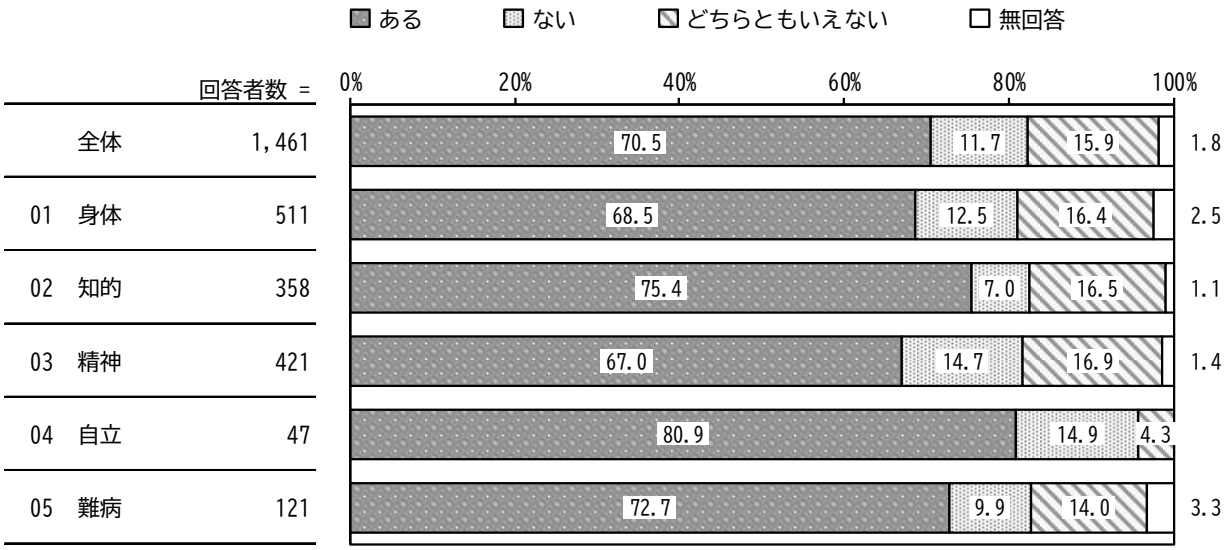
問　あなたには、趣味や楽しみがありますか。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	25	25	28	27	26	27

「ある」の割合が 70.5%、「ない」の割合が 11.7%、「どちらともいえない」の割合が 15.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「ある」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「ある」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「ある」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で「ある」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『60 歳代』で「ある」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ある」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「ない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「ない」の割合が高くなっています。

		調査数	ある	ない	どちらともいえない	無回答
全　体		1,461	70.5	11.7	15.9	1.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	85.2	3.7	11.1	0.0
	20～29歳	164	81.1	7.9	11.0	0.0
	30～39歳	195	76.9	8.7	12.8	1.5
	40～49歳	185	69.2	10.3	18.9	1.6
	50～59歳	229	69.0	12.7	17.5	0.9
	60～64歳	109	67.9	12.8	18.3	0.9
	65～69歳	91	74.7	12.1	13.2	0.0
	70歳以上	444	64.6	14.6	17.1	3.6
世帯構成	ひとり暮らし	274	66.8	15.7	15.0	2.6
	核家族世帯	695	75.3	8.3	15.4	1.0
	三世代世帯	32	90.6	9.4	0.0	0.0
	その他の世帯	436	65.4	14.9	17.4	2.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	72.5	10.8	14.9	1.8
	障害者手帳所持者がいる	227	67.8	12.8	18.1	1.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	67.6	8.8	23.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	68.0	14.7	16.0	1.3
	あてはまらない	320	78.1	8.8	12.8	0.3
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	70.7	13.8	13.8	1.7
	40～59歳	309	72.5	8.7	17.8	1.0
	60歳代	213	77.9	7.0	13.6	1.4
	70歳代	146	68.5	11.6	17.8	2.1
	80歳以上	120	65.8	15.8	14.2	4.2
	わからない	105	47.6	23.8	27.6	1.0
生活困窮	ゆとりがある	113	83.2	9.7	6.2	0.9
	まあまあゆとりがある	610	77.5	7.9	13.1	1.5
	やや苦しい	538	66.4	13.0	18.2	2.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	50.4	26.7	23.0	0.0
サービス	利用している	500	71.0	12.4	16.0	0.6
	利用していない	863	71.7	11.2	15.6	1.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	69.2	10.3	17.9	2.6
	１年以上、３年未満	74	64.9	17.6	17.6	0.0
	３年以上、５年未満	89	70.8	14.6	12.4	2.2
	５年以上、10年未満	209	71.3	12.0	14.8	1.9
	10年以上	917	72.0	10.4	16.2	1.4
	わからない	56	60.7	17.9	19.6	1.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	66.8	14.4	16.6	2.1
	視覚障害がある	28	50.0	25.0	21.4	3.6
	聴覚障害がある	69	71.0	11.6	17.4	0.0

【趣味や楽しみ（楽しいこと）の有無で「ある」と回答された方にお聞きします。】

問　あなたの趣味や楽しみをお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	26	26	29	28	27	28

「テレビやビデオ、映画などの鑑賞」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「買い物」の割合が 37.2%、「近所へ出かけること」の割合が 25.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「友人や知人との遊び」、難病で「旅行」の割合が高くなっています。

		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵画や工作などの美術活動	演奏や歌などの音楽活動	仕事や家事の手伝い	友人や知人との遊び	テレビやビデオ、映画などの鑑賞	近所へ出かけること	旅行	買い物	その他	無回答
全　体		1,030	22.2	13.9	17.2	11.3	23.0	61.5	25.7	25.2	37.2	25.7	0.5
障害種別	身体	350	20.3	10.3	12.6	9.7	25.1	60.3	23.4	29.4	35.1	25.7	0.9
	知的	270	29.3	13.7	23.3	15.6	14.8	64.8	29.3	24.4	42.6	18.5	0.7
	精神	282	17.7	20.2	17.0	9.9	26.2	61.3	24.8	15.6	33.0	33.3	0.0
	自立	38	26.3	10.5	13.2	13.2	36.8	71.1	31.6	34.2	42.1	18.4	0.0
	難病	88	20.5	10.2	19.3	6.8	21.6	52.3	23.9	37.5	40.9	26.1	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「スポーツやダンスなど体を動かすこと」、『65～69 歳』で「旅行」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「買い物」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「仕事や家事の手伝い」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「絵画や工作などの美術活動」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「旅行」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「絵画や工作などの美術活動」「演奏や歌などの音楽活動」の割合が高く、『利用していない』で「友人や知人との遊び」「旅行」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「演奏や歌などの音楽活動」、『１年以上、３年未満』で「友人や知人との遊び」「旅行」、『１年未満』、『１年以上、３年未満』で「近所へ出かけること」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「近所へ出かけること」、『聴覚障害がある』で「旅行」の割合が高くなっています。

		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵画や工作などの美術活動	演奏や歌などの音楽活動	仕事や家事の手伝い	友人や知人との遊び	テレビやビデオ、映画などの鑑賞	近所へ出かけること	旅行	買い物	その他	無回答
全　体		1,030	22.2	13.9	17.2	11.3	23.0	61.5	25.7	25.2	37.2	25.7	0.5
本人の年齢	18～19歳	23	43.5	21.7	26.1	8.7	30.4	52.2	17.4	17.4	30.4	39.1	4.3
	20～29歳	133	30.1	19.5	20.3	10.5	27.1	61.7	28.6	27.8	33.1	21.8	0.0
	30～39歳	150	26.0	19.3	18.0	11.3	26.7	64.0	29.3	24.7	42.0	18.7	0.0
	40～49歳	128	18.8	15.6	16.4	15.6	23.4	65.6	28.1	23.4	38.3	21.9	0.0
	50～59歳	158	23.4	12.0	17.1	10.8	17.7	62.7	26.6	29.7	40.5	31.0	0.0
	60～64歳	74	18.9	10.8	18.9	16.2	18.9	63.5	25.7	21.6	33.8	24.3	1.4
	65～69歳	68	14.7	10.3	7.4	7.4	23.5	70.6	26.5	36.8	39.7	23.5	1.5
	70歳以上	287	18.8	9.8	17.4	9.4	23.0	55.7	22.0	22.0	34.8	28.9	0.7
世帯構成	ひとり暮らし	183	20.8	19.7	20.8	5.5	29.0	65.0	22.4	19.7	35.5	29.5	0.5
	核家族世帯	523	23.1	14.3	16.4	12.8	22.4	61.8	25.2	24.1	36.3	23.7	0.6
	三世代世帯	29	27.6	6.9	13.8	13.8	24.1	55.2	31.0	34.5	55.2	34.5	0.0
	その他の世帯	285	21.1	10.5	16.8	10.9	21.1	59.3	28.4	30.5	37.9	25.6	0.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	364	20.6	12.6	17.9	14.3	21.7	62.1	26.6	25.5	38.7	25.8	0.3
	障害者手帳所持者がいる	154	22.1	14.9	16.9	15.6	16.2	61.7	27.3	22.1	40.3	22.7	0.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	23	26.1	8.7	4.3	8.7	21.7	43.5	34.8	17.4	26.1	39.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	51	25.5	19.6	11.8	27.5	19.6	62.7	25.5	13.7	45.1	29.4	0.0
	あてはまらない	250	23.6	14.0	18.4	9.2	23.2	62.8	24.4	31.6	36.0	22.4	0.8
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	100.0	33.3	0.0
	18～39歳	41	12.2	19.5	12.2	7.3	31.7	61.0	22.0	34.1	39.0	17.1	0.0
	40～59歳	224	21.9	13.4	17.0	9.4	18.8	61.6	21.4	21.9	35.7	21.9	0.4
	60歳代	166	20.5	11.4	13.9	13.9	22.3	66.3	28.3	30.7	38.0	24.7	1.2
	70歳代	100	23.0	13.0	19.0	10.0	23.0	61.0	26.0	24.0	37.0	23.0	0.0
	80歳以上	79	15.2	8.9	17.7	16.5	24.1	59.5	31.6	17.7	36.7	36.7	0.0
	わからない	50	26.0	24.0	32.0	8.0	14.0	58.0	24.0	20.0	38.0	26.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	94	30.9	21.3	21.3	14.9	23.4	59.6	22.3	37.2	34.0	23.4	0.0
	まあまあゆとりがある	473	25.4	11.0	16.3	11.8	25.8	61.9	27.1	28.1	38.7	24.7	0.6
	やや苦しい	357	17.4	15.4	17.6	10.4	20.7	61.1	26.6	21.0	38.4	26.3	0.6
	不自由が多く、生活が苦しい	68	19.1	11.8	17.6	5.9	16.2	60.3	19.1	14.7	27.9	32.4	0.0
サービス	利用している	355	23.1	18.3	24.2	12.4	16.9	64.8	26.5	22.0	36.6	25.4	0.6
	利用していない	619	22.1	11.8	13.4	10.5	27.1	60.6	25.8	27.6	38.0	26.3	0.2
障害に気づいた時期	１年未満	27	18.5	11.1	29.6	18.5	18.5	44.4	40.7	25.9	29.6	14.8	0.0
	１年以上、３年未満	48	20.8	10.4	14.6	8.3	35.4	60.4	39.6	35.4	41.7	22.9	0.0
	３年以上、５年未満	63	19.0	11.1	14.3	9.5	28.6	61.9	23.8	22.2	30.2	28.6	0.0
	５年以上、10年未満	149	18.8	15.4	11.4	14.1	22.1	55.0	24.8	22.1	35.6	27.5	0.7
	10年以上	660	23.6	14.2	19.1	10.8	22.7	64.1	25.6	26.1	39.1	23.6	0.5
	わからない	34	17.6	14.7	17.6	14.7	23.5	58.8	20.6	20.6	35.3	50.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	250	17.6	16.0	18.0	11.6	24.0	66.4	22.0	20.0	38.8	28.8	1.2
	視覚障害がある	14	21.4	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	35.7	28.6	35.7	35.7	0.0
	聴覚障害がある	49	28.6	12.2	6.1	14.3	30.6	51.0	30.6	36.7	46.9	26.5	0.0

(%)

問　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	27	27	30	29	28	29

「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」の割合が 33.9%、「障害のある方と一緒に楽しめる活動」の割合が 14.9%、「障害の有無にかかわらず楽しめる活動」の割合が 34.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神、自立で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」、知的で「障害のある方と一緒に楽しめる活動」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	障害のある方と一緒に楽しめる活動	障害の有無にかかわらず楽しめる活動	その他	特に参加したいと思わない	無回答	
全　体		1,461	33.9	14.9	34.1	2.5	32.6	7.5	(%)
障害種別	身体	511	25.6	7.0	28.6	3.3	39.9	11.0	
	知的	358	32.7	32.4	41.9	2.8	22.6	5.6	
	精神	421	44.2	14.3	38.0	1.9	29.5	4.8	
	自立	47	44.7	4.3	19.1	0.0	40.4	8.5	
	難病	121	32.2	1.7	25.6	0.8	40.5	8.3	

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」、『20～29 歳』で「障害のある方と一緒に楽しめる活動」、『20～29 歳』、『30～39 歳』で「障害の有無にかかわらず楽しめる活動」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」「障害のある方と一緒に楽しめる活動」の割合が高くなっています。

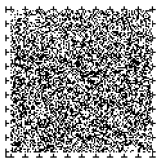
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」、『障害者手帳所持者がいる』で「障害のある方と一緒に楽しめる活動」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど「障害の有無にかかわらず楽しめる活動」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害のある方と一緒に楽しめる活動」「障害の有無にかかわらず楽しめる活動」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「障害の有無にかかわらず楽しめる活動」の割合が高くなっています。



		調査数	ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	障害のある方と一緒に楽しめる活動	障害の有無にかかわらず楽しめる活動	その他	特に参加したいと思わない	無回答
全　体		1,461	33.9	14.9	34.1	2.5	32.6	7.5 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	48.1	29.6	40.7	0.0	29.6	0.0
	20～29歳	164	46.3	35.4	47.6	3.0	15.9	3.7
	30～39歳	195	42.6	23.1	45.1	1.0	23.6	4.6
	40～49歳	185	35.1	11.9	36.8	3.2	31.9	5.4
	50～59歳	229	38.4	14.8	32.3	1.3	34.1	4.4
	60～64歳	109	41.3	12.8	36.7	1.8	32.1	4.6
	65～69歳	91	28.6	2.2	24.2	0.0	41.8	8.8
	70歳以上	444	21.6	7.0	25.2	4.1	40.8	13.7
世帯構成	ひとり暮らし	274	39.1	8.4	32.1	2.2	28.8	10.6
	核家族世帯	695	35.1	18.8	35.5	2.2	34.0	5.9
	三世代世帯	32	50.0	25.0	40.6	0.0	21.9	0.0
	その他の世帯	436	28.7	11.9	33.5	3.4	33.0	8.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	28.5	13.5	31.3	3.0	37.5	8.0
	障害者手帳所持者がいる	227	28.2	22.9	38.3	1.8	32.6	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	38.2	2.9	38.2	2.9	35.3	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	22.7	17.3	36.0	2.7	34.7	8.0
	あてはまらない	320	41.3	18.1	37.8	2.5	30.9	2.2
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	32.8	12.1	43.1	1.7	36.2	3.4
	40～59歳	309	34.3	22.7	39.5	2.6	28.2	2.9
	60歳代	213	37.1	16.4	31.9	1.4	29.6	9.4
	70歳代	146	28.8	13.0	30.8	4.8	33.6	6.2
	80歳以上	120	26.7	14.2	20.8	2.5	47.5	11.7
	わからない	105	23.8	21.9	33.3	4.8	34.3	10.5
生活困窮	ゆとりがある	113	45.1	15.9	34.5	0.9	34.5	4.4
	まあまあゆとりがある	610	35.4	14.1	38.4	2.3	29.8	6.1
	やや苦しい	538	32.2	15.4	31.6	3.2	33.3	8.2
	不自由が多く、生活が苦しい	135	29.6	17.0	26.7	2.2	40.7	8.9
サービス	利用している	500	36.0	28.4	41.6	3.0	24.2	4.0
	利用していない	863	33.4	8.1	32.0	2.0	39.2	6.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	33.3	15.4	30.8	2.6	30.8	15.4
	１年以上、３年未満	74	28.4	5.4	27.0	1.4	39.2	10.8
	３年以上、５年未満	89	38.2	6.7	34.8	0.0	34.8	6.7
	５年以上、10年未満	209	35.4	12.0	32.5	1.9	35.9	7.7
	10年以上	917	34.0	18.0	35.8	2.7	31.3	5.7
	わからない	56	32.1	16.1	37.5	3.6	35.7	8.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	28.1	16.0	31.3	2.9	36.4	6.7
	視覚障害がある	28	25.0	14.3	42.9	3.6	21.4	14.3
	聴覚障害がある	69	34.8	1.4	24.6	5.8	36.2	10.1

4　就労について

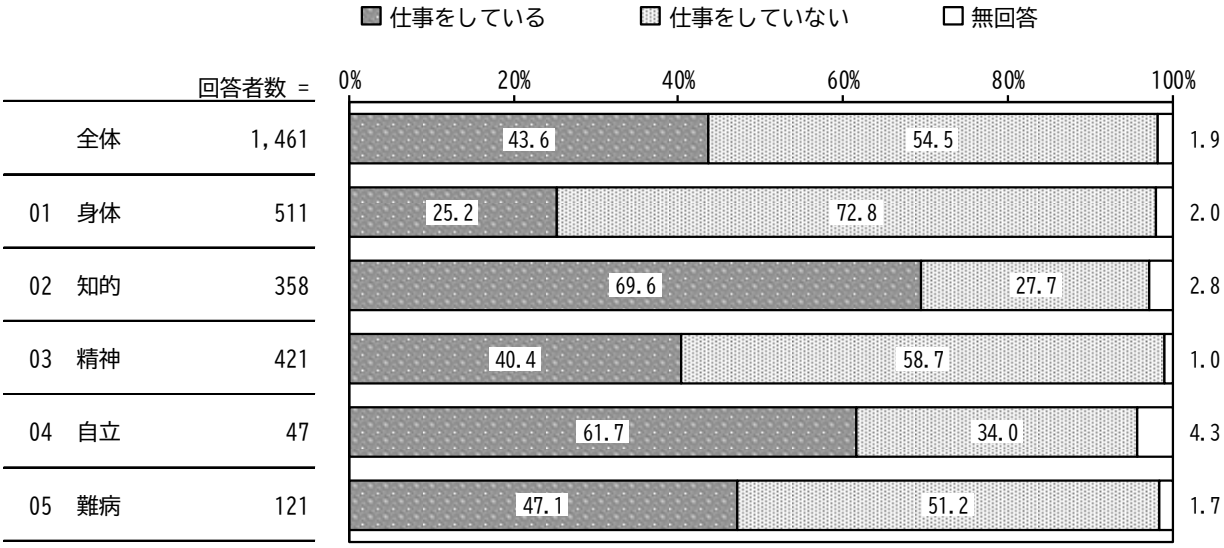
問　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	28	28	31	30	29	30

「仕事をしている」の割合が 43.6%、「仕事をしていない」の割合が 54.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「仕事をしている」、身体で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「仕事をしている」、『70 歳以上』で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「仕事をしている」、『ひとり暮らし』で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「仕事をしている」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『80 歳以上』で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「仕事をしている」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。

		調査数	仕事をしている	仕事をしていない	無回答
全　体		1,461	43.6	54.5	1.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	40.7	55.6	3.7
	20～29歳	164	68.3	31.1	0.6
	30～39歳	195	64.6	32.8	2.6
	40～49歳	185	62.2	36.8	1.1
	50～59歳	229	54.1	45.0	0.9
	60～64歳	109	52.3	47.7	0.0
	65～69歳	91	28.6	70.3	1.1
	70歳以上	444	13.3	83.1	3.6
世帯構成	ひとり暮らし	274	31.8	66.1	2.2
	核家族世帯	695	52.7	46.0	1.3
	三世代世帯	32	62.5	37.5	0.0
	その他の世帯	436	34.9	62.2	3.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	38.8	59.0	2.2
	障害者手帳所持者がいる	227	44.9	52.9	2.2
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	64.7	35.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	37.3	58.7	4.0
	あてはまらない	320	55.9	43.4	0.6
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	41.4	56.9	1.7
	40～59歳	309	46.3	53.4	0.3
	60歳代	213	48.4	50.2	1.4
	70歳代	146	34.9	63.0	2.1
	80歳以上	120	25.8	73.3	0.8
	わからない	105	27.6	68.6	3.8
生活困窮	ゆとりがある	113	62.8	36.3	0.9
	まあまあゆとりがある	610	47.9	51.0	1.1
	やや苦しい	538	40.1	57.6	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	135	28.9	68.1	3.0
サービス	利用している	500	47.2	51.6	1.2
	利用していない	863	42.4	57.0	0.6
障害に気づいた時期	１年未満	39	48.7	51.3	0.0
	１年以上、３年未満	74	35.1	63.5	1.4
	３年以上、５年未満	89	41.6	58.4	0.0
	５年以上、10年未満	209	40.2	57.9	1.9
	10年以上	917	45.4	53.2	1.4
	わからない	56	50.0	48.2	1.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	32.6	65.0	2.4
	視覚障害がある	28	32.1	60.7	7.1
	聴覚障害がある	69	18.8	81.2	0.0

【収入を伴う仕事の実施状況で「仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

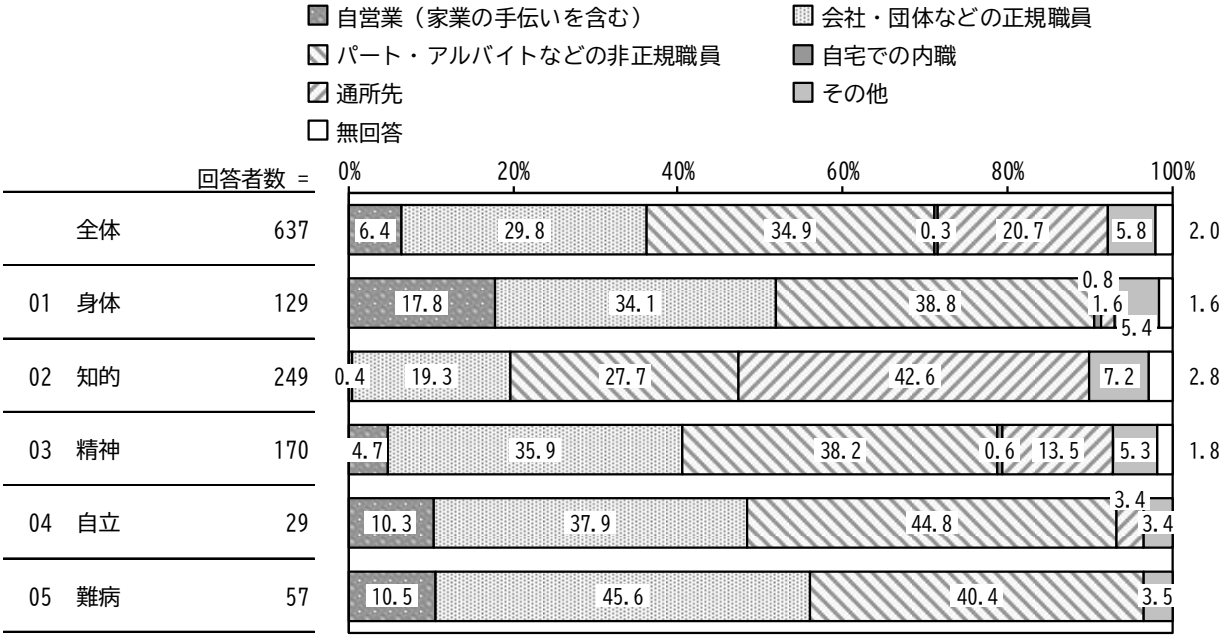
問　あなたの仕事の形態をお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	29	29	32	31	30	31

「パート・アルバイトなどの非正規職員」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「会社・団体などの正規職員」の割合が 29.8%、「通所先」の割合が 20.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「自営業（家業の手伝いを含む)」、難病で「会社・団体などの正規職員」、知的で「通所先」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳以上』で「自営業（家業の手伝いを含む)」、『50～59 歳』で「会社・団体などの正規職員」、『65～69 歳』で「パート・アルバイトなどの非正規職員」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「会社・団体などの正規職員」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「会社・団体などの正規職員」、『やや苦しい』で「パート・アルバイトなどの非正規職員」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「通所先」の割合が高く、『利用していない』で「自営業（家業の手伝いを含む)」「会社・団体などの正規職員」「パート・アルバイトなどの非正規職員」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「通所先」の割合が高く、『聴覚障害がある』で「自営業（家業の手伝いを含む)」「会社・団体などの正規職員」の割合が高くなっています。

		調査数	自営業（家業の手伝いを含む）	会社・団体などの正規職員	パート・アルバイトなどの非正規職員	自宅での内職	通所先	その他	無回答
全　体		637	6.4	29.8	34.9	0.3	20.7	5.8	2.0 (%)
本人の年齢	18～19歳	11	0.0	36.4	36.4	0.0	27.3	0.0	0.0
	20～29歳	112	0.0	26.8	33.9	0.0	29.5	8.0	1.8
	30～39歳	126	2.4	35.7	27.8	0.0	27.8	2.4	4.0
	40～49歳	115	2.6	30.4	37.4	0.0	24.3	4.3	0.9
	50～59歳	124	5.6	41.1	29.0	0.8	16.1	7.3	0.0
	60～64歳	57	14.0	26.3	38.6	0.0	10.5	7.0	3.5
	65～69歳	26	7.7	11.5	57.7	0.0	15.4	3.8	3.8
	70歳以上	59	30.5	6.8	44.1	1.7	5.1	8.5	3.4
世帯構成	ひとり暮らし	87	8.0	31.0	37.9	1.1	13.8	5.7	2.3
	核家族世帯	366	3.6	28.7	35.5	0.3	25.1	4.6	2.2
	三世代世帯	20	0.0	50.0	40.0	0.0	5.0	5.0	0.0
	その他の世帯	152	13.2	28.9	29.6	0.0	17.8	8.6	2.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	195	8.7	22.6	35.4	0.5	23.6	6.2	3.1
	障害者手帳所持者がいる	102	6.9	22.5	27.5	1.0	31.4	6.9	3.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	22	0.0	63.6	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	28	7.1	17.9	35.7	0.0	25.0	10.7	3.6
	あてはまらない	179	4.5	38.0	33.5	0.0	17.3	5.6	1.1
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	24	8.3	41.7	25.0	0.0	20.8	4.2	0.0
	40～59歳	143	3.5	33.6	32.2	0.0	25.2	4.2	1.4
	60歳代	103	6.8	24.3	35.9	0.0	23.3	7.8	1.9
	70歳代	51	5.9	13.7	47.1	2.0	23.5	3.9	3.9
	80歳以上	31	16.1	12.9	25.8	0.0	29.0	9.7	6.5
	わからない	29	0.0	10.3	27.6	0.0	48.3	10.3	3.4
生活困窮	ゆとりがある	71	8.5	36.6	26.8	0.0	18.3	7.0	2.8
	まあまあゆとりがある	292	6.2	32.9	29.8	0.3	21.9	6.2	2.7
	やや苦しい	216	6.5	25.0	44.0	0.5	19.9	3.7	0.5
	不自由が多く、生活が苦しい	39	7.7	20.5	33.3	0.0	23.1	10.3	5.1
サービス	利用している	236	1.7	17.4	22.5	0.4	49.2	6.8	2.1
	利用していない	366	9.3	38.8	42.9	0.3	2.5	4.6	1.6
障害に気づいた時期	１年未満	19	5.3	10.5	26.3	0.0	31.6	10.5	15.8
	１年以上、３年未満	26	3.8	30.8	42.3	0.0	15.4	7.7	0.0
	３年以上、５年未満	37	18.9	51.4	27.0	0.0	2.7	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	84	8.3	42.9	38.1	0.0	6.0	2.4	2.4
	10年以上	416	4.8	26.2	35.3	0.5	26.0	5.5	1.7
	わからない	28	3.6	21.4	32.1	0.0	21.4	17.9	3.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	122	6.6	24.6	28.7	0.0	27.9	8.2	4.1
	視覚障害がある	9	11.1	44.4	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0
	聴覚障害がある	13	15.4	53.8	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7

【収入を伴う仕事の実施状況で「仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	30	30	33	32	31	32

「学校」の割合が 19.8%と最も高く、次いで「障害者就労支援センター「一歩」」の割合が 17.4%、「ハローワーク」の割合が 15.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「就労移行支援事業所」、知的で「学校」の割合が高くなっています。

		調査数	ハローワーク	障害者就労支援センター「一歩」	就労移行支援事業所	学校	家族や親戚	友人や知人	その他	特に支援やサポートは受けていない	無回答
全　体		637	15.5	17.4	14.8	19.8	9.6	5.5	10.5	27.8	3.1
障害種別	身体	129	15.5	3.1	3.9	1.6	4.7	7.8	8.5	51.9	7.8
	知的	249	9.6	26.1	15.7	44.6	14.1	4.0	6.8	6.0	3.6
	精神	170	24.7	22.4	29.4	5.9	10.6	5.9	17.6	23.5	0.6
	自立	29	20.7	10.3	0.0	3.4	3.4	6.9	3.4	55.2	0.0
	難病	57	12.3	0.0	0.0	1.8	0.0	5.3	12.3	68.4	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「ハローワーク」、『20～29 歳』で「障害者就労支援センター「一歩」」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「ハローワーク」「障害者就労支援センター「一歩」」「学校」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ハローワーク」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「障害者就労支援センター「一歩」」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害者就労支援センター「一歩」」「就労移行支援事業所」「学校」「家族や親戚」の割合が高く、『利用していない』で「ハローワーク」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「障害者就労支援センター「一歩」」「就労移行支援事業所」「学校」「家族や親戚」の割合が高く、『聴覚障害がある』で「ハローワーク」の割合が高くなっています。

		調査数	ハローワーク	障害者就労支援センター「一歩」	就労移行支援事業所	学校	家族や親戚	友人や知人	その他	特に支援やサポートは受けていない	無回答
全　体		637	15.5	17.4	14.8	19.8	9.6	5.5	10.5	27.8	3.1
本人の年齢	18～19歳	11	27.3	18.2	0.0	100.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	112	15.2	33.9	20.5	48.2	15.2	2.7	5.4	8.9	0.9
	30～39歳	126	10.3	26.2	23.0	30.2	15.1	5.6	9.5	11.9	3.2
	40～49歳	115	22.6	20.9	18.3	14.8	6.1	2.6	12.2	28.7	1.7
	50～59歳	124	14.5	4.8	10.5	4.0	5.6	7.3	12.1	45.2	1.6
	60～64歳	57	17.5	7.0	5.3	0.0	12.3	10.5	8.8	38.6	3.5
	65～69歳	26	19.2	3.8	3.8	0.0	0.0	11.5	23.1	42.3	3.8
	70歳以上	59	10.2	0.0	3.4	0.0	3.4	3.4	15.3	50.8	13.6
世帯構成	ひとり暮らし	87	16.1	6.9	12.6	4.6	3.4	5.7	20.7	37.9	2.3
	核家族世帯	366	16.7	21.0	15.8	27.9	11.7	4.9	7.9	20.8	3.3
	三世代世帯	20	35.0	35.0	15.0	30.0	10.0	0.0	5.0	20.0	0.0
	その他の世帯	152	9.9	11.2	13.2	8.6	8.6	6.6	11.8	41.4	3.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	195	18.5	18.5	16.9	19.5	9.7	5.6	9.7	25.1	5.1
	障害者手帳所持者がいる	102	12.7	19.6	15.7	23.5	11.8	6.9	8.8	15.7	3.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	22	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	59.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	28	10.7	21.4	14.3	10.7	14.3	0.0	14.3	28.6	3.6
	あてはまらない	179	15.1	18.4	13.4	25.1	12.3	3.9	8.4	31.8	2.2
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	24	20.8	12.5	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	41.7	4.2
	40～59歳	143	14.0	21.0	16.8	31.5	12.6	1.4	8.4	26.6	0.0
	60歳代	103	14.6	23.3	17.5	26.2	15.5	10.7	8.7	13.6	2.9
	70歳代	51	17.6	17.6	19.6	13.7	11.8	7.8	11.8	27.5	3.9
	80歳以上	31	19.4	22.6	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7	25.8	3.2
	わからない	29	13.8	24.1	27.6	24.1	6.9	0.0	20.7	0.0	6.9
生活困窮	ゆとりがある	71	14.1	32.4	18.3	28.2	15.5	8.5	4.2	16.9	2.8
	まあまあゆとりがある	292	11.0	16.1	12.0	26.7	9.6	4.1	10.6	26.4	4.1
	やや苦しい	216	20.4	13.9	15.3	11.1	6.9	5.6	10.2	37.0	2.3
	不自由が多く、生活が苦しい	39	20.5	17.9	17.9	5.1	17.9	7.7	25.6	15.4	2.6
サービス	利用している	236	11.9	25.8	27.5	32.2	14.4	3.4	11.4	8.1	3.4
	利用していない	366	17.8	12.6	6.3	12.6	7.4	6.8	9.3	41.0	2.2
障害に気づいた時期	１年未満	19	5.3	5.3	15.8	10.5	5.3	0.0	10.5	36.8	15.8
	１年以上、３年未満	26	15.4	15.4	15.4	7.7	0.0	19.2	7.7	30.8	3.8
	３年以上、５年未満	37	8.1	10.8	5.4	5.4	2.7	2.7	13.5	59.5	0.0
	５年以上、10年未満	84	21.4	14.3	10.7	6.0	6.0	6.0	13.1	46.4	1.2
	10年以上	416	14.7	19.0	15.4	25.5	11.1	5.3	9.9	21.4	3.1
	わからない	28	25.0	32.1	35.7	21.4	17.9	0.0	7.1	7.1	3.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	122	9.8	18.0	18.0	19.7	5.7	6.6	13.9	25.4	2.5
	視覚障害がある	9	33.3	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1
	聴覚障害がある	13	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	38.5	15.4

(%)

【収入を伴う仕事の実施状況で「仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問　仕事をする上で困っていることをお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	31	31	34	33	32	33

「給与や工賃などの収入が少ない」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「職場の人間関係が難しい」の割合が 18.7%、「通勤の負担が大きい」の割合が 13.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「給与や工賃などの収入が少ない」「職場の人間関係が難しい」、自立で「勤務時間・日数の負荷が大きい」の割合が高くなっています。

		調査数	給与や工賃などの収入が少ない	勤務時間・日数の負荷が大きい	通勤の負担が大きい	職務内容が自分に合わない	職場の人間関係が難しい	職場の設備が障害に対応していない	職場での障害に対する理解が足りない	職場での悩みを相談できるところがない	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		637	35.8	10.4	13.5	5.5	18.7	3.3	9.4	8.5	7.2	37.0	3.1
障害種別	身体	129	15.5	11.6	13.2	3.9	6.2	6.2	9.3	3.9	4.7	51.9	7.8
	知的	249	34.5	3.2	8.8	2.8	16.5	1.6	5.6	6.4	5.2	40.6	3.2
	精神	170	53.5	15.3	21.2	11.2	32.4	4.7	16.5	12.9	12.9	17.1	1.2
	自立	29	31.0	31.0	17.2	6.9	31.0	0.0	3.4	13.8	3.4	34.5	0.0
	難病	57	36.8	12.3	10.5	0.0	7.0	0.0	5.3	8.8	7.0	49.1	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『40～49 歳』で「給与や工賃などの収入が少ない」の割合が高くなっています。

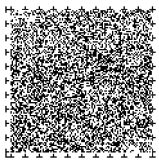
世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「職場の人間関係が難しい」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「給与や工賃などの収入が少ない」「勤務時間・日数の負荷が大きい」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「給与や工賃などの収入が少ない」「勤務時間・日数の負荷が大きい」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「給与や工賃などの収入が少ない」「職場の人間関係が難しい」の割合が高く、『利用していない』で「勤務時間・日数の負荷が大きい」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「給与や工賃などの収入が少ない」「勤務時間・日数の負荷が大きい」「職場の人間関係が難しい」「職場での障害に対する理解が足りない」の割合が高く、『聴覚障害がある』で「通勤の負担が大きい」「職場の設備が障害に対応していない」の割合が高くなっています。



		調査数	給与や工賃などの収入が少ない	勤務時間・日数の負荷が大きい	通勤の負担が大きい	職務内容が自分に合わない	職場の人間関係が難しい	職場の設備が障害に対応していない	職場での障害に対する理解が足りない	職場での悩みを相談できるところがない	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		637	35.8	10.4	13.5	5.5	18.7	3.3	9.4	8.5	7.2	37.0	3.1
本人の年齢	18～19歳	11	36.4	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	45.5	0.0
	20～29歳	112	34.8	7.1	12.5	5.4	23.2	4.5	8.9	10.7	8.9	36.6	0.9
	30～39歳	126	38.9	10.3	15.9	10.3	25.4	3.2	12.7	11.1	5.6	31.0	2.4
	40～49歳	115	51.3	14.8	20.9	5.2	17.4	4.3	11.3	6.1	7.0	30.4	0.9
	50～59歳	124	36.3	16.1	15.3	5.6	20.2	1.6	7.3	9.7	9.7	30.6	3.2
	60～64歳	57	33.3	8.8	5.3	1.8	15.8	3.5	15.8	10.5	1.8	42.1	3.5
	65～69歳	26	30.8	7.7	15.4	3.8	3.8	3.8	11.5	3.8	3.8	46.2	3.8
	70歳以上	59	5.1	1.7	0.0	1.7	5.1	3.4	0.0	1.7	10.2	64.4	13.6
世帯構成	ひとり暮らし	87	39.1	14.9	9.2	11.5	29.9	8.0	18.4	11.5	8.0	34.5	2.3
	核家族世帯	366	37.7	9.3	14.2	4.9	18.3	3.0	9.0	8.2	7.1	35.2	3.6
	三世代世帯	20	40.0	5.0	20.0	0.0	15.0	0.0	5.0	5.0	5.0	40.0	0.0
	その他の世帯	152	30.3	11.8	14.5	4.6	14.5	2.0	6.6	8.6	7.2	40.1	2.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	195	40.5	9.2	14.4	3.1	14.9	2.1	6.2	6.7	8.2	37.4	5.1
	障害者手帳所持者がいる	102	38.2	6.9	9.8	4.9	16.7	3.9	6.9	8.8	8.8	35.3	3.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	22	50.0	27.3	22.7	9.1	13.6	0.0	13.6	13.6	9.1	22.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	28	46.4	17.9	17.9	0.0	21.4	7.1	17.9	3.6	14.3	25.0	3.6
	あてはまらない	179	27.4	9.5	16.8	6.1	17.9	2.8	9.5	10.1	7.8	44.1	1.1
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	24	29.2	16.7	20.8	0.0	25.0	0.0	4.2	8.3	12.5	41.7	4.2
	40～59歳	143	37.1	12.6	15.4	7.0	18.2	2.1	5.6	6.3	6.3	32.9	0.7
	60歳代	103	28.2	9.7	12.6	6.8	13.6	3.9	10.7	6.8	5.8	42.7	2.9
	70歳代	51	41.2	5.9	11.8	2.0	11.8	2.0	7.8	7.8	9.8	31.4	7.8
	80歳以上	31	48.4	9.7	9.7	3.2	16.1	0.0	12.9	9.7	0.0	45.2	6.5
	わからない	29	58.6	10.3	17.2	6.9	34.5	0.0	10.3	13.8	0.0	17.2	3.4
生活困窮	ゆとりがある	71	18.3	2.8	4.2	1.4	19.7	1.4	4.2	2.8	4.2	53.5	2.8
	まあまあゆとりがある	292	24.0	7.5	12.0	4.8	12.7	2.4	8.2	6.2	5.1	46.6	3.4
	やや苦しい	216	53.2	15.3	19.0	6.0	25.0	3.7	12.0	13.0	9.7	21.3	2.8
	不自由が多く、生活が苦しい	39	59.0	23.1	17.9	15.4	28.2	10.3	17.9	15.4	15.4	17.9	2.6
サービス	利用している	236	46.2	5.1	10.6	5.9	22.0	3.0	8.1	8.1	9.7	28.0	3.0
	利用していない	366	30.1	13.7	15.3	5.2	16.1	3.3	10.1	8.5	5.5	43.4	2.2
障害に気づいた時期	１年未満	19	26.3	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	57.9	10.5
	１年以上、３年未満	26	38.5	15.4	11.5	3.8	15.4	11.5	11.5	3.8	3.8	42.3	3.8
	３年以上、５年未満	37	35.1	16.2	10.8	5.4	13.5	0.0	8.1	10.8	8.1	43.2	0.0
	５年以上、10年未満	84	38.1	19.0	25.0	11.9	26.2	2.4	17.9	13.1	7.1	29.8	2.4
	10年以上	416	36.5	8.7	12.0	4.6	18.3	2.9	7.7	7.5	6.5	37.0	3.1
	わからない	28	25.0	0.0	10.7	3.6	14.3	3.6	10.7	3.6	14.3	35.7	7.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	122	38.5	7.4	9.0	5.7	19.7	1.6	5.7	4.1	9.8	36.9	1.6
	視覚障害がある	9	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	33.3	11.1	0.0	33.3	11.1
	聴覚障害がある	13	15.4	0.0	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	38.5	15.4

(%)

【収入を伴う仕事の実施状況で「仕事をしていない」と回答された方にお聞きします。】

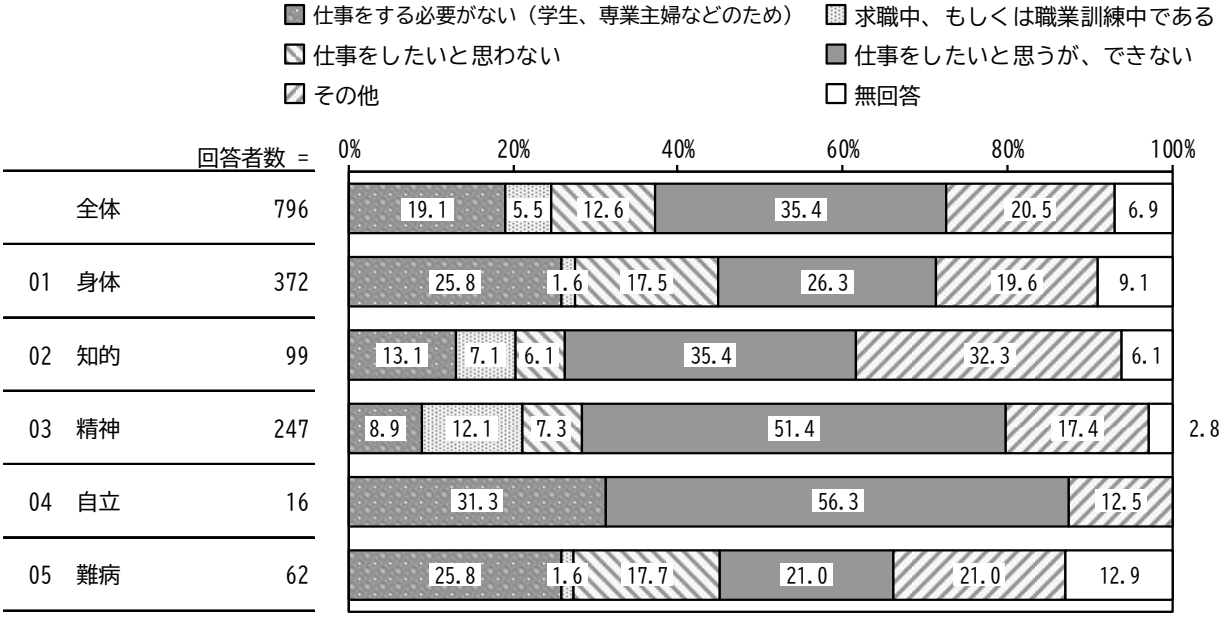
問　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	32	32	35	34	33	34

「仕事をしたいと思うが、できない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）」の割合が 19.1%、「仕事をしたいと思わない」の割合が 12.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）」「仕事をしたいと思うが、できない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）」、『20～29 歳』で「求職中、もしくは職業訓練中である」、『40～49 歳』で「仕事をしたいと思うが、できない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「仕事をしたいと思うが、できない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「仕事をしたいと思うが、できない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）」、『視覚障害がある』で「仕事をしたいと思わない」「仕事をしたいと思うが、できない」の割合が高くなっています。

		調査数	仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）	求職中、もしくは職業訓練中である	仕事をしたいと思わない	仕事をしたいと思うが、できない	その他	無回答	
全　体		796	19.1	5.5	12.6	35.4	20.5	6.9	(%)
本人の年齢	18～19歳	15	66.7	13.3	0.0	6.7	6.7	6.7	
	20～29歳	51	7.8	21.6	2.0	39.2	23.5	5.9	
	30～39歳	64	6.3	14.1	6.3	50.0	20.3	3.1	
	40～49歳	68	7.4	11.8	5.9	61.8	10.3	2.9	
	50～59歳	103	8.7	10.7	8.7	45.6	25.2	1.0	
	60～64歳	52	25.0	0.0	9.6	48.1	15.4	1.9	
	65～69歳	64	17.2	3.1	12.5	45.3	18.8	3.1	
	70歳以上	369	26.0	0.0	18.4	22.8	22.2	10.6	
世帯構成	ひとり暮らし	181	11.6	6.6	11.0	39.8	24.9	6.1	
	核家族世帯	320	19.7	8.1	12.2	36.9	17.8	5.3	
	三世代世帯	12	16.7	0.0	0.0	50.0	25.0	8.3	
	その他の世帯	271	24.4	1.8	14.8	30.6	20.7	7.7	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	296	22.0	3.7	17.2	33.1	18.6	5.4	
	障害者手帳所持者がいる	120	15.0	3.3	13.3	36.7	26.7	5.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	12	16.7	0.0	0.0	75.0	8.3	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	44	13.6	0.0	11.4	47.7	20.5	6.8	
	あてはまらない	139	26.6	10.1	8.6	33.8	15.1	5.8	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	33	21.2	3.0	6.1	45.5	21.2	3.0	
	40～59歳	165	23.6	6.7	10.3	32.7	22.4	4.2	
	60歳代	107	20.6	4.7	8.4	43.0	16.8	6.5	
	70歳代	92	17.4	7.6	20.7	33.7	15.2	5.4	
	80歳以上	88	20.5	2.3	14.8	31.8	18.2	12.5	
	わからない	72	13.9	4.2	13.9	33.3	26.4	8.3	
生活困窮	ゆとりがある	41	46.3	4.9	9.8	22.0	14.6	2.4	
	まあまあゆとりがある	311	31.5	4.5	16.4	22.2	19.6	5.8	
	やや苦しい	310	9.4	4.8	11.9	45.2	22.3	6.5	
	不自由が多く、生活が苦しい	92	3.3	8.7	7.6	55.4	16.3	8.7	
サービス	利用している	258	13.6	8.5	10.5	35.7	23.3	8.5	
	利用していない	492	21.1	4.5	14.0	35.8	19.9	4.7	
障害に気づいた時期	１年未満	20	25.0	0.0	10.0	35.0	30.0	0.0	
	１年以上、３年未満	47	31.9	6.4	10.6	27.7	19.1	4.3	
	３年以上、５年未満	52	17.3	3.8	13.5	38.5	15.4	11.5	
	５年以上、10年未満	121	20.7	5.8	19.8	34.7	11.6	7.4	
	10年以上	488	17.6	5.9	10.7	36.9	23.8	5.1	
	わからない	27	11.1	3.7	7.4	33.3	25.9	18.5	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	243	14.4	4.1	10.7	38.7	21.8	10.3	
	視覚障害がある	17	11.8	0.0	23.5	58.8	5.9	0.0	
	聴覚障害がある	56	39.3	0.0	17.9	16.1	17.9	8.9	

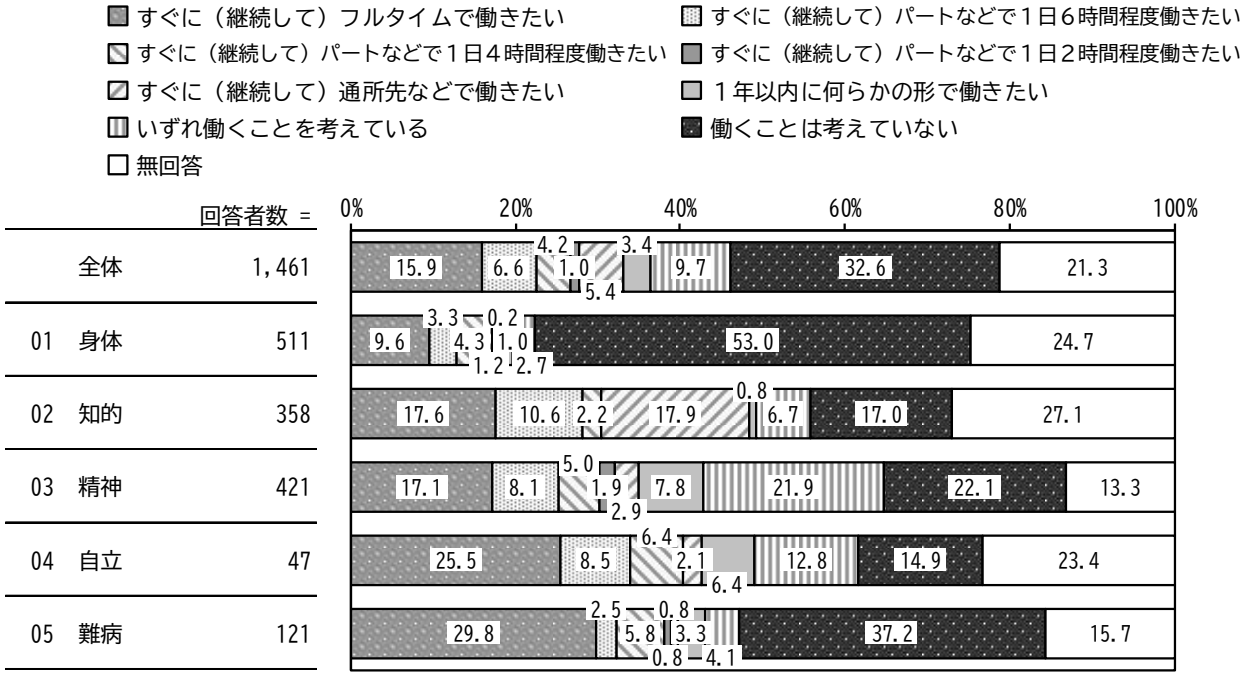
問　今後の就労意向についてお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	33	33	36	35	34	35

「働くことは考えていない」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「すぐに（継続して）フルタイムで働きたい」の割合が 15.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「すぐに（継続して）フルタイムで働きたい」、知的で「すぐに（継続して）通所先などで働きたい」、精神で「いずれ働くことを考えている」、身体で「働くことは考えていない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「すぐに（継続して）フルタイムで働きたい」「いずれ働くことを考えている」、『70 歳以上』で「働くことは考えていない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「いずれ働くことを考えている」、『その他の世帯』で「働くことは考えていない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「すぐに（継続して）フルタイムで働きたい」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「いずれ働くことを考えている」の割合が高くなっています。

		調査数	すぐに（継続して）フルタイムで働きたい	すぐに（継続して）パートなど1日6時間程度働きたい	すぐに（継続して）パートなど1日4時間程度働きたい	すぐに（継続して）パートなど1日2時間程度働きたい	すぐに（継続して）通所先などで働きたい	1年以内に何らかの形で働きたい	いずれ働くことを考えている	働くことは考えていない	無回答
全　体		1,461	15.9	6.6	4.2	1.0	5.4	3.4	9.7	32.6	21.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	33.3	3.7	0.0	0.0	7.4	7.4	33.3	0.0	14.8
	20～29歳	164	23.2	11.6	2.4	1.8	14.6	4.9	7.9	11.0	22.6
	30～39歳	195	26.7	12.3	2.6	0.5	8.7	5.1	14.9	10.3	19.0
	40～49歳	185	25.9	8.1	6.5	0.0	9.2	5.4	12.4	11.4	21.1
	50～59歳	229	22.3	6.6	7.9	1.3	3.9	3.1	16.6	20.5	17.9
	60～64歳	109	24.8	7.3	3.7	0.0	3.7	3.7	12.8	29.4	14.7
	65～69歳	91	4.4	6.6	7.7	1.1	1.1	3.3	4.4	58.2	13.2
	70歳以上	444	0.7	1.4	2.5	1.4	0.9	0.9	2.3	64.2	25.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	12.4	4.7	3.6	0.7	2.6	5.5	14.6	35.8	20.1
	核家族世帯	695	19.9	8.6	4.5	0.7	8.3	3.7	10.2	24.9	19.1
	三世代世帯	32	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.9	15.6	31.3
	その他の世帯	436	11.9	4.4	4.4	1.6	3.0	1.6	5.3	45.4	22.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	10.4	5.6	3.8	1.0	5.2	2.6	8.8	39.8	22.9
	障害者手帳所持者がいる	227	11.9	7.5	3.1	0.0	7.9	1.3	9.7	34.8	23.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	50.0	5.9	5.9	0.0	0.0	11.8	14.7	0.0	11.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	12.0	4.0	2.7	0.0	6.7	2.7	9.3	37.3	25.3
	あてはまらない	320	28.1	7.5	5.0	1.3	6.3	3.4	8.8	24.4	15.3
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	18～39歳	58	19.0	1.7	8.6	1.7	3.4	5.2	17.2	31.0	12.1
	40～59歳	309	17.8	9.1	3.6	0.3	7.4	3.9	10.4	32.0	15.5
	60歳代	213	15.5	8.5	4.7	1.9	8.0	1.9	9.9	31.9	17.8
	70歳代	146	7.5	6.2	4.1	1.4	5.5	4.1	8.2	41.1	21.9
	80歳以上	120	5.0	5.0	2.5	1.7	4.2	3.3	7.5	50.8	20.0
	わからない	105	5.7	6.7	1.9	0.0	4.8	1.9	10.5	42.9	25.7
生活困窮	ゆとりがある	113	25.7	7.1	0.9	1.8	6.2	0.9	8.0	25.7	23.9
	まあまあゆとりがある	610	16.7	6.9	3.6	1.0	6.4	2.3	6.1	36.2	20.8
	やや苦しい	538	14.3	6.5	5.6	0.9	5.4	4.1	12.1	32.2	19.0
	不自由が多く、生活が苦しい	135	14.8	5.9	4.4	0.7	2.2	6.7	20.7	23.0	21.5
サービス	利用している	500	8.6	7.4	3.2	0.4	13.6	3.0	10.4	31.2	22.2
	利用していない	863	21.1	6.5	4.9	1.5	0.8	3.8	9.7	34.9	16.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	2.6	12.8	2.6	0.0	10.3	2.6	2.6	46.2	20.5
	１年以上、３年未満	74	10.8	6.8	10.8	1.4	1.4	5.4	5.4	41.9	16.2
	３年以上、５年未満	89	22.5	1.1	1.1	0.0	1.1	6.7	7.9	30.3	29.2
	５年以上、10年未満	209	23.4	6.2	3.3	1.4	1.9	2.4	8.6	35.9	16.7
	10年以上	917	14.4	7.4	4.1	1.0	7.4	3.3	10.7	31.8	19.8
	わからない	56	16.1	1.8	3.6	3.6	0.0	3.6	10.7	25.0	35.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	6.7	5.1	3.7	1.1	5.3	3.7	9.4	39.0	25.9
	視覚障害がある	28	10.7	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6	42.9	35.7
	聴覚障害がある	69	8.7	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	65.2	21.7

問　障害のある方が働くために必要だと思うことをお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	34	34	37	36	35	36

「障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」の割合が 37.2%、「障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口」の割合が 36.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神ですべての割合が高くなる傾向にあります。

		調査数	障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口	障害のある方を雇用したい事業者の求人情報	就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	その他	わからない	無回答
全　体		1,461	36.8	36.3	18.5	24.3	24.8	24.2	44.1	18.3	37.2	27.4	4.0	18.1	14.4
障害種別	身体	511	25.6	28.4	13.9	15.3	17.8	18.6	29.4	19.6	26.2	14.7	1.8	21.9	25.6
	知的	358	33.5	27.7	16.2	27.4	20.1	16.5	52.8	15.9	28.5	31.6	3.6	18.7	13.1
	精神	421	52.5	53.4	28.5	34.4	34.9	35.4	56.5	20.0	55.3	40.4	7.6	13.1	2.6
	自立	47	46.8	36.2	12.8	21.3	40.4	31.9	42.6	17.0	38.3	23.4	0.0	19.1	10.6
	難病	121	33.9	34.7	10.7	17.4	24.8	28.1	36.4	14.9	45.5	24.0	2.5	18.2	14.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口」、『18～19 歳』で「就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援」「就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度」「パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練」「就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）」、『30～39 歳』で「障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」、『60～64 歳』で「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」、『20～29 歳』で「就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「障害のある方を雇用したい事業者の求人情報」「パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練」「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度」の割合が高くなっています。

		調査数	障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口	障害のある方を雇用したい事業者の求人情報	就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	その他	わからない	無回答
全　体		1,461	36.8	36.3	18.5	24.3	24.8	24.2	44.1	18.3	37.2	27.4	4.0	18.1	14.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	48.1	44.4	33.3	51.9	37.0	40.7	51.9	22.2	40.7	37.0	3.7	14.8	11.1
	20～29歳	164	50.0	44.5	29.9	39.0	34.1	28.7	58.5	22.6	40.9	43.9	4.9	14.0	8.5
	30～39歳	195	47.7	45.6	29.7	34.9	34.9	28.2	67.7	21.5	48.7	43.6	4.1	11.8	6.7
	40～49歳	185	43.2	42.2	19.5	28.1	28.6	27.6	60.0	17.8	42.7	33.0	3.2	13.0	3.8
	50～59歳	229	39.3	44.5	19.2	23.1	30.6	26.2	49.3	17.9	44.1	31.0	7.4	15.3	6.1
	60～64歳	109	46.8	45.9	13.8	22.0	27.5	36.7	48.6	22.9	50.5	30.3	5.5	13.8	3.7
	65～69歳	91	36.3	31.9	12.1	20.9	15.4	19.8	28.6	17.6	36.3	14.3	2.2	20.9	8.8
	70歳以上	444	20.7	21.4	10.6	13.3	13.5	15.3	21.8	14.9	22.1	11.9	2.3	26.6	32.2
世帯構成	ひとり暮らし	274	35.0	36.5	15.7	20.8	24.5	27.4	38.3	15.7	34.7	25.2	7.7	21.2	16.4
	核家族世帯	695	42.9	40.7	23.2	28.5	28.5	27.2	52.4	20.9	40.9	33.7	3.2	15.3	10.6
	三世代世帯	32	40.6	43.8	21.9	31.3	31.3	31.3	53.1	12.5	50.0	34.4	0.0	15.6	9.4
	その他の世帯	436	28.9	29.4	12.8	19.3	19.3	17.4	35.1	16.5	32.6	19.0	3.4	20.9	18.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	35.3	34.7	18.3	23.7	21.7	22.1	41.8	17.9	38.4	25.5	3.6	17.3	16.7
	障害者手帳所持者がいる	227	31.3	28.6	16.3	23.3	22.9	21.6	44.9	19.4	33.5	27.3	4.8	22.0	12.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	44.1	44.1	23.5	17.6	26.5	32.4	61.8	17.6	50.0	32.4	2.9	11.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	34.7	37.3	25.3	33.3	29.3	29.3	46.7	25.3	41.3	29.3	4.0	20.0	16.0
	あてはまらない	320	41.6	42.2	23.4	31.3	31.9	28.1	52.8	21.9	41.6	33.8	2.8	15.6	10.0
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	43.1	36.2	17.2	25.9	25.9	29.3	51.7	20.7	51.7	29.3	1.7	17.2	8.6
	40～59歳	309	40.1	40.1	24.6	29.4	29.8	24.6	49.2	20.4	37.2	32.4	3.9	18.8	8.7
	60歳代	213	39.9	41.3	19.7	27.2	29.6	26.3	49.3	21.6	42.3	26.8	4.2	12.7	14.6
	70歳代	146	39.7	34.2	18.5	24.0	16.4	23.3	44.5	15.8	36.3	28.1	3.4	15.1	13.7
	80歳以上	120	20.8	28.3	10.0	15.8	13.3	12.5	24.2	11.7	24.2	12.5	1.7	21.7	31.7
	わからない	105	26.7	28.6	17.1	21.9	20.0	22.9	33.3	19.0	33.3	22.9	3.8	34.3	17.1
生活困窮	ゆとりがある	113	33.6	27.4	22.1	29.2	19.5	17.7	46.0	19.5	30.1	28.3	4.4	16.8	19.5
	まあまあゆとりがある	610	33.9	32.6	16.7	23.1	22.6	20.8	43.8	17.7	33.1	24.8	2.6	19.3	14.8
	やや苦しい	538	40.5	41.4	20.3	25.3	28.4	27.5	44.6	19.7	41.3	29.4	5.8	16.5	12.6
	不自由が多く、生活が苦しい	135	45.2	47.4	22.2	25.9	27.4	34.8	49.6	19.3	51.1	37.0	3.7	17.8	11.9
サービス	利用している	500	35.8	34.8	22.2	30.4	25.8	23.8	48.6	21.6	35.8	31.2	5.6	18.4	13.6
	利用していない	863	39.3	39.7	17.5	22.0	25.5	25.6	43.7	17.5	40.4	26.7	3.4	18.3	11.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	20.5	20.5	12.8	12.8	5.1	10.3	28.2	7.7	23.1	7.7	2.6	33.3	28.2
	１年以上、３年未満	74	33.8	40.5	17.6	21.6	25.7	24.3	44.6	18.9	35.1	21.6	1.4	16.2	13.5
	３年以上、５年未満	89	37.1	37.1	20.2	29.2	28.1	29.2	39.3	19.1	38.2	25.8	2.2	13.5	19.1
	５年以上、10年未満	209	37.3	41.6	18.7	23.0	27.3	27.8	38.8	20.6	38.3	26.3	5.3	16.7	15.3
	10年以上	917	38.7	36.9	19.2	25.4	25.7	24.1	49.3	19.1	39.8	30.3	3.8	18.1	10.8
	わからない	56	32.1	28.6	21.4	21.4	19.6	25.0	26.8	19.6	26.8	21.4	8.9	26.8	19.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	27.8	28.3	13.1	21.1	18.7	20.1	37.2	17.4	31.3	20.1	4.0	23.3	16.8
	視覚障害がある	28	21.4	28.6	21.4	10.7	10.7	14.3	25.0	17.9	10.7	7.1	3.6	21.4	25.0
	聴覚障害がある	69	15.9	20.3	8.7	10.1	15.9	15.9	29.0	15.9	23.2	15.9	1.4	26.1	27.5

5　相談支援や情報入手について

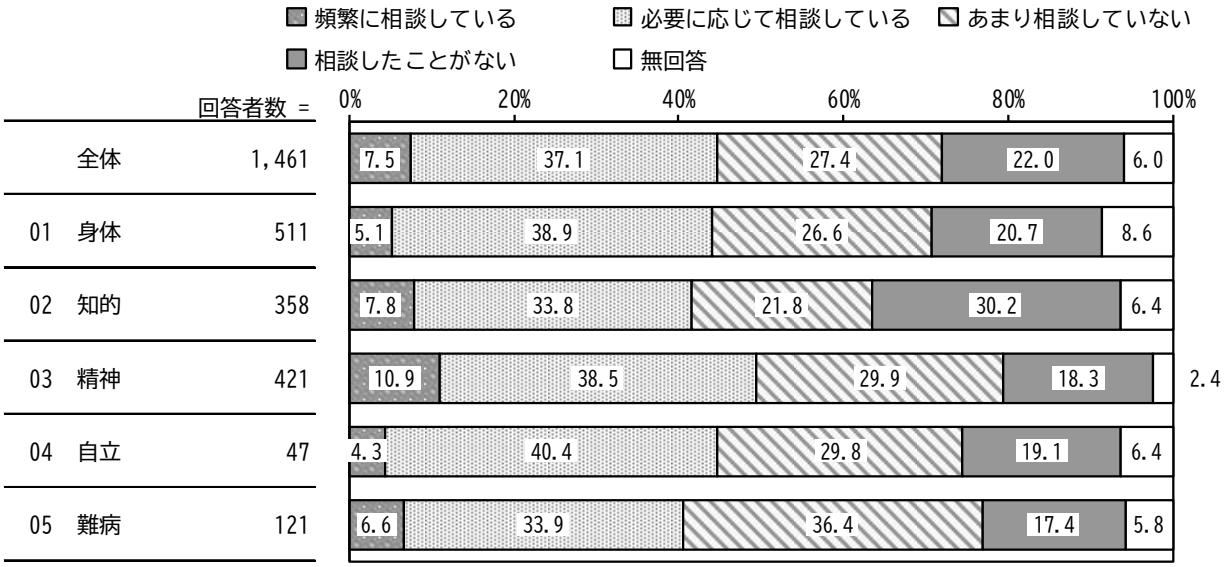
問　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	35	35	38	37	36	37

「必要に応じて相談している」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「あまり相談していない」の割合が 27.4%、「相談したことがない」の割合が 22.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「あまり相談していない」、知的で「相談したことがない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「必要に応じて相談している」の割合が高くなっています。

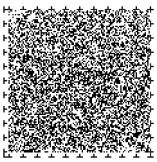
世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「頻繁に相談している」「必要に応じて相談している」、『ひとり暮らし』で「相談したことがない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「あまり相談していない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど「必要に応じて相談している」の割合が高い傾向にあり、『18～39 歳』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど「あまり相談していない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「必要に応じて相談している」、『ゆとりがある』で「あまり相談していない」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「必要に応じて相談している」の割合が高くなっています。



		調査数	頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない	無回答
全　体		1,461	7.5	37.1	27.4	22.0	6.0
本人の年齢	18～19歳	27	7.4	51.9	29.6	0.0	11.1
	20～29歳	164	14.0	39.6	23.8	22.0	0.6
	30～39歳	195	11.8	32.3	29.2	23.6	3.1
	40～49歳	185	7.0	41.1	25.4	22.7	3.8
	50～59歳	229	5.2	30.6	34.9	26.2	3.1
	60～64歳	109	3.7	40.4	31.2	23.9	0.9
	65～69歳	91	12.1	40.7	20.9	23.1	3.3
	70歳以上	444	4.7	37.6	25.7	19.4	12.6
世帯構成	ひとり暮らし	274	5.5	32.8	27.7	28.1	5.8
	核家族世帯	695	8.6	39.6	27.9	20.1	3.7
	三世代世帯	32	15.6	46.9	18.8	15.6	3.1
	その他の世帯	436	6.7	35.8	27.3	21.3	8.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	5.8	38.0	28.1	22.3	5.8
	障害者手帳所持者がいる	227	5.3	35.7	25.6	28.2	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	32.4	47.1	8.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	2.7	33.3	34.7	18.7	10.7
	あてはまらない	320	10.9	41.9	25.9	18.4	2.8
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	3.4	44.8	20.7	27.6	3.4
	40～59歳	309	10.4	41.4	25.6	19.4	3.2
	60歳代	213	9.4	43.2	28.6	16.0	2.8
	70歳代	146	7.5	38.4	30.8	17.8	5.5
	80歳以上	120	7.5	33.3	25.0	21.7	12.5
	わからない	105	5.7	22.9	27.6	31.4	12.4
生活困窮	ゆとりがある	113	11.5	41.6	15.9	25.7	5.3
	まあまあゆとりがある	610	6.9	38.9	26.2	23.0	5.1
	やや苦しい	538	7.6	37.5	29.7	19.3	5.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	8.1	23.7	32.6	28.1	7.4
サービス	利用している	500	8.2	37.2	24.0	24.6	6.0
	利用していない	863	7.6	38.8	30.0	20.3	3.2
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	41.0	20.5	17.9	7.7
	１年以上、３年未満	74	5.4	48.6	23.0	16.2	6.8
	３年以上、５年未満	89	5.6	53.9	24.7	9.0	6.7
	５年以上、10年未満	209	6.2	35.9	34.9	19.1	3.8
	10年以上	917	8.3	35.7	27.5	23.7	4.9
	わからない	56	5.4	26.8	19.6	37.5	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	5.9	36.1	26.5	23.8	7.8
	視覚障害がある	28	7.1	53.6	14.3	10.7	14.3
	聴覚障害がある	69	0.0	44.9	27.5	18.8	8.7

(%)

問　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	36	36	39	38	37	38

「友人や知人」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「病院や診療所」の割合が 21.1%、「障害福祉サービス事業所・施設の職員」の割合が 17.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「障害福祉サービス事業所・施設の職員」、精神で「病院や診療所」、難病で「友人や知人」の割合が高くなっています。

		調査数	市役所の相談窓口	市役所以外の障害福祉の相談窓口	障害福祉サービス事業所・施設の職員	介護保険サービス事業所・施設の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	相談できる人や場所は特にない	無回答
全　体		1,461	7.0	3.5	17.8	6.0	8.4	21.1	0.0	0.1	0.2	1.1	1.5	22.3	7.3	25.3	11.6
障害種別	身体	511	4.1	1.2	4.5	12.9	2.5	11.9	0.0	0.2	0.2	1.0	1.4	24.3	7.6	28.0	18.0
	知的	358	7.5	4.5	34.1	0.8	17.3	10.9	0.0	0.0	0.0	1.4	3.1	9.8	5.9	26.3	12.6
	精神	421	12.1	6.7	25.2	2.1	8.3	40.9	0.0	0.2	0.5	1.0	0.7	26.6	8.8	20.7	3.6
	自立	47	4.3	0.0	10.6	0.0	4.3	31.9	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	31.9	8.5	21.3	8.5
	難病	121	1.7	0.8	0.8	7.4	8.3	16.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.1	5.0	29.8	10.7

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』、『30～39 歳』で「障害福祉サービス事業所・施設の職員」、『18～19 歳』で「職場や学校」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「職場や学校」「友人や知人」の割合が高くなっています。

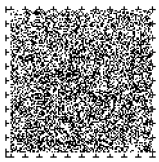
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「介護保険サービス事業所・施設の職員」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「職場や学校」の割合が高く、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど「障害福祉サービス事業所・施設の職員」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「市役所の相談窓口」「病院や診療所」、『ゆとりがある』で「職場や学校」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「市役所の相談窓口」「障害福祉サービス事業所・施設の職員」の割合が高く、『利用していない』で「友人や知人」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「介護保険サービス事業所・施設の職員」の割合が高くなっています。



		調査数	市役所の相談窓口	市役所以外の障害福祉の相談窓口	障害福祉サービス事業所・施設の職員	介護保険サービス事業所・施設の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	相談できる人や場所は特にない	無回答
全　体		1,461	7.0	3.5	17.8	6.0	8.4	21.1	0.0	0.1	0.2	1.1	1.5	22.3	7.3	25.3	11.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	7.4	3.7	18.5	0.0	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	29.6	0.0	11.1	7.4
	20～29歳	164	6.7	4.9	34.1	0.0	23.2	25.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.8	23.2	7.3	19.5	5.5
	30～39歳	195	8.2	3.6	31.8	0.5	14.4	24.1	0.0	0.0	0.0	0.5	1.5	21.5	6.7	27.2	5.6
	40～49歳	185	7.0	3.8	23.2	0.0	10.3	28.6	0.0	0.5	0.0	1.1	2.7	20.0	6.5	27.0	6.5
	50～59歳	229	10.0	7.0	20.5	2.2	3.5	24.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.9	21.8	5.2	32.8	6.1
	60～64歳	109	9.2	3.7	13.8	5.5	9.2	28.4	0.0	0.9	0.0	1.8	0.9	25.7	7.3	23.9	6.4
	65～69歳	91	6.6	1.1	7.7	5.5	4.4	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	30.8	7.7	29.7	8.8
	70歳以上	444	4.7	1.4	4.7	15.3	0.5	12.6	0.0	0.0	0.7	1.4	0.9	21.2	9.5	22.7	22.7
世帯構成	ひとり暮らし	274	9.5	5.1	13.9	9.1	4.7	23.4	0.0	0.0	0.7	2.6	1.1	29.2	10.2	20.8	10.9
	核家族世帯	695	7.3	3.7	20.9	3.2	11.5	22.9	0.0	0.1	0.1	0.9	2.0	19.0	5.5	28.2	9.1
	三世代世帯	32	3.1	0.0	18.8	3.1	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.4	6.3	18.8	9.4
	その他の世帯	436	5.5	2.3	15.4	8.3	4.1	17.2	0.0	0.2	0.0	0.7	0.9	23.4	8.5	24.5	14.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	6.8	3.4	16.9	7.4	6.4	21.9	0.0	0.0	0.2	1.0	2.0	19.1	7.4	28.5	11.2
	障害者手帳所持者がいる	227	8.8	2.6	24.2	6.2	10.1	14.5	0.0	0.0	0.0	0.9	1.8	14.1	9.3	26.4	12.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8	29.4	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	29.4	2.9	38.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	16.0	2.7	13.3	16.0	5.3	17.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	12.0	6.7	25.3	13.3
	あてはまらない	320	5.6	2.5	18.1	3.4	13.4	21.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.9	25.6	5.9	26.6	8.8
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	6.9	0.0	15.5	5.2	8.6	34.5	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	32.8	8.6	27.6	3.4
	40～59歳	309	9.1	4.2	20.7	4.2	14.9	20.4	0.0	0.3	0.3	1.0	2.3	21.7	6.1	25.2	9.1
	60歳代	213	4.2	2.3	22.1	7.5	8.0	21.1	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	24.9	9.4	28.2	6.1
	70歳代	146	6.2	5.5	14.4	6.2	2.1	22.6	0.0	0.0	0.7	1.4	1.4	20.5	9.6	22.6	12.3
	80歳以上	120	7.5	2.5	15.0	7.5	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	16.7	5.0	24.2	21.7
	わからない	105	9.5	5.7	33.3	14.3	2.9	13.3	0.0	0.0	0.0	1.9	1.0	15.2	14.3	11.4	18.1
生活困窮	ゆとりがある	113	6.2	6.2	20.4	2.7	17.7	21.2	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	26.5	10.6	18.6	10.6
	まあまあゆとりがある	610	4.9	3.0	18.2	5.4	9.5	18.4	0.0	0.0	0.2	0.7	1.6	23.6	7.5	24.8	12.0
	やや苦しい	538	7.8	2.4	16.2	6.3	6.1	21.9	0.0	0.2	0.4	1.1	0.9	21.6	6.3	27.1	10.6
	不自由が多く、生活が苦しい	135	13.3	8.1	20.7	8.1	3.7	28.1	0.0	0.7	0.0	2.2	1.5	17.8	9.6	27.4	10.4
サービス	利用している	500	11.8	6.2	41.4	8.8	11.0	24.0	0.0	0.0	0.4	1.8	2.0	14.0	8.6	17.0	8.4
	利用していない	863	4.4	1.9	5.7	4.3	7.5	20.7	0.0	0.2	0.1	0.6	1.3	28.4	6.4	31.3	9.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	5.1	2.6	12.8	7.7	5.1	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	25.6	12.8	15.4	20.5
	１年以上、３年未満	74	8.1	2.7	13.5	9.5	2.7	20.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.7	6.8	24.3	10.8
	３年以上、５年未満	89	5.6	1.1	10.1	9.0	10.1	20.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	28.1	5.6	21.3	13.5
	５年以上、10年未満	209	4.8	3.3	11.0	8.1	8.1	18.7	0.0	0.0	0.5	1.0	1.9	25.8	8.1	27.3	12.9
	10年以上	917	7.9	3.8	21.5	5.0	9.6	21.9	0.0	0.1	0.1	1.2	1.5	21.3	7.2	25.6	8.7
	わからない	56	1.8	7.1	21.4	1.8	5.4	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	14.3	7.1	35.7	17.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	8.6	4.3	22.7	10.4	5.9	20.9	0.0	0.0	0.3	2.4	2.1	20.9	12.6	18.2	14.2
	視覚障害がある	28	7.1	7.1	3.6	21.4	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	25.0	3.6	25.0	14.3
	聴覚障害がある	69	2.9	2.9	1.4	11.6	2.9	8.7	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	30.4	4.3	26.1	17.4

問　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	37	37	40	39	38	39

「自分の今後の生活や将来に関すること」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「自分の健康や障害に関すること」の割合が 30.8%、「経済的なこと」の割合が 22.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「自分の健康や障害に関すること」「家族との関係に関すること」「自分の今後の生活や将来に関すること」「経済的なこと」の割合が高くなっています。

		調査数	自分の健康や障害に関すること	家族との関係に関すること	仕事や職場の人間関係に関すること	友人や仲間に関すること	自分の今後の生活や将来に関すること	経済的なこと	障害や介護サービスに関すること	虐待や差別に関すること	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	30.8	12.3	13.9	6.3	33.0	22.5	13.8	2.3	3.6	29.8	10.6
障害種別	身体	511	24.9	6.7	3.7	2.0	20.7	11.5	13.9	0.4	2.0	38.6	12.5
	知的	358	16.5	5.3	18.4	6.7	28.8	12.8	8.9	1.4	5.9	34.6	14.2
	精神	421	48.7	25.4	23.8	12.4	51.5	42.8	20.2	6.2	3.8	15.7	5.0
	自立	47	44.7	17.0	14.9	6.4	36.2	27.7	8.5	0.0	6.4	21.3	8.5
	難病	121	29.8	9.1	7.4	1.7	31.4	24.0	7.4	0.0	2.5	30.6	12.4

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『60～64 歳』で「自分の健康や障害に関すること」、『18～19 歳』、『20～29 歳』、『30～39 歳』で「仕事や職場の人間関係に関すること」、『20～29 歳』、『30～39 歳』、『60～64 歳』で「自分の今後の生活や将来に関すること」、『40～49 歳』で「経済的なこと」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「家族との関係に関すること」「自分の今後の生活や将来に関すること」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「自分の今後の生活や将来に関すること」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「障害や介護サービスに関すること」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど「経済的なこと」の割合が高い傾向にあり、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「仕事や職場の人間関係に関すること」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「家族との関係に関すること」「自分の今後の生活や将来に関すること」「経済的なこと」「障害や介護サービスに関すること」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「障害や介護サービスに関すること」の割合が高くなっています。

		調査数	自分の健康や障害に関すること	家族との関係に関すること	仕事や職場の人間関係に関すること	友人や仲間に関すること	自分の今後の生活や将来に関すること	経済的なこと	障害や介護サービスに関すること	虐待や差別に関すること	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	30.8	12.3	13.9	6.3	33.0	22.5	13.8	2.3	3.6	29.8	10.6
本人の年齢	18～19歳	27	14.8	3.7	29.6	14.8	33.3	14.8	3.7	0.0	3.7	33.3	7.4
	20～29歳	164	29.9	15.9	28.0	15.2	45.7	23.2	11.6	2.4	3.0	21.3	9.1
	30～39歳	195	34.4	17.9	28.7	11.3	44.1	26.7	19.0	5.6	5.1	27.7	7.2
	40～49歳	185	36.2	16.2	16.8	4.9	39.5	33.5	11.4	3.8	5.4	25.9	7.6
	50～59歳	229	37.6	17.0	16.6	7.4	36.7	30.1	14.0	2.2	4.8	23.6	8.7
	60～64歳	109	43.1	13.8	12.8	4.6	46.8	31.2	19.3	2.8	1.8	21.1	2.8
	65～69歳	91	24.2	7.7	4.4	3.3	24.2	19.8	13.2	1.1	3.3	31.9	9.9
	70歳以上	444	23.6	5.9	0.9	1.4	17.8	10.8	12.6	0.0	2.5	39.0	17.3
世帯構成	ひとり暮らし	274	35.8	10.2	13.1	7.3	38.7	29.6	14.6	2.6	2.9	25.5	10.2
	核家族世帯	695	31.8	14.4	16.1	6.2	36.4	23.2	13.5	2.2	4.0	28.5	10.2
	三世代世帯	32	40.6	28.1	18.8	15.6	43.8	18.8	9.4	3.1	0.0	28.1	6.3
	その他の世帯	436	26.4	9.4	10.8	5.3	24.1	17.0	14.0	1.8	3.9	33.5	11.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	28.9	13.1	11.4	4.8	30.5	19.9	15.1	1.8	4.4	32.1	11.8
	障害者手帳所持者がいる	227	25.6	11.5	11.5	4.4	28.6	18.5	15.4	1.8	8.8	33.0	7.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	38.2	20.6	11.8	0.0	44.1	29.4	0.0	0.0	8.8	29.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	32.0	22.7	10.7	5.3	33.3	28.0	29.3	4.0	9.3	20.0	12.0
	あてはまらない	320	32.2	14.4	19.4	6.9	35.6	24.4	14.4	2.5	2.5	29.7	8.4
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	41.4	24.1	20.7	6.9	37.9	32.8	19.0	6.9	3.4	29.3	1.7
	40～59歳	309	29.8	12.9	16.5	6.8	32.4	21.7	14.2	2.6	4.9	27.5	9.4
	60歳代	213	29.6	13.1	16.4	9.9	39.0	22.1	15.5	2.3	1.9	33.3	7.5
	70歳代	146	28.8	9.6	9.6	2.7	27.4	18.5	13.7	0.0	4.1	36.3	10.3
	80歳以上	120	30.8	12.5	6.7	3.3	27.5	15.0	15.0	1.7	0.8	31.7	15.0
	わからない	105	30.5	5.7	9.5	3.8	28.6	22.9	20.0	1.0	4.8	29.5	15.2
生活困窮	ゆとりがある	113	27.4	11.5	18.6	10.6	26.5	7.1	7.1	0.9	3.5	35.4	14.2
	まあまあゆとりがある	610	27.2	7.0	11.8	4.6	26.2	11.1	11.0	1.1	3.4	37.7	10.0
	やや苦しい	538	34.4	16.4	14.9	6.5	39.2	32.9	15.8	2.8	3.2	21.7	10.6
	不自由が多く、生活が苦しい	135	40.7	23.0	18.5	8.1	45.9	47.4	28.1	6.7	5.2	19.3	6.7
サービス	利用している	500	32.4	12.8	17.6	7.8	40.6	23.4	17.0	2.8	5.6	27.0	9.4
	利用していない	863	30.6	12.6	12.6	5.9	30.7	23.2	12.6	2.2	2.7	32.4	7.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	25.6	7.7	12.8	5.1	28.2	12.8	15.4	2.6	2.6	38.5	12.8
	１年以上、３年未満	74	20.3	6.8	10.8	1.4	27.0	17.6	9.5	1.4	6.8	36.5	8.1
	３年以上、５年未満	89	36.0	14.6	14.6	4.5	33.7	20.2	14.6	2.2	3.4	34.8	3.4
	５年以上、10年未満	209	30.6	13.9	12.4	6.2	34.0	24.9	18.2	2.9	2.4	26.8	12.0
	10年以上	917	31.8	12.8	14.4	7.2	35.3	23.4	14.0	2.4	3.7	28.1	10.1
	わからない	56	26.8	10.7	16.1	7.1	23.2	19.6	8.9	1.8	5.4	37.5	16.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	29.7	10.7	10.4	5.9	31.3	20.6	15.0	2.4	4.5	32.6	12.3
	視覚障害がある	28	28.6	14.3	3.6	7.1	39.3	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	10.7
	聴覚障害がある	69	24.6	5.8	1.4	5.8	17.4	5.8	10.1	0.0	1.4	40.6	13.0

(%)

問　あなたは、親なき後や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	38	38	41	40	39	40

「住む場所」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「生活に必要な収入」の割合が 26.4%、「日常的な介助や家事の援助」の割合が 25.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「住む場所」「日常的な意思決定や支援」「お金の管理や支援」、精神で「相談できる人や機関」、自立で「生活に必要な収入」の割合が高くなっています。

		調査数	住む場所	日常的な介助や家事の援助	日常的な意思決定や支援	相談できる人や機関	医療機関の受診	生活に必要な収入	お金の管理や支援	日中を過ごす場	休みの日の過ごし方	緊急時の支援	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	27.3	25.2	12.9	17.0	12.8	26.4	22.6	2.2	2.2	21.7	3.6	18.8	9.0 (%)
障害種別	身体	511	10.4	26.6	5.5	9.4	14.3	13.7	7.4	1.2	0.8	27.8	2.7	28.2	14.5
	知的	358	46.4	32.7	25.1	17.0	14.0	19.3	41.6	3.6	4.7	13.7	3.4	9.8	7.5
	精神	421	35.2	20.4	13.5	27.3	10.5	46.1	28.5	2.1	2.1	22.3	4.3	11.9	3.6
	自立	47	27.7	10.6	8.5	25.5	12.8	48.9	14.9	4.3	2.1	19.1	6.4	19.1	6.4
	難病	121	14.9	19.0	7.4	9.1	10.7	24.0	12.4	1.7	0.8	19.0	3.3	29.8	10.7

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「住む場所」、『18～19 歳』で「日常的な介助や家事の援助」「相談できる人や機関」、『18～19 歳』、『30～39 歳』で「日常的な意思決定や支援」、『40～49 歳』、『50～59 歳』で「生活に必要な収入」、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「お金の管理や支援」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「住む場所」「お金の管理や支援」の割合が高くなっています。

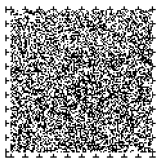
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「生活に必要な収入」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が上がるほど「緊急時の支援」の割合が高い傾向にあり、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「住む場所」「相談できる人や機関」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「住む場所」「生活に必要な収入」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「住む場所」「日常的な介助や家事の援助」「日常的な意思決定や支援」「お金の管理や支援」の割合が高く、『利用していない』で「生活に必要な収入」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「緊急時の支援」の割合が高くなっています。



		調査数	住む場所	日常的な介助や家事の援助	日常的な意思決定や支援	相談できる人や機関	医療機関の受診	生活に必要な収入	お金の管理や支援	日中を過ごす場	休みの日の過ごし方	緊急時の支援	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	27.3	25.2	12.9	17.0	12.8	26.4	22.6	2.2	2.2	21.7	3.6	18.8	9.0 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	48.1	40.7	25.9	29.6	14.8	22.2	48.1	0.0	3.7	11.1	0.0	3.7	3.7
	20～29歳	164	53.7	35.4	20.7	22.6	10.4	30.5	48.2	1.8	3.7	18.9	4.3	4.9	3.0
	30～39歳	195	41.0	23.1	23.6	24.1	14.9	30.8	33.8	2.1	3.6	19.0	5.6	12.8	2.6
	40～49歳	185	38.4	24.3	17.8	21.1	9.7	36.8	25.4	2.2	2.7	20.0	2.2	15.1	6.5
	50～59歳	229	30.6	19.2	10.0	16.2	11.8	39.3	21.0	3.9	2.6	20.1	4.8	18.8	5.2
	60～64歳	109	23.9	31.2	10.1	21.1	11.9	34.9	19.3	1.8	0.9	21.1	0.9	19.3	3.7
	65～69歳	91	15.4	19.8	9.9	15.4	12.1	24.2	16.5	3.3	3.3	25.3	1.1	25.3	5.5
	70歳以上	444	7.7	24.8	5.2	9.2	15.1	11.0	7.7	1.6	0.7	25.9	3.2	27.7	19.1
世帯構成	ひとり暮らし	274	24.8	17.2	7.3	13.5	12.4	28.8	12.0	1.8	0.4	30.3	5.1	21.2	10.6
	核家族世帯	695	35.3	29.5	18.0	19.3	13.2	28.8	27.2	2.3	2.4	17.8	2.4	15.4	7.3
	三世代世帯	32	37.5	28.1	15.6	21.9	6.3	28.1	46.9	0.0	0.0	12.5	0.0	21.9	0.0
	その他の世帯	436	16.1	23.6	8.5	15.8	13.3	21.6	19.5	2.5	3.2	23.6	4.1	22.7	10.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	26.3	25.9	13.1	18.5	13.7	24.9	21.9	3.0	1.6	22.3	1.6	18.3	9.4
	障害者手帳所持者がいる	227	27.3	19.4	15.9	20.7	17.2	25.6	21.6	1.3	4.0	16.7	5.7	20.3	6.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	14.7	11.8	17.6	8.8	38.2	8.8	0.0	5.9	23.5	2.9	32.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	32.0	21.3	12.0	20.0	17.3	32.0	22.7	0.0	2.7	24.0	5.3	12.0	10.7
	あてはまらない	320	32.2	30.3	14.4	16.6	13.1	29.1	30.0	1.9	2.2	16.6	3.8	18.8	5.3
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	18～39歳	58	36.2	31.0	13.8	24.1	12.1	31.0	17.2	0.0	6.9	13.8	5.2	22.4	3.4
	40～59歳	309	29.8	30.4	18.1	22.3	14.6	24.6	29.8	2.3	2.9	22.0	3.2	14.2	5.2
	60歳代	213	30.5	34.3	16.4	18.8	14.6	28.2	27.2	3.3	0.5	25.8	2.3	16.0	5.6
	70歳代	146	29.5	32.2	13.7	16.4	19.2	24.0	23.3	4.1	4.1	23.3	2.7	12.3	10.3
	80歳以上	120	20.0	26.7	8.3	15.0	18.3	22.5	20.8	3.3	0.8	27.5	1.7	17.5	12.5
	わからない	105	24.8	16.2	13.3	16.2	7.6	23.8	25.7	0.0	1.0	17.1	3.8	21.0	14.3
生活困窮	ゆとりがある	113	23.9	24.8	12.4	16.8	11.5	13.3	23.0	1.8	0.9	17.7	1.8	25.7	11.5
	まあまあゆとりがある	610	23.9	27.2	15.6	15.1	13.6	17.0	22.5	1.5	2.5	21.6	2.8	24.4	8.2
	やや苦しい	538	29.7	22.9	10.8	19.0	12.3	36.4	23.0	3.2	2.0	23.2	4.1	13.6	8.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	41.5	24.4	11.1	20.0	14.1	45.2	21.5	2.2	1.5	19.3	5.2	11.1	8.1
サービス	利用している	500	37.6	33.8	21.4	17.6	16.4	22.8	33.8	3.0	3.2	20.4	4.6	11.0	5.0
	利用していない	863	22.8	21.7	8.5	17.6	11.7	30.1	18.0	1.9	1.7	23.4	3.0	23.8	7.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	17.9	7.7	23.1	15.4	17.9	20.5	0.0	0.0	15.4	7.7	30.8	12.8
	１年以上、３年未満	74	17.6	24.3	10.8	16.2	13.5	36.5	18.9	0.0	0.0	23.0	1.4	20.3	10.8
	３年以上、５年未満	89	21.3	21.3	9.0	18.0	9.0	32.6	14.6	0.0	1.1	21.3	0.0	24.7	12.4
	５年以上、10年未満	209	23.4	25.4	8.6	18.2	16.3	24.9	15.8	1.0	1.4	23.4	2.4	19.6	11.5
	10年以上	917	30.5	27.8	14.8	17.2	13.2	25.7	25.5	3.1	2.6	22.7	3.8	16.7	6.7
	わからない	56	26.8	14.3	14.3	16.1	3.6	33.9	30.4	0.0	3.6	16.1	5.4	17.9	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	24.1	26.2	14.4	16.8	13.4	26.5	24.3	2.1	1.6	18.4	2.9	17.4	10.7
	視覚障害がある	28	3.6	32.1	3.6	7.1	7.1	7.1	3.6	3.6	3.6	39.3	7.1	28.6	14.3
	聴覚障害がある	69	8.7	17.4	5.8	2.9	14.5	7.2	7.2	0.0	1.4	23.2	1.4	42.0	11.6

問　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。【○はそれぞれに１つずつ】

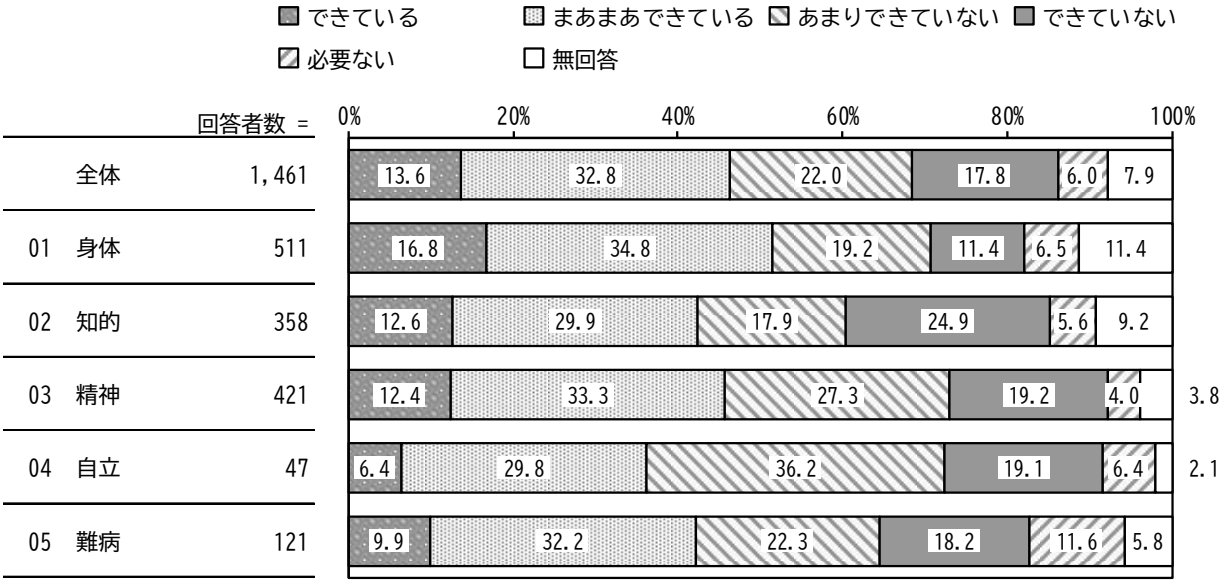
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	39	39	42	41	40	41

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 46.4%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 39.8%となっています。

①　福祉サービス

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で“できていない”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『60～64 歳』で“できている”、『18～19 歳』で“できていない”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で“できている”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』、『病気などの理由で不自由な方がいる』で“できている”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど“できている”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“できていない”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“できている”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“できている”の割合が高くなっています。

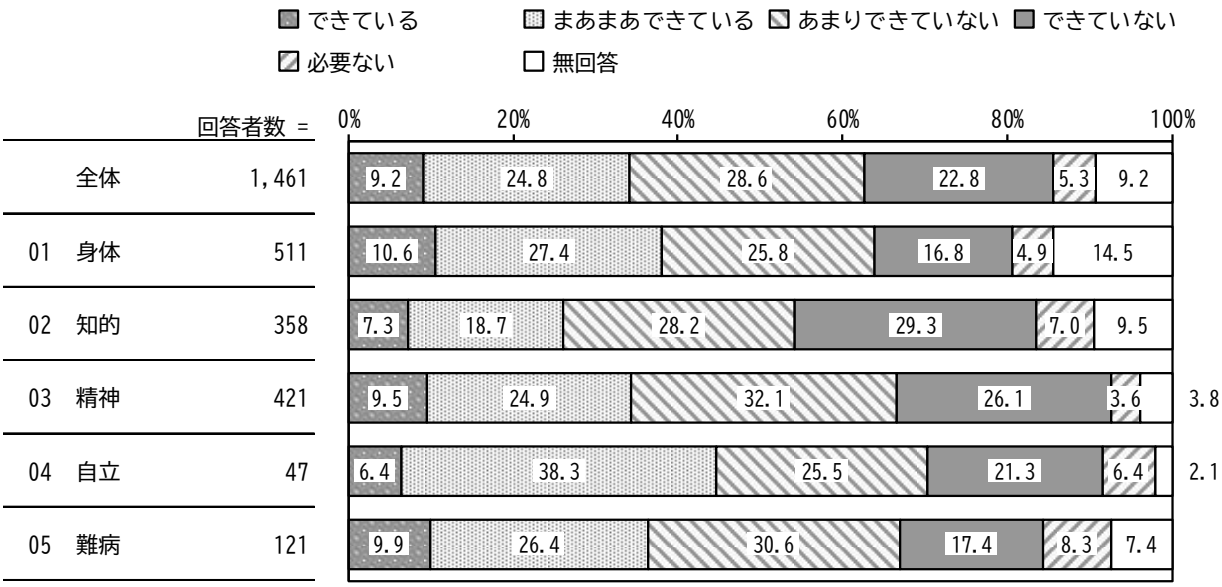
		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答	
全　体		1,461	13.6	32.8	22.0	17.8	6.0	7.9	(%)
本人の年齢	18～19歳	27	7.4	11.1	33.3	33.3	11.1	3.7	
	20～29歳	164	9.8	32.9	23.2	24.4	4.9	4.9	
	30～39歳	195	9.2	32.8	25.1	22.1	6.2	4.6	
	40～49歳	185	13.5	30.8	24.3	19.5	7.6	4.3	
	50～59歳	229	13.5	33.2	23.6	19.2	5.2	5.2	
	60～64歳	109	15.6	43.1	22.9	13.8	3.7	0.9	
	65～69歳	91	13.2	34.1	25.3	15.4	8.8	3.3	
	70歳以上	444	16.9	32.2	16.9	12.4	5.6	16.0	
世帯構成	ひとり暮らし	274	17.9	35.4	19.3	14.2	4.7	8.4	
	核家族世帯	695	12.4	33.1	22.7	18.4	6.3	7.1	
	三世代世帯	32	6.3	40.6	15.6	28.1	3.1	6.3	
	その他の世帯	436	13.5	30.7	23.9	17.7	6.4	7.8	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	13.3	31.1	22.1	19.3	6.0	8.2	
	障害者手帳所持者がいる	227	14.5	27.3	21.1	21.1	7.5	8.4	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	26.5	26.5	14.7	14.7	5.9	
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	17.3	21.3	22.7	18.7	6.7	13.3	
	あてはまらない	320	10.9	34.1	26.3	18.1	6.6	4.1	
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	
	18～39歳	58	10.3	27.6	29.3	22.4	5.2	5.2	
	40～59歳	309	10.7	31.7	26.5	22.7	4.9	3.6	
	60歳代	213	15.0	40.4	19.2	16.9	2.8	5.6	
	70歳代	146	11.6	35.6	21.2	19.9	4.1	7.5	
	80歳以上	120	18.3	29.2	20.8	15.8	5.0	10.8	
	わからない	105	17.1	23.8	15.2	21.0	7.6	15.2	
生活困窮	ゆとりがある	113	25.7	23.0	15.9	13.3	9.7	12.4	
	まあまあゆとりがある	610	13.9	38.5	18.5	14.9	7.9	6.2	
	やや苦しい	538	11.0	31.2	25.7	20.4	3.5	8.2	
	不自由が多く、生活が苦しい	135	11.9	25.2	28.9	24.4	4.4	5.2	
サービス	利用している	500	17.4	40.6	18.0	16.4	2.2	5.4	
	利用していない	863	11.7	29.5	25.4	19.4	8.5	5.6	
障害に気づいた時期	１年未満	39	7.7	35.9	20.5	17.9	7.7	10.3	
	１年以上、３年未満	74	14.9	37.8	14.9	14.9	9.5	8.1	
	３年以上、５年未満	89	13.5	36.0	24.7	14.6	4.5	6.7	
	５年以上、10年未満	209	13.9	32.5	22.0	18.2	6.2	7.2	
	10年以上	917	13.6	33.3	23.0	18.3	5.6	6.2	
	わからない	56	12.5	26.8	19.6	19.6	8.9	12.5	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	16.8	34.8	20.3	13.6	3.2	11.2	
	視覚障害がある	28	17.9	28.6	21.4	17.9	7.1	7.1	
	聴覚障害がある	69	18.8	37.7	17.4	8.7	8.7	8.7	

② 地域情報

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 34.0%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 51.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で“できている”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『60～64 歳』で“できている”、『18～19 歳』で“できていない”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で“できている”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で“できている”、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“できていない”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど“できていない”の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“できていない”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で“できている”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“できていない”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で“できていない”の割合が高くなっています。

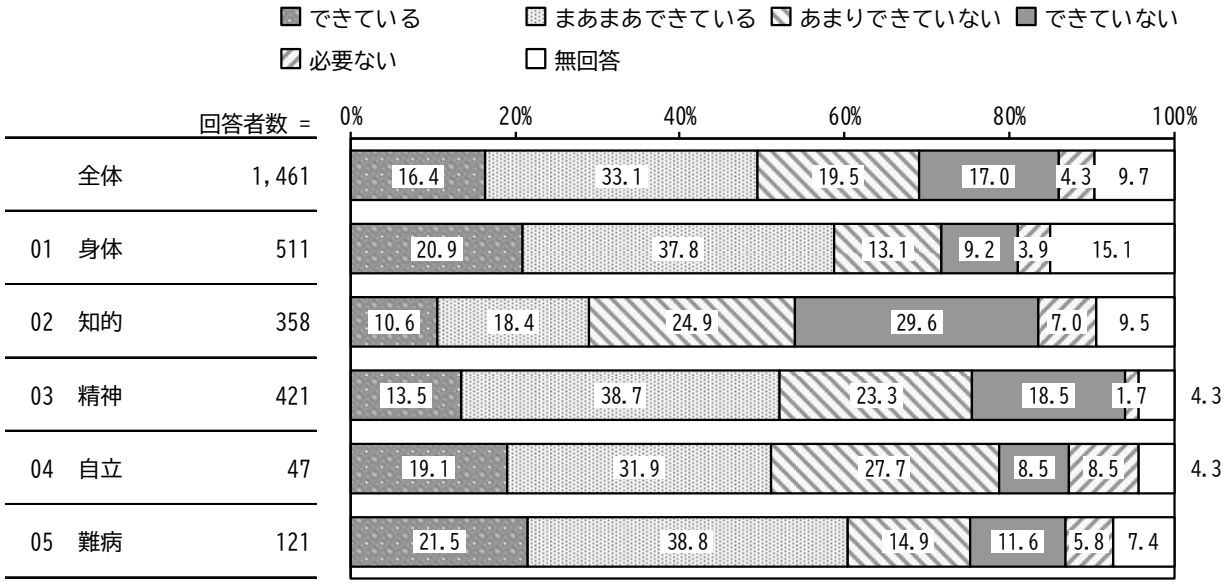
		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		1,461	9.2	24.8	28.6	22.8	5.3	9.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	7.4	3.7	40.7	37.0	7.4	3.7
	20～29歳	164	7.3	21.3	34.1	26.2	6.7	4.3
	30～39歳	195	6.7	22.6	30.8	28.7	6.2	5.1
	40～49歳	185	8.1	24.9	25.9	29.7	6.5	4.9
	50～59歳	229	6.6	25.8	32.3	27.1	3.1	5.2
	60～64歳	109	13.8	34.9	34.9	11.9	3.7	0.9
	65～69歳	91	13.2	25.3	29.7	19.8	8.8	3.3
	70歳以上	444	11.3	25.2	22.5	16.4	4.5	20.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	12.0	27.4	28.8	19.0	3.6	9.1
	核家族世帯	695	8.8	24.7	29.6	23.3	5.8	7.8
	三世代世帯	32	0.0	34.4	31.3	21.9	6.3	6.3
	その他の世帯	436	9.2	22.9	27.5	24.1	5.3	11.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	8.2	21.3	29.3	24.5	5.8	11.0
	障害者手帳所持者がいる	227	8.8	19.8	23.8	29.5	8.8	9.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	14.7	26.5	26.5	14.7	11.8	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	9.3	12.0	29.3	24.0	10.7	14.7
	あてはまらない	320	9.1	27.8	31.9	23.8	3.8	3.8
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	8.6	17.2	32.8	29.3	6.9	5.2
	40～59歳	309	4.5	24.6	33.3	28.5	4.2	4.9
	60歳代	213	11.3	28.2	30.5	21.6	3.3	5.2
	70歳代	146	12.3	21.2	30.8	24.0	4.1	7.5
	80歳以上	120	10.0	20.0	25.0	22.5	4.2	18.3
	わからない	105	6.7	20.0	22.9	25.7	6.7	18.1
生活困窮	ゆとりがある	113	15.9	22.1	23.0	19.5	4.4	15.0
	まあまあゆとりがある	610	10.3	30.8	26.1	18.5	7.2	7.0
	やや苦しい	538	7.6	22.3	32.5	24.9	3.5	9.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	5.2	12.6	31.9	36.3	3.7	10.4
サービス	利用している	500	9.4	22.6	32.8	22.8	4.8	7.6
	利用していない	863	10.0	27.3	27.1	23.6	6.1	5.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	7.7	35.9	15.4	20.5	10.3	10.3
	１年以上、３年未満	74	12.2	27.0	23.0	21.6	6.8	9.5
	３年以上、５年未満	89	13.5	25.8	31.5	19.1	1.1	9.0
	５年以上、10年未満	209	10.0	24.9	29.7	20.6	4.8	10.0
	10年以上	917	8.3	24.4	30.3	24.6	5.3	7.0
	わからない	56	8.9	16.1	32.1	17.9	8.9	16.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	9.1	20.6	32.4	17.4	5.9	14.7
	視覚障害がある	28	10.7	14.3	39.3	25.0	3.6	7.1
	聴覚障害がある	69	10.1	31.9	21.7	17.4	7.2	11.6

③ 社会情勢

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 49.5%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 36.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“できている”、知的で“できていない”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『60～64 歳』で“できている”、『18～19 歳』で“できていない”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』、『三世代世帯』で「まあまあできている」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“できている”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど“できていない”の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“できていない”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で“できている”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で“できている”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“できていない”の割合が低くなっています。

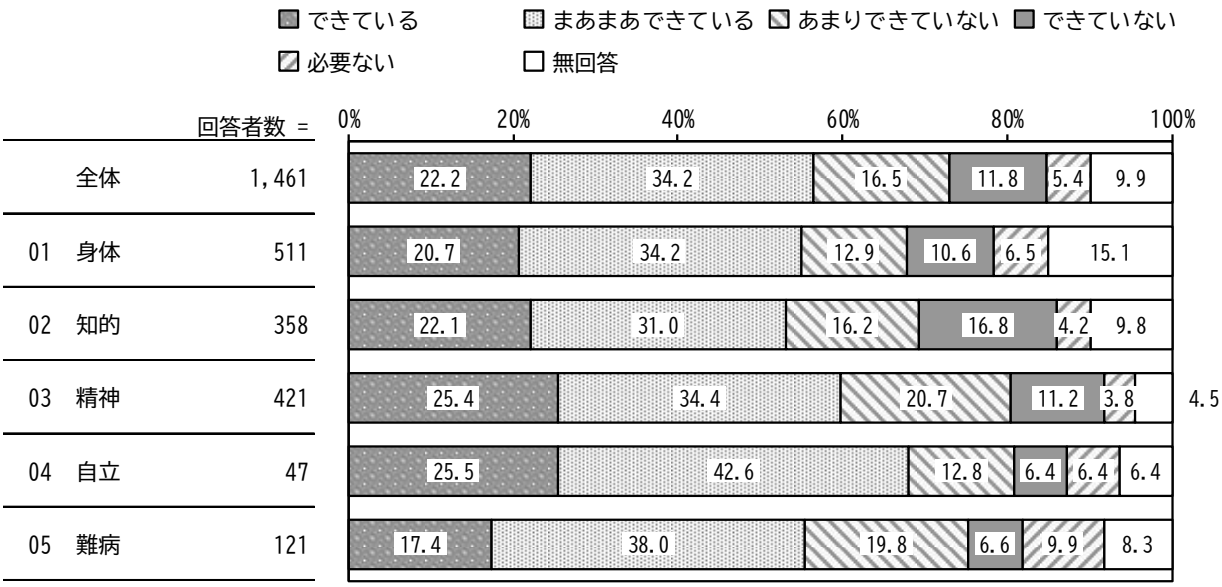
		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		1,461	16.4	33.1	19.5	17.0	4.3	9.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	11.1	22.2	29.6	33.3	0.0	3.7
	20～29歳	164	12.8	26.8	26.8	25.6	3.7	4.3
	30～39歳	195	12.3	24.6	28.2	25.6	4.6	4.6
	40～49歳	185	13.5	33.0	19.5	23.2	4.9	5.9
	50～59歳	229	13.5	37.6	22.7	17.0	3.9	5.2
	60～64歳	109	25.7	43.1	16.5	8.3	4.6	1.8
	65～69歳	91	23.1	40.7	14.3	14.3	4.4	3.3
	70歳以上	444	18.7	34.0	12.8	9.2	4.3	20.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	15.7	38.3	18.6	14.2	3.3	9.9
	核家族世帯	695	15.7	32.8	21.0	18.8	3.9	7.8
	三世代世帯	32	12.5	40.6	21.9	12.5	6.3	6.3
	その他の世帯	436	18.3	31.0	18.1	15.6	5.0	11.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	15.9	31.7	19.9	16.1	4.6	11.8
	障害者手帳所持者がいる	227	14.1	23.8	21.1	22.9	8.4	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	17.6	44.1	14.7	8.8	8.8	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	17.3	26.7	16.0	17.3	8.0	14.7
	あてはまらない	320	18.8	38.1	18.8	19.1	1.9	3.4
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	12.1	32.8	22.4	22.4	5.2	5.2
	40～59歳	309	13.3	32.0	24.3	21.7	3.9	4.9
	60歳代	213	17.4	36.6	20.2	17.4	2.8	5.6
	70歳代	146	17.8	34.2	20.5	15.8	2.1	9.6
	80歳以上	120	15.0	27.5	20.0	13.3	5.0	19.2
	わからない	105	12.4	24.8	15.2	24.8	5.7	17.1
生活困窮	ゆとりがある	113	24.8	26.5	12.4	16.8	4.4	15.0
	まあまあゆとりがある	610	18.5	36.4	16.7	15.6	5.6	7.2
	やや苦しい	538	13.9	33.3	23.8	16.7	2.8	9.5
	不自由が多く、生活が苦しい	135	8.9	27.4	23.0	25.2	4.4	11.1
サービス	利用している	500	12.6	29.2	22.0	23.0	5.0	8.2
	利用していない	863	19.5	37.9	18.3	14.1	4.3	5.9
障害に気づいた時期	１年未満	39	15.4	35.9	10.3	17.9	7.7	12.8
	１年以上、３年未満	74	17.6	36.5	16.2	14.9	5.4	9.5
	３年以上、５年未満	89	20.2	39.3	14.6	14.6	2.2	9.0
	５年以上、10年未満	209	17.2	38.3	14.8	16.7	3.3	9.6
	10年以上	917	15.8	32.1	22.5	17.6	4.6	7.5
	わからない	56	12.5	30.4	14.3	17.9	5.4	19.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	14.7	28.3	20.3	16.6	4.5	15.5
	視覚障害がある	28	25.0	21.4	21.4	21.4	3.6	7.1
	聴覚障害がある	69	15.9	42.0	14.5	8.7	7.2	11.6

④　趣味や娯楽

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 56.4%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 28.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で“できている”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』、『60～64 歳』で“できている”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“できている”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で“できている”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『60 歳代』で“できている”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で“できている”、『不自由が多く、生活が苦しい』で“できていない”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で“できていない”の割合が高くなっています。

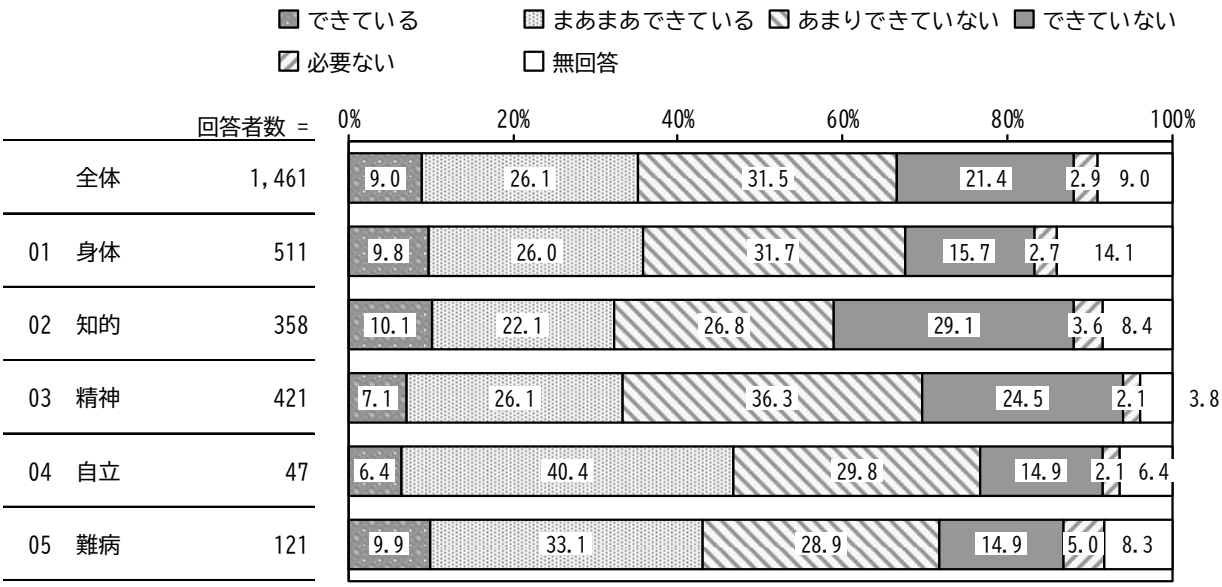
		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		1,461	22.2	34.2	16.5	11.8	5.4	9.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	25.9	37.0	14.8	14.8	0.0	7.4
	20～29歳	164	33.5	32.9	15.9	11.0	1.8	4.9
	30～39歳	195	27.7	35.9	14.4	12.8	4.6	4.6
	40～49歳	185	22.2	35.7	17.8	13.0	5.9	5.4
	50～59歳	229	17.5	36.2	22.7	11.8	4.8	7.0
	60～64歳	109	25.7	41.3	19.3	8.3	4.6	0.9
	65～69歳	91	18.7	38.5	19.8	11.0	8.8	3.3
	70歳以上	444	18.2	29.5	13.1	11.7	7.0	20.5
世帯構成	ひとり暮らし	274	23.7	33.2	17.2	8.8	7.3	9.9
	核家族世帯	695	24.0	34.8	16.5	11.2	5.5	7.9
	三世代世帯	32	25.0	50.0	3.1	12.5	3.1	6.3
	その他の世帯	436	19.0	33.7	17.4	13.5	4.1	12.2
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	20.7	32.3	16.1	13.9	6.0	11.0
	障害者手帳所持者がいる	227	20.3	28.6	17.6	17.2	5.7	10.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	23.5	41.2	17.6	2.9	8.8	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	18.7	28.0	16.0	14.7	6.7	16.0
	あてはまらない	320	25.9	39.7	16.6	9.7	4.1	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	18～39歳	58	22.4	32.8	20.7	12.1	6.9	5.2
	40～59歳	309	19.4	36.9	20.7	13.9	2.6	6.5
	60歳代	213	26.3	37.1	13.6	10.8	6.6	5.6
	70歳代	146	18.5	30.8	19.9	16.4	5.5	8.9
	80歳以上	120	17.5	30.8	17.5	14.2	0.8	19.2
	わからない	105	18.1	23.8	12.4	20.0	7.6	18.1
生活困窮	ゆとりがある	113	38.1	28.3	8.0	8.0	4.4	13.3
	まあまあゆとりがある	610	24.6	37.0	13.3	11.0	5.9	8.2
	やや苦しい	538	18.6	36.6	19.5	11.2	4.8	9.3
	不自由が多く、生活が苦しい	135	12.6	22.2	27.4	21.5	4.4	11.9
サービス	利用している	500	21.4	34.2	17.2	14.6	4.2	8.4
	利用していない	863	24.8	35.6	16.6	10.3	6.7	6.0
障害に気づいた時期	１年未満	39	17.9	35.9	15.4	12.8	5.1	12.8
	１年以上、３年未満	74	20.3	35.1	16.2	10.8	6.8	10.8
	３年以上、５年未満	89	19.1	38.2	18.0	11.2	5.6	7.9
	５年以上、10年未満	209	22.5	31.1	16.3	10.0	8.6	11.5
	10年以上	917	23.2	35.7	17.1	12.6	4.1	7.2
	わからない	56	23.2	19.6	12.5	10.7	12.5	21.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	19.8	29.9	18.4	9.4	6.4	16.0
	視覚障害がある	28	7.1	25.0	21.4	32.1	7.1	7.1
	聴覚障害がある	69	18.8	34.8	11.6	10.1	13.0	11.6

⑤　災害や避難

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 35.1%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 52.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で“できている”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『60～64 歳』で“できている”、『18～19 歳』で“できていない”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“できている”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“できている”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『60 歳代』で“できている”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で“できている”、『不自由が多く、生活が苦しい』で“できていない”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で“できている”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で“できている”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で“できていない”の割合が高くなっています。

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		1,461	9.0	26.1	31.5	21.4	2.9	9.0 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	3.7	14.8	33.3	44.4	0.0	3.7
	20～29歳	164	9.1	31.7	26.2	26.8	1.8	4.3
	30～39歳	195	7.7	23.6	38.5	22.6	3.1	4.6
	40～49歳	185	7.6	28.6	29.2	24.9	5.9	3.8
	50～59歳	229	9.6	30.1	31.9	21.4	2.2	4.8
	60～64歳	109	13.8	34.9	34.9	13.8	0.9	1.8
	65～69歳	91	11.0	26.4	35.2	20.9	3.3	3.3
	70歳以上	444	8.8	20.9	29.5	18.0	2.9	19.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	8.8	20.4	38.0	20.4	3.6	8.8
	核家族世帯	695	9.4	28.5	30.6	21.9	2.2	7.5
	三世代世帯	32	9.4	43.8	15.6	21.9	6.3	3.1
	その他の世帯	436	8.9	25.2	30.5	20.9	3.2	11.2
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	9.6	25.3	30.7	20.7	3.2	10.6
	障害者手帳所持者がいる	227	7.5	20.7	27.8	30.4	5.3	8.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	14.7	35.3	20.6	14.7	8.8	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	10.7	10.7	30.7	28.0	5.3	14.7
	あてはまらない	320	7.5	35.0	33.1	19.4	0.9	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	18～39歳	58	5.2	27.6	32.8	24.1	5.2	5.2
	40～59歳	309	5.5	28.2	34.0	25.6	1.6	5.2
	60歳代	213	9.9	29.1	36.2	19.2	1.4	4.2
	70歳代	146	9.6	21.9	34.2	24.7	0.7	8.9
	80歳以上	120	8.3	19.2	28.3	25.0	1.7	17.5
	わからない	105	5.7	16.2	22.9	32.4	6.7	16.2
生活困窮	ゆとりがある	113	20.4	30.1	19.5	15.0	1.8	13.3
	まあまあゆとりがある	610	9.5	30.3	31.5	17.9	3.4	7.4
	やや苦しい	538	6.3	25.5	33.5	23.6	2.2	8.9
	不自由が多く、生活が苦しい	135	6.7	11.1	35.6	32.6	4.4	9.6
サービス	利用している	500	9.4	23.0	30.2	27.4	2.8	7.2
	利用していない	863	9.4	29.8	33.7	18.1	3.4	5.7
障害に気づいた時期	１年未満	39	10.3	33.3	25.6	15.4	2.6	12.8
	１年以上、３年未満	74	10.8	28.4	31.1	14.9	2.7	12.2
	３年以上、５年未満	89	11.2	36.0	29.2	13.5	3.4	6.7
	５年以上、10年未満	209	6.2	30.1	30.1	21.1	2.4	10.0
	10年以上	917	8.9	24.8	33.5	23.2	2.8	6.8
	わからない	56	14.3	17.9	19.6	25.0	7.1	16.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	9.9	15.8	32.9	24.3	2.7	14.4
	視覚障害がある	28	7.1	14.3	32.1	32.1	7.1	7.1
	聴覚障害がある	69	8.7	31.9	26.1	17.4	2.9	13.0

問　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	40	40	43	42	41	42

「市の広報紙」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「家族や親戚」の割合が 19.8%、「障害者のしおり（市が作成した冊子）」の割合が 18.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「市の広報紙」、知的で「障害福祉サービス事業所・施設」「家族や親戚」、精神で「病院や診療所」の割合が高くなっています。

		調査数	障害者のしおり（市が作成した冊子）	市の広報紙	市のホームページやSNS	都の広報紙やホームページ	その他の広報紙やインターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞のニュース	障害者団体	職場や学校	障害福祉サービス事業所・施設	病院や診療所	図書館の障害のある方向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親戚	友人や知人	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	18.1	40.6	13.9	10.8	8.0	14.9	4.0	4.7	17.8	15.7	0.6	0.5	1.0	1.4	19.8	9.3	2.9	15.3	5.7
障害種別	身体	511	23.5	49.3	11.5	15.5	5.9	19.2	1.6	2.0	9.4	12.7	0.6	1.0	1.8	1.4	17.4	11.0	2.9	14.3	7.4
	知的	358	20.4	28.5	11.5	5.0	4.7	12.0	10.6	12.6	38.0	4.7	0.8	0.3	0.3	1.7	33.0	10.9	1.7	13.4	7.0
	精神	421	14.3	35.4	17.6	9.0	12.1	10.9	2.4	2.1	16.4	27.6	0.7	0.5	0.7	1.9	17.1	6.7	4.0	16.2	2.9
	自立	47	6.4	51.1	19.1	12.8	17.0	12.8	2.1	4.3	4.3	23.4	0.0	0.0	2.1	0.0	14.9	12.8	2.1	23.4	4.3
	難病	121	6.6	53.7	14.9	13.2	7.4	19.8	0.8	1.7	3.3	16.5	0.0	0.0	0.8	0.0	3.3	5.8	2.5	19.8	5.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「市の広報紙」、『18～19 歳』で「職場や学校」、「家族や親戚」、『20～29 歳』で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。

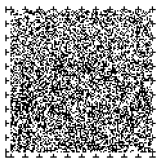
世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「家族や親戚」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「市のホームページや SNS」「その他の広報紙やインターネット、SNS」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「障害福祉サービス事業所・施設」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「病院や診療所」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害者団体」「障害福祉サービス事業所・施設」「家族や親戚」の割合が高く、『利用していない』で「市の広報紙」「市のホームページや SNS」「都の広報紙やホームページ」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「障害者のしおり（市が作成した冊子）」「市の広報紙」「友人や知人」、『医療的ケアを受けている』で「病院や診療所」の割合が高くなっています。



		調査数	障害者のしおり	市の広報紙	市のホームページやSNS	都の広報紙やホームページ	その他の広報紙やインターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞のニュース	障害者団体	職場や学校	障害福祉サービス事業所・施設	病院や診療所	図書館の障害のある方向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親戚	友人や知人	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	18.1	40.6	13.9	10.8	8.0	14.9	4.0	4.7	17.8	15.7	0.6	0.5	1.0	1.4	19.8	9.3	2.9	15.3	5.7
本人の年齢	18～19歳	27	18.5	18.5	11.1	0.0	3.7	0.0	0.0	37.0	18.5	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	37.0	7.4	3.7	22.2	0.0
	20～29歳	164	18.9	20.7	16.5	3.7	9.8	7.3	5.5	11.0	32.9	8.5	0.0	0.0	0.0	1.8	34.1	12.2	0.6	13.4	2.4
	30～39歳	195	15.4	28.7	17.9	8.7	12.3	11.3	7.7	9.7	26.2	13.3	1.0	0.5	0.5	2.6	26.7	9.7	1.0	16.9	5.1
	40～49歳	185	17.8	40.5	16.2	10.8	12.4	14.6	5.9	5.4	19.5	19.5	0.5	0.0	0.0	1.1	18.4	6.5	4.9	15.1	4.3
	50～59歳	229	15.7	37.1	16.6	9.2	9.6	10.0	3.1	1.3	18.8	21.0	0.4	0.0	1.3	1.7	14.0	5.2	1.3	19.2	4.8
	60～64歳	109	20.2	47.7	18.3	12.8	7.3	12.8	3.7	1.8	11.9	24.8	0.9	0.0	1.8	0.9	12.8	9.2	3.7	12.8	2.8
	65～69歳	91	16.5	56.0	15.4	9.9	6.6	11.0	1.1	0.0	11.0	15.4	0.0	0.0	1.1	0.0	13.2	11.0	4.4	16.5	1.1
	70歳以上	444	20.5	51.4	8.1	15.3	3.8	23.6	2.5	1.1	10.4	13.5	0.9	1.6	1.8	1.4	17.1	11.3	4.1	13.3	10.1
世帯構成	ひとり暮らし	274	15.7	44.9	13.5	12.4	6.6	20.1	1.8	2.2	12.4	21.5	1.5	1.5	2.9	1.8	9.1	10.2	5.1	16.8	4.0
	核家族世帯	695	19.3	38.3	14.4	8.6	8.6	12.5	5.9	6.8	20.7	14.7	0.3	0.4	0.6	1.6	23.7	7.9	2.4	14.2	4.5
	三世代世帯	32	15.6	25.0	18.8	6.3	9.4	9.4	3.1	6.3	15.6	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	34.4	12.5	3.1	18.8	0.0
	その他の世帯	436	18.6	43.1	13.8	13.8	8.3	15.8	2.5	2.8	17.0	13.5	0.7	0.2	0.7	1.1	19.5	10.8	2.3	15.6	8.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	22.1	46.2	12.5	13.5	7.2	16.5	5.4	3.2	18.1	15.5	0.6	0.8	1.0	2.4	19.9	8.4	3.0	15.3	6.2
	障害者手帳所持者がいる	227	18.9	34.4	11.5	5.7	8.8	14.1	8.4	5.7	26.0	11.0	0.4	0.9	0.4	2.2	22.9	7.5	4.8	14.5	4.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	47.1	26.5	8.8	26.5	5.9	0.0	8.8	0.0	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	2.9	20.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	20.0	40.0	16.0	9.3	13.3	6.7	8.0	9.3	30.7	24.0	1.3	2.7	1.3	6.7	14.7	9.3	5.3	10.7	9.3
	あてはまらない	320	17.8	30.6	16.9	9.7	11.3	8.4	3.1	7.2	17.2	11.6	0.3	0.0	0.0	0.9	22.8	9.4	1.6	17.5	5.0
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	58	22.4	34.5	17.2	15.5	19.0	5.2	3.4	1.7	10.3	17.2	3.4	0.0	0.0	3.4	12.1	10.3	3.4	22.4	1.7
	40～59歳	309	19.7	33.0	16.8	8.1	7.8	12.9	5.5	8.4	22.7	13.3	0.0	0.3	0.6	1.0	25.6	11.0	1.9	12.6	3.6
	60歳代	213	19.7	40.8	14.6	8.9	10.3	14.1	5.2	6.1	21.1	16.9	0.0	0.9	1.4	1.9	27.7	9.4	2.3	11.7	2.8
	70歳代	146	20.5	49.3	9.6	11.0	1.4	18.5	3.4	1.4	15.1	13.7	1.4	0.7	0.0	1.4	21.9	11.6	3.4	15.8	6.2
	80歳以上	120	22.5	53.3	10.0	17.5	6.7	22.5	2.5	1.7	20.8	20.8	0.8	0.8	0.8	0.8	23.3	10.0	2.5	10.0	8.3
	わからない	105	8.6	23.8	8.6	6.7	2.9	12.4	4.8	3.8	29.5	13.3	2.9	1.9	2.9	1.9	19.0	11.4	7.6	16.2	11.4
生活困窮	ゆとりがある	113	12.4	26.5	13.3	8.8	8.0	12.4	4.4	5.3	23.0	8.0	0.0	0.0	0.9	0.9	18.6	8.0	3.5	15.9	8.8
	まあまあゆとりがある	610	20.8	42.6	14.4	11.5	8.4	16.4	5.1	5.7	18.0	12.1	0.5	0.7	1.0	1.5	24.1	11.8	2.0	16.7	3.8
	やや苦しい	538	15.8	42.2	14.3	10.6	7.8	14.7	3.0	3.9	16.9	18.4	0.9	0.6	0.9	1.3	16.2	7.2	2.8	14.1	6.7
	不自由が多く、生活が苦しい	135	18.5	35.6	12.6	11.1	8.1	10.4	3.0	2.2	19.3	23.7	0.7	0.7	1.5	3.0	15.6	7.4	8.1	13.3	4.4
サービス	利用している	500	21.0	37.2	10.4	7.8	5.4	13.8	8.0	7.4	40.4	16.6	0.4	0.8	1.2	1.8	29.8	11.0	4.4	9.0	3.6
	利用していない	863	17.6	44.0	16.8	13.0	10.2	16.3	1.9	3.0	5.1	16.0	0.7	0.3	0.9	1.4	15.1	8.7	2.2	19.7	3.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	25.6	48.7	17.9	2.6	7.7	15.4	7.7	5.1	15.4	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	15.4	5.1	20.5	2.6
	１年以上、３年未満	74	23.0	47.3	17.6	17.6	5.4	16.2	1.4	4.1	18.9	13.5	1.4	0.0	1.4	1.4	17.6	10.8	2.7	14.9	2.7
	３年以上、５年未満	89	11.2	47.2	13.5	16.9	6.7	18.0	0.0	3.4	9.0	19.1	1.1	0.0	0.0	1.1	12.4	6.7	2.2	14.6	5.6
	５年以上、10年未満	209	20.1	42.1	15.3	9.6	10.0	15.8	1.9	3.3	12.0	18.7	0.5	1.4	1.4	1.9	15.8	10.5	2.9	15.3	6.7
	10年以上	917	19.0	39.1	14.1	10.9	8.3	14.0	5.2	5.5	20.5	15.5	0.5	0.3	1.0	1.3	22.8	9.4	2.9	14.6	5.0
	わからない	56	3.6	26.8	10.7	3.6	7.1	8.9	1.8	5.4	21.4	17.9	0.0	0.0	1.8	3.6	17.9	5.4	0.0	23.2	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	18.7	39.6	10.4	8.8	4.0	15.5	5.9	3.7	22.2	21.4	0.5	0.8	1.3	0.8	20.6	9.9	5.1	13.4	5.9
	視覚障害がある	28	14.3	25.0	0.0	0.0	3.6	10.7	0.0	3.6	10.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	3.6	3.6	21.4	17.9
	聴覚障害がある	69	24.6	49.3	8.7	13.0	5.8	18.8	1.4	2.9	7.2	15.9	0.0	1.4	4.3	1.4	18.8	17.4	1.4	17.4	7.2

問　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	41	41	44	43	42	43

「困っていることを周りに伝えられない」の割合が 22.9%と最も高く、次いで「周囲との意思疎通がとりづらい」の割合が 20.7%、「緊急時や災害時の情報が入りにくい」の割合が 14.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「周囲との意思疎通がとりづらい」「困っていることを周りに伝えられない」「郵便物の重要度がわからない」の割合が高くなっています。

		調査数	点字、音声の出版物が少ない	公的な場での音声案内が不足している	手話や要約筆記ができる人が少ない	公共施設の案内表示がわからない	インターネットが利用しにくい	周囲との意思疎通がとりづらい	困っていることを周りに伝えられない	緊急時や災害時の情報が入りにくい	郵便物の重要度がわからない	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	0.4	1.9	0.8	5.3	8.4	20.7	22.9	14.2	10.3	4.2	43.6	10.8
障害種別	身体	511	0.2	3.3	1.6	4.3	6.1	11.9	8.2	13.7	3.1	3.7	48.9	16.6
	知的	358	1.1	1.7	0.6	8.4	7.0	38.8	46.1	18.2	24.6	5.0	26.3	8.7
	精神	421	0.2	1.2	0.2	5.2	13.1	21.1	28.0	14.3	9.5	5.5	42.0	5.7
	自立	47	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	12.8	10.6	4.3	4.3	2.1	63.8	10.6
	難病	121	0.0	0.0	0.0	1.7	6.6	5.0	1.7	9.1	2.5	0.8	70.2	10.7

(%)

【属性別】

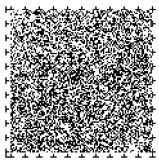
本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「周囲との意思疎通がとりづらい」「郵便物の重要度がわからない」、『18～19 歳』で「困っていることを周りに伝えられない」「緊急時や災害時の情報が入りにくい」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「手話や要約筆記ができる人が少ない」、『核家族世帯』で「困っていることを周りに伝えられない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「周囲との意思疎通がとりづらい」「困っていることを周りに伝えられない」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「緊急時や災害時の情報が入りにくい」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「周囲との意思疎通がとりづらい」「困っていることを周りに伝えられない」「緊急時や災害時の情報が入りにくい」「郵便物の重要度がわからない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』、『聴覚障害がある』で「公的な場での音声案内が不足している」、『聴覚障害がある』で「手話や要約筆記ができる人が少ない」「周囲との意思疎通がとりづらい」、『視覚障害がある』で「公共施設の案内表示がわからない」の割合が高くなっています。



		調査数	点字、音声の出版物が少ない	公的な場での音声案内が不足している	手話や要約筆記ができる人が少ない	公共施設の案内表示がわからない	インターネットが利用しにくい	周囲との意思疎通がとりづらい	困っていることを周りに伝えられない	緊急時や災害時の情報が入りにくい	郵便物の重要度がわからない	その他	特にない	無回答	
全　体		1,461	0.4	1.9	0.8	5.3	8.4	20.7	22.9	14.2	10.3	4.2	43.6	10.8	(%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	0.0	0.0	14.8	3.7	29.6	55.6	25.9	14.8	7.4	29.6	0.0	
	20～29歳	164	0.6	1.2	1.2	7.9	4.3	39.6	47.0	18.9	24.4	3.7	32.3	1.2	
	30～39歳	195	0.5	1.0	0.5	5.6	8.7	32.8	42.6	10.8	19.5	5.1	30.8	7.2	
	40～49歳	185	1.1	2.2	1.1	5.9	9.7	19.5	26.5	11.9	9.7	5.4	47.0	9.2	
	50～59歳	229	0.0	0.9	0.9	5.2	10.0	20.5	20.5	14.0	8.3	5.2	46.7	8.3	
	60～64歳	109	0.0	1.8	0.9	5.5	11.9	12.8	18.3	13.8	6.4	4.6	56.9	3.7	
	65～69歳	91	0.0	2.2	0.0	4.4	9.9	6.6	9.9	15.4	5.5	0.0	62.6	5.5	
	70歳以上	444	0.5	3.2	0.7	3.8	7.4	13.7	7.2	14.6	3.4	3.8	43.7	20.9	
世帯構成	ひとり暮らし	274	0.7	2.6	0.7	4.0	9.1	14.6	15.3	16.8	6.9	5.1	45.3	11.7	
	核家族世帯	695	0.4	1.9	0.9	6.6	7.9	24.5	30.1	14.4	15.1	4.7	41.6	8.2	
	三世代世帯	32	0.0	0.0	6.3	3.1	6.3	25.0	18.8	12.5	9.4	3.1	62.5	0.0	
	その他の世帯	436	0.2	1.8	0.2	4.6	8.7	18.8	17.0	12.8	4.4	3.2	44.5	14.2	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	0.6	2.0	0.8	6.0	9.0	20.9	21.7	13.3	9.6	4.4	43.4	12.2	
	障害者手帳所持者がいる	227	0.4	1.8	1.3	6.6	10.6	28.6	32.6	17.6	14.5	5.3	32.2	9.7	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	11.8	11.8	2.9	2.9	0.0	70.6	5.9	
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	1.3	4.0	1.3	8.0	6.7	26.7	24.0	21.3	8.0	8.0	30.7	13.3	
	あてはまらない	320	0.3	0.6	0.9	7.5	5.9	23.1	26.3	12.8	14.1	3.1	47.8	5.6	
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	58	0.0	0.0	0.0	6.9	10.3	27.6	27.6	12.1	6.9	8.6	34.5	6.9	
	40～59歳	309	0.0	1.6	0.6	8.1	6.5	24.6	29.8	18.1	15.2	5.8	40.1	6.5	
	60歳代	213	0.5	2.8	1.9	6.6	11.3	23.5	28.2	18.3	13.1	4.7	41.8	6.6	
	70歳代	146	0.0	3.4	0.0	5.5	8.2	19.9	23.3	15.1	11.0	4.8	43.8	11.0	
	80歳以上	120	0.8	0.8	0.0	5.8	12.5	19.2	14.2	10.8	7.5	1.7	37.5	20.8	
	わからない	105	2.9	1.9	1.9	5.7	6.7	28.6	31.4	18.1	13.3	2.9	32.4	12.4	
生活困窮	ゆとりがある	113	1.8	0.9	0.0	4.4	2.7	13.3	20.4	8.8	9.7	5.3	53.1	9.7	
	まあまあゆとりがある	610	0.0	1.3	0.7	4.9	6.1	22.5	22.3	11.3	10.3	2.6	49.5	9.3	
	やや苦しい	538	0.4	3.0	0.7	5.2	10.6	20.6	22.1	17.8	10.2	5.8	37.7	11.9	
	不自由が多く、生活が苦しい	135	1.5	1.5	2.2	9.6	14.1	23.0	35.6	20.0	11.1	5.9	32.6	8.9	
サービス	利用している	500	0.6	2.0	0.4	7.4	11.6	34.8	38.4	19.2	19.2	6.0	30.0	7.2	
	利用していない	863	0.1	1.9	1.0	4.2	7.0	14.1	15.1	12.2	5.7	3.6	53.9	8.3	
障害に気づいた時期	１年未満	39	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	23.1	12.8	7.7	10.3	0.0	53.8	12.8	
	１年以上、３年未満	74	0.0	2.7	0.0	1.4	4.1	10.8	16.2	13.5	4.1	2.7	55.4	8.1	
	３年以上、５年未満	89	0.0	2.2	1.1	4.5	4.5	16.9	16.9	9.0	7.9	1.1	57.3	10.1	
	５年以上、10年未満	209	0.5	2.4	1.0	6.2	8.1	12.4	16.3	11.0	5.3	4.8	49.8	12.0	
	10年以上	917	0.3	1.6	0.8	5.7	9.3	24.6	27.2	15.8	12.1	4.7	38.7	9.8	
	わからない	56	1.8	1.8	1.8	8.9	8.9	17.9	14.3	16.1	14.3	3.6	57.1	10.7	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	0.5	1.9	0.3	5.9	9.1	20.9	23.3	17.6	11.0	5.3	39.6	13.1	
	視覚障害がある	28	3.6	10.7	3.6	14.3	3.6	14.3	10.7	17.9	14.3	7.1	21.4	21.4	
	聴覚障害がある	69	0.0	10.1	10.1	2.9	1.4	29.0	7.2	15.9	2.9	2.9	29.0	18.8	

問　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	42	42	45	44	43	44

「対面での会話」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「インターネットや携帯などの電子メール」の割合が 31.4%、「電話やテレビ電話を使った会話」の割合が 26.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「インターネットや携帯などの電子メール」「SNS」、知的で「家族や介助者を介した伝言」の割合が高くなっています。

		調査数	対面での会話	電話やテレビ電話を使った会話	ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	インターネットや携帯などの電子メール	SNS	点字	手話	家族や介助者を介した伝言	その他	コミュニケーションをとる手段がない	無回答
全　体		1,461	64.6	26.2	8.5	31.4	14.0	0.1	0.9	20.2	1.9	3.1	7.0
障害種別	身体	511	66.7	26.4	10.0	27.0	6.7	0.0	2.2	16.4	1.0	2.3	9.6
	知的	358	59.2	17.9	10.6	16.8	8.7	0.0	0.3	42.5	3.1	6.7	6.1
	精神	421	63.9	29.9	7.6	46.1	25.4	0.2	0.2	12.1	2.6	2.1	4.5
	自立	47	61.7	31.9	4.3	48.9	31.9	0.0	0.0	6.4	0.0	2.1	4.3
	難病	121	74.4	33.9	0.8	36.4	14.0	0.0	0.0	4.1	0.8	0.0	8.3

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「対面での会話」、『60～64 歳』で「インターネットや携帯などの電子メール」、『20～29 歳』で「家族や介助者を介した伝言」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「電話やテレビ電話を使った会話」の割合が高くなっています。

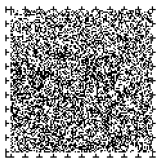
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「対面での会話」「電話やテレビ電話を使った会話」「インターネットや携帯などの電子メール」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど「インターネットや携帯などの電子メール」の割合が高い傾向にあり、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど「電話やテレビ電話を使った会話」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「対面での会話」「SNS」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「家族や介助者を介した伝言」の割合が高く、『利用していない』で「インターネットや携帯などの電子メール」「SNS」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「対面での会話」、『聴覚障害がある』で「ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）」「手話」「家族や介助者を介した伝言」の割合が高くなっています。



		調査数	対面での会話	電話やテレビ電話を使った会話	ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	インターネットや携帯などの電子メール	SNS	点字	手話	家族や介助者を介した伝言	その他	コミュニケーションをとる手段がない	無回答
全　体		1,461	64.6	26.2	8.5	31.4	14.0	0.1	0.9	20.2	1.9	3.1	7.0
本人の年齢	18～19歳	27	74.1	22.2	11.1	25.9	22.2	0.0	0.0	29.6	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	164	65.2	20.7	14.0	28.0	23.2	0.0	1.8	36.6	5.5	2.4	1.2
	30～39歳	195	58.5	27.7	8.7	36.4	23.6	0.0	0.5	27.7	2.6	5.1	5.1
	40～49歳	185	64.9	28.6	9.2	37.3	17.3	0.5	0.5	19.5	2.2	4.9	3.2
	50～59歳	229	63.8	31.0	7.0	39.3	18.3	0.0	1.3	11.8	1.3	3.1	3.5
	60～64歳	109	68.8	31.2	6.4	49.5	16.5	0.0	1.8	12.8	1.8	2.8	1.8
	65～69歳	91	74.7	22.0	4.4	27.5	5.5	0.0	0.0	12.1	1.1	2.2	4.4
	70歳以上	444	64.0	24.3	8.3	20.5	3.6	0.0	0.7	18.5	0.9	2.5	14.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	70.8	36.1	6.9	36.9	15.0	0.4	0.7	5.5	1.1	2.6	7.7
	核家族世帯	695	65.0	24.3	8.3	31.4	16.0	0.0	0.4	26.0	2.2	3.2	4.5
	三世代世帯	32	68.8	37.5	12.5	25.0	18.8	0.0	9.4	21.9	3.1	3.1	0.0
	その他の世帯	436	60.8	22.7	9.9	29.4	10.3	0.0	1.1	20.4	2.1	3.4	9.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	62.7	24.3	9.8	30.7	11.0	0.0	0.8	23.7	2.2	3.2	7.4
	障害者手帳所持者がいる	227	62.1	20.3	12.3	24.7	10.6	0.0	2.2	30.0	3.1	5.3	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	76.5	38.2	2.9	47.1	11.8	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	54.7	25.3	17.3	36.0	16.0	0.0	2.7	24.0	2.7	5.3	13.3
	あてはまらない	320	65.6	24.1	7.8	35.6	20.6	0.0	0.9	21.6	2.5	3.1	3.1
介助者の年齢	17歳以下	3	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	67.2	19.0	8.6	32.8	19.0	0.0	0.0	20.7	1.7	3.4	1.7
	40～59歳	309	63.8	20.7	8.7	32.0	12.6	0.0	0.6	29.4	2.6	2.9	3.9
	60歳代	213	68.5	28.6	8.9	32.9	16.0	0.0	2.3	24.4	0.9	1.4	3.8
	70歳代	146	63.0	21.2	11.0	28.8	11.6	0.0	0.7	24.0	0.7	3.4	5.5
	80歳以上	120	63.3	28.3	6.7	19.2	9.2	0.0	0.0	23.3	1.7	3.3	11.7
	わからない	105	60.0	28.6	11.4	17.1	8.6	1.0	1.9	22.9	2.9	4.8	9.5
生活困窮	ゆとりがある	113	71.7	28.3	10.6	29.2	23.0	0.0	0.9	14.2	1.8	2.7	5.3
	まあまあゆとりがある	610	65.6	26.1	8.9	29.2	11.0	0.0	1.1	24.1	1.6	3.6	5.6
	やや苦しい	538	64.9	25.5	8.0	33.6	15.1	0.0	0.6	19.0	2.4	2.4	6.5
	不自由が多く、生活が苦しい	135	56.3	28.1	10.4	35.6	18.5	0.7	1.5	16.3	2.2	4.4	7.4
サービス	利用している	500	66.2	23.8	10.6	24.4	10.6	0.2	0.4	35.0	2.6	4.6	4.4
	利用していない	863	66.7	28.6	7.5	37.4	17.3	0.0	1.3	12.4	1.6	2.1	4.9
障害に気づいた時期	１年未満	39	61.5	15.4	10.3	23.1	10.3	0.0	0.0	33.3	0.0	5.1	7.7
	１年以上、３年未満	74	63.5	31.1	5.4	31.1	14.9	0.0	0.0	13.5	1.4	1.4	6.8
	３年以上、５年未満	89	68.5	28.1	10.1	34.8	18.0	0.0	0.0	15.7	0.0	1.1	6.7
	５年以上、10年未満	209	71.3	26.3	5.3	35.9	16.3	0.0	1.0	9.1	0.5	0.5	7.7
	10年以上	917	63.8	26.1	9.1	31.6	13.6	0.1	1.2	24.0	2.6	3.6	5.2
	わからない	56	57.1	21.4	5.4	23.2	10.7	0.0	0.0	16.1	3.6	7.1	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	62.6	25.7	6.1	23.8	8.0	0.3	0.5	21.4	2.1	4.3	9.1
	視覚障害がある	28	78.6	17.9	3.6	14.3	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1	10.7
	聴覚障害がある	69	47.8	15.9	36.2	23.2	2.9	0.0	15.9	33.3	4.3	1.4	5.8

(%)

6　福祉サービスについて

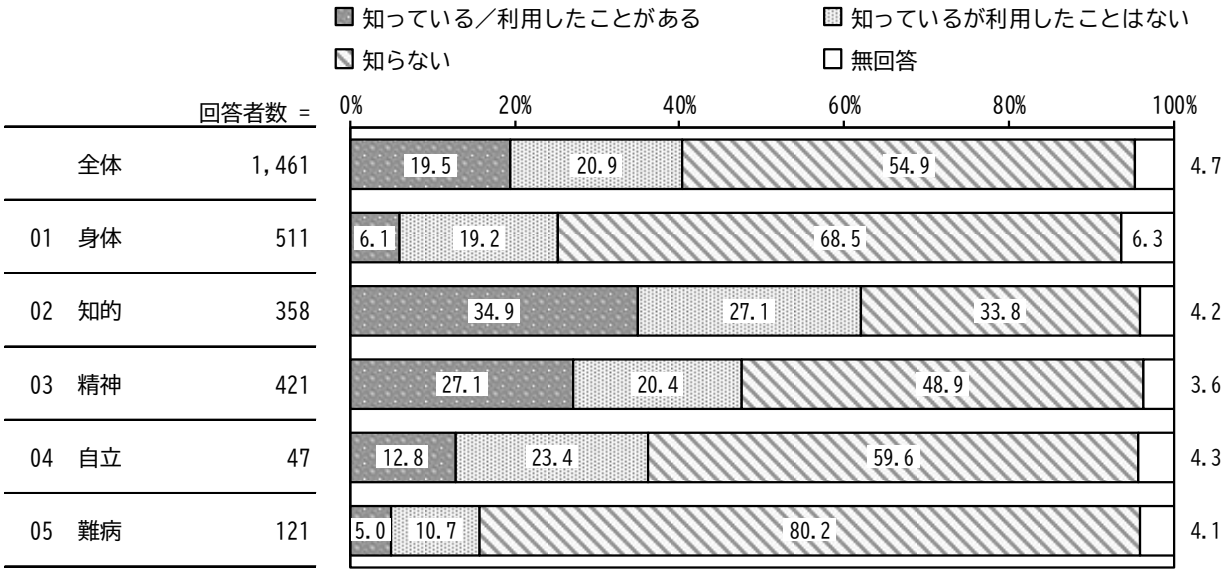
問　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	43	43	46	45	44	45

「知っている／利用したことがある」の割合が 19.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が 20.9%、「知らない」の割合が 54.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「知っている／利用したことがある」、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「知っている／利用したことがある」、『18～19 歳』で「知っているが利用したことはない」、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

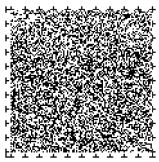
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「知っている／利用したことがある」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている／利用したことがある」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。



		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	19.5	20.9	54.9	4.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	29.6	33.3	37.0	0.0
	20～29歳	164	37.8	21.3	39.0	1.8
	30～39歳	195	32.8	23.1	42.1	2.1
	40～49歳	185	28.6	21.6	46.5	3.2
	50～59歳	229	17.0	17.9	61.1	3.9
	60～64歳	109	11.9	24.8	60.6	2.8
	65～69歳	91	8.8	22.0	67.0	2.2
	70歳以上	444	7.9	18.9	64.4	8.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	17.5	19.0	60.2	3.3
	核家族世帯	695	23.2	23.0	49.9	3.9
	三世代世帯	32	12.5	18.8	65.6	3.1
	その他の世帯	436	15.8	19.0	58.7	6.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	16.5	23.1	55.4	5.0
	障害者手帳所持者がいる	227	22.5	24.7	45.8	7.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	17.6	76.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	24.0	20.0	48.0	8.0
	あてはまらない	320	21.6	18.8	57.8	1.9
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	18～39歳	58	12.1	15.5	72.4	0.0
	40～59歳	309	24.6	20.7	52.1	2.6
	60歳代	213	18.3	26.8	51.6	3.3
	70歳代	146	17.8	24.0	56.2	2.1
	80歳以上	120	17.5	24.2	46.7	11.7
	わからない	105	27.6	17.1	48.6	6.7
生活困窮	ゆとりがある	113	27.4	14.2	52.2	6.2
	まあまあゆとりがある	610	20.0	22.1	54.8	3.1
	やや苦しい	538	16.7	21.4	56.1	5.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	22.2	20.7	53.3	3.7
サービス	利用している	500	33.6	24.0	39.4	3.0
	利用していない	863	11.8	20.4	65.0	2.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	7.7	33.3	51.3	7.7
	１年以上、３年未満	74	13.5	12.2	68.9	5.4
	３年以上、５年未満	89	16.9	16.9	64.0	2.2
	５年以上、10年未満	209	11.5	15.8	68.4	4.3
	10年以上	917	22.9	22.9	50.3	3.9
	わからない	56	30.4	17.9	44.6	7.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	19.5	24.1	49.7	6.7
	視覚障害がある	28	7.1	14.3	67.9	10.7
	聴覚障害がある	69	8.7	21.7	63.8	5.8

問　あなたは、西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。
【○はそれぞれに１つずつ】

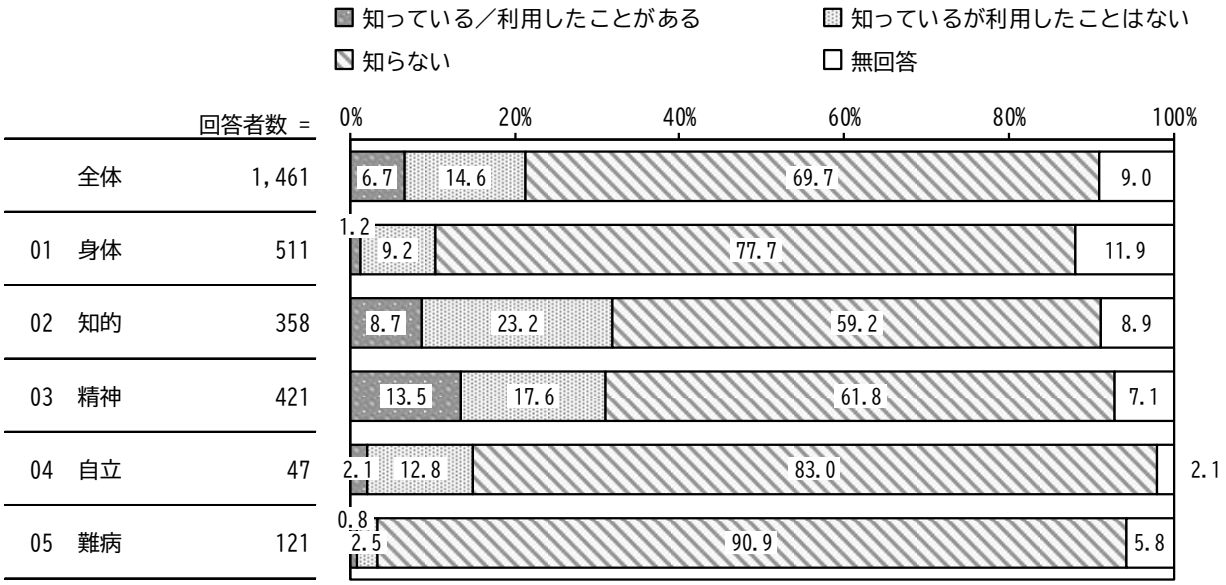
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	44	44	47	46	45	46

①　基幹相談支援センター「えぽっく」

「知っている／利用したことがある」の割合が 6.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が 14.6%、「知らない」の割合が 69.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知っている／利用したことがある」「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『17 歳以下』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど「知っているが利用したことはない」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「知っているが利用したことはない」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている／利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

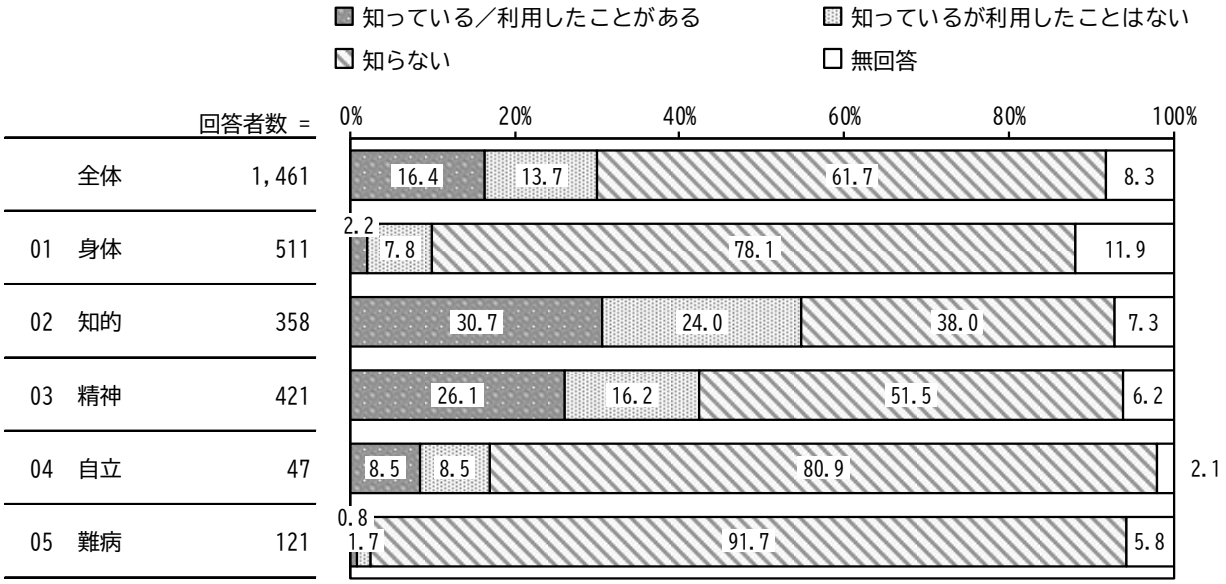
		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	6.7	14.6	69.7	9.0 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	11.1	11.1	77.8	0.0
	20～29歳	164	16.5	23.2	59.1	1.2
	30～39歳	195	10.8	24.1	59.5	5.6
	40～49歳	185	6.5	20.5	64.3	8.6
	50～59歳	229	8.7	12.7	70.7	7.9
	60～64歳	109	6.4	12.8	78.9	1.8
	65～69歳	91	3.3	7.7	83.5	5.5
	70歳以上	444	1.1	7.9	74.8	16.2
世帯構成	ひとり暮らし	274	8.4	10.2	71.9	9.5
	核家族世帯	695	7.5	16.8	68.3	7.3
	三世代世帯	32	12.5	9.4	78.1	0.0
	その他の世帯	436	4.4	14.4	70.4	10.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	5.2	14.9	70.7	9.2
	障害者手帳所持者がいる	227	4.8	19.8	63.9	11.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	5.9	94.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	6.7	13.3	60.0	20.0
	あてはまらない	320	8.1	12.8	74.4	4.7
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	58	1.7	10.3	82.8	5.2
	40～59歳	309	10.4	17.5	65.4	6.8
	60歳代	213	6.6	16.4	72.3	4.7
	70歳代	146	4.8	17.8	69.9	7.5
	80歳以上	120	5.8	10.0	65.0	19.2
	わからない	105	12.4	14.3	62.9	10.5
生活困窮	ゆとりがある	113	9.7	7.1	73.5	9.7
	まあまあゆとりがある	610	5.1	16.4	70.8	7.7
	やや苦しい	538	8.0	14.7	68.8	8.6
	不自由が多く、生活が苦しい	135	8.1	14.1	66.7	11.1
サービス	利用している	500	11.0	22.2	57.4	9.4
	利用していない	863	4.5	11.1	79.5	4.9
障害に気づいた時期	１年未満	39	0.0	12.8	69.2	17.9
	１年以上、３年未満	74	5.4	10.8	75.7	8.1
	３年以上、５年未満	89	6.7	9.0	75.3	9.0
	５年以上、10年未満	209	5.3	9.6	78.0	7.2
	10年以上	917	7.3	17.9	67.9	6.9
	わからない	56	12.5	5.4	64.3	17.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	7.8	12.3	63.9	16.0
	視覚障害がある	28	0.0	0.0	85.7	14.3
	聴覚障害がある	69	2.9	7.2	75.4	14.5

② 障害者就労支援センター「一歩」

「知っている／利用したことがある」の割合が 16.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 13.7%、「知らない」の割合が 61.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「知っている／利用したことがある」「知っているが利用したことはない」、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』、『30～39 歳』で「知っている／利用したことがある」、『18～19 歳』で「知っているが利用したことはない」、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知っている／利用したことがある」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「知っている／利用したことがある」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている／利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

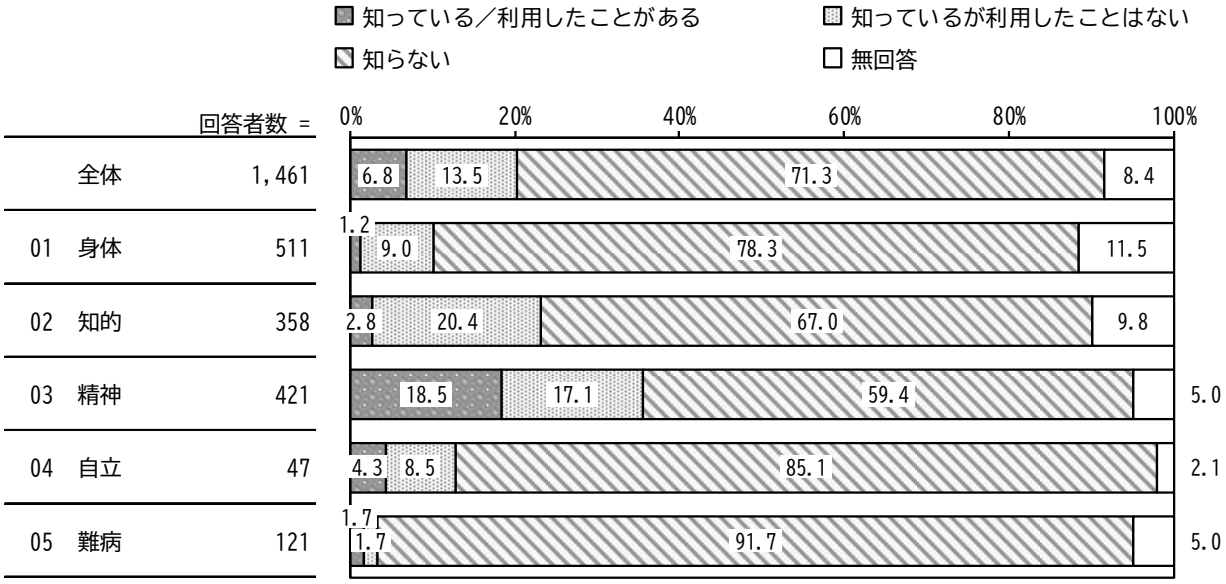
		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	16.4	13.7	61.7	8.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	14.8	48.1	37.0	0.0
	20～29歳	164	35.4	26.2	38.4	0.0
	30～39歳	195	35.9	19.5	39.5	5.1
	40～49歳	185	27.0	13.0	53.5	6.5
	50～59歳	229	13.5	12.2	67.7	6.6
	60～64歳	109	12.8	9.2	73.4	4.6
	65～69歳	91	1.1	6.6	87.9	4.4
	70歳以上	444	1.6	7.9	74.5	16.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	12.4	10.9	69.0	7.7
	核家族世帯	695	21.4	17.0	55.0	6.6
	三世代世帯	32	28.1	21.9	50.0	0.0
	その他の世帯	436	9.9	9.4	70.0	10.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	13.9	13.5	63.3	9.2
	障害者手帳所持者がいる	227	15.9	17.2	55.9	11.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	2.9	8.8	85.3	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	13.3	17.3	50.7	18.7
	あてはまらない	320	20.9	13.4	62.5	3.1
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	18～39歳	58	10.3	8.6	74.1	6.9
	40～59歳	309	21.4	15.9	55.0	7.8
	60歳代	213	18.3	18.8	60.6	2.3
	70歳代	146	13.7	13.7	65.1	7.5
	80歳以上	120	15.0	9.2	58.3	17.5
	わからない	105	18.1	11.4	61.0	9.5
生活困窮	ゆとりがある	113	31.9	8.8	49.6	9.7
	まあまあゆとりがある	610	15.4	15.4	62.6	6.6
	やや苦しい	538	14.5	13.4	63.8	8.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	17.8	10.4	62.2	9.6
サービス	利用している	500	26.4	21.2	44.4	8.0
	利用していない	863	11.6	10.3	73.8	4.3
障害に気づいた時期	１年未満	39	0.0	7.7	74.4	17.9
	１年以上、３年未満	74	13.5	9.5	67.6	9.5
	３年以上、５年未満	89	7.9	11.2	71.9	9.0
	５年以上、10年未満	209	11.5	10.5	71.3	6.7
	10年以上	917	18.8	15.8	59.4	6.0
	わからない	56	30.4	14.3	37.5	17.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	14.2	14.2	55.9	15.8
	視覚障害がある	28	3.6	0.0	85.7	10.7
	聴覚障害がある	69	1.4	11.6	71.0	15.9

③ 地域活動支援センター「ハーモニー」

「知っている／利用したことがある」の割合が 6.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が 13.5%、「知らない」の割合が 71.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「知っている／利用したことがある」、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が上がるほど「知っている／利用したことがある」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っている／利用したことがある」、『ゆとりがある』で「知らない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている／利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

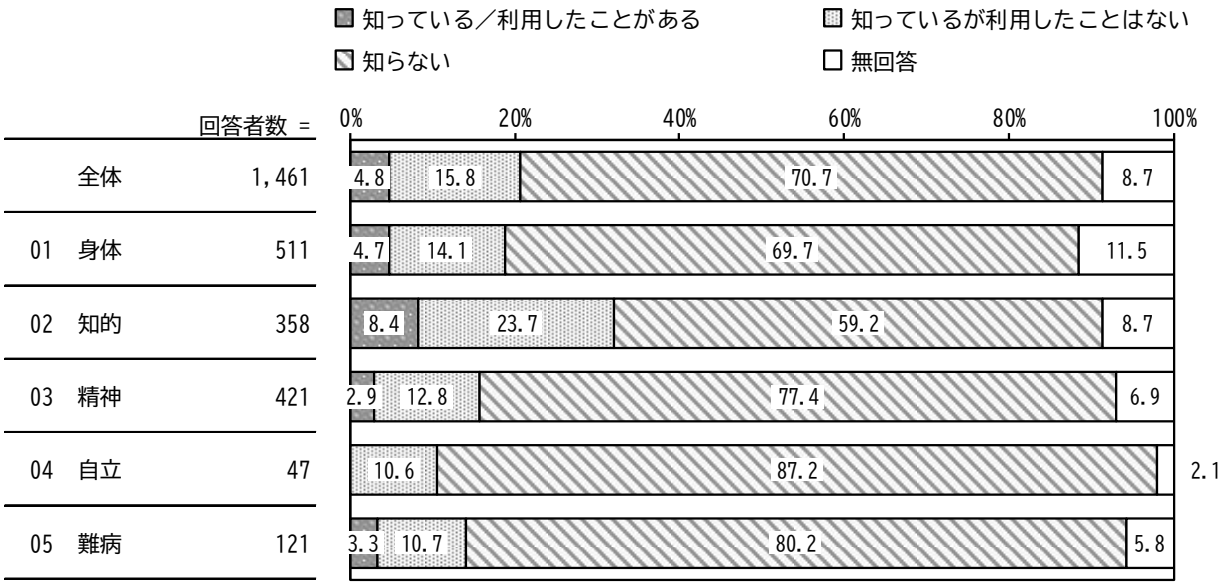
		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	6.8	13.5	71.3	8.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	3.7	18.5	77.8	0.0
	20～29歳	164	1.8	22.0	73.8	2.4
	30～39歳	195	9.7	19.0	65.6	5.6
	40～49歳	185	13.5	16.2	63.2	7.0
	50～59歳	229	10.9	10.9	71.6	6.6
	60～64歳	109	8.3	16.5	70.6	4.6
	65～69歳	91	5.5	8.8	82.4	3.3
	70歳以上	444	2.3	8.3	74.1	15.3
世帯構成	ひとり暮らし	274	12.4	12.8	66.8	8.0
	核家族世帯	695	6.2	15.5	71.2	7.1
	三世代世帯	32	0.0	6.3	93.8	0.0
	その他の世帯	436	4.6	11.7	73.2	10.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	7.0	12.0	72.9	8.2
	障害者手帳所持者がいる	227	5.7	14.1	69.2	11.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	2.9	97.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	10.7	12.0	64.0	13.3
	あてはまらない	320	2.8	14.7	77.8	4.7
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	18～39歳	58	5.2	3.4	84.5	6.9
	40～59歳	309	5.5	16.2	72.2	6.1
	60歳代	213	4.7	16.4	74.6	4.2
	70歳代	146	6.2	17.1	70.5	6.2
	80歳以上	120	11.7	10.0	60.0	18.3
	わからない	105	8.6	14.3	66.7	10.5
生活困窮	ゆとりがある	113	6.2	8.0	77.0	8.8
	まあまあゆとりがある	610	4.6	15.2	72.6	7.5
	やや苦しい	538	8.4	12.6	71.7	7.2
	不自由が多く、生活が苦しい	135	11.9	14.1	63.0	11.1
サービス	利用している	500	11.2	21.8	58.8	8.2
	利用していない	863	4.6	9.7	81.2	4.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	2.6	12.8	71.8	12.8
	１年以上、３年未満	74	4.1	9.5	77.0	9.5
	３年以上、５年未満	89	4.5	11.2	76.4	7.9
	５年以上、10年未満	209	4.3	10.0	78.5	7.2
	10年以上	917	7.1	15.6	70.3	7.0
	わからない	56	23.2	7.1	58.9	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	8.8	14.4	61.5	15.2
	視覚障害がある	28	0.0	0.0	85.7	14.3
	聴覚障害がある	69	1.4	7.2	78.3	13.0

④　保谷障害者福祉センター

「知っている／利用したことがある」の割合が 4.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が 15.8%、「知らない」の割合が 70.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「知っているが利用したことはない」、『18～19 歳』、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど「知らない」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っているが利用したことはない」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている／利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知っているが利用したことはない」の割合が低くなっています。

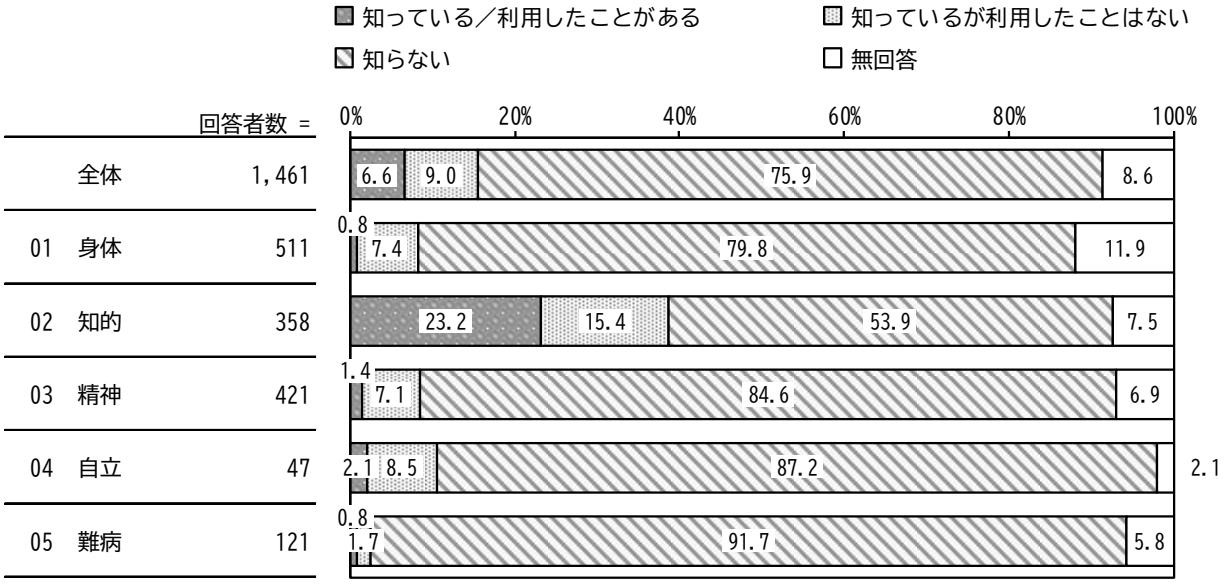
		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	4.8	15.8	70.7	8.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	22.2	77.8	0.0
	20～29歳	164	6.1	20.7	70.7	2.4
	30～39歳	195	7.2	17.9	69.2	5.6
	40～49歳	185	3.2	18.4	71.4	7.0
	50～59歳	229	5.7	13.1	72.5	8.7
	60～64歳	109	1.8	17.4	75.2	5.5
	65～69歳	91	4.4	16.5	76.9	2.2
	70歳以上	444	4.3	12.6	67.8	15.3
世帯構成	ひとり暮らし	274	3.3	11.3	75.2	10.2
	核家族世帯	695	5.6	17.4	70.1	6.9
	三世代世帯	32	3.1	21.9	75.0	0.0
	その他の世帯	436	4.4	15.6	69.7	10.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	5.0	15.5	71.3	8.2
	障害者手帳所持者がいる	227	4.4	23.8	61.7	10.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	11.8	82.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	9.3	17.3	57.3	16.0
	あてはまらない	320	4.7	15.6	75.0	4.7
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	58	0.0	8.6	84.5	6.9
	40～59歳	309	5.5	16.8	70.6	7.1
	60歳代	213	8.0	18.8	70.0	3.3
	70歳代	146	5.5	17.1	71.2	6.2
	80歳以上	120	6.7	13.3	63.3	16.7
	わからない	105	4.8	13.3	71.4	10.5
生活困窮	ゆとりがある	113	4.4	9.7	75.2	10.6
	まあまあゆとりがある	610	4.9	19.3	68.4	7.4
	やや苦しい	538	5.0	14.7	72.3	8.0
	不自由が多く、生活が苦しい	135	3.0	10.4	75.6	11.1
サービス	利用している	500	8.8	19.8	62.2	9.2
	利用していない	863	3.0	14.6	77.9	4.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	5.1	17.9	66.7	10.3
	１年以上、３年未満	74	4.1	16.2	70.3	9.5
	３年以上、５年未満	89	1.1	14.6	76.4	7.9
	５年以上、10年未満	209	1.4	12.4	78.0	8.1
	10年以上	917	6.3	18.1	69.0	6.5
	わからない	56	1.8	7.1	73.2	17.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	5.3	13.4	65.2	16.0
	視覚障害がある	28	3.6	3.6	78.6	14.3
	聴覚障害がある	69	4.3	15.9	68.1	11.6

⑤　地域活動支援センター「ブルーム」

「知っている／利用したことがある」の割合が 6.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が 9.0%、「知らない」の割合が 75.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「知っている／利用したことがある」、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「知っている／利用したことがある」、『18～19 歳』で「知っているが利用したことはない」、『60～64 歳』、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「知っている／利用したことがある」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている／利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「知っているが利用したことはない」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	6.6	9.0	75.9	8.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	22.2	25.9	51.9	0.0
	20～29歳	164	21.3	17.1	59.8	1.8
	30～39歳	195	13.3	10.3	73.3	3.1
	40～49歳	185	7.6	10.3	75.7	6.5
	50～59歳	229	2.6	5.7	83.8	7.9
	60～64歳	109	0.9	6.4	88.1	4.6
	65～69歳	91	0.0	4.4	90.1	5.5
	70歳以上	444	1.6	7.4	75.0	16.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	0.7	6.9	82.5	9.9
	核家族世帯	695	8.9	10.9	73.1	7.1
	三世代世帯	32	9.4	6.3	84.4	0.0
	その他の世帯	436	6.4	7.8	76.1	9.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	5.0	7.2	79.3	8.6
	障害者手帳所持者がいる	227	11.5	11.0	66.1	11.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	2.9	97.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	9.3	10.7	61.3	18.7
	あてはまらない	320	9.7	8.8	77.2	4.4
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	58	1.7	1.7	91.4	5.2
	40～59歳	309	11.3	11.3	70.6	6.8
	60歳代	213	8.9	10.3	76.5	4.2
	70歳代	146	2.7	8.9	80.8	7.5
	80歳以上	120	4.2	10.0	68.3	17.5
	わからない	105	12.4	8.6	68.6	10.5
生活困窮	ゆとりがある	113	14.2	7.1	69.9	8.8
	まあまあゆとりがある	610	7.7	10.2	74.6	7.5
	やや苦しい	538	4.6	8.0	79.2	8.2
	不自由が多く、生活が苦しい	135	4.4	7.4	76.3	11.9
サービス	利用している	500	15.4	14.2	62.4	8.0
	利用していない	863	1.7	6.5	86.8	5.0
障害に気づいた時期	１年未満	39	5.1	2.6	79.5	12.8
	１年以上、３年未満	74	5.4	6.8	79.7	8.1
	３年以上、５年未満	89	2.2	9.0	80.9	7.9
	５年以上、10年未満	209	1.9	10.0	80.4	7.7
	10年以上	917	8.3	9.6	75.6	6.5
	わからない	56	8.9	12.5	62.5	16.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	7.0	7.0	69.8	16.3
	視覚障害がある	28	3.6	0.0	82.1	14.3
	聴覚障害がある	69	0.0	10.1	73.9	15.9

問　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。
【○はそれぞれに１つずつ】

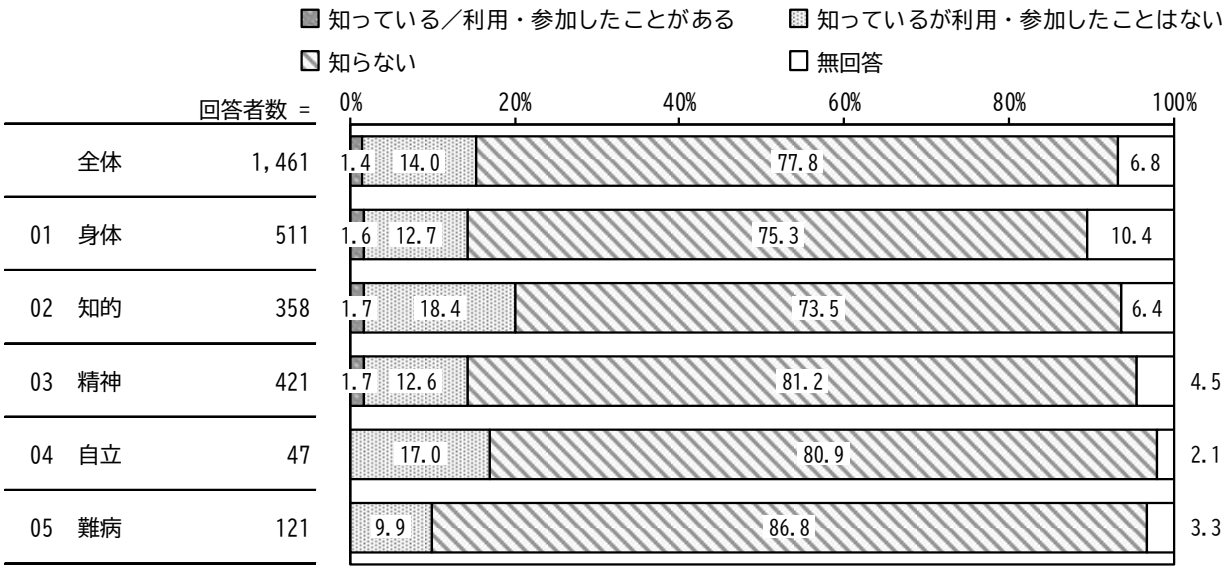
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	45	45	48	47	46	47

①　障害者サポーター養成講座

「知っている／利用・参加したことがある」の割合が 1.4%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 14.0%、「知らない」の割合が 77.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「知っているが利用・参加したことはない」、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知らない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知っているが利用・参加したことはない」、『聴覚障害がある』で「知らない」の割合が低くなっています。

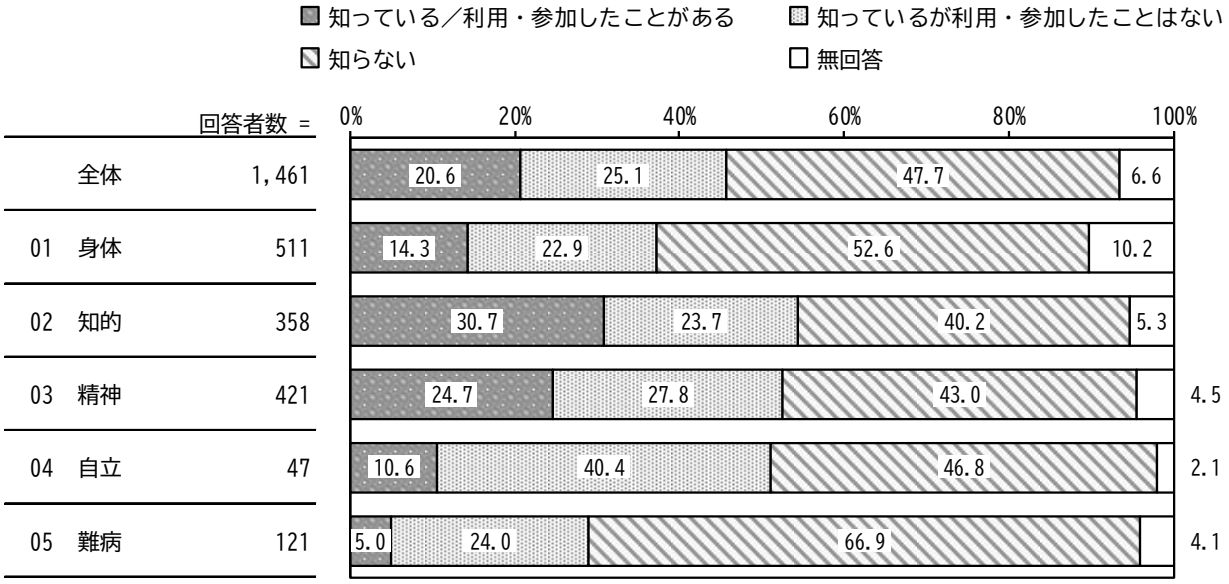
		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	1.4	14.0	77.8	6.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	22.2	77.8	0.0
	20～29歳	164	0.6	18.9	79.3	1.2
	30～39歳	195	3.6	15.4	77.9	3.1
	40～49歳	185	0.5	12.4	81.6	5.4
	50～59歳	229	0.4	11.8	82.1	5.7
	60～64歳	109	1.8	16.5	79.8	1.8
	65～69歳	91	3.3	11.0	83.5	2.2
	70歳以上	444	1.4	12.8	72.1	13.7
世帯構成	ひとり暮らし	274	2.2	12.4	77.4	8.0
	核家族世帯	695	1.2	15.7	78.0	5.2
	三世代世帯	32	0.0	6.3	90.6	3.1
	その他の世帯	436	1.6	12.8	77.5	8.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	1.2	13.7	78.9	6.2
	障害者手帳所持者がいる	227	0.9	15.0	77.1	7.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	14.7	85.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	1.3	16.0	72.0	10.7
	あてはまらない	320	0.6	12.2	83.1	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	58	1.7	6.9	87.9	3.4
	40～59歳	309	1.6	16.8	77.3	4.2
	60歳代	213	2.3	14.6	80.3	2.8
	70歳代	146	2.1	11.0	80.1	6.8
	80歳以上	120	0.8	13.3	70.0	15.8
	わからない	105	1.9	16.2	74.3	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	0.0	8.0	85.8	6.2
	まあまあゆとりがある	610	2.3	16.6	75.2	5.9
	やや苦しい	538	1.1	14.1	78.3	6.5
	不自由が多く、生活が苦しい	135	0.7	7.4	83.7	8.1
サービス	利用している	500	1.8	20.0	73.2	5.0
	利用していない	863	1.2	11.9	82.9	4.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	2.6	7.7	82.1	7.7
	１年以上、３年未満	74	1.4	8.1	83.8	6.8
	３年以上、５年未満	89	0.0	18.0	76.4	5.6
	５年以上、10年未満	209	3.3	15.8	74.6	6.2
	10年以上	917	1.2	14.7	79.2	4.9
	わからない	56	1.8	8.9	76.8	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	1.9	13.4	74.3	10.4
	視覚障害がある	28	3.6	7.1	75.0	14.3
	聴覚障害がある	69	2.9	11.6	71.0	14.5

② ヘルプカード

「知っている／利用・参加したことがある」の割合が 20.6%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 25.1%、「知らない」の割合が 47.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「知っている／利用・参加したことがある」、自立で「知っているが利用・参加したことはない」、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「知っている／利用・参加したことがある」、『18～19 歳』、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「知らない」の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『40～59 歳』から『80 歳以上』まで年齢が上がるほど「知らない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「知らない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている／利用・参加したことがある」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

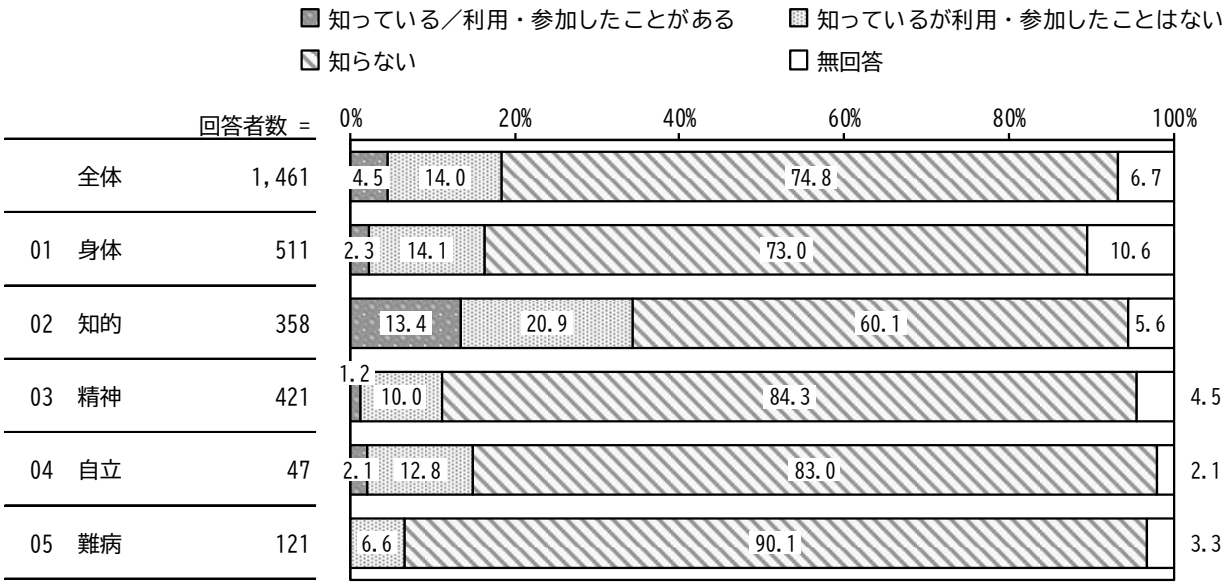
		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	20.6	25.1	47.7	6.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	25.9	14.8	59.3	0.0
	20～29歳	164	37.8	28.0	33.5	0.6
	30～39歳	195	26.2	30.8	39.5	3.6
	40～49歳	185	22.7	29.2	43.2	4.9
	50～59歳	229	17.5	27.9	49.3	5.2
	60～64歳	109	20.2	30.3	47.7	1.8
	65～69歳	91	19.8	19.8	60.4	0.0
	70歳以上	444	12.4	19.6	54.1	14.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	20.1	25.9	46.4	7.7
	核家族世帯	695	22.3	27.2	45.6	4.9
	三世代世帯	32	15.6	34.4	50.0	0.0
	その他の世帯	436	18.8	21.6	51.4	8.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	18.7	24.5	50.6	6.2
	障害者手帳所持者がいる	227	25.1	24.7	43.2	7.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	20.6	32.4	47.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	26.7	26.7	37.3	9.3
	あてはまらない	320	21.9	24.1	50.6	3.4
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	66.7	33.3	0.0
	18～39歳	58	17.2	25.9	55.2	1.7
	40～59歳	309	28.8	25.2	41.7	4.2
	60歳代	213	26.8	26.3	43.7	3.3
	70歳代	146	13.7	27.4	52.1	6.8
	80歳以上	120	13.3	19.2	52.5	15.0
	わからない	105	26.7	19.0	46.7	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	17.7	23.9	54.0	4.4
	まあまあゆとりがある	610	20.3	27.0	46.6	6.1
	やや苦しい	538	20.8	24.9	48.0	6.3
	不自由が多く、生活が苦しい	135	24.4	23.7	43.7	8.1
サービス	利用している	500	28.4	26.2	40.8	4.6
	利用していない	863	17.4	26.9	51.8	3.9
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	17.9	64.1	5.1
	１年以上、３年未満	74	16.2	18.9	59.5	5.4
	３年以上、５年未満	89	14.6	24.7	56.2	4.5
	５年以上、10年未満	209	15.8	27.3	49.3	7.7
	10年以上	917	24.5	26.6	44.1	4.8
	わからない	56	10.7	19.6	60.7	8.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	19.0	21.7	48.9	10.4
	視覚障害がある	28	7.1	14.3	60.7	17.9
	聴覚障害がある	69	10.1	21.7	56.5	11.6

③　障害者スポーツ支援事業

「知っている／利用・参加したことがある」の割合が 4.5%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 14.0%、「知らない」の割合が 74.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「知っている／利用・参加したことがある」、『60～64 歳』、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知らない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている／利用・参加したことがある」「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が低くなっています。

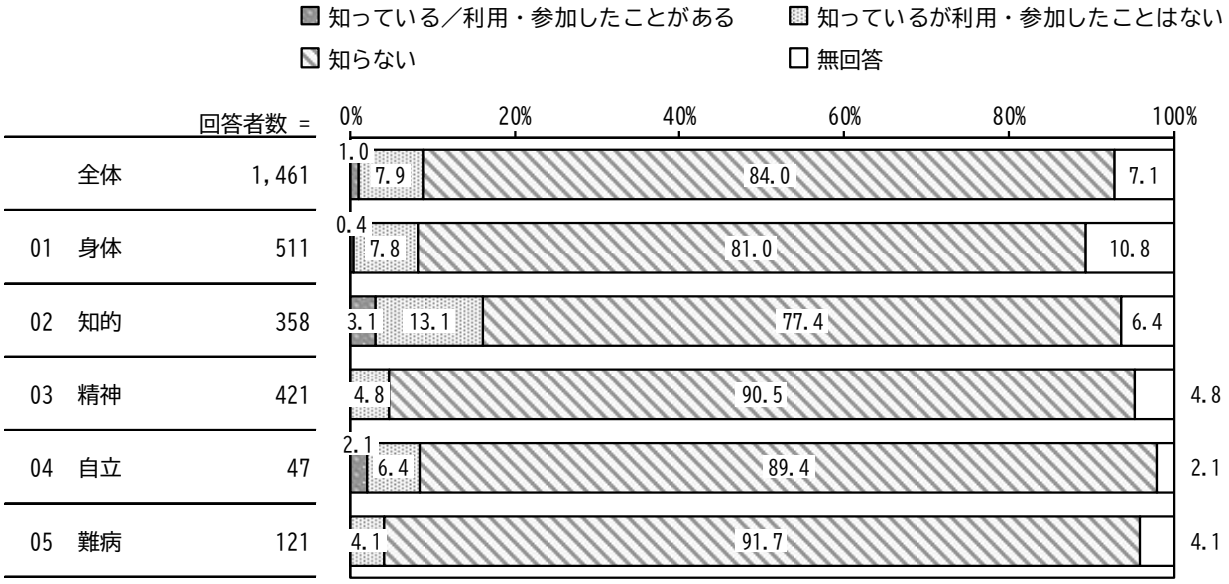
		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	4.5	14.0	74.8	6.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	3.7	18.5	77.8	0.0
	20～29歳	164	11.6	18.9	68.9	0.6
	30～39歳	195	8.2	17.9	71.3	2.6
	40～49歳	185	3.2	14.1	77.8	4.9
	50～59歳	229	3.9	11.8	78.6	5.7
	60～64歳	109	3.7	11.0	84.4	0.9
	65～69歳	91	3.3	9.9	84.6	2.2
	70歳以上	444	1.4	13.1	71.2	14.4
世帯構成	ひとり暮らし	274	1.5	11.3	78.8	8.4
	核家族世帯	695	5.9	16.1	73.2	4.7
	三世代世帯	32	6.3	9.4	84.4	0.0
	その他の世帯	436	3.9	12.6	74.8	8.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	3.6	12.9	76.9	6.6
	障害者手帳所持者がいる	227	6.6	17.6	68.3	7.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	11.8	88.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	4.0	14.7	70.7	10.7
	あてはまらない	320	5.6	13.4	77.8	3.1
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	58	1.7	3.4	91.4	3.4
	40～59歳	309	7.1	17.2	71.5	4.2
	60歳代	213	6.6	15.0	74.6	3.8
	70歳代	146	3.4	7.5	82.9	6.2
	80歳以上	120	3.3	14.2	67.5	15.0
	わからない	105	5.7	18.1	68.6	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	6.2	11.5	77.0	5.3
	まあまあゆとりがある	610	5.4	16.9	71.6	6.1
	やや苦しい	538	3.5	13.2	76.8	6.5
	不自由が多く、生活が苦しい	135	2.2	7.4	82.2	8.1
サービス	利用している	500	9.8	18.4	67.0	4.8
	利用していない	863	1.9	12.9	81.5	3.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	2.6	17.9	74.4	5.1
	１年以上、３年未満	74	2.7	12.2	78.4	6.8
	３年以上、５年未満	89	2.2	13.5	79.8	4.5
	５年以上、10年未満	209	1.4	11.0	80.9	6.7
	10年以上	917	6.1	15.8	73.2	4.9
	わからない	56	1.8	7.1	80.4	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	2.7	11.8	74.3	11.2
	視覚障害がある	28	7.1	3.6	75.0	14.3
	聴覚障害がある	69	1.4	13.0	73.9	11.6

④　かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）

「知っている／利用・参加したことがある」の割合が 1.0%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 7.9%、「知らない」の割合が 84.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「知っているが利用・参加したことはない」、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知らない」の割合が低くなっています。

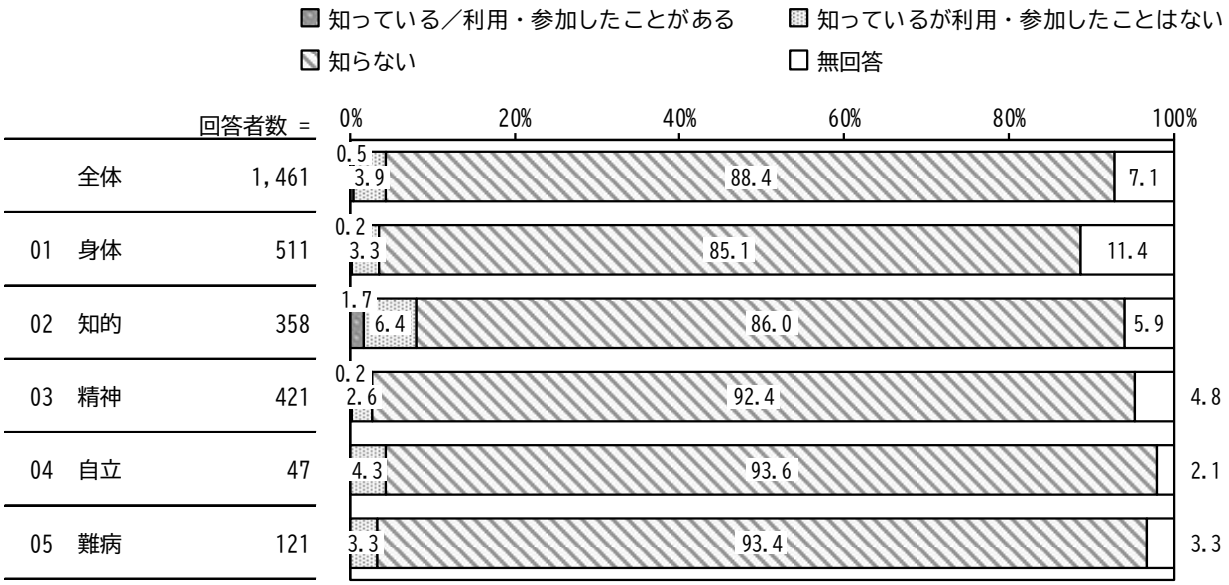
		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	1.0	7.9	84.0	7.1 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	14.8	81.5	3.7
	20～29歳	164	3.0	12.2	84.1	0.6
	30～39歳	195	2.6	10.3	84.6	2.6
	40～49歳	185	0.5	7.0	86.5	5.9
	50～59歳	229	0.4	6.6	86.5	6.6
	60～64歳	109	0.9	4.6	91.7	2.8
	65～69歳	91	0.0	4.4	94.5	1.1
	70歳以上	444	0.2	7.9	77.7	14.2
世帯構成	ひとり暮らし	274	0.4	8.4	82.8	8.4
	核家族世帯	695	1.3	8.8	84.7	5.2
	三世代世帯	32	0.0	18.8	81.3	0.0
	その他の世帯	436	0.9	6.0	84.2	8.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	1.0	7.2	85.5	6.4
	障害者手帳所持者がいる	227	0.4	8.4	83.3	7.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	11.8	88.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	0.0	10.7	80.0	9.3
	あてはまらない	320	1.3	6.6	88.1	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	18～39歳	58	0.0	0.0	96.6	3.4
	40～59歳	309	1.3	10.4	83.8	4.5
	60歳代	213	1.9	6.6	88.3	3.3
	70歳代	146	0.0	6.8	87.0	6.2
	80歳以上	120	0.8	10.0	74.2	15.0
	わからない	105	3.8	8.6	80.0	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	0.9	9.7	83.2	6.2
	まあまあゆとりがある	610	1.3	9.7	82.6	6.4
	やや苦しい	538	0.9	7.1	85.3	6.7
	不自由が多く、生活が苦しい	135	0.0	3.0	88.1	8.9
サービス	利用している	500	2.2	11.0	82.0	4.8
	利用していない	863	0.3	7.0	88.2	4.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	2.6	5.1	82.1	10.3
	１年以上、３年未満	74	1.4	4.1	87.8	6.8
	３年以上、５年未満	89	0.0	7.9	86.5	5.6
	５年以上、10年未満	209	0.0	7.7	85.2	7.2
	10年以上	917	1.3	9.2	84.5	5.0
	わからない	56	0.0	3.6	83.9	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	0.5	7.5	81.6	10.4
	視覚障害がある	28	0.0	7.1	75.0	17.9
	聴覚障害がある	69	0.0	7.2	78.3	14.5

⑤ ENJOY ニュースポーツ

「知っている／利用・参加したことがある」の割合が 0.5%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 3.9%、「知らない」の割合が 88.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『80 歳以上』で「知らない」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』、『聴覚障害がある』で「知らない」の割合が低くなっています。

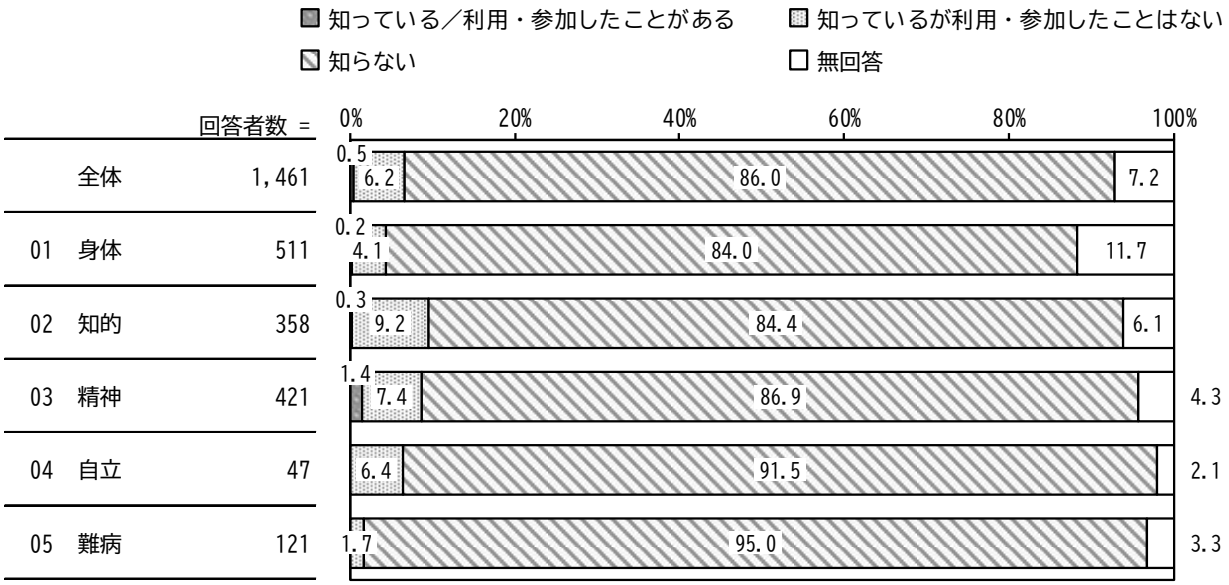
		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	0.5	3.9	88.4	7.1 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	7.4	92.6	0.0
	20～29歳	164	1.8	6.1	91.5	0.6
	30～39歳	195	1.0	4.6	91.8	2.6
	40～49歳	185	0.5	4.3	89.7	5.4
	50～59歳	229	0.4	2.2	91.3	6.1
	60～64歳	109	0.9	3.7	92.7	2.8
	65～69歳	91	0.0	2.2	96.7	1.1
	70歳以上	444	0.0	3.8	81.3	14.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	0.4	2.9	88.3	8.4
	核家族世帯	695	0.9	4.2	89.6	5.3
	三世代世帯	32	0.0	12.5	87.5	0.0
	その他の世帯	436	0.2	3.7	87.4	8.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	0.4	4.4	88.2	7.0
	障害者手帳所持者がいる	227	0.4	4.4	86.8	8.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	2.9	97.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	0.0	5.3	82.7	12.0
	あてはまらない	320	0.6	2.5	93.1	3.8
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	58	0.0	0.0	96.6	3.4
	40～59歳	309	1.0	5.5	89.0	4.5
	60歳代	213	1.4	2.8	92.0	3.8
	70歳代	146	0.0	4.1	89.7	6.2
	80歳以上	120	0.8	5.8	76.7	16.7
	わからない	105	0.0	2.9	89.5	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	0.9	6.2	86.7	6.2
	まあまあゆとりがある	610	0.7	5.2	87.7	6.4
	やや苦しい	538	0.6	2.2	90.3	6.9
	不自由が多く、生活が苦しい	135	0.0	2.2	89.6	8.1
サービス	利用している	500	1.4	5.8	87.6	5.2
	利用していない	863	0.1	3.1	92.5	4.3
障害に気づいた時期	１年未満	39	0.0	2.6	87.2	10.3
	１年以上、３年未満	74	0.0	1.4	91.9	6.8
	３年以上、５年未満	89	0.0	5.6	87.6	6.7
	５年以上、10年未満	209	0.0	3.3	90.4	6.2
	10年以上	917	0.9	4.5	89.6	5.0
	わからない	56	0.0	1.8	85.7	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	0.3	4.8	84.0	11.0
	視覚障害がある	28	0.0	0.0	82.1	17.9
	聴覚障害がある	69	0.0	5.8	79.7	14.5

⑥ ピアカウンセリング

「知っている／利用・参加したことがある」の割合が 0.5%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 6.2%、「知らない」の割合が 86.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「知っているが利用・参加したことはない」、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『80 歳以上』で「知らない」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「知らない」の割合が低くなっています。

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		1,461	0.5	6.2	86.0	7.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	11.1	85.2	3.7
	20～29歳	164	0.0	11.6	87.8	0.6
	30～39歳	195	1.0	7.7	88.7	2.6
	40～49歳	185	1.1	7.6	85.9	5.4
	50～59歳	229	1.3	5.2	87.8	5.7
	60～64歳	109	0.0	6.4	89.9	3.7
	65～69歳	91	0.0	4.4	94.5	1.1
	70歳以上	444	0.2	3.6	81.3	14.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	0.4	4.7	86.5	8.4
	核家族世帯	695	0.9	7.2	86.6	5.3
	三世代世帯	32	0.0	12.5	87.5	0.0
	その他の世帯	436	0.2	5.3	85.8	8.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	1.0	5.8	86.7	6.6
	障害者手帳所持者がいる	227	0.0	7.0	84.6	8.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	2.9	11.8	85.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	0.0	9.3	78.7	12.0
	あてはまらない	320	0.0	5.3	90.3	4.4
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	58	0.0	1.7	93.1	5.2
	40～59歳	309	0.3	9.4	85.8	4.5
	60歳代	213	0.0	6.1	90.6	3.3
	70歳代	146	0.7	3.4	89.7	6.2
	80歳以上	120	2.5	7.5	74.2	15.8
	わからない	105	0.0	4.8	87.6	7.6
生活困窮	ゆとりがある	113	0.9	4.4	88.5	6.2
	まあまあゆとりがある	610	0.5	7.7	85.2	6.6
	やや苦しい	538	0.6	5.4	87.5	6.5
	不自由が多く、生活が苦しい	135	0.0	4.4	87.4	8.1
サービス	利用している	500	1.2	9.8	84.0	5.0
	利用していない	863	0.2	4.8	90.4	4.6
障害に気づいた時期	１年未満	39	0.0	0.0	89.7	10.3
	１年以上、３年未満	74	0.0	4.1	87.8	8.1
	３年以上、５年未満	89	0.0	5.6	87.6	6.7
	５年以上、10年未満	209	0.0	6.7	87.1	6.2
	10年以上	917	0.8	7.2	87.0	5.0
	わからない	56	0.0	3.6	85.7	10.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	0.8	5.9	82.1	11.2
	視覚障害がある	28	0.0	0.0	82.1	17.9
	聴覚障害がある	69	0.0	5.8	79.7	14.5

問　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	46	46	49	48	47	48

「利用したことがない」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「就労継続支援（A 型・B 型)」の割合が 10.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「生活介護」「就労継続支援（A 型・B 型)」「共同生活援助（グループホーム)」「相談支援」、自立で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

		調査数	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	就労定着支援	療養介護	短期入所（ショートステイ）	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	自立生活援助	相談支援	利用したことがない	無回答
全　体		1,461	8.9	6.0	2.5	3.1	10.7	3.5	1.0	4.3	6.0	1.3	1.6	9.6	59.1	6.7
障害種別	身体	511	11.4	4.3	3.5	0.4	0.8	0.4	2.5	2.7	1.0	0.6	1.6	5.5	70.6	7.6
	知的	358	8.9	17.3	1.7	5.3	27.1	5.0	0.3	12.0	20.1	3.9	0.6	20.1	29.6	8.4
	精神	421	7.6	0.7	1.9	5.7	13.1	7.4	0.2	1.0	1.9	0.2	2.1	8.6	61.5	3.6
	自立	47	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	4.3	2.1	83.0	6.4
	難病	121	5.8	0.8	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.8	0.0	1.7	1.7	80.2	9.1

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「就労移行支援」「就労継続支援（A 型・B 型)」、『18～19 歳』で「相談支援」、『60～64 歳』、『65～69 歳』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「訪問系サービス」、『三世代世帯』で「就労移行支援」、『その他の世帯』で「共同生活援助（グループホーム)」の割合が高くなっています。

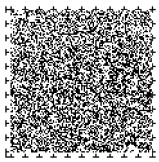
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「共同生活援助（グループホーム)」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『70 歳代』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「生活介護」「共同生活援助（グループホーム)」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「就労継続支援（A 型・B 型)」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「共同生活援助（グループホーム)」、『３年以上、５年未満』、『５年以上、10 年未満』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「訪問系サービス」、『聴覚障害がある』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。



		調査数	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	就労定着支援	療養介護	短期入所（ショートステイ）	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	自立生活援助	相談支援	利用したことがない	無回答
全　体		1,461	8.9	6.0	2.5	3.1	10.7	3.5	1.0	4.3	6.0	1.3	1.6	9.6	59.1	6.7
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	3.7	7.4	11.1	11.1	7.4	0.0	3.7	3.7	0.0	0.0	29.6	37.0	11.1
	20～29歳	164	6.1	14.0	1.8	14.0	23.8	12.8	0.0	9.8	8.5	0.0	0.0	24.4	36.6	3.0
	30～39歳	195	10.8	10.8	1.0	4.1	19.0	4.1	0.0	9.2	15.9	1.0	0.0	11.3	48.2	4.6
	40～49歳	185	5.9	4.9	0.0	1.1	14.6	5.4	0.0	2.2	10.8	2.7	2.2	10.3	59.5	4.9
	50～59歳	229	7.0	3.1	1.7	2.2	14.0	2.2	0.0	2.6	3.9	2.2	2.6	8.3	65.5	5.2
	60～64歳	109	4.6	2.8	0.9	0.0	7.3	1.8	0.9	1.8	2.8	0.0	1.8	1.8	77.1	1.8
	65～69歳	91	5.5	3.3	1.1	0.0	4.4	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	79.1	3.3
	70歳以上	444	14.0	4.7	5.4	0.5	0.7	0.2	3.2	3.2	1.8	1.4	2.3	6.3	61.9	11.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	15.7	3.3	2.6	1.5	7.7	2.6	0.7	0.4	2.2	0.0	4.4	6.2	60.9	6.9
	核家族世帯	695	7.5	5.5	2.4	4.6	14.2	5.0	0.7	6.5	3.6	0.4	1.0	12.7	58.4	5.3
	三世代世帯	32	6.3	9.4	0.0	12.5	3.1	6.3	0.0	6.3	3.1	0.0	0.0	6.3	62.5	3.1
	その他の世帯	436	7.6	8.5	3.0	0.7	7.3	1.1	1.8	3.0	12.6	3.7	0.9	7.3	58.9	8.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	8.0	5.4	4.0	2.4	8.6	3.6	1.2	5.4	3.4	1.8	1.6	9.0	62.5	6.6
	障害者手帳所持者がいる	227	8.8	12.8	2.6	3.1	16.7	2.6	0.9	3.1	19.8	4.0	0.0	11.9	46.7	6.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	94.1	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	17.3	8.0	2.7	1.3	9.3	2.7	1.3	5.3	8.0	1.3	2.7	13.3	56.0	8.0
	あてはまらない	320	5.6	5.9	1.9	5.6	12.2	4.4	0.3	5.9	3.1	0.6	0.6	11.9	62.5	3.4
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	18～39歳	58	8.6	12.1	1.7	1.7	5.2	0.0	1.7	1.7	10.3	5.2	0.0	8.6	65.5	0.0
	40～59歳	309	11.0	9.1	2.3	5.2	12.9	4.2	0.6	7.1	6.1	1.3	2.3	15.5	51.5	5.5
	60歳代	213	6.6	7.5	1.9	1.9	13.1	4.2	0.5	8.5	5.6	0.0	0.5	11.3	58.2	4.7
	70歳代	146	11.0	2.1	4.1	2.1	8.9	4.1	1.4	4.1	2.7	1.4	2.1	7.5	63.7	6.2
	80歳以上	120	10.0	4.2	4.2	0.8	7.5	1.7	2.5	2.5	4.2	0.0	1.7	10.8	57.5	9.2
	わからない	105	21.9	17.1	1.9	4.8	14.3	4.8	1.9	2.9	23.8	6.7	1.9	15.2	26.7	10.5
生活困窮	ゆとりがある	113	7.1	3.5	3.5	7.1	15.9	5.3	0.0	4.4	8.0	0.9	0.0	11.5	46.0	14.2
	まあまあゆとりがある	610	7.0	8.0	2.5	3.4	10.5	3.8	1.0	4.6	8.4	1.1	1.5	7.9	59.7	5.7
	やや苦しい	538	9.9	4.6	2.2	1.9	8.9	3.0	1.1	3.5	4.1	1.7	2.4	12.3	63.4	5.0
	不自由が多く、生活が苦しい	135	13.3	6.7	3.0	3.0	15.6	2.2	1.5	5.9	3.0	0.0	0.0	8.1	52.6	8.1
サービス	利用している	500	26.0	17.6	7.4	9.0	31.4	10.2	3.0	12.6	17.6	3.8	4.6	28.0	0.0	0.0
	利用していない	863	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	39	5.1	5.1	2.6	2.6	15.4	2.6	0.0	2.6	12.8	2.6	0.0	7.7	59.0	7.7
	１年以上、３年未満	74	6.8	6.8	0.0	2.7	2.7	1.4	4.1	2.7	4.1	1.4	0.0	6.8	59.5	14.9
	３年以上、５年未満	89	6.7	1.1	6.7	1.1	4.5	2.2	2.2	3.4	0.0	1.1	3.4	10.1	68.5	4.5
	５年以上、10年未満	209	8.6	3.8	2.4	4.3	6.2	4.8	1.0	1.9	1.0	0.0	1.9	6.2	68.4	6.7
	10年以上	917	9.6	7.3	2.0	2.8	13.1	3.5	0.8	5.6	7.9	1.4	1.3	11.7	57.7	4.4
	わからない	56	7.1	3.6	5.4	5.4	10.7	5.4	0.0	1.8	5.4	3.6	1.8	5.4	44.6	16.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	21.7	9.1	3.7	2.7	11.2	2.9	1.6	7.2	7.5	1.3	3.5	11.2	42.0	8.3
	視覚障害がある	28	17.9	3.6	7.1	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	64.3	14.3
	聴覚障害がある	69	10.1	5.8	2.9	1.4	1.4	0.0	4.3	5.8	2.9	2.9	1.4	7.2	71.0	13.0

(%)

【福祉サービスの利用で「利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

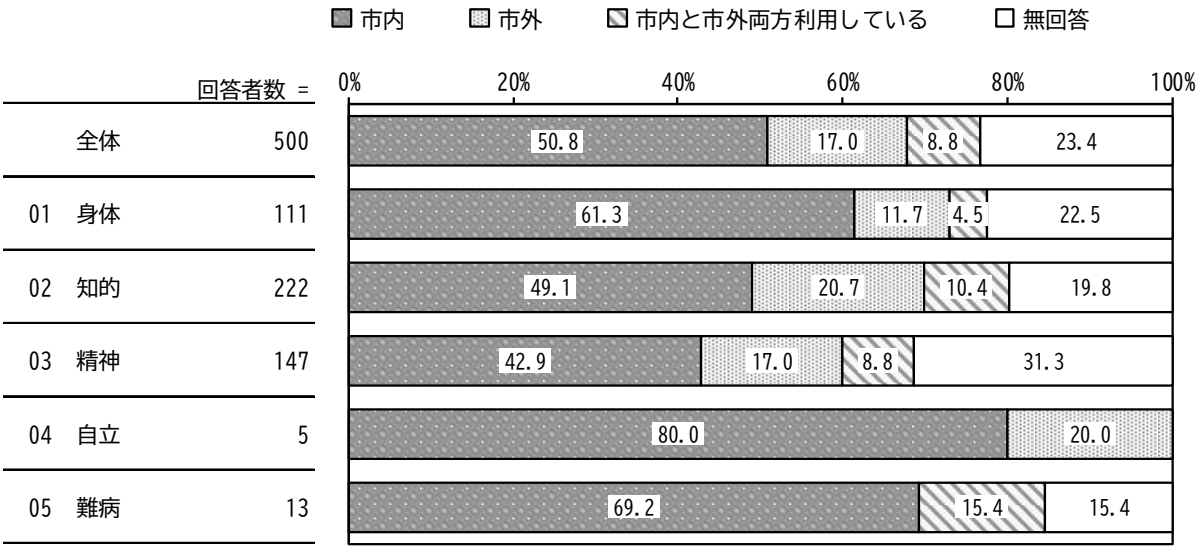
問　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	47	47	50	49	48	49

「市内」の割合が 50.8%、「市外」の割合が 17.0%、「市内と市外両方利用している」の割合が 8.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「市内」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で「市内」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「市内」の割合が低くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「市内」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『40～59 歳』から『80 歳以上』まで年齢が上がるほど「市内」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「市内」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』、『３年以上、５年未満』で「市内」、『１年未満』で「市外」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「市内と市外両方利用している」の割合が高く、『聴覚障害がある』で「市内」の割合が高くなっています。

		調査数	市内	市外	市内と市外両方利用している	無回答
全　体		500	50.8	17.0	8.8	23.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	14	50.0	7.1	7.1	35.7
	20～29歳	99	41.4	19.2	13.1	26.3
	30～39歳	92	44.6	19.6	13.0	22.8
	40～49歳	66	53.0	18.2	4.5	24.2
	50～59歳	67	44.8	22.4	10.4	22.4
	60～64歳	23	60.9	26.1	4.3	8.7
	65～69歳	16	68.8	12.5	12.5	6.3
	70歳以上	116	62.9	8.6	4.3	24.1
世帯構成	ひとり暮らし	88	55.7	10.2	5.7	28.4
	核家族世帯	252	47.2	17.5	11.1	24.2
	三世代世帯	11	27.3	9.1	9.1	54.5
	その他の世帯	141	56.7	20.6	7.1	15.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	155	55.5	14.8	9.0	20.6
	障害者手帳所持者がいる	106	50.0	21.7	6.6	21.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	27	48.1	14.8	7.4	29.6
	あてはまらない	109	44.0	21.1	9.2	25.7
介助者の年齢	17歳以下	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	20	50.0	30.0	5.0	15.0
	40～59歳	133	45.9	16.5	9.0	28.6
	60歳代	79	55.7	11.4	15.2	17.7
	70歳代	44	59.1	20.5	6.8	13.6
	80歳以上	40	70.0	10.0	2.5	17.5
	わからない	66	48.5	21.2	7.6	22.7
生活困窮	ゆとりがある	45	62.2	15.6	8.9	13.3
	まあまあゆとりがある	211	51.7	18.0	6.6	23.7
	やや苦しい	170	49.4	16.5	12.9	21.2
	不自由が多く、生活が苦しい	53	45.3	13.2	5.7	35.8
サービス	利用している	500	50.8	17.0	8.8	23.4
	利用していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	13	46.2	30.8	0.0	23.1
	１年以上、３年未満	19	63.2	15.8	10.5	10.5
	３年以上、５年未満	24	62.5	8.3	0.0	29.2
	５年以上、10年未満	52	48.1	17.3	7.7	26.9
	10年以上	348	50.3	18.1	9.5	22.1
	わからない	22	45.5	9.1	13.6	31.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	186	54.8	15.1	8.1	22.0
	視覚障害がある	6	33.3	33.3	0.0	33.3
	聴覚障害がある	11	63.6	18.2	0.0	18.2

【利用しているサービス事業所の場所で「市外」または「市内と市外両方利用している」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	48	48	51	50	49	50

自由意見	**132　件**
市内に適切な施設や空きがないため	47　件
支援機関・医療機関・知人等から紹介されたため	29　件
本人に合っている・雰囲気が良い・スタッフの対応が良い	17　件
以前から継続して利用している（引っ越し前、学校卒業時から等）	16　件
交通の便が良い・自宅から近い・送迎がある	14　件
その他	9　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【市内に適切な施設や空きがないため】

●空いている施設が市内になかった。

●視覚障害に該当する施設が市内にないから。

●リハビリが出来る所がない。

【支援機関・医療機関・知人等から紹介されたため】

●ケアマネの紹介。

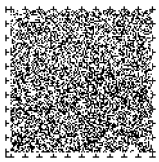
●相談支援事業所に紹介していただいた施設が隣の市だったから。

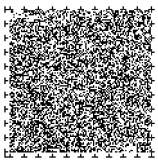
【本人に合っている・雰囲気が良い・スタッフの対応が良い】

●本人との相性が良い。

●スタッフの方々が親切だった。自宅から比較的近い。

●市外に自分に合う施設が有った為。





問　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	49	49	52	51	50	51

「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きが大変」の割合が 12.9%、「障害福祉サービス事業者が少ない」の割合が 10.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「障害福祉サービス事業者が少ない」の割合が高くなっています。

		調査数	サービス提供や内容に関する情報が少ない	障害福祉サービス事業者が少ない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日時が少ない	サービスの質について	他の利用者との関係について	利用者負担について	利用したいサービスが地域にない	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		1,461	21.9	10.5	12.9	5.0	5.5	4.7	3.7	5.9	5.5	5.7	42.4	16.0
障害種別	身体	511	15.9	3.1	6.5	1.6	2.3	2.2	0.8	5.3	1.6	4.3	49.7	21.9
	知的	358	24.3	26.0	19.3	10.3	10.1	7.0	6.4	5.9	9.8	6.1	31.6	15.1
	精神	421	29.9	9.0	18.1	6.2	7.1	7.4	6.4	8.3	7.4	8.3	35.9	9.7
	自立	47	19.1	2.1	4.3	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	6.4	2.1	57.4	12.8
	難病	121	13.2	3.3	6.6	0.8	1.7	0.8	0.0	1.7	1.7	3.3	61.2	17.4

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「障害福祉サービス事業者が少ない」、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「サービス利用の手続きが大変」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「障害福祉サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「サービスの質について」の割合が高い傾向にあり、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「障害福祉サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害福祉サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」「利用できる回数や日時が少ない」「サービスの質について」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「サービスの質について」の割合が高くなっています。

		調査数	サービス提供や内容に関する情報が少ない	障害福祉サービス事業者が少ない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日時が少ない	サービスの質について	他の利用者との関係について	利用者負担について	利用したいサービスが地域にない	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		1,461	21.9	10.5	12.9	5.0	5.5	4.7	3.7	5.9	5.5	5.7	42.4	16.0
本人の年齢	18～19歳	27	25.9	22.2	25.9	11.1	7.4	0.0	7.4	0.0	3.7	7.4	44.4	7.4
	20～29歳	164	28.7	28.7	24.4	11.6	11.6	7.9	4.3	4.9	11.0	3.7	36.6	7.9
	30～39歳	195	30.3	16.9	16.4	9.2	10.3	9.2	7.7	6.7	9.2	8.7	31.8	11.3
	40～49歳	185	23.8	9.2	19.5	8.1	5.9	5.9	4.9	7.6	6.5	8.1	37.8	14.1
	50～59歳	229	26.2	10.0	10.9	3.5	3.5	4.4	5.7	4.8	7.0	6.1	45.9	9.6
	60～64歳	109	23.9	8.3	15.6	4.6	6.4	4.6	1.8	6.4	4.6	6.4	45.0	7.3
	65～69歳	91	23.1	5.5	8.8	1.1	1.1	1.1	0.0	4.4	0.0	3.3	59.3	9.9
	70歳以上	444	11.7	2.7	4.7	0.9	2.9	2.3	1.1	6.1	2.3	4.5	45.7	28.6
世帯構成	ひとり暮らし	274	20.4	6.2	12.8	5.5	5.8	5.8	3.3	4.7	3.3	5.1	42.3	20.1
	核家族世帯	695	25.8	13.5	14.7	5.6	6.3	5.5	4.9	5.9	6.9	5.6	41.4	13.2
	三世代世帯	32	18.8	15.6	21.9	9.4	9.4	0.0	0.0	9.4	6.3	0.0	53.1	3.1
	その他の世帯	436	17.0	8.3	9.6	3.7	3.9	3.2	2.3	5.5	4.8	6.9	44.0	18.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	19.9	8.0	11.8	3.4	5.0	3.0	2.8	6.4	3.8	5.0	45.8	17.7
	障害者手帳所持者がいる	227	25.1	18.9	15.9	7.0	7.5	7.0	4.8	9.3	11.5	7.0	37.0	11.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	35.3	5.9	14.7	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9	8.8	5.9	52.9	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	33.3	14.7	16.0	9.3	8.0	8.0	5.3	10.7	10.7	13.3	24.0	18.7
	あてはまらない	320	23.8	12.8	14.1	5.9	5.6	5.3	3.8	3.8	6.3	5.6	46.3	10.0
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	58	25.9	1.7	13.8	5.2	3.4	10.3	6.9	8.6	5.2	6.9	36.2	12.1
	40～59歳	309	24.3	18.4	16.2	7.8	7.8	5.8	3.9	6.1	8.1	4.9	39.8	13.3
	60歳代	213	26.8	16.9	14.1	6.1	7.5	7.0	5.6	5.2	4.7	8.5	39.9	12.2
	70歳代	146	20.5	7.5	9.6	2.7	4.8	5.5	3.4	8.2	4.8	4.8	47.3	14.4
	80歳以上	120	20.0	4.2	9.2	0.8	5.8	1.7	2.5	10.0	1.7	2.5	39.2	25.8
	わからない	105	15.2	18.1	17.1	8.6	9.5	4.8	4.8	6.7	6.7	8.6	32.4	16.2
生活困窮	ゆとりがある	113	15.0	8.8	9.7	1.8	1.8	4.4	4.4	4.4	2.7	6.2	50.4	15.0
	まあまあゆとりがある	610	17.9	10.3	10.8	5.2	5.9	3.0	2.6	3.1	4.1	4.9	50.8	13.0
	やや苦しい	538	24.9	10.0	14.9	5.2	5.2	5.2	4.1	7.1	5.9	6.3	37.0	17.3
	不自由が多く、生活が苦しい	135	37.0	15.6	17.8	5.9	8.1	10.4	7.4	14.8	11.9	8.9	25.2	14.8
サービス	利用している	500	23.4	21.0	22.0	10.6	11.6	8.4	5.8	7.2	7.6	6.2	31.2	12.0
	利用していない	863	22.5	5.3	8.5	2.1	2.1	2.8	2.8	5.2	4.6	5.8	51.4	13.0
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	10.3	17.9	2.6	5.1	10.3	2.6	10.3	5.1	5.1	46.2	15.4
	１年以上、３年未満	74	21.6	4.1	8.1	5.4	4.1	1.4	2.7	8.1	5.4	2.7	44.6	17.6
	３年以上、５年未満	89	15.7	4.5	13.5	0.0	3.4	3.4	1.1	2.2	1.1	1.1	49.4	21.3
	５年以上、10年未満	209	23.9	7.2	14.4	4.8	4.8	2.9	1.9	5.7	4.3	3.8	46.4	12.4
	10年以上	917	24.1	13.2	14.0	5.8	6.1	5.9	4.0	6.1	6.8	6.8	41.5	13.4
	わからない	56	8.9	8.9	5.4	3.6	5.4	0.0	10.7	7.1	3.6	5.4	39.3	32.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	19.3	11.5	14.4	4.5	6.4	4.5	4.0	6.4	7.5	5.3	36.6	18.7
	視覚障害がある	28	21.4	7.1	3.6	0.0	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	21.4
	聴覚障害がある	69	15.9	2.9	7.2	1.4	4.3	4.3	1.4	7.2	2.9	4.3	43.5	23.2

(%)

【福祉サービスで困っていることで「利用したいサービスが地域にない」と回答された方にお聞きします。】

問　利用したいサービスを教えてください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	50	50	53	52	51	52

自由意見	100　件
就労支援・作業所	16　件
入所施設・グループホーム	12　件
相談体制・窓口の充実	12　件
居場所・余暇活動・交流	10　件
外出支援・移動支援	10　件
家事支援・ヘルパー	8　件
短期入所・一時預かり	8　件
医療・リハビリ・健康	5　件
スポーツ・娯楽施設	5　件
情報提供・周知	3　件
経済的支援	3　件
食事支援	2　件
その他	6　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【就労支援・作業所】

●就労継続支援Ａ型事業所。

●不安症があり、毎日長い時間働けない。（働く事は、マイペースだが好き。）

●就労移行を複数回利用できる保証と、就労支援デイケアのある病院を市内に作ってほしい。地域活動支援センターを北部にも作ってほしい。

【入所施設・グループホーム】

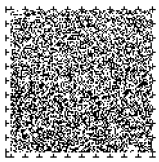
●自分の障害の内容（重度の行動障害）に合ったグループホームまたは入所施設、あるいは作業所。

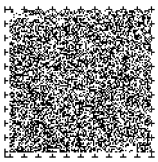
●グループホーム。入所施設。通所施設。

【相談体制・窓口の充実】

●将来について相談したい。

●被虐待者、複雑性ＰＴＳＤグループカウンセリング、個人カウンセリング。





【福祉サービスの利用で「利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

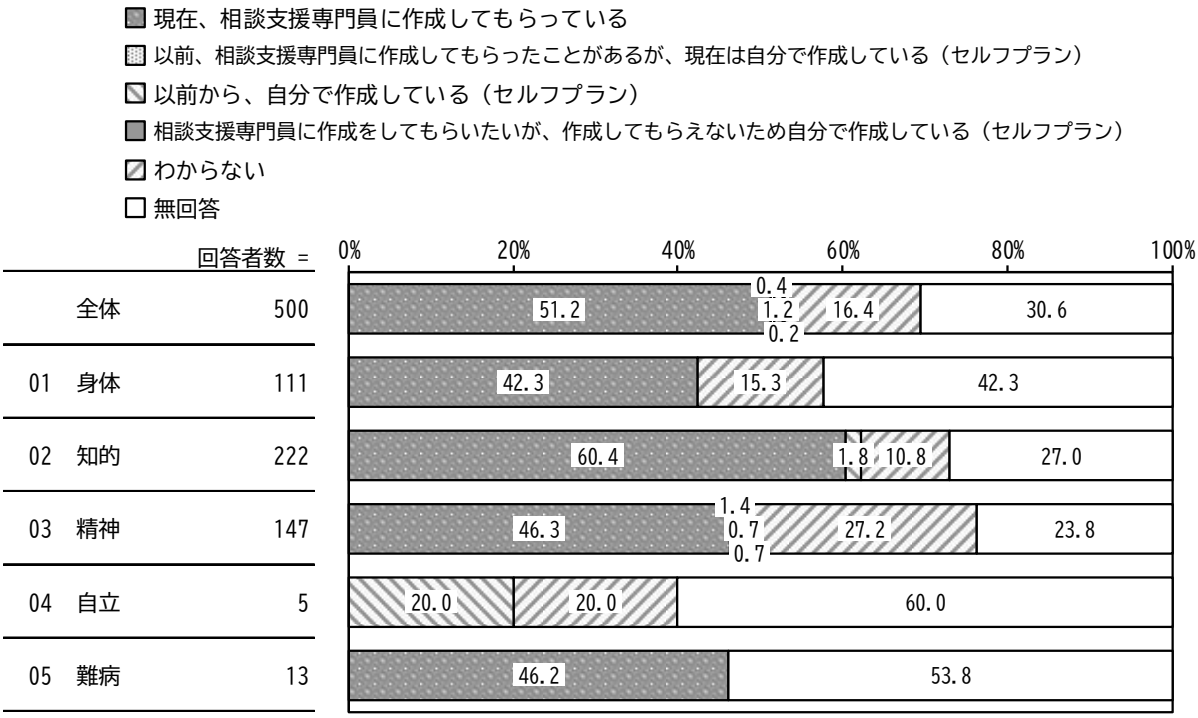
問　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	51	51	54	53	52	53

「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」の割合が 16.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』、『70 歳以上』で「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が低くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が低くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が上がるほど「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が高くなっています。

		調査数	現在、相談支援専門員に作成してもらっている	以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）	以前から、自分で作成している（セルフプラン）	相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）	わからない	無回答
全　体		500	51.2	0.4	1.2	0.2	16.4	30.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	14	50.0	0.0	0.0	0.0	28.6	21.4
	20～29歳	99	57.6	1.0	1.0	0.0	13.1	27.3
	30～39歳	92	58.7	0.0	2.2	0.0	15.2	23.9
	40～49歳	66	59.1	0.0	0.0	0.0	16.7	24.2
	50～59歳	67	46.3	0.0	1.5	0.0	23.9	28.4
	60～64歳	23	52.2	0.0	4.3	0.0	17.4	26.1
	65～69歳	16	37.5	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5
	70歳以上	116	40.5	0.9	0.0	0.0	13.8	44.8
世帯構成	ひとり暮らし	88	37.5	1.1	1.1	0.0	18.2	42.0
	核家族世帯	252	57.5	0.4	1.2	0.0	16.7	24.2
	三世代世帯	11	18.2	0.0	9.1	0.0	27.3	45.5
	その他の世帯	141	51.8	0.0	0.0	0.0	14.9	33.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	155	56.8	0.0	1.3	0.0	16.1	25.8
	障害者手帳所持者がいる	106	49.1	0.9	1.9	0.0	16.0	32.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	27	63.0	0.0	0.0	0.0	14.8	22.2
	あてはまらない	109	58.7	0.0	1.8	0.0	19.3	20.2
介助者の年齢	17歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	20	20.0	0.0	0.0	0.0	55.0	25.0
	40～59歳	133	52.6	0.0	1.5	0.0	17.3	28.6
	60歳代	79	57.0	0.0	1.3	0.0	13.9	27.8
	70歳代	44	56.8	0.0	0.0	0.0	13.6	29.5
	80歳以上	40	62.5	0.0	0.0	0.0	17.5	20.0
	わからない	66	53.0	0.0	0.0	0.0	9.1	37.9
生活困窮	ゆとりがある	45	57.8	0.0	0.0	0.0	20.0	22.2
	まあまあゆとりがある	211	53.1	0.5	1.9	0.0	10.4	34.1
	やや苦しい	170	52.4	0.0	0.6	0.0	20.6	26.5
	不自由が多く、生活が苦しい	53	43.4	0.0	0.0	0.0	24.5	32.1
サービス	利用している	500	51.2	0.4	1.2	0.2	16.4	30.6
	利用していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	13	53.8	0.0	0.0	0.0	15.4	30.8
	１年以上、３年未満	19	42.1	0.0	0.0	0.0	15.8	42.1
	３年以上、５年未満	24	50.0	4.2	0.0	0.0	12.5	33.3
	５年以上、10年未満	52	38.5	0.0	0.0	0.0	21.2	40.4
	10年以上	348	54.6	0.3	1.4	0.0	14.7	29.0
	わからない	22	50.0	0.0	4.5	0.0	27.3	18.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	186	48.9	0.5	1.1	0.5	16.1	32.8
	視覚障害がある	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	聴覚障害がある	11	36.4	0.0	0.0	0.0	18.2	45.5

【サービス等利用計画の作成方法で「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）・以前から、自分で作成している（セルフプラン）・相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問　「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）」または「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。「相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）」を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	52	52	55	54	53	54

自由意見

●それ程複雑な書類が必要になったことが無い。

●作業所に通った際に作成していた。

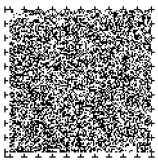
●相談出来る支援専門員がいない。

●特に支援を必要としないため。

●事業所の人に相談しつつ、セルフプランで作成している。はじめがそうだったので、そのまま。

●特にほかの人に作成してもらう必要がないから。

●相談支援専門員を探すのが面倒。仕事をしている為、面談する為に休暇をとらなくてはならない。



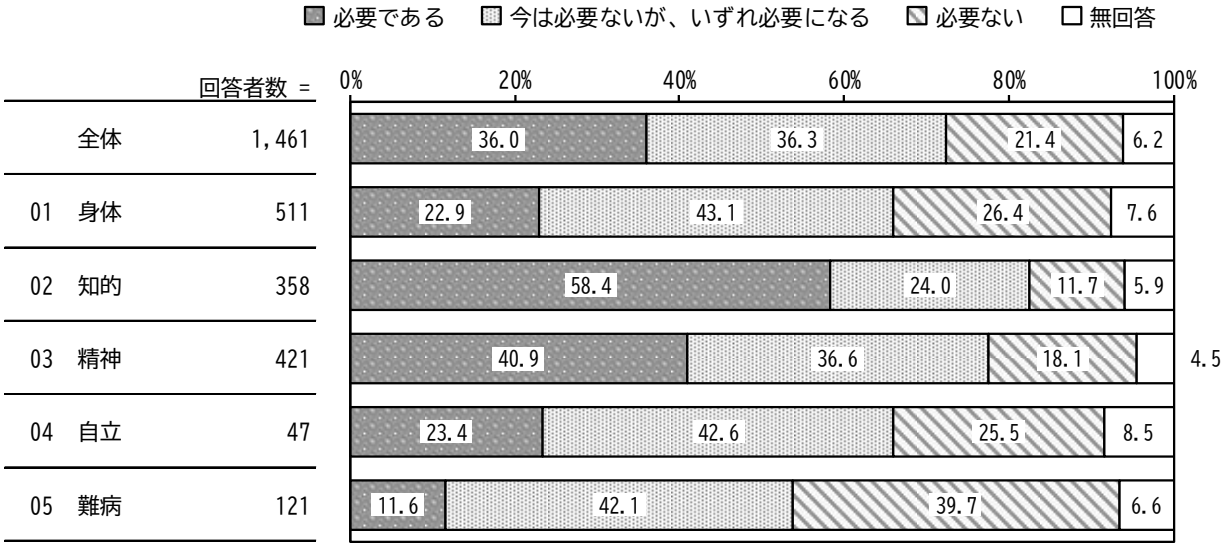
問　あなたの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	53	53	56	55	54	55

「必要である」の割合が 36.0%、「今は必要ないが、いずれ必要になる」の割合が 36.3%、「必要ない」の割合が 21.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「必要である」、難病で「必要ない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「必要である」、『18～19 歳』、『60～64 歳』、『65～69 歳』で「今は必要ないが、いずれ必要になる」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「今は必要ないが、いずれ必要になる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「必要である」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「必要ない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『80 歳以上』で「今は必要ないが、いずれ必要になる」、『18～39 歳』で「必要ない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「必要である」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「必要である」の割合が高く、『利用していない』で「今は必要ないが、いずれ必要になる」「必要ない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「今は必要ないが、いずれ必要になる」、『１年未満』で「必要ない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「必要である」の割合が高くなっています。

		調査数	必要である	今は必要ないが、いずれ必要になる	必要ない	無回答
全　体		1,461	36.0	36.3	21.4	6.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	33.3	51.9	14.8	0.0
	20～29歳	164	60.4	25.0	11.0	3.7
	30～39歳	195	50.8	28.7	15.9	4.6
	40～49歳	185	40.0	34.6	20.0	5.4
	50～59歳	229	32.3	39.7	22.7	5.2
	60～64歳	109	28.4	49.5	21.1	0.9
	65～69歳	91	23.1	50.5	24.2	2.2
	70歳以上	444	26.1	35.8	27.5	10.6
世帯構成	ひとり暮らし	274	31.8	39.8	22.3	6.2
	核家族世帯	695	40.1	34.4	20.6	4.9
	三世代世帯	32	28.1	46.9	25.0	0.0
	その他の世帯	436	33.7	36.7	21.6	8.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	34.5	39.6	19.9	6.0
	障害者手帳所持者がいる	227	48.9	31.3	14.1	5.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	20.6	41.2	38.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	52.0	26.7	14.7	6.7
	あてはまらない	320	34.4	35.6	25.6	4.4
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	66.7	33.3	0.0
	18～39歳	58	41.4	32.8	24.1	1.7
	40～59歳	309	41.1	37.9	14.9	6.1
	60歳代	213	44.6	33.8	18.3	3.3
	70歳代	146	35.6	39.7	21.2	3.4
	80歳以上	120	35.0	41.7	14.2	9.2
	わからない	105	59.0	17.1	11.4	12.4
生活困窮	ゆとりがある	113	35.4	38.1	21.2	5.3
	まあまあゆとりがある	610	35.4	33.8	25.7	5.1
	やや苦しい	538	34.8	41.4	17.7	6.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	47.4	31.9	14.1	6.7
サービス	利用している	500	74.6	16.4	6.0	3.0
	利用していない	863	15.5	48.4	31.3	4.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	33.3	23.1	38.5	5.1
	１年以上、３年未満	74	27.0	39.2	23.0	10.8
	３年以上、５年未満	89	29.2	34.8	29.2	6.7
	５年以上、10年未満	209	22.5	49.3	23.4	4.8
	10年以上	917	41.7	35.4	18.2	4.7
	わからない	56	37.5	25.0	23.2	14.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	47.6	30.7	15.5	6.1
	視覚障害がある	28	35.7	35.7	14.3	14.3
	聴覚障害がある	69	23.2	42.0	23.2	11.6

【福祉サービスの必要性で「必要である」と回答された方にお聞きします。】

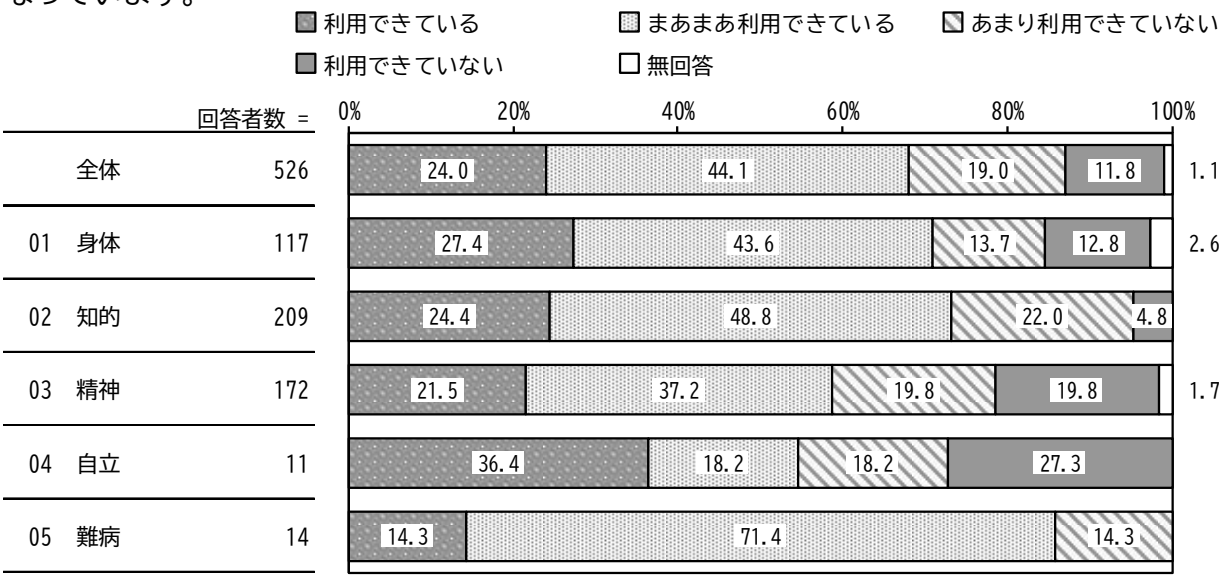
問　あなたは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	54	54	57	56	55	56

「利用できている」「まあまあ利用できている」を合わせた“利用できている”の割合が 68.1%、「あまり利用できていない」「利用できていない」を合わせた“利用できていない”の割合が 30.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“利用できている”、自立で“利用できていない”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『65～69 歳』で“利用できていない”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『その他の世帯』で“利用できている”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で“利用できている”、『病気などの理由で不自由な方がいる』で“利用できていない”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『18～39 歳』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど「まあまあ利用できている」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で“利用できている”、『不自由が多く、生活が苦しい』で“利用できていない”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で“利用できていない”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“利用できていない”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で“利用できている”、『聴覚障害がある』で“利用できていない”の割合が高くなっています。

		調査数	利用できている	まあまあ利用できている	あまり利用できていない	利用できていない	無回答
全　体		526	24.0	44.1	19.0	11.8	1.1 (%)
本人の年齢	18～19歳	9	11.1	55.6	33.3	0.0	0.0
	20～29歳	99	24.2	41.4	27.3	6.1	1.0
	30～39歳	99	24.2	43.4	21.2	11.1	0.0
	40～49歳	74	18.9	47.3	14.9	17.6	1.4
	50～59歳	74	24.3	41.9	20.3	13.5	0.0
	60～64歳	31	9.7	48.4	19.4	19.4	3.2
	65～69歳	21	23.8	33.3	28.6	14.3	0.0
	70歳以上	116	30.2	46.6	9.5	11.2	2.6
世帯構成	ひとり暮らし	87	23.0	49.4	10.3	14.9	2.3
	核家族世帯	279	20.1	41.2	25.4	12.5	0.7
	三世代世帯	9	22.2	44.4	33.3	0.0	0.0
	その他の世帯	147	31.3	46.9	10.9	9.5	1.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	173	20.2	46.2	20.8	11.6	1.2
	障害者手帳所持者がいる	111	28.8	45.0	12.6	12.6	0.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	7	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	39	20.5	38.5	15.4	23.1	2.6
	あてはまらない	110	18.2	44.5	26.4	10.0	0.9
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	24	25.0	29.2	20.8	25.0	0.0
	40～59歳	127	26.8	43.3	20.5	8.7	0.8
	60歳代	95	17.9	48.4	22.1	10.5	1.1
	70歳代	52	15.4	44.2	23.1	17.3	0.0
	80歳以上	42	21.4	45.2	19.0	9.5	4.8
	わからない	62	25.8	58.1	8.1	4.8	3.2
生活困窮	ゆとりがある	40	42.5	40.0	12.5	2.5	2.5
	まあまあゆとりがある	216	24.5	48.1	19.4	7.9	0.0
	やや苦しい	187	20.9	44.4	20.3	12.8	1.6
	不自由が多く、生活が苦しい	64	14.1	37.5	18.8	28.1	1.6
サービス	利用している	373	27.3	51.5	16.1	4.0	1.1
	利用していない	134	12.7	26.1	27.6	32.8	0.7
障害に気づいた時期	１年未満	13	7.7	46.2	30.8	15.4	0.0
	１年以上、３年未満	20	30.0	40.0	20.0	10.0	0.0
	３年以上、５年未満	26	34.6	34.6	15.4	15.4	0.0
	５年以上、10年未満	47	23.4	42.6	19.1	12.8	2.1
	10年以上	382	22.3	45.8	19.1	12.0	0.8
	わからない	21	38.1	38.1	14.3	4.8	4.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	178	26.4	46.6	17.4	8.4	1.1
	視覚障害がある	10	30.0	50.0	0.0	20.0	0.0
	聴覚障害がある	16	12.5	25.0	25.0	31.3	6.3

【福祉サービスを十分利用できているかで「あまり利用できていない」「利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	55	55	58	57	56	57

「自分に適したサービスがわからない」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「サービスの利用方法がわからない」の割合が 37.0%、「市内に利用したい事業所がない」の割合が 17.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「定員がいっぱいで利用できない」、精神で「自分に適したサービスがわからない」の割合が高くなっています。

		調査数	自己負担が大きい	定員がいっぱいで利用できない	通うのが大変	利用したい時間や時期と合わない	市内に利用したい事業所がない	自分に適したサービスがわからない	サービスの利用方法がわからない	その他	無回答
全　体		162	11.7	12.3	16.7	16.0	17.3	48.8	37.0	16.0	3.7
障害種別	身体	31	19.4	6.5	19.4	12.9	6.5	45.2	45.2	9.7	6.5
	知的	56	7.1	26.8	7.1	16.1	26.8	33.9	25.0	23.2	5.4
	精神	68	13.2	4.4	23.5	17.6	16.2	60.3	44.1	11.8	0.0
	自立	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	40.0	20.0	20.0
	難病	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『50～59 歳』で「自己負担が大きい」「通うのが大変」、『20～29 歳』で「定員がいっぱいで利用できない」、『20～29 歳』、『50～59 歳』で「市内に利用したい事業所がない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『その他の世帯』で「自己負担が大きい」、『ひとり暮らし』、『その他の世帯』で「通うのが大変」、『ひとり暮らし』で「自分に適したサービスがわからない」「サービスの利用方法がわからない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で「市内に利用したい事業所がない」「自分に適したサービスがわからない」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「サービスの利用方法がわからない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「自己負担が大きい」「自分に適したサービスがわからない」「サービスの利用方法がわからない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「定員がいっぱいで利用できない」「利用したい時間や時期と合わない」「市内に利用したい事業所がない」の割合が高く、『利用していない』で「サービスの利用方法がわからない」の割合が高くなっています。

		調査数	自己負担が大きい	定員がいっぱいで利用できない	通うのが大変	利用したい時間や時期と合わない	市内に利用したい事業所がない	自分に適したサービスがわからない	サービスの利用方法がわからない	その他	無回答	
全　体		162	11.7	12.3	16.7	16.0	17.3	48.8	37.0	16.0	3.7	(%)
本人の年齢	18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	33	3.0	27.3	15.2	21.2	30.3	54.5	30.3	9.1	0.0	
	30～39歳	32	12.5	9.4	18.8	25.0	21.9	50.0	37.5	21.9	0.0	
	40～49歳	24	12.5	8.3	8.3	16.7	4.2	58.3	33.3	33.3	4.2	
	50～59歳	25	24.0	12.0	28.0	12.0	28.0	52.0	44.0	8.0	0.0	
	60～64歳	12	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	25.0	41.7	25.0	8.3	
	65～69歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	33.3	11.1	22.2	
	70歳以上	24	20.8	8.3	25.0	12.5	4.2	45.8	45.8	8.3	8.3	
世帯構成	ひとり暮らし	22	18.2	4.5	27.3	13.6	18.2	59.1	54.5	13.6	0.0	
	核家族世帯	106	5.7	14.2	11.3	14.2	17.9	47.2	34.9	18.9	1.9	
	三世代世帯	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	33.3	
	その他の世帯	30	26.7	13.3	30.0	23.3	16.7	46.7	30.0	10.0	10.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	56	12.5	10.7	14.3	12.5	8.9	46.4	44.6	17.9	7.1	
	障害者手帳所持者がいる	28	17.9	17.9	17.9	25.0	17.9	42.9	39.3	25.0	7.1	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	6	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	50.0	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	15	6.7	6.7	13.3	6.7	0.0	53.3	66.7	26.7	0.0	
	あてはまらない	40	12.5	20.0	17.5	25.0	27.5	57.5	25.0	5.0	2.5	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	11	27.3	0.0	18.2	9.1	9.1	90.9	63.6	0.0	0.0	
	40～59歳	37	5.4	24.3	13.5	18.9	27.0	45.9	32.4	13.5	0.0	
	60歳代	31	12.9	9.7	12.9	9.7	12.9	41.9	32.3	32.3	3.2	
	70歳代	21	19.0	14.3	14.3	23.8	9.5	52.4	33.3	9.5	9.5	
	80歳以上	12	16.7	8.3	16.7	0.0	8.3	41.7	25.0	8.3	8.3	
	わからない	8	25.0	12.5	37.5	12.5	37.5	75.0	37.5	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	
	まあまあゆとりがある	59	5.1	15.3	3.4	18.6	15.3	54.2	33.9	15.3	5.1	
	やや苦しい	62	12.9	11.3	25.8	16.1	16.1	43.5	35.5	11.3	4.8	
	不自由が多く、生活が苦しい	30	26.7	10.0	23.3	10.0	23.3	60.0	50.0	20.0	0.0	
サービス	利用している	75	13.3	21.3	16.0	20.0	21.3	48.0	26.7	16.0	4.0	
	利用していない	81	9.9	3.7	17.3	11.1	13.6	49.4	46.9	16.0	2.5	
障害に気づいた時期	１年未満	6	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	
	１年以上、３年未満	6	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0	
	３年以上、５年未満	8	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	87.5	62.5	0.0	0.0	
	５年以上、10年未満	15	20.0	0.0	33.3	0.0	6.7	53.3	33.3	6.7	0.0	
	10年以上	119	10.1	15.1	14.3	16.0	20.2	46.2	38.7	19.3	3.4	
	わからない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	46	15.2	10.9	19.6	8.7	13.0	41.3	26.1	19.6	8.7	
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	9	11.1	0.0	11.1	33.3	0.0	55.6	66.7	22.2	0.0	

問　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	56	56	59	58	57	58

「施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス」の割合が 14.3%と最も高く、次いで「働くために必要な技術を身につけるサービス」の割合が 13.3%、「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」の割合が 12.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「働くために必要な技術を身につけるサービス」、知的で「施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス」の割合が高くなっています。

		調査数	ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス	自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス	働くために必要な技術を身につけるサービス	通所先に通って日中を過ごすサービス	通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス	短期間を施設で過ごすサービス	施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス	その他	わからない	無回答
全　体		1,461	12.5	9.5	13.3	8.6	4.9	10.8	14.3	4.5	45.8	9.7 (%)
障害種別	身体	511	21.5	10.0	1.6	8.0	1.2	10.2	7.0	4.1	49.9	12.9
	知的	358	5.3	9.5	18.2	15.4	12.8	20.4	39.4	5.3	28.2	8.9
	精神	421	9.5	11.9	25.4	6.4	4.0	6.4	6.4	4.5	48.2	5.2
	自立	47	2.1	2.1	17.0	0.0	0.0	0.0	6.4	6.4	59.6	10.6
	難病	121	10.7	1.7	4.1	2.5	0.8	5.0	1.7	2.5	67.8	13.2

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳以上』で「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」、『18～19 歳』で「働くために必要な技術を身につけるサービス」、『20～29 歳』で「通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス」「短期間を施設で過ごすサービス」「施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「働くために必要な技術を身につけるサービス」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「働くために必要な技術を身につけるサービス」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」「自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス」「働くために必要な技術を身につけるサービス」「通所先に通って日中を過ごすサービス」「通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス」「短期間を施設で過ごすサービス」「施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』、『視覚障害がある』、『聴覚障害がある』で「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」の割合が高くなっています。

		調査数	ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス	自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス	働くために必要な技術を身につけるサービス	通所先に通って日中を過ごすサービス	通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス	短期間を施設で過ごすサービス	施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス	その他	わからない	無回答
全　体		1,461	12.5	9.5	13.3	8.6	4.9	10.8	14.3	4.5	45.8	9.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	3.7	11.1	37.0	0.0	11.1	7.4	11.1	3.7	48.1	0.0
	20～29歳	164	4.3	11.0	25.0	12.8	17.1	24.4	31.1	4.9	34.1	6.1
	30～39歳	195	2.1	9.2	24.1	10.8	5.1	12.8	24.6	5.6	39.5	6.7
	40～49歳	185	7.6	8.6	22.7	7.6	5.9	7.0	17.3	6.5	45.4	5.9
	50～59歳	229	6.6	7.0	15.3	5.2	3.1	4.4	9.2	5.2	55.5	7.0
	60～64歳	109	9.2	4.6	11.0	7.3	3.7	10.1	6.4	1.8	57.8	9.2
	65～69歳	91	12.1	11.0	1.1	6.6	2.2	6.6	4.4	2.2	65.9	5.5
	70歳以上	444	27.3	11.7	1.1	9.9	1.4	11.3	9.2	4.1	41.4	15.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	21.2	10.9	12.0	9.1	2.6	8.8	6.9	4.4	43.4	10.9
	核家族世帯	695	8.9	10.2	17.7	8.8	6.9	15.1	18.0	5.2	45.6	6.2
	三世代世帯	32	6.3	3.1	28.1	6.3	6.3	12.5	9.4	3.1	50.0	9.4
	その他の世帯	436	13.3	8.3	6.4	8.5	3.2	5.3	13.5	3.9	47.7	13.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	14.1	10.8	12.2	9.8	4.8	11.8	14.3	3.6	46.4	9.8
	障害者手帳所持者がいる	227	11.9	7.9	15.4	12.3	7.9	12.3	24.2	7.0	33.9	10.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	0.0	23.5	0.0	0.0	2.9	0.0	8.8	61.8	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	20.0	8.0	16.0	13.3	6.7	10.7	20.0	9.3	34.7	10.7
	あてはまらない	320	6.3	9.1	15.3	7.8	6.3	10.9	13.4	3.1	54.1	6.6
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	18～39歳	58	10.3	10.3	12.1	6.9	1.7	8.6	5.2	3.4	58.6	8.6
	40～59歳	309	11.7	10.0	16.8	10.4	9.1	13.3	21.4	4.5	41.1	6.5
	60歳代	213	9.4	8.0	11.3	11.3	5.2	16.4	16.4	5.6	46.0	8.9
	70歳代	146	17.1	10.3	9.6	6.2	3.4	14.4	13.0	8.9	47.9	7.5
	80歳以上	120	25.0	15.0	10.8	10.0	2.5	8.3	11.7	3.3	35.0	14.2
	わからない	105	15.2	7.6	10.5	15.2	6.7	5.7	29.5	7.6	31.4	10.5
生活困窮	ゆとりがある	113	8.8	8.8	10.6	3.5	1.8	11.5	15.0	2.7	54.9	7.1
	まあまあゆとりがある	610	11.3	8.0	10.7	7.4	5.1	10.5	15.6	4.6	47.0	9.8
	やや苦しい	538	13.8	9.7	15.8	10.2	5.6	10.2	13.2	4.8	44.6	8.9
	不自由が多く、生活が苦しい	135	14.8	12.6	20.7	11.9	4.4	12.6	11.9	5.9	45.2	5.9
サービス	利用している	500	17.0	15.0	20.2	16.4	11.2	19.6	31.2	6.2	21.0	6.8
	利用していない	863	9.3	6.6	10.1	4.2	1.6	5.8	5.1	3.7	62.3	7.9
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	0.0	5.1	10.3	2.6	10.3	12.8	5.1	51.3	12.8
	１年以上、３年未満	74	16.2	12.2	10.8	9.5	2.7	10.8	12.2	6.8	43.2	12.2
	３年以上、５年未満	89	9.0	7.9	13.5	5.6	5.6	9.0	4.5	5.6	51.7	11.2
	５年以上、10年未満	209	11.5	6.2	14.4	7.2	1.4	8.1	3.8	4.8	55.5	7.2
	10年以上	917	12.8	10.1	14.3	9.6	6.1	12.2	18.5	4.4	42.9	8.5
	わからない	56	7.1	8.9	7.1	5.4	5.4	10.7	12.5	3.6	57.1	8.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	20.1	12.6	12.0	10.2	4.3	13.6	13.6	5.9	38.0	11.2
	視覚障害がある	28	21.4	3.6	0.0	10.7	3.6	7.1	7.1	3.6	50.0	17.9
	聴覚障害がある	69	21.7	11.6	1.4	2.9	1.4	11.6	11.6	4.3	49.3	11.6

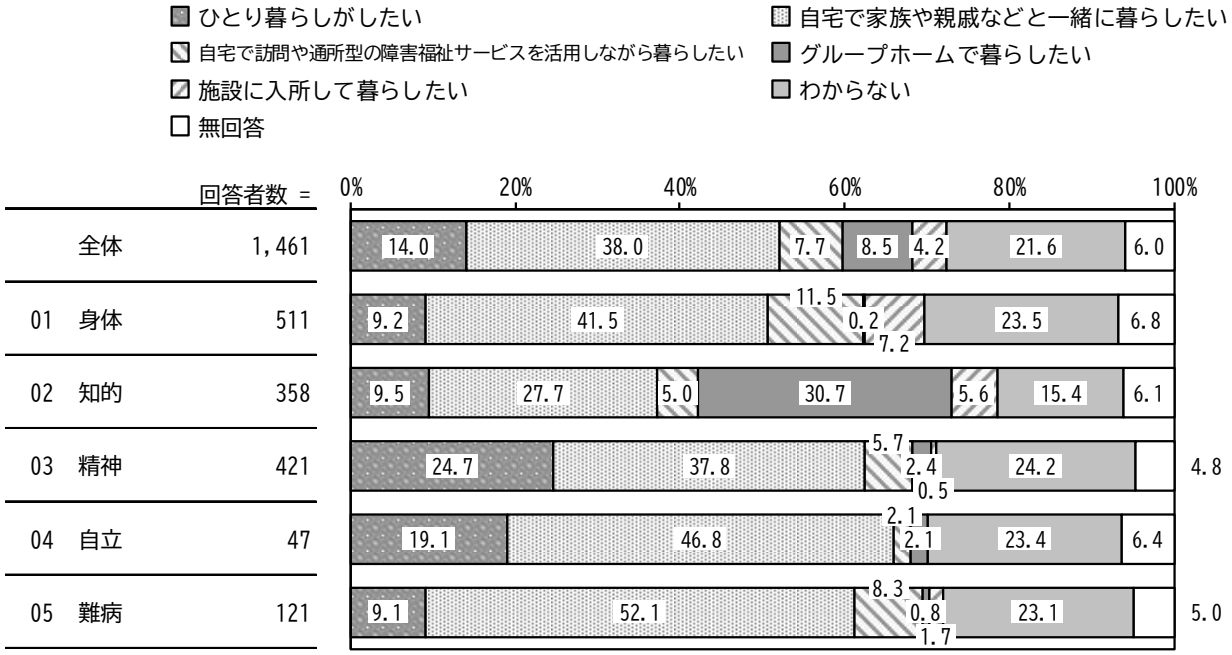
問　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	57	57	60	59	58	59

「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「ひとり暮らしがしたい」の割合が 14.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとり暮らしがしたい」、難病で「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」、知的で「グループホームで暮らしたい」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「ひとり暮らしがしたい」、『60～64 歳』、『65～69 歳』で「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」、『20～29 歳』で「グループホームで暮らしたい」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「ひとり暮らしがしたい」、『三世代世帯』で「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ひとり暮らしがしたい」、『ゆとりがある』で「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい」「グループホームで暮らしたい」の割合が高く、『利用していない』で「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「施設に入所して暮らしたい」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとり暮らしがしたい	自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい	自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい	グループホームで暮らしたい	施設に入所して暮らしたい	わからない	無回答
全　体		1,461	14.0	38.0	7.7	8.5	4.2	21.6	6.0 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	29.6	33.3	3.7	7.4	3.7	18.5	3.7
	20～29歳	164	21.3	31.1	2.4	22.6	2.4	17.7	2.4
	30～39歳	195	18.5	33.8	5.1	17.9	2.1	17.9	4.6
	40～49歳	185	14.6	43.2	3.8	15.1	1.1	16.2	5.9
	50～59歳	229	14.8	41.0	7.0	4.8	2.6	26.6	3.1
	60～64歳	109	17.4	52.3	5.5	2.8	0.9	19.3	1.8
	65～69歳	91	8.8	51.6	3.3	1.1	2.2	27.5	5.5
	70歳以上	444	8.6	32.2	14.4	1.4	9.2	24.1	10.1
世帯構成	ひとり暮らし	274	35.4	7.7	11.3	1.8	5.5	32.1	6.2
	核家族世帯	695	11.8	47.6	6.8	10.5	2.3	16.7	4.3
	三世代世帯	32	12.5	56.3	6.3	3.1	0.0	18.8	3.1
	その他の世帯	436	5.0	40.4	6.9	10.1	6.7	22.9	8.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	9.4	44.8	9.6	6.2	3.8	20.3	6.0
	障害者手帳所持者がいる	227	7.0	30.0	7.5	20.7	7.5	22.0	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	82.4	2.9	0.0	0.0	5.9	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	9.3	36.0	13.3	9.3	5.3	18.7	8.0
	あてはまらない	320	10.6	50.9	5.0	8.4	3.1	19.1	2.8
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	6.9	37.9	8.6	8.6	1.7	31.0	5.2
	40～59歳	309	12.6	43.4	5.8	11.7	4.2	17.2	5.2
	60歳代	213	9.4	45.1	7.0	9.4	3.8	22.1	3.3
	70歳代	146	10.3	45.2	11.0	8.2	2.7	18.5	4.1
	80歳以上	120	8.3	35.8	11.7	5.0	5.8	22.5	10.8
	わからない	105	13.3	10.5	9.5	21.0	11.4	24.8	9.5
生活困窮	ゆとりがある	113	13.3	45.1	4.4	11.5	2.7	17.7	5.3
	まあまあゆとりがある	610	11.8	38.5	7.5	11.8	3.9	21.1	5.2
	やや苦しい	538	14.5	39.0	9.3	5.8	3.7	21.7	5.9
	不自由が多く、生活が苦しい	135	22.2	29.6	3.7	5.2	6.7	27.4	5.2
サービス	利用している	500	16.0	21.0	13.2	22.6	5.6	16.8	4.8
	利用していない	863	14.0	49.5	4.9	0.8	3.0	24.4	3.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	10.3	43.6	7.7	10.3	2.6	17.9	7.7
	１年以上、３年未満	74	14.9	40.5	5.4	5.4	4.1	18.9	10.8
	３年以上、５年未満	89	14.6	44.9	10.1	1.1	9.0	16.9	3.4
	５年以上、10年未満	209	15.3	40.2	11.5	1.4	2.4	24.9	4.3
	10年以上	917	14.0	37.7	6.8	11.8	4.1	20.7	4.9
	わからない	56	8.9	25.0	8.9	5.4	1.8	37.5	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	13.1	31.3	11.8	7.8	5.6	22.5	8.0
	視覚障害がある	28	10.7	32.1	7.1	0.0	17.9	25.0	7.1
	聴覚障害がある	69	10.1	31.9	11.6	0.0	5.8	29.0	11.6

問　前設問で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	58	58	61	60	59	60

「同居している家族や親戚」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「別居している家族や親戚」の割合が 19.5%、「障害福祉サービス事業所・施設の職員」の割合が 18.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「友人や知人」「いない」、知的で「障害福祉サービス事業所・施設の職員」の割合が高くなっています。

		調査数	同居している家族や親戚	別居している家族や親戚	友人や知人	弁護士や後見人	障害福祉サービス事業所・施設の職員	介護保険サービス事業所・施設の職員	その他	いない	無回答
全　体		1,058	62.8	19.5	12.9	1.3	18.0	5.2	3.0	12.7	2.3 (%)
障害種別	身体	356	64.0	22.8	11.8	1.4	7.0	12.1	1.7	9.6	4.2
	知的	281	66.9	15.7	7.5	1.8	38.4	1.1	2.5	6.0	2.1
	精神	299	56.5	20.1	18.1	1.3	15.7	1.0	5.4	19.4	0.7
	自立	33	60.6	9.1	24.2	0.0	9.1	0.0	6.1	27.3	3.0
	難病	87	66.7	20.7	12.6	0.0	5.7	6.9	1.1	18.4	0.0

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』、『20～29 歳』で「同居している家族や親戚」、『18～19 歳』で「友人や知人」、『20～29 歳』で「障害福祉サービス事業所・施設の職員」、『70 歳以上』で「介護保険サービス事業所・施設の職員」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「同居している家族や親戚」、『ひとり暮らし』で「別居している家族や親戚」「友人や知人」「いない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「障害福祉サービス事業所・施設の職員」、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「いない」の割合が高くなっています。

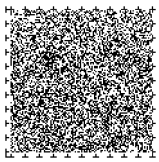
介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳代』で「同居している家族や親戚」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「いない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害福祉サービス事業所・施設の職員」の割合が高く、『利用していない』で「同居している家族や親戚」「いない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「同居している家族や親戚」、『５年以上、10 年未満』で「友人や知人」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「介護保険サービス事業所・施設の職員」の割合が高くなっています。



		調査数	同居している家族や親戚	別居している家族や親戚	友人や知人	弁護士や後見人	障害福祉サービス事業所・施設の職員	介護保険サービス事業所・施設の職員	その他	いない	無回答	
全　体		1,058	62.8	19.5	12.9	1.3	18.0	5.2	3.0	12.7	2.3	(%)
本人の年齢	18～19歳	21	76.2	9.5	23.8	0.0	19.0	0.0	0.0	4.8	0.0	
	20～29歳	131	75.6	6.9	20.6	1.5	31.3	0.0	4.6	7.6	0.8	
	30～39歳	151	62.9	18.5	12.6	0.7	24.5	0.7	4.0	17.2	1.3	
	40～49歳	144	65.3	14.6	11.1	0.0	19.4	0.0	4.2	12.5	0.0	
	50～59歳	161	60.9	18.6	11.8	1.9	22.4	1.2	1.2	19.3	0.6	
	60～64歳	86	57.0	22.1	14.0	3.5	15.1	2.3	5.8	14.0	2.3	
	65～69歳	61	72.1	21.3	16.4	1.6	4.9	1.6	1.6	6.6	1.6	
	70歳以上	292	56.2	28.8	9.6	1.4	8.9	16.4	2.1	10.3	4.8	
世帯構成	ひとり暮らし	169	1.2	39.1	23.1	1.8	19.5	10.7	8.3	30.2	2.4	
	核家族世帯	549	80.3	11.1	10.4	0.9	17.5	2.9	2.0	10.4	1.1	
	三世代世帯	25	84.0	12.0	20.0	0.0	16.0	0.0	0.0	8.0	0.0	
	その他の世帯	301	64.5	24.6	11.3	2.0	18.3	6.3	2.3	7.0	4.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	370	74.3	14.9	10.8	0.8	13.5	5.7	1.4	10.5	3.5	
	障害者手帳所持者がいる	165	58.2	21.8	9.7	1.8	31.5	7.3	4.8	7.3	2.4	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	31	83.9	9.7	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	12.9	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	55	54.5	21.8	3.6	0.0	16.4	7.3	3.6	20.0	5.5	
	あてはまらない	250	82.4	14.0	12.0	1.6	14.8	2.4	0.8	8.8	0.8	
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	37	59.5	18.9	10.8	0.0	5.4	0.0	2.7	18.9	2.7	
	40～59歳	240	76.3	14.2	10.0	1.3	18.8	3.3	2.1	6.7	0.4	
	60歳代	159	73.0	17.6	10.7	0.6	14.5	5.0	1.9	11.3	0.6	
	70歳代	113	79.6	16.8	15.0	0.9	15.0	4.4	1.8	6.2	5.3	
	80歳以上	80	61.3	23.8	8.8	1.3	17.5	7.5	0.0	11.3	1.3	
	わからない	69	23.2	37.7	10.1	7.2	44.9	10.1	11.6	7.2	4.3	
生活困窮	ゆとりがある	87	69.0	12.6	11.5	1.1	23.0	1.1	3.4	6.9	3.4	
	まあまあゆとりがある	449	69.5	20.9	12.5	1.3	18.7	5.3	2.7	8.7	2.2	
	やや苦しい	389	60.9	18.0	14.1	1.3	14.4	5.4	2.6	14.9	1.8	
	不自由が多く、生活が苦しい	91	44.0	15.4	9.9	1.1	19.8	5.5	6.6	29.7	1.1	
サービス	利用している	392	57.4	20.2	10.5	2.3	39.5	6.6	4.1	8.4	2.0	
	利用していない	623	66.9	19.6	15.1	0.8	4.5	4.2	2.6	15.2	1.6	
障害に気づいた時期	１年未満	29	69.0	20.7	6.9	0.0	6.9	6.9	0.0	10.3	6.9	
	１年以上、３年未満	52	63.5	13.5	9.6	1.9	17.3	3.8	3.8	13.5	1.9	
	３年以上、５年未満	71	57.7	16.9	11.3	0.0	9.9	9.9	4.2	16.9	4.2	
	５年以上、10年未満	148	64.2	17.6	18.2	2.0	11.5	5.4	2.0	16.2	1.4	
	10年以上	682	64.1	20.2	12.0	1.3	21.6	4.4	3.2	11.4	1.8	
	わからない	28	60.7	17.9	14.3	3.6	17.9	3.6	7.1	7.1	0.0	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	260	57.7	20.4	13.1	1.9	24.6	10.0	3.8	11.2	3.1	
	視覚障害がある	19	68.4	5.3	5.3	0.0	5.3	21.1	0.0	10.5	5.3	
	聴覚障害がある	41	53.7	22.0	22.0	2.4	9.8	9.8	4.9	7.3	7.3	

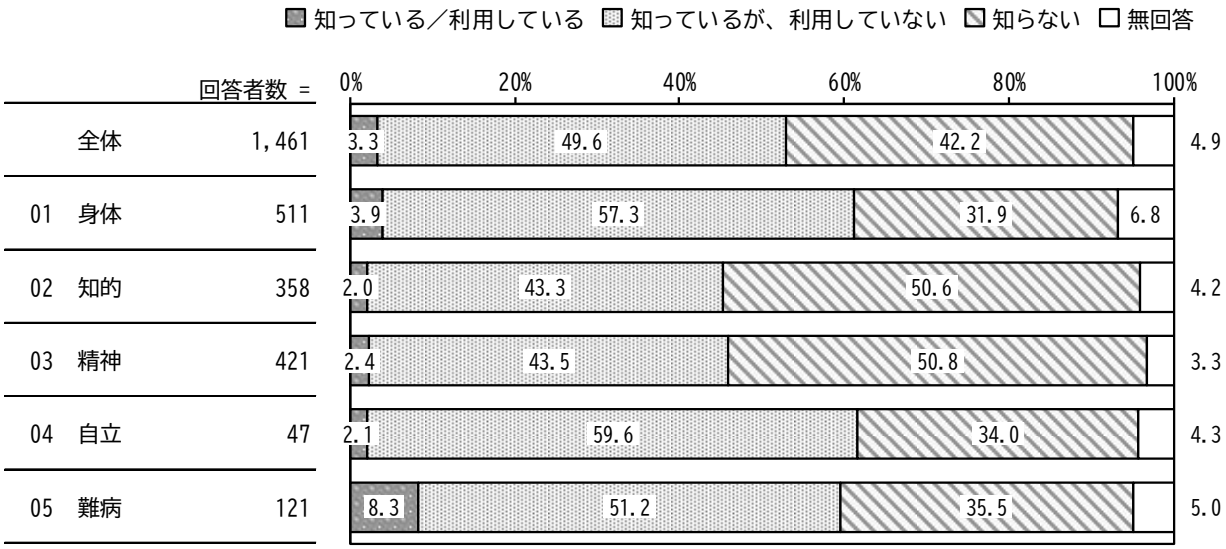
問　あなたは、成年後見制度を知っていますか。【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	59	59	62	61	60	61

「知っている／利用している」の割合が 3.3%、「知っているが、利用していない」の割合が 49.6%、「知らない」の割合が 42.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「知っているが、利用していない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「知っているが、利用していない」、『あてはまらない』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『70 歳代』で「知っているが、利用していない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「知っているが、利用していない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「知っているが、利用していない」の割合が高くなっています。

		調査数	知っている／利用している	知っているが、利用していない	知らない	無回答	
全　体		1,461	3.3	49.6	42.2	4.9	(%)
本人の年齢	18～19歳	27	0.0	18.5	81.5	0.0	
	20～29歳	164	0.0	41.5	57.9	0.6	
	30～39歳	195	0.5	44.1	53.8	1.5	
	40～49歳	185	3.8	49.7	43.2	3.2	
	50～59歳	229	4.8	47.2	44.5	3.5	
	60～64歳	109	8.3	47.7	42.2	1.8	
	65～69歳	91	5.5	48.4	42.9	3.3	
	70歳以上	444	3.4	58.8	27.5	10.4	
世帯構成	ひとり暮らし	274	3.3	49.3	42.3	5.1	
	核家族世帯	695	2.3	47.8	46.2	3.7	
	三世代世帯	32	0.0	40.6	59.4	0.0	
	その他の世帯	436	5.0	53.9	34.6	6.4	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	3.2	53.6	37.6	5.6	
	障害者手帳所持者がいる	227	3.5	52.4	39.2	4.8	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	52.9	47.1	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	4.0	56.0	33.3	6.7	
	あてはまらない	320	3.4	43.4	50.9	2.2	
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	66.7	33.3	0.0	
	18～39歳	58	3.4	48.3	44.8	3.4	
	40～59歳	309	2.6	49.5	44.0	3.9	
	60歳代	213	2.3	50.2	44.1	3.3	
	70歳代	146	2.1	59.6	33.6	4.8	
	80歳以上	120	5.0	48.3	36.7	10.0	
	わからない	105	5.7	42.9	44.8	6.7	
生活困窮	ゆとりがある	113	2.7	38.1	54.9	4.4	
	まあまあゆとりがある	610	3.4	54.4	38.0	4.1	
	やや苦しい	538	2.6	49.1	43.7	4.6	
	不自由が多く、生活が苦しい	135	4.4	40.7	47.4	7.4	
サービス	利用している	500	3.4	49.6	43.4	3.6	
	利用していない	863	3.1	52.0	42.4	2.4	
障害に気づいた時期	１年未満	39	5.1	56.4	35.9	2.6	
	１年以上、３年未満	74	2.7	51.4	35.1	10.8	
	３年以上、５年未満	89	1.1	60.7	32.6	5.6	
	５年以上、10年未満	209	3.8	54.5	38.8	2.9	
	10年以上	917	3.2	50.1	42.9	3.9	
	わからない	56	0.0	23.2	71.4	5.4	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	1.9	45.7	43.9	8.6	
	視覚障害がある	28	10.7	60.7	21.4	7.1	
	聴覚障害がある	69	2.9	46.4	40.6	10.1	

【成年後見制度の認知で「知っている／利用している」「知っているが、利用していない」と回答された方にお聞きします。】

問　どのようなことが理由で成年後見制度を利用していますか、もしくは将来的に利用することになると思いますか。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	60	60	63	62	61	62

「預貯金などの管理・解約」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「将来的にも利用することはない」の割合が 35.0%、「福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）」の割合が 25.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「預貯金などの管理・解約」「福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）」「親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった」、自立で「将来的にも利用することはない」の割合が高くなっています。

		調査数	預貯金などの管理・解約	福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）	不動産の処分	相続手続き	保険金受取	訴訟手続き	親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった	その他	将来的にも利用することはない	無回答
全　体		772	35.5	25.5	14.8	23.8	14.0	4.4	17.9	5.8	35.0	9.8
障害種別	身体	313	26.2	14.4	15.0	19.8	11.2	3.2	6.7	6.1	38.7	16.3
	知的	162	60.5	47.5	12.3	32.1	20.4	7.4	51.2	1.2	14.2	6.8
	精神	193	34.7	25.9	15.5	23.8	14.5	5.2	13.0	8.8	39.9	5.2
	自立	29	27.6	20.7	10.3	31.0	10.3	6.9	13.8	10.3	48.3	0.0
	難病	72	25.0	26.4	19.4	19.4	11.1	0.0	6.9	4.2	47.2	5.6

(%)

【属性別】

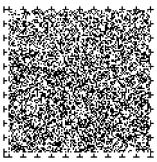
本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「預貯金などの管理・解約」「福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）」「相続手続き」「親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「預貯金などの管理・解約」「相続手続き」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「将来的にも利用することはない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で「相続手続き」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「将来的にも利用することはない」の割合が高くなっています。



		調査数	預貯金などの管理・解約	福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）	不動産の処分	相続手続き	保険金受取	訴訟手続き	親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった	その他	将来的にも利用することはない	無回答
全　体		772	35.5	25.5	14.8	23.8	14.0	4.4	17.9	5.8	35.0	9.8
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0
	20～29歳	68	66.2	47.1	10.3	38.2	17.6	4.4	50.0	1.5	10.3	7.4
	30～39歳	87	37.9	27.6	16.1	26.4	12.6	9.2	32.2	3.4	34.5	4.6
	40～49歳	99	31.3	28.3	10.1	21.2	15.2	7.1	23.2	3.0	42.4	8.1
	50～59歳	119	38.7	26.9	17.6	26.9	18.5	5.0	16.8	7.6	37.0	8.4
	60～64歳	61	41.0	26.2	18.0	24.6	19.7	1.6	14.8	6.6	42.6	3.3
	65～69歳	49	34.7	18.4	14.3	22.4	2.0	0.0	0.0	6.1	34.7	8.2
	70歳以上	276	26.4	19.2	15.9	19.6	11.6	2.9	7.6	7.6	35.9	14.9
世帯構成	ひとり暮らし	144	25.0	18.1	11.1	15.3	10.4	1.4	4.2	10.4	43.8	9.7
	核家族世帯	348	36.8	27.3	12.6	24.7	15.5	5.5	25.9	4.6	35.6	7.5
	三世代世帯	13	53.8	23.1	15.4	46.2	23.1	7.7	23.1	0.0	23.1	15.4
	その他の世帯	257	38.9	28.0	20.2	26.8	13.6	4.7	15.2	5.4	29.6	12.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	285	37.2	26.0	16.8	24.9	15.1	5.3	21.1	6.0	31.6	9.8
	障害者手帳所持者がいる	127	37.0	34.6	14.2	28.3	14.2	7.1	24.4	4.7	29.9	9.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	18	11.1	16.7	5.6	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	55.6	16.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	45	24.4	15.6	13.3	24.4	11.1	4.4	20.0	15.6	33.3	11.1
	あてはまらない	150	40.0	26.0	14.0	25.3	14.0	6.0	18.7	4.0	36.7	6.0
介助者の年齢	17歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	30	33.3	20.0	20.0	26.7	10.0	16.7	3.3	0.0	53.3	10.0
	40～59歳	161	39.8	28.6	11.8	25.5	14.3	3.7	22.4	5.0	29.8	9.9
	60歳代	112	35.7	33.0	17.9	28.6	13.4	5.4	25.9	8.9	23.2	11.6
	70歳代	90	38.9	21.1	14.4	20.0	15.6	5.6	20.0	10.0	27.8	6.7
	80歳以上	64	35.9	28.1	23.4	25.0	10.9	3.1	20.3	3.1	31.3	12.5
	わからない	51	35.3	25.5	9.8	19.6	9.8	3.9	15.7	2.0	41.2	15.7
生活困窮	ゆとりがある	46	37.0	23.9	17.4	37.0	15.2	4.3	19.6	4.3	39.1	10.9
	まあまあゆとりがある	353	40.2	26.6	16.1	26.9	14.7	3.1	20.4	3.7	33.1	10.2
	やや苦しい	278	29.9	25.9	11.5	19.1	11.9	4.3	16.5	7.2	36.3	8.6
	不自由が多く、生活が苦しい	61	31.1	21.3	18.0	18.0	18.0	11.5	14.8	13.1	41.0	6.6
サービス	利用している	265	48.7	35.8	15.5	32.1	19.2	6.8	32.5	5.3	21.5	7.9
	利用していない	476	28.2	20.0	14.1	18.9	11.1	2.9	10.1	6.3	43.7	9.7
障害に気づいた時期	１年未満	24	25.0	25.0	29.2	33.3	12.5	8.3	20.8	4.2	33.3	8.3
	１年以上、３年未満	40	37.5	17.5	7.5	32.5	5.0	2.5	12.5	7.5	30.0	10.0
	３年以上、５年未満	55	30.9	20.0	16.4	21.8	16.4	3.6	10.9	7.3	41.8	5.5
	５年以上、10年未満	122	25.4	19.7	14.8	17.2	11.5	2.5	7.4	4.9	47.5	10.7
	10年以上	488	40.0	29.3	15.0	25.2	15.6	5.1	22.5	5.9	30.7	9.6
	わからない	13	30.8	15.4	15.4	23.1	15.4	0.0	15.4	0.0	46.2	15.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	178	34.8	24.2	12.4	21.3	10.7	6.2	16.3	7.9	29.8	11.8
	視覚障害がある	20	30.0	20.0	15.0	20.0	15.0	0.0	5.0	0.0	50.0	10.0
	聴覚障害がある	34	26.5	11.8	14.7	20.6	8.8	0.0	11.8	8.8	29.4	17.6

(%)

問　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。
【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	61	61	64	63	62	63

「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「避難所の場所がわからない」の割合が 23.8%、「災害や避難の情報の入手方法がわからない」の割合が 19.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が高くなっています。

		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	23.8	19.8	12.9	12.1	16.5	18.0	31.0	5.7	25.3	7.9
障害種別	身体	511	18.4	14.3	14.5	11.2	18.4	15.5	17.4	5.5	27.6	11.0
	知的	358	32.1	28.5	17.9	17.9	8.7	22.6	46.6	2.5	18.7	7.0
	精神	421	25.4	22.3	9.5	11.9	21.1	21.1	39.2	7.1	23.3	4.0
	自立	47	19.1	8.5	2.1	6.4	8.5	10.6	40.4	4.3	29.8	8.5
	難病	121	18.2	14.0	7.4	2.5	18.2	6.6	9.1	11.6	40.5	10.7

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「避難所の場所がわからない」「災害や避難の情報の入手方法がわからない」「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「避難所で十分な医療的ケアが受けられない」「障害の特性上、避難所にいることが困難」、『核家族世帯』、『三世代世帯』で「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「災害や避難の情報の入手方法がわからない」「避難所で十分な医療的ケアが受けられない」、『障害者手帳所持者がいる』、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「助けを呼ぶための手段がない」「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が上がるほど「助けを呼ぶための手段がない」の割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「避難所で十分な医療的ケアが受けられない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「災害や避難の情報の入手方法がわからない」の割合が高くなっています。

		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特にない	無回答
全　体		1,461	23.8	19.8	12.9	12.1	16.5	18.0	31.0	5.7	25.3	7.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	44.4	33.3	7.4	11.1	0.0	7.4	48.1	3.7	18.5	0.0
	20～29歳	164	30.5	23.8	17.7	13.4	7.9	27.4	47.6	8.5	14.0	3.7
	30～39歳	195	26.2	24.1	13.8	13.3	16.9	25.6	43.6	5.6	21.0	3.6
	40～49歳	185	27.6	21.6	9.7	11.4	15.7	23.8	42.7	7.0	22.7	7.6
	50～59歳	229	19.2	19.2	9.2	13.5	19.2	12.7	34.5	7.0	33.2	3.5
	60～64歳	109	19.3	19.3	11.9	7.3	22.0	16.5	23.9	4.6	31.2	4.6
	65～69歳	91	24.2	23.1	13.2	11.0	24.2	16.5	17.6	2.2	33.0	6.6
	70歳以上	444	21.4	15.3	14.6	12.2	16.2	13.5	16.4	5.0	25.5	14.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	27.7	22.6	17.2	15.3	17.5	12.4	25.9	5.8	23.0	8.4
	核家族世帯	695	22.6	21.6	12.2	11.5	14.5	21.0	38.3	5.8	23.9	5.6
	三世代世帯	32	28.1	18.8	3.1	6.3	21.9	25.0	40.6	3.1	28.1	0.0
	その他の世帯	436	23.6	16.3	11.9	11.5	18.8	17.0	23.2	6.2	28.2	10.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	23.7	21.1	10.8	11.6	18.1	20.3	30.9	4.2	22.5	8.6
	障害者手帳所持者がいる	227	27.8	20.3	14.5	17.6	16.3	20.3	38.8	5.3	22.5	6.2
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	17.6	17.6	5.9	5.9	11.8	17.6	35.3	0.0	44.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	25.3	26.7	16.0	20.0	25.3	24.0	38.7	8.0	16.0	8.0
	あてはまらない	320	24.1	18.8	11.3	8.8	14.4	20.3	31.9	8.8	27.8	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	58	24.1	10.3	13.8	12.1	15.5	29.3	29.3	5.2	25.9	3.4
	40～59歳	309	24.6	22.3	15.2	13.3	20.4	21.7	41.1	6.1	22.0	5.2
	60歳代	213	25.8	22.5	16.0	13.6	16.0	21.6	32.4	7.0	22.1	5.6
	70歳代	146	19.9	21.2	8.2	13.7	19.2	18.5	32.2	6.8	24.7	7.5
	80歳以上	120	30.0	18.3	15.8	15.8	20.0	16.7	29.2	4.2	12.5	13.3
	わからない	105	27.6	21.0	22.9	17.1	21.0	27.6	33.3	5.7	18.1	8.6
生活困窮	ゆとりがある	113	20.4	23.0	7.1	3.5	8.8	11.5	26.5	4.4	35.4	6.2
	まあまあゆとりがある	610	23.4	18.9	12.6	11.0	14.1	16.4	28.2	5.4	29.2	6.7
	やや苦しい	538	23.0	19.9	12.3	13.6	18.8	20.3	35.9	7.4	20.1	8.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	32.6	26.7	21.5	19.3	28.1	25.9	33.3	3.7	20.7	6.7
サービス	利用している	500	27.0	24.2	21.2	19.6	19.0	27.2	45.0	6.6	16.8	4.0
	利用していない	863	22.4	17.8	8.7	7.8	15.8	13.9	24.7	5.9	30.8	5.9
障害に気づいた時期	１年未満	39	17.9	5.1	7.7	5.1	20.5	15.4	15.4	5.1	38.5	7.7
	１年以上、３年未満	74	18.9	17.6	12.2	8.1	17.6	18.9	24.3	2.7	32.4	10.8
	３年以上、５年未満	89	15.7	9.0	9.0	9.0	18.0	14.6	20.2	11.2	34.8	7.9
	５年以上、10年未満	209	19.1	14.8	12.0	11.0	22.0	14.8	23.4	6.2	31.6	5.7
	10年以上	917	25.2	22.6	14.2	13.3	15.6	20.5	36.3	5.8	21.8	6.4
	わからない	56	33.9	30.4	14.3	14.3	14.3	10.7	30.4	1.8	25.0	16.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	23.3	18.4	17.6	13.6	21.9	20.1	27.3	7.2	22.7	9.1
	視覚障害がある	28	14.3	32.1	10.7	14.3	3.6	17.9	17.9	0.0	25.0	14.3
	聴覚障害がある	69	23.2	17.4	7.2	14.5	8.7	5.8	39.1	2.9	18.8	15.9

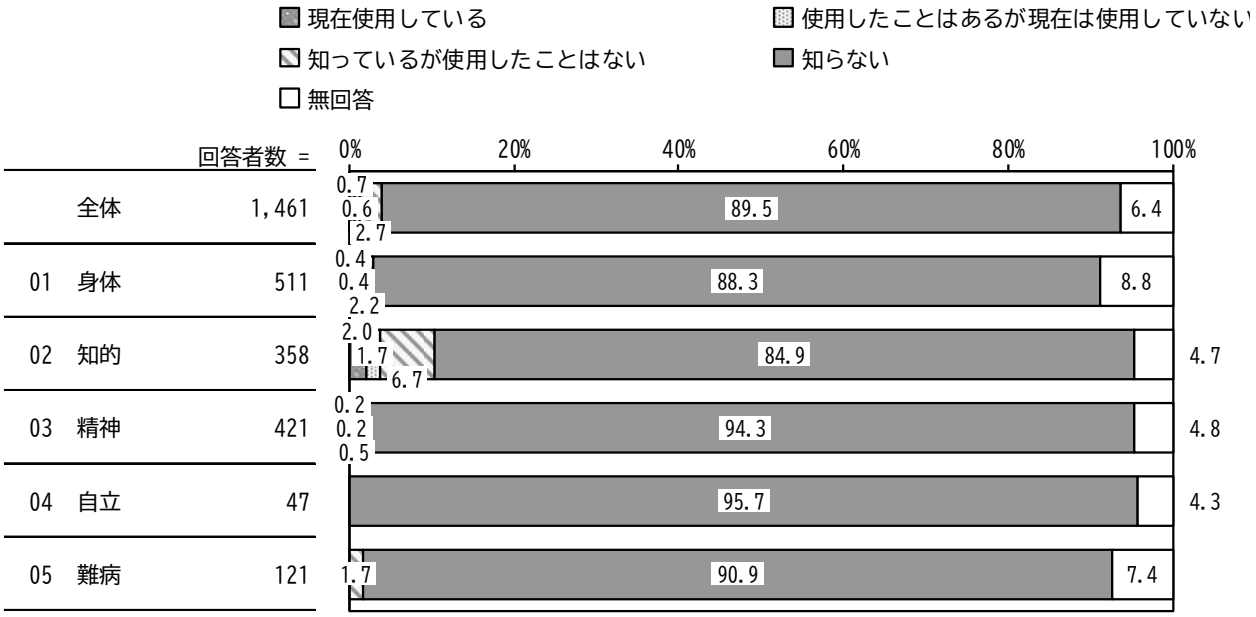
問　障害のある方の成長等を記録する「サポートファイル」を知っていますか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	62	62	65	64	63	64

「知らない」の割合が 89.5%と最も高くなっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『50～59 歳』、『60～64 歳』、『65～69 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

		調査数	現在使用している	使用したことはあるが現在は使用していない	知っているが使用したことはない	知らない	無回答	
全　体		1,461	0.7	0.6	2.7	89.5	6.4	(%)
本人の年齢	18～19歳	27	3.7	3.7	7.4	81.5	3.7	
	20～29歳	164	0.6	2.4	5.5	88.4	3.0	
	30～39歳	195	1.0	0.0	4.1	92.3	2.6	
	40～49歳	185	0.5	1.1	3.2	90.3	4.9	
	50～59歳	229	0.9	0.0	0.9	95.6	2.6	
	60～64歳	109	0.9	0.0	0.9	95.4	2.8	
	65～69歳	91	0.0	0.0	0.0	94.5	5.5	
	70歳以上	444	0.5	0.5	2.5	84.0	12.6	
世帯構成	ひとり暮らし	274	1.5	0.4	0.4	91.2	6.6	
	核家族世帯	695	0.7	1.0	3.3	91.5	3.5	
	三世代世帯	32	0.0	0.0	6.3	93.8	0.0	
	その他の世帯	436	0.2	0.2	3.0	86.2	10.3	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	0.6	0.4	2.4	89.8	6.8	
	障害者手帳所持者がいる	227	0.9	0.4	5.7	88.5	4.4	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	0.0	2.9	97.1	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	1.3	0.0	5.3	85.3	8.0	
	あてはまらない	320	0.3	1.3	3.4	91.9	3.1	
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	
	18～39歳	58	0.0	0.0	1.7	96.6	1.7	
	40～59歳	309	1.3	1.9	3.6	89.3	3.9	
	60歳代	213	0.0	0.0	4.2	93.0	2.8	
	70歳代	146	1.4	0.7	4.1	88.4	5.5	
	80歳以上	120	0.8	0.8	1.7	82.5	14.2	
	わからない	105	1.9	1.0	2.9	83.8	10.5	
生活困窮	ゆとりがある	113	0.9	1.8	3.5	89.4	4.4	
	まあまあゆとりがある	610	0.7	0.5	4.4	89.8	4.6	
	やや苦しい	538	0.6	0.6	1.1	90.7	7.1	
	不自由が多く、生活が苦しい	135	1.5	0.7	1.5	89.6	6.7	
サービス	利用している	500	1.8	1.4	5.8	86.4	4.6	
	利用していない	863	0.0	0.1	1.0	95.4	3.5	
障害に気づいた時期	１年未満	39	2.6	0.0	2.6	87.2	7.7	
	１年以上、３年未満	74	0.0	0.0	1.4	85.1	13.5	
	３年以上、５年未満	89	0.0	0.0	2.2	92.1	5.6	
	５年以上、10年未満	209	1.0	0.5	2.9	90.4	5.3	
	10年以上	917	0.7	0.9	2.9	90.7	4.8	
	わからない	56	0.0	0.0	0.0	91.1	8.9	
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	1.3	0.0	3.5	85.3	9.9	
	視覚障害がある	28	0.0	0.0	3.6	85.7	10.7	
	聴覚障害がある	69	0.0	0.0	0.0	88.4	11.6	

問　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	63	63	66	65	64	65

自由意見	169　件
項目の充実・具体的内容	35　件
情報の共有・連携	22　件
利便性・形態（ハード面）	21　件
相談・サポート体制の充実	18　件
福祉サービス・制度の改善	17　件
不要・必要性を感じない	14　件
将来の備え・親亡き後	13　件
就労支援・社会参加	9　件
個人情報保護・管理への懸念	9　件
緊急時・災害時の対応	8　件
対象者・普及への意見	2　件
その他	1　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【項目の充実・具体的内容】

●障害があるのが子供なら、定期的に(１年や３年毎など)親からの目線だけでなく、障害のある子供も書き込めたり、聞き取りをしてその時点での障害があることへの意見も記録できるようになっていると良いと思う。

●年齢や状況等に応じて、「障害」面だけではなく、人が人らしく生きるための防げとなっているものが何なのかトータル的に把握できるものが望ましい。

●障害箇所や程度に応じてその内容が異なると思う。目が不自由な方、耳が不自由な方にとっては、例えば火災時の避難時対応のリスクが異なってくる。それぞれの障害の内容と程度を記録しておくデータ整備を希望する。

【情報の共有・連携】

●関係機関等との情報共有と共にサポート体制を図ることが出来る様なもの。

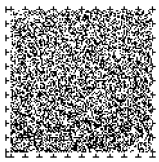
●医療機関受診時に、本人の特性や配慮点を伝えることで安心して受診できるようにしてほしい。

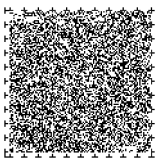
【利便性・形態（ハード面)】

●ネットで自分で入力出来る内容を含むものがあれば。

●軽くて、持ちやすいファイル。

●日々の様子等を書き留めやすく。





7　地域生活支援事業について

問　あなたは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	64	64	67	66	65	66

「移動支援」の割合が 8.0%、「日中一時支援」の割合が 4.9%、「利用したことがない」の割合が 79.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「移動支援」、難病で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

		調査数	移動支援	日中一時支援	利用したことがない	無回答
全　体		1,461	8.0	4.9	79.0	9.4 (%)
障害種別	身体	511	1.8	3.3	84.0	11.0
	知的	358	27.4	7.8	55.9	13.4
	精神	421	1.2	5.2	88.4	5.2
	自立	47	4.3	0.0	89.4	6.4
	難病	121	1.7	2.5	90.9	6.6

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「移動支援」、『65～69 歳』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「移動支援」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「移動支援」「日中一時支援」の割合が高く、『利用していない』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で「移動支援」の割合が高くなっています。

		調査数	移動支援	日中一時支援	利用したことがない	無回答
全　体		1,461	8.0	4.9	79.0	9.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	3.7	11.1	74.1	11.1
	20～29歳	164	22.0	7.3	71.3	5.5
	30～39歳	195	16.9	2.1	75.9	7.2
	40～49歳	185	9.2	4.9	80.0	6.5
	50～59歳	229	4.8	8.3	81.7	5.7
	60～64歳	109	3.7	2.8	87.2	6.4
	65～69歳	91	0.0	4.4	90.1	5.5
	70歳以上	444	3.2	3.6	77.9	15.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	2.6	7.7	78.5	11.3
	核家族世帯	695	10.1	4.9	80.4	6.9
	三世代世帯	32	3.1	0.0	96.9	0.0
	その他の世帯	436	8.7	3.4	76.6	11.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	5.6	4.8	80.9	9.6
	障害者手帳所持者がいる	227	15.4	5.7	72.7	7.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	2.9	97.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	6.7	6.7	82.7	4.0
	あてはまらない	320	10.6	3.8	82.8	5.6
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～39歳	58	5.2	5.2	82.8	6.9
	40～59歳	309	14.9	5.5	77.3	4.5
	60歳代	213	10.8	5.6	80.8	5.2
	70歳代	146	9.6	4.1	82.2	6.2
	80歳以上	120	0.8	7.5	77.5	15.0
	わからない	105	14.3	10.5	59.0	17.1
生活困窮	ゆとりがある	113	6.2	1.8	78.8	13.3
	まあまあゆとりがある	610	10.7	5.1	78.0	7.9
	やや苦しい	538	7.1	4.6	80.7	8.7
	不自由が多く、生活が苦しい	135	3.7	7.4	80.0	10.4
サービス	利用している	500	21.4	12.0	61.0	9.0
	利用していない	863	0.7	1.2	93.5	4.8
障害に気づいた時期	１年未満	39	10.3	0.0	76.9	12.8
	１年以上、３年未満	74	6.8	0.0	83.8	9.5
	３年以上、５年未満	89	2.2	6.7	85.4	6.7
	５年以上、10年未満	209	0.5	3.3	89.0	7.2
	10年以上	917	11.1	5.2	77.5	8.0
	わからない	56	1.8	7.1	67.9	23.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	7.5	8.0	71.1	14.7
	視覚障害がある	28	14.3	0.0	75.0	10.7
	聴覚障害がある	69	1.4	2.9	82.6	13.0

【過去１年間に利用した地域生活支援事業サービスで「利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

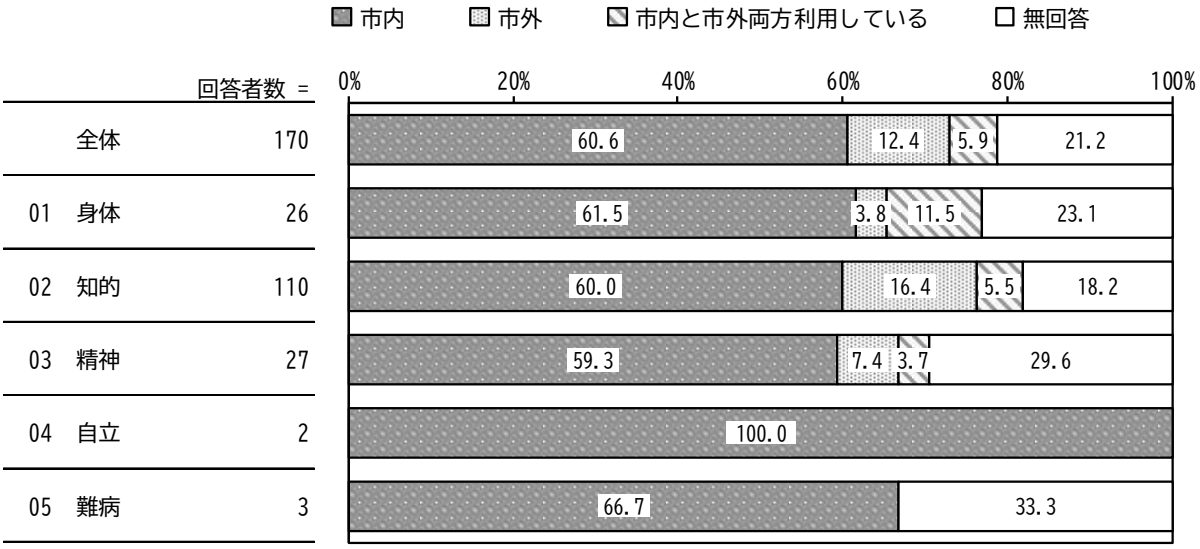
問　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	65	65	68	67	66	67

「市内」の割合が 60.6%、「市外」の割合が 12.4%、「市内と市外両方利用している」の割合が 5.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「市内と市外両方利用している」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『40～49 歳』で「市内」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『ひとり暮らし』で「市外」の割合が低くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「市内」の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『40～59 歳』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど「市内」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』、『不自由が多く、生活が苦しい』で「市内」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「市外」「市内と市外両方利用している」の割合が高く、『利用していない』で「市内」の割合が高くなっています。

		調査数	市内	市外	市内と市外両方利用している	無回答
全　体		170	60.6	12.4	5.9	21.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	4	75.0	0.0	0.0	25.0
	20～29歳	38	57.9	15.8	2.6	23.7
	30～39歳	33	54.5	15.2	3.0	27.3
	40～49歳	25	72.0	16.0	4.0	8.0
	50～59歳	29	55.2	13.8	3.4	27.6
	60～64歳	7	57.1	0.0	28.6	14.3
	65～69歳	4	50.0	25.0	25.0	0.0
	70歳以上	28	64.3	3.6	10.7	21.4
世帯構成	ひとり暮らし	28	64.3	7.1	7.1	21.4
	核家族世帯	88	59.1	13.6	4.5	22.7
	三世代世帯	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	51	58.8	13.7	7.8	19.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	48	64.6	14.6	4.2	16.7
	障害者手帳所持者がいる	44	54.5	15.9	9.1	20.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	10	40.0	20.0	0.0	40.0
	あてはまらない	37	56.8	10.8	5.4	27.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	6	66.7	33.3	0.0	0.0
	40～59歳	56	51.8	10.7	8.9	28.6
	60歳代	30	66.7	13.3	10.0	10.0
	70歳代	17	70.6	5.9	0.0	23.5
	80歳以上	9	66.7	11.1	0.0	22.2
	わからない	25	64.0	20.0	0.0	16.0
生活困窮	ゆとりがある	9	44.4	33.3	11.1	11.1
	まあまあゆとりがある	86	66.3	8.1	4.7	20.9
	やや苦しい	57	52.6	15.8	5.3	26.3
	不自由が多く、生活が苦しい	13	69.2	7.7	7.7	15.4
サービス	利用している	150	58.7	13.3	6.7	21.3
	利用していない	15	80.0	6.7	0.0	13.3
障害に気づいた時期	１年未満	4	50.0	25.0	25.0	0.0
	１年以上、３年未満	5	40.0	0.0	0.0	60.0
	３年以上、５年未満	7	85.7	0.0	0.0	14.3
	５年以上、10年未満	8	62.5	12.5	0.0	25.0
	10年以上	133	58.6	14.3	6.8	20.3
	わからない	5	100.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	53	60.4	9.4	13.2	17.0
	視覚障害がある	4	50.0	0.0	0.0	50.0
	聴覚障害がある	3	33.3	33.3	0.0	33.3

【利用しているサービス事業所の場所で「市外」または「市内と市外両方利用している」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	66	66	69	68	67	68

自由意見	**52　件**
特定の施設を利用しているため	15　件
市内に適切な施設や空きがないため	14　件
紹介による利用	7　件
交通・アクセスの良さ	6　件
不要・必要性がない	2　件
難病対応	1　件
その他	7　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【特定の施設を利用しているため】

●市外の施設が自分に合っている為。

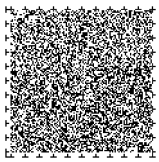
●在籍していた学校が運営しているグループホームだから。

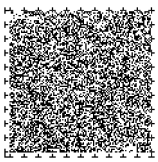
●広い場所で人の目に注目されないため、市外の施設をよく利用している。

【市内に適切な施設や空きがないため】

●市内事業所だけでは支援ニーズにキャパ的に応えられない。

●たまたま利用したい施設が市内に無かった為。





問　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。【○はいくつでも】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	67	67	70	69	68	69

「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が 18.9%と最も高くなっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「サービス事業者が少ない」の割合が高くなっています。

		調査数	サービス提供や内容に関する情報が少ない	サービス事業者が少ない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日時が少ない	サービスの質について	他の利用者との関係について	利用者負担について	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		1,461	18.9	7.9	8.4	4.3	4.4	6.0	3.2	5.0	4.2	46.4	20.3
障害種別	身体	511	15.9	2.9	4.5	1.8	1.4	4.9	0.4	4.5	2.5	47.7	27.6
	知的	358	17.3	18.2	12.6	8.7	10.3	9.8	6.4	7.0	4.7	37.7	18.2
	精神	421	26.8	8.1	11.4	5.5	4.3	6.4	5.2	5.5	6.7	44.9	14.5
	自立	47	8.5	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	4.3	70.2	10.6
	難病	121	13.2	0.8	4.1	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	62.8	20.7

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で「サービス利用の手続きが大変」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「サービスの質について」の割合が高くなっています。

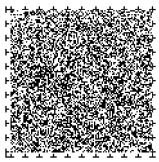
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「利用できる回数や日時が少ない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど「サービス利用の手続きが大変」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」「利用できる回数や日時が少ない」「サービスの質について」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「利用者負担について」の割合が高くなっています。



		調査数	サービス提供や内容に関する情報が少ない	サービス事業者が少ない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日時が少ない	サービスの質について	他の利用者との関係について	利用者負担について	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		1,461	18.9	7.9	8.4	4.3	4.4	6.0	3.2	5.0	4.2	46.4	20.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	25.9	14.8	18.5	3.7	3.7	3.7	7.4	7.4	3.7	44.4	14.8
	20～29歳	164	22.6	17.7	12.8	9.8	12.2	10.4	3.7	4.9	3.0	44.5	11.0
	30～39歳	195	20.0	12.3	10.3	6.2	6.7	9.2	6.2	5.6	6.7	44.1	15.9
	40～49歳	185	19.5	8.1	10.3	5.4	3.8	5.9	4.9	7.6	5.9	46.5	17.3
	50～59歳	229	20.1	8.7	8.3	3.5	3.5	6.1	4.4	2.2	4.8	52.8	14.4
	60～64歳	109	22.9	4.6	11.9	4.6	2.8	4.6	3.7	4.6	2.8	48.6	15.6
	65～69歳	91	16.5	4.4	5.5	1.1	2.2	4.4	0.0	2.2	3.3	56.0	17.6
	70歳以上	444	15.8	3.2	4.1	2.0	2.0	3.8	0.9	5.4	3.2	42.8	31.3
世帯構成	ひとり暮らし	274	19.7	6.2	7.7	3.3	3.6	6.2	3.6	4.0	5.5	45.6	20.1
	核家族世帯	695	19.1	9.8	8.6	5.5	5.6	6.6	3.9	4.9	3.7	47.6	18.6
	三世代世帯	32	25.0	12.5	12.5	3.1	6.3	12.5	3.1	6.3	0.0	43.8	18.8
	その他の世帯	436	18.3	6.0	8.0	3.2	2.8	4.4	1.8	4.8	4.6	45.6	22.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	18.5	6.2	9.2	3.8	2.8	4.4	2.4	5.2	3.0	45.2	25.1
	障害者手帳所持者がいる	227	19.8	11.5	9.7	6.6	7.5	9.7	4.0	7.9	6.6	41.0	18.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	14.7	2.9	8.8	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	70.6	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	25.3	13.3	14.7	8.0	10.7	10.7	6.7	8.0	6.7	33.3	24.0
	あてはまらない	320	19.4	10.0	7.2	5.0	4.4	5.3	3.1	3.8	2.8	51.3	15.0
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	58	20.7	3.4	6.9	5.2	1.7	6.9	3.4	8.6	6.9	44.8	15.5
	40～59歳	309	21.7	13.3	9.4	6.1	6.1	6.8	3.9	4.2	5.2	45.3	15.5
	60歳代	213	21.1	10.3	12.2	7.5	3.8	7.5	3.8	4.7	3.8	44.6	20.2
	70歳代	146	19.9	10.3	8.2	3.4	5.5	6.2	2.7	6.8	2.7	44.5	19.9
	80歳以上	120	20.0	5.0	9.2	4.2	1.7	2.5	2.5	5.8	2.5	33.3	32.5
	わからない	105	14.3	11.4	11.4	6.7	8.6	11.4	3.8	8.6	7.6	36.2	23.8
生活困窮	ゆとりがある	113	12.4	7.1	8.0	2.7	4.4	3.5	3.5	2.7	2.7	57.5	18.6
	まあまあゆとりがある	610	16.9	8.0	8.0	4.9	4.4	5.7	2.6	3.9	3.6	52.5	16.2
	やや苦しい	538	20.3	5.9	8.2	4.6	3.0	5.4	3.2	5.0	4.1	42.2	23.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	30.4	16.3	11.9	3.7	8.9	11.1	6.7	10.4	9.6	34.8	16.3
サービス	利用している	500	20.2	14.8	12.0	8.6	9.4	9.4	4.8	8.0	6.0	34.2	18.0
	利用していない	863	18.9	3.9	6.4	2.0	1.5	4.3	2.4	3.2	3.5	56.1	17.6
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	10.3	12.8	2.6	7.7	10.3	0.0	15.4	0.0	43.6	28.2
	１年以上、３年未満	74	9.5	2.7	4.1	4.1	1.4	4.1	5.4	4.1	0.0	58.1	21.6
	３年以上、５年未満	89	16.9	3.4	3.4	1.1	1.1	3.4	2.2	3.4	3.4	61.8	14.6
	５年以上、10年未満	209	22.5	3.3	9.6	3.3	3.3	5.7	1.4	3.8	4.3	46.9	19.6
	10年以上	917	20.6	10.0	9.2	5.3	5.7	6.7	3.5	5.1	4.9	44.1	19.1
	わからない	56	8.9	5.4	5.4	3.6	0.0	5.4	3.6	3.6	5.4	48.2	28.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	19.5	8.0	9.9	4.8	4.0	5.1	3.2	8.0	5.3	36.4	24.6
	視覚障害がある	28	17.9	10.7	0.0	0.0	0.0	10.7	0.0	0.0	3.6	35.7	35.7
	聴覚障害がある	69	20.3	4.3	4.3	4.3	2.9	10.1	0.0	5.8	2.9	43.5	26.1

8　西東京市について

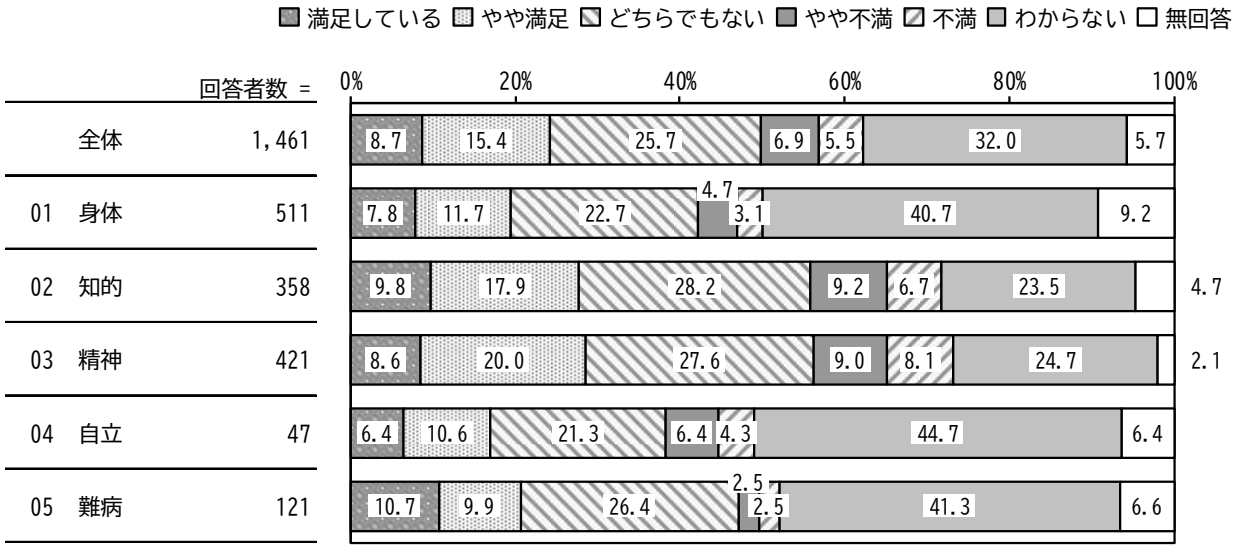
問　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。
【○は１つだけ】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	68	68	71	70	69	70

「満足している」「やや満足」を合わせた“満足している”の割合が 24.1%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が 12.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、自立で“満足している”、難病で“不満”の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“満足している”、『20～29 歳』で“不満”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“不満”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど“不満”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“不満”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“満足している”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』、『３年以上、５年未満』で“満足している”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“満足している”の割合が低くなっています。

		調査数	満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
全　体		1,461	8.7	15.4	25.7	6.9	5.5	32.0	5.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	18.5	22.2	25.9	11.1	7.4	14.8	0.0
	20～29歳	164	11.6	14.6	27.4	11.6	11.0	21.3	2.4
	30～39歳	195	10.3	24.6	24.6	9.7	5.6	23.6	1.5
	40～49歳	185	7.6	18.4	30.3	5.4	5.9	28.1	4.3
	50～59歳	229	8.3	13.5	33.2	5.7	7.0	28.4	3.9
	60～64歳	109	9.2	21.1	29.4	6.4	5.5	27.5	0.9
	65～69歳	91	9.9	13.2	24.2	6.6	5.5	37.4	3.3
	70歳以上	444	6.5	10.4	19.4	5.0	2.3	44.8	11.7
世帯構成	ひとり暮らし	274	9.1	13.1	25.9	6.9	4.7	32.8	7.3
	核家族世帯	695	9.4	15.0	26.2	7.5	6.0	31.8	4.2
	三世代世帯	32	9.4	18.8	25.0	12.5	6.3	21.9	6.3
	その他の世帯	436	7.6	17.7	25.0	5.5	5.0	33.0	6.2
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	7.4	13.7	25.7	7.2	4.8	35.5	5.8
	障害者手帳所持者がいる	227	5.7	15.4	29.5	7.5	7.5	30.0	4.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	8.8	20.6	29.4	5.9	2.9	32.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	6.7	16.0	26.7	9.3	5.3	32.0	4.0
	あてはまらない	320	11.6	17.5	24.7	6.6	7.2	28.4	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	18～39歳	58	6.9	20.7	34.5	3.4	1.7	31.0	1.7
	40～59歳	309	8.4	15.9	27.8	8.4	8.1	27.8	3.6
	60歳代	213	9.9	20.7	28.6	6.1	7.5	24.4	2.8
	70歳代	146	3.4	13.0	25.3	7.5	4.8	39.0	6.8
	80歳以上	120	10.0	20.0	15.0	5.0	1.7	35.8	12.5
	わからない	105	6.7	15.2	23.8	13.3	5.7	29.5	5.7
生活困窮	ゆとりがある	113	18.6	15.0	18.6	5.3	3.5	31.9	7.1
	まあまあゆとりがある	610	10.0	20.3	25.6	5.2	3.1	32.1	3.6
	やや苦しい	538	5.6	11.5	28.4	8.7	6.5	32.9	6.3
	不自由が多く、生活が苦しい	135	7.4	11.1	24.4	8.1	14.8	27.4	6.7
サービス	利用している	500	11.8	22.6	27.2	11.0	6.2	18.0	3.2
	利用していない	863	6.8	12.4	25.7	4.9	5.3	40.8	4.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	7.7	15.4	10.3	2.6	43.6	7.7
	１年以上、３年未満	74	10.8	18.9	31.1	4.1	4.1	25.7	5.4
	３年以上、５年未満	89	11.2	20.2	23.6	2.2	5.6	34.8	2.2
	５年以上、10年未満	209	7.2	14.4	24.4	9.6	4.3	34.9	5.3
	10年以上	917	8.1	15.0	27.5	7.4	6.4	30.5	5.0
	わからない	56	12.5	16.1	19.6	3.6	0.0	41.1	7.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	9.6	18.4	22.2	9.1	5.6	26.7	8.3
	視覚障害がある	28	14.3	17.9	14.3	3.6	3.6	39.3	7.1
	聴覚障害がある	69	4.3	5.8	20.3	5.8	2.9	50.7	10.1

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	68	68	71	70	69	70

自由意見	**244 件**
満足している	61 件
施設・サービス不足	34 件
情報不足	30 件
窓口・職員対応	25 件
経済的支援・助成	23 件
手続きの煩雑さ・不便さ	18 件
行政対応・制度全般の不備	18 件
交通・アクセスの不便	17 件
就労支援不足	13 件
精神障害特有支援不足	5 件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【満足している】

●自動車燃料費の助成や心身障害者福祉手当の支給制度が充実している。

●必要な事の相談先は、分かりやすい。

●障害サービスの内容を把握してないが、今のところ満足している。

【施設・サービス不足】

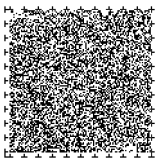
●市内に充実した人材、設備、双方揃ったリハビリ施設があってほしい。

●事業所等の質、職員の質。市内の交通の不便さ。身体（障害）で行ける事業所がほぼ無い。障害者雇用も他のエリアに比べて無い。

【情報不足】

●障害者宛に障害者全般の情報が掲載された市報を送付してほしい。

●とにかく提供される情報が少なすぎることが問題。



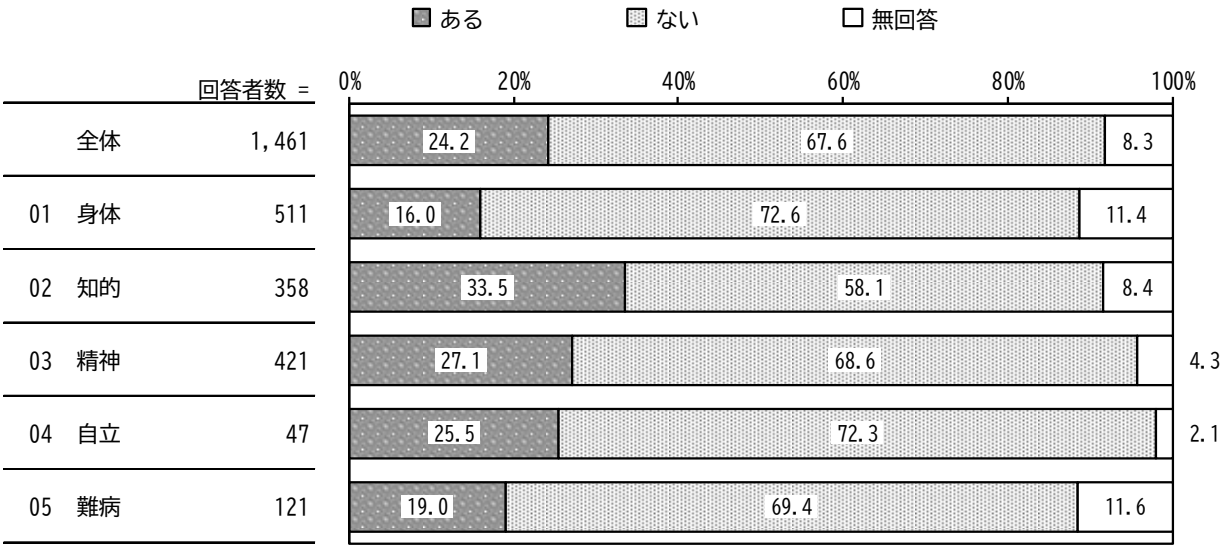
問　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	69	69	72	71	70	71

「ある」の割合が 24.2%、「ない」の割合が 67.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「ある」、身体で「ない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で「ある」、『65～69 歳』で「ない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「ある」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で「ある」、『65 歳以上の高齢者がいる』、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「ない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「ある」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「ある」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「ない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「ある」の割合が低くなっています。

		調査数	ある	ない	無回答
全　体		1,461	24.2	67.6	8.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	33.3	66.7	0.0
	20～29歳	164	37.8	59.8	2.4
	30～39歳	195	31.3	62.6	6.2
	40～49歳	185	25.9	67.0	7.0
	50～59歳	229	24.9	68.1	7.0
	60～64歳	109	31.2	65.1	3.7
	65～69歳	91	15.4	79.1	5.5
	70歳以上	444	14.6	71.2	14.2
世帯構成	ひとり暮らし	274	25.5	66.1	8.4
	核家族世帯	695	23.5	69.4	7.2
	三世代世帯	32	34.4	62.5	3.1
	その他の世帯	436	24.5	66.3	9.2
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	17.7	73.3	9.0
	障害者手帳所持者がいる	227	26.9	66.1	7.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	23.5	64.7	11.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	18.7	74.7	6.7
	あてはまらない	320	31.3	64.7	4.1
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	0.0
	18～39歳	58	25.9	70.7	3.4
	40～59歳	309	31.7	63.1	5.2
	60歳代	213	25.4	69.5	5.2
	70歳代	146	15.1	72.6	12.3
	80歳以上	120	15.0	72.5	12.5
	わからない	105	25.7	65.7	8.6
生活困窮	ゆとりがある	113	28.3	64.6	7.1
	まあまあゆとりがある	610	25.2	67.7	7.0
	やや苦しい	538	24.2	66.4	9.5
	不自由が多く、生活が苦しい	135	21.5	73.3	5.2
サービス	利用している	500	33.4	61.6	5.0
	利用していない	863	20.5	73.0	6.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	20.5	61.5	17.9
	１年以上、３年未満	74	16.2	75.7	8.1
	３年以上、５年未満	89	27.0	69.7	3.4
	５年以上、10年未満	209	24.9	68.4	6.7
	10年以上	917	24.8	67.7	7.5
	わからない	56	30.4	57.1	12.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	24.3	64.4	11.2
	視覚障害がある	28	14.3	71.4	14.3
	聴覚障害がある	69	13.0	71.0	15.9

【自宅以外に居心地のいい場所で「ある」と回答された方にお聞きします。】

問　その場所を具体的にお答えください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	70	70	73	72	71	72

自由意見	**346　件**
公園	48　件
図書館	34　件
作業所（就労支援）	24　件
実家	22　件
カフェ・喫茶店	18　件
グループホーム	17　件
飲食店・ファミレス	16　件
地域活動支援センター（ブルーム、ハーモニーなど）	15　件
商業施設・買い物施設	15　件
友人宅	13　件
デイサービス	12　件
公民館	12　件
宗教施設（神社・寺院・教会）	10　件
病院・医療施設	8　件
職場・勤務先	7　件
学校・学習施設・自助グループ	6　件
障害者福祉施設	3　件
老人福祉施設	1　件
その他	65　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【公園】

●西東京いこいの森公園

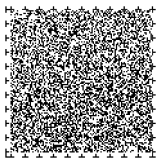
●小金井公園

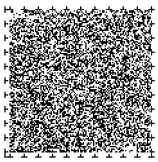
●東伏見公園（広くて・子供達が楽しそうに遊んでいる）

【作業所（就労支援）】

●就労継続支援Ｂ型作業所

●現在働いている作業所





問　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。
【○は３つまで】

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	71	71	74	73	72	73

「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「学校における福祉教育の充実」の割合が 25.0%、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」の割合が 22.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的、自立で「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」、自立で「学校における福祉教育の充実」「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」、知的で「障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援」の割合が高くなっています。

		調査数	障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動	障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進	学校における福祉教育の充実	障害に関する講演会や学習会の開催	障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供	福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進	障害のある人の地域活動への参加機会の促進	障害のあるボランティア活動やボランティア人材育成への支援	その他	わからない	無回答
全　体		1,461	28.5	22.7	25.0	5.5	20.4	8.3	10.5	13.6	3.1	28.8	8.8
障害種別	身体	511	29.5	18.0	19.6	5.9	11.7	8.0	8.4	11.9	3.7	30.9	12.1
	知的	358	29.9	29.6	27.4	6.4	25.1	10.6	13.1	21.2	1.4	24.6	7.3
	精神	421	29.7	23.3	28.3	5.0	26.8	6.9	10.2	9.7	4.5	29.9	4.5
	自立	47	21.3	29.8	34.0	2.1	29.8	8.5	6.4	12.8	0.0	31.9	6.4
	難病	121	19.0	15.7	24.8	4.1	16.5	6.6	14.0	11.6	1.7	28.1	15.7

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』、『60～64 歳』で「学校における福祉教育の充実」、『18～19 歳』、『30～39 歳』で「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」、『18～19 歳』で「障害のある人の地域活動への参加機会の促進」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」「障害に関する講演会や学習会の開催」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」「福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進」「障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動」の割合が高くなっています。

		調査数	障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動	障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進	学校における福祉教育の充実	障害に関する講演会や学習会の開催	障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供	福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進	障害のある人の地域活動への参加機会の促進	障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援	その他	わからない	無回答
全　体		1,461	28.5	22.7	25.0	5.5	20.4	8.3	10.5	13.6	3.1	28.8	8.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	25.9	25.9	37.0	11.1	33.3	7.4	25.9	11.1	11.1	14.8	7.4
	20～29歳	164	34.1	27.4	34.1	6.7	29.9	7.9	9.8	18.3	3.0	25.6	3.0
	30～39歳	195	31.3	27.7	29.7	6.7	32.3	12.3	14.9	11.8	1.0	24.6	4.1
	40～49歳	185	25.4	24.9	25.4	2.2	27.0	8.1	11.9	16.2	3.8	26.5	6.5
	50～59歳	229	24.5	25.8	27.5	7.0	20.5	7.9	8.3	11.4	2.6	32.8	7.0
	60～64歳	109	32.1	26.6	35.8	4.6	16.5	4.6	9.2	14.7	5.5	24.8	3.7
	65～69歳	91	26.4	18.7	15.4	4.4	17.6	4.4	14.3	17.6	3.3	34.1	5.5
	70歳以上	444	28.4	16.4	17.1	5.4	9.2	8.8	8.3	11.5	2.7	32.2	16.2
世帯構成	ひとり暮らし	274	25.9	15.7	18.2	5.5	16.8	8.8	9.9	11.7	5.5	33.2	12.0
	核家族世帯	695	29.4	25.3	29.4	4.9	23.7	8.1	11.4	14.8	2.7	27.2	6.9
	三世代世帯	32	28.1	37.5	21.9	18.8	28.1	6.3	12.5	6.3	3.1	31.3	3.1
	その他の世帯	436	29.1	22.0	22.9	5.5	16.7	8.7	9.6	13.3	2.1	28.7	9.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	29.9	22.7	21.5	6.4	18.7	7.8	9.4	11.8	3.0	29.7	9.8
	障害者手帳所持者がいる	227	30.8	31.3	25.1	4.4	22.5	14.1	11.9	15.9	3.1	28.6	6.2
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	23.5	23.5	35.3	5.9	29.4	11.8	20.6	11.8	2.9	20.6	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	25.3	28.0	26.7	4.0	24.0	8.0	8.0	14.7	1.3	28.0	13.3
	あてはまらない	320	30.0	23.4	34.7	4.4	25.0	7.8	11.6	14.1	1.6	26.3	4.7
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	18～39歳	58	27.6	25.9	29.3	6.9	20.7	12.1	12.1	12.1	1.7	31.0	3.4
	40～59歳	309	28.8	25.2	28.8	4.2	24.6	9.1	13.3	17.8	2.6	25.2	6.8
	60歳代	213	32.4	25.4	26.3	6.6	17.4	7.5	12.7	14.1	3.3	25.8	7.5
	70歳代	146	29.5	22.6	23.3	8.2	19.2	6.8	7.5	15.1	4.1	25.3	9.6
	80歳以上	120	25.8	19.2	10.8	4.2	11.7	4.2	5.8	10.0	3.3	40.0	12.5
	わからない	105	25.7	22.9	19.0	5.7	21.0	14.3	7.6	21.9	2.9	33.3	9.5
生活困窮	ゆとりがある	113	22.1	21.2	22.1	7.1	21.2	8.0	10.6	13.3	1.8	31.0	10.6
	まあまあゆとりがある	610	30.0	23.9	24.9	4.9	19.7	7.4	11.3	13.9	2.6	30.0	8.2
	やや苦しい	538	28.4	22.7	27.1	6.7	20.4	10.6	10.4	14.7	3.2	25.8	8.4
	不自由が多く、生活が苦しい	135	32.6	23.7	23.0	3.7	22.2	3.0	7.4	9.6	6.7	31.1	6.7
サービス	利用している	500	31.0	27.6	26.4	7.6	24.8	12.4	13.0	19.8	3.0	23.2	6.6
	利用していない	863	28.9	21.0	25.4	4.6	19.2	6.3	9.7	10.8	3.4	32.8	5.9
障害に気づいた時期	１年未満	39	17.9	12.8	23.1	2.6	12.8	7.7	15.4	12.8	2.6	30.8	20.5
	１年以上、３年未満	74	23.0	17.6	24.3	9.5	20.3	9.5	6.8	16.2	1.4	29.7	10.8
	３年以上、５年未満	89	21.3	24.7	22.5	11.2	21.3	10.1	5.6	14.6	2.2	33.7	5.6
	５年以上、10年未満	209	28.2	22.0	26.8	5.7	17.7	9.1	15.3	11.5	3.8	26.3	8.6
	10年以上	917	31.4	25.0	26.0	4.6	22.0	8.5	10.5	14.2	2.8	27.8	6.8
	わからない	56	14.3	8.9	17.9	7.1	19.6	5.4	5.4	14.3	3.6	44.6	14.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	26.7	20.3	20.6	6.4	19.0	8.0	9.1	15.8	3.7	29.7	10.7
	視覚障害がある	28	17.9	17.9	14.3	3.6	3.6	7.1	10.7	10.7	3.6	35.7	17.9
	聴覚障害がある	69	37.7	18.8	15.9	5.8	10.1	5.8	8.7	10.1	2.9	29.0	15.9

問　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。【○はそれぞれに１つずつ】

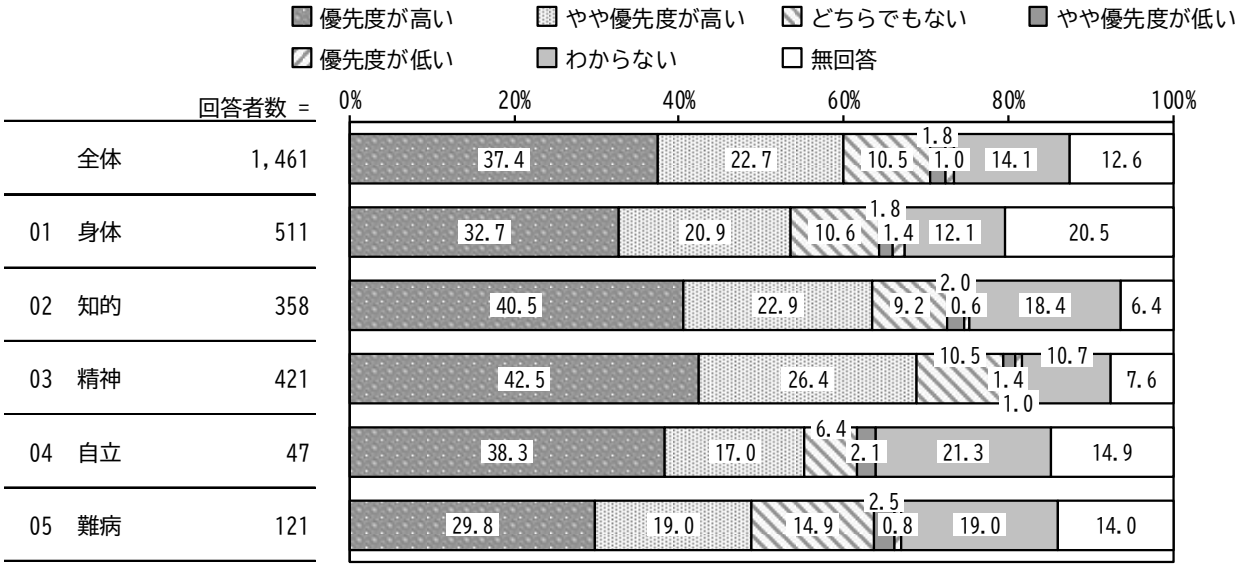
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	72	72	75	74	73	74

①　障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 60.1%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 2.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“優先度が高い”の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

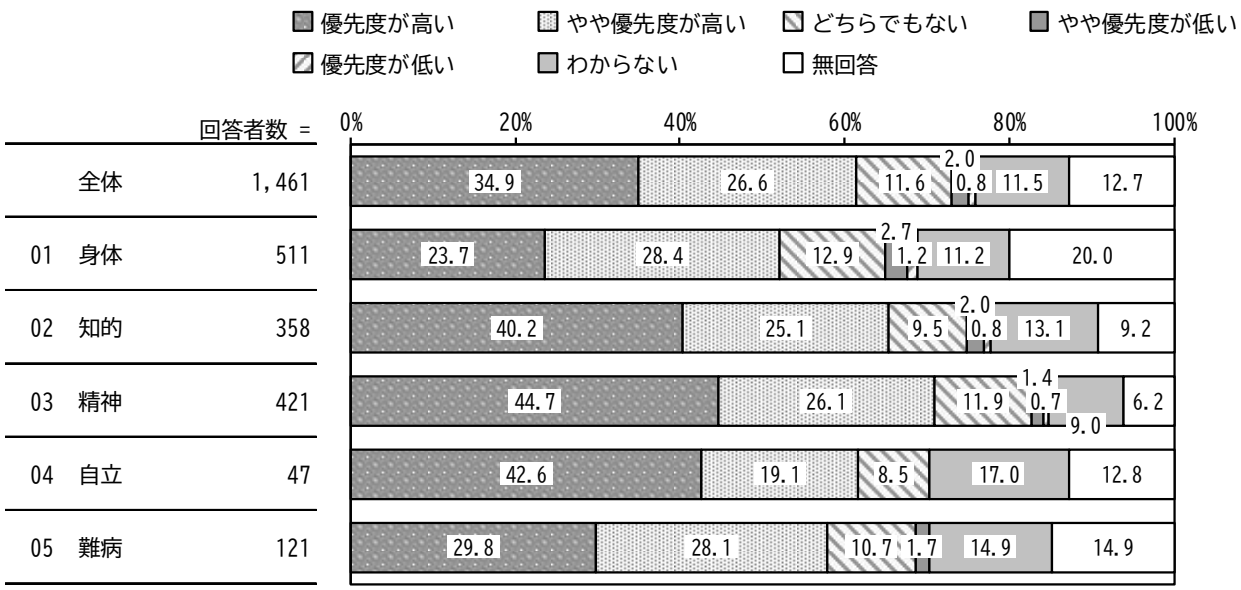
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	37.4	22.7	10.5	1.8	1.0	14.1	12.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	51.9	29.6	14.8	0.0	0.0	0.0	3.7
	20～29歳	164	48.8	26.2	7.3	1.2	0.6	12.2	3.7
	30～39歳	195	42.6	25.1	10.3	2.6	0.5	15.4	3.6
	40～49歳	185	36.2	22.2	12.4	1.6	1.1	17.8	8.6
	50～59歳	229	41.5	24.0	13.1	0.9	1.3	11.4	7.9
	60～64歳	109	38.5	27.5	11.0	0.9	0.9	13.8	7.3
	65～69歳	91	45.1	18.7	14.3	2.2	0.0	16.5	3.3
	70歳以上	444	27.0	19.1	8.6	2.5	1.4	14.4	27.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	36.1	18.2	12.8	1.1	1.1	16.1	14.6
	核家族世帯	695	40.4	23.2	9.4	1.6	0.6	13.7	11.2
	三世代世帯	32	40.6	28.1	6.3	3.1	3.1	12.5	6.3
	その他の世帯	436	34.2	24.3	11.2	2.3	1.4	13.3	13.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	37.8	21.9	9.6	1.8	0.6	14.1	14.1
	障害者手帳所持者がいる	227	37.4	24.7	10.6	1.3	1.3	15.0	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	26.5	20.6	17.6	2.9	2.9	14.7	14.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	49.3	10.7	8.0	0.0	2.7	10.7	18.7
	あてはまらない	320	43.1	23.8	8.4	2.2	0.6	14.1	7.8
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	36.2	24.1	8.6	0.0	1.7	17.2	12.1
	40～59歳	309	39.8	27.2	10.0	1.0	0.6	13.3	8.1
	60歳代	213	45.5	19.7	11.7	1.4	0.5	13.1	8.0
	70歳代	146	32.2	25.3	11.0	2.7	0.0	15.1	13.7
	80歳以上	120	32.5	17.5	6.7	5.0	1.7	15.0	21.7
	わからない	105	33.3	23.8	11.4	1.0	2.9	15.2	12.4
生活困窮	ゆとりがある	113	41.6	22.1	6.2	1.8	0.0	14.2	14.2
	まあまあゆとりがある	610	37.9	21.1	11.3	1.8	0.5	15.1	12.3
	やや苦しい	538	36.8	26.2	10.6	1.9	1.1	12.1	11.3
	不自由が多く、生活が苦しい	135	36.3	18.5	9.6	1.5	3.7	18.5	11.9
サービス	利用している	500	41.4	26.2	9.0	1.6	0.8	11.6	9.4
	利用していない	863	37.2	21.9	12.2	1.7	0.8	15.9	10.3
障害に気づいた時期	１年未満	39	28.2	15.4	5.1	2.6	0.0	20.5	28.2
	１年以上、３年未満	74	35.1	24.3	8.1	2.7	0.0	13.5	16.2
	３年以上、５年未満	89	38.2	20.2	12.4	3.4	0.0	9.0	16.9
	５年以上、10年未満	209	37.3	19.1	14.4	1.4	1.4	15.8	10.5
	10年以上	917	40.2	24.2	9.9	1.4	1.1	13.5	9.6
	わからない	56	30.4	14.3	10.7	0.0	0.0	26.8	17.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	31.8	22.2	11.2	2.1	1.1	14.2	17.4
	視覚障害がある	28	39.3	25.0	0.0	0.0	3.6	3.6	28.6
	聴覚障害がある	69	29.0	17.4	8.7	1.4	2.9	13.0	27.5

② 障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 61.5%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 2.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

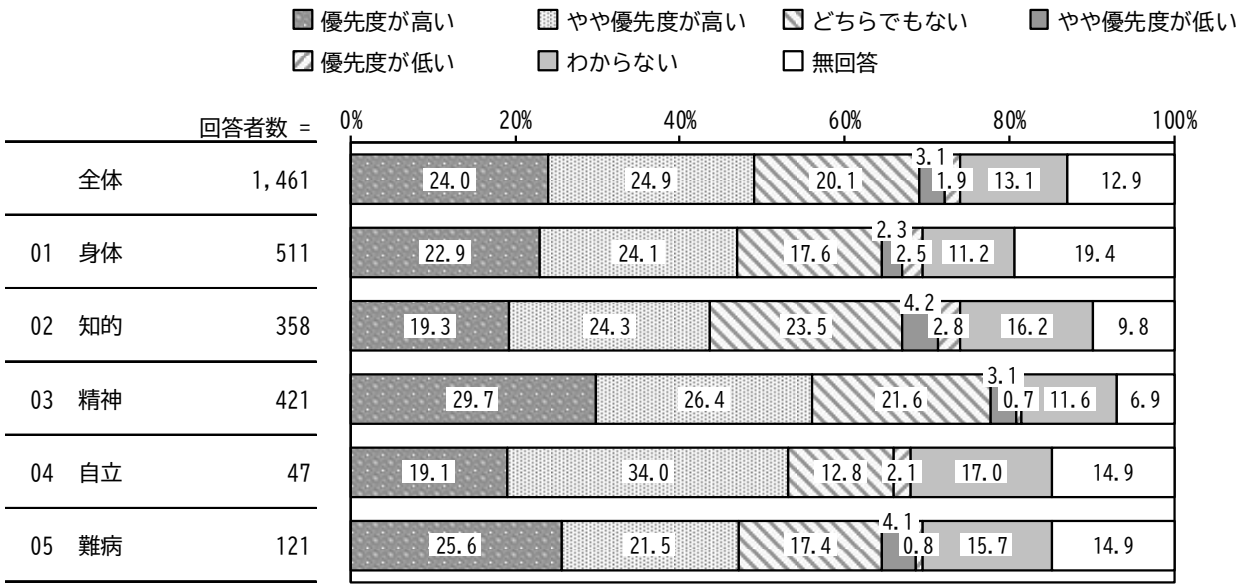
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	34.9	26.6	11.6	2.0	0.8	11.5	12.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	63.0	18.5	14.8	0.0	0.0	0.0	3.7
	20～29歳	164	50.6	26.2	9.1	1.8	0.0	9.1	3.0
	30～39歳	195	42.1	28.7	11.3	0.5	0.5	12.3	4.6
	40～49歳	185	34.1	29.7	10.8	2.2	0.5	13.0	9.7
	50～59歳	229	36.7	30.6	13.1	2.2	0.9	9.2	7.4
	60～64歳	109	41.3	25.7	13.8	0.0	2.8	9.2	7.3
	65～69歳	91	36.3	28.6	13.2	3.3	0.0	13.2	5.5
	70歳以上	444	22.1	22.7	11.5	2.9	1.1	13.5	26.1
世帯構成	ひとり暮らし	274	35.8	21.5	10.6	2.6	1.5	13.5	14.6
	核家族世帯	695	39.9	25.9	10.4	1.7	0.3	11.1	10.8
	三世代世帯	32	37.5	31.3	15.6	3.1	0.0	6.3	6.3
	その他の世帯	436	27.1	30.7	14.2	1.8	1.4	11.0	13.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	34.7	26.1	10.2	2.4	0.6	11.8	14.3
	障害者手帳所持者がいる	227	35.7	24.7	15.4	0.9	1.3	11.9	10.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	20.6	38.2	17.6	0.0	0.0	14.7	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	29.3	28.0	12.0	0.0	1.3	10.7	18.7
	あてはまらない	320	40.3	29.4	10.6	1.6	0.3	10.9	6.9
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	34.5	27.6	13.8	0.0	0.0	15.5	8.6
	40～59歳	309	36.9	32.4	11.7	1.3	0.3	10.0	7.4
	60歳代	213	44.1	21.6	13.6	0.5	0.5	10.3	9.4
	70歳代	146	30.1	33.6	7.5	3.4	0.7	13.7	11.0
	80歳以上	120	24.2	21.7	11.7	5.8	0.0	14.2	22.5
	わからない	105	35.2	21.9	9.5	3.8	1.9	13.3	14.3
生活困窮	ゆとりがある	113	41.6	23.9	7.1	0.0	0.0	10.6	16.8
	まあまあゆとりがある	610	33.4	27.4	11.0	1.8	0.5	13.8	12.1
	やや苦しい	538	35.3	27.7	13.9	2.2	0.7	8.7	11.3
	不自由が多く、生活が苦しい	135	36.3	20.0	11.1	3.7	3.7	14.1	11.1
サービス	利用している	500	41.8	28.6	8.4	2.0	0.4	8.8	10.0
	利用していない	863	32.7	27.2	13.9	1.9	0.8	13.4	10.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	30.8	15.4	5.1	0.0	0.0	20.5	28.2
	１年以上、３年未満	74	36.5	17.6	14.9	4.1	0.0	10.8	16.2
	３年以上、５年未満	89	32.6	30.3	10.1	2.2	0.0	9.0	15.7
	５年以上、10年未満	209	34.0	26.8	14.8	1.9	1.0	12.0	9.6
	10年以上	917	36.3	28.5	11.1	1.9	0.9	11.2	10.1
	わからない	56	35.7	17.9	8.9	0.0	0.0	14.3	23.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	31.3	24.9	12.0	2.7	1.1	10.2	17.9
	視覚障害がある	28	21.4	39.3	3.6	3.6	7.1	7.1	17.9
	聴覚障害がある	69	18.8	23.2	11.6	2.9	1.4	13.0	29.0

③　市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 48.9%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 5.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』、『病気などの理由で不自由な方がいる』で「優先度が高い」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「どちらでもない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「どちらでもない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』、『１年以上、３年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

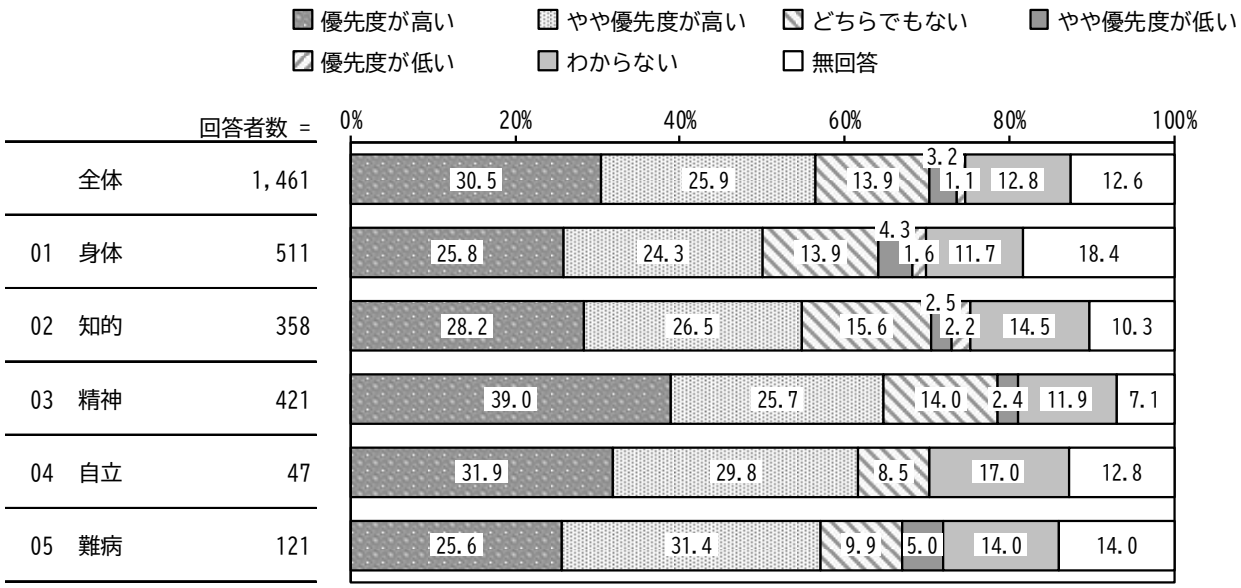
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	24.0	24.9	20.1	3.1	1.9	13.1	12.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	48.1	18.5	11.1	0.0	3.7	11.1	7.4
	20～29歳	164	19.5	30.5	28.7	2.4	3.7	11.6	3.7
	30～39歳	195	25.6	27.7	22.1	3.6	1.5	14.9	4.6
	40～49歳	185	23.2	23.2	23.2	2.7	1.6	15.1	10.8
	50～59歳	229	28.4	19.2	26.2	4.4	1.3	12.2	8.3
	60～64歳	109	27.5	26.6	19.3	4.6	1.8	12.8	7.3
	65～69歳	91	30.8	28.6	19.8	3.3	0.0	13.2	4.4
	70歳以上	444	19.1	24.3	13.1	2.5	2.3	12.8	25.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	26.3	23.7	18.2	2.2	1.5	14.6	13.5
	核家族世帯	695	24.0	24.3	22.0	3.3	1.7	13.4	11.2
	三世代世帯	32	37.5	28.1	15.6	3.1	3.1	6.3	6.3
	その他の世帯	436	21.8	26.6	19.3	3.0	2.5	12.4	14.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	22.5	27.7	17.1	3.2	2.0	13.3	14.1
	障害者手帳所持者がいる	227	22.0	24.7	20.3	4.8	3.1	13.7	11.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	29.4	17.6	26.5	2.9	0.0	14.7	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	30.7	16.0	18.7	5.3	2.7	10.7	16.0
	あてはまらない	320	28.1	22.5	23.4	2.5	2.2	13.4	7.8
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	29.3	19.0	15.5	1.7	8.6	13.8	12.1
	40～59歳	309	21.0	25.2	29.1	2.3	1.3	12.6	8.4
	60歳代	213	27.7	30.0	20.7	1.4	1.4	11.3	7.5
	70歳代	146	24.7	28.1	13.7	4.8	2.1	14.4	12.3
	80歳以上	120	19.2	25.0	10.8	2.5	1.7	16.7	24.2
	わからない	105	18.1	21.9	22.9	2.9	2.9	19.0	12.4
生活困窮	ゆとりがある	113	28.3	20.4	18.6	1.8	1.8	12.4	16.8
	まあまあゆとりがある	610	22.1	26.4	21.1	3.1	2.0	13.4	11.8
	やや苦しい	538	24.0	27.0	20.4	2.6	1.5	11.7	12.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	25.2	17.8	18.5	5.2	4.4	17.0	11.9
サービス	利用している	500	23.2	29.4	19.8	3.8	1.8	11.8	10.2
	利用していない	863	26.0	23.8	21.4	2.7	2.0	14.1	10.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	28.2	12.8	12.8	2.6	2.6	17.9	23.1
	１年以上、３年未満	74	20.3	21.6	25.7	1.4	2.7	14.9	13.5
	３年以上、５年未満	89	22.5	28.1	21.3	2.2	1.1	9.0	15.7
	５年以上、10年未満	209	23.4	25.4	21.5	4.3	1.9	12.9	10.5
	10年以上	917	24.5	26.2	20.0	3.1	2.0	13.5	10.8
	わからない	56	21.4	26.8	14.3	1.8	0.0	14.3	21.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	19.3	25.7	19.5	2.9	1.9	12.6	18.2
	視覚障害がある	28	35.7	17.9	17.9	0.0	7.1	3.6	17.9
	聴覚障害がある	69	11.6	27.5	14.5	0.0	2.9	17.4	26.1

④　障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 56.4%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 4.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「やや優先度が高い」「どちらでもない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「どちらでもない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

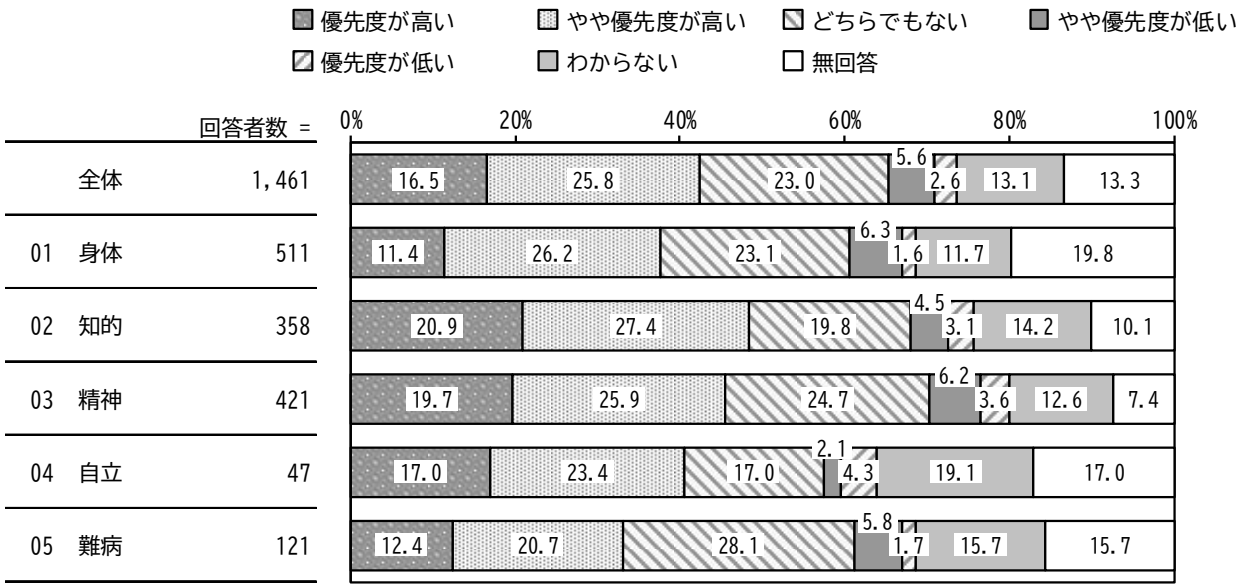
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	30.5	25.9	13.9	3.2	1.1	12.8	12.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	33.3	25.9	22.2	3.7	0.0	11.1	3.7
	20～29歳	164	36.0	31.1	15.2	1.8	0.6	12.2	3.0
	30～39歳	195	33.8	25.6	15.9	2.1	1.5	15.9	5.1
	40～49歳	185	27.6	30.3	13.5	4.3	1.1	11.9	11.4
	50～59歳	229	33.6	24.9	19.2	3.1	0.9	10.5	7.9
	60～64歳	109	39.4	25.7	11.0	1.8	1.8	11.9	8.3
	65～69歳	91	28.6	33.0	16.5	4.4	0.0	12.1	5.5
	70歳以上	444	24.3	22.1	9.9	4.1	1.4	13.7	24.5
世帯構成	ひとり暮らし	274	33.6	21.2	12.4	2.2	1.5	15.0	14.2
	核家族世帯	695	30.6	27.1	14.8	3.3	0.7	12.5	10.9
	三世代世帯	32	53.1	15.6	12.5	3.1	0.0	9.4	6.3
	その他の世帯	436	26.6	28.2	14.0	3.9	1.6	12.2	13.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	29.9	25.9	12.5	3.6	1.0	12.4	14.7
	障害者手帳所持者がいる	227	29.1	27.3	15.0	2.6	2.2	12.8	11.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	20.6	32.4	23.5	2.9	0.0	11.8	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	34.7	18.7	12.0	4.0	1.3	12.0	17.3
	あてはまらない	320	30.6	29.7	15.0	4.1	1.3	12.5	6.9
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	31.0	29.3	8.6	6.9	0.0	13.8	10.3
	40～59歳	309	30.1	28.2	18.1	2.9	1.0	11.7	8.1
	60歳代	213	32.9	29.1	16.4	1.4	0.5	12.7	7.0
	70歳代	146	28.8	29.5	12.3	3.4	0.7	13.0	12.3
	80歳以上	120	23.3	23.3	7.5	5.8	1.7	14.2	24.2
	わからない	105	27.6	27.6	12.4	0.0	1.9	19.0	11.4
生活困窮	ゆとりがある	113	37.2	17.7	12.4	1.8	1.8	14.2	15.0
	まあまあゆとりがある	610	27.7	30.3	12.6	2.8	1.3	13.6	11.6
	やや苦しい	538	31.6	25.7	16.5	3.3	0.4	10.4	12.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	31.1	16.3	14.1	6.7	3.0	17.0	11.9
サービス	利用している	500	31.2	27.6	16.0	2.8	1.2	11.2	10.0
	利用していない	863	31.6	26.7	13.6	3.4	0.9	13.9	10.0
障害に気づいた時期	１年未満	39	28.2	12.8	5.1	10.3	0.0	17.9	25.6
	１年以上、３年未満	74	24.3	24.3	18.9	1.4	2.7	14.9	13.5
	３年以上、５年未満	89	29.2	28.1	16.9	5.6	0.0	6.7	13.5
	５年以上、10年未満	209	28.2	27.3	15.8	3.8	1.0	13.9	10.0
	10年以上	917	32.3	26.7	13.5	2.9	1.3	12.9	10.4
	わからない	56	30.4	21.4	8.9	1.8	0.0	14.3	23.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	25.9	23.3	16.8	3.2	1.3	11.2	18.2
	視覚障害がある	28	32.1	28.6	7.1	0.0	3.6	7.1	21.4
	聴覚障害がある	69	21.7	20.3	10.1	2.9	0.0	18.8	26.1

⑤　一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 42.3%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 8.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「優先度が高い」「どちらでもない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、全体に比べ、『60 歳代』で“優先度が高い”、『18～39 歳』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で“優先度が高い”、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

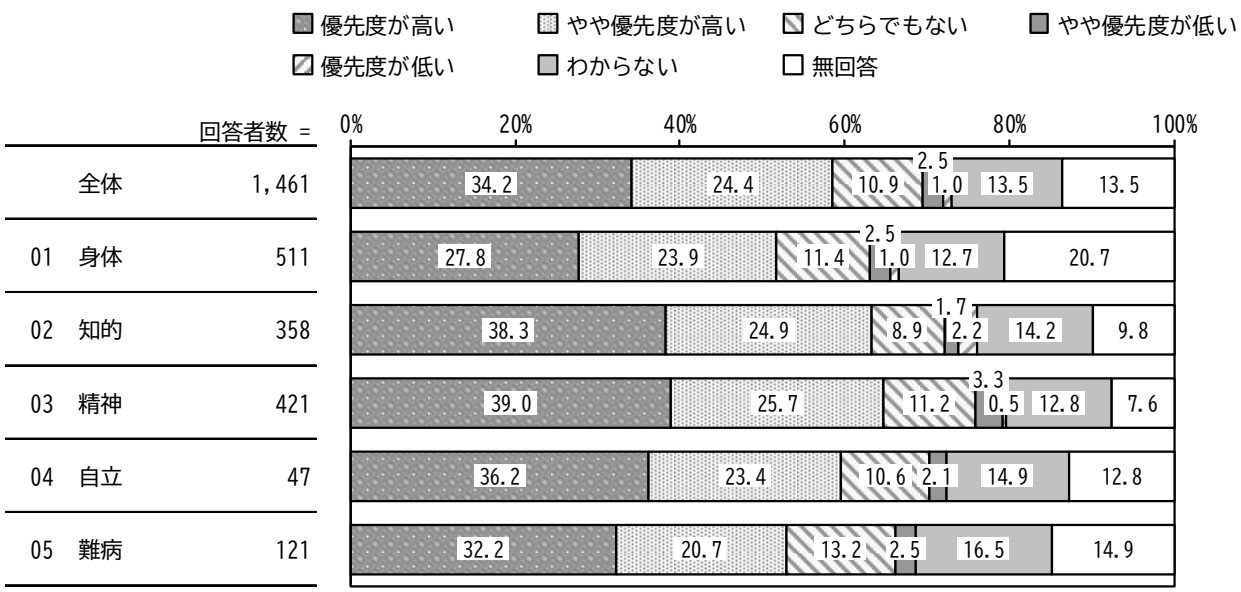
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	16.5	25.8	23.0	5.6	2.6	13.1	13.3
本人の年齢	18～19歳	27	25.9	29.6	25.9	7.4	3.7	3.7	3.7
	20～29歳	164	23.8	24.4	25.0	5.5	3.7	13.4	4.3
	30～39歳	195	22.1	29.2	16.9	7.7	3.6	15.4	5.1
	40～49歳	185	17.3	23.8	23.8	6.5	1.6	16.2	10.8
	50～59歳	229	15.7	26.2	30.1	4.4	5.2	9.6	8.7
	60～64歳	109	18.3	32.1	22.9	3.7	3.7	11.0	8.3
	65～69歳	91	13.2	28.6	33.0	6.6	1.1	13.2	4.4
	70歳以上	444	11.0	23.4	19.4	5.4	0.7	13.7	26.4
世帯構成	ひとり暮らし	274	14.2	24.5	23.0	5.5	2.2	15.0	15.7
	核家族世帯	695	18.6	26.9	22.2	5.9	2.7	12.4	11.4
	三世代世帯	32	21.9	25.0	28.1	6.3	3.1	9.4	6.3
	その他の世帯	436	14.2	25.5	24.8	5.5	2.3	13.5	14.2
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	16.9	26.3	22.7	4.6	2.0	12.7	14.7
	障害者手帳所持者がいる	227	18.1	25.6	23.3	4.0	3.5	14.1	11.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	8.8	23.5	32.4	11.8	0.0	14.7	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	16.0	25.3	20.0	5.3	4.0	12.0	17.3
	あてはまらない	320	17.5	26.6	23.1	7.8	3.8	13.8	7.5
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	19.0	25.9	19.0	6.9	10.3	8.6	10.3
	40～59歳	309	17.2	25.2	28.5	6.1	2.3	12.3	8.4
	60歳代	213	20.7	28.6	23.0	3.3	2.3	13.1	8.9
	70歳代	146	15.1	28.1	23.3	8.9	0.7	12.3	11.6
	80歳以上	120	9.2	25.0	17.5	5.8	1.7	15.0	25.8
	わからない	105	16.2	20.0	29.5	3.8	1.0	16.2	13.3
生活困窮	ゆとりがある	113	23.0	24.8	20.4	2.7	2.7	12.4	14.2
	まあまあゆとりがある	610	14.6	26.4	23.6	5.9	2.1	14.6	12.8
	やや苦しい	538	16.4	28.3	24.7	4.6	2.4	10.8	12.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	18.5	17.8	18.5	10.4	5.2	17.0	12.6
サービス	利用している	500	20.2	29.6	20.6	6.0	2.2	10.6	10.8
	利用していない	863	15.2	25.0	25.7	5.3	2.9	15.2	10.7
障害に気づいた時期	１年未満	39	15.4	20.5	12.8	5.1	0.0	17.9	28.2
	１年以上、３年未満	74	10.8	28.4	20.3	9.5	4.1	13.5	13.5
	３年以上、５年未満	89	21.3	20.2	29.2	5.6	2.2	7.9	13.5
	５年以上、10年未満	209	14.4	24.9	24.4	8.1	3.8	13.4	11.0
	10年以上	917	17.9	26.8	23.7	5.2	2.2	13.2	11.0
	わからない	56	17.9	17.9	16.1	3.6	5.4	17.9	21.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	13.9	28.9	18.2	6.4	1.9	12.6	18.2
	視覚障害がある	28	10.7	21.4	32.1	10.7	3.6	3.6	17.9
	聴覚障害がある	69	13.0	20.3	15.9	8.7	0.0	14.5	27.5

⑥　障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 58.6%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 3.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『病気などの理由で不自由な方がいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『18～39 歳』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

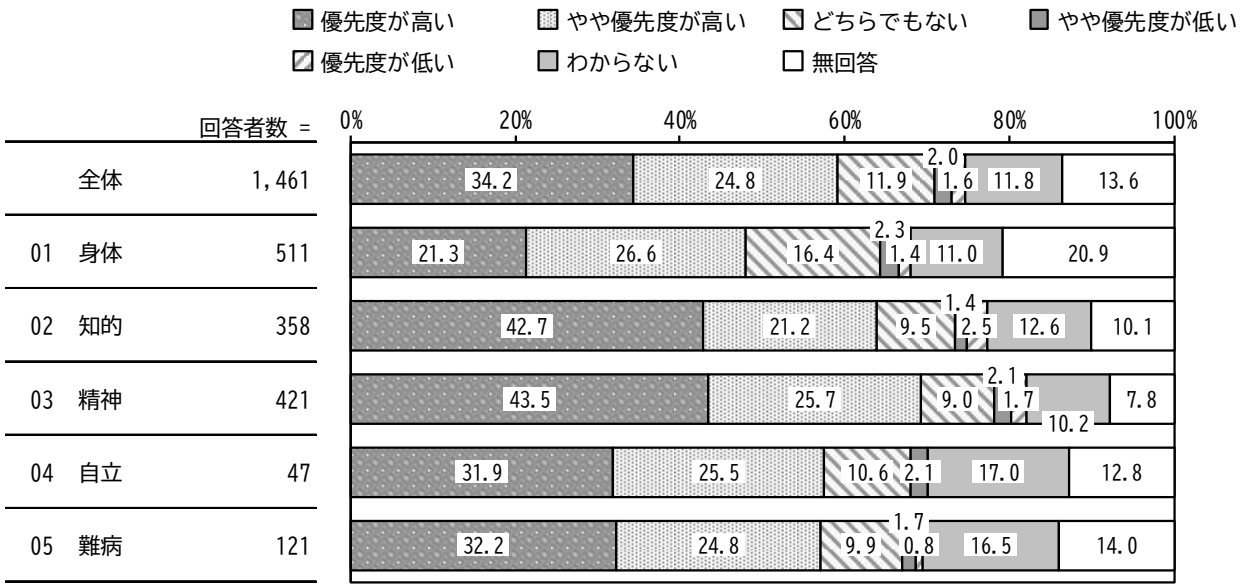
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	34.2	24.4	10.9	2.5	1.0	13.5	13.5 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	51.9	18.5	18.5	0.0	0.0	7.4	3.7
	20～29歳	164	47.0	29.9	8.5	1.8	0.6	9.8	2.4
	30～39歳	195	39.0	26.7	11.3	1.5	2.1	14.4	5.1
	40～49歳	185	33.0	30.3	7.0	2.2	0.5	15.7	11.4
	50～59歳	229	38.4	20.5	15.7	3.5	2.2	11.8	7.9
	60～64歳	109	40.4	24.8	10.1	0.9	1.8	11.9	10.1
	65～69歳	91	33.0	28.6	15.4	4.4	1.1	14.3	3.3
	70歳以上	444	23.9	20.5	9.5	3.2	0.2	15.1	27.7
世帯構成	ひとり暮らし	274	33.9	18.2	13.5	2.9	0.7	15.7	15.0
	核家族世帯	695	37.6	26.0	9.9	2.2	1.0	12.4	10.9
	三世代世帯	32	37.5	31.3	18.8	0.0	0.0	6.3	6.3
	その他の世帯	436	29.6	25.2	10.6	3.0	1.1	14.4	16.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	32.1	24.7	10.8	3.0	0.6	13.3	15.5
	障害者手帳所持者がいる	227	35.7	22.0	12.3	1.8	2.2	14.1	11.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	41.2	26.5	8.8	2.9	0.0	11.8	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	26.7	20.0	13.3	6.7	1.3	13.3	18.7
	あてはまらない	320	39.7	27.2	10.0	2.2	1.3	12.8	6.9
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	41.4	19.0	6.9	3.4	1.7	15.5	12.1
	40～59歳	309	33.7	28.8	13.9	1.9	1.3	12.6	7.8
	60歳代	213	34.3	30.5	9.9	1.9	0.9	13.6	8.9
	70歳代	146	32.9	34.9	6.8	2.1	0.7	11.0	11.6
	80歳以上	120	24.2	18.3	8.3	5.0	1.7	15.0	27.5
	わからない	105	36.2	18.1	8.6	1.0	1.0	20.0	15.2
生活困窮	ゆとりがある	113	37.2	23.0	7.1	1.8	0.9	13.3	16.8
	まあまあゆとりがある	610	32.3	27.2	11.1	1.8	1.0	13.8	12.8
	やや苦しい	538	37.7	23.6	10.6	3.2	0.7	11.3	12.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	28.1	19.3	11.1	4.4	2.2	22.2	12.6
サービス	利用している	500	36.2	27.2	10.6	2.0	1.4	12.0	10.6
	利用していない	863	35.1	24.4	11.6	2.7	0.8	14.8	10.5
障害に気づいた時期	１年未満	39	20.5	20.5	10.3	2.6	0.0	17.9	28.2
	１年以上、３年未満	74	33.8	20.3	9.5	4.1	1.4	17.6	13.5
	３年以上、５年未満	89	34.8	21.3	15.7	3.4	0.0	10.1	14.6
	５年以上、10年未満	209	29.2	29.2	13.4	2.9	1.0	13.9	10.5
	10年以上	917	37.0	25.6	9.5	2.2	1.2	13.2	11.3
	わからない	56	32.1	8.9	17.9	1.8	0.0	16.1	23.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	27.5	23.5	13.4	3.2	1.1	13.6	17.6
	視覚障害がある	28	25.0	25.0	14.3	0.0	3.6	10.7	21.4
	聴覚障害がある	69	24.6	13.0	15.9	1.4	1.4	15.9	27.5

⑦　障害のある方が働くための機会を創出すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 59.0%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 3.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、年齢が下がるほど「優先度が高い」の割合が高く、『17 歳以下』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「やや優先度が高い」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

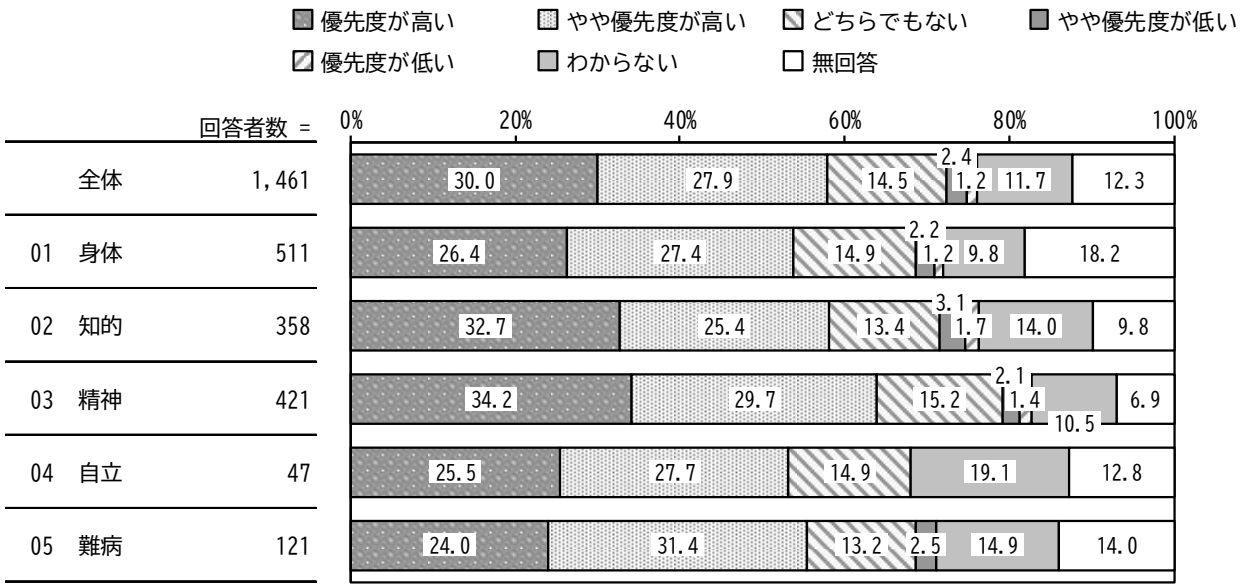
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	34.2	24.8	11.9	2.0	1.6	11.8	13.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	55.6	25.9	11.1	0.0	3.7	0.0	3.7
	20～29歳	164	54.3	22.0	7.9	1.8	0.6	9.1	4.3
	30～39歳	195	48.7	21.0	8.7	1.5	1.5	12.3	6.2
	40～49歳	185	38.4	27.0	8.6	1.6	1.6	13.0	9.7
	50～59歳	229	36.7	24.5	14.0	1.7	3.1	11.4	8.7
	60～64歳	109	33.0	39.4	7.3	0.9	2.8	8.3	8.3
	65～69歳	91	27.5	30.8	20.9	2.2	2.2	11.0	5.5
	70歳以上	444	18.2	21.8	14.9	2.9	0.9	14.0	27.3
世帯構成	ひとり暮らし	274	31.4	23.0	10.2	3.3	1.8	15.0	15.3
	核家族世帯	695	40.3	24.9	10.4	1.7	1.4	10.2	11.1
	三世代世帯	32	53.1	18.8	12.5	0.0	0.0	6.3	9.4
	その他の世帯	436	25.5	26.4	16.1	1.6	2.1	12.6	15.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	32.3	24.9	11.8	1.4	1.6	11.6	16.5
	障害者手帳所持者がいる	227	35.2	20.3	17.2	0.4	2.6	12.3	11.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	29.4	32.4	11.8	5.9	0.0	11.8	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	34.7	20.0	12.0	1.3	1.3	10.7	20.0
	あてはまらない	320	41.6	26.9	10.6	1.6	2.2	10.6	6.6
介助者の年齢	17歳以下	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	41.4	19.0	6.9	5.2	0.0	13.8	13.8
	40～59歳	309	37.5	25.6	12.3	1.9	1.9	11.3	9.4
	60歳代	213	33.8	30.5	14.1	0.5	0.5	12.2	8.5
	70歳代	146	32.2	30.8	11.0	1.4	2.7	10.3	11.6
	80歳以上	120	20.8	19.2	13.3	4.2	1.7	13.3	27.5
	わからない	105	35.2	21.9	9.5	1.0	1.0	17.1	14.3
生活困窮	ゆとりがある	113	38.1	19.5	9.7	1.8	1.8	12.4	16.8
	まあまあゆとりがある	610	31.8	27.2	12.6	1.5	1.3	12.8	12.8
	やや苦しい	538	35.9	25.5	12.5	2.6	1.5	9.5	12.6
	不自由が多く、生活が苦しい	135	37.8	16.3	8.9	2.2	4.4	16.3	14.1
サービス	利用している	500	40.6	23.8	10.6	2.6	1.0	10.0	11.4
	利用していない	863	32.7	27.3	13.2	1.4	1.9	13.2	10.3
障害に気づいた時期	１年未満	39	28.2	17.9	7.7	0.0	2.6	15.4	28.2
	１年以上、３年未満	74	32.4	24.3	13.5	1.4	0.0	13.5	14.9
	３年以上、５年未満	89	36.0	20.2	16.9	1.1	0.0	9.0	16.9
	５年以上、10年未満	209	28.7	30.6	13.4	3.8	1.4	11.5	10.5
	10年以上	917	36.3	26.0	11.2	1.7	2.0	11.7	11.1
	わからない	56	35.7	12.5	7.1	3.6	0.0	17.9	23.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	25.9	23.3	14.2	2.4	1.9	13.1	19.3
	視覚障害がある	28	14.3	32.1	25.0	0.0	7.1	3.6	17.9
	聴覚障害がある	69	18.8	18.8	14.5	4.3	0.0	15.9	27.5

⑧　障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 57.9%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 3.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『20～29 歳』、『60～64 歳』、『65～69 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「やや優先度が高い」「どちらでもない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『17 歳以下』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』、『１年以上、３年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

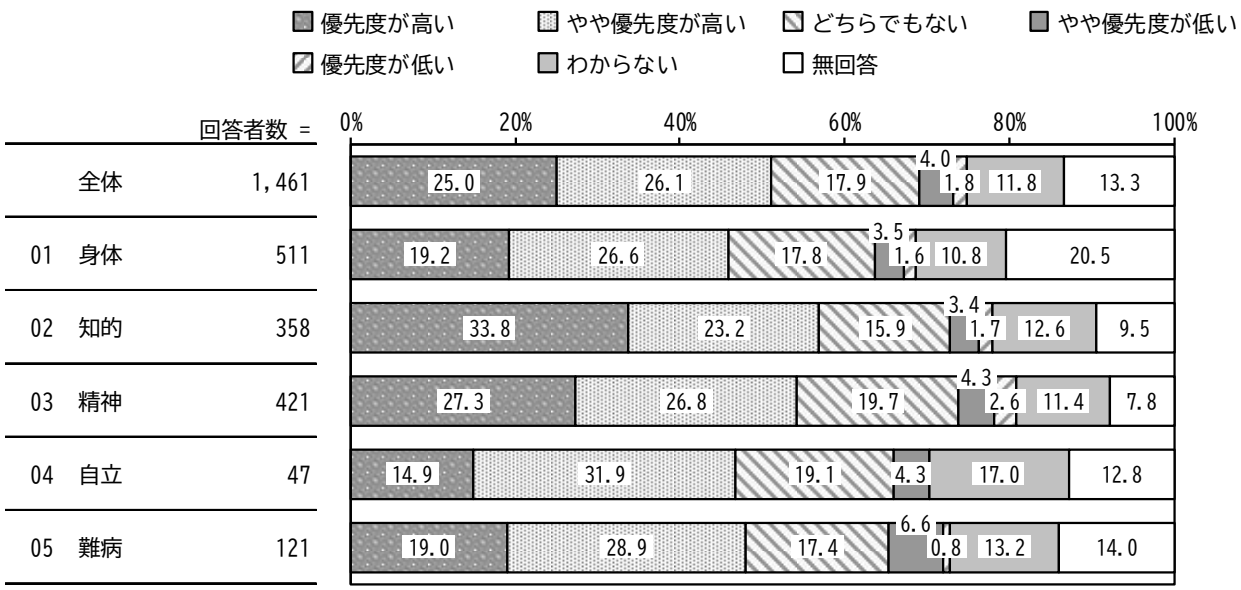
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	30.0	27.9	14.5	2.4	1.2	11.7	12.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	40.7	22.2	25.9	0.0	0.0	7.4	3.7
	20～29歳	164	39.0	29.9	11.0	3.7	0.0	12.2	4.3
	30～39歳	195	28.2	30.8	16.9	4.1	1.0	14.4	4.6
	40～49歳	185	26.5	29.7	15.7	2.2	1.6	14.6	9.7
	50～59歳	229	32.3	25.3	22.3	0.9	2.2	9.6	7.4
	60～64歳	109	30.3	36.7	11.9	0.9	1.8	10.1	8.3
	65～69歳	91	37.4	30.8	15.4	2.2	2.2	8.8	3.3
	70歳以上	444	25.7	24.1	10.4	2.7	0.9	11.5	24.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	32.8	23.4	13.1	1.8	1.8	12.4	14.6
	核家族世帯	695	30.8	29.5	15.0	2.3	0.7	11.5	10.2
	三世代世帯	32	28.1	34.4	21.9	3.1	0.0	6.3	6.3
	その他の世帯	436	27.3	28.0	14.7	2.8	1.8	11.9	13.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	29.1	28.7	12.9	1.8	1.8	11.8	13.9
	障害者手帳所持者がいる	227	32.6	22.9	16.7	2.6	2.2	13.2	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	17.6	29.4	32.4	0.0	0.0	11.8	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	34.7	18.7	17.3	1.3	1.3	10.7	16.0
	あてはまらない	320	31.9	30.9	14.1	3.4	0.6	12.2	6.9
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	29.3	25.9	13.8	5.2	0.0	15.5	10.3
	40～59歳	309	33.0	28.5	17.2	2.3	0.6	10.7	7.8
	60歳代	213	32.9	31.0	17.4	0.0	1.4	9.4	8.0
	70歳代	146	27.4	37.7	9.6	2.1	2.1	9.6	11.6
	80歳以上	120	24.2	20.0	12.5	4.2	2.5	14.2	22.5
	わからない	105	36.2	23.8	9.5	0.0	2.9	15.2	12.4
生活困窮	ゆとりがある	113	34.5	20.4	15.0	2.7	0.9	10.6	15.9
	まあまあゆとりがある	610	27.5	32.8	12.0	2.3	1.1	12.6	11.6
	やや苦しい	538	30.3	27.5	17.5	2.0	1.1	9.9	11.7
	不自由が多く、生活が苦しい	135	34.8	17.8	16.3	3.0	3.0	14.8	10.4
サービス	利用している	500	35.2	29.4	12.0	2.6	1.0	10.0	9.8
	利用していない	863	28.3	29.3	16.8	1.9	1.3	13.1	9.4
障害に気づいた時期	１年未満	39	20.5	28.2	5.1	2.6	0.0	17.9	25.6
	１年以上、３年未満	74	24.3	24.3	16.2	5.4	1.4	13.5	14.9
	３年以上、５年未満	89	28.1	31.5	16.9	1.1	0.0	7.9	14.6
	５年以上、10年未満	209	23.0	31.6	19.6	3.8	0.0	12.9	9.1
	10年以上	917	32.8	28.5	14.1	1.7	1.7	11.1	10.0
	わからない	56	35.7	14.3	3.6	0.0	1.8	21.4	23.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	28.6	27.5	14.2	2.4	0.8	9.6	16.8
	視覚障害がある	28	21.4	25.0	17.9	3.6	7.1	7.1	17.9
	聴覚障害がある	69	18.8	20.3	15.9	2.9	0.0	14.5	27.5

⑨　障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 51.1%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 5.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど「優先度が高い」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

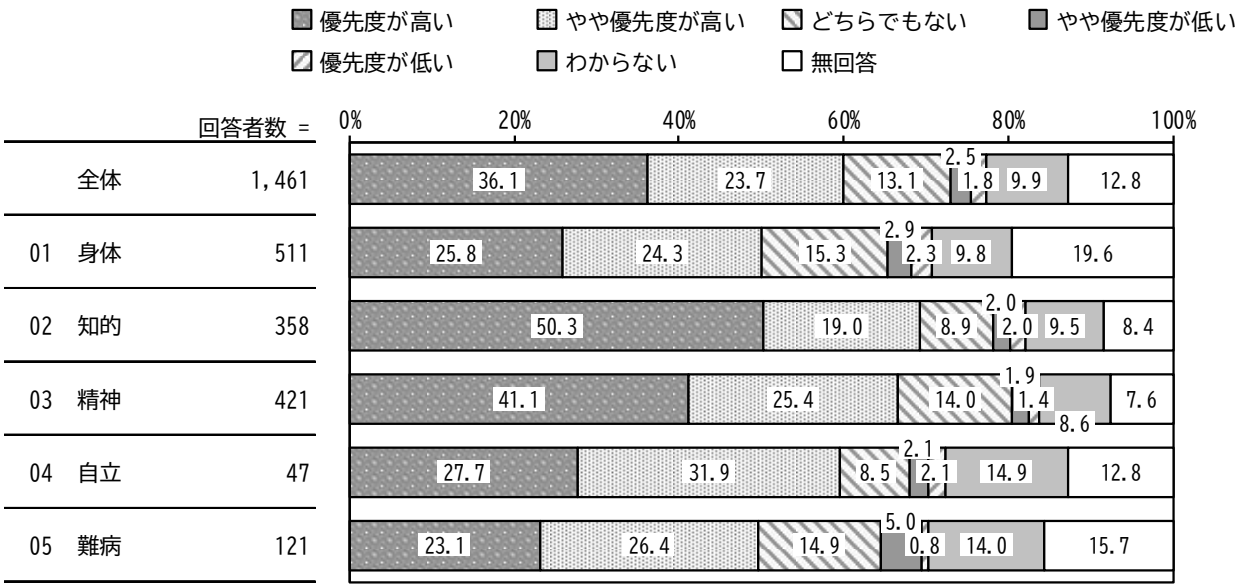
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	25.0	26.1	17.9	4.0	1.8	11.8	13.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	40.7	25.9	29.6	0.0	0.0	0.0	3.7
	20～29歳	164	34.1	28.7	18.9	2.4	1.2	10.4	4.3
	30～39歳	195	29.7	23.6	17.9	5.6	2.1	15.9	5.1
	40～49歳	185	22.2	27.6	18.4	5.9	2.2	13.0	10.8
	50～59歳	229	26.6	27.1	24.5	3.5	1.7	9.2	7.4
	60～64歳	109	25.7	33.9	12.8	3.7	5.5	10.1	8.3
	65～69歳	91	27.5	33.0	18.7	5.5	1.1	8.8	5.5
	70歳以上	444	18.0	22.5	14.6	3.6	1.1	13.1	27.0
世帯構成	ひとり暮らし	274	24.1	24.1	18.2	2.9	4.0	11.3	15.3
	核家族世帯	695	26.6	26.0	19.0	4.2	0.9	12.1	11.2
	三世代世帯	32	28.1	28.1	21.9	6.3	0.0	6.3	9.4
	その他の世帯	436	22.5	28.4	16.3	4.4	1.8	11.9	14.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	22.7	26.9	15.9	4.6	1.2	13.1	15.5
	障害者手帳所持者がいる	227	29.5	22.5	17.6	3.1	2.2	13.2	11.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	14.7	20.6	35.3	5.9	2.9	11.8	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	21.3	20.0	20.0	5.3	2.7	13.3	17.3
	あてはまらない	320	28.4	29.1	18.4	4.7	1.3	11.3	6.9
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	25.9	31.0	6.9	5.2	3.4	17.2	10.3
	40～59歳	309	28.5	28.5	21.0	2.6	1.3	9.4	8.7
	60歳代	213	27.2	30.0	20.2	2.3	0.5	11.3	8.5
	70歳代	146	20.5	32.2	17.8	4.1	2.1	11.0	12.3
	80歳以上	120	15.8	18.3	17.5	5.8	0.8	15.0	26.7
	わからない	105	30.5	21.9	15.2	2.9	2.9	13.3	13.3
生活困窮	ゆとりがある	113	31.9	18.6	17.7	5.3	0.9	10.6	15.0
	まあまあゆとりがある	610	23.8	29.2	16.9	4.1	1.3	11.8	13.0
	やや苦しい	538	23.6	28.1	19.7	4.3	1.5	9.9	13.0
	不自由が多く、生活が苦しい	135	26.7	17.0	17.8	2.2	5.2	19.3	11.9
サービス	利用している	500	31.0	25.8	17.0	3.4	1.6	10.2	11.0
	利用していない	863	22.7	28.0	19.5	4.2	1.9	13.1	10.7
障害に気づいた時期	１年未満	39	20.5	23.1	10.3	2.6	0.0	17.9	25.6
	１年以上、３年未満	74	20.3	28.4	18.9	5.4	1.4	9.5	16.2
	３年以上、５年未満	89	21.3	27.0	22.5	2.2	1.1	11.2	14.6
	５年以上、10年未満	209	16.3	32.1	20.1	5.3	1.0	14.4	11.0
	10年以上	917	27.9	26.4	17.7	3.9	1.7	11.2	11.1
	わからない	56	30.4	10.7	12.5	1.8	7.1	16.1	21.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	22.5	25.9	16.0	4.5	1.6	11.0	18.4
	視覚障害がある	28	17.9	21.4	28.6	7.1	3.6	3.6	17.9
	聴覚障害がある	69	18.8	17.4	17.4	2.9	0.0	15.9	27.5

⑩　障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 59.8%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 4.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体、難病で“優先度が高い”の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』、『20～29 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「やや優先度が高い」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

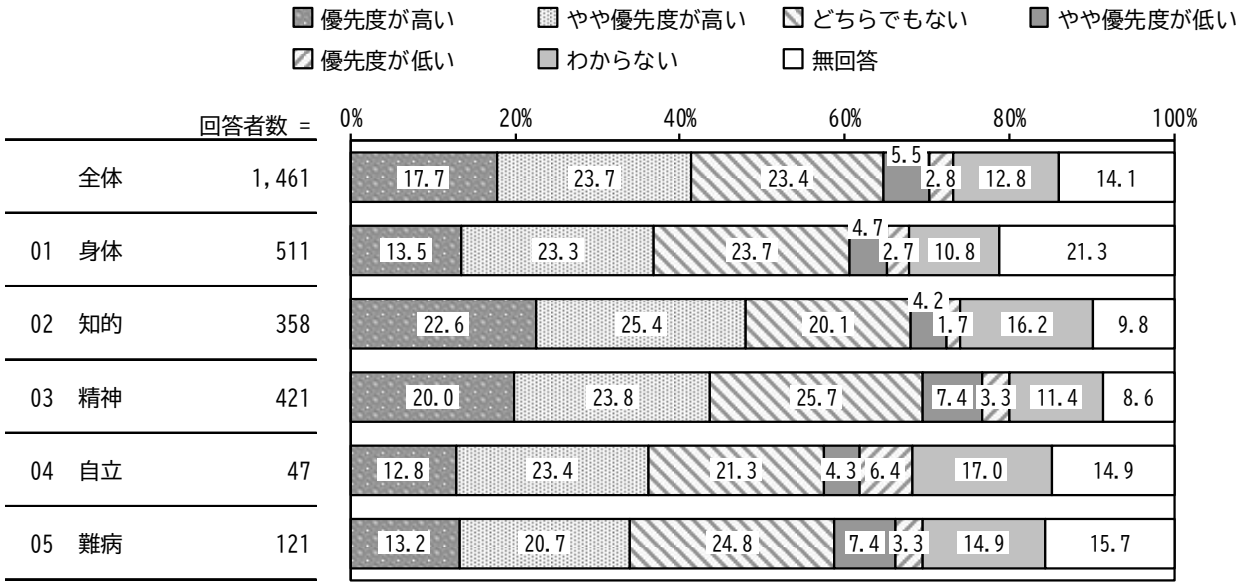
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	36.1	23.7	13.1	2.5	1.8	9.9	12.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	48.1	29.6	18.5	0.0	0.0	0.0	3.7
	20～29歳	164	53.0	24.4	10.4	0.0	1.8	7.3	3.0
	30～39歳	195	44.1	24.6	12.3	3.1	0.5	10.8	4.6
	40～49歳	185	38.9	23.8	12.4	2.7	2.2	9.7	10.3
	50～59歳	229	36.2	25.8	17.5	2.6	1.3	8.7	7.9
	60～64歳	109	36.7	30.3	10.1	0.9	4.6	9.2	8.3
	65～69歳	91	39.6	22.0	17.6	4.4	3.3	7.7	5.5
	70歳以上	444	23.6	20.9	12.2	3.4	1.8	12.2	25.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	36.1	23.7	10.9	1.8	2.2	10.2	15.0
	核家族世帯	695	39.4	22.3	13.5	3.3	1.2	9.4	10.9
	三世代世帯	32	40.6	25.0	21.9	0.0	0.0	6.3	6.3
	その他の世帯	436	31.2	26.4	13.3	2.1	2.8	10.6	13.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	33.9	21.7	13.3	3.4	1.4	11.6	14.7
	障害者手帳所持者がいる	227	42.3	15.4	16.7	1.8	1.8	11.0	11.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	14.7	26.5	32.4	2.9	2.9	11.8	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	37.3	12.0	17.3	1.3	2.7	12.0	17.3
	あてはまらない	320	39.4	27.5	12.5	2.5	2.2	8.8	7.2
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	37.9	19.0	17.2	3.4	3.4	10.3	8.6
	40～59歳	309	40.5	26.5	14.6	1.6	1.3	7.8	7.8
	60歳代	213	41.8	27.7	11.7	0.5	1.4	8.9	8.0
	70歳代	146	33.6	25.3	12.3	4.8	2.1	10.3	11.6
	80歳以上	120	25.0	20.0	14.2	1.7	2.5	11.7	25.0
	わからない	105	43.8	15.2	13.3	2.9	1.9	11.4	11.4
生活困窮	ゆとりがある	113	45.1	18.6	8.0	1.8	2.7	8.8	15.0
	まあまあゆとりがある	610	33.6	26.2	13.6	2.1	1.3	10.8	12.3
	やや苦しい	538	35.3	25.7	13.8	3.2	2.2	7.8	12.1
	不自由が多く、生活が苦しい	135	44.4	12.6	13.3	3.7	2.2	13.3	10.4
サービス	利用している	500	47.2	23.8	8.6	2.2	0.8	7.4	10.0
	利用していない	863	32.2	24.8	16.2	2.5	2.3	11.8	10.1
障害に気づいた時期	１年未満	39	33.3	12.8	7.7	0.0	0.0	17.9	28.2
	１年以上、３年未満	74	29.7	27.0	14.9	2.7	1.4	9.5	14.9
	３年以上、５年未満	89	31.5	23.6	19.1	2.2	0.0	7.9	15.7
	５年以上、10年未満	209	23.4	30.6	17.2	4.3	2.9	11.5	10.0
	10年以上	917	41.3	23.1	11.9	2.2	1.9	9.3	10.4
	わからない	56	32.1	16.1	8.9	1.8	1.8	16.1	23.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	30.5	24.9	11.5	3.7	2.1	9.4	17.9
	視覚障害がある	28	21.4	21.4	21.4	3.6	7.1	7.1	17.9
	聴覚障害がある	69	23.2	23.2	8.7	5.8	0.0	14.5	24.6

⑪　障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 41.4%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 8.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』、『20～29 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で「どちらでもない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『18～39 歳』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『ゆとりがある』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「どちらでもない」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

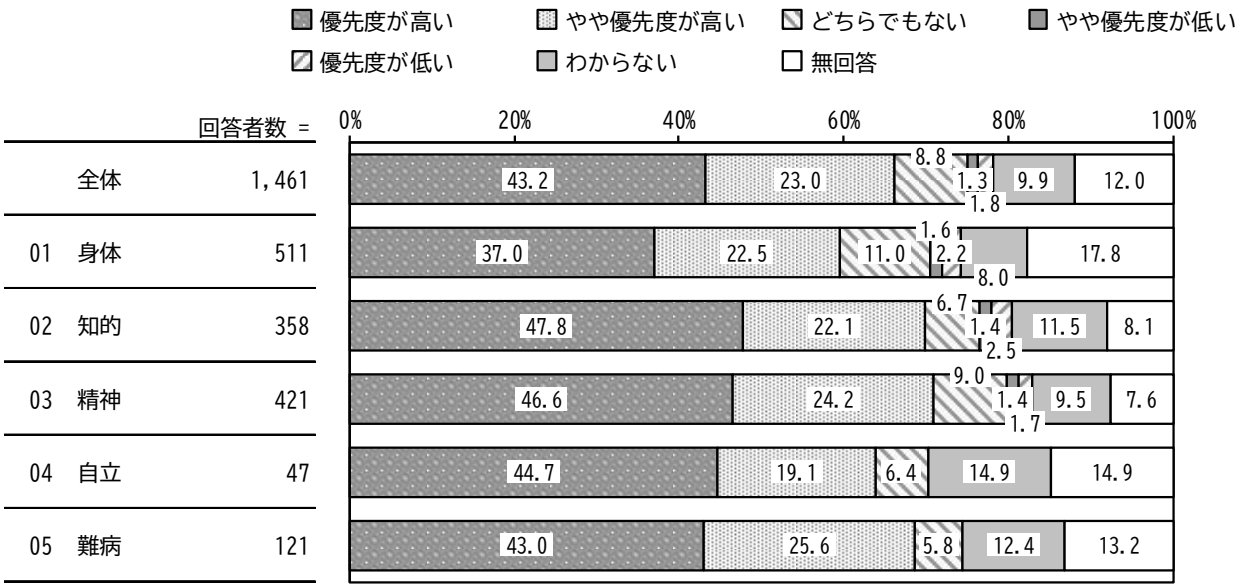
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	17.7	23.7	23.4	5.5	2.8	12.8	14.1 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	29.6	22.2	29.6	0.0	3.7	11.1	3.7
	20～29歳	164	25.0	27.4	23.2	4.3	3.0	12.2	4.9
	30～39歳	195	20.5	23.1	23.6	8.7	3.6	15.9	4.6
	40～49歳	185	13.5	25.4	24.9	8.6	3.8	13.0	10.8
	50～59歳	229	19.2	20.1	32.3	5.2	3.1	11.4	8.7
	60～64歳	109	21.1	24.8	22.9	6.4	2.8	13.8	8.3
	65～69歳	91	18.7	30.8	26.4	6.6	0.0	11.0	6.6
	70歳以上	444	12.8	22.5	17.8	3.2	2.5	12.4	28.8
世帯構成	ひとり暮らし	274	18.2	21.9	21.5	5.8	2.6	12.4	17.5
	核家族世帯	695	20.1	23.3	23.5	6.2	2.3	13.1	11.5
	三世代世帯	32	15.6	21.9	34.4	9.4	3.1	9.4	6.3
	その他の世帯	436	13.5	26.1	24.1	4.1	3.9	12.4	15.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	15.9	24.3	22.7	5.4	2.6	12.7	16.3
	障害者手帳所持者がいる	227	19.8	19.4	26.0	4.0	4.0	14.1	12.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	14.7	44.1	11.8	0.0	14.7	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	21.3	12.0	24.0	4.0	6.7	13.3	18.7
	あてはまらない	320	20.3	26.3	22.8	5.6	3.8	14.1	7.2
介助者の年齢	17歳以下	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	19.0	12.1	19.0	8.6	10.3	17.2	13.8
	40～59歳	309	17.8	26.2	28.5	4.2	1.6	12.0	9.7
	60歳代	213	19.7	26.3	26.3	3.8	2.3	12.7	8.9
	70歳代	146	18.5	32.2	16.4	6.8	2.1	11.6	12.3
	80歳以上	120	10.0	21.7	20.8	5.8	1.7	13.3	26.7
	わからない	105	19.0	21.9	21.9	3.8	3.8	16.2	13.3
生活困窮	ゆとりがある	113	23.0	25.7	14.2	4.4	2.7	13.3	16.8
	まあまあゆとりがある	610	16.6	27.5	22.6	5.2	2.5	13.0	12.6
	やや苦しい	538	16.7	22.1	27.9	5.8	3.0	11.0	13.6
	不自由が多く、生活が苦しい	135	23.7	13.3	20.0	7.4	4.4	16.3	14.8
サービス	利用している	500	21.2	28.6	21.2	4.8	1.6	11.4	11.2
	利用していない	863	16.9	22.1	26.1	5.9	3.6	14.1	11.2
障害に気づいた時期	１年未満	39	15.4	28.2	7.7	0.0	0.0	17.9	30.8
	１年以上、３年未満	74	17.6	21.6	21.6	6.8	1.4	14.9	16.2
	３年以上、５年未満	89	16.9	21.3	25.8	7.9	2.2	9.0	16.9
	５年以上、10年未満	209	12.9	24.4	27.8	6.2	2.9	15.8	10.0
	10年以上	917	19.1	25.3	23.3	5.5	2.9	12.1	11.8
	わからない	56	19.6	14.3	14.3	5.4	3.6	17.9	25.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	16.3	21.4	21.1	4.5	2.7	14.2	19.8
	視覚障害がある	28	14.3	17.9	28.6	7.1	7.1	7.1	17.9
	聴覚障害がある	69	13.0	21.7	14.5	2.9	2.9	15.9	29.0

⑫　家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 66.2%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 3.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で“優先度が高い”の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『80 歳以上』から『40～59 歳』まで年齢が下がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	43.2	23.0	8.8	1.3	1.8	9.9	12.0
本人の年齢	18～19歳	27	48.1	33.3	11.1	0.0	3.7	0.0	3.7
	20～29歳	164	56.7	20.1	9.8	0.6	0.0	9.1	3.7
	30～39歳	195	52.3	20.5	9.2	1.0	2.1	10.8	4.1
	40～49歳	185	40.0	25.9	7.6	2.7	2.2	10.8	10.8
	50～59歳	229	42.4	28.8	10.5	0.4	1.7	8.7	7.4
	60～64歳	109	45.9	29.4	5.5	0.0	0.9	9.2	9.2
	65～69歳	91	41.8	33.0	7.7	3.3	1.1	11.0	2.2
	70歳以上	444	35.4	17.1	9.2	1.4	2.7	10.4	23.9
世帯構成	ひとり暮らし	274	36.1	20.1	10.9	2.2	2.2	12.0	16.4
	核家族世帯	695	45.2	25.2	8.2	0.9	1.6	9.4	9.6
	三世代世帯	32	46.9	31.3	6.3	0.0	0.0	9.4	6.3
	その他の世帯	436	44.5	21.3	8.9	1.1	2.3	9.4	12.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	41.8	23.3	8.8	1.4	2.4	9.4	12.9
	障害者手帳所持者がいる	227	44.9	22.9	8.8	0.4	2.2	11.5	9.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	41.2	20.6	14.7	0.0	0.0	14.7	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	48.0	14.7	6.7	1.3	2.7	10.7	16.0
	あてはまらない	320	50.0	25.3	7.8	0.3	0.9	9.7	5.9
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	18～39歳	58	46.6	22.4	8.6	1.7	1.7	12.1	6.9
	40～59歳	309	49.2	24.9	9.1	0.6	0.3	8.4	7.4
	60歳代	213	51.2	21.6	8.5	0.5	0.9	8.9	8.5
	70歳代	146	42.5	26.0	7.5	1.4	2.7	8.9	11.0
	80歳以上	120	38.3	15.0	9.2	2.5	3.3	10.0	21.7
	わからない	105	39.0	22.9	5.7	1.0	3.8	17.1	10.5
生活困窮	ゆとりがある	113	46.0	15.9	8.8	0.9	2.7	9.7	15.9
	まあまあゆとりがある	610	39.7	27.0	9.2	1.1	1.3	10.8	10.8
	やや苦しい	538	47.2	22.3	8.4	1.1	1.7	8.0	11.3
	不自由が多く、生活が苦しい	135	41.5	17.0	10.4	2.2	4.4	13.3	11.1
サービス	利用している	500	48.2	23.0	8.0	1.6	1.8	8.0	9.4
	利用していない	863	43.1	24.0	9.7	0.9	1.7	11.4	9.2
障害に気づいた時期	１年未満	39	20.5	33.3	2.6	0.0	2.6	17.9	23.1
	１年以上、３年未満	74	40.5	27.0	6.8	2.7	1.4	8.1	13.5
	３年以上、５年未満	89	40.4	25.8	12.4	0.0	1.1	6.7	13.5
	５年以上、10年未満	209	35.9	29.2	11.5	2.9	2.4	11.0	7.2
	10年以上	917	47.7	21.6	8.2	1.1	2.0	9.4	10.1
	わからない	56	41.1	8.9	8.9	1.8	1.8	16.1	21.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	37.2	21.4	9.9	2.1	2.1	11.2	16.0
	視覚障害がある	28	39.3	21.4	10.7	0.0	3.6	3.6	21.4
	聴覚障害がある	69	27.5	14.5	10.1	4.3	2.9	14.5	26.1

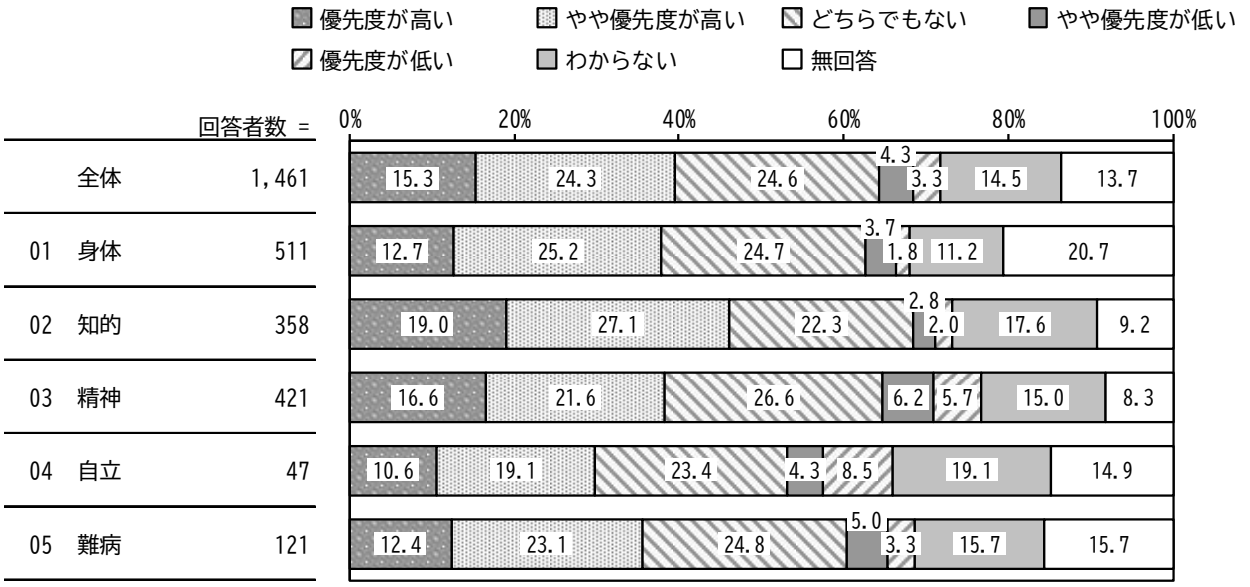
(%)

⑬　地域のボランティア活動を充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 39.6%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 7.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で“優先度が高い”、自立で“優先度が低い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『18～19 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、全体に比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が低い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『視覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		1,461	15.3	24.3	24.6	4.3	3.3	14.5	13.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	27	22.2	33.3	25.9	3.7	0.0	11.1	3.7
	20～29歳	164	15.9	33.5	23.8	3.7	3.0	15.9	4.3
	30～39歳	195	18.5	21.0	23.6	6.7	7.2	17.9	5.1
	40～49歳	185	15.7	17.3	27.6	7.6	3.2	16.2	12.4
	50～59歳	229	14.8	23.1	32.8	2.6	3.9	15.3	7.4
	60～64歳	109	20.2	28.4	22.0	4.6	2.8	13.8	8.3
	65～69歳	91	13.2	27.5	31.9	4.4	4.4	12.1	6.6
	70歳以上	444	12.8	23.2	19.6	3.2	1.6	12.4	27.3
世帯構成	ひとり暮らし	274	13.5	21.9	25.9	2.9	4.7	15.0	16.1
	核家族世帯	695	17.1	24.3	24.2	5.3	2.6	14.8	11.7
	三世代世帯	32	25.0	34.4	18.8	6.3	0.0	9.4	6.3
	その他の世帯	436	12.8	24.8	25.7	3.7	3.9	14.4	14.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	502	16.1	23.7	23.7	4.2	2.2	14.3	15.7
	障害者手帳所持者がいる	227	21.6	20.3	24.2	2.6	4.4	15.9	11.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	2.9	20.6	35.3	14.7	2.9	14.7	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	75	16.0	18.7	24.0	4.0	6.7	14.7	16.0
	あてはまらない	320	14.7	27.5	24.4	5.9	3.8	16.3	7.5
介助者の年齢	17歳以下	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	58	15.5	22.4	19.0	5.2	10.3	15.5	12.1
	40～59歳	309	14.6	29.8	26.9	3.2	1.6	14.9	9.1
	60歳代	213	18.8	26.8	23.9	4.7	2.8	14.6	8.5
	70歳代	146	15.1	26.0	27.4	4.1	2.7	13.0	11.6
	80歳以上	120	10.8	21.7	18.3	2.5	1.7	15.0	30.0
	わからない	105	12.4	21.0	27.6	1.9	5.7	18.1	13.3
生活困窮	ゆとりがある	113	16.8	18.6	24.8	4.4	3.5	15.9	15.9
	まあまあゆとりがある	610	15.9	27.7	23.8	3.3	2.3	14.6	12.5
	やや苦しい	538	13.2	24.7	26.4	5.9	2.8	13.2	13.8
	不自由が多く、生活が苦しい	135	18.5	14.1	25.2	1.5	10.4	18.5	11.9
サービス	利用している	500	19.0	27.2	23.2	3.6	2.2	13.6	11.2
	利用していない	863	14.0	24.3	26.9	4.4	3.8	15.5	11.0
障害に気づいた時期	１年未満	39	12.8	23.1	12.8	0.0	2.6	20.5	28.2
	１年以上、３年未満	74	14.9	20.3	28.4	5.4	4.1	10.8	16.2
	３年以上、５年未満	89	14.6	25.8	24.7	4.5	3.4	13.5	13.5
	５年以上、10年未満	209	11.5	24.9	27.3	7.7	2.9	14.4	11.5
	10年以上	917	16.6	25.3	25.4	3.6	3.5	14.5	11.1
	わからない	56	21.4	12.5	10.7	7.1	3.6	17.9	26.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	374	15.0	23.5	23.5	3.2	1.9	13.9	19.0
	視覚障害がある	28	17.9	28.6	21.4	7.1	3.6	3.6	17.9
	聴覚障害がある	69	11.6	20.3	20.3	2.9	2.9	14.5	27.5

問　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	73	73	76	75	74	75

自由意見	275　件
健康医療・介護支援	35　件
アンケートの設問が多い、難しい	30　件
経済的困窮・費用負担	29　件
障害者支援制度・サービス改善	26　件
交通・移動支援・バリアフリー	26　件
社会全体の理解・啓発	26　件
施設不足・公共施設改善	24　件
就労・自立支援	23　件
窓口・行政対応	15　件
行政手続きの改善・資材改善	12　件
地域活性化・情報提供不足	10　件
制度改善（手帳・成年後見等）	7　件
職場環境・理解不足	3　件
その他	9　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【健康医療・介護支援】

●理学療法士でのリハビリが保険対応外のため、生活を圧迫している。リハビリやリンパ浮腫へのマッサージへの補助が欲しい。

●私は片目がほぼ見えないが、そちらは障害にならず一切のサポートが受けられなかった。私は利き手の中指先端を失っているが、関節が全て残っているので、そちらも障害にならず一切のサポートが受けられなかった。現在は腎不全（人工透析）により身体一級を受けているが、正直前者二つの問題に対する補助の方が必要であったと認識している。

●私は介護２級の資格を持っている。市からの資格収入があるとありがたい。すべて家での介護が出来るので。

【経済的困窮・費用負担】

●１人暮らし希望ですが、お金は厳しいです。今のところは苦しいです。

●ガソリン代補助に加え、駐車代補助もほしい。

【障害者支援制度・サービス改善】

●障害者の立場と支援の立場両方を体験してきました。身体障害者に対しては受け入れてくれる気持ちが広がってきていると思います。知的障害者・精神障害者に対してはまだまだ難しいと感じています。挙動がおかしかったり大声を出している人に対しては、当然誰でも怖い・・仕方ないです。ヘルパーが付いていることが解れば少しは怖がらなくてもよいかもしれません。障害者がヘルプマークを付けるようにヘルパーが付いていることを解りやすく出来ないでしょうか？移動支援のヘルパーの人数確保と質の向上も必要かと思います。

●他の市町村にはない福祉サービスを充実させてもらえると西東京市の良さを発信することができます。健常者もいつかは障害者になるかもしれません。理解が進むといいなと思います。今後、もっと障害者も健常者も皆が快適に暮らせる西東京市になっていってほしいと思います。

●自分がまだそれ程支援を必要としていないので情報内容にうとい。気になるのは災害時（又は起こることが予測された時）避難が困難な人の支援には時間も人手もかかると思う。自らヘルプを出すのは難しい人々だと思われるので早めに確認したり、手助けできる仕組みができていると良いのではないかと思う。

【交通・移動支援・バリアフリー】

●タクシー福祉チケットの使えるタクシー会社の範囲が広がって欲しい。片手への配慮はどこにも無い。

●目の不自由の方のための、音のなる信号機が少ない。目が不自由なので、信号が青になっているかどうかが分からずいつも危険に感じています。

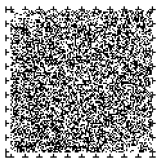
●通院の際に車での送迎を頼むと、４～５時間で４～５万円掛かるので、何らかの助成があると家族は助かる。（ストレッチャー）

【社会全体の理解・啓発】

●障害に関する、健常者の理解度を上げる施策が必要。中学生が、障害者施設での体験を増やす。福祉が何故必要か、福祉とは何か。講師の養成も併せて必要。

●健常者も障害者も意識することなく、お互いが思いやりをもって気持ちよく過ごせるといいですね。

●３年前に身体障害を持ち、リハビリのために近くの公園等へ電動車椅子で行きますが、登下校中の小学生達が大きな声で挨拶してくれる事が普通にあり驚きました。今はそういった教育が行き届いて、子供達に浸透しているんだなぁと感じます。



Ⅲ　調査結果
～障害児調査～

Ⅲ　調査結果　～障害児調査～

１　お子さんのことについて

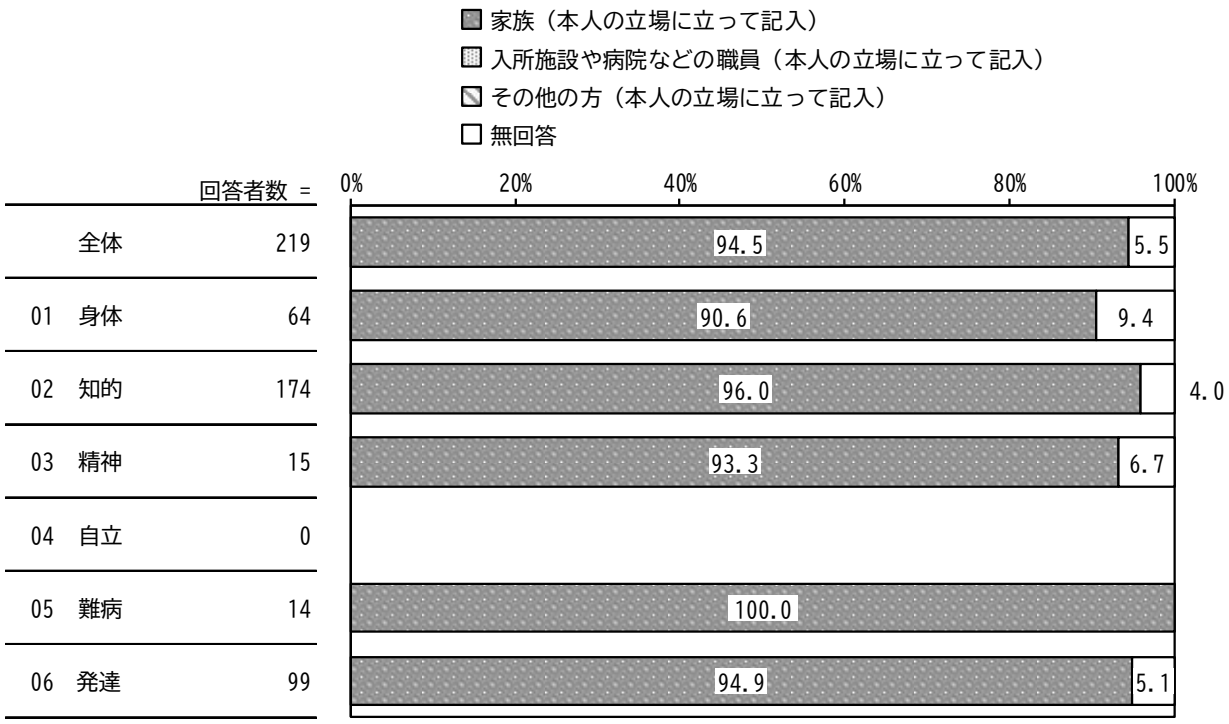
以降、「お子さん」とは封筒の宛名に記載された方をいいます。

問１　この調査票を記入されるのはどなたですか。【○は１つだけ】

「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が 94.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、大きな差はみられません。

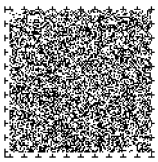


【属性別】

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』に比べ、『利用している』で「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が低くなっています。

		調査数	家族（本人の立場に立って記入）	入所施設や病院などの職員（本人の立場に立って記入）	その他の方（本人の立場に立って記入）	無回答
全　体		219	94.5	0.0	0.0	5.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	97.1	0.0	0.0	2.9
	６～８歳	44	95.5	0.0	0.0	4.5
	９～11歳	40	95.0	0.0	0.0	5.0
	12～14歳	39	89.7	0.0	0.0	10.3
	15～17歳	59	94.9	0.0	0.0	5.1
世帯構成	核家族世帯	203	94.6	0.0	0.0	5.4
	三世代世帯	16	93.8	0.0	0.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	93.8	0.0	0.0	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	95.2	0.0	0.0	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	100.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	100.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	92.7	0.0	0.0	7.3
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	97.4	0.0	0.0	2.6
	40～59歳	151	95.4	0.0	0.0	4.6
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	83.3	0.0	0.0	16.7
	まあまあゆとりがある	99	94.9	0.0	0.0	5.1
	やや苦しい	93	93.5	0.0	0.0	6.5
	不自由が多く、生活が苦しい	21	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	167	96.4	0.0	0.0	3.6
	利用していない	51	88.2	0.0	0.0	11.8
障害に気づいた時期	１年未満	18	88.9	0.0	0.0	11.1
	１年以上、３年未満	17	100.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	94.1	0.0	0.0	5.9
	５年以上、10年未満	70	98.6	0.0	0.0	1.4
	10年以上	80	91.3	0.0	0.0	8.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	93.3	0.0	0.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	91.7	0.0	0.0	8.3
	視覚障害がある	7	100.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	80.0	0.0	0.0	20.0

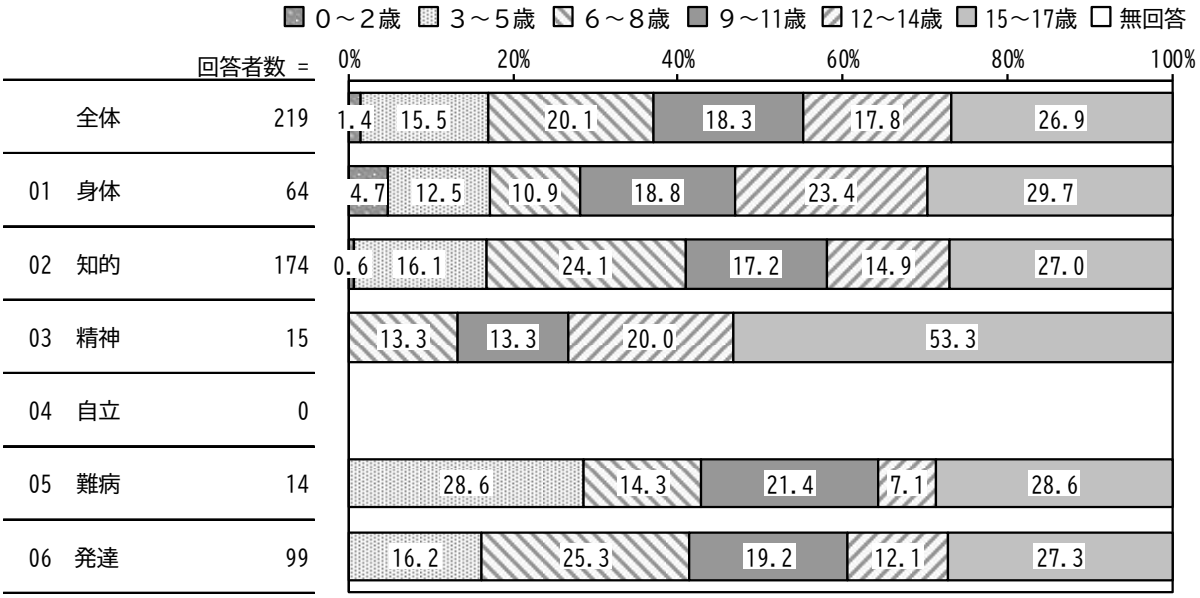


問２　お子さんの年齢をお答えください。（令和７年 10 月１日現在）【○は１つだけ】

「15～17 歳」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「６～８歳」の割合が 20.1%、「９～11 歳」の割合が 18.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「３～５歳」、精神で「15～17 歳」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「３～５歳」「６～８歳」「９～11 歳」の割合が高く、『三世代世帯』で「12～14 歳」「15～17 歳」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「３～５歳」、『障害者手帳所持者がいる』で「12～14 歳」、『65 歳以上の高齢者がいる』、『障害者手帳所持者がいる』で「15～17 歳」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「０～２歳」「３～５歳」「６～８歳」の割合が高く、『40～59 歳』で「12～14 歳」「15～17 歳」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「９～11 歳」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「３～５歳」「６～８歳」の割合が高く、『利用していない』で「12～14 歳」「15～17 歳」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「０～２歳」「３～５歳」、『５年以上、10 年未満』で「６～８歳」「９～11 歳」、『10 年以上』で「12～14 歳」「15～17 歳」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「０～２歳」、『重度心身障害』で「12～14 歳」の割合が高くなっています。

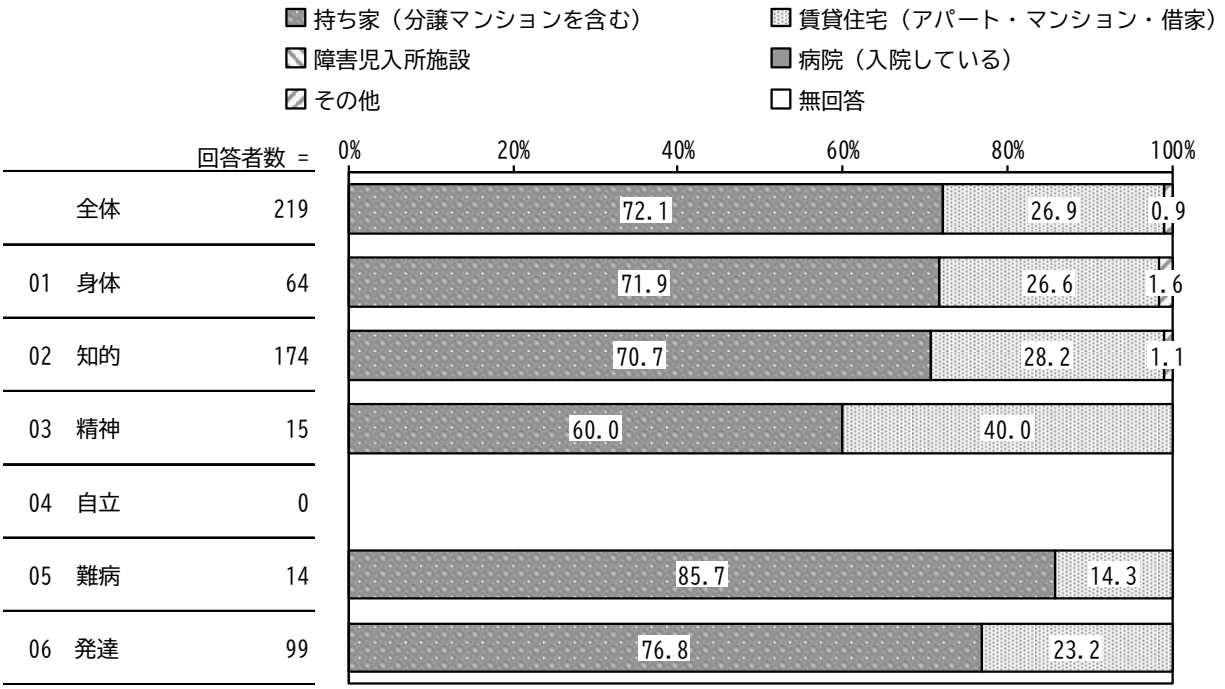
		調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	無回答	
全　体		219	1.4	15.5	20.1	18.3	17.8	26.9	0.0	(%)
本人の年齢	0～2歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3～5歳	34	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	6～8歳	44	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	9～11歳	40	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	12～14歳	39	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	15～17歳	59	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
世帯構成	核家族世帯	203	1.5	16.3	20.7	18.7	16.7	26.1	0.0	
	三世代世帯	16	0.0	6.3	12.5	12.5	31.3	37.5	0.0	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	0.0	18.8	18.8	25.0	37.5	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	9.5	0.0	14.3	38.1	38.1	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	2.0	31.4	23.5	17.6	15.7	9.8	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	
	その他	6	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7	0.0	
	あてはまらない	124	1.6	12.1	21.8	21.0	16.1	27.4	0.0	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	39	7.7	33.3	33.3	20.5	0.0	5.1	0.0	
	40～59歳	151	0.0	10.6	18.5	17.9	22.5	30.5	0.0	
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0	
	まあまあゆとりがある	99	0.0	13.1	23.2	16.2	20.2	27.3	0.0	
	やや苦しい	93	2.2	17.2	18.3	18.3	17.2	26.9	0.0	
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	19.0	19.0	28.6	4.8	23.8	0.0	
サービス	利用している	167	1.8	18.6	24.0	18.6	14.4	22.8	0.0	
	利用していない	51	0.0	5.9	7.8	17.6	29.4	39.2	0.0	
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	22.2	5.6	22.2	22.2	22.2	0.0	
	１年以上、３年未満	17	11.8	64.7	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	
	３年以上、５年未満	34	0.0	41.2	32.4	5.9	8.8	11.8	0.0	
	５年以上、10年未満	70	0.0	7.1	44.3	37.1	2.9	8.6	0.0	
	10年以上	80	0.0	0.0	0.0	8.8	36.3	55.0	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	6.7	13.3	6.7	40.0	33.3	0.0	
	医療的ケアを受けている	24	4.2	25.0	16.7	20.8	8.3	25.0	0.0	
	視覚障害がある	7	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	42.9	0.0	
	聴覚障害がある	10	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0	0.0	

問３　お子さんは、現在どこで暮らしていますか。【○は１つだけ】

「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が 26.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「持ち家（分譲マンションを含む）」、精神で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が高く、『三世代世帯』で「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が高くなっています。

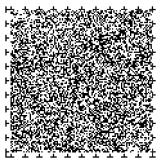
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が高く、『40～59 歳』で「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「持ち家（分譲マンションを含む）」、『医療的ケアを受けている』で「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が高くなっています。



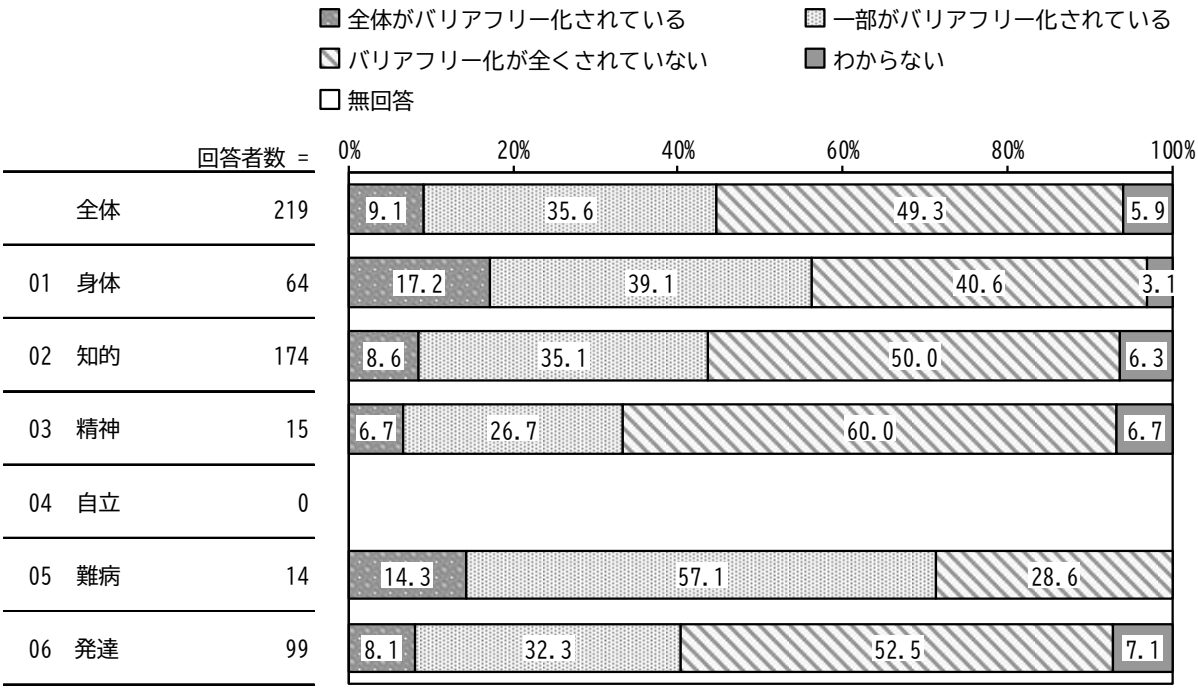
		調査数	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	障害児入所施設	病院（入院している）	その他	無回答	
全　体		219	72.1	26.9	0.0	0.0	0.9	0.0	(%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	34	67.6	32.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
	６～８歳	44	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	９～11歳	40	65.0	32.5	0.0	0.0	2.5	0.0	
	12～14歳	39	87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	15～17歳	59	69.5	28.8	0.0	0.0	1.7	0.0	
世帯構成	核家族世帯	203	70.9	28.6	0.0	0.0	0.5	0.0	
	三世代世帯	16	87.5	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	21	71.4	23.8	0.0	0.0	4.8	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	68.6	31.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	あてはまらない	124	71.8	27.4	0.0	0.0	0.8	0.0	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	39	59.0	41.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40～59歳	151	74.2	25.2	0.0	0.0	0.7	0.0	
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	まあまあゆとりがある	99	80.8	19.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
	やや苦しい	93	64.5	34.4	0.0	0.0	1.1	0.0	
	不自由が多く、生活が苦しい	21	57.1	38.1	0.0	0.0	4.8	0.0	
サービス	利用している	167	72.5	26.3	0.0	0.0	1.2	0.0	
	利用していない	51	72.5	27.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
障害に気づいた時期	１年未満	18	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	１年以上、３年未満	17	64.7	35.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	３年以上、５年未満	34	58.8	41.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
	５年以上、10年未満	70	74.3	24.3	0.0	0.0	1.4	0.0	
	10年以上	80	78.8	20.0	0.0	0.0	1.3	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	33.3	0.0	0.0	6.7	0.0	
	医療的ケアを受けている	24	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	視覚障害がある	7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問４　お子さんのお住まいはバリアフリーに対応していますか。【○は１つだけ】

「全体がバリアフリー化されている」の割合が 9.1%、「一部がバリアフリー化されている」の割合が 35.6%、「バリアフリー化が全くされていない」の割合が 49.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「一部がバリアフリー化されている」、精神で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「一部がバリアフリー化されている」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「一部がバリアフリー化されている」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『40～59 歳』で「一部がバリアフリー化されている」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「一部がバリアフリー化されている」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「バリアフリー化が全くされていない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「全体がバリアフリー化されている」、『重度心身障害』、『医療的ケアを受けている』で「一部がバリアフリー化されている」の割合が高くなっています。

		調査数	全体がバリアフリー化されている	一部がバリアフリー化されている	バリアフリー化が全くされていない	わからない	無回答
全　体		219	9.1	35.6	49.3	5.9	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	３～５歳	34	2.9	41.2	50.0	5.9	0.0
	６～８歳	44	13.6	34.1	40.9	11.4	0.0
	９～11歳	40	12.5	25.0	52.5	10.0	0.0
	12～14歳	39	7.7	46.2	46.2	0.0	0.0
	15～17歳	59	6.8	33.9	55.9	3.4	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	9.4	35.5	48.8	6.4	0.0
	三世代世帯	16	6.3	37.5	56.3	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	6.3	37.5	56.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	9.5	47.6	38.1	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	5.9	33.3	54.9	5.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0
	その他	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	8.9	36.3	48.4	6.5	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	12.8	28.2	48.7	10.3	0.0
	40～59歳	151	9.3	38.4	47.0	5.3	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	12.1	35.4	48.5	4.0	0.0
	やや苦しい	93	7.5	33.3	50.5	8.6	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	42.9	52.4	4.8	0.0
サービス	利用している	167	10.2	35.3	47.9	6.6	0.0
	利用していない	51	5.9	37.3	52.9	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	16.7	22.2	61.1	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	41.2	52.9	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	44.1	41.2	8.8	0.0
	５年以上、10年未満	70	11.4	30.0	50.0	8.6	0.0
	10年以上	80	8.8	38.8	48.8	3.8	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	46.7	26.7	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	8.3	45.8	37.5	8.3	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	40.0	50.0	0.0	0.0

問５　お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さんから見た間柄でお答えください。【○はいくつでも】

「お母さん」の割合が 98.2%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が 89.5%、「兄弟・姉妹」の割合が 63.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「おじいさん」「おばあさん」、身体で「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

		調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	兄弟・姉妹	親戚	入所施設の職員や仲間	その他	無回答
全　体		219	89.5	98.2	3.2	6.8	63.0	0.5	0.0	0.9	0.0
障害種別	身体	64	87.5	98.4	0.0	7.8	78.1	1.6	0.0	1.6	0.0
	知的	174	89.1	98.9	2.9	5.2	58.6	0.0	0.0	0.6	0.0
	精神	15	66.7	93.3	13.3	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	100.0	92.9	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	発達	99	92.9	100.0	3.0	5.1	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「お母さん」の割合が高く、『三世代世帯』で「おじいさん」「おばあさん」「兄弟・姉妹」「親戚」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「おじいさん」「おばあさん」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『やや苦しい』で「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「お父さん」「お母さん」の割合が高く、『利用していない』で「おばあさん」「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』、『聴覚障害がある』で「兄弟・姉妹」の割合が高くなっています。

		調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	兄弟・姉妹	親戚	入所施設の職員や仲間	その他	無回答	
全　体		219	89.5	98.2	3.2	6.8	63.0	0.5	0.0	0.9	0.0	(%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	34	97.1	100.0	0.0	2.9	64.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	６～８歳	44	93.2	100.0	2.3	2.3	38.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	９～11歳	40	95.0	100.0	2.5	5.0	65.0	0.0	0.0	2.5	0.0	
	12～14歳	39	89.7	94.9	7.7	12.8	87.2	2.6	0.0	2.6	0.0	
	15～17歳	59	78.0	96.6	3.4	10.2	62.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯構成	核家族世帯	203	89.7	100.0	0.0	0.0	62.6	0.0	0.0	1.0	0.0	
	三世代世帯	16	87.5	75.0	43.8	93.8	68.8	6.3	0.0	0.0	0.0	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	81.3	87.5	43.8	75.0	62.5	6.3	0.0	6.3	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	21	71.4	100.0	4.8	4.8	90.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	92.2	98.0	2.0	3.9	100.0	2.0	0.0	0.0	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	100.0	100.0	28.6	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	6	66.7	100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	あてはまらない	124	91.9	99.2	0.0	1.6	45.2	0.0	0.0	0.8	0.0	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	39	92.3	100.0	2.6	2.6	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40～59歳	151	88.7	99.3	3.3	6.6	64.2	0.7	0.0	0.0	0.0	
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	70歳代	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	2	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	6	83.3	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	まあまあゆとりがある	99	93.9	98.0	4.0	8.1	58.6	1.0	0.0	1.0	0.0	
	やや苦しい	93	88.2	97.8	3.2	6.5	69.9	0.0	0.0	1.1	0.0	
	不自由が多く、生活が苦しい	21	76.2	100.0	0.0	4.8	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
サービス	利用している	167	92.2	99.4	2.4	4.2	61.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	利用していない	51	82.4	94.1	5.9	15.7	68.6	2.0	0.0	3.9	0.0	
障害に気づいた時期	１年未満	18	88.9	100.0	5.6	5.6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	１年以上、３年未満	17	94.1	100.0	0.0	5.9	82.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
	３年以上、５年未満	34	91.2	100.0	0.0	0.0	44.1	0.0	0.0	2.9	0.0	
	５年以上、10年未満	70	91.4	98.6	2.9	5.7	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	10年以上	80	86.3	96.3	5.0	11.3	71.3	1.3	0.0	1.3	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	15	73.3	93.3	0.0	6.7	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	医療的ケアを受けている	24	91.7	100.0	0.0	4.2	70.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	視覚障害がある	7	85.7	100.0	0.0	14.3	100.0	14.3	0.0	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	10	100.0	100.0	0.0	10.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問６　お子さんと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。【○はいくつでも】

「あてはまらない」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「妊婦や小学生以下の子どもがいる」の割合が 23.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「障害者手帳所持者がいる」「病気などの理由で不自由な方がいる」の割合が高くなっています。

		調査数	65歳以上の高齢者がいる	障害者手帳所持者がいる	妊婦や小学生以下の子どもがいる	病気などの理由で不自由な方がいる	その他	あてはまらない	無回答
全　体		219	7.3	9.6	23.3	3.2	2.7	56.6	1.4
障害種別	身体	64	6.3	12.5	25.0	3.1	1.6	53.1	3.1
	知的	174	6.3	7.5	23.0	2.3	3.4	58.6	1.1
	精神	15	13.3	40.0	26.7	13.3	0.0	26.7	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	14.3	7.1	28.6	0.0	0.0	57.1	0.0
	発達	99	7.1	10.1	22.2	6.1	4.0	53.5	1.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「妊婦や小学生以下の子どもがいる」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「あてはまらない」の割合が高く、『三世代世帯』で「65 歳以上の高齢者がいる」「病気などの理由で不自由な方がいる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「病気などの理由で不自由な方がいる」の割合が高くなっています。

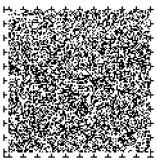
介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「妊婦や小学生以下の子どもがいる」の割合が高く、『40～59 歳』で「障害者手帳所持者がいる」「あてはまらない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「その他」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「あてはまらない」の割合が高く、『利用していない』で「65 歳以上の高齢者がいる」「障害者手帳所持者がいる」「妊婦や小学生以下の子どもがいる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「障害者手帳所持者がいる」「あてはまらない」、『１年以上、３年未満』で「妊婦や小学生以下の子どもがいる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「障害者手帳所持者がいる」、『聴覚障害がある』で「あてはまらない」の割合が高くなっています。



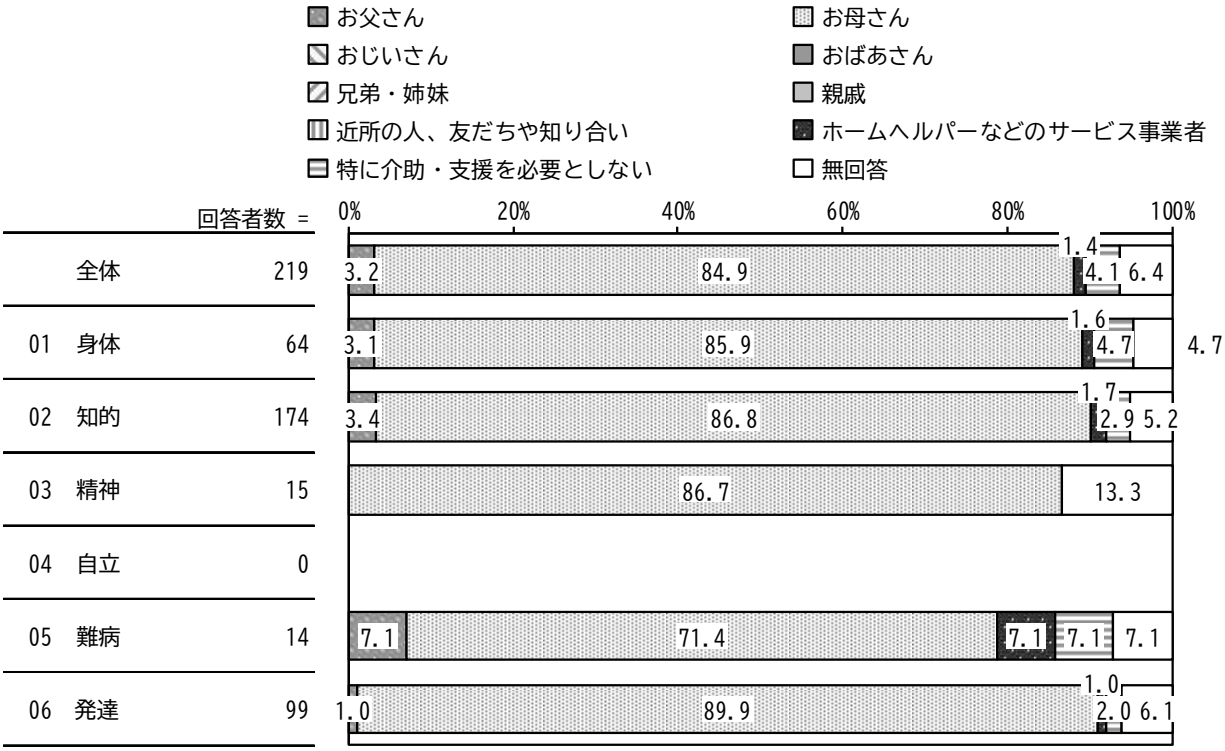
		調査数	65歳以上の高齢者がいる	障害者手帳所持者がいる	妊婦や小学生以下の子どもがいる	病気などの理由で不自由な方がいる	その他	あてはまらない	無回答
全　体		219	7.3	9.6	23.3	3.2	2.7	56.6	1.4 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	３～５歳	34	0.0	5.9	47.1	5.9	0.0	44.1	0.0
	６～８歳	44	6.8	0.0	27.3	2.3	2.3	61.4	2.3
	９～11歳	40	7.5	7.5	22.5	2.5	0.0	65.0	0.0
	12～14歳	39	10.3	20.5	20.5	5.1	2.6	51.3	2.6
	15～17歳	59	10.2	13.6	8.5	1.7	6.8	57.6	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	1.5	9.9	23.6	2.5	3.0	60.1	1.5
	三世代世帯	16	81.3	6.3	18.8	12.5	0.0	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	100.0	6.3	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	4.8	100.0	14.3	4.8	4.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	3.9	5.9	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	14.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	0.0	16.7	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	7.7	2.6	51.3	2.6	0.0	38.5	2.6
	40～59歳	151	6.0	12.6	16.6	4.0	2.6	61.6	1.3
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	11.1	6.1	22.2	2.0	1.0	59.6	2.0
	やや苦しい	93	5.4	12.9	25.8	4.3	3.2	51.6	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	9.5	23.8	4.8	9.5	57.1	0.0
サービス	利用している	167	4.8	7.8	22.2	3.0	2.4	61.1	1.2
	利用していない	51	15.7	15.7	27.5	3.9	3.9	41.2	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	22.2	11.1	5.6	0.0	66.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	0.0	47.1	5.9	5.9	41.2	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	14.7	26.5	5.9	5.9	47.1	0.0
	５年以上、10年未満	70	5.7	7.1	30.0	1.4	1.4	57.1	1.4
	10年以上	80	11.3	8.8	13.8	2.5	2.5	61.3	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	20.0	13.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	4.2	4.2	29.2	4.2	4.2	54.2	4.2
	視覚障害がある	7	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	80.0	10.0

問７　普段、お子さんを主に介助・支援しているのはどなたですか。【○は１つだけ】

「お母さん」の割合が 84.9%と最も高くなっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「お母さん」の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「お母さん」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「お母さん」の割合が高く、『三世代世帯』で「お父さん」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「お父さん」、『障害者手帳所持者がいる』で「お母さん」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「お母さん」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「お母さん」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「お母さん」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「ホームヘルパーなどのサービス事業者」の割合が高くなっています。

		調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	兄弟・姉妹	親戚	近所の人、友だちや知り合い	ホームヘルパーなどのサービス事業者	特に介助・支援を必要としない	無回答	
全　体		219	3.2	84.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	4.1	6.4	(%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	34	2.9	85.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	
	６～８歳	44	2.3	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	4.5	
	９～11歳	40	5.0	82.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	5.0	5.0	
	12～14歳	39	2.6	82.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	7.7	5.1	
	15～17歳	59	3.4	83.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	6.8	
世帯構成	核家族世帯	203	2.5	86.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	3.9	5.9	
	三世代世帯	16	12.5	68.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	12.5	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	90.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	2.0	86.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	7.8	
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	6	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	
	あてはまらない	124	3.2	84.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	5.6	5.6	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	39	2.6	94.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	
	40～59歳	151	2.6	96.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	まあまあゆとりがある	99	2.0	82.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	7.1	7.1	
	やや苦しい	93	4.3	88.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	5.4	
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	90.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	
サービス	利用している	167	2.4	88.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	5.4	
	利用していない	51	5.9	72.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	9.8	
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	11.1	
	１年以上、３年未満	17	0.0	88.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	
	３年以上、５年未満	34	5.9	85.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	5.9	
	５年以上、10年未満	70	0.0	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	4.3	
	10年以上	80	5.0	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	6.3	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	86.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	
	医療的ケアを受けている	24	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	
	視覚障害がある	7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	10	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	

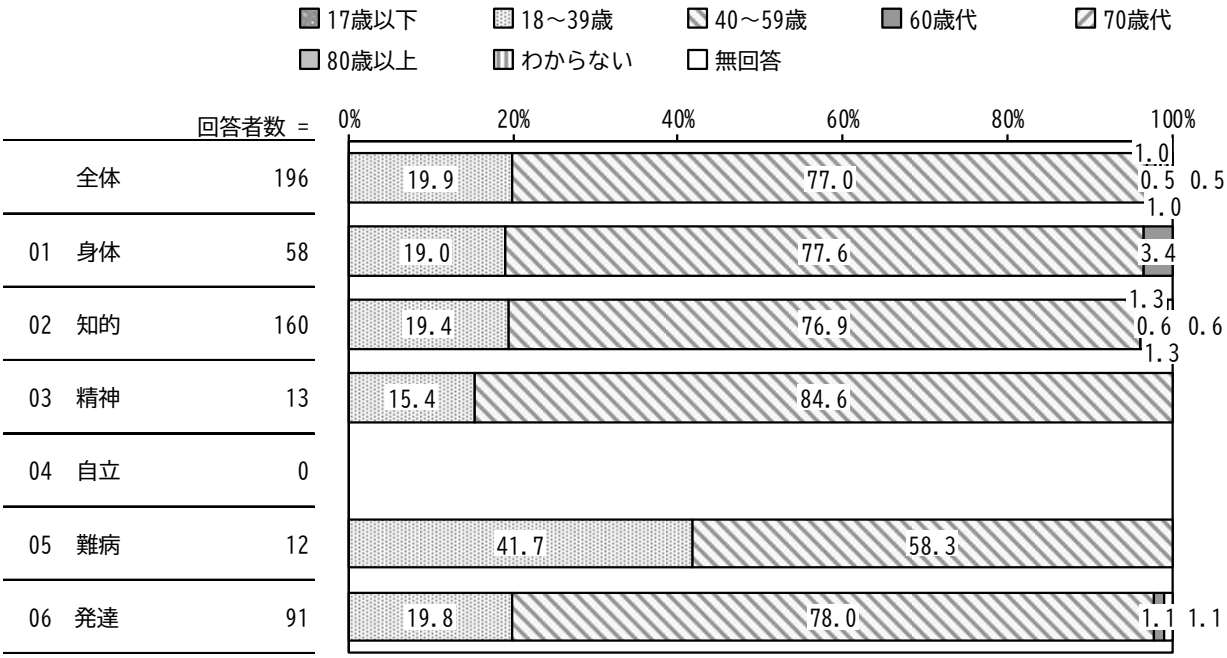
問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。

※年齢がわからない場合は「わからない」に○をしてください。【○は１つだけ】

「40～59 歳」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「18～39 歳」の割合が 19.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「18～39 歳」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「18～39 歳」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で「60 歳代」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「18～39 歳」、『障害者手帳所持者がいる』で「40～59 歳」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「18～39 歳」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「18～39 歳」の割合が高く、『利用していない』で「40～59 歳」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「18～39 歳」、『１年未満』、『10 年以上』で「40～59 歳」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「60 歳代」の割合が高く、『医療的ケアを受けている』で「40～59 歳」の割合が高くなっています。

		調査数	17歳以下	18～39歳	40～59歳	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
全　体		196	0.0	19.9	77.0	1.0	0.5	0.0	1.0	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	30	0.0	43.3	53.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0
	６～８歳	42	0.0	31.0	66.7	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
	９～11歳	36	0.0	22.2	75.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
	12～14歳	34	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	15～17歳	51	0.0	3.9	90.2	3.9	0.0	0.0	0.0	2.0
世帯構成	核家族世帯	183	0.0	20.2	77.0	0.5	0.5	0.0	1.1	0.5
	三世代世帯	13	0.0	15.4	76.9	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	14	0.0	21.4	64.3	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	20	0.0	5.0	95.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	46	0.0	43.5	54.3	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	5	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	あてはまらない	110	0.0	13.6	84.5	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	151	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	85	0.0	23.5	75.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	88	0.0	15.9	79.5	1.1	1.1	0.0	2.3	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	19	0.0	26.3	68.4	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
サービス	利用している	155	0.0	21.9	75.5	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0
	利用していない	40	0.0	10.0	85.0	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5
障害に気づいた時期	１年未満	14	0.0	7.1	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	15	0.0	46.7	46.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	３年以上、５年未満	32	0.0	40.6	50.0	0.0	3.1	0.0	3.1	3.1
	５年以上、10年未満	66	0.0	22.7	77.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10年以上	69	0.0	4.3	92.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	13.3	80.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	20	0.0	10.0	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	8	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問９は問７で「お父さん」「お母さん」と回答された方にお聞きします。】

問９　現在、お子さんを主に介助・支援している方のお勤め状況を教えてください。
【○はいくつでも】

「就労していない」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「非正規の職員・従業員」の割合が 32.6%、「正規の職員・従業員」の割合が 24.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「就労していない」の割合が高くなっています。

		調査数	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	自営業	その他	就労していない	無回答
全　体		193	24.9	32.6	7.8	2.1	33.2	0.5 (%)
障害種別	身体	57	33.3	38.6	7.0	3.5	21.1	0.0
	知的	157	20.4	31.8	8.3	1.9	36.9	0.6
	精神	13	23.1	23.1	15.4	0.0	30.8	7.7
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	11	18.2	18.2	0.0	0.0	63.6	0.0
	発達	90	18.9	30.0	6.7	2.2	41.1	1.1

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「就労していない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「非正規の職員・従業員」の割合が高く、『三世代世帯』で「自営業」「就労していない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「正規の職員・従業員」の割合が高くなっています。

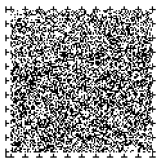
介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「正規の職員・従業員」の割合が高く、『40～59 歳』で「非正規の職員・従業員」「就労していない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「正規の職員・従業員」「就労していない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「就労していない」の割合が高く、『利用していない』で「非正規の職員・従業員」「自営業」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「正規の職員・従業員」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「就労していない」の割合が高く、『医療的ケアを受けている』で「非正規の職員・従業員」の割合が高くなっています。



		調査数	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	自営業	その他	就労していない	無回答
全　体		193	24.9	32.6	7.8	2.1	33.2	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	30	33.3	20.0	10.0	3.3	36.7	0.0
	６～８歳	41	24.4	22.0	9.8	0.0	43.9	0.0
	９～11歳	35	17.1	42.9	0.0	0.0	40.0	0.0
	12～14歳	33	24.2	36.4	12.1	6.1	24.2	0.0
	15～17歳	51	21.6	41.2	7.8	2.0	25.5	2.0
世帯構成	核家族世帯	180	25.0	33.3	7.2	2.2	32.8	0.6
	三世代世帯	13	23.1	23.1	15.4	0.0	38.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	14	21.4	28.6	14.3	0.0	35.7	0.0
	障害者手帳所持者がいる	19	42.1	26.3	5.3	5.3	21.1	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	45	42.2	24.4	4.4	0.0	28.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	14.3	0.0	0.0	85.7	0.0
	その他	5	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	あてはまらない	109	20.2	33.9	8.3	2.8	35.8	0.9
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	38	36.8	26.3	7.9	0.0	28.9	0.0
	40～59歳	150	22.0	33.3	8.0	2.7	34.7	0.7
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	84	21.4	35.7	9.5	3.6	31.0	0.0
	やや苦しい	86	25.6	32.6	8.1	0.0	33.7	1.2
	不自由が多く、生活が苦しい	19	31.6	21.1	0.0	5.3	42.1	0.0
サービス	利用している	152	23.7	31.6	6.6	2.6	35.5	0.7
	利用していない	40	27.5	37.5	12.5	0.0	25.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	13	38.5	30.8	15.4	0.0	15.4	0.0
	１年以上、３年未満	15	26.7	26.7	0.0	6.7	40.0	0.0
	３年以上、５年未満	31	25.8	19.4	12.9	0.0	41.9	0.0
	５年以上、10年未満	65	20.0	30.8	7.7	1.5	41.5	0.0
	10年以上	69	26.1	42.0	5.8	2.9	23.2	1.4
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	14	21.4	28.6	7.1	7.1	35.7	0.0
	医療的ケアを受けている	20	25.0	35.0	10.0	0.0	30.0	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0
	聴覚障害がある	8	50.0	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0

【問 10 は問７で「お父さん」「お母さん」と回答された方にお聞きします。】

問 10　就労にあたって不足している支援を教えてください。【○はいくつでも】

「預け先での時間延長」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「緊急時の一時預かりサービス」の割合が 40.9%、「送迎サービス」の割合が 40.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、発達で「預け先での時間延長」「緊急時の一時預かりサービス」、難病で「送迎サービス」「学校等での医療的ケア」の割合が高くなっています。

		調査数	日中活動の場などの預け先	預け先での時間延長	放課後等デイサービス	緊急時の一時預かりサービス	送迎サービス	学校等での医療的ケア	医療的ケアの可能なヘルパー	事業主や会社・職場の理解	その他	無回答
全　体		193	35.8	42.5	34.7	40.9	40.4	6.2	5.2	21.8	13.5	7.8
障害種別	身体	57	38.6	35.1	36.8	35.1	43.9	14.0	12.3	19.3	14.0	14.0
	知的	157	39.5	47.8	39.5	48.4	43.9	3.8	5.1	21.7	11.5	6.4
	精神	13	23.1	38.5	23.1	38.5	46.2	7.7	0.0	23.1	23.1	7.7
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	11	36.4	36.4	36.4	45.5	54.5	18.2	0.0	18.2	9.1	9.1
	発達	90	37.8	51.1	37.8	51.1	43.3	3.3	2.2	24.4	13.3	5.6

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』、『６～８歳』で「預け先での時間延長」、『６～８歳』で「緊急時の一時預かりサービス」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「日中活動の場などの預け先」「預け先での時間延長」「放課後等デイサービス」「緊急時の一時預かりサービス」「送迎サービス」「事業主や会社・職場の理解」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「放課後等デイサービス」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「日中活動の場などの預け先」「預け先での時間延長」「放課後等デイサービス」「緊急時の一時預かりサービス」「送迎サービス」「医療的ケアの可能なヘルパー」「事業主や会社・職場の理解」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「日中活動の場などの預け先」「預け先での時間延長」「放課後等デイサービス」「緊急時の一時預かりサービス」「送迎サービス」の割合が高くなっています。

		調査数	日中活動の場などの預け先	預け先での時間延長	放課後等デイサービス	緊急時の一時預かりサービス	送迎サービス	学校等での医療的ケア	医療的ケアの可能なヘルパー	事業主や会社・職場の理解	その他	無回答
全　体		193	35.8	42.5	34.7	40.9	40.4	6.2	5.2	21.8	13.5	7.8 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	３～５歳	30	40.0	53.3	46.7	46.7	43.3	10.0	6.7	26.7	10.0	0.0
	６～８歳	41	43.9	53.7	56.1	53.7	56.1	4.9	4.9	19.5	2.4	0.0
	９～11歳	35	37.1	51.4	34.3	42.9	42.9	5.7	2.9	22.9	14.3	2.9
	12～14歳	33	27.3	27.3	27.3	27.3	36.4	3.0	0.0	21.2	18.2	24.2
	15～17歳	51	31.4	31.4	17.6	37.3	29.4	7.8	9.8	19.6	21.6	9.8
世帯構成	核家族世帯	180	37.2	44.4	36.1	41.7	42.2	6.1	5.0	22.8	13.9	6.7
	三世代世帯	13	15.4	15.4	15.4	30.8	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	23.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	14	14.3	7.1	7.1	35.7	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	14.3
	障害者手帳所持者がいる	19	15.8	26.3	26.3	36.8	31.6	5.3	0.0	21.1	31.6	10.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	45	35.6	37.8	48.9	37.8	42.2	6.7	4.4	26.7	13.3	6.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	42.9	57.1	57.1	57.1	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
	その他	5	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0
	あてはまらない	109	41.3	49.5	33.9	40.4	44.0	5.5	4.6	22.0	11.0	7.3
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	38	31.6	52.6	42.1	42.1	39.5	7.9	5.3	26.3	7.9	2.6
	40～59歳	150	38.0	41.3	34.0	41.3	40.7	5.3	4.7	20.0	14.7	8.7
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0
	まあまあゆとりがある	84	34.5	42.9	27.4	44.0	44.0	3.6	1.2	19.0	10.7	8.3
	やや苦しい	86	32.6	34.9	39.5	32.6	31.4	7.0	5.8	22.1	14.0	8.1
	不自由が多く、生活が苦しい	19	63.2	78.9	52.6	68.4	68.4	15.8	21.1	36.8	15.8	0.0
サービス	利用している	152	42.1	50.0	40.8	46.1	47.4	5.3	4.6	21.7	8.6	5.9
	利用していない	40	12.5	15.0	12.5	20.0	15.0	10.0	5.0	20.0	32.5	15.0
障害に気づいた時期	１年未満	13	30.8	23.1	30.8	15.4	23.1	15.4	0.0	0.0	15.4	15.4
	１年以上、３年未満	15	46.7	40.0	26.7	33.3	46.7	6.7	13.3	26.7	6.7	0.0
	３年以上、５年未満	31	32.3	41.9	45.2	32.3	38.7	9.7	3.2	25.8	16.1	0.0
	５年以上、10年未満	65	43.1	60.0	43.1	53.8	50.8	4.6	6.2	26.2	6.2	1.5
	10年以上	69	29.0	30.4	24.6	39.1	33.3	4.3	4.3	18.8	20.3	17.4
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	14	64.3	64.3	57.1	71.4	57.1	7.1	7.1	28.6	7.1	14.3
	医療的ケアを受けている	20	45.0	45.0	45.0	25.0	45.0	10.0	10.0	25.0	10.0	10.0
	視覚障害がある	7	57.1	57.1	57.1	28.6	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	8	25.0	50.0	37.5	37.5	25.0	25.0	25.0	0.0	12.5	37.5

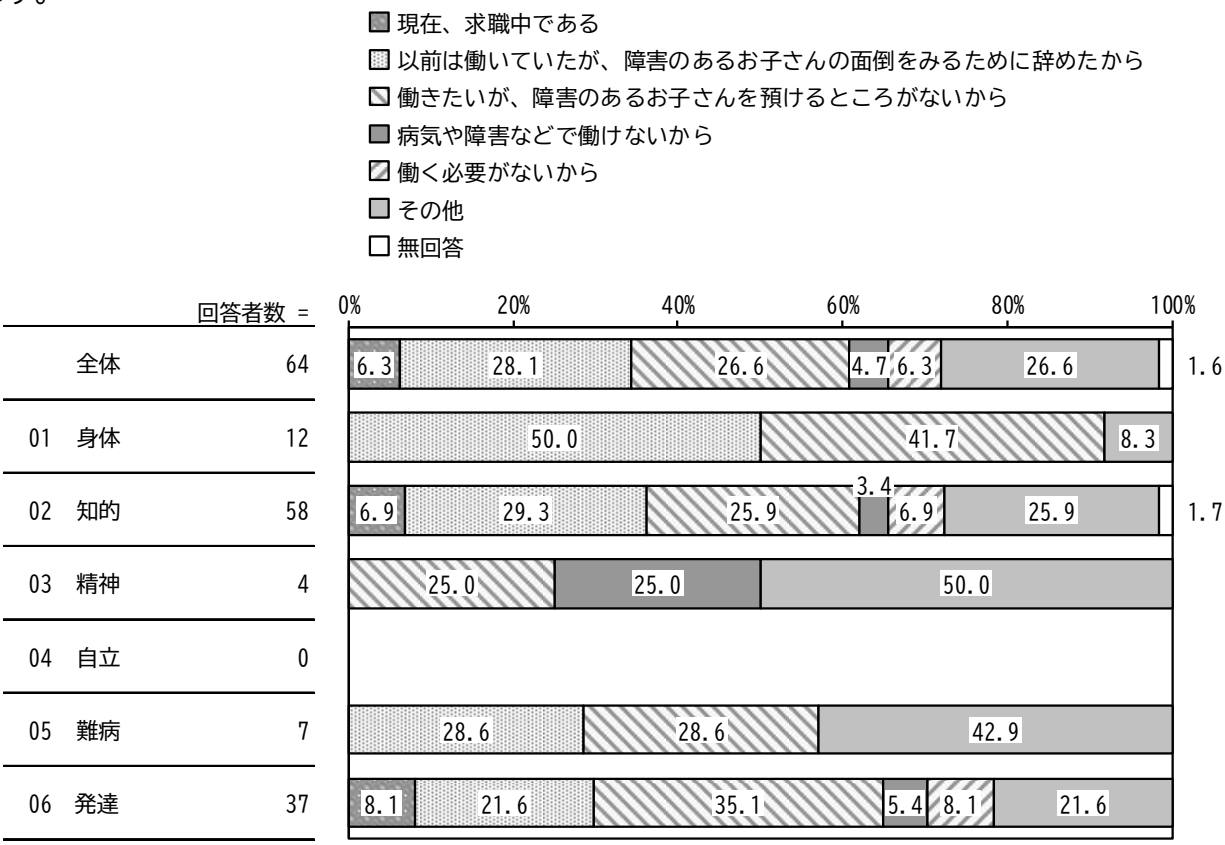
【問 11 は問９で「就労していない」と回答された方にお聞きします。】

問 11　就労していない理由を教えてください。【○は１つだけ】

「以前は働いていたが、障害のあるお子さんの面倒をみるために辞めたから」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「働きたいが、障害のあるお子さんを預けるところがないから」の割合が 26.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「以前は働いていたが、障害のあるお子さんの面倒をみるために辞めたから」「働きたいが、障害のあるお子さんを預けるところがないから」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』、『９～11 歳』で「以前は働いていたが、障害のあるお子さんの面倒をみるために辞めたから」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「以前は働いていたが、障害のあるお子さんの面倒をみるために辞めたから」「働きたいが、障害のあるお子さんを預けるところがないから」の割合が高く、『40～59 歳』で「現在、求職中である」「病気や障害などで働けないから」「働く必要がないから」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で「働きたいが、障害のあるお子さんを預けるところがないから」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「以前は働いていたが、障害のあるお子さんの面倒をみるために辞めたから」「働く必要がないから」の割合が高く、『利用していない』で「病気や障害などで働けないから」の割合が高くなっています。

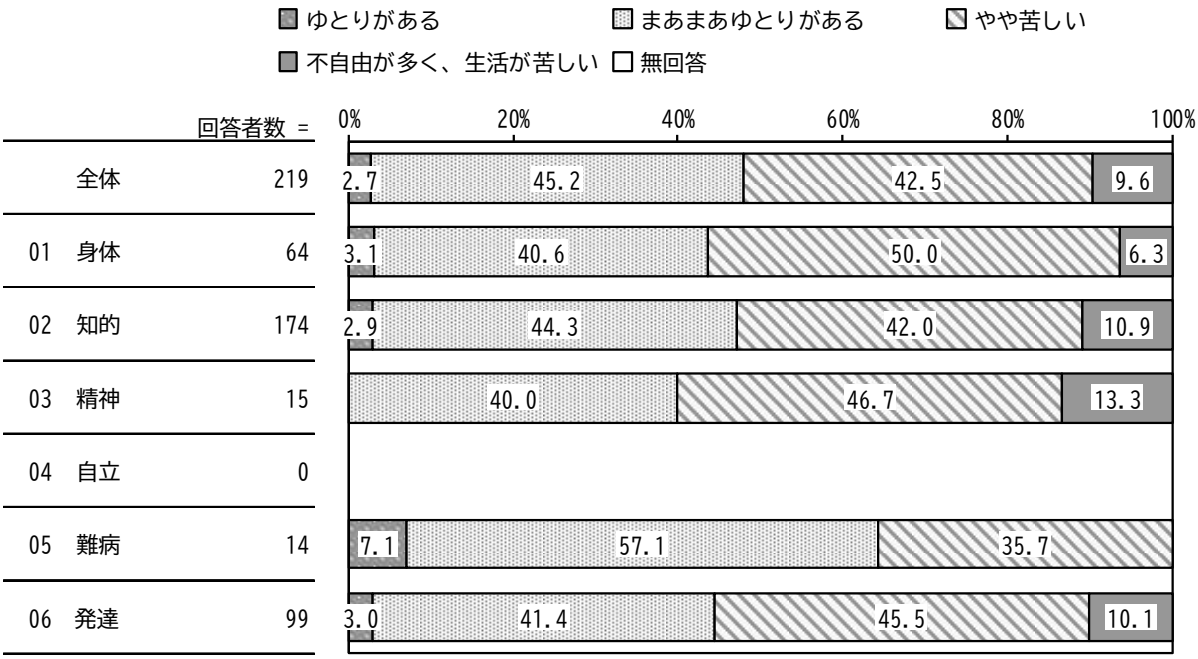
		調査数	現在、求職中である	以前は働いていたが、障害のあるお子さんの面倒をみるために辞めたから	働きたいが、障害のあるお子さんを預けるところがないから	病気や障害などで働けないから	働く必要がないから	その他	無回答
全　体		64	6.3	28.1	26.6	4.7	6.3	26.6	1.6
本人の年齢	０～２歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	11	0.0	45.5	27.3	0.0	0.0	27.3	0.0
	６～８歳	18	5.6	16.7	33.3	11.1	11.1	22.2	0.0
	９～11歳	14	7.1	42.9	21.4	0.0	7.1	21.4	0.0
	12～14歳	8	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5	37.5	12.5
	15～17歳	13	15.4	30.8	15.4	7.7	0.0	30.8	0.0
世帯構成	核家族世帯	59	6.8	25.4	27.1	5.1	6.8	27.1	1.7
	三世代世帯	5	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	5	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	4	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	30.8	30.8	0.0	0.0	38.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	6	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	39	10.3	25.6	25.6	2.6	10.3	23.1	2.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	11	0.0	36.4	36.4	0.0	0.0	27.3	0.0
	40～59歳	52	7.7	26.9	25.0	5.8	7.7	25.0	1.9
	60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	26	3.8	23.1	30.8	3.8	3.8	30.8	3.8
	やや苦しい	29	6.9	27.6	20.7	6.9	6.9	31.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	8	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	54	5.6	31.5	25.9	1.9	7.4	25.9	1.9
	利用していない	10	10.0	10.0	30.0	20.0	0.0	30.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	6	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	３年以上、５年未満	13	0.0	23.1	30.8	15.4	0.0	30.8	0.0
	５年以上、10年未満	27	7.4	29.6	29.6	3.7	11.1	18.5	0.0
	10年以上	16	12.5	25.0	12.5	0.0	6.3	37.5	6.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	5	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	医療的ケアを受けている	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 12　お子さんの世帯の暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。
【○は１つだけ】

「まあまあゆとりがある」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 42.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「まあまあゆとりがある」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』、『12～14 歳』で「まあまあゆとりがある」、『９～11 歳』で「不自由が多く、生活が苦しい」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「やや苦しい」の割合が高く、『三世代世帯』で「まあまあゆとりがある」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「まあまあゆとりがある」、『障害者手帳所持者がいる』で「やや苦しい」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「まあまあゆとりがある」の割合が高く、『40～59 歳』で「やや苦しい」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「不自由が多く、生活が苦しい」の割合が高く、『利用していない』で「まあまあゆとりがある」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「やや苦しい」、『１年以上、３年未満』で「不自由が多く、生活が苦しい」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「やや苦しい」、『聴覚障害がある』で「不自由が多く、生活が苦しい」の割合が高くなっています。

		調査数	ゆとりがある	まあまあゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい	無回答
全　体		219	2.7	45.2	42.5	9.6	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	３～５歳	34	2.9	38.2	47.1	11.8	0.0
	６～８歳	44	0.0	52.3	38.6	9.1	0.0
	９～11歳	40	2.5	40.0	42.5	15.0	0.0
	12～14歳	39	5.1	51.3	41.0	2.6	0.0
	15～17歳	59	3.4	45.8	42.4	8.5	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	3.0	44.3	42.9	9.9	0.0
	三世代世帯	16	0.0	56.3	37.5	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	68.8	31.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	4.8	28.6	57.1	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	0.0	43.1	47.1	9.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0
	その他	6	0.0	16.7	50.0	33.3	0.0
	あてはまらない	124	4.0	47.6	38.7	9.7	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	51.3	35.9	12.8	0.0
	40～59歳	151	2.6	42.4	46.4	8.6	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	93	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
サービス	利用している	167	3.0	43.7	41.3	12.0	0.0
	利用していない	51	2.0	51.0	45.1	2.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	38.9	55.6	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	29.4	35.3	35.3	0.0
	３年以上、５年未満	34	2.9	41.2	50.0	5.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	0.0	50.0	35.7	14.3	0.0
	10年以上	80	5.0	47.5	43.8	3.8	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	40.0	40.0	13.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	30.0	50.0	20.0	0.0

2　障害について

問 13　次のうち、お子さんにあてはまるものに○をつけてください。手帳をお持ちの方は等級・程度についても○をつけてください。【○はいくつでも】

「愛の手帳（療育手帳）を持っている」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「発達障害と診断されたことがある」の割合が 45.2%、「身体障害者手帳を持っている」の割合が 29.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体、難病で「訪問看護などの医療的ケアを受けている」の割合が高くなっています。

		調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	強度行動障害と言われたことがある	どれにもあてはまらない	無回答
全　体		219	29.2	79.5	6.8	0.0	6.4	0.5	45.2	12.8	1.4	0.0	0.0 (%)
障害種別	身体	64	100.0	51.6	1.6	0.0	10.9	1.6	21.9	28.1	0.0	0.0	0.0
	知的	174	19.0	100.0	2.9	0.0	4.6	0.6	50.0	10.9	1.7	0.0	0.0
	精神	15	6.7	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	50.0	57.1	0.0	0.0	100.0	0.0	21.4	28.6	0.0	0.0	0.0
	発達	99	14.1	87.9	10.1	0.0	3.0	0.0	100.0	13.1	3.0	0.0	0.0

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「愛の手帳（療育手帳）を持っている」「発達障害と診断されたことがある」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「愛の手帳（療育手帳）を持っている」「発達障害と診断されたことがある」「訪問看護などの医療的ケアを受けている」の割合が高く、『三世代世帯』で「精神障害者保健福祉手帳を持っている」「難病医療費等助成対象疾病を患っている」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「精神障害者保健福祉手帳を持っている」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「難病医療費等助成対象疾病を患っている」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「愛の手帳（療育手帳）を持っている」「強度行動障害と言われたことがある」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「愛の手帳（療育手帳）を持っている」、『聴覚障害がある』で「難病医療費等助成対象疾病を患っている」の割合が高くなっています。

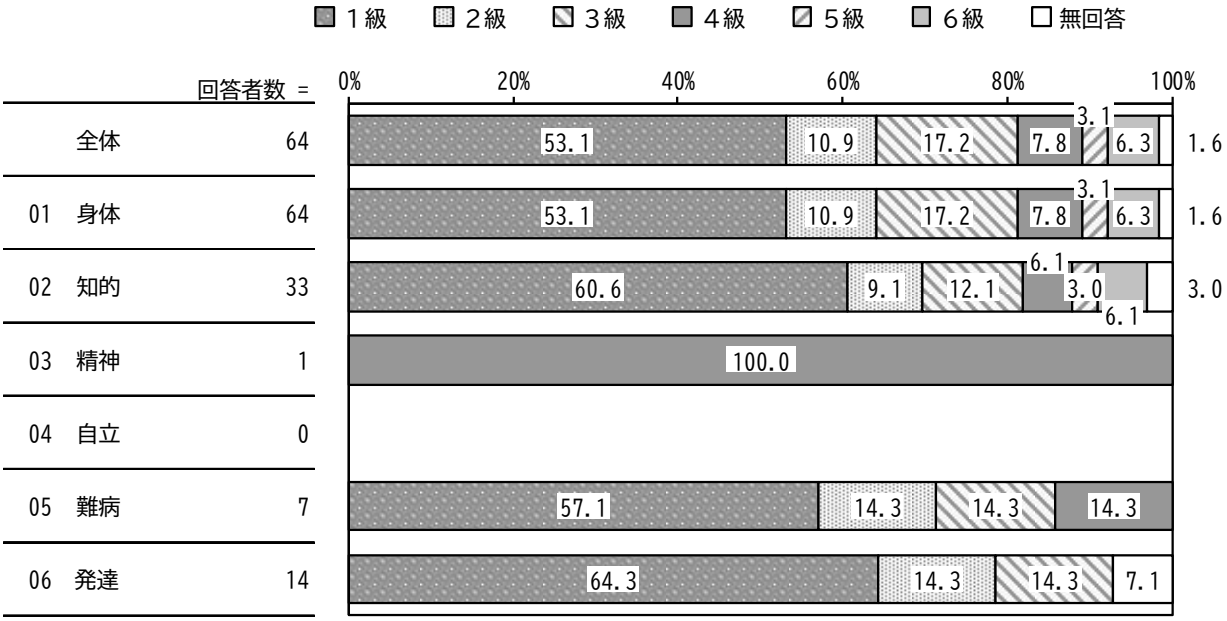
		調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	強度行動障害と言われたことがある	どれにもあてはまらない	無回答
全　体		219	29.2	79.5	6.8	0.0	6.4	0.5	45.2	12.8	1.4	0.0	0.0 (%)
本人の年齢	0～2歳	3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	34	23.5	82.4	0.0	0.0	11.8	0.0	47.1	20.6	0.0	0.0	0.0
	6～8歳	44	15.9	95.5	4.5	0.0	4.5	0.0	56.8	9.1	2.3	0.0	0.0
	9～11歳	40	30.0	75.0	5.0	0.0	7.5	0.0	47.5	15.0	2.5	0.0	0.0
	12～14歳	39	38.5	66.7	7.7	0.0	2.6	0.0	30.8	5.1	2.6	0.0	0.0
	15～17歳	59	32.2	79.7	13.6	0.0	6.8	0.0	45.8	11.9	0.0	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	29.1	80.8	5.9	0.0	5.9	0.5	46.3	13.3	1.5	0.0	0.0
	三世代世帯	16	31.3	62.5	18.8	0.0	12.5	0.0	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	68.8	12.5	0.0	12.5	0.0	43.8	12.5	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	38.1	61.9	28.6	0.0	4.8	0.0	47.6	4.8	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	31.4	78.4	7.8	0.0	7.8	2.0	43.1	13.7	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
	その他	6	16.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	27.4	82.3	3.2	0.0	6.5	0.0	42.7	12.9	2.4	0.0	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	28.2	79.5	5.1	0.0	12.8	2.6	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	151	29.8	81.5	7.3	0.0	4.6	0.0	47.0	12.6	2.0	0.0	0.0
	60歳代	2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	83.3	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	26.3	77.8	6.1	0.0	8.1	0.0	41.4	9.1	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	93	34.4	78.5	7.5	0.0	5.4	1.1	48.4	19.4	0.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	19.0	90.5	9.5	0.0	0.0	0.0	47.6	4.8	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	167	24.6	91.0	4.2	0.0	6.6	0.6	49.7	14.4	1.8	0.0	0.0
	利用していない	51	45.1	41.2	15.7	0.0	5.9	0.0	31.4	7.8	0.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	55.6	55.6	11.1	0.0	11.1	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	17.6	88.2	0.0	0.0	11.8	5.9	41.2	23.5	5.9	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	88.2	8.8	0.0	5.9	0.0	61.8	14.7	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	25.7	85.7	5.7	0.0	5.7	0.0	51.4	10.0	2.9	0.0	0.0
	10年以上	80	38.8	73.8	7.5	0.0	5.0	0.0	40.0	11.3	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	100.0	93.3	6.7	0.0	6.7	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	58.3	70.8	4.2	0.0	12.5	4.2	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	100.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	100.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0

等級・程度（身体障害者手帳）

「１級」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「３級」の割合が 17.2%、「２級」の割合が 10.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、発達で「１級」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『９～11 歳』で「１級」の割合が高く、『12～14 歳』で「２級」「５級」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「１級」「３級」の割合が高く、『あてはまらない』で「２級」「４級」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「３級」の割合が高く、『40～59 歳』で「６級」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で「２級」「５級」の割合が高く、『やや苦しい』で「１級」「３級」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「１級」「３級」の割合が高く、『利用していない』で「２級」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「４級」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「１級」、『聴覚障害がある』で「２級」の割合が高くなっています。

		調査数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全　体		64	53.1	10.9	17.2	7.8	3.1	6.3	1.6
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	8	62.5	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
	６～８歳	7	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	９～11歳	12	58.3	16.7	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	12～14歳	15	53.3	20.0	6.7	0.0	13.3	6.7	0.0
	15～17歳	19	52.6	5.3	15.8	10.5	0.0	10.5	5.3
世帯構成	核家族世帯	59	55.9	10.2	16.9	6.8	1.7	6.8	1.7
	三世代世帯	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
	障害者手帳所持者がいる	8	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	16	56.3	6.3	25.0	0.0	6.3	6.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	34	47.1	14.7	17.6	8.8	2.9	8.8	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	11	54.5	9.1	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	45	55.6	11.1	13.3	8.9	4.4	6.7	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	26	50.0	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	3.8
	やや苦しい	32	59.4	9.4	18.8	6.3	0.0	6.3	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	4	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	41	56.1	7.3	19.5	7.3	2.4	4.9	2.4
	利用していない	23	47.8	17.4	13.0	8.7	4.3	8.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	10	30.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0
	１年以上、３年未満	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	18	61.1	11.1	22.2	5.6	0.0	0.0	0.0
	10年以上	31	51.6	12.9	12.9	6.5	3.2	9.7	3.2
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	46.7	6.7	20.0	6.7	6.7	13.3	0.0
	医療的ケアを受けている	14	78.6	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	71.4	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
	聴覚障害がある	10	30.0	40.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0

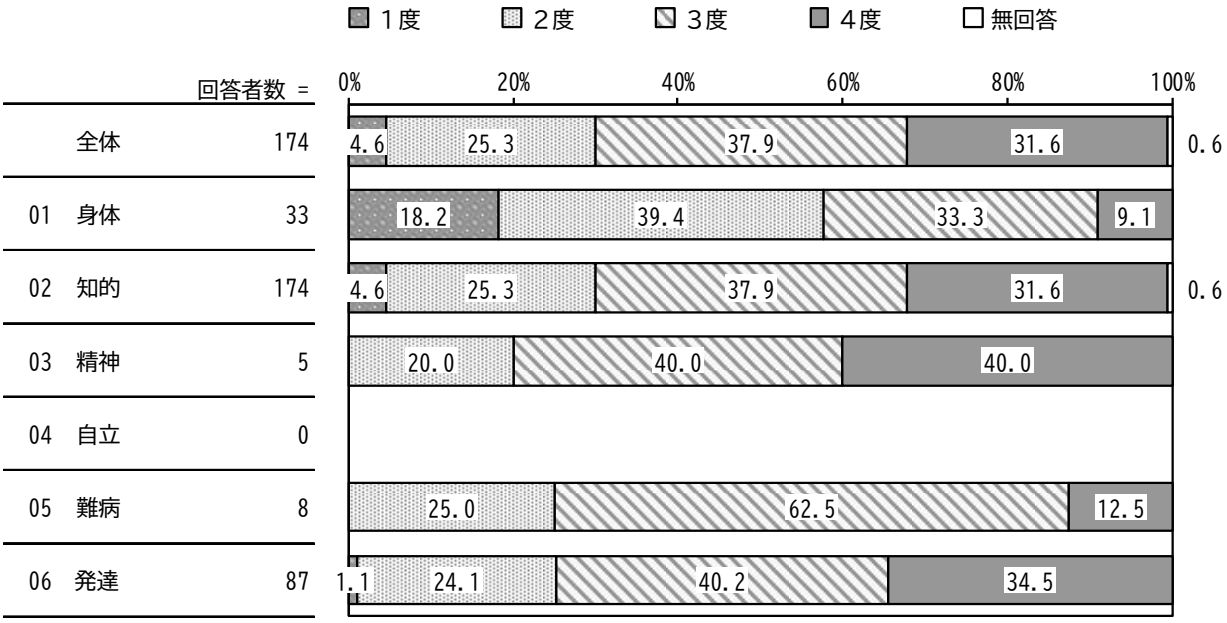
(%)

愛の手帳（療育手帳）

「３度」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「４度」の割合が 31.6%、「２度」の割合が 25.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「１度」「２度」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『９～11 歳』で「２度」、『３～５歳』で「３度」、『15～17 歳』で「４度」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「２度」の割合が高く、『三世代世帯』で「３度」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「２度」「４度」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「３度」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「４度」の割合が高く、『40～59 歳』で「２度」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「２度」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「２度」「３度」の割合が高く、『利用していない』で「４度」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「２度」、『３年以上、５年未満』で「３度」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「２度」の割合が高く、『医療的ケアを受けている』で「１度」の割合が高くなっています。

		調査数	1度	2度	3度	4度	無回答
全　体		174	4.6	25.3	37.9	31.6	0.6
本人の年齢	０～２歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	28	3.6	3.6	50.0	39.3	3.6
	６～８歳	42	2.4	28.6	47.6	21.4	0.0
	９～11歳	30	3.3	43.3	23.3	30.0	0.0
	12～14歳	26	7.7	30.8	42.3	19.2	0.0
	15～17歳	47	6.4	19.1	29.8	44.7	0.0
世帯構成	核家族世帯	164	4.9	25.6	37.2	31.7	0.6
	三世代世帯	10	0.0	20.0	50.0	30.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	11	0.0	9.1	54.5	36.4	0.0
	障害者手帳所持者がいる	13	7.7	38.5	7.7	46.2	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	40	2.5	27.5	42.5	27.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	その他	6	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0
	あてはまらない	102	3.9	26.5	39.2	30.4	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	31	3.2	16.1	38.7	41.9	0.0
	40～59歳	123	4.9	30.1	36.6	27.6	0.8
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	5	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0
	まあまあゆとりがある	77	5.2	13.0	45.5	36.4	0.0
	やや苦しい	73	5.5	31.5	31.5	30.1	1.4
	不自由が多く、生活が苦しい	19	0.0	47.4	31.6	21.1	0.0
サービス	利用している	152	4.6	28.3	38.8	27.6	0.7
	利用していない	21	4.8	4.8	33.3	57.1	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	10	0.0	20.0	50.0	30.0	0.0
	１年以上、３年未満	15	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0
	３年以上、５年未満	30	0.0	6.7	56.7	33.3	3.3
	５年以上、10年未満	60	8.3	36.7	30.0	25.0	0.0
	10年以上	59	5.1	25.4	33.9	35.6	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	14	7.1	50.0	35.7	7.1	0.0
	医療的ケアを受けている	17	23.5	35.3	35.3	5.9	0.0
	視覚障害がある	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0

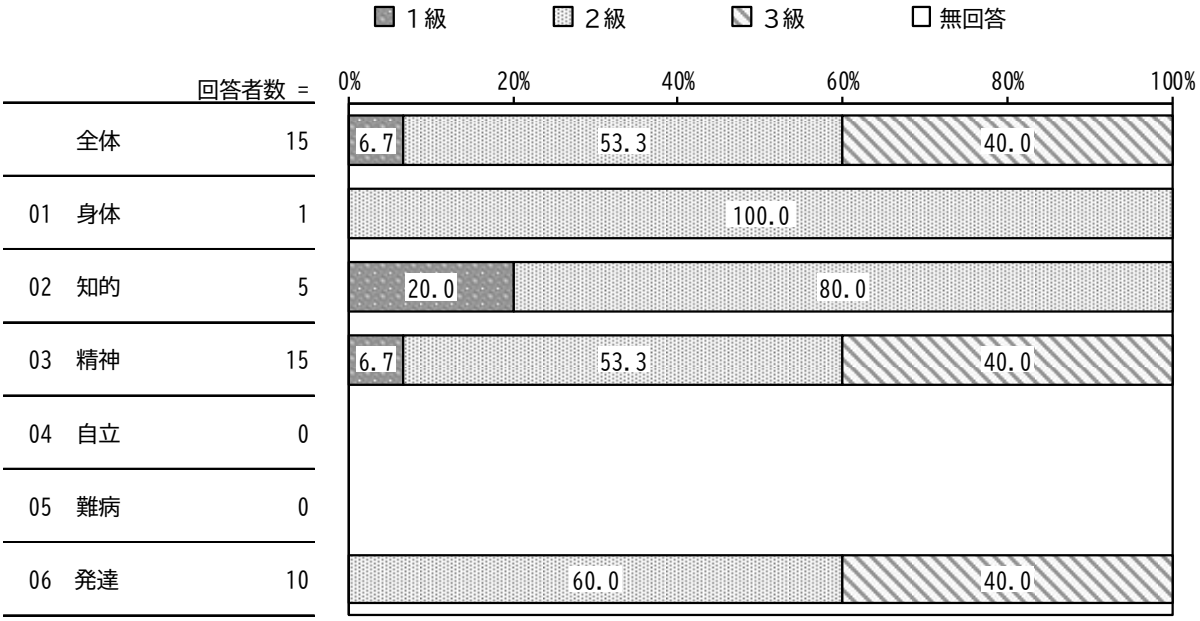
(%)

精神障害者保健福祉手帳

「１級」の割合が 6.7%、「２級」の割合が 53.3%、「３級」の割合が 40.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「１級」の割合が高く、発達で「２級」の割合が高くなっています。



【属性別】

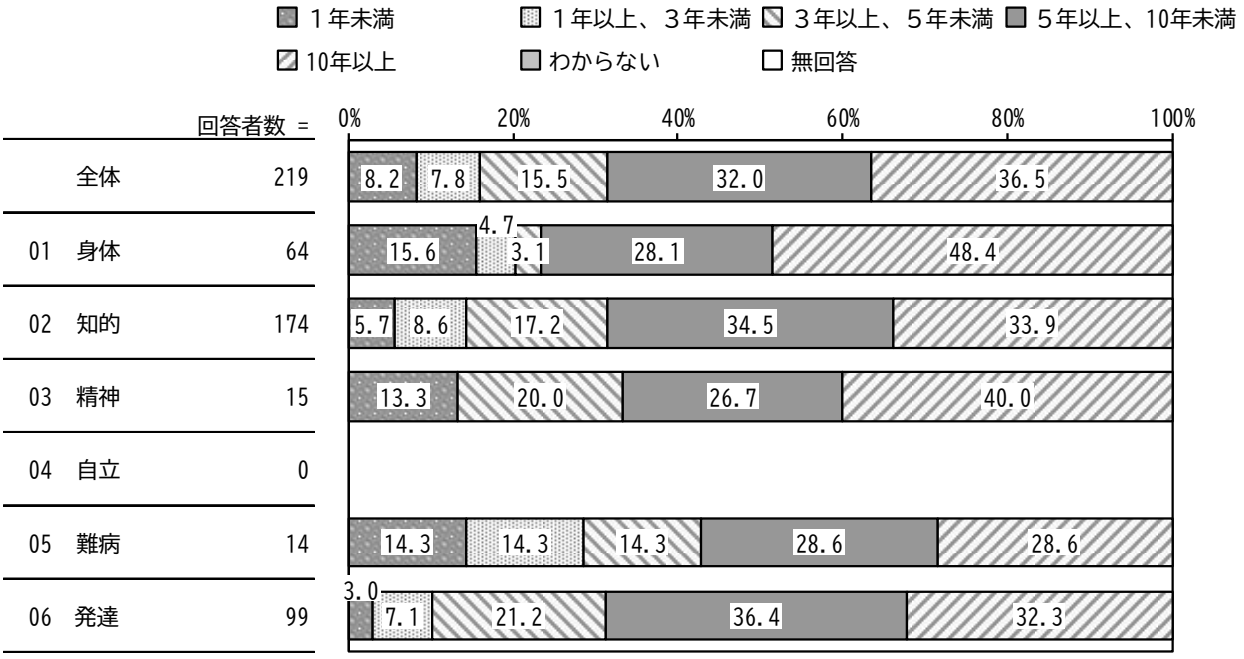
		調査数	1級	2級	3級	無回答
全　体		15	6.7	53.3	40.0	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	９～11歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	12～14歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	15～17歳	8	0.0	62.5	37.5	0.0
世帯構成	核家族世帯	12	8.3	58.3	33.3	0.0
	三世代世帯	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	6	0.0	50.0	50.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	4	0.0	25.0	75.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	4	25.0	75.0	0.0	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	40～59歳	11	9.1	63.6	27.3	0.0
	60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	6	16.7	50.0	33.3	0.0
	やや苦しい	7	0.0	57.1	42.9	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	2	0.0	50.0	50.0	0.0
サービス	利用している	7	14.3	71.4	14.3	0.0
	利用していない	8	0.0	37.5	62.5	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	１年以上、３年未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	3	0.0	66.7	33.3	0.0
	５年以上、10年未満	4	25.0	25.0	50.0	0.0
	10年以上	6	0.0	66.7	33.3	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 14　お子さんに発達の遅れや障害があることに気がついたのは、おおよそ何年前でしたか。【○は１つだけ】

「10 年以上」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「５年以上、10 年未満」の割合が 32.0%、「３年以上、５年未満」の割合が 15.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「10 年以上」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「３年以上、５年未満」、『６～８歳』で「５年以上、10 年未満」、『12～14 歳』、『15～17 歳』で「10 年以上」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「３年以上、５年未満」の割合が高く、『三世代世帯』で「10 年以上」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「１年未満」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「10 年以上」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「１年以上、３年未満」「３年以上、５年未満」の割合が高く、『40～59 歳』で「１年未満」「10 年以上」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「１年以上、３年未満」「５年以上、10 年未満」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「１年以上、３年未満」「５年以上、10 年未満」の割合が高く、『利用していない』で「10 年以上」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「１年未満」「１年以上、３年未満」、『重度心身障害』で「10 年以上」の割合が高くなっています。

		調査数	1年未満	1年以上、3年未満	3年以上、5年未満	5年以上、10年未満	10年以上	わからない	無回答
全　体		219	8.2	7.8	15.5	32.0	36.5	0.0	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	11.8	32.4	41.2	14.7	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	44	2.3	2.3	25.0	70.5	0.0	0.0	0.0
	９～11歳	40	10.0	2.5	5.0	65.0	17.5	0.0	0.0
	12～14歳	39	10.3	2.6	7.7	5.1	74.4	0.0	0.0
	15～17歳	59	6.8	1.7	6.8	10.2	74.6	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	8.4	7.9	16.7	32.0	35.0	0.0	0.0
	三世代世帯	16	6.3	6.3	0.0	31.3	56.3	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	6.3	0.0	12.5	25.0	56.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	19.0	0.0	23.8	23.8	33.3	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	3.9	15.7	17.6	41.2	21.6	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0
	その他	6	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0
	あてはまらない	124	9.7	5.6	12.9	32.3	39.5	0.0	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	17.9	33.3	38.5	7.7	0.0	0.0
	40～59歳	151	8.6	4.6	10.6	33.8	42.4	0.0	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	7.1	5.1	14.1	35.4	38.4	0.0	0.0
	やや苦しい	93	10.8	6.5	18.3	26.9	37.6	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	28.6	9.5	47.6	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	167	7.8	10.2	15.0	35.3	31.7	0.0	0.0
	利用していない	51	9.8	0.0	17.6	21.6	51.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	10年以上	80	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	13.3	0.0	0.0	26.7	60.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	4.2	12.5	20.8	29.2	33.3	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	0.0	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0

【問 15 は問 13 で「身体障害者手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問 15　身体障害者手帳に記載されている障害をお答えください。【○はいくつでも】

「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「肢体不自由（体幹機能障害）」の割合が 26.6%、「内部障害」の割合が 23.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」「肢体不自由（体幹機能障害）」、発達で「内部障害」の割合が高くなっています。

		調査数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	肢体不自由（上肢・下肢機能障害）	肢体不自由（体幹機能障害）	内部障害	わからない	無回答
全　体		64	10.9	15.6	0.0	4.7	0.0	45.3	26.6	23.4	0.0	0.0
障害種別	身体	64	10.9	15.6	0.0	4.7	0.0	45.3	26.6	23.4	0.0	0.0
	知的	33	9.1	12.1	0.0	3.0	0.0	57.6	45.5	15.2	0.0	0.0
	精神	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	7	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	42.9	0.0	0.0
	発達	14	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	28.6	35.7	0.0	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『９～11 歳』で「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」の割合が高く、『12～14 歳』で「肢体不自由（体幹機能障害）」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「肢体不自由（体幹機能障害）」「内部障害」の割合が高く、『あてはまらない』で「聴覚障害」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「聴覚障害」「音声機能・言語機能・そしゃく機能障害」「内部障害」の割合が高く、『40～59 歳』で「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で「視覚障害」「音声機能・言語機能・そしゃく機能障害」の割合が高く、『やや苦しい』で「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」「内部障害」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」「肢体不自由（体幹機能障害）」の割合が高く、『利用していない』で「音声機能・言語機能・そしゃく機能障害」「内部障害」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」、『重度心身障害』、『医療的ケアを受けている』で「肢体不自由（体幹機能障害）」の割合が高くなっています。

		調査数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	肢体不自由（上肢・下肢機能障害）	肢体不自由（体幹機能障害）	内部障害	わからない	無回答	
全　体		64	10.9	15.6	0.0	4.7	0.0	45.3	26.6	23.4	0.0	0.0	(%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	8	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	37.5	25.0	0.0	0.0	
	６～８歳	7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	28.6	0.0	0.0	
	９～11歳	12	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	58.3	33.3	25.0	0.0	0.0	
	12～14歳	15	13.3	13.3	0.0	0.0	0.0	33.3	46.7	6.7	0.0	0.0	
	15～17歳	19	15.8	5.3	0.0	10.5	0.0	47.4	10.5	36.8	0.0	0.0	
世帯構成	核家族世帯	59	10.2	15.3	0.0	3.4	0.0	44.1	28.8	25.4	0.0	0.0	
	三世代世帯	5	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	16	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	50.0	37.5	31.3	0.0	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	あてはまらない	34	8.8	23.5	0.0	0.0	0.0	47.1	20.6	20.6	0.0	0.0	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	11	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0	36.4	27.3	27.3	0.0	0.0	
	40～59歳	45	11.1	11.1	0.0	2.2	0.0	46.7	26.7	22.2	0.0	0.0	
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
	まあまあゆとりがある	26	19.2	11.5	0.0	11.5	0.0	38.5	26.9	19.2	0.0	0.0	
	やや苦しい	32	6.3	15.6	0.0	0.0	0.0	50.0	28.1	28.1	0.0	0.0	
	不自由が多く、生活が苦しい	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
サービス	利用している	41	12.2	14.6	0.0	2.4	0.0	51.2	36.6	19.5	0.0	0.0	
	利用していない	23	8.7	17.4	0.0	8.7	0.0	34.8	8.7	30.4	0.0	0.0	
障害に気づいた時期	１年未満	10	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	30.0	0.0	0.0	
	１年以上、３年未満	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	
	３年以上、５年未満	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
	５年以上、10年未満	18	11.1	11.1	0.0	5.6	0.0	50.0	22.2	33.3	0.0	0.0	
	10年以上	31	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	51.6	29.0	16.1	0.0	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	60.0	6.7	0.0	0.0	
	医療的ケアを受けている	14	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	71.4	57.1	14.3	0.0	0.0	
	視覚障害がある	7	100.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	10	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	

【問 16 は問 13 で「発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

問 16　診断内容をお答えください。【○はいくつでも】

「自閉症」の割合が 70.7%と最も高く、次いで「その他の発達障害」の割合が 27.3%、「注意欠陥多動性障害（ADHD)」の割合が 15.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「アスペルガー症候群」「注意欠陥多動性障害（ADHD)」、身体で「チック（トゥレット症候群)」「その他の発達障害」の割合が高くなっています。

		調査数	自閉症	アスペルガー症候群	注意欠陥多動性障害（ADHD）	学習障害（LD）	チック（トゥレット症候群）	吃音症	その他の発達障害	わからない	無回答
全　体		99	70.7	2.0	15.2	5.1	3.0	0.0	27.3	1.0	1.0
障害種別	身体	14	14.3	0.0	21.4	0.0	14.3	0.0	50.0	7.1	0.0
	知的	87	75.9	0.0	9.2	4.6	2.3	0.0	29.9	0.0	1.1
	精神	10	70.0	20.0	50.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	発達	99	70.7	2.0	15.2	5.1	3.0	0.0	27.3	1.0	1.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『15～17 歳』で「注意欠陥多動性障害（ADHD)」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「アスペルガー症候群」「注意欠陥多動性障害（ADHD)」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「その他の発達障害」の割合が高く、『40～59 歳』で「自閉症」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「注意欠陥多動性障害（ADHD)」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「自閉症」「その他の発達障害」の割合が高く、『利用していない』で「アスペルガー症候群」「注意欠陥多動性障害（ADHD)」「学習障害（LD)」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「自閉症」の割合が高くなっています。

		調査数	自閉症	アスペルガー症候群	注意欠陥多動性障害（ＡＤＨＤ）	学習障害（ＬＤ）	チック（トゥレット症候群）	吃音症	その他の発達障害	わからない	無回答
全　体		99	70.7	2.0	15.2	5.1	3.0	0.0	27.3	1.0	1.0
本人の年齢	０～２歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	16	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	0.0	0.0
	６～８歳	25	84.0	0.0	16.0	4.0	4.0	0.0	24.0	0.0	0.0
	９～11歳	19	73.7	0.0	21.1	5.3	0.0	0.0	31.6	0.0	0.0
	12～14歳	12	58.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3
	15～17歳	27	55.6	0.0	25.9	11.1	7.4	0.0	29.6	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	94	71.3	1.1	14.9	5.3	3.2	0.0	26.6	1.1	1.1
	三世代世帯	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	7	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	10	70.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	22	59.1	0.0	18.2	4.5	0.0	0.0	31.8	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	6	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
	その他	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	53	79.2	0.0	9.4	3.8	1.9	0.0	26.4	0.0	1.9
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	18	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	38.9	0.0	0.0
	40～59歳	71	73.2	2.8	15.5	4.2	2.8	0.0	25.4	1.4	1.4
	60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	41	75.6	2.4	14.6	4.9	4.9	0.0	22.0	0.0	0.0
	やや苦しい	45	62.2	2.2	13.3	4.4	0.0	0.0	33.3	2.2	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	10	80.0	0.0	30.0	10.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0
サービス	利用している	83	78.3	0.0	9.6	1.2	2.4	0.0	28.9	1.2	1.2
	利用していない	16	31.3	12.5	43.8	25.0	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	21	76.2	4.8	19.0	9.5	0.0	0.0	23.8	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	36	75.0	0.0	19.4	0.0	2.8	0.0	27.8	0.0	0.0
	10年以上	32	59.4	0.0	12.5	9.4	6.3	0.0	28.1	3.1	3.1
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	12	41.7	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0	41.7	0.0	8.3
	視覚障害がある	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

【問 17 は問 13 で「訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問 17　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。【○はいくつでも】

「リハビリテーション」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「経管栄養」の割合が 25.0%、「吸引器使用」の割合が 17.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体、知的で「経管栄養」の割合が高くなっています。

		調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開（それに伴う処置）	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にない	無回答	
全　体		28	0.0	0.0	28.6	25.0	7.1	7.1	17.9	10.7	0.0	3.6	0.0	7.1	14.3	14.3	32.1	3.6	(%)
障害種別	身体	18	0.0	0.0	33.3	33.3	5.6	11.1	22.2	11.1	0.0	5.6	0.0	11.1	16.7	5.6	22.2	0.0	
	知的	19	0.0	0.0	31.6	31.6	5.3	10.5	21.1	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	5.3	10.5	26.3	5.3	
	精神	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	難病	4	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	
	発達	13	0.0	0.0	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	46.2	7.7	

【属性別】

		調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開（それに伴う処置）	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にない	無回答	
全　体		28	0.0	0.0	28.6	25.0	7.1	7.1	17.9	10.7	0.0	3.6	0.0	7.1	14.3	14.3	32.1	3.6	(%)
本人の年齢	０～２歳	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	7	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9	0.0	
	６～８歳	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	
	９～11歳	6	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	
	12～14歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	15～17歳	7	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	42.9	0.0	
世帯構成	核家族世帯	27	0.0	0.0	25.9	25.9	7.4	7.4	18.5	11.1	0.0	3.7	0.0	7.4	14.8	14.8	33.3	3.7	
	三世代世帯	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	7	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	あてはまらない	16	0.0	0.0	31.3	25.0	12.5	6.3	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0	12.5	43.8	6.3	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	3	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
	40～59歳	19	0.0	0.0	31.6	21.1	5.3	5.3	15.8	5.3	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	10.5	31.6	5.3	
	60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	まあまあゆとりがある	9	0.0	0.0	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	33.3	0.0	
	やや苦しい	18	0.0	0.0	27.8	27.8	5.6	11.1	22.2	16.7	0.0	5.6	0.0	11.1	5.6	11.1	33.3	5.6	
	不自由が多く、生活が苦しい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
サービス	利用している	24	0.0	0.0	33.3	29.2	8.3	8.3	20.8	12.5	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	12.5	29.2	4.2	
	利用していない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	
障害に気づいた時期	１年未満	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	
	１年以上、３年未満	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	
	３年以上、５年未満	5	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	
	５年以上、10年未満	7	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	
	10年以上	9	0.0	0.0	44.4	22.2	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	33.3	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	医療的ケアを受けている	24	0.0	0.0	33.3	25.0	8.3	8.3	20.8	12.5	0.0	4.2	0.0	8.3	12.5	12.5	33.3	4.2	
	視覚障害がある	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	

【問 18 は問 13 で「訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問 18　医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。
【○はいくつでも】

「一時的に預かってくれるサービスの不足」、「医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「保護者や介護者などの就労に制限がある」、「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）」の割合が 25.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体、知的で「医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足」の割合が高くなっています。

		調査数	一時的に預かってくれるサービスの不足	医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	医療的ケアに対応できる専門医の不足	経済的な負担が大きい	保護者や介護者などの就労に制限がある	災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）	チューブの自己抜去などの本人の行動特性	その他	医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない	無回答
全　体		28	28.6	21.4	3.6	28.6	7.1	10.7	25.0	25.0	0.0	3.6	10.7	39.3
障害種別	身体	18	22.2	33.3	5.6	33.3	11.1	11.1	22.2	27.8	0.0	5.6	16.7	27.8
	知的	19	31.6	31.6	5.3	26.3	10.5	10.5	26.3	31.6	0.0	5.3	10.5	31.6
	精神	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	4	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	発達	13	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	69.2

(%)

【属性別】

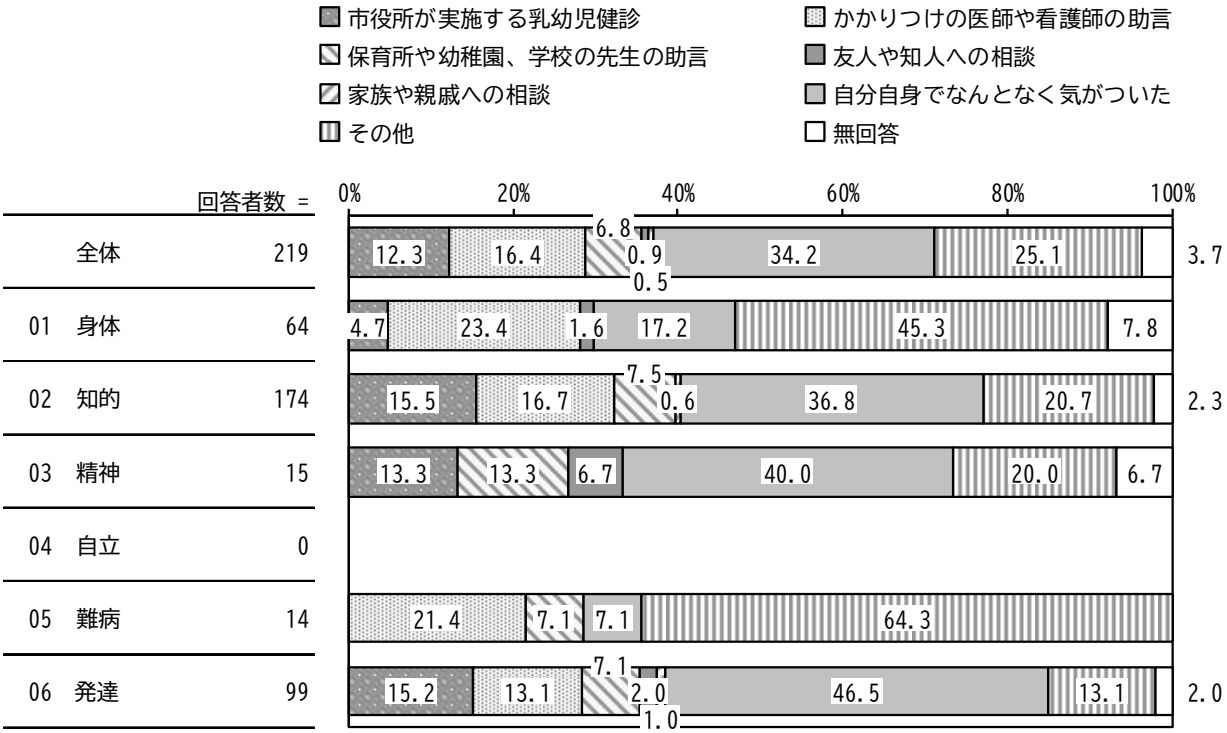
		調査数	一時的に預かってくれるサービスの不足	医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	医療的ケアに対応できる専門医の不足	経済的な負担が大きい	保護者や介護者などの就労に制限がある	災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）	チューブの自己抜去などの本人の行動特性	その他	医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない	無回答
全　体		28	28.6	21.4	3.6	28.6	7.1	10.7	25.0	25.0	0.0	3.6	10.7	39.3 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	7	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9
	6～8歳	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	9～11歳	6	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	12～14歳	2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	15～17歳	7	0.0	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	57.1
世帯構成	核家族世帯	27	29.6	22.2	3.7	29.6	7.4	11.1	25.9	25.9	0.0	3.7	11.1	37.0
	三世代世帯	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	障害者手帳所持者がいる	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	7	28.6	57.1	14.3	42.9	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	あてはまらない	16	37.5	12.5	0.0	31.3	0.0	6.3	31.3	31.3	0.0	0.0	6.3	43.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	3	100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	19	26.3	31.6	5.3	31.6	10.5	10.5	21.1	26.3	0.0	5.3	5.3	36.8
	60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	9	0.0	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	55.6
	やや苦しい	18	38.9	22.2	5.6	27.8	5.6	16.7	27.8	27.8	0.0	0.0	5.6	33.3
	不自由が多く、生活が苦しい	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	24	33.3	25.0	4.2	29.2	8.3	12.5	29.2	29.2	0.0	4.2	12.5	33.3
	利用していない	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
障害に気づいた時期	１年未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
	１年以上、３年未満	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	３年以上、５年未満	5	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	５年以上、10年未満	7	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6
	10年以上	9	11.1	33.3	0.0	33.3	22.2	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	22.2	44.4
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	29.2	25.0	4.2	29.2	8.3	12.5	25.0	25.0	0.0	4.2	12.5	37.5
	視覚障害がある	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	聴覚障害がある	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

問 19　お子さんに発達の遅れや障害があると気がついた、最初のきっかけをお答えください。【○は１つだけ】

「自分自身でなんとなく気がついた」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師の助言」の割合が 16.4%、「市役所が実施する乳幼児健診」の割合が 12.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、発達で「自分自身でなんとなく気がついた」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「自分自身でなんとなく気がついた」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「自分自身でなんとなく気がついた」の割合が高く、『三世代世帯』で「かかりつけの医師や看護師の助言」「保育所や幼稚園、学校の先生の助言」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「自分自身でなんとなく気がついた」の割合が低くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「市役所が実施する乳幼児健診」「かかりつけの医師や看護師の助言」、『まあまあゆとりがある』で「自分自身でなんとなく気がついた」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「市役所が実施する乳幼児健診」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「かかりつけの医師や看護師の助言」の割合が高くなっています。

		調査数	市役所が実施する乳幼児健診	かかりつけの医師や看護師の助言	保育所や幼稚園、学校の先生の助言	友人や知人への相談	家族や親戚への相談	自分自身でなんとなく気がついた	その他	無回答
全　体		219	12.3	16.4	6.8	0.9	0.5	34.2	25.1	3.7 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	３～５歳	34	5.9	20.6	11.8	0.0	0.0	35.3	23.5	2.9
	６～８歳	44	11.4	22.7	2.3	0.0	0.0	45.5	18.2	0.0
	９～11歳	40	20.0	15.0	5.0	2.5	2.5	22.5	30.0	2.5
	12～14歳	39	5.1	10.3	7.7	2.6	0.0	35.9	33.3	5.1
	15～17歳	59	16.9	15.3	8.5	0.0	0.0	32.2	20.3	6.8
世帯構成	核家族世帯	203	12.3	15.3	6.4	1.0	0.5	36.0	25.1	3.4
	三世代世帯	16	12.5	31.3	12.5	0.0	0.0	12.5	25.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	18.8	25.0	6.3	0.0	0.0	18.8	31.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	4.8	9.5	14.3	0.0	0.0	33.3	33.3	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	11.8	19.6	9.8	2.0	0.0	37.3	17.6	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	42.9	0.0
	その他	6	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	13.7	15.3	5.6	0.0	0.8	32.3	27.4	4.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	12.8	17.9	10.3	2.6	0.0	28.2	25.6	2.6
	40～59歳	151	12.6	15.9	4.0	0.7	0.7	38.4	25.8	2.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	11.1	11.1	7.1	1.0	0.0	39.4	26.3	4.0
	やや苦しい	93	12.9	20.4	6.5	1.1	1.1	28.0	25.8	4.3
	不自由が多く、生活が苦しい	21	19.0	23.8	4.8	0.0	0.0	38.1	14.3	0.0
サービス	利用している	167	15.0	15.6	6.0	1.2	0.6	34.1	25.7	1.8
	利用していない	51	3.9	17.6	9.8	0.0	0.0	35.3	23.5	9.8
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	77.8	5.6
	１年以上、３年未満	17	5.9	5.9	17.6	0.0	5.9	52.9	11.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	17.6	11.8	8.8	0.0	0.0	41.2	14.7	5.9
	５年以上、10年未満	70	12.9	24.3	7.1	1.4	0.0	31.4	22.9	0.0
	10年以上	80	13.8	15.0	5.0	1.3	0.0	36.3	22.5	6.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	13.3	26.7	0.0	0.0	0.0	26.7	26.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	4.2	25.0	0.0	0.0	4.2	29.2	37.5	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	71.4	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	10.0

問 20　お子さんに発達の遅れや障害があると気がついたときに、保護者や家族の方が相談した機関をお答えください。【○はいくつでも】

「児童発達支援センターひいらぎ」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」の割合が 48.9%、「市役所の窓口」の割合が 30.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「かかりつけの医師や看護師」「その他の障害福祉サービス事業所・施設や相談支援事業所」、精神で「保育所や幼稚園、学校」の割合が高くなっています。

		調査数	市役所の窓口	かかりつけの医師や看護師	東京都発達障害者支援センターTOSCA	心療内科	保健所、保健センター	子ども家庭支援センター　のどか	児童相談所	児童発達支援センターひいらぎ	その他の障害福祉サービス事業所・施設や相談支援事業所	保育所や幼稚園、学校	社会福祉協議会	その他	特に相談していない	わからない	無回答
全　体		219	30.1	48.9	0.9	2.7	9.6	5.9	5.9	53.9	10.5	13.2	0.5	10.5	0.9	0.0	2.3
障害種別	身体	64	29.7	70.3	0.0	0.0	9.4	1.6	4.7	39.1	17.2	12.5	1.6	10.9	1.6	0.0	7.8
	知的	174	32.2	44.3	1.1	2.9	10.3	6.9	6.3	62.1	8.6	12.6	0.6	10.3	0.6	0.0	1.1
	精神	15	33.3	40.0	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	26.7	13.3	33.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	28.6	85.7	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1	57.1	21.4	28.6	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
	発達	99	30.3	36.4	1.0	1.0	7.1	8.1	9.1	61.6	7.1	15.2	0.0	16.2	0.0	0.0	1.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「児童発達支援センターひいらぎ」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「児童相談所」の割合が高く、『三世代世帯』で「子ども家庭支援センター　のどか」「保育所や幼稚園、学校」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「保育所や幼稚園、学校」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「市役所の窓口」「子ども家庭支援センター　のどか」「児童相談所」「児童発達支援センターひいらぎ」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「市役所の窓口」「子ども家庭支援センター　のどか」「児童発達支援センターひいらぎ」「その他の障害福祉サービス事業所・施設や相談支援事業所」の割合が高く、『利用していない』で「かかりつけの医師や看護師」「心療内科」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「市役所の窓口」「かかりつけの医師や看護師」、『聴覚障害がある』で「その他の障害福祉サービス事業所・施設や相談支援事業所」の割合が高くなっています。

		調査数	市役所の窓口	かかりつけの医師や看護師	東京都発達障害者支援センターTOSCA	心療内科	保健所、保健センター	子ども家庭支援センター　のどか	児童相談所	児童発達支援センターひいらぎ	その他の障害福祉サービス事業所・施設や相談支援事業所	保育所や幼稚園、学校	社会福祉協議会	その他	特に相談していない	わからない	無回答
全　体		219	30.1	48.9	0.9	2.7	9.6	5.9	5.9	53.9	10.5	13.2	0.5	10.5	0.9	0.0	2.3 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	32.4	58.8	0.0	0.0	11.8	11.8	5.9	76.5	11.8	11.8	0.0	8.8	0.0	0.0	2.9
	６～８歳	44	38.6	47.7	0.0	0.0	9.1	11.4	6.8	61.4	15.9	15.9	2.3	15.9	0.0	0.0	2.3
	９～11歳	40	32.5	47.5	0.0	2.5	10.0	5.0	10.0	65.0	10.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0	2.5
	12～14歳	39	20.5	48.7	0.0	5.1	12.8	2.6	2.6	38.5	7.7	20.5	0.0	7.7	2.6	0.0	2.6
	15～17歳	59	27.1	42.4	3.4	5.1	6.8	1.7	5.1	39.0	6.8	10.2	0.0	13.6	1.7	0.0	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	30.0	48.8	1.0	2.5	9.9	5.4	6.4	54.2	10.8	12.8	0.5	10.8	0.5	0.0	2.5
	三世代世帯	16	31.3	50.0	0.0	6.3	6.3	12.5	0.0	50.0	6.3	18.8	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	37.5	0.0	6.3	6.3	12.5	0.0	50.0	6.3	12.5	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	28.6	47.6	0.0	9.5	4.8	4.8	9.5	23.8	9.5	14.3	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	25.5	52.9	0.0	3.9	13.7	11.8	9.8	58.8	15.7	23.5	2.0	9.8	2.0	0.0	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	85.7	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	42.9	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	66.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	30.6	43.5	0.8	0.8	8.9	3.2	3.2	57.3	8.9	8.9	0.0	11.3	0.8	0.0	3.2
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	33.3	51.3	0.0	0.0	15.4	10.3	7.7	61.5	20.5	15.4	0.0	5.1	0.0	0.0	5.1
	40～59歳	151	31.1	51.7	0.7	3.3	9.3	5.3	6.0	53.6	9.9	11.9	0.7	9.9	1.3	0.0	0.7
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	26.3	46.5	1.0	1.0	6.1	1.0	3.0	49.5	8.1	11.1	0.0	14.1	2.0	0.0	3.0
	やや苦しい	93	32.3	54.8	0.0	4.3	12.9	6.5	6.5	57.0	11.8	12.9	0.0	8.6	0.0	0.0	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	42.9	33.3	4.8	4.8	14.3	28.6	19.0	66.7	19.0	19.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	167	33.5	47.3	0.0	1.2	10.2	7.2	6.6	59.9	12.0	13.8	0.6	12.6	0.0	0.0	1.2
	利用していない	51	19.6	52.9	3.9	7.8	7.8	2.0	3.9	33.3	5.9	11.8	0.0	3.9	3.9	0.0	5.9
障害に気づいた時期	１年未満	18	38.9	66.7	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	5.6	0.0	16.7	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	35.3	47.1	0.0	5.9	17.6	17.6	5.9	76.5	11.8	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	32.4	35.3	2.9	2.9	5.9	0.0	5.9	61.8	2.9	2.9	0.0	11.8	0.0	0.0	2.9
	５年以上、10年未満	70	37.1	51.4	1.4	1.4	11.4	11.4	10.0	58.6	17.1	18.6	1.4	8.6	0.0	0.0	2.9
	10年以上	80	20.0	48.8	0.0	2.5	10.0	2.5	3.8	46.3	7.5	13.8	0.0	11.3	2.5	0.0	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	46.7	80.0	0.0	0.0	13.3	6.7	6.7	53.3	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	29.2	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	4.2	33.3	16.7	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	4.2
	視覚障害がある	7	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3
	聴覚障害がある	10	30.0	50.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	40.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0

【問 21 は問 20 で「特に相談していない」と回答された方にお聞きします。】

問 21　相談されなかった理由をお答えください。【○はいくつでも】

「困っていることがなかった」、「どこに相談できるのかわからなかった」、「身近に相談できる人や場所がなかった」が１件となっています。

【障害種別】

		調査数	困っていることがなかった	どこに相談できるのかわからなかった	障害を受け入れられなかった	相談することのメリットが感じられなかった	身近に相談できる人や場所がなかった	学校などに知られたくなかった	その他	無回答
全　体		2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0 (%)
障害種別	身体	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	精神	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	発達	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【属性別】

		調査数	困っていることがなかった	どこに相談できるのかわからなかった	障害を受け入れられなかった	相談することのメリットが感じられなかった	身近に相談できる人や場所がなかった	学校などに知られたくなかった	その他	無回答
全　体		2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	９～11歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	12～14歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	15～17歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	三世代世帯	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	利用していない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10年以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 22　療育や支援で、さらに充実させるべきだと思うことはありますか。【○は３つまで】

「放課後や休日などの居場所づくり」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園での障害児保育・教育の充実」の割合が 31.1%、「地域における療育、リハビリテーション体制の整備」の割合が 28.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「発育・発達上の課題の早期発見・診断」「専門的な相談体制」「学校での障害者理解の普及・啓発」「自立に向けた専門的な教育の充実」、難病で「地域における療育、リハビリテーション体制の整備」の割合が高くなっています。

		調査数	乳幼児健診の充実	発育・発達上の課題の早期発見・診断	専門的な相談体制	地域における療育、リハビリテーション体制の整備	保育園や幼稚園での障害児保育・教育の充実	学校での障害者理解の普及・啓発	自立に向けた専門的な教育の充実	通学・通園時の介助・付き添い支援	放課後や休日などの居場所づくり	安心して遊べる機会・場の確保	地域との交流の機会や環境づくり	保護者が介助（支援）できない時の一時預かりや介助など	医療体制の充実	障害福祉事業所と学校の連携	入所施設の充実	その他	特にない	無回答	
全　体		219	0.9	15.1	26.0	28.3	31.1	26.5	21.9	18.7	32.9	10.0	2.3	26.0	5.0	7.3	20.5	6.8	1.4	1.4	(%)
障害種別	身体	64	0.0	10.9	35.9	31.3	26.6	29.7	9.4	21.9	28.1	4.7	3.1	23.4	7.8	4.7	14.1	6.3	4.7	4.7	
	知的	174	1.1	13.8	23.0	29.3	32.8	22.4	24.7	18.4	37.9	12.6	2.3	27.6	4.0	6.9	25.9	5.7	0.6	0.6	
	精神	15	0.0	26.7	60.0	13.3	26.7	40.0	33.3	6.7	20.0	6.7	0.0	20.0	0.0	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0	
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	難病	14	0.0	21.4	35.7	50.0	28.6	21.4	0.0	7.1	21.4	7.1	0.0	28.6	7.1	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	
	発達	99	2.0	17.2	26.3	29.3	32.3	25.3	24.2	14.1	36.4	11.1	3.0	27.3	4.0	5.1	24.2	9.1	0.0	1.0	

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『15～17 歳』で「専門的な相談体制」、『３～５歳』で「地域における療育、リハビリテーション体制の整備」「保育園や幼稚園での障害児保育・教育の充実」、『12～14 歳』で「学校での障害者理解の普及・啓発」「通学・通園時の介助・付き添い支援」、『６～８歳』で「放課後や休日などの居場所づくり」「入所施設の充実」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「保育園や幼稚園での障害児保育・教育の充実」「通学・通園時の介助・付き添い支援」「放課後や休日などの居場所づくり」「安心して遊べる機会・場の確保」「入所施設の充実」の割合が高く、『三世代世帯』で「専門的な相談体制」「保護者が介助(支援)できない時の一時預かりや介助など」「障害福祉事業所と学校の連携」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「放課後や休日などの居場所づくり」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』、『聴覚障害がある』で「専門的な相談体制」、『聴覚障害がある』で「地域における療育、リハビリテーション体制の整備」「学校での障害者理解の普及・啓発」、『医療的ケアを受けている』で「保育園や幼稚園での障害児保育・教育の充実」「医療体制の充実」の割合が高くなっています。

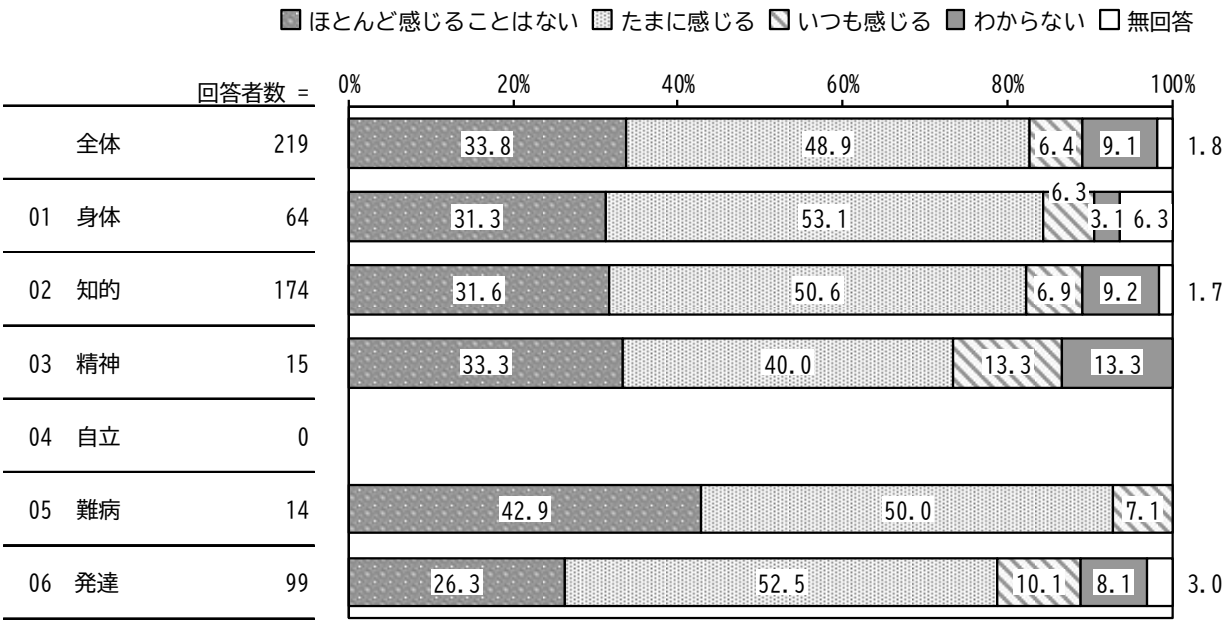
		調査数	乳幼児健診の充実	発育・発達上の課題の早期発見・診断	専門的な相談体制	地域における療育、リハビリテーション体制の整備	保育園や幼稚園での障害児保育・教育の充実	学校での障害者理解の普及・啓発	自立に向けた専門的な教育の充実	通学・通園時の介助・付き添い支援	放課後や休日などの居場所づくり	安心して遊べる機会・場の確保	地域との交流の機会や環境づくり	保護者が介助（支援）できない時の一時預かりや介助など	医療体制の充実	障害福祉事業所と学校の連携	入所施設の充実	その他	特にない	無回答
全　体		219	0.9	15.1	26.0	28.3	31.1	26.5	21.9	18.7	32.9	10.0	2.3	26.0	5.0	7.3	20.5	6.8	1.4	1.4 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	33.3	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	20.6	11.8	44.1	61.8	32.4	17.6	11.8	26.5	14.7	0.0	11.8	5.9	5.9	11.8	8.8	0.0	0.0
	６～８歳	44	2.3	15.9	20.5	20.5	34.1	18.2	18.2	18.2	45.5	15.9	2.3	31.8	2.3	4.5	31.8	9.1	0.0	2.3
	９～11歳	40	0.0	5.0	25.0	35.0	20.0	22.5	20.0	25.0	37.5	10.0	0.0	30.0	0.0	7.5	25.0	7.5	2.5	2.5
	12～14歳	39	0.0	12.8	28.2	20.5	20.5	38.5	25.6	35.9	25.6	5.1	0.0	30.8	0.0	7.7	15.4	10.3	0.0	2.6
	15～17歳	59	1.7	20.3	37.3	25.4	22.0	23.7	27.1	8.5	28.8	6.8	5.1	23.7	13.6	10.2	18.6	1.7	3.4	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	1.0	14.8	24.1	28.6	32.0	26.6	22.2	19.7	33.5	10.8	2.5	25.6	4.9	6.4	21.2	6.9	1.0	1.5
	三世代世帯	16	0.0	18.8	50.0	25.0	18.8	25.0	18.8	6.3	25.0	0.0	0.0	31.3	6.3	18.8	12.5	6.3	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	12.5	43.8	18.8	18.8	25.0	25.0	6.3	31.3	0.0	6.3	37.5	6.3	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	9.5	23.8	19.0	33.3	42.9	19.0	28.6	38.1	9.5	4.8	19.0	9.5	0.0	19.0	4.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	0.0	9.8	27.5	35.3	52.9	25.5	15.7	15.7	29.4	11.8	2.0	21.6	2.0	7.8	15.7	9.8	0.0	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	28.6	28.6	0.0	28.6	57.1	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
	その他	6	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	1.6	15.3	22.6	30.6	26.6	27.4	25.8	19.4	31.5	10.5	1.6	26.6	3.2	6.5	23.4	5.6	2.4	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	15.4	17.9	30.8	43.6	20.5	23.1	15.4	38.5	15.4	5.1	23.1	0.0	5.1	15.4	12.8	0.0	5.1
	40～59歳	151	1.3	14.6	28.5	28.5	30.5	29.8	23.8	22.5	33.8	9.3	1.3	28.5	4.6	6.6	21.9	6.0	0.0	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	2.0	16.2	21.2	30.3	25.3	28.3	24.2	18.2	36.4	5.1	4.0	23.2	6.1	3.0	24.2	8.1	2.0	2.0
	やや苦しい	93	0.0	10.8	31.2	26.9	37.6	26.9	22.6	19.4	25.8	15.1	1.1	26.9	4.3	10.8	17.2	4.3	1.1	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	23.8	23.8	23.8	33.3	14.3	14.3	19.0	52.4	14.3	0.0	33.3	0.0	14.3	19.0	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	167	0.6	12.0	21.0	29.3	32.3	23.4	24.0	20.4	37.7	10.8	3.0	29.9	3.6	7.2	24.6	7.2	1.2	0.6
	利用していない	51	2.0	23.5	41.2	25.5	27.5	37.3	13.7	13.7	17.6	7.8	0.0	13.7	9.8	7.8	7.8	5.9	2.0	3.9
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	5.6	16.7	38.9	44.4	33.3	22.2	16.7	27.8	16.7	5.6	22.2	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	29.4	35.3	58.8	41.2	11.8	17.6	0.0	23.5	5.9	0.0	11.8	5.9	5.9	23.5	11.8	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	23.5	17.6	29.4	50.0	26.5	17.6	20.6	35.3	14.7	2.9	14.7	2.9	5.9	11.8	8.8	0.0	2.9
	５年以上、10年未満	70	1.4	10.0	21.4	21.4	30.0	30.0	21.4	20.0	40.0	14.3	1.4	31.4	5.7	7.1	30.0	5.7	0.0	1.4
	10年以上	80	1.3	15.0	33.8	25.0	18.8	25.0	25.0	21.3	28.8	3.8	2.5	30.0	6.3	10.0	18.8	6.3	3.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	13.3	33.3	40.0	26.7	26.7	13.3	26.7	40.0	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	26.7	6.7	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	0.0	16.7	37.5	29.2	41.7	29.2	12.5	16.7	20.8	4.2	4.2	20.8	16.7	8.3	16.7	4.2	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
	聴覚障害がある	10	0.0	10.0	40.0	50.0	40.0	40.0	0.0	10.0	30.0	10.0	10.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

問 23　この１年間にお子さんの発達や障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。【○は１つだけ】

「ほとんど感じることはない」の割合が 33.8%、「たまに感じる」の割合が 48.9%、「いつも感じる」の割合が 6.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「ほとんど感じることはない」、精神で「いつも感じる」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「たまに感じる」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「たまに感じる」の割合が高く、『三世代世帯』で「ほとんど感じることはない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「ほとんど感じることはない」、『障害者手帳所持者がいる』で「たまに感じる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「いつも感じる」の割合が高く、『40～59 歳』で「ほとんど感じることはない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『やや苦しい』、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ほとんど感じることはない」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「たまに感じる」の割合が高く、『利用していない』で「ほとんど感じることはない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「たまに感じる」「いつも感じる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「たまに感じる」の割合が高くなっています。

		調査数	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	無回答
全　体		219	33.8	48.9	6.4	9.1	1.8
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	３～５歳	34	29.4	52.9	11.8	5.9	0.0
	６～８歳	44	29.5	59.1	6.8	2.3	2.3
	９～11歳	40	40.0	42.5	5.0	7.5	5.0
	12～14歳	39	28.2	53.8	0.0	17.9	0.0
	15～17歳	59	40.7	40.7	6.8	10.2	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	32.0	50.2	6.4	9.4	2.0
	三世代世帯	16	56.3	31.3	6.3	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	50.0	37.5	6.3	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	23.8	61.9	4.8	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	23.5	47.1	9.8	15.7	3.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0
	その他	6	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7
	あてはまらない	124	38.7	47.6	4.8	8.1	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	20.5	51.3	12.8	10.3	5.1
	40～59歳	151	35.1	51.7	5.3	7.3	0.7
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	43.4	42.4	3.0	10.1	1.0
	やや苦しい	93	23.7	54.8	8.6	9.7	3.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	23.8	57.1	14.3	4.8	0.0
サービス	利用している	167	31.1	52.1	7.2	7.8	1.8
	利用していない	51	43.1	39.2	3.9	11.8	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	33.3	44.4	5.6	16.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	11.8	64.7	17.6	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	29.4	55.9	8.8	2.9	2.9
	５年以上、10年未満	70	37.1	50.0	5.7	5.7	1.4
	10年以上	80	37.5	42.5	3.8	13.8	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	25.0	54.2	12.5	0.0	8.3
	視覚障害がある	7	28.6	57.1	0.0	0.0	14.3
	聴覚障害がある	10	30.0	50.0	10.0	10.0	0.0

(%)

【問 24 は問 23 で「たまに感じる」「いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問 24　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所などをお答えください。
【○はいくつでも】

「バスや電車などの交通機関」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「スーパーやレストラン」の割合が 53.7%、「保育所や幼稚園、学校」の割合が 24.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「市役所などの公的機関」、発達で「病院などの医療機関」、知的で「スーパーやレストラン」の割合が高くなっています。

		調査数	保育所や幼稚園、学校	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	障害福祉サービス事業所・施設	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	習い事	その他	無回答
全　体		121	24.8	6.6	14.9	7.4	53.7	55.4	9.1	18.2	0.0
障害種別	身体	38	28.9	13.2	5.3	5.3	44.7	52.6	7.9	7.9	0.0
	知的	100	18.0	7.0	17.0	8.0	61.0	59.0	7.0	20.0	0.0
	精神	8	37.5	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	25.0	37.5	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	8	37.5	12.5	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	37.5	0.0
	発達	62	17.7	8.1	22.6	11.3	51.6	53.2	12.9	25.8	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「保育所や幼稚園、学校」「バスや電車などの交通機関」、『６～８歳』で「スーパーやレストラン」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「保育所や幼稚園、学校」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「保育所や幼稚園、学校」「市役所などの公的機関」「病院などの医療機関」「障害福祉サービス事業所・施設」「バスや電車などの交通機関」の割合が高く、『40～59 歳』で「スーパーやレストラン」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「病院などの医療機関」「障害福祉サービス事業所・施設」「スーパーやレストラン」「バスや電車などの交通機関」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「病院などの医療機関」「障害福祉サービス事業所・施設」「スーパーやレストラン」「バスや電車などの交通機関」の割合が高く、『利用していない』で「保育所や幼稚園、学校」「習い事」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「スーパーやレストラン」の割合が高く、『医療的ケアを受けている』で「保育所や幼稚園、学校」「病院などの医療機関」「バスや電車などの交通機関」「習い事」の割合が高くなっています。

		調査数	保育所や幼稚園、学校	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	障害福祉サービス事業所・施設	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	習い事	その他	無回答	
全　体		121	24.8	6.6	14.9	7.4	53.7	55.4	9.1	18.2	0.0	(%)
本人の年齢	０～２歳	2	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	22	36.4	18.2	31.8	9.1	59.1	72.7	9.1	9.1	0.0	
	６～８歳	29	20.7	6.9	17.2	10.3	65.5	48.3	10.3	20.7	0.0	
	９～11歳	19	26.3	10.5	15.8	5.3	57.9	52.6	15.8	31.6	0.0	
	12～14歳	21	23.8	0.0	4.8	0.0	47.6	57.1	4.8	14.3	0.0	
	15～17歳	28	17.9	0.0	3.6	7.1	39.3	46.4	7.1	17.9	0.0	
世帯構成	核家族世帯	115	25.2	6.1	15.7	7.8	53.9	55.7	7.8	19.1	0.0	
	三世代世帯	6	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	7	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	14	14.3	7.1	14.3	0.0	57.1	35.7	0.0	21.4	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	29	37.9	13.8	24.1	0.0	62.1	55.2	10.3	13.8	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	0.0	20.0	40.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	
	その他	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	
	あてはまらない	65	21.5	3.1	12.3	10.8	52.3	58.5	9.2	23.1	0.0	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	25	40.0	12.0	20.0	12.0	48.0	64.0	12.0	16.0	0.0	
	40～59歳	86	16.3	4.7	11.6	7.0	57.0	52.3	8.1	18.6	0.0	
	60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	まあまあゆとりがある	45	22.2	2.2	13.3	6.7	44.4	46.7	8.9	15.6	0.0	
	やや苦しい	59	28.8	8.5	11.9	3.4	52.5	57.6	8.5	23.7	0.0	
	不自由が多く、生活が苦しい	15	20.0	13.3	33.3	26.7	80.0	73.3	13.3	6.7	0.0	
サービス	利用している	99	19.2	6.1	17.2	9.1	60.6	58.6	7.1	20.2	0.0	
	利用していない	22	50.0	9.1	4.5	0.0	22.7	40.9	18.2	9.1	0.0	
障害に気づいた時期	１年未満	9	33.3	0.0	11.1	0.0	44.4	33.3	0.0	11.1	0.0	
	１年以上、３年未満	14	35.7	14.3	21.4	21.4	64.3	78.6	7.1	7.1	0.0	
	３年以上、５年未満	22	27.3	4.5	22.7	4.5	50.0	59.1	13.6	22.7	0.0	
	５年以上、10年未満	39	20.5	10.3	17.9	7.7	61.5	53.8	10.3	20.5	0.0	
	10年以上	37	21.6	2.7	5.4	5.4	45.9	51.4	8.1	18.9	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	12	8.3	8.3	8.3	0.0	66.7	50.0	0.0	8.3	0.0	
	医療的ケアを受けている	16	25.0	12.5	18.8	0.0	43.8	62.5	18.8	25.0	0.0	
	視覚障害がある	4	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	6	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	66.7	16.7	16.7	0.0	

3　日常生活について

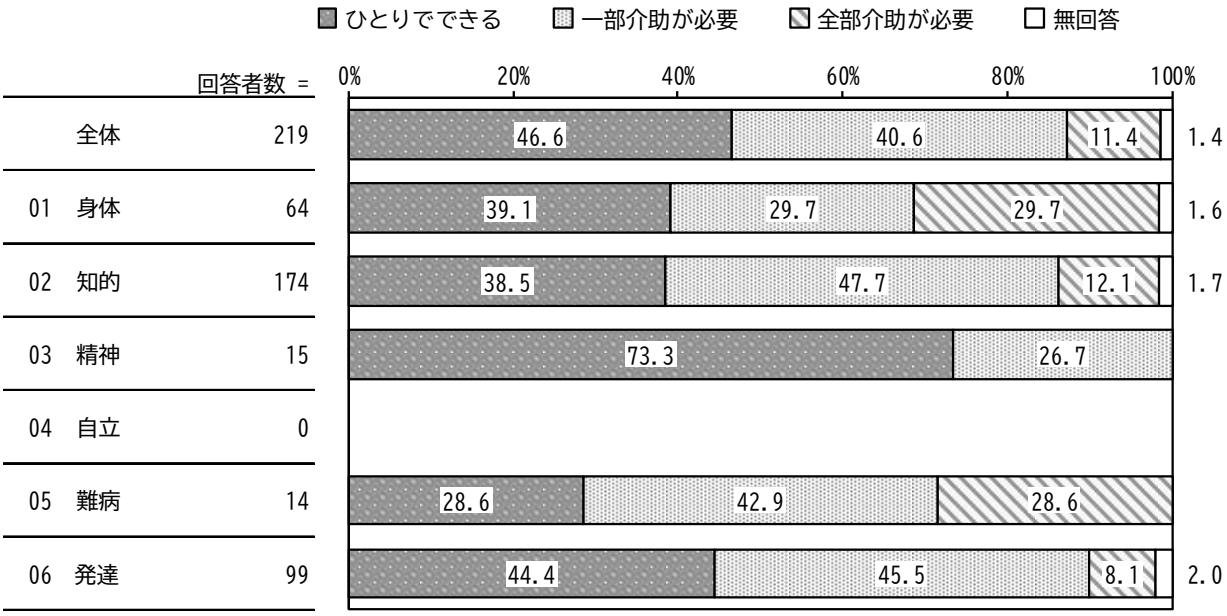
問 25　お子さんは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑫のそれぞれ１つに○をつけてください。【○はそれぞれに１つずつ】

「ひとりでできる」の割合が 46.6%、「一部介助が必要」の割合が 40.6%、「全部介助が必要」の割合が 11.4%となっています。

①　食事をする

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」、身体、難病で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で「ひとりでできる」、『不自由が多く、生活が苦しい』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

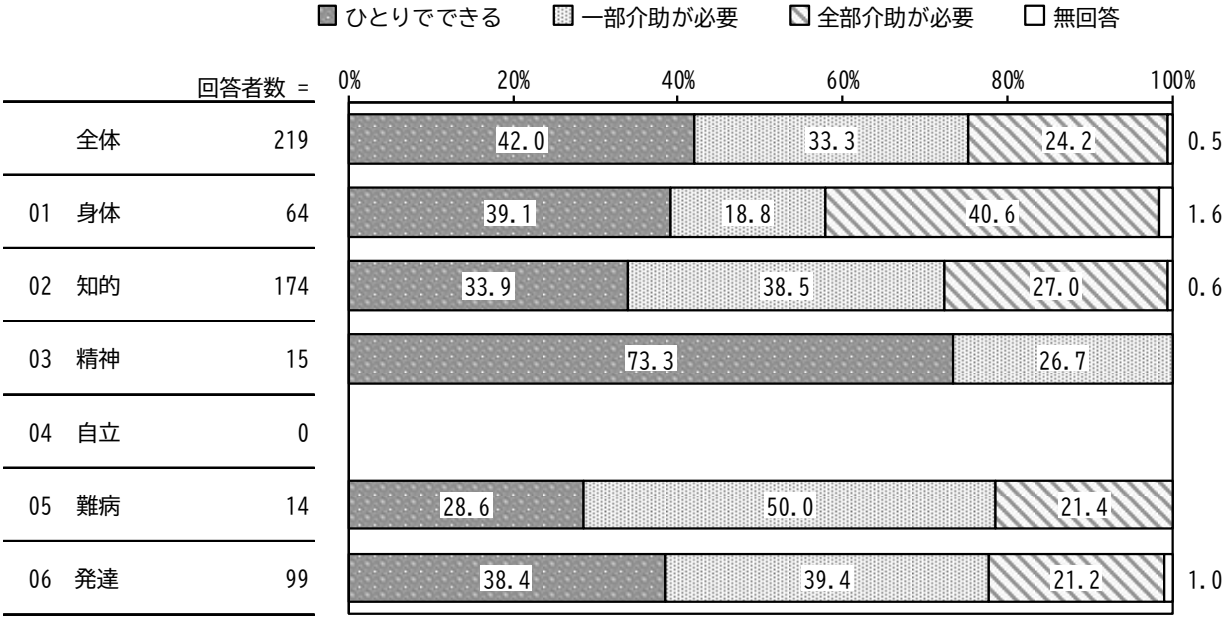
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	46.6	40.6	11.4	1.4 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	３～５歳	34	23.5	55.9	20.6	0.0
	６～８歳	44	36.4	52.3	11.4	0.0
	９～11歳	40	50.0	40.0	7.5	2.5
	12～14歳	39	59.0	30.8	7.7	2.6
	15～17歳	59	59.3	30.5	8.5	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	45.3	41.4	11.8	1.5
	三世代世帯	16	62.5	31.3	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	62.5	25.0	6.3	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	52.4	28.6	19.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	47.1	33.3	19.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	57.1	14.3	0.0
	その他	6	66.7	16.7	16.7	0.0
	あてはまらない	124	45.2	46.8	6.5	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	41.0	43.6	15.4	0.0
	40～59歳	151	45.7	43.0	9.9	1.3
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	33.3	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	59.6	34.3	5.1	1.0
	やや苦しい	93	40.9	40.9	16.1	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	9.5	71.4	19.0	0.0
サービス	利用している	167	32.9	51.5	13.8	1.8
	利用していない	51	90.2	5.9	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	50.0	38.9	11.1	0.0
	１年以上、３年未満	17	17.6	64.7	17.6	0.0
	３年以上、５年未満	34	41.2	50.0	8.8	0.0
	５年以上、10年未満	70	44.3	41.4	12.9	1.4
	10年以上	80	56.3	31.3	10.0	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	20.0	46.7	33.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	25.0	20.8	45.8	8.3
	視覚障害がある	7	28.6	28.6	28.6	14.3
	聴覚障害がある	10	40.0	40.0	20.0	0.0

② トイレの使用やオムツ交換をする

「ひとりでできる」の割合が 42.0%、「一部介助が必要」の割合が 33.3%、「全部介助が必要」の割合が 24.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」、難病で「一部介助が必要」、身体で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「ひとりでできる」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「ひとりでできる」、『５年以上、10 年未満』で「一部介助が必要」、『１年以上、３年未満』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	42.0	33.3	24.2	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	11.8	32.4	55.9	0.0
	６～８歳	44	18.2	54.5	27.3	0.0
	９～11歳	40	50.0	35.0	15.0	0.0
	12～14歳	39	56.4	28.2	15.4	0.0
	15～17歳	59	64.4	22.0	11.9	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	40.4	34.5	24.6	0.5
	三世代世帯	16	62.5	18.8	18.8	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	62.5	12.5	18.8	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	57.1	14.3	28.6	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	33.3	31.4	35.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	42.9	28.6	0.0
	その他	6	66.7	16.7	16.7	0.0
	あてはまらない	124	41.1	40.3	18.5	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	25.6	38.5	35.9	0.0
	40～59歳	151	43.0	35.1	21.9	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	16.7	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	49.5	30.3	19.2	1.0
	やや苦しい	93	38.7	36.6	24.7	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	19.0	38.1	42.9	0.0
サービス	利用している	167	26.3	43.1	29.9	0.6
	利用していない	51	92.2	2.0	5.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	61.1	11.1	27.8	0.0
	１年以上、３年未満	17	11.8	29.4	58.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	32.4	38.2	29.4	0.0
	５年以上、10年未満	70	31.4	45.7	22.9	0.0
	10年以上	80	57.5	26.3	15.0	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	13.3	26.7	60.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	16.7	29.2	54.2	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	42.9	14.3	14.3
	聴覚障害がある	10	50.0	10.0	40.0	0.0

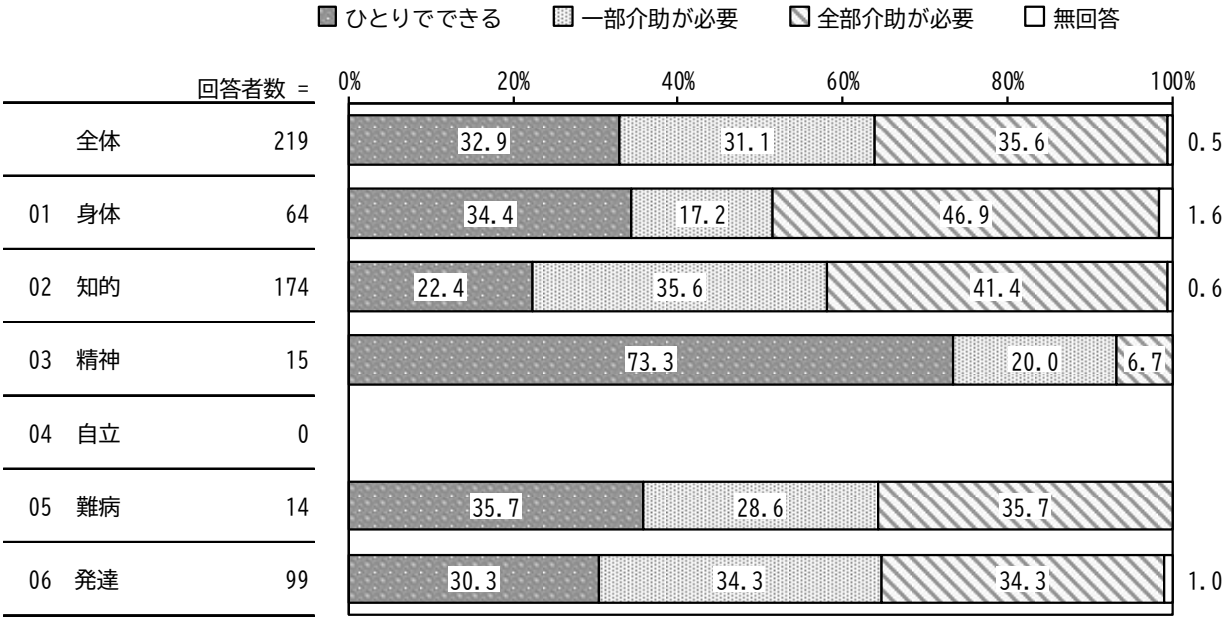
(%)

③ お風呂に入る

「ひとりでできる」の割合が 32.9%、「一部介助が必要」の割合が 31.1%、「全部介助が必要」の割合が 35.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」、身体で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「全部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』、『障害者手帳所持者がいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『10 年以上』で「ひとりでできる」、『１年以上、３年未満』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	32.9	31.1	35.6	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	2.9	35.3	61.8	0.0
	６～８歳	44	13.6	36.4	50.0	0.0
	９～11歳	40	32.5	35.0	32.5	0.0
	12～14歳	39	48.7	35.9	15.4	0.0
	15～17歳	59	55.9	20.3	22.0	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	31.5	31.0	36.9	0.5
	三世代世帯	16	50.0	31.3	18.8	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	50.0	25.0	18.8	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	52.4	14.3	33.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	31.4	27.5	41.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	42.9	28.6	0.0
	その他	6	50.0	33.3	16.7	0.0
	あてはまらない	124	29.0	35.5	35.5	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	17.9	28.2	53.8	0.0
	40～59歳	151	33.1	33.1	33.8	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	33.3	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	38.4	35.4	25.3	1.0
	やや苦しい	93	32.3	32.3	35.5	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	9.5	4.8	85.7	0.0
サービス	利用している	167	17.4	36.5	45.5	0.6
	利用していない	51	82.4	13.7	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	38.9	22.2	38.9	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	41.2	58.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	23.5	29.4	47.1	0.0
	５年以上、10年未満	70	24.3	32.9	42.9	0.0
	10年以上	80	50.0	30.0	18.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	20.0	80.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	25.0	16.7	58.3	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	42.9	14.3	14.3
	聴覚障害がある	10	40.0	10.0	50.0	0.0

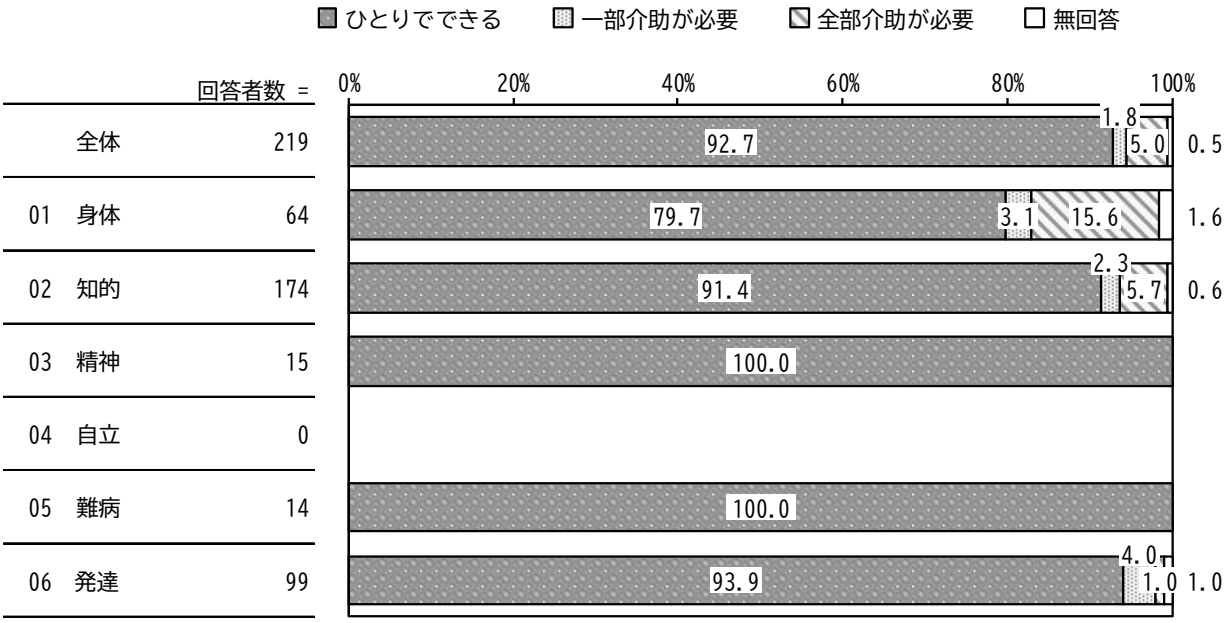
(%)

④　寝返り、起き上がりをする

「ひとりでできる」の割合が 92.7%、「一部介助が必要」の割合が 1.8%、「全部介助が必要」の割合が 5.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	92.7	1.8	5.0	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	66.7	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	94.1	2.9	2.9	0.0
	６～８歳	44	93.2	2.3	4.5	0.0
	９～11歳	40	95.0	2.5	2.5	0.0
	12～14歳	39	89.7	2.6	7.7	0.0
	15～17歳	59	93.2	0.0	5.1	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	92.6	1.5	5.4	0.5
	三世代世帯	16	93.8	6.3	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	87.5	6.3	0.0	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	90.5	0.0	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	90.2	3.9	5.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	83.3	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	96.0	0.8	3.2	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	94.9	0.0	5.1	0.0
	40～59歳	151	94.0	2.0	4.0	0.0
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	83.3	0.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	96.0	0.0	3.0	1.0
	やや苦しい	93	91.4	3.2	5.4	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	85.7	4.8	9.5	0.0
サービス	利用している	167	90.4	2.4	6.6	0.6
	利用していない	51	100.0	0.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	94.4	0.0	5.6	0.0
	１年以上、３年未満	17	88.2	5.9	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	97.1	2.9	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	92.9	1.4	5.7	0.0
	10年以上	80	91.3	1.3	6.3	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	80.0	0.0	20.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	66.7	8.3	25.0	0.0
	視覚障害がある	7	85.7	0.0	0.0	14.3
	聴覚障害がある	10	90.0	0.0	10.0	0.0

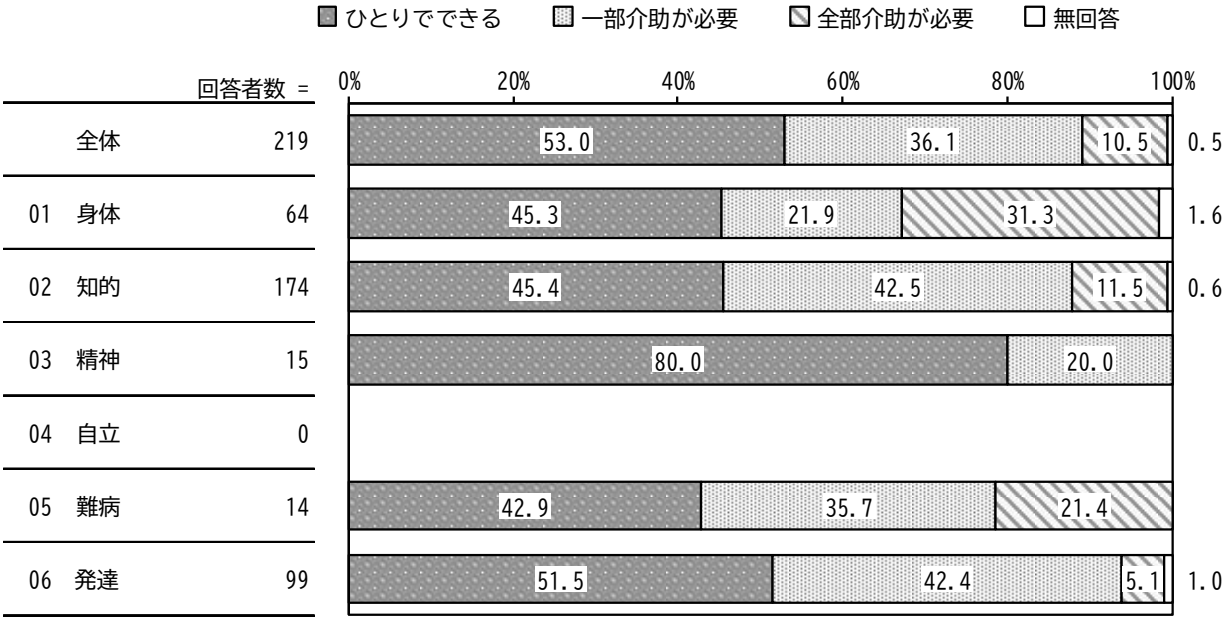
(%)

⑤　着替えをする

「ひとりでできる」の割合が 53.0%、「一部介助が必要」の割合が 36.1%、「全部介助が必要」の割合が 10.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」、身体で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「一部介助が必要」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『10 年以上』で「ひとりでできる」、『１年以上、３年未満』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	53.0	36.1	10.5	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	３～５歳	34	17.6	67.6	14.7	0.0
	６～８歳	44	45.5	45.5	9.1	0.0
	９～11歳	40	60.0	32.5	7.5	0.0
	12～14歳	39	71.8	17.9	10.3	0.0
	15～17歳	59	64.4	25.4	8.5	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	52.7	36.0	10.8	0.5
	三世代世帯	16	56.3	37.5	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	62.5	25.0	6.3	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	52.4	23.8	23.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	45.1	37.3	17.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	42.9	57.1	0.0	0.0
	その他	6	66.7	16.7	16.7	0.0
	あてはまらない	124	56.5	37.9	5.6	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	33.3	53.8	12.8	0.0
	40～59歳	151	56.3	33.8	9.9	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	33.3	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	62.6	31.3	5.1	1.0
	やや苦しい	93	49.5	35.5	15.1	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	23.8	61.9	14.3	0.0
サービス	利用している	167	41.9	44.3	13.2	0.6
	利用していない	51	90.2	7.8	2.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	61.1	22.2	16.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	23.5	64.7	11.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	41.2	55.9	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	51.4	37.1	11.4	0.0
	10年以上	80	63.8	23.8	11.3	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	20.0	40.0	40.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	29.2	25.0	45.8	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	42.9	0.0	14.3
	聴覚障害がある	10	50.0	30.0	20.0	0.0

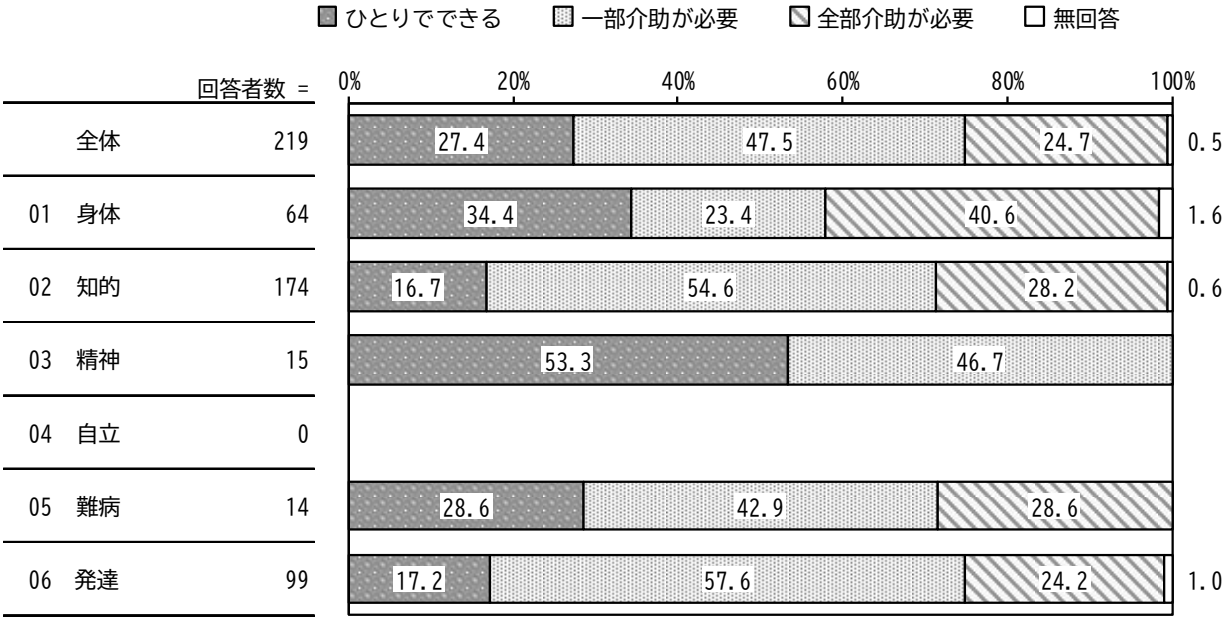
(%)

⑥　身だしなみを整える

「ひとりでできる」の割合が 27.4%、「一部介助が必要」の割合が 47.5%、「全部介助が必要」の割合が 24.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」、発達で「一部介助が必要」、身体で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『15～17 歳』で「ひとりでできる」、『６～８歳』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「全部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「ひとりでできる」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』、『10 年以上』で「ひとりでできる」、『１年以上、３年未満』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「ひとりでできる」、『重度心身障害』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	27.4	47.5	24.7	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	３～５歳	34	11.8	41.2	47.1	0.0
	６～８歳	44	4.5	63.6	31.8	0.0
	９～11歳	40	35.0	47.5	17.5	0.0
	12～14歳	39	38.5	46.2	15.4	0.0
	15～17歳	59	42.4	40.7	15.3	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	26.1	47.8	25.6	0.5
	三世代世帯	16	43.8	43.8	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	43.8	43.8	6.3	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	33.3	38.1	28.6	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	27.5	31.4	41.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	57.1	28.6	0.0
	その他	6	33.3	50.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	26.6	54.8	18.5	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	15.4	43.6	41.0	0.0
	40～59歳	151	24.5	53.6	21.9	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	16.7	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	30.3	54.5	14.1	1.0
	やや苦しい	93	26.9	44.1	29.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	9.5	38.1	52.4	0.0
サービス	利用している	167	13.8	54.5	31.1	0.6
	利用していない	51	70.6	25.5	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	38.9	33.3	27.8	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	52.9	47.1	0.0
	３年以上、５年未満	34	14.7	52.9	32.4	0.0
	５年以上、10年未満	70	24.3	50.0	25.7	0.0
	10年以上	80	38.8	45.0	15.0	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	40.0	60.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	16.7	33.3	50.0	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	14.3	28.6	14.3
	聴覚障害がある	10	40.0	30.0	30.0	0.0

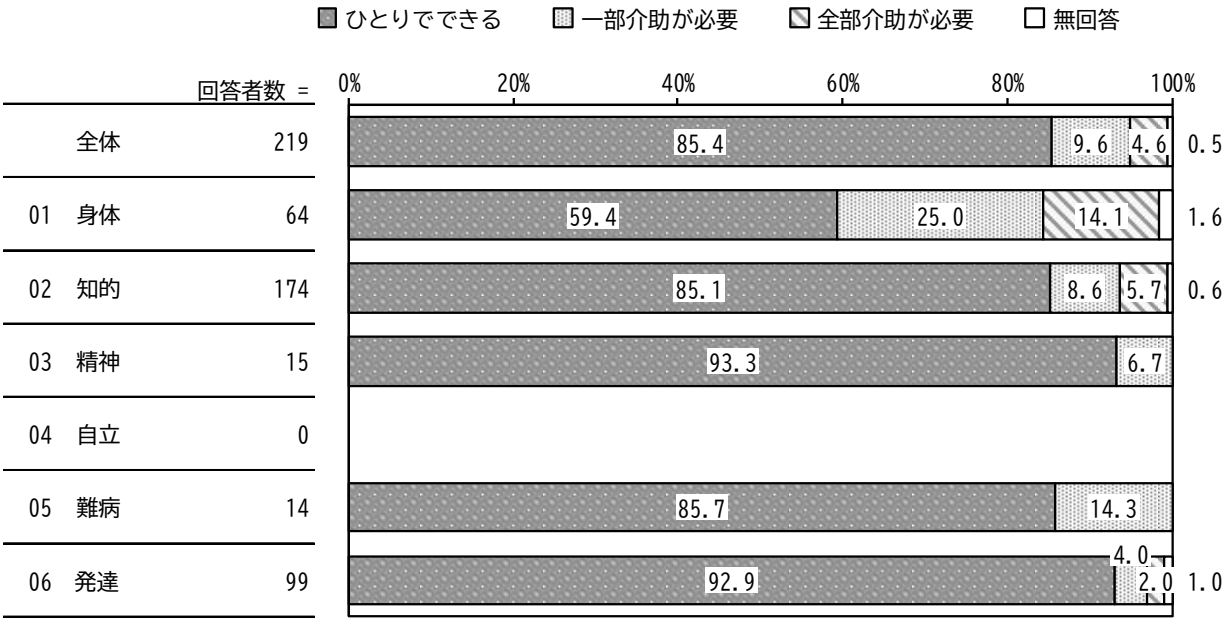
(%)

⑦　家の中を移動する

「ひとりでできる」の割合が 85.4%、「一部介助が必要」の割合が 9.6%、「全部介助が必要」の割合が 4.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「一部介助が必要」、『医療的ケアを受けている』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	85.4	9.6	4.6	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	66.7	33.3	0.0
	３～５歳	34	85.3	11.8	2.9	0.0
	６～８歳	44	90.9	4.5	4.5	0.0
	９～11歳	40	85.0	12.5	2.5	0.0
	12～14歳	39	84.6	10.3	5.1	0.0
	15～17歳	59	86.4	6.8	5.1	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	85.2	9.4	4.9	0.5
	三世代世帯	16	87.5	12.5	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	87.5	6.3	0.0	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	66.7	28.6	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	80.4	11.8	7.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	83.3	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	90.3	7.3	2.4	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	82.1	12.8	5.1	0.0
	40～59歳	151	86.1	9.9	4.0	0.0
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	83.3	16.7	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	90.9	6.1	2.0	1.0
	やや苦しい	93	83.9	9.7	6.5	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	66.7	23.8	9.5	0.0
サービス	利用している	167	82.6	10.8	6.0	0.6
	利用していない	51	94.1	5.9	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	83.3	11.1	5.6	0.0
	１年以上、３年未満	17	76.5	17.6	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	97.1	2.9	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	85.7	8.6	5.7	0.0
	10年以上	80	82.5	11.3	5.0	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	46.7	40.0	13.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	54.2	20.8	25.0	0.0
	視覚障害がある	7	71.4	14.3	0.0	14.3
	聴覚障害がある	10	60.0	30.0	10.0	0.0

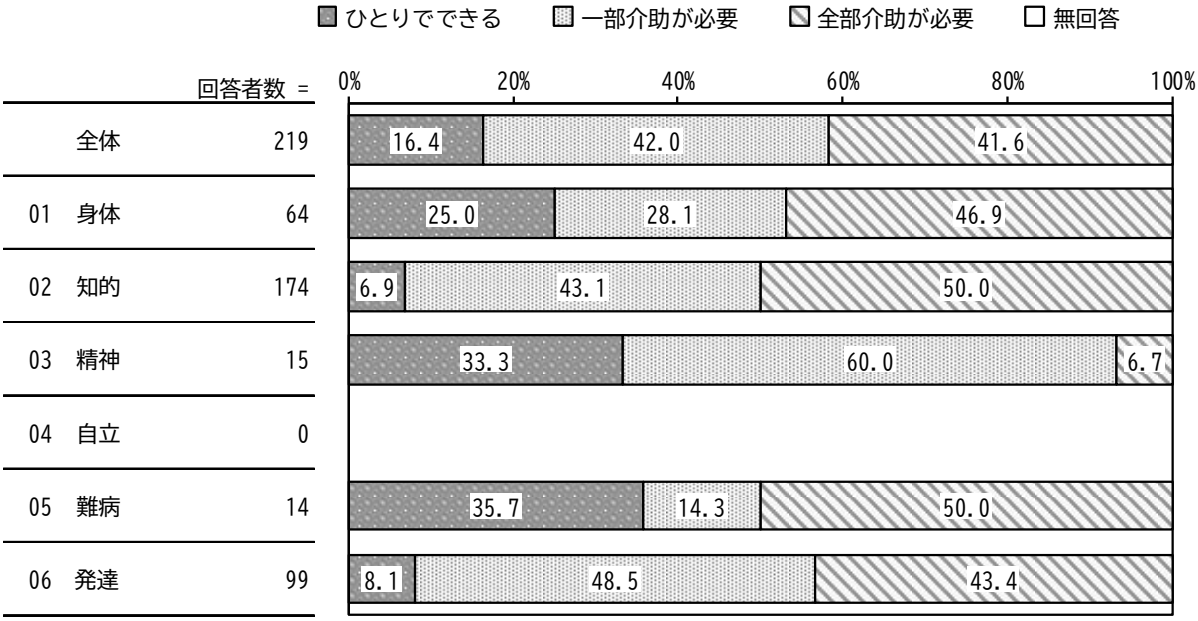
(%)

⑧ 外出をする

「ひとりでできる」の割合が 16.4%、「一部介助が必要」の割合が 42.0%、「全部介助が必要」の割合が 41.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神、難病で「ひとりでできる」、精神で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『15～17 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「一部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「ひとりでできる」、『重度心身障害』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	16.4	42.0	41.6	0.0
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	３～５歳	34	5.9	38.2	55.9	0.0
	６～８歳	44	2.3	45.5	52.3	0.0
	９～11歳	40	20.0	35.0	45.0	0.0
	12～14歳	39	23.1	43.6	33.3	0.0
	15～17歳	59	27.1	45.8	27.1	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	15.3	42.9	41.9	0.0
	三世代世帯	16	31.3	31.3	37.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	25.0	50.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	28.6	42.9	28.6	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	21.6	41.2	37.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	42.9	57.1	0.0
	その他	6	0.0	66.7	33.3	0.0
	あてはまらない	124	13.7	42.7	43.5	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	7.7	38.5	53.8	0.0
	40～59歳	151	13.9	44.4	41.7	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	16.7	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	22.2	44.4	33.3	0.0
	やや苦しい	93	10.8	46.2	43.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	19.0	76.2	0.0
サービス	利用している	167	7.8	41.3	50.9	0.0
	利用していない	51	45.1	43.1	11.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	22.2	38.9	38.9	0.0
	１年以上、３年未満	17	5.9	41.2	52.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	2.9	50.0	47.1	0.0
	５年以上、10年未満	70	14.3	35.7	50.0	0.0
	10年以上	80	25.0	45.0	30.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	20.0	80.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	12.5	25.0	62.5	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	42.9	42.9	0.0
	聴覚障害がある	10	30.0	30.0	40.0	0.0

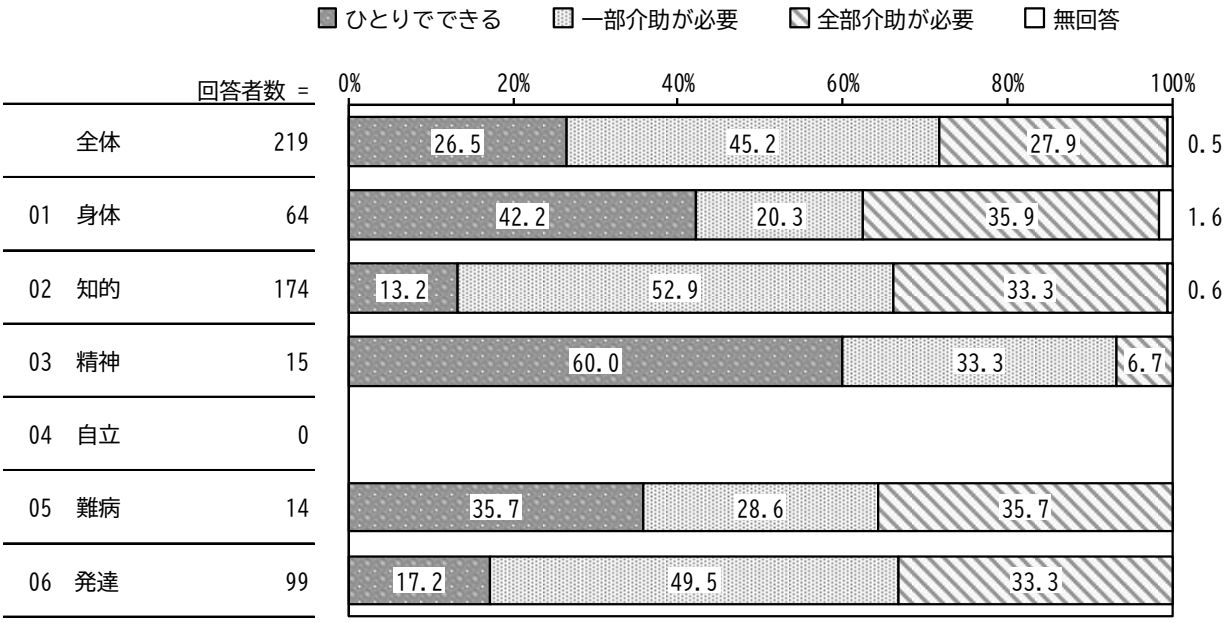
(%)

⑨　家族以外の人との意思疎通をする

「ひとりでできる」の割合が 26.5%、「一部介助が必要」の割合が 45.2%、「全部介助が必要」の割合が 27.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』、『６～８歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「全部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』、『障害者手帳所持者がいる』で「ひとりでできる」、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

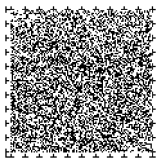
介助者の年齢別にみると、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「一部介助が必要」「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「ひとりでできる」、『３年以上、５年未満』で「一部介助が必要」、『１年以上、３年未満』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』、『医療的ケアを受けている』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	26.5	45.2	27.9	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	11.8	50.0	38.2	0.0
	６～８歳	44	13.6	45.5	38.6	2.3
	９～11歳	40	30.0	45.0	25.0	0.0
	12～14歳	39	38.5	43.6	17.9	0.0
	15～17歳	59	35.6	45.8	18.6	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	25.1	44.3	30.0	0.5
	三世代世帯	16	43.8	56.3	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	43.8	50.0	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	42.9	28.6	28.6	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	25.5	31.4	43.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	42.9	28.6	28.6	0.0
	その他	6	0.0	66.7	33.3	0.0
	あてはまらない	124	24.2	52.4	23.4	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	20.5	43.6	33.3	2.6
	40～59歳	151	25.2	46.4	28.5	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	50.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	33.3	47.5	19.2	0.0
	やや苦しい	93	23.7	44.1	31.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	38.1	57.1	0.0
サービス	利用している	167	13.8	50.3	35.3	0.6
	利用していない	51	68.6	27.5	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	50.0	22.2	27.8	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	35.3	64.7	0.0
	３年以上、５年未満	34	14.7	58.8	26.5	0.0
	５年以上、10年未満	70	24.3	44.3	30.0	1.4
	10年以上	80	33.8	47.5	18.8	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	13.3	40.0	46.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	25.0	29.2	45.8	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	14.3	42.9	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	40.0	30.0	10.0

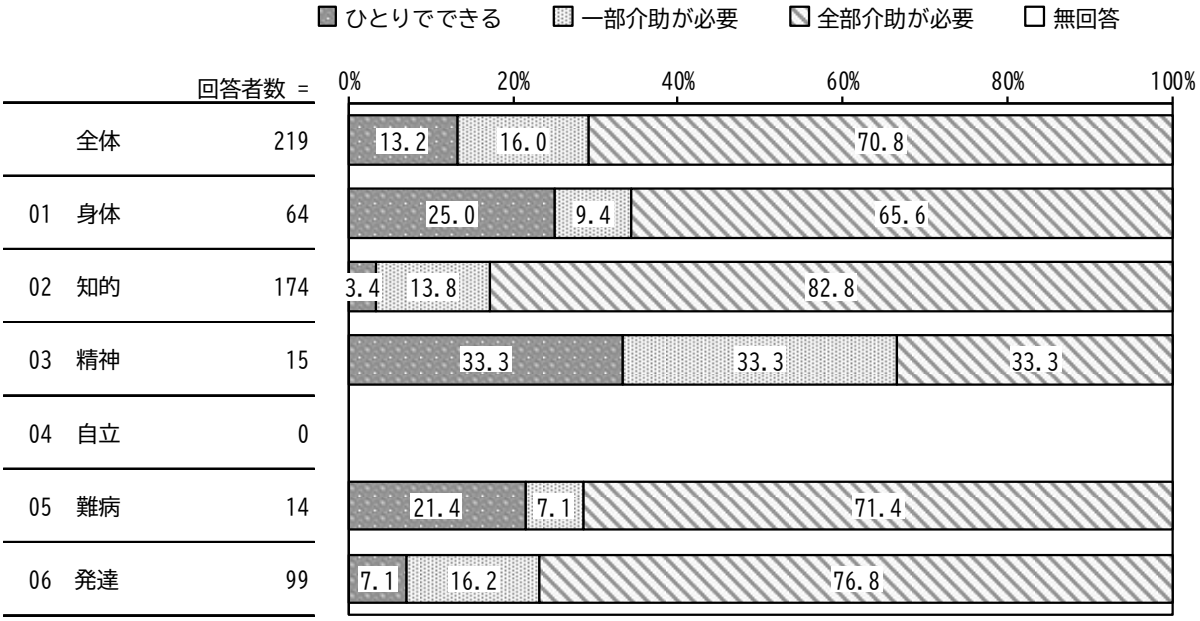
(%)

⑩　お小遣いの管理をする

「ひとりでできる」の割合が 13.2%、「一部介助が必要」の割合が 16.0%、「全部介助が必要」の割合が 70.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」「一部介助が必要」、知的で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「ひとりでできる」、『３～５歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「全部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「ひとりでできる」、『65 歳以上の高齢者がいる』、『障害者手帳所持者がいる』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『10 年以上』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

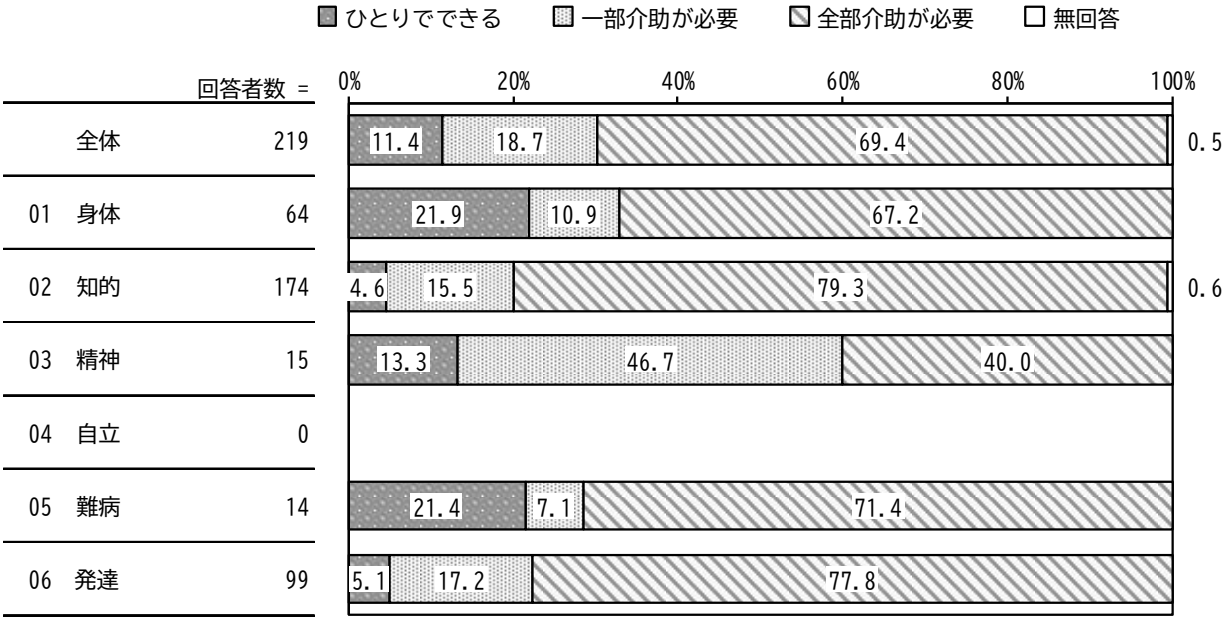
		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	13.2	16.0	70.8	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	2.9	97.1	0.0
	６～８歳	44	2.3	9.1	88.6	0.0
	９～11歳	40	12.5	17.5	70.0	0.0
	12～14歳	39	28.2	20.5	51.3	0.0
	15～17歳	59	20.3	25.4	54.2	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	11.8	15.3	72.9	0.0
	三世代世帯	16	31.3	25.0	43.8	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	31.3	43.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	19.0	28.6	52.4	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	17.6	15.7	66.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	14.3	57.1	0.0
	その他	6	0.0	16.7	83.3	0.0
	あてはまらない	124	10.5	12.9	76.6	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	17.9	79.5	0.0
	40～59歳	151	12.6	15.2	72.2	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	16.7	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	17.2	16.2	66.7	0.0
	やや苦しい	93	10.8	18.3	71.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	4.8	95.2	0.0
サービス	利用している	167	3.6	11.4	85.0	0.0
	利用していない	51	45.1	29.4	25.5	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	11.1	11.1	77.8	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	0.0	100.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	14.7	79.4	0.0
	５年以上、10年未満	70	7.1	14.3	78.6	0.0
	10年以上	80	25.0	22.5	52.5	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	0.0	93.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	12.5	12.5	75.0	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	0.0	85.7	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	0.0	80.0	0.0

⑪　薬の管理をする

「ひとりでできる」の割合が 11.4%、「一部介助が必要」の割合が 18.7%、「全部介助が必要」の割合が 69.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体、難病で「ひとりでできる」、精神で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「ひとりでできる」、『３～５歳』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「全部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『10 年以上』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	11.4	18.7	69.4	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	2.9	97.1	0.0
	６～８歳	44	0.0	11.4	88.6	0.0
	９～11歳	40	12.5	15.0	72.5	0.0
	12～14歳	39	23.1	25.6	48.7	2.6
	15～17歳	59	18.6	32.2	49.2	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	10.3	18.2	71.4	0.0
	三世代世帯	16	25.0	25.0	43.8	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	18.8	31.3	43.8	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	14.3	28.6	57.1	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	11.8	17.6	70.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	28.6	57.1	0.0
	その他	6	16.7	16.7	66.7	0.0
	あてはまらない	124	10.5	15.3	74.2	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	10.3	87.2	0.0
	40～59歳	151	7.9	22.5	68.9	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	0.0	66.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	16.2	21.2	61.6	1.0
	やや苦しい	93	6.5	21.5	72.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	0.0	95.2	0.0
サービス	利用している	167	2.4	13.2	84.4	0.0
	利用していない	51	41.2	35.3	21.6	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	11.1	16.7	72.2	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	0.0	100.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	2.9	17.6	79.4	0.0
	５年以上、10年未満	70	8.6	12.9	78.6	0.0
	10年以上	80	20.0	28.8	50.0	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	0.0	93.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	4.2	20.8	75.0	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	14.3	71.4	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	0.0	80.0	0.0

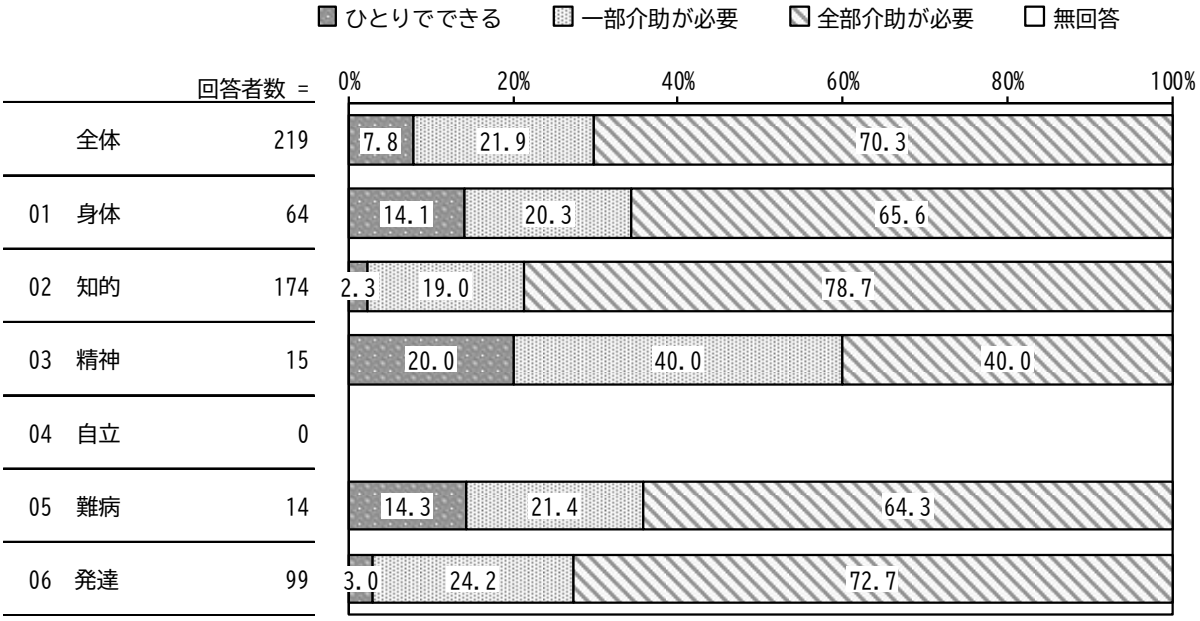
(%)

⑫　災害時の避難をする

「ひとりでできる」の割合が 7.8%、「一部介助が必要」の割合が 21.9%、「全部介助が必要」の割合が 70.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「全部介助が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「ひとりでできる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「全部介助が必要」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「全部介助が必要」の割合が高く、『利用していない』で「ひとりでできる」「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「一部介助が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「ひとりでできる」、『重度心身障害』で「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全　体		219	7.8	21.9	70.3	0.0
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	8.8	91.2	0.0
	６～８歳	44	2.3	15.9	81.8	0.0
	９～11歳	40	7.5	20.0	72.5	0.0
	12～14歳	39	15.4	28.2	56.4	0.0
	15～17歳	59	11.9	32.2	55.9	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	6.9	21.7	71.4	0.0
	三世代世帯	16	18.8	25.0	56.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	12.5	25.0	62.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	4.8	28.6	66.7	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	11.8	19.6	68.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	28.6	57.1	0.0
	その他	6	0.0	33.3	66.7	0.0
	あてはまらない	124	7.3	21.0	71.8	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	17.9	82.1	0.0
	40～59歳	151	6.0	23.8	70.2	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	0.0	66.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	12.1	25.3	62.6	0.0
	やや苦しい	93	3.2	22.6	74.2	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	9.5	90.5	0.0
サービス	利用している	167	1.2	19.2	79.6	0.0
	利用していない	51	29.4	31.4	39.2	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	33.3	66.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	0.0	100.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	2.9	17.6	79.4	0.0
	５年以上、10年未満	70	5.7	21.4	72.9	0.0
	10年以上	80	15.0	26.3	58.8	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	6.7	93.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	4.2	20.8	75.0	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	28.6	57.1	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	20.0	60.0	0.0

(%)

問 26　お子さんが外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。【○はいくつでも】

「自家用車」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「電車」の割合が 61.6%、「バス」の割合が 53.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「電車」「バス」、難病で「タクシー」「自家用車」の割合が高くなっています。

		調査数	電車	バス	タクシー	福祉タクシー（車いす等に対応した車両）	自家用車	その他	無回答
全　体		219	61.6	53.9	17.8	2.3	72.1	14.2	1.4 (%)
障害種別	身体	64	56.3	42.2	21.9	7.8	70.3	12.5	1.6
	知的	174	59.8	53.4	20.1	2.3	71.3	13.2	1.7
	精神	15	80.0	80.0	6.7	0.0	60.0	26.7	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	71.4	64.3	35.7	0.0	85.7	0.0	0.0
	発達	99	64.6	59.6	19.2	1.0	67.7	17.2	2.0

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「電車」、『９～11 歳』、『12～14 歳』で「自家用車」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「タクシー」の割合が高く、『三世代世帯』で「電車」「バス」「自家用車」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「バス」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「バス」「タクシー」の割合が高く、『40～59 歳』で「自家用車」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「タクシー」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「タクシー」の割合が高く、『利用していない』で「電車」「バス」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『10 年以上』で「電車」、『３年以上、５年未満』で「タクシー」、『１年未満』で「自家用車」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「タクシー」、『医療的ケアを受けている』で「福祉タクシー（車いす等に対応した車両）」の割合が高くなっています。

		調査数	電車	バス	タクシー	福祉タクシー（車いす等に対応した車両）	自家用車	その他	無回答
全　体		219	61.6	53.9	17.8	2.3	72.1	14.2	1.4
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	52.9	41.2	23.5	0.0	67.6	23.5	0.0
	６～８歳	44	59.1	52.3	22.7	2.3	59.1	13.6	2.3
	９～11歳	40	55.0	55.0	15.0	0.0	85.0	15.0	0.0
	12～14歳	39	74.4	61.5	17.9	5.1	82.1	7.7	0.0
	15～17歳	59	66.1	57.6	13.6	3.4	67.8	11.9	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	61.1	52.7	18.2	2.5	71.4	14.8	1.5
	三世代世帯	16	68.8	68.8	12.5	0.0	81.3	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	62.5	75.0	12.5	0.0	81.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	66.7	66.7	9.5	0.0	66.7	14.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	60.8	52.9	17.6	3.9	74.5	17.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	71.4	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0
	その他	6	66.7	66.7	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0
	あてはまらない	124	59.7	49.2	20.2	1.6	71.0	13.7	2.4
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	61.5	56.4	30.8	0.0	66.7	20.5	2.6
	40～59歳	151	60.9	51.0	15.9	3.3	73.5	13.2	0.7
	60歳代	2	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	66.7	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	60.6	51.5	13.1	2.0	68.7	16.2	3.0
	やや苦しい	93	65.6	57.0	18.3	2.2	77.4	9.7	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	47.6	47.6	38.1	4.8	66.7	28.6	0.0
サービス	利用している	167	59.3	51.5	20.4	3.0	71.9	14.4	1.2
	利用していない	51	68.6	62.7	7.8	0.0	72.5	13.7	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	50.0	50.0	5.6	0.0	77.8	16.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	52.9	41.2	17.6	0.0	76.5	17.6	0.0
	３年以上、５年未満	34	58.8	58.8	23.5	0.0	64.7	20.6	0.0
	５年以上、10年未満	70	60.0	55.7	21.4	2.9	70.0	14.3	1.4
	10年以上	80	68.8	53.8	15.0	3.8	75.0	10.0	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	40.0	40.0	6.7	80.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	50.0	33.3	16.7	12.5	66.7	25.0	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	42.9	14.3	0.0	71.4	0.0	14.3
	聴覚障害がある	10	50.0	40.0	10.0	0.0	70.0	40.0	0.0

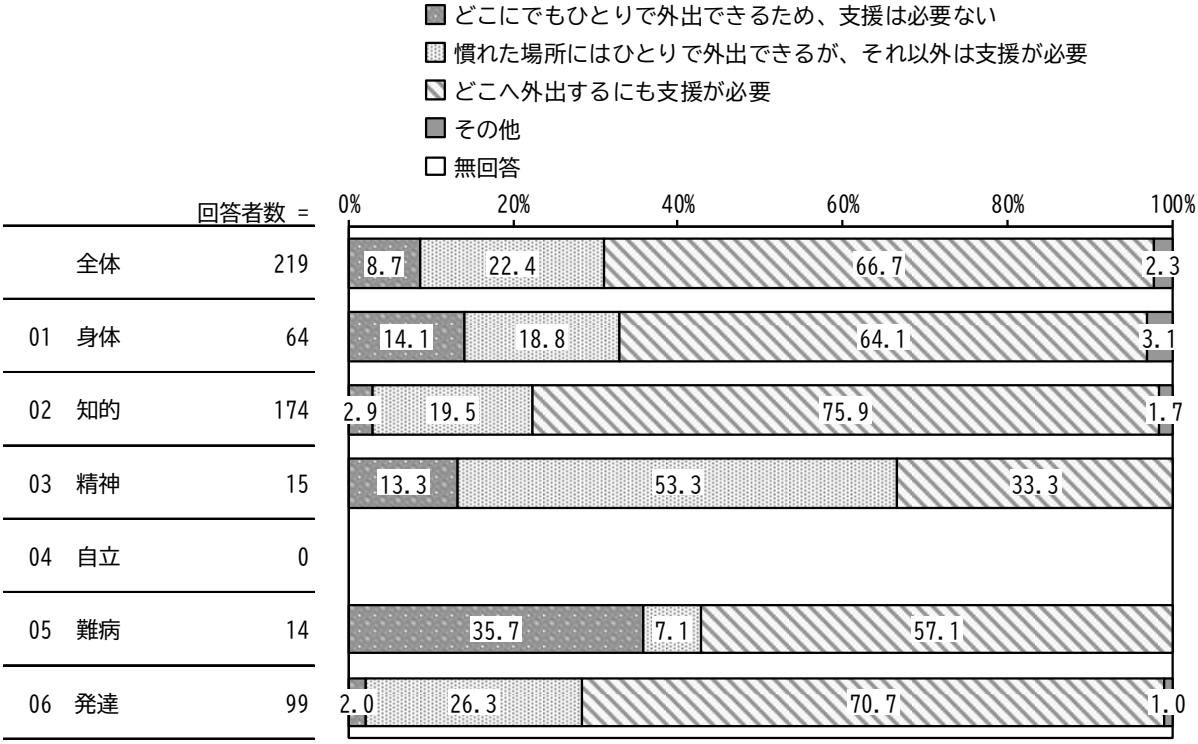
(%)

問 27　お子さんが外出するときの支援の必要性についてお答えください。【○は１つだけ】

「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」の割合が 8.7%、「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」の割合が 22.4%、「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が 66.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」、精神で「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が高く、『三世代世帯』で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」、『障害者手帳所持者がいる』で「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が高く、『利用していない』で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」、『重度心身障害』で「どこへ外出するにも支援が必要」の割合が高くなっています。

		調査数	どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない	慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要	どこへ外出するにも支援が必要	その他	無回答
全　体		219	8.7	22.4	66.7	2.3	0.0
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	5.9	0.0	82.4	11.8	0.0
	６～８歳	44	0.0	2.3	97.7	0.0	0.0
	９～11歳	40	5.0	17.5	77.5	0.0	0.0
	12～14歳	39	20.5	23.1	53.8	2.6	0.0
	15～17歳	59	11.9	54.2	33.9	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	6.9	23.2	67.5	2.5	0.0
	三世代世帯	16	31.3	12.5	56.3	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	18.8	56.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	4.8	52.4	38.1	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	9.8	19.6	68.6	2.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0
	その他	6	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	8.1	20.2	69.4	2.4	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	12.8	79.5	5.1	0.0
	40～59歳	151	6.0	25.2	66.9	2.0	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	15.2	22.2	59.6	3.0	0.0
	やや苦しい	93	2.2	25.8	69.9	2.2	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	9.5	90.5	0.0	0.0
サービス	利用している	167	3.6	13.8	79.6	3.0	0.0
	利用していない	51	25.5	49.0	25.5	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	22.2	66.7	11.1	0.0
	１年以上、３年未満	17	5.9	0.0	88.2	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	20.6	76.5	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	5.7	12.9	80.0	1.4	0.0
	10年以上	80	17.5	36.3	46.3	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	6.7	93.3	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	8.3	8.3	83.3	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	30.0	0.0	70.0	0.0	0.0

(%)

問 28　お子さんの外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。
【○はいくつでも】

「他人との会話が難しい」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない」の割合が 35.2%、「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」の割合が 27.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」、身体で「狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い」「道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい」「バリアフリーの建物が少ない」「気軽に利用できる移動手段が少ない」「電車やバス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」「障害のある方用のトイレが少ない」の割合が高くなっています。

		調査数	ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	視線が気になる	体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	バリアフリーの建物が少ない	車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	電車やバス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない	障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	その他	特にない	無回答
全　体		219	35.2	38.8	24.2	27.4	16.4	12.3	6.4	4.1	13.7	25.6	16.0	14.2	18.3	2.3
障害種別	身体	64	25.0	15.6	18.8	21.9	32.8	23.4	20.3	12.5	25.0	35.9	26.6	14.1	23.4	7.8
	知的	174	40.8	46.6	29.9	28.7	17.2	12.6	7.5	5.2	15.5	27.6	19.0	16.1	12.6	1.1
	精神	15	26.7	20.0	0.0	53.3	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	26.7	0.0	13.3	26.7	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	28.6	21.4	7.1	35.7	14.3	7.1	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	7.1	28.6	14.3
	発達	99	40.4	47.5	33.3	32.3	12.1	11.1	5.1	3.0	14.1	25.3	14.1	22.2	10.1	2.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない」、『９～11 歳』で「狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』ですべての割合が高い傾向にあります。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』ですべての割合が高い傾向にあります。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「視線が気になる」「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」「狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い」「道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい」「バリアフリーの建物が少ない」「気軽に利用できる移動手段が少ない」「電車やバス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」「障害のある方用のトイレが少ない」、『医療的ケアを受けている』で「車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない」の割合が高くなっています。

		調査数	ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	視線が気になる	体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	バリアフリーの建物が少ない	車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	気軽に利用できる移動手段が少ない	電車やバス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない	障害のある方用のトイレが少ない	その他	特にない	無回答
全　体		219	35.2	38.8	24.2	27.4	16.4	12.3	6.4	4.1	13.7	25.6	16.0	14.2	18.3	2.3 (%)
本人の年齢	0～2歳	3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	3～5歳	34	14.7	38.2	41.2	26.5	20.6	20.6	8.8	2.9	23.5	32.4	17.6	8.8	20.6	2.9
	6～8歳	44	52.3	45.5	34.1	29.5	11.4	9.1	2.3	2.3	11.4	25.0	20.5	11.4	9.1	2.3
	9～11歳	40	37.5	37.5	20.0	27.5	27.5	15.0	5.0	5.0	15.0	27.5	15.0	22.5	17.5	7.5
	12～14歳	39	38.5	41.0	12.8	20.5	15.4	12.8	7.7	2.6	12.8	25.6	12.8	5.1	25.6	0.0
	15～17歳	59	32.2	33.9	16.9	30.5	10.2	8.5	6.8	5.1	10.2	20.3	13.6	20.3	18.6	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	36.0	40.4	25.1	28.1	16.3	12.3	6.9	4.4	14.3	26.6	16.7	14.3	16.7	2.5
	三世代世帯	16	25.0	18.8	12.5	18.8	18.8	12.5	0.0	0.0	6.3	12.5	6.3	12.5	37.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	12.5	12.5	12.5	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	18.8	37.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	38.1	38.1	14.3	42.9	9.5	9.5	9.5	4.8	4.8	9.5	14.3	14.3	19.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	27.5	41.2	35.3	33.3	17.6	11.8	13.7	9.8	17.6	33.3	15.7	19.6	19.6	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	42.9	42.9	42.9	0.0	0.0
	その他	6	33.3	66.7	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0
	あてはまらない	124	37.9	39.5	21.0	25.8	16.9	11.3	2.4	1.6	13.7	25.0	15.3	9.7	17.7	3.2
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	28.2	28.2	25.6	38.5	12.8	7.7	5.1	2.6	15.4	33.3	17.9	7.7	20.5	2.6
	40～59歳	151	41.1	44.4	24.5	26.5	18.5	13.9	7.3	4.6	14.6	26.5	17.2	16.6	12.6	2.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	32.3	33.3	18.2	21.2	14.1	13.1	4.0	4.0	8.1	18.2	12.1	16.2	20.2	2.0
	やや苦しい	93	32.3	40.9	28.0	28.0	18.3	8.6	9.7	4.3	17.2	29.0	18.3	15.1	16.1	3.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	66.7	61.9	42.9	52.4	23.8	23.8	4.8	4.8	28.6	52.4	28.6	0.0	9.5	0.0
サービス	利用している	167	41.9	46.7	28.7	29.9	17.4	12.6	7.2	5.4	15.6	30.5	19.2	14.4	13.2	1.8
	利用していない	51	13.7	11.8	9.8	17.6	13.7	11.8	3.9	0.0	7.8	9.8	5.9	13.7	35.3	3.9
障害に気づいた時期	１年未満	18	27.8	27.8	5.6	11.1	16.7	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	27.8	22.2	5.6
	１年以上、３年未満	17	41.2	58.8	52.9	41.2	23.5	11.8	5.9	11.8	11.8	29.4	17.6	11.8	11.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	26.5	41.2	32.4	17.6	14.7	14.7	2.9	0.0	17.6	29.4	8.8	11.8	17.6	2.9
	５年以上、10年未満	70	41.4	41.4	27.1	37.1	14.3	8.6	5.7	2.9	17.1	31.4	21.4	11.4	12.9	4.3
	10年以上	80	33.8	33.8	16.3	23.8	17.5	15.0	8.8	6.3	12.5	23.8	13.8	15.0	23.8	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	40.0	20.0	40.0	40.0	40.0	26.7	33.3	20.0	40.0	46.7	40.0	13.3	0.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	29.2	29.2	33.3	25.0	33.3	20.8	29.2	25.0	33.3	41.7	29.2	20.8	16.7	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	14.3	28.6	0.0	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3
	聴覚障害がある	10	30.0	30.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	40.0	20.0

【問 29 は問 28 で「電車やバス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」を回答された方にお聞きします。】

問 29　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

自由意見	40　件
大きな声を出してしまう、癇癪をおこしてしまうなどの問題	16　件
乗り降りや介助など、物理的なアクセスについての問題	14　件
利用方法や手続きの困難	6　件
体調・健康・医療的な負担	4　件

※1 つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【大きな声を出してしまう、癇癪をおこしてしまうなどの問題】

●車椅子で乗るスペースがあるか不安で、休日は行く勇気がない。電車に乗ると大声を出してしまうので、周りへの配慮に疲れる。公共の乗り物の中で、排泄をしてしまった時のことを考えると恐ろしい。

●大きな声を出してしまうかもしれないため。座れない時間が長いと機嫌が悪くなり、癇癪を起こす可能性があるため。

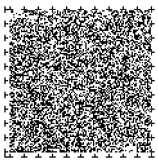
●慣れない環境ではパニックや癇癪を起こすことが多く、周囲の視線が気になるため。

【乗り降りや介助など、物理的なアクセスについての問題】

●不穏になった時に、すぐに下車できない。タクシーは、身体的に乗車できない（車イスタクシーなら可）

●視線。子ども用車いすの理解が得られていない。

●バギーは乗り降りで人の手がいること、乗ったあと場所をとり周りの人が迷惑そうな顔をするので、「邪魔だよね…すみません」と申し訳なく感じるから。



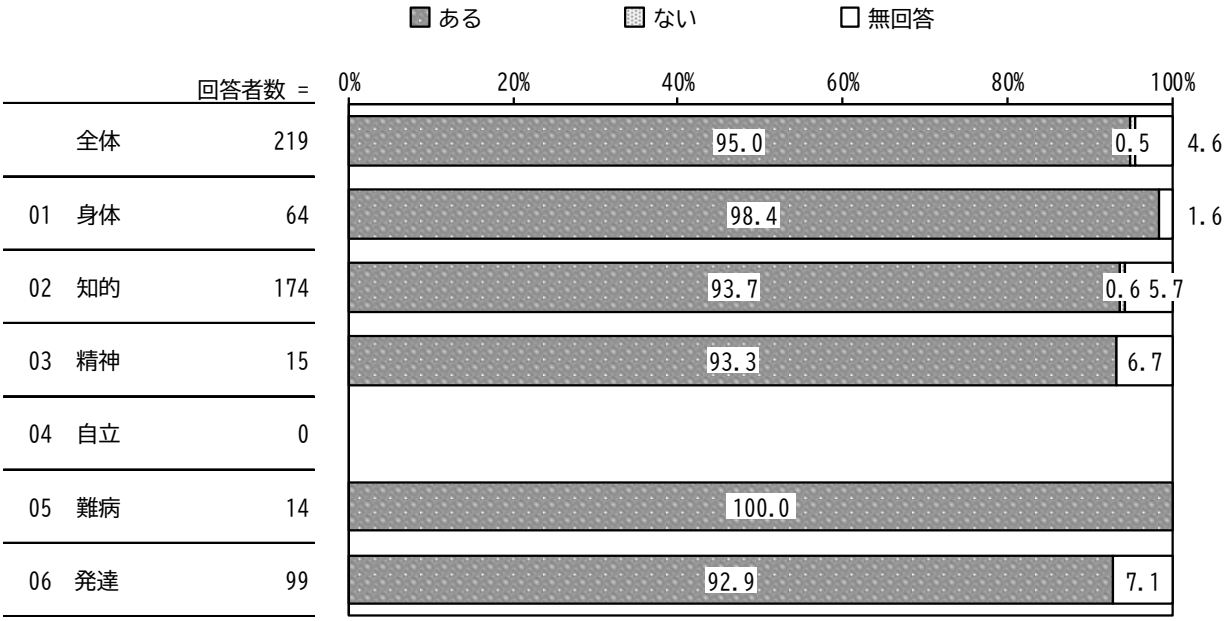
【問 30～32 はお子さんの意思を確認して回答をお願いします。】

問 30　お子さんは普段の生活の中で楽しいことはありますか。【○は１つだけ】

「ある」の割合が 95.0%、「ない」の割合が 0.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、大きな差はみられません。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で「ある」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「ある」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「ある」の割合が高くなっています。

		調査数	ある	ない	無回答
全　体		219	95.0	0.5	4.6 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	91.2	0.0	8.8
	６～８歳	44	90.9	2.3	6.8
	９～11歳	40	97.5	0.0	2.5
	12～14歳	39	100.0	0.0	0.0
	15～17歳	59	94.9	0.0	5.1
世帯構成	核家族世帯	203	94.6	0.5	4.9
	三世代世帯	16	100.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	100.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	100.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	92.2	2.0	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	100.0	0.0	0.0
	その他	6	100.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	94.4	0.0	5.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	97.4	2.6	0.0
	40～59歳	151	95.4	0.0	4.6
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	83.3	0.0	16.7
	まあまあゆとりがある	99	96.0	1.0	3.0
	やや苦しい	93	97.8	0.0	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	81.0	0.0	19.0
サービス	利用している	167	93.4	0.6	6.0
	利用していない	51	100.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	100.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	88.2	0.0	11.8
	３年以上、５年未満	34	97.1	0.0	2.9
	５年以上、10年未満	70	92.9	1.4	5.7
	10年以上	80	96.3	0.0	3.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	93.3	0.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	100.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	100.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	100.0	0.0	0.0

【問 31 は問 30 で「ある」と回答された方にお聞きします。】

問 31　お子さんの楽しいことの内容をお答えください。【○はいくつでも】

「テレビやビデオ、映画をみること」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「近所におでかけをすること」、「買い物に行くこと」の割合が 43.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「絵をかいたり工作をすること」「楽器をひいたり歌うこと」「テレビやビデオ、映画をみること」「近所におでかけをすること」「旅行に行くこと」の割合が高くなっています。

		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵をかいたり工作をすること	楽器をひいたり歌うこと	お父さんやお母さんの手伝いをすること	友達と遊ぶこと	テレビやビデオ、映画をみること	近所におでかけをすること	旅行に行くこと	買い物に行くこと	その他	無回答
全　体		208	42.3	38.0	29.8	21.2	33.2	70.2	43.8	41.3	43.8	26.0	0.5
障害種別	身体	63	27.0	30.2	23.8	15.9	38.1	69.8	36.5	33.3	34.9	33.3	1.6
	知的	163	46.6	36.8	31.3	21.5	26.4	69.3	46.0	39.3	44.8	23.9	0.6
	精神	14	28.6	28.6	21.4	14.3	42.9	50.0	35.7	42.9	28.6	71.4	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	50.0	78.6	57.1	21.4	35.7	85.7	64.3	57.1	42.9	21.4	0.0
	発達	92	46.7	39.1	31.5	21.7	31.5	67.4	48.9	43.5	44.6	30.4	1.1

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『９～11 歳』で「絵をかいたり工作をすること」「旅行に行くこと」、『３～５歳』で「お父さんやお母さんの手伝いをすること」、『12～14 歳』で「友達と遊ぶこと」、『６～８歳』で「近所におでかけをすること」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「絵をかいたり工作をすること」「楽器をひいたり歌うこと」「旅行に行くこと」の割合が高く、『三世代世帯』で「テレビやビデオ、映画をみること」「近所におでかけをすること」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「友達と遊ぶこと」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「テレビやビデオ、映画をみること」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「楽器をひいたり歌うこと」「友達と遊ぶこと」「テレビやビデオ、映画をみること」「近所におでかけをすること」の割合が高く、『40～59 歳』で「買い物に行くこと」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「楽器をひいたり歌うこと」「お父さんやお母さんの手伝いをすること」「テレビやビデオ、映画をみること」「近所におでかけをすること」「旅行に行くこと」「買い物に行くこと」の割合が高く、『利用していない』で「友達と遊ぶこと」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「テレビやビデオ、映画をみること」の割合が高くなっています。

		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵をかいたり工作をすること	楽器をひいたり歌うこと	お父さんやお母さんの手伝いをすること	友達と遊ぶこと	テレビやビデオ、映画をみること	近所におでかけをすること	旅行に行くこと	買い物に行くこと	その他	無回答
全　体		208	42.3	38.0	29.8	21.2	33.2	70.2	43.8	41.3	43.8	26.0	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	31	54.8	38.7	48.4	45.2	38.7	64.5	58.1	41.9	54.8	12.9	0.0
	６～８歳	40	52.5	35.0	32.5	20.0	35.0	67.5	62.5	42.5	50.0	20.0	0.0
	９～11歳	39	41.0	51.3	28.2	20.5	25.6	79.5	51.3	56.4	48.7	33.3	2.6
	12～14歳	39	41.0	38.5	28.2	12.8	43.6	74.4	33.3	48.7	46.2	23.1	0.0
	15～17歳	56	32.1	32.1	21.4	16.1	26.8	66.1	23.2	26.8	30.4	33.9	0.0
世帯構成	核家族世帯	192	42.2	39.1	30.7	21.4	32.8	69.3	42.7	42.2	43.8	24.5	0.5
	三世代世帯	16	43.8	25.0	18.8	18.8	37.5	81.3	56.3	31.3	43.8	43.8	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	50.0	25.0	18.8	12.5	37.5	81.3	50.0	31.3	50.0	56.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	47.6	23.8	23.8	19.0	52.4	61.9	23.8	23.8	38.1	47.6	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	47	38.3	38.3	34.0	19.1	36.2	59.6	51.1	42.6	29.8	27.7	2.1
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	42.9	71.4	57.1	42.9	71.4	85.7	42.9	71.4	42.9	0.0
	その他	6	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	83.3	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	あてはまらない	117	42.7	41.9	32.5	22.2	29.9	76.1	45.3	47.0	50.4	17.9	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	38	39.5	42.1	39.5	23.7	36.8	78.9	60.5	42.1	39.5	13.2	0.0
	40～59歳	144	38.2	37.5	28.5	21.5	29.9	68.8	41.7	39.6	45.8	30.6	0.7
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	5	20.0	60.0	40.0	20.0	40.0	80.0	40.0	60.0	60.0	20.0	0.0
	まあまあゆとりがある	95	46.3	41.1	31.6	23.2	36.8	71.6	48.4	41.1	45.3	22.1	0.0
	やや苦しい	91	41.8	35.2	28.6	19.8	30.8	69.2	38.5	41.8	41.8	28.6	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	17	29.4	29.4	23.5	17.6	23.5	64.7	47.1	35.3	41.2	35.3	0.0
サービス	利用している	156	43.6	38.5	32.1	23.7	26.3	73.1	51.3	42.3	46.8	22.4	0.6
	利用していない	51	39.2	37.3	21.6	13.7	54.9	60.8	21.6	37.3	35.3	37.3	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	33.3	50.0	38.9	27.8	44.4	61.1	33.3	44.4	50.0	33.3	0.0
	１年以上、３年未満	15	13.3	20.0	13.3	26.7	26.7	46.7	40.0	33.3	60.0	20.0	0.0
	３年以上、５年未満	33	63.6	39.4	42.4	30.3	33.3	63.6	60.6	39.4	45.5	21.2	0.0
	５年以上、10年未満	65	44.6	38.5	32.3	20.0	27.7	75.4	53.8	47.7	40.0	26.2	0.0
	10年以上	77	39.0	37.7	23.4	15.6	36.4	75.3	31.2	37.7	41.6	27.3	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	14	42.9	21.4	28.6	21.4	35.7	78.6	50.0	14.3	50.0	35.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	33.3	33.3	29.2	16.7	33.3	58.3	25.0	37.5	37.5	29.2	4.2
	視覚障害がある	7	28.6	14.3	42.9	14.3	14.3	57.1	28.6	42.9	42.9	57.1	0.0
	聴覚障害がある	10	40.0	30.0	20.0	10.0	40.0	90.0	50.0	50.0	30.0	20.0	0.0

【問 32 は問 30 で「ある」と回答された方にお聞きします。】

問 32　お子さんの楽しいことがある場所はどこですか。【○はいくつでも】

「自宅」の割合が 74.0%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園、学校」の割合が 65.4%、「スーパーやショッピングモール」の割合が 50.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「図書館、美術館、博物館など」「映画館」「習い事の教室」の割合が高くなっています。

		調査数	保育所や幼稚園、学校	図書館、美術館、博物館など	障害福祉サービス事業所・施設	スーパーやショッピングモール	映画館	バスや電車などの交通機関	習い事の教室	自宅	ご近所や友達の家	その他	無回答
全　体		208	65.4	17.8	46.6	50.5	19.2	26.4	17.3	74.0	11.5	12.5	0.5
障害種別	身体	63	69.8	15.9	36.5	36.5	15.9	19.0	12.7	73.0	17.5	12.7	0.0
	知的	163	66.9	16.6	56.4	52.1	16.6	28.2	16.6	72.4	9.2	10.4	0.6
	精神	14	35.7	21.4	7.1	42.9	35.7	28.6	14.3	78.6	14.3	21.4	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	71.4	35.7	50.0	50.0	50.0	14.3	28.6	71.4	14.3	21.4	0.0
	発達	92	64.1	20.7	51.1	55.4	21.7	30.4	18.5	70.7	7.6	15.2	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「障害福祉サービス事業所・施設」、『６～８歳』、『９～11 歳』で「スーパーやショッピングモール」、『12～14 歳』で「映画館」「習い事の教室」、『６～８歳』で「バスや電車などの交通機関」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「障害福祉サービス事業所・施設」「習い事の教室」の割合が高く、『三世代世帯』で「スーパーやショッピングモール」「バスや電車などの交通機関」「ご近所や友達の家」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『あてはまらない』で「障害福祉サービス事業所・施設」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「スーパーやショッピングモール」「バスや電車などの交通機関」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「障害福祉サービス事業所・施設」「自宅」の割合が高く、『40～59 歳』で「習い事の教室」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「保育所や幼稚園、学校」「障害福祉サービス事業所・施設」「スーパーやショッピングモール」「バスや電車などの交通機関」の割合が高く、『利用していない』で「映画館」「習い事の教室」「ご近所や友達の家」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「保育所や幼稚園、学校」「障害福祉サービス事業所・施設」、『聴覚障害がある』で「映画館」「習い事の教室」「ご近所や友達の家」の割合が高くなっています。

		調査数	保育所や幼稚園、学校	図書館、美術館、博物館など	障害福祉サービス事業所・施設	スーパーやショッピングモール	映画館	バスや電車などの交通機関	習い事の教室	自宅	ご近所や友達の家	その他	無回答
全　体		208	65.4	17.8	46.6	50.5	19.2	26.4	17.3	74.0	11.5	12.5	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	31	74.2	25.8	71.0	51.6	6.5	29.0	16.1	80.6	9.7	9.7	0.0
	６～８歳	40	72.5	17.5	50.0	62.5	15.0	40.0	10.0	62.5	17.5	7.5	0.0
	９～11歳	39	66.7	17.9	53.8	64.1	17.9	20.5	20.5	76.9	10.3	23.1	2.6
	12～14歳	39	61.5	10.3	41.0	48.7	30.8	28.2	28.2	74.4	15.4	10.3	0.0
	15～17歳	56	58.9	19.6	30.4	33.9	23.2	17.9	14.3	75.0	7.1	10.7	0.0
世帯構成	核家族世帯	192	65.6	17.7	48.4	49.5	19.3	25.0	17.7	74.0	10.4	11.5	0.5
	三世代世帯	16	62.5	18.8	25.0	62.5	18.8	43.8	12.5	75.0	25.0	25.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	56.3	12.5	12.5	62.5	18.8	37.5	12.5	75.0	18.8	25.0	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	47.6	14.3	38.1	42.9	19.0	28.6	14.3	71.4	4.8	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	47	61.7	19.1	38.3	48.9	21.3	27.7	10.6	68.1	12.8	19.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	85.7	28.6	28.6	71.4	28.6	28.6	57.1	100.0	28.6	28.6	0.0
	その他	6	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	117	69.2	17.9	57.3	53.8	19.7	25.6	17.9	77.8	12.8	11.1	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	38	63.2	15.8	60.5	50.0	18.4	31.6	7.9	81.6	15.8	13.2	0.0
	40～59歳	144	65.3	18.1	45.8	52.8	18.1	27.1	18.1	73.6	11.1	13.2	0.0
	60歳代	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	5	100.0	20.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	95	71.6	17.9	44.2	52.6	21.1	23.2	22.1	81.1	13.7	11.6	0.0
	やや苦しい	91	58.2	18.7	46.2	48.4	17.6	28.6	13.2	70.3	11.0	13.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	17	58.8	11.8	58.8	52.9	11.8	35.3	11.8	52.9	5.9	17.6	0.0
サービス	利用している	156	69.2	17.3	60.9	53.2	15.4	31.4	14.7	73.1	9.0	12.8	0.0
	利用していない	51	54.9	17.6	3.9	43.1	29.4	11.8	25.5	76.5	19.6	11.8	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	77.8	16.7	38.9	33.3	22.2	33.3	27.8	66.7	5.6	16.7	0.0
	１年以上、３年未満	15	46.7	20.0	53.3	53.3	6.7	20.0	13.3	66.7	13.3	26.7	0.0
	３年以上、５年未満	33	60.6	12.1	48.5	45.5	12.1	33.3	18.2	66.7	6.1	9.1	3.0
	５年以上、10年未満	65	69.2	20.0	56.9	60.0	16.9	24.6	15.4	78.5	13.8	12.3	0.0
	10年以上	77	64.9	18.2	37.7	48.1	26.0	24.7	16.9	76.6	13.0	10.4	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	14	78.6	7.1	64.3	35.7	14.3	28.6	7.1	71.4	0.0	7.1	0.0
	医療的ケアを受けている	24	70.8	12.5	50.0	33.3	8.3	12.5	8.3	50.0	8.3	25.0	0.0
	視覚障害がある	7	85.7	14.3	28.6	42.9	0.0	42.9	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	60.0	20.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	80.0	30.0	10.0	0.0

(%)

問 33　今後、お子さんを参加させたいと思う活動についてお答えください。
【○はいくつでも】

「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「障害の有無にかかわらず参加できる活動」の割合が 51.6%、「障害のある方と一緒に参加できる活動」の割合が 49.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	保護者と一緒に参加できる活動	障害のある方と一緒に参加できる活動	障害の有無にかかわらず参加できる活動	その他	無回答
全　体		219	58.0	36.1	49.3	51.6	4.1	3.7 (%)
障害種別	身体	64	50.0	32.8	50.0	59.4	7.8	1.6
	知的	174	56.9	40.8	55.2	51.1	4.0	4.6
	精神	15	73.3	6.7	13.3	53.3	6.7	6.7
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	78.6	35.7	50.0	50.0	7.1	0.0
	発達	99	61.6	38.4	48.5	54.5	4.0	3.0

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『15～17 歳』で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」、『９～11 歳』で「障害のある方と一緒に参加できる活動」、『３～５歳』で「障害の有無にかかわらず参加できる活動」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「保護者と一緒に参加できる活動」「障害のある方と一緒に参加できる活動」「障害の有無にかかわらず参加できる活動」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「保護者と一緒に参加できる活動」「障害の有無にかかわらず参加できる活動」の割合が高く、『40～59 歳』で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「障害のある方と一緒に参加できる活動」、『やや苦しい』で「障害の有無にかかわらず参加できる活動」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「保護者と一緒に参加できる活動」「障害のある方と一緒に参加できる活動」の割合が高く、『利用していない』で「障害の有無にかかわらず参加できる活動」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「障害のある方と一緒に参加できる活動」、『聴覚障害がある』で「障害の有無にかかわらず参加できる活動」の割合が高くなっています。

		調査数	ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	保護者と一緒に参加できる活動	障害のある方と一緒に参加できる活動	障害の有無にかかわらず参加できる活動	その他	無回答
全　体		219	58.0	36.1	49.3	51.6	4.1	3.7 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	66.7	66.7	100.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	55.9	58.8	58.8	67.6	0.0	0.0
	６～８歳	44	50.0	47.7	59.1	43.2	2.3	2.3
	９～11歳	40	55.0	45.0	60.0	45.0	7.5	5.0
	12～14歳	39	56.4	17.9	35.9	51.3	5.1	2.6
	15～17歳	59	69.5	18.6	37.3	50.8	5.1	6.8
世帯構成	核家族世帯	203	57.6	37.4	51.2	52.2	4.4	3.4
	三世代世帯	16	62.5	18.8	25.0	43.8	0.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	43.8	18.8	18.8	43.8	6.3	12.5
	障害者手帳所持者がいる	21	57.1	14.3	33.3	52.4	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	51.0	39.2	47.1	52.9	7.8	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	100.0	57.1	85.7	71.4	0.0	0.0
	その他	6	50.0	16.7	50.0	33.3	16.7	0.0
	あてはまらない	124	62.1	39.5	52.4	50.8	1.6	4.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	53.8	46.2	53.8	69.2	2.6	2.6
	40～59歳	151	60.3	35.8	51.0	49.7	4.6	2.6
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	50.0	16.7	66.7	0.0	16.7
	まあまあゆとりがある	99	57.6	36.4	43.4	43.4	4.0	4.0
	やや苦しい	93	61.3	36.6	53.8	62.4	2.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	57.1	28.6	66.7	38.1	14.3	9.5
サービス	利用している	167	57.5	42.5	56.3	48.5	4.8	3.6
	利用していない	51	58.8	15.7	25.5	60.8	2.0	3.9
障害に気づいた時期	１年未満	18	61.1	50.0	50.0	55.6	5.6	0.0
	１年以上、３年未満	17	58.8	41.2	58.8	47.1	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	52.9	44.1	50.0	61.8	0.0	2.9
	５年以上、10年未満	70	54.3	47.1	60.0	45.7	5.7	2.9
	10年以上	80	62.5	18.8	37.5	52.5	3.8	6.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	53.3	26.7	66.7	53.3	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	41.7	41.7	62.5	54.2	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	57.1	42.9	57.1	42.9	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	50.0	20.0	40.0	70.0	10.0	0.0

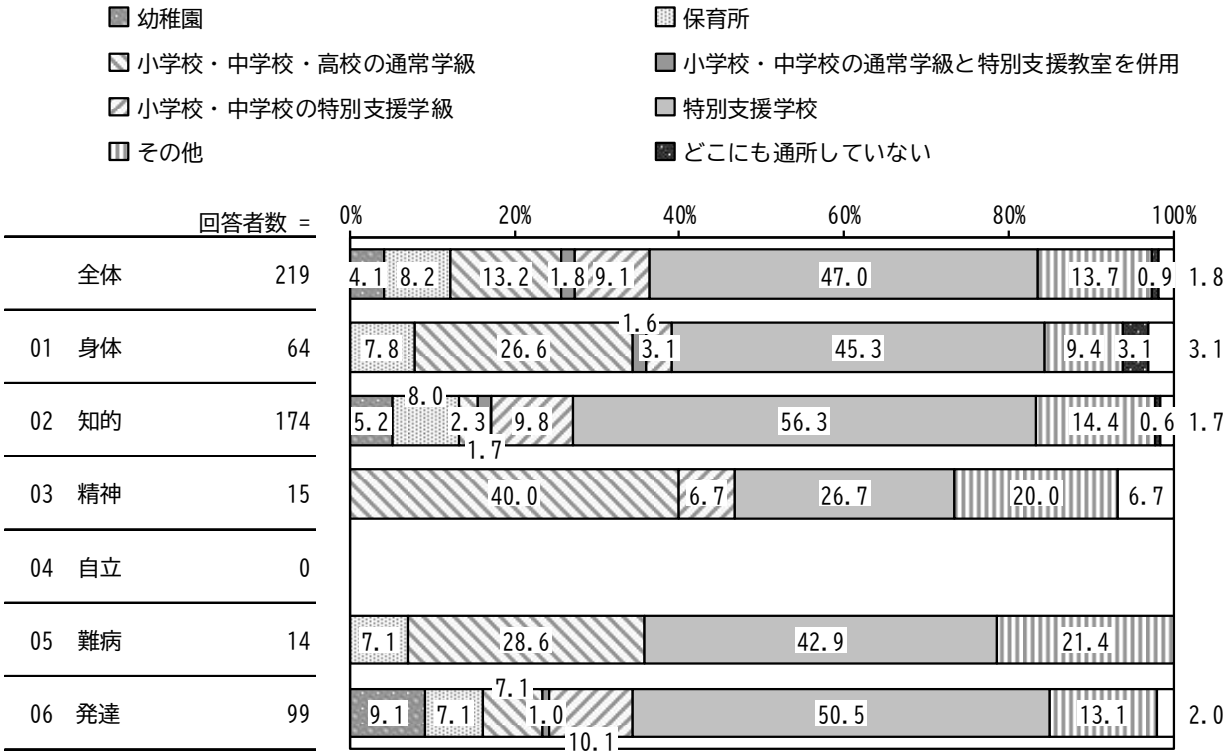
4　幼稚園や保育所、学校での生活について

問 34　お子さんの通っている学校などの種類をお答えください。【○は１つだけ】

「特別支援学校」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「小学校・中学校・高校の通常学級」の割合が 13.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「小学校・中学校・高校の通常学級」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』、『15～17 歳』で「特別支援学校」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「小学校・中学校の特別支援学級」「特別支援学校」の割合が高く、『三世代世帯』で「小学校・中学校・高校の通常学級」「どこにも通所していない」の割合が高くなっています。

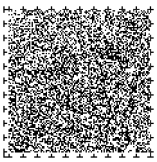
同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「保育所」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「小学校・中学校・高校の通常学級」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「幼稚園」「保育所」の割合が高く、『40～59 歳』で「小学校・中学校の特別支援学級」「特別支援学校」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「幼稚園」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「幼稚園」「保育所」「特別支援学校」の割合が高く、『利用していない』で「小学校・中学校・高校の通常学級」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「特別支援学校」、『聴覚障害がある』で「どこにも通所していない」の割合が高くなっています。



		調査数	幼稚園	保育所	小学校・中学校・高校の通常学級	小学校・中学校の通常学級と特別支援教室を併用	小学校・中学校の特別支援学級	特別支援学校	その他	どこにも通所していない	無回答
全　体		219	4.1	8.2	13.2	1.8	9.1	47.0	13.7	0.9	1.8
本人の年齢	0～2歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	3～5歳	34	23.5	44.1	0.0	0.0	2.9	2.9	20.6	2.9	2.9
	6～8歳	44	2.3	4.5	4.5	2.3	11.4	61.4	13.6	0.0	0.0
	9～11歳	40	0.0	0.0	20.0	5.0	22.5	47.5	2.5	0.0	2.5
	12～14歳	39	0.0	0.0	30.8	2.6	12.8	48.7	5.1	0.0	0.0
	15～17歳	59	0.0	0.0	11.9	0.0	0.0	62.7	22.0	0.0	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	4.4	8.4	11.3	2.0	9.9	47.8	13.8	0.5	2.0
	三世代世帯	16	0.0	6.3	37.5	0.0	0.0	37.5	12.5	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	6.3	31.3	0.0	6.3	43.8	12.5	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	4.8	19.0	0.0	14.3	38.1	23.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	5.9	19.6	21.6	0.0	5.9	29.4	17.6	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0
	その他	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	4.0	4.8	9.7	3.2	9.7	52.4	11.3	1.6	3.2
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	12.8	17.9	15.4	0.0	0.0	30.8	20.5	2.6	0.0
	40～59歳	151	2.0	5.3	11.3	1.3	11.3	53.0	13.9	0.7	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
	まあまあゆとりがある	99	4.0	6.1	17.2	1.0	9.1	46.5	15.2	0.0	1.0
	やや苦しい	93	2.2	11.8	10.8	1.1	9.7	48.4	15.1	0.0	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	14.3	0.0	4.8	0.0	9.5	52.4	4.8	9.5	4.8
サービス	利用している	167	5.4	9.6	4.8	1.8	8.4	53.9	13.2	1.2	1.8
	利用していない	51	0.0	3.9	41.2	2.0	11.8	25.5	13.7	0.0	2.0
障害に気づいた時期	1年未満	18	5.6	16.7	16.7	11.1	0.0	38.9	5.6	0.0	5.6
	1年以上、3年未満	17	17.6	23.5	0.0	0.0	5.9	11.8	29.4	11.8	0.0
	3年以上、5年未満	34	11.8	23.5	2.9	0.0	14.7	29.4	17.6	0.0	0.0
	5年以上、10年未満	70	1.4	4.3	10.0	1.4	14.3	51.4	15.7	0.0	1.4
	10年以上	80	0.0	0.0	22.5	1.3	5.0	60.0	8.8	0.0	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	8.3	8.3	8.3	0.0	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	30.0	10.0	20.0	10.0

(%)

問 35　幼稚園、保育所、学校などでの生活で困っていることをお答えください。
【○はいくつでも】

困っている内容についてみると、「通うための付き添いの負担が大きい」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「学力がついていけない」の割合が 13.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「周囲の児童・生徒の理解が得られない」「体力がついていけない」「学力がついていけない」の割合が高くなっています。

		調査数	通うための付き添いの負担が大きい	トイレなどのバリアフリー設備が不十分	障害を理由にイジメや仲間外れにされる	先生や職員の理解や配慮が足りない	周囲の児童・生徒の理解が得られない	体力がついていけない	学力がついていけない	体調が悪くなったときの居場所がない	介助体制が十分でない	医療的なケアが受けられない	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		219	27.4	3.7	3.2	9.1	5.9	8.7	13.2	5.9	5.0	0.9	16.0	40.2	3.2
障害種別	身体	64	29.7	12.5	4.7	9.4	7.8	10.9	7.8	4.7	6.3	3.1	15.6	35.9	4.7
	知的	174	28.7	1.7	2.3	7.5	4.0	5.7	13.2	7.5	4.0	1.1	14.9	41.4	4.0
	精神	15	20.0	0.0	6.7	13.3	20.0	26.7	26.7	6.7	6.7	0.0	40.0	13.3	6.7
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	28.6	0.0	7.1	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	21.4	42.9	0.0
	発達	99	32.3	1.0	4.0	10.1	8.1	7.1	17.2	9.1	6.1	0.0	22.2	33.3	2.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「通うための付き添いの負担が大きい」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で「体力がついていけない」「学力がついていけない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「学力がついていけない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「先生や職員の理解や配慮が足りない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「通うための付き添いの負担が大きい」「体調が悪くなったときの居場所がない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「通うための付き添いの負担が大きい」の割合が高く、『利用していない』で「トイレなどのバリアフリー設備が不十分」「周囲の児童・生徒の理解が得られない」「体力がついていけない」「学力がついていけない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「学力がついていけない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「通うための付き添いの負担が大きい」「先生や職員の理解や配慮が足りない」、『重度心身障害』で「トイレなどのバリアフリー設備が不十分」「体調が悪くなったときの居場所がない」の割合が高くなっています。

		調査数	通うための付き添いの負担が大きい	トイレなどのバリアフリー設備が不十分	障害を理由にイジメや仲間外れにされる	先生や職員の理解や配慮が足りない	周囲の児童・生徒の理解が得られない	体力がついていけない	学力がついていけない	体調が悪くなったときの居場所がない	介助体制が十分でない	医療的なケアが受けられない	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		219	27.4	3.7	3.2	9.1	5.9	8.7	13.2	5.9	5.0	0.9	16.0	40.2	3.2 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	３～５歳	34	29.4	8.8	5.9	14.7	8.8	8.8	14.7	0.0	5.9	0.0	14.7	47.1	2.9
	６～８歳	44	36.4	2.3	0.0	2.3	6.8	2.3	6.8	4.5	4.5	2.3	18.2	38.6	2.3
	９～11歳	40	37.5	5.0	0.0	7.5	5.0	7.5	15.0	12.5	5.0	0.0	17.5	37.5	2.5
	12～14歳	39	38.5	5.1	7.7	12.8	5.1	12.8	17.9	5.1	7.7	0.0	15.4	28.2	2.6
	15～17歳	59	6.8	0.0	3.4	10.2	5.1	11.9	13.6	6.8	3.4	1.7	15.3	45.8	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	27.6	3.4	3.0	8.9	5.9	7.9	12.3	5.9	4.9	1.0	14.3	41.4	3.0
	三世代世帯	16	25.0	6.3	6.3	12.5	6.3	18.8	25.0	6.3	6.3	0.0	37.5	25.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0	43.8	37.5	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	14.3	9.5	4.8	9.5	14.3	14.3	14.3	9.5	4.8	0.0	14.3	47.6	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	37.3	3.9	3.9	11.8	9.8	7.8	23.5	0.0	5.9	0.0	23.5	23.5	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
	その他	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0
	あてはまらない	124	26.6	3.2	2.4	8.9	2.4	8.1	10.5	8.1	4.8	0.8	11.3	45.2	2.4
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	28.2	2.6	2.6	12.8	7.7	5.1	10.3	2.6	7.7	2.6	10.3	51.3	5.1
	40～59歳	151	30.5	4.6	4.0	6.0	5.3	9.9	11.9	6.6	4.6	0.7	17.9	37.1	2.6
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
	まあまあゆとりがある	99	23.2	2.0	2.0	7.1	3.0	8.1	12.1	1.0	3.0	0.0	15.2	49.5	2.0
	やや苦しい	93	26.9	4.3	3.2	9.7	7.5	9.7	14.0	7.5	6.5	2.2	17.2	33.3	3.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	47.6	4.8	9.5	19.0	14.3	4.8	19.0	19.0	9.5	0.0	19.0	28.6	4.8
サービス	利用している	167	30.5	1.8	3.0	8.4	4.8	6.6	10.2	6.6	4.2	1.2	15.6	41.9	4.2
	利用していない	51	17.6	9.8	3.9	11.8	9.8	15.7	23.5	3.9	7.8	0.0	17.6	33.3	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	16.7	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	5.6	0.0	0.0	11.1	44.4	0.0
	１年以上、３年未満	17	35.3	5.9	5.9	11.8	5.9	11.8	5.9	0.0	5.9	0.0	17.6	41.2	11.8
	３年以上、５年未満	34	23.5	0.0	2.9	14.7	11.8	8.8	23.5	5.9	5.9	0.0	11.8	47.1	0.0
	５年以上、10年未満	70	37.1	2.9	1.4	5.7	7.1	8.6	12.9	10.0	4.3	1.4	18.6	31.4	2.9
	10年以上	80	21.3	3.8	5.0	8.8	3.8	7.5	11.3	3.8	6.3	1.3	16.3	43.8	3.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	20.0	6.7	0.0	20.0	33.3	6.7
	医療的ケアを受けている	24	33.3	4.2	4.2	0.0	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	29.2	33.3	8.3
	視覚障害がある	7	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0
	聴覚障害がある	10	40.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	50.0	0.0

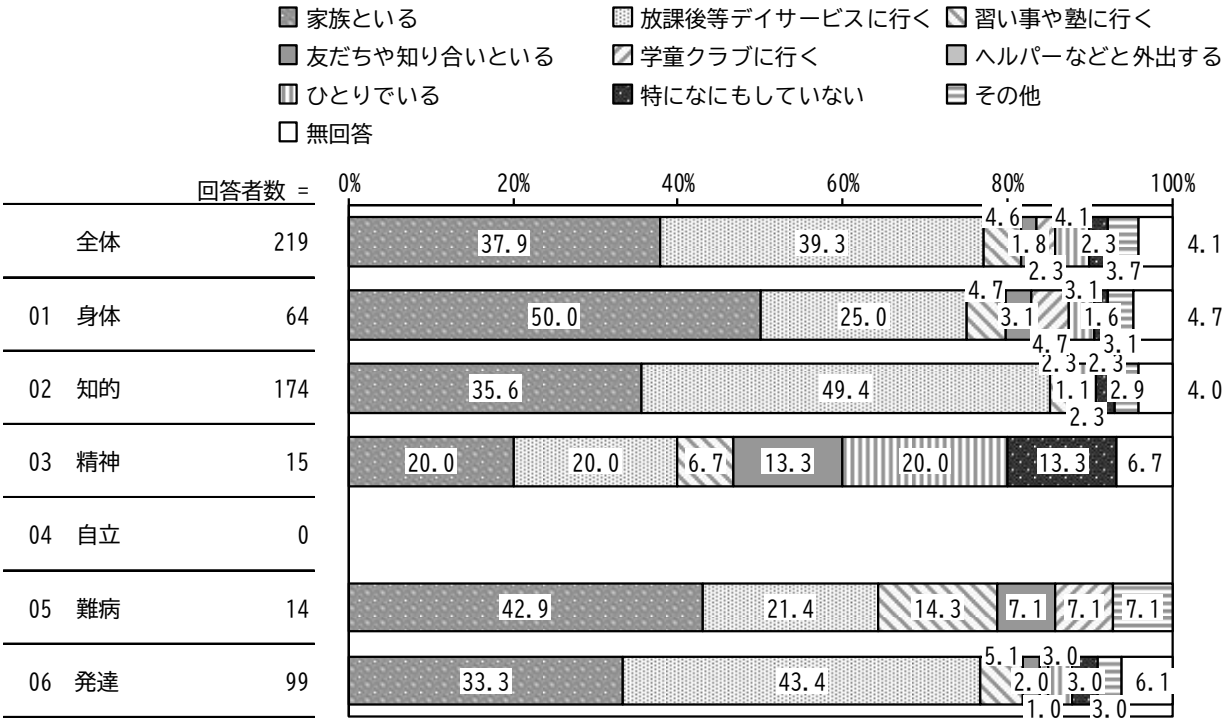
問 36　お子さんは放課後や土日・祝日の休み、夏休みなどの長期休暇中の日中をどのように過ごしていますか。最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。
【○はそれぞれに１つずつ。該当しない項目は記入不要。】

「放課後等デイサービスに行く」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「家族といる」の割合が 37.9%となっています。

①平日の放課後

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「家族といる」、知的で「放課後等デイサービスに行く」、精神で「友だちや知り合いといる」「ひとりでいる」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「家族といる」、『６～８歳』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高く、『三世代世帯』で「家族といる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高く、『利用していない』で「家族といる」「習い事や塾に行く」「ひとりでいる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「家族といる」、『重度心身障害』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

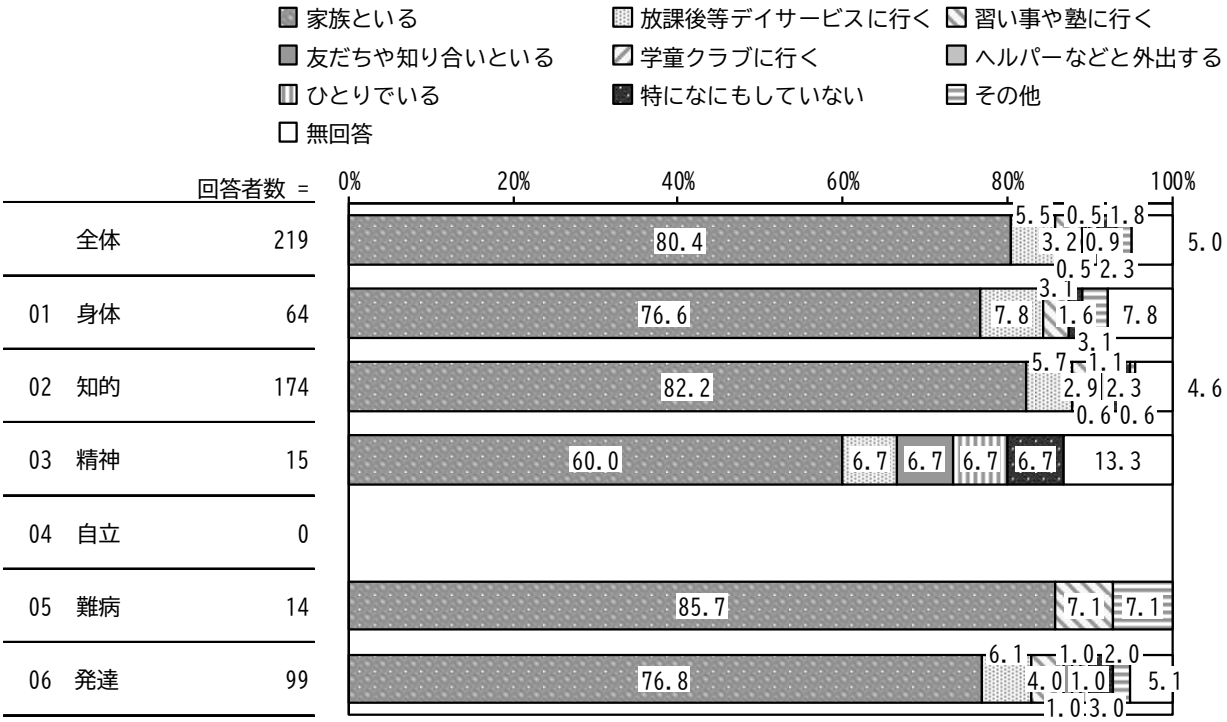
		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答
全　体		219	37.9	39.3	4.6	1.8	2.3	0.0	4.1	2.3	3.7	4.1 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	82.4	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	8.8	2.9
	６～８歳	44	22.7	61.4	2.3	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5
	９～11歳	40	22.5	55.0	2.5	5.0	7.5	0.0	2.5	0.0	0.0	5.0
	12～14歳	39	33.3	41.0	10.3	2.6	0.0	0.0	5.1	0.0	2.6	5.1
	15～17歳	59	33.9	35.6	5.1	1.7	0.0	0.0	10.2	3.4	6.8	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	36.9	40.4	4.4	2.0	2.0	0.0	3.9	2.5	3.9	3.9
	三世代世帯	16	50.0	25.0	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	50.0	25.0	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	28.6	28.6	0.0	9.5	0.0	0.0	9.5	4.8	0.0	19.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	52.9	19.6	2.0	5.9	3.9	0.0	5.9	3.9	2.0	3.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	その他	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	あてはまらない	124	30.6	50.8	5.6	0.8	1.6	0.0	3.2	1.6	4.8	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	48.7	25.6	2.6	5.1	5.1	0.0	7.7	5.1	0.0	0.0
	40～59歳	151	33.1	47.0	3.3	1.3	1.3	0.0	4.0	2.0	4.0	4.0
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	37.4	37.4	8.1	2.0	2.0	0.0	4.0	2.0	4.0	3.0
	やや苦しい	93	40.9	37.6	1.1	0.0	2.2	0.0	5.4	3.2	3.2	6.5
	不自由が多く、生活が苦しい	21	33.3	57.1	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	167	35.9	50.9	2.4	1.2	1.2	0.0	0.6	1.8	3.0	3.0
	利用していない	51	45.1	2.0	11.8	3.9	5.9	0.0	13.7	3.9	5.9	7.8
障害に気づいた時期	１年未満	18	55.6	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	64.7	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	5.9
	３年以上、５年未満	34	58.8	14.7	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	2.9	5.9
	５年以上、10年未満	70	28.6	54.3	1.4	2.9	2.9	0.0	1.4	2.9	0.0	5.7
	10年以上	80	27.5	43.8	8.8	2.5	1.3	0.0	7.5	1.3	6.3	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	50.0	25.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	12.5
	視覚障害がある	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	70.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②土日・祝日

「家族といる」の割合が 80.4%と最も高くなっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「家族といる」の割合が低くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高く、『三世代世帯』で「家族といる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「家族といる」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「家族といる」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「家族といる」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「家族といる」「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

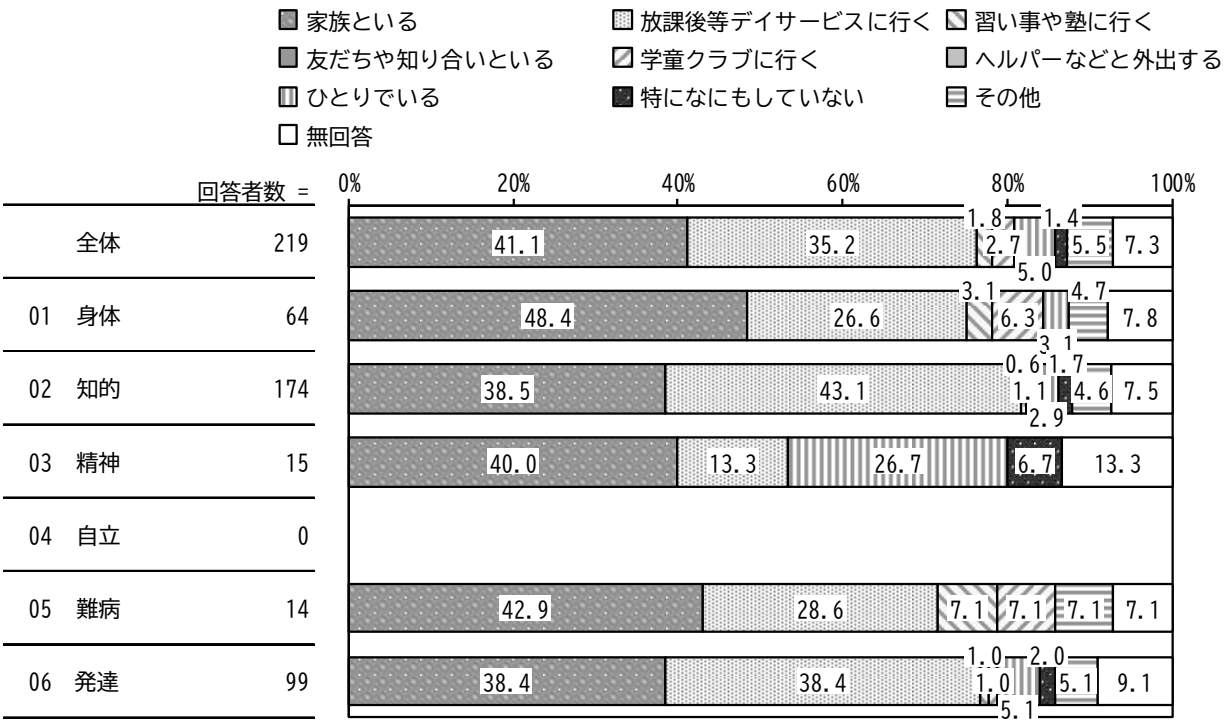
		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答	
全　体		219	80.4	5.5	3.2	0.5	0.0	0.5	0.9	2.3	1.8	5.0	(%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	34	88.2	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	
	６～８歳	44	81.8	2.3	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	6.8	
	９～11歳	40	77.5	7.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	2.5	2.5	
	12～14歳	39	82.1	2.6	5.1	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	5.1	
	15～17歳	59	74.6	8.5	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	1.7	1.7	6.8	
世帯構成	核家族世帯	203	79.8	5.9	3.4	0.5	0.0	0.5	1.0	2.5	2.0	4.4	
	三世代世帯	16	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	93.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	
	障害者手帳所持者がいる	21	66.7	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	14.3	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	86.3	3.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	6	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	
	あてはまらない	124	79.8	6.5	3.2	0.0	0.0	0.8	0.8	1.6	2.4	4.8	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	39	87.2	5.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	
	40～59歳	151	80.1	6.6	2.0	0.7	0.0	0.7	1.3	2.0	2.0	4.6	
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	まあまあゆとりがある	99	76.8	8.1	6.1	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	2.0	4.0	
	やや苦しい	93	81.7	2.2	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1	4.3	2.2	6.5	
	不自由が多く、生活が苦しい	21	85.7	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	
サービス	利用している	167	82.6	7.2	2.4	0.0	0.0	0.6	0.6	1.8	1.2	3.6	
	利用していない	51	72.5	0.0	5.9	2.0	0.0	0.0	2.0	3.9	3.9	9.8	
障害に気づいた時期	１年未満	18	83.3	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	
	１年以上、３年未満	17	82.4	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	
	３年以上、５年未満	34	76.5	2.9	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	5.9	0.0	5.9	
	５年以上、10年未満	70	81.4	5.7	2.9	0.0	0.0	0.0	1.4	2.9	0.0	5.7	
	10年以上	80	80.0	6.3	5.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	2.5	3.8	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	15	66.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	
	医療的ケアを受けている	24	75.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	8.3	
	視覚障害がある	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	聴覚障害がある	10	80.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	

③夏休みなどの長期休み

「家族といる」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスに行く」の割合が 35.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「ひとりでいる」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高く、『三世代世帯』で「家族といる」「ひとりでいる」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「家族といる」、『あてはまらない』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「家族といる」の割合が高く、『40～59 歳』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高く、『利用していない』で「家族といる」「学童クラブに行く」「ひとりでいる」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「家族といる」、『５年以上、10 年未満』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「家族といる」、『重度心身障害』で「放課後等デイサービスに行く」の割合が高くなっています。

		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答
全　体		219	41.1	35.2	1.8	0.0	2.7	0.0	5.0	1.4	5.5	7.3 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	64.7	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.6	11.8
	６～８歳	44	36.4	45.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	2.3	6.8
	９～11歳	40	25.0	55.0	2.5	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5
	12～14歳	39	38.5	35.9	5.1	0.0	0.0	0.0	12.8	0.0	5.1	2.6
	15～17歳	59	40.7	33.9	1.7	0.0	0.0	0.0	10.2	1.7	3.4	8.5
世帯構成	核家族世帯	203	39.9	36.5	2.0	0.0	2.5	0.0	3.9	1.5	5.9	7.9
	三世代世帯	16	56.3	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	68.8	12.5	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	4.8	0.0	14.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	51.0	15.7	2.0	0.0	3.9	0.0	7.8	2.0	9.8	7.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
	その他	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3
	あてはまらない	124	34.7	46.8	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	0.8	4.8	5.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	51.3	25.6	0.0	0.0	5.1	0.0	5.1	2.6	7.7	2.6
	40～59歳	151	37.1	42.4	1.3	0.0	2.0	0.0	4.6	1.3	4.6	6.6
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	40.4	36.4	3.0	0.0	3.0	0.0	4.0	1.0	7.1	5.1
	やや苦しい	93	43.0	31.2	1.1	0.0	2.2	0.0	7.5	2.2	3.2	9.7
	不自由が多く、生活が苦しい	21	38.1	42.9	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5
サービス	利用している	167	37.7	45.5	1.2	0.0	1.2	0.0	1.2	1.2	5.4	6.6
	利用していない	51	52.9	2.0	3.9	0.0	7.8	0.0	15.7	2.0	5.9	9.8
障害に気づいた時期	１年未満	18	38.9	22.2	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	0.0	5.6	16.7
	１年以上、３年未満	17	47.1	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.4	11.8
	３年以上、５年未満	34	58.8	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	2.9	5.9	8.8	5.9
	５年以上、10年未満	70	37.1	47.1	1.4	0.0	2.9	0.0	2.9	1.4	0.0	7.1
	10年以上	80	36.3	42.5	3.8	0.0	1.3	0.0	7.5	0.0	3.8	5.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	54.2	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	12.5
	視覚障害がある	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	60.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

問 37　放課後の過ごし方について困っていることをお答えください。【○はいくつでも】

困っている内容についてみると、「体調が悪くなったときに介助する人がいない」の割合が 7.8%と最も高くなっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「居場所が学校から離れている」「あまり楽しめていない」の割合が高くなっています。

		調査数	居場所が学校から離れている	居場所が自宅から離れている	周囲の人との相性が良くない	あまり楽しめていない	体調が悪くなったときに介助する人がいない	交通環境が悪い	その他	特にない	無回答
全　体		219	7.3	6.4	1.8	5.5	7.8	5.0	20.5	47.5	6.8
障害種別	身体	64	9.4	7.8	0.0	6.3	6.3	6.3	17.2	45.3	9.4
	知的	174	7.5	7.5	1.7	5.2	9.8	4.0	22.4	44.8	7.5
	精神	15	26.7	6.7	0.0	20.0	6.7	6.7	20.0	13.3	6.7
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	21.4	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3	14.3	42.9	7.1
	発達	99	7.1	9.1	0.0	9.1	7.1	5.1	23.2	37.4	10.1

(%)

【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「居場所が学校から離れている」「居場所が自宅から離れている」「交通環境が悪い」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「体調が悪くなったときに介助する人がいない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『40～59 歳』で「体調が悪くなったときに介助する人がいない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「体調が悪くなったときに介助する人がいない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「居場所が学校から離れている」「居場所が自宅から離れている」「体調が悪くなったときに介助する人がいない」の割合が高く、『利用していない』で「あまり楽しめていない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「居場所が自宅から離れている」、『１年未満』、『１年以上、３年未満』で「交通環境が悪い」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「居場所が学校から離れている」「居場所が自宅から離れている」「交通環境が悪い」の割合が高くなっています。

		調査数	居場所が学校から離れている	居場所が自宅から離れている	周囲の人との相性が良くない	あまり楽しめていない	体調が悪くなったときに介助する人がいない	交通環境が悪い	その他	特にない	無回答
全　体		219	7.3	6.4	1.8	5.5	7.8	5.0	20.5	47.5	6.8 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	３～５歳	34	2.9	5.9	0.0	8.8	5.9	8.8	14.7	50.0	8.8
	６～８歳	44	9.1	4.5	2.3	0.0	9.1	4.5	25.0	50.0	4.5
	９～11歳	40	12.5	10.0	2.5	10.0	7.5	2.5	17.5	42.5	5.0
	12～14歳	39	2.6	5.1	2.6	0.0	10.3	5.1	23.1	53.8	2.6
	15～17歳	59	8.5	6.8	1.7	8.5	6.8	5.1	22.0	42.4	10.2
世帯構成	核家族世帯	203	7.9	6.9	2.0	5.4	7.9	5.4	21.2	46.8	5.9
	三世代世帯	16	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	12.5	56.3	18.8
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5	62.5	18.8
	障害者手帳所持者がいる	21	9.5	4.8	0.0	4.8	19.0	4.8	23.8	28.6	9.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	5.9	3.9	0.0	9.8	2.0	5.9	23.5	43.1	11.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6
	その他	6	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7
	あてはまらない	124	5.6	5.6	3.2	3.2	10.5	4.0	21.0	52.4	3.2
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	5.1	5.1	2.6	7.7	0.0	7.7	15.4	53.8	7.7
	40～59歳	151	7.9	7.9	2.0	4.0	10.6	4.0	23.8	41.7	7.3
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	6.1	5.1	3.0	3.0	6.1	6.1	18.2	51.5	8.1
	やや苦しい	93	8.6	7.5	1.1	7.5	6.5	4.3	24.7	44.1	6.5
	不自由が多く、生活が苦しい	21	9.5	9.5	0.0	9.5	19.0	4.8	19.0	33.3	4.8
サービス	利用している	167	9.0	8.4	1.8	4.2	10.2	5.4	22.8	41.9	7.2
	利用していない	51	2.0	0.0	2.0	9.8	0.0	3.9	13.7	64.7	5.9
障害に気づいた時期	１年未満	18	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	61.1	5.6
	１年以上、３年未満	17	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	11.8	5.9	52.9	17.6
	３年以上、５年未満	34	11.8	8.8	0.0	2.9	5.9	5.9	26.5	44.1	5.9
	５年以上、10年未満	70	7.1	2.9	4.3	8.6	8.6	4.3	21.4	41.4	10.0
	10年以上	80	5.0	6.3	1.3	6.3	7.5	2.5	22.5	50.0	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0	40.0	26.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	12.5	8.3	0.0	4.2	4.2	4.2	16.7	33.3	20.8
	視覚障害がある	7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	42.9	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	60.0	0.0

【問 38 はお子さんの意思を確認して回答をお願いします。】

問 38　高等学校卒業後、日中をどのように過ごしたいですか。【○は１つだけ】

「学校（大学や専門学校など）に通いたい」の割合が 14.6%と最も高く、次いで「会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい」の割合が 11.0%、「会社などで働きたい」の割合が 10.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「会社などで働きたい」、難病で「会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい」、精神、難病で「学校（大学や専門学校など）に通いたい」の割合が高くなっています。

		調査数	家でのんびりと暮らしたい	会社などで働きたい	会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい	会社で働けるようになるために、技術を身につける訓練をしたい	障害福祉サービス事業所・施設で日常生活を過ごすための訓練をしたい	病院などで日常生活の訓練や介護を受けたい	障害のある方といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい	学校（大学や専門学校など）に通いたい	その他	わからない	無回答
全　体		219	3.2	10.0	11.0	4.6	6.8	0.0	6.4	14.6	0.9	34.2	8.2
障害種別	身体	64	3.1	1.6	9.4	4.7	9.4	0.0	12.5	29.7	1.6	23.4	4.7
	知的	174	3.4	10.3	13.8	4.6	8.0	0.0	8.0	3.4	1.1	37.4	9.8
	精神	15	6.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	33.3	0.0	20.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	35.7	0.0	28.6	7.1
	発達	99	3.0	10.1	11.1	5.1	7.1	0.0	6.1	11.1	1.0	35.4	10.1

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「学校（大学や専門学校など）に通いたい」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい」「障害のある方といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい」の割合が高く、『三世代世帯』で「会社などで働きたい」「学校（大学や専門学校など）に通いたい」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「障害のある方といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「障害福祉サービス事業所・施設で日常生活を過ごすための訓練をしたい」「障害のある方といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい」、『聴覚障害がある』で「学校（大学や専門学校など）に通いたい」の割合が高くなっています。

		調査数	家でのんびりと暮らしたい	会社などで働きたい	会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい	会社で働けるようになるために、技術を身につける訓練をしたい	障害福祉サービス事業所・施設で日常生活を過ごすための訓練をしたい	病院などで日常生活の訓練や介護を受けたい	障害のある方といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい	学校（大学や専門学校など）に通いたい	その他	わからない	無回答
全　体		219	3.2	10.0	11.0	4.6	6.8	0.0	6.4	14.6	0.9	34.2	8.2
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	8.8	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	52.9	14.7
	６～８歳	44	0.0	4.5	6.8	2.3	11.4	0.0	4.5	4.5	2.3	54.5	9.1
	９～11歳	40	2.5	7.5	15.0	5.0	7.5	0.0	5.0	17.5	2.5	35.0	2.5
	12～14歳	39	0.0	10.3	10.3	5.1	7.7	0.0	7.7	25.6	0.0	23.1	10.3
	15～17歳	59	10.2	16.9	11.9	6.8	6.8	0.0	11.9	16.9	0.0	11.9	6.8
世帯構成	核家族世帯	203	3.0	9.4	11.8	4.9	6.9	0.0	6.9	12.8	1.0	35.5	7.9
	三世代世帯	16	6.3	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	37.5	0.0	18.8	12.5
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	12.5	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	0.0	25.0	12.5
	障害者手帳所持者がいる	21	9.5	9.5	0.0	9.5	19.0	0.0	4.8	23.8	0.0	14.3	9.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	2.0	11.8	9.8	2.0	3.9	0.0	2.0	17.6	0.0	37.3	13.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0
	その他	6	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3
	あてはまらない	124	1.6	7.3	14.5	5.6	7.3	0.0	8.1	12.1	0.8	36.3	6.5
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	12.8	7.7	0.0	2.6	0.0	2.6	12.8	2.6	53.8	5.1
	40～59歳	151	4.0	9.3	12.6	5.3	7.9	0.0	7.9	13.9	0.7	30.5	7.9
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	4.0	11.1	17.2	5.1	3.0	0.0	2.0	14.1	0.0	37.4	6.1
	やや苦しい	93	3.2	9.7	7.5	5.4	7.5	0.0	7.5	16.1	2.2	31.2	9.7
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	4.8	0.0	0.0	14.3	0.0	23.8	9.5	0.0	33.3	14.3
サービス	利用している	167	0.6	10.8	13.2	4.8	9.0	0.0	8.4	6.0	1.2	38.3	7.8
	利用していない	51	11.8	5.9	3.9	3.9	0.0	0.0	0.0	43.1	0.0	21.6	9.8
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	0.0	22.2	5.6	11.1	0.0	5.6	16.7	0.0	27.8	5.6
	１年以上、３年未満	17	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	64.7	11.8
	３年以上、５年未満	34	5.9	5.9	8.8	0.0	2.9	0.0	0.0	8.8	0.0	52.9	14.7
	５年以上、10年未満	70	2.9	7.1	10.0	7.1	10.0	0.0	5.7	11.4	1.4	38.6	5.7
	10年以上	80	2.5	16.3	12.5	5.0	6.3	0.0	8.8	22.5	1.3	17.5	7.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	0.0	13.3	0.0	26.7	0.0	26.7	6.7	0.0	26.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	0.0	4.2	16.7	4.2	4.2	0.0	12.5	20.8	0.0	29.2	8.3
	視覚障害がある	7	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	30.0	10.0

(%)

問 39　お子さんの高等学校卒業後のことで、不安に感じていることはありますか？
【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

「就職・就労の場の確保に関すること」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「生活スキルや自立支援に関すること」の割合が 48.9%、「福祉サービスや制度の利用に関すること」の割合が 31.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体、精神で「お子さんの心身の健康に関すること」の割合が高くなっています。

		調査数	就職・就労の場の確保に関すること	進学・学び続ける選択肢が限られること	生活スキルや自立支援に関すること	福祉サービスや制度の利用に関すること	コミュニティへの参加に関すること	保護者の方の就労（仕事）に関すること	保護者の方の負担増加に関すること	お子さんの心身の健康に関すること	その他	わからない	無回答
全　体		219	63.5	23.7	48.9	31.1	9.1	15.5	27.4	17.4	5.0	9.1	1.4
障害種別	身体	64	39.1	25.0	35.9	26.6	10.9	15.6	29.7	31.3	3.1	14.1	0.0
	知的	174	70.7	23.6	54.6	36.8	9.8	18.4	31.0	13.2	5.2	5.7	1.7
	精神	15	53.3	26.7	26.7	20.0	13.3	20.0	33.3	33.3	6.7	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	42.9	14.3	21.4	21.4	14.3	7.1	35.7	21.4	7.1	28.6	0.0
	発達	99	70.7	23.2	56.6	36.4	10.1	16.2	32.3	15.2	7.1	3.0	1.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「進学・学び続ける選択肢が限られること」、『６～８歳』で「生活スキルや自立支援に関すること」、『３～５歳』で「福祉サービスや制度の利用に関すること」、『15～17 歳』で「保護者の方の負担増加に関すること」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「就職・就労の場の確保に関すること」「進学・学び続ける選択肢が限られること」「生活スキルや自立支援に関すること」「福祉サービスや制度の利用に関すること」「保護者の方の就労（仕事）に関すること」「保護者の方の負担増加に関すること」「お子さんの心身の健康に関すること」の割合が高く、『三世代世帯』で「コミュニティへの参加に関すること」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「保護者の方の就労（仕事）に関すること」「保護者の方の負担増加に関すること」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「生活スキルや自立支援に関すること」「保護者の方の就労（仕事）に関すること」「保護者の方の負担増加に関すること」、『医療的ケアを受けている』で「福祉サービスや制度の利用に関すること」、『聴覚障害がある』で「コミュニティへの参加に関すること」の割合が高くなっています。

		調査数	就職・就労の場の確保に関すること	進学・学び続ける選択肢が限られること	生活スキルや自立支援に関すること	福祉サービスや制度の利用に関すること	コミュニティへの参加に関すること	保護者の方の就労（仕事）に関すること	保護者の方の負担増加に関すること	お子さんの心身の健康に関すること	その他	わからない	無回答
全　体		219	63.5	23.7	48.9	31.1	9.1	15.5	27.4	17.4	5.0	9.1	1.4 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	３～５歳	34	64.7	14.7	58.8	41.2	5.9	17.6	20.6	8.8	0.0	17.6	2.9
	６～８歳	44	68.2	22.7	61.4	31.8	4.5	13.6	36.4	13.6	0.0	9.1	4.5
	９～11歳	40	65.0	25.0	42.5	35.0	10.0	22.5	17.5	17.5	7.5	12.5	0.0
	12～14歳	39	66.7	38.5	48.7	25.6	10.3	12.8	12.8	15.4	7.7	5.1	0.0
	15～17歳	59	57.6	18.6	39.0	27.1	13.6	13.6	42.4	27.1	8.5	1.7	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	65.0	24.1	49.3	33.0	7.9	16.3	28.1	18.2	5.4	7.9	1.0
	三世代世帯	16	43.8	18.8	43.8	6.3	25.0	6.3	18.8	6.3	0.0	25.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	43.8	25.0	50.0	6.3	25.0	6.3	25.0	6.3	0.0	25.0	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	61.9	19.0	28.6	28.6	9.5	19.0	33.3	23.8	4.8	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	66.7	31.4	45.1	35.3	11.8	21.6	23.5	11.8	2.0	3.9	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	0.0	57.1	28.6	14.3	28.6	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0
	その他	6	83.3	50.0	33.3	50.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	62.9	21.8	51.6	30.6	6.5	12.9	26.6	18.5	6.5	10.5	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	64.1	25.6	53.8	35.9	10.3	17.9	20.5	12.8	2.6	12.8	2.6
	40～59歳	151	66.2	21.9	49.0	33.1	9.9	17.2	29.1	20.5	6.6	4.6	1.3
	60歳代	2	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	70.7	29.3	43.4	28.3	11.1	15.2	27.3	14.1	2.0	8.1	1.0
	やや苦しい	93	55.9	22.6	53.8	32.3	9.7	14.0	25.8	22.6	7.5	8.6	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	66.7	9.5	52.4	38.1	0.0	28.6	38.1	4.8	4.8	14.3	0.0
サービス	利用している	167	69.5	19.8	52.1	38.3	9.0	17.4	28.7	14.4	5.4	8.4	1.8
	利用していない	51	45.1	37.3	37.3	7.8	7.8	9.8	23.5	25.5	3.9	11.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	55.6	27.8	44.4	27.8	16.7	11.1	22.2	16.7	0.0	16.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	64.7	17.6	52.9	29.4	0.0	0.0	11.8	11.8	5.9	29.4	5.9
	３年以上、５年未満	34	67.6	32.4	70.6	32.4	5.9	17.6	20.6	8.8	2.9	8.8	0.0
	５年以上、10年未満	70	68.6	24.3	45.7	40.0	5.7	18.6	35.7	12.9	0.0	7.1	2.9
	10年以上	80	58.8	20.0	42.5	23.8	13.8	16.3	27.5	26.3	11.3	5.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	46.7	13.3	60.0	33.3	13.3	33.3	40.0	26.7	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	45.8	29.2	33.3	45.8	8.3	12.5	25.0	25.0	4.2	16.7	0.0
	視覚障害がある	7	57.1	71.4	42.9	28.6	0.0	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	30.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	30.0	20.0	0.0	40.0	0.0

問 40　お子さんの親なき後や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。
【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

「日常的な介助や家事の援助」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「住む場所」の割合が 45.7%、「お金の管理や支援」の割合が 44.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、知的で「住む場所」、発達で「日常的な意思決定や支援」「お金の管理や支援」、精神で「相談できる人や機関」「生活に必要な収入」「緊急時の支援」、難病で「医療機関の受診」の割合が高くなっています。

		調査数	住む場所	日常的な介助や家事の援助	日常的な意思決定や支援	相談できる人や機関	医療機関の受診	生活に必要な収入	お金の管理や支援	日中を過ごす場	休みの日の過ごし方	緊急時の支援	その他	特にない	無回答
全　体		219	45.7	47.0	31.1	26.0	11.4	36.1	44.3	5.9	3.2	16.0	3.7	2.3	2.3
障害種別	身体	64	34.4	45.3	25.0	21.9	18.8	31.3	26.6	4.7	6.3	21.9	4.7	6.3	1.6
	知的	174	55.7	51.7	37.9	23.0	11.5	31.0	48.3	7.5	4.0	10.3	4.0	0.0	2.3
	精神	15	33.3	33.3	26.7	46.7	6.7	46.7	33.3	0.0	0.0	33.3	6.7	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	35.7	28.6	21.4	35.7	21.4	21.4	28.6	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1
	発達	99	47.5	54.5	41.4	22.2	8.1	33.3	55.6	9.1	1.0	13.1	4.0	0.0	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『15～17 歳』で「医療機関の受診」、『３～５歳』で「生活に必要な収入」、『９～11 歳』で「お金の管理や支援」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「住む場所」「日常的な介助や家事の援助」「日常的な意思決定や支援」「お金の管理や支援」「日中を過ごす場」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「相談できる人や機関」「緊急時の支援」、『障害者手帳所持者がいる』、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「生活に必要な収入」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「生活に必要な収入」「日中を過ごす場」「休みの日の過ごし方」の割合が高く、『40～59 歳』で「住む場所」「日常的な介助や家事の援助」「医療機関の受診」「お金の管理や支援」「緊急時の支援」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「日常的な介助や家事の援助」「日中を過ごす場」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「住む場所」「日常的な介助や家事の援助」「日常的な意思決定や支援」「日中を過ごす場」の割合が高く、『利用していない』で「相談できる人や機関」「生活に必要な収入」「お金の管理や支援」「緊急時の支援」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「住む場所」「日常的な介助や家事の援助」「医療機関の受診」、『聴覚障害がある』で「相談できる人や機関」の割合が高くなっています。

		調査数	住む場所	日常的な介助や家事の援助	日常的な意思決定や支援	相談できる人や機関	医療機関の受診	生活に必要な収入	お金の管理や支援	日中を過ごす場	休みの日の過ごし方	緊急時の支援	その他	特にない	無回答
全　体		219	45.7	47.0	31.1	26.0	11.4	36.1	44.3	5.9	3.2	16.0	3.7	2.3	2.3
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	50.0	47.1	35.3	23.5	11.8	50.0	35.3	2.9	0.0	11.8	2.9	2.9	2.9
	６～８歳	44	47.7	52.3	38.6	20.5	4.5	27.3	47.7	11.4	6.8	6.8	4.5	0.0	4.5
	９～11歳	40	40.0	52.5	27.5	20.0	7.5	35.0	60.0	5.0	0.0	12.5	7.5	0.0	0.0
	12～14歳	39	46.2	53.8	28.2	30.8	7.7	30.8	35.9	7.7	0.0	20.5	5.1	5.1	0.0
	15～17歳	59	45.8	35.6	28.8	32.2	22.0	37.3	44.1	3.4	6.8	25.4	0.0	1.7	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	47.3	48.3	32.0	26.1	11.3	36.0	45.8	6.4	3.4	15.8	2.5	2.0	1.5
	三世代世帯	16	25.0	31.3	18.8	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0	18.8	18.8	6.3	12.5
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	18.8	25.0	25.0	18.8	18.8	43.8	37.5	0.0	0.0	18.8	18.8	6.3	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	42.9	47.6	19.0	38.1	4.8	47.6	33.3	4.8	0.0	28.6	0.0	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	41.2	43.1	25.5	27.5	5.9	47.1	37.3	11.8	5.9	17.6	5.9	2.0	3.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	42.9	42.9	28.6	14.3	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
	その他	6	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	50.0	50.0	35.5	25.8	12.9	27.4	47.6	4.8	2.4	13.7	2.4	1.6	2.4
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	35.9	43.6	28.2	25.6	5.1	48.7	38.5	12.8	7.7	10.3	2.6	2.6	5.1
	40～59歳	151	50.3	51.0	31.1	25.2	12.6	33.1	44.4	5.3	2.6	19.9	4.6	1.3	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	50.0	66.7	16.7	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	43.4	46.5	29.3	22.2	14.1	33.3	48.5	3.0	4.0	17.2	4.0	3.0	2.0
	やや苦しい	93	46.2	45.2	29.0	30.1	10.8	41.9	39.8	5.4	3.2	15.1	3.2	2.2	3.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	52.4	57.1	38.1	28.6	4.8	28.6	42.9	19.0	0.0	9.5	4.8	0.0	0.0
サービス	利用している	167	54.5	52.7	35.9	22.2	12.0	28.7	42.5	7.8	3.6	13.2	4.2	1.2	3.0
	利用していない	51	17.6	29.4	15.7	37.3	9.8	60.8	49.0	0.0	2.0	23.5	2.0	5.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	50.0	44.4	22.2	27.8	11.1	33.3	27.8	0.0	0.0	27.8	0.0	11.1	0.0
	１年以上、３年未満	17	70.6	58.8	41.2	23.5	11.8	41.2	23.5	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	47.1	41.2	41.2	29.4	2.9	64.7	41.2	8.8	0.0	5.9	0.0	0.0	2.9
	５年以上、10年未満	70	40.0	52.9	31.4	21.4	8.6	28.6	54.3	7.1	4.3	12.9	7.1	0.0	2.9
	10年以上	80	43.8	42.5	26.3	28.8	17.5	30.0	45.0	5.0	5.0	21.3	3.8	3.8	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	66.7	66.7	33.3	13.3	26.7	0.0	26.7	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	45.8	41.7	37.5	4.2	16.7	25.0	45.8	4.2	4.2	20.8	8.3	0.0	4.2
	視覚障害がある	7	28.6	71.4	28.6	14.3	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	30.0	20.0	20.0	50.0	10.0	30.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0

(%)

問 41　将来、お子さんが自分らしく働くために必要だと思うことをお答えください。
【○はいくつでも】

「障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「障害のある方を雇用したい事業者の求人情報」の割合が 53.0%、「障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口」の割合が 52.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援」「就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度」「就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）」「障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」、発達で「就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援」の割合が高くなっています。

		調査数	障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口	障害のある方を雇用したい事業者の求人情報	就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	その他	わからない	無回答
全　体		219	52.1	53.0	26.0	40.6	41.1	30.1	64.4	27.4	40.2	49.3	6.4	9.6	1.8 (%)
障害種別	身体	64	40.6	40.6	15.6	29.7	26.6	21.9	54.7	32.8	45.3	32.8	6.3	15.6	3.1
	知的	174	55.2	56.3	25.9	42.5	44.3	29.9	63.2	29.3	40.2	54.6	6.9	9.2	2.3
	精神	15	40.0	40.0	46.7	53.3	53.3	33.3	80.0	20.0	40.0	40.0	20.0	6.7	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	50.0	42.9	21.4	42.9	28.6	21.4	64.3	28.6	42.9	42.9	7.1	14.3	0.0
	発達	99	58.6	58.6	27.3	50.5	48.5	30.3	75.8	29.3	42.4	61.6	8.1	5.1	0.0

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「障害のある方を雇用したい事業者の求人情報」「障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」、『３～５歳』で「就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）」「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で「就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援」「就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度」「就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援」、『やや苦しい』で「就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）」「障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」「就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援」「障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』、『医療的ケアを受けている』で「障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化」の割合が高くなっています。

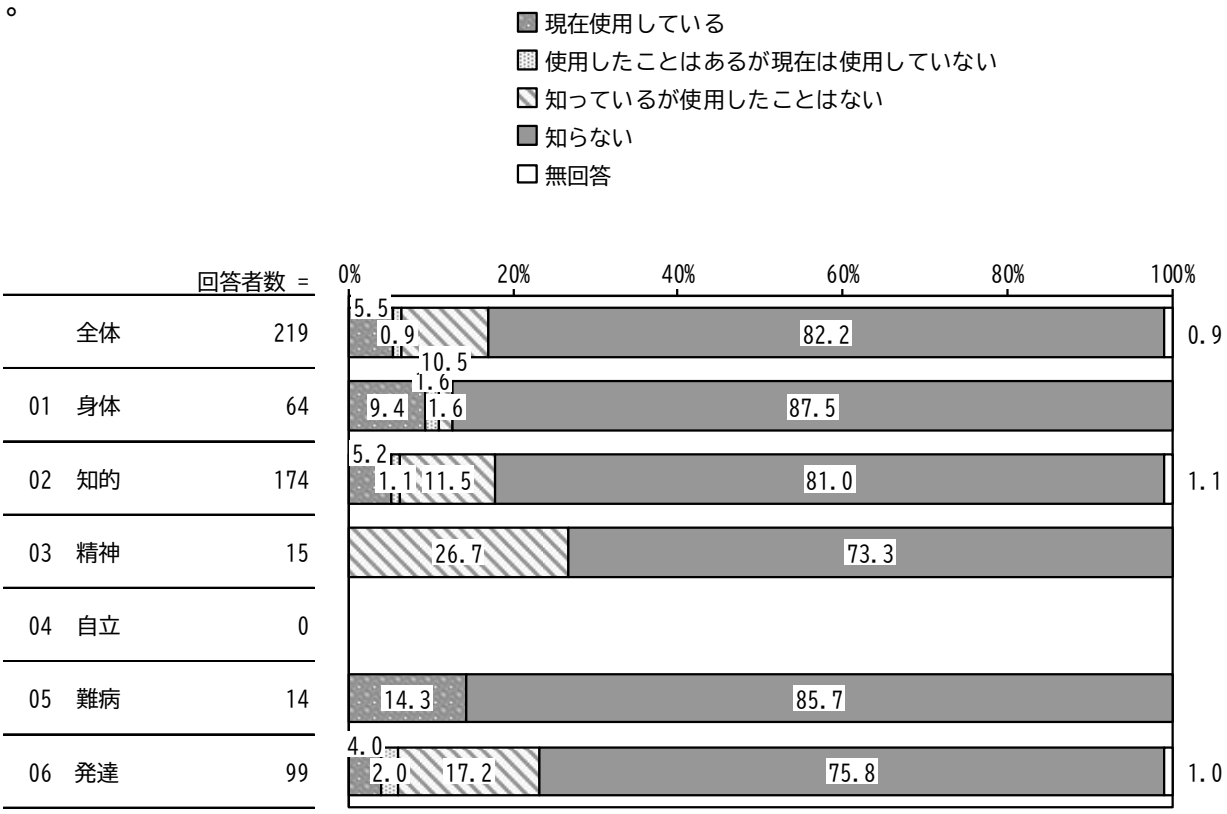
		調査数	障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口	障害のある方を雇用したい事業者の求人情報	就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	その他	わからない	無回答
全　体		219	52.1	53.0	26.0	40.6	41.1	30.1	64.4	27.4	40.2	49.3	6.4	9.6	1.8 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	52.9	61.8	29.4	44.1	55.9	32.4	70.6	32.4	52.9	52.9	2.9	11.8	0.0
	６～８歳	44	65.9	52.3	13.6	34.1	36.4	25.0	50.0	22.7	25.0	50.0	4.5	15.9	4.5
	９～11歳	40	57.5	50.0	25.0	45.0	40.0	40.0	65.0	35.0	42.5	55.0	2.5	2.5	0.0
	12～14歳	39	46.2	64.1	33.3	48.7	46.2	30.8	76.9	33.3	46.2	41.0	7.7	2.6	2.6
	15～17歳	59	40.7	42.4	28.8	35.6	33.9	27.1	62.7	18.6	39.0	47.5	11.9	11.9	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	52.2	52.7	24.6	39.9	40.4	30.0	64.5	27.6	39.9	49.3	5.4	9.9	1.0
	三世代世帯	16	50.0	56.3	43.8	50.0	50.0	31.3	62.5	25.0	43.8	50.0	18.8	6.3	12.5
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	56.3	56.3	31.3	50.0	50.0	37.5	62.5	18.8	43.8	50.0	18.8	6.3	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	33.3	33.3	28.6	33.3	38.1	28.6	57.1	23.8	28.6	38.1	14.3	14.3	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	54.9	56.9	33.3	47.1	49.0	33.3	76.5	23.5	43.1	52.9	5.9	3.9	3.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	85.7	42.9	71.4	71.4	28.6	85.7	71.4	57.1	85.7	14.3	0.0	0.0
	その他	6	50.0	83.3	16.7	66.7	50.0	16.7	83.3	33.3	66.7	50.0	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	52.4	50.0	21.8	35.5	34.7	27.4	58.9	26.6	36.3	47.6	4.8	10.5	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	56.4	61.5	30.8	43.6	43.6	30.8	56.4	23.1	33.3	56.4	5.1	7.7	2.6
	40～59歳	151	51.0	55.0	25.2	41.1	44.4	30.5	68.9	31.1	42.4	51.7	6.6	8.6	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	16.7	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7
	まあまあゆとりがある	99	52.5	51.5	23.2	40.4	38.4	28.3	60.6	19.2	33.3	43.4	5.1	7.1	1.0
	やや苦しい	93	52.7	54.8	28.0	41.9	46.2	33.3	71.0	35.5	48.4	59.1	8.6	6.5	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	52.4	57.1	33.3	42.9	38.1	33.3	57.1	33.3	38.1	38.1	4.8	28.6	0.0
サービス	利用している	167	53.9	53.3	24.0	43.7	42.5	28.1	60.5	29.3	37.7	51.5	6.6	12.0	2.4
	利用していない	51	47.1	51.0	33.3	31.4	37.3	37.3	76.5	21.6	47.1	43.1	5.9	2.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	44.4	27.8	16.7	38.9	27.8	22.2	44.4	11.1	16.7	22.2	16.7	16.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	82.4	64.7	47.1	52.9	41.2	35.3	88.2	52.9	52.9	58.8	5.9	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	52.9	58.8	17.6	47.1	58.8	32.4	58.8	26.5	44.1	52.9	8.8	8.8	0.0
	５年以上、10年未満	70	58.6	52.9	25.7	40.0	38.6	32.9	64.3	27.1	40.0	52.9	2.9	10.0	2.9
	10年以上	80	41.3	53.8	27.5	36.3	38.8	27.5	66.3	26.3	41.3	48.8	6.3	8.8	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	26.7	6.7	13.3	20.0	13.3	40.0	46.7	40.0	20.0	6.7	26.7	13.3
	医療的ケアを受けている	24	33.3	54.2	0.0	37.5	33.3	8.3	62.5	45.8	45.8	37.5	8.3	12.5	0.0
	視覚障害がある	7	57.1	57.1	14.3	42.9	42.9	28.6	71.4	28.6	57.1	57.1	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	50.0	40.0	20.0	50.0	30.0	20.0	60.0	10.0	30.0	40.0	10.0	20.0	0.0

問 42　障害のあるお子さんの成長等を記録する「サポートファイル」を知っていますか。
【○は１つだけ】

「知らない」の割合が 82.2%と最も高く、次いで「知っているが使用したことはない」の割合が 10.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「知っているが使用したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で「使用したことはあるが現在は使用していない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「使用したことはあるが現在は使用していない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「現在使用している」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っているが使用したことはない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが使用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「使用したことはあるが現在は使用していない」の割合が高くなっています。

		調査数	現在使用している	使用したことはあるが現在は使用していない	知っているが使用したことはない	知らない	無回答
全　体		219	5.5	0.9	10.5	82.2	0.9
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	2.9	0.0	11.8	85.3	0.0
	６～８歳	44	6.8	0.0	11.4	79.5	2.3
	９～11歳	40	7.5	2.5	5.0	82.5	2.5
	12～14歳	39	7.7	2.6	15.4	74.4	0.0
	15～17歳	59	3.4	0.0	10.2	86.4	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	5.4	0.5	10.8	82.3	1.0
	三世代世帯	16	6.3	6.3	6.3	81.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	6.3	6.3	6.3	81.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	9.5	0.0	14.3	76.2	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	5.9	0.0	7.8	84.3	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0
	その他	6	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0
	あてはまらない	124	4.0	0.8	10.5	83.9	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	10.3	0.0	7.7	82.1	0.0
	40～59歳	151	5.3	1.3	11.3	80.8	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	7.1	2.0	6.1	83.8	1.0
	やや苦しい	93	3.2	0.0	12.9	82.8	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	0.0	23.8	71.4	0.0
サービス	利用している	167	5.4	1.2	12.6	79.6	1.2
	利用していない	51	5.9	0.0	3.9	90.2	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	0.0	5.6	88.9	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	0.0	5.9	94.1	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	0.0	14.7	85.3	0.0
	５年以上、10年未満	70	8.6	1.4	10.0	77.1	2.9
	10年以上	80	6.3	1.3	11.3	81.3	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	6.7	0.0	86.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	4.2	0.0	8.3	87.5	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	0.0	0.0	71.4	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(%)

問 43　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

自由意見	55　件
個別情報の具体的記録（既往歴、服薬など）	22　件
関係者、関係機関等で情報共有ができるもの	18　件
オンライン・デジタル化による記録ツール	9　件
障害年金対応・診断書支援	6　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【個別情報の具体的記録（既往歴、服薬など）】

●サポートファイルを記入することで、子どもの将来にとってプラスであることが分れば今すぐにでも使用したい。

●服用している薬に関する情報。

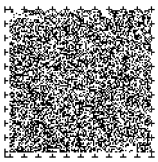
●幼児期からの支援計画等は全てファイルしている。新しい環境に変わる時に示せるものがあるとよい。

【関係者、関係機関等で情報共有ができるもの】

●支援学校→卒後の進路先へ情報共有ができる。障害年金申請に役立つ。

●医療機関同士の連携が取りやすくなるような記録。

●私は子どもが１才半の頃から乳児健診、保健師さん、ひいらぎなどに相談をしてきたが１度も情報の共有がされていると感じた事がない。毎回同じ話をして時間を使っても「〇才まで様子を見ましょう」と言うばかりで何も解決しなかった事も少なくない。本当に情報が共有されて、都度相談がスムーズに進むならどんなものでも使ってみたい。



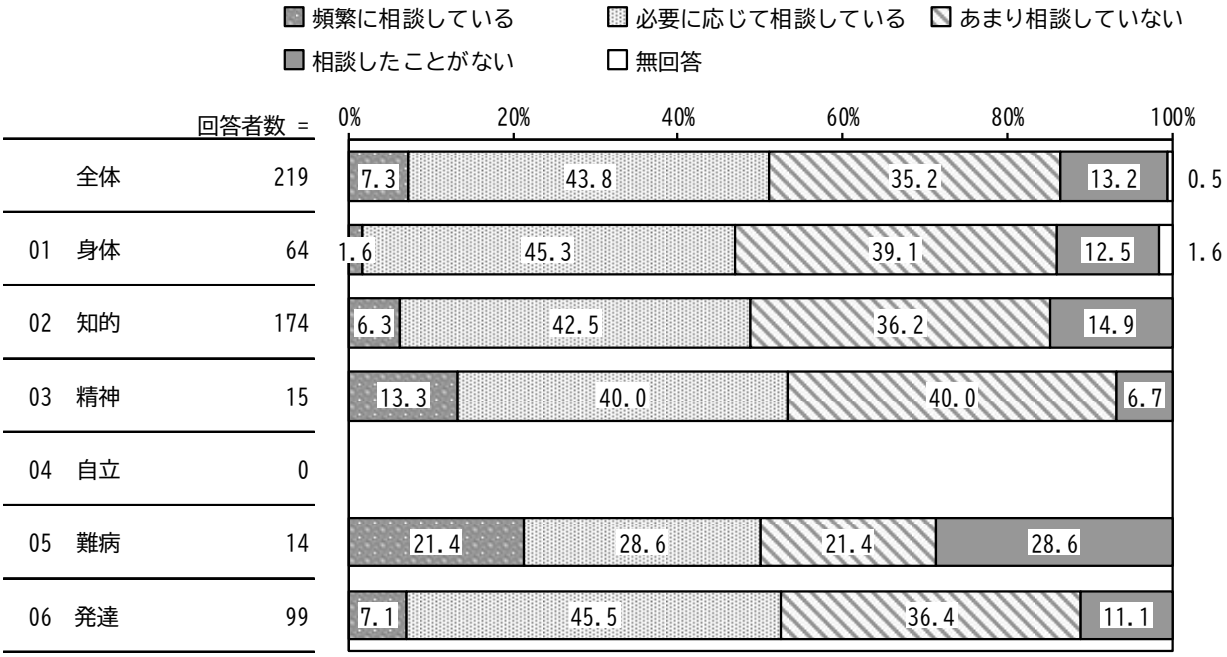
5　相談支援や情報入手について

問 44　お子さんの成長や将来について、親族や親戚と相談していますか。【○は１つだけ】

「必要に応じて相談している」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「あまり相談していない」の割合が 35.2%、「相談したことがない」の割合が 13.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「頻繁に相談している」「相談したことがない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「必要に応じて相談している」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「あまり相談していない」「相談したことがない」の割合が高く、『三世代世帯』で「頻繁に相談している」「必要に応じて相談している」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「頻繁に相談している」「必要に応じて相談している」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「頻繁に相談している」の割合が高く、『40～59 歳』で「相談したことがない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「必要に応じて相談している」の割合が低くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「必要に応じて相談している」、『５年以上、10 年未満』で「あまり相談していない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「あまり相談していない」の割合が高くなっています。

		調査数	頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない	無回答
全　体		219	7.3	43.8	35.2	13.2	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	8.8	47.1	38.2	5.9	0.0
	６～８歳	44	9.1	36.4	40.9	13.6	0.0
	９～11歳	40	7.5	37.5	37.5	17.5	0.0
	12～14歳	39	7.7	64.1	25.6	2.6	0.0
	15～17歳	59	5.1	35.6	35.6	22.0	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	6.9	42.4	36.5	13.8	0.5
	三世代世帯	16	12.5	62.5	18.8	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	12.5	56.3	18.8	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	9.5	42.9	42.9	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	9.8	49.0	37.3	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0
	その他	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0
	あてはまらない	124	6.5	39.5	33.9	19.4	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	12.8	46.2	38.5	2.6	0.0
	40～59歳	151	6.0	43.7	36.4	13.9	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	6.1	50.5	32.3	10.1	1.0
	やや苦しい	93	7.5	40.9	35.5	16.1	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	9.5	33.3	42.9	14.3	0.0
サービス	利用している	167	7.8	42.5	35.3	14.4	0.0
	利用していない	51	5.9	47.1	35.3	9.8	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	72.2	5.6	16.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	47.1	41.2	11.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	11.8	50.0	26.5	11.8	0.0
	５年以上、10年未満	70	7.1	35.7	47.1	10.0	0.0
	10年以上	80	7.5	41.3	33.8	16.3	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	33.3	53.3	13.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	12.5	45.8	33.3	8.3	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	50.0	30.0	20.0	0.0

(%)

問 45　親族や親戚以外にお子さんの悩みを相談している人や場所をお答えください。
【○はいくつでも】

「職場や学校」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「病院や診療所」の割合が 44.7%、「障害福祉サービス事業所・施設の職員」の割合が 42.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「病院や診療所」、難病で「友人や知人」の割合が高くなっています。

		調査数	市役所の相談窓口	市役所以外の障害福祉の相談窓口	障害福祉サービス事業所・施設の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	特にいない	無回答
全　体		219	9.1	5.0	42.9	46.6	44.7	1.8	12.3	0.5	0.0	5.5	34.2	7.3	10.0	0.9
障害種別	身体	64	10.9	6.3	37.5	31.3	34.4	3.1	9.4	1.6	0.0	3.1	35.9	6.3	15.6	1.6
	知的	174	8.6	5.7	49.4	51.7	42.5	1.7	13.8	0.6	0.0	6.9	35.6	6.9	8.0	1.1
	精神	15	13.3	6.7	33.3	40.0	66.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	13.3	6.7	6.7
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	7.1	14.3	35.7	35.7	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	50.0	21.4	14.3	0.0
	発達	99	11.1	8.1	50.5	49.5	56.6	3.0	15.2	0.0	0.0	4.0	41.4	8.1	4.0	1.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』、『９～11 歳』で「障害福祉サービス事業所・施設の職員」、『６～８歳』で「職場や学校」、『３～５歳』で「幼稚園や保育所の先生」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「市役所以外の障害福祉の相談窓口」「障害福祉サービス事業所・施設の職員」「幼稚園や保育所の先生」の割合が高く、『三世代世帯』で「病院や診療所」「障害者団体」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「児童相談所」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「障害福祉サービス事業所・施設の職員」「病院や診療所」「幼稚園や保育所の先生」「障害者団体」「友人や知人」の割合が高く、『40～59 歳』で「職場や学校」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「市役所以外の障害福祉の相談窓口」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「市役所以外の障害福祉の相談窓口」「障害福祉サービス事業所・施設の職員」「職場や学校」「幼稚園や保育所の先生」「友人や知人」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「市役所の相談窓口」「市役所以外の障害福祉の相談窓口」「障害福祉サービス事業所・施設の職員」「友人や知人」の割合が高くなっています。

		調査数	市役所の相談窓口	市役所以外の障害福祉の相談窓口	障害福祉サービス事業所・施設の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	特にいない	無回答
全　体		219	9.1	5.0	42.9	46.6	44.7	1.8	12.3	0.5	0.0	5.5	34.2	7.3	10.0	0.9
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	11.8	2.9	58.8	14.7	52.9	0.0	55.9	0.0	0.0	5.9	29.4	14.7	0.0	0.0
	６～８歳	44	15.9	9.1	52.3	70.5	50.0	2.3	13.6	2.3	0.0	6.8	40.9	2.3	4.5	0.0
	９～11歳	40	5.0	7.5	57.5	57.5	40.0	5.0	0.0	0.0	0.0	7.5	40.0	10.0	10.0	0.0
	12～14歳	39	7.7	0.0	30.8	43.6	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	30.8	7.7	17.9	2.6
	15～17歳	59	6.8	3.4	25.4	44.1	37.3	1.7	1.7	0.0	0.0	5.1	30.5	5.1	15.3	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	8.9	5.4	44.8	46.8	44.3	1.5	12.8	0.5	0.0	4.9	34.0	7.4	10.3	1.0
	三世代世帯	16	12.5	0.0	18.8	43.8	50.0	6.3	6.3	0.0	0.0	12.5	37.5	6.3	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	6.3	0.0	12.5	50.0	50.0	18.8	12.5	0.0	0.0	12.5	43.8	0.0	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	14.3	0.0	33.3	28.6	42.9	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	19.0	9.5	19.0	9.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	7.8	3.9	45.1	37.3	47.1	2.0	21.6	2.0	0.0	7.8	25.5	9.8	13.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	0.0	14.3	57.1	85.7	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0
	その他	6	16.7	0.0	16.7	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	8.9	7.3	49.2	50.0	41.9	0.0	8.9	0.0	0.0	4.0	36.3	7.3	8.1	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	7.7	5.1	53.8	30.8	53.8	2.6	28.2	0.0	0.0	10.3	43.6	2.6	7.7	0.0
	40～59歳	151	8.6	6.0	43.7	52.3	45.7	0.7	9.9	0.7	0.0	5.3	35.1	8.6	7.9	1.3
	60歳代	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	16.7	33.3	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7
	まあまあゆとりがある	99	5.1	1.0	45.5	44.4	46.5	1.0	8.1	0.0	0.0	3.0	39.4	6.1	11.1	0.0
	やや苦しい	93	11.8	5.4	40.9	49.5	40.9	2.2	15.1	0.0	0.0	7.5	33.3	5.4	8.6	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	14.3	19.0	42.9	47.6	52.4	4.8	19.0	4.8	0.0	9.5	14.3	23.8	9.5	0.0
サービス	利用している	167	9.0	6.6	53.9	48.5	45.5	1.8	15.0	0.6	0.0	6.6	35.9	7.8	6.6	0.6
	利用していない	51	9.8	0.0	7.8	39.2	43.1	2.0	3.9	0.0	0.0	2.0	29.4	5.9	21.6	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	22.2	0.0	38.9	50.0	33.3	0.0	27.8	0.0	0.0	0.0	38.9	5.6	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	5.9	5.9	41.2	17.6	47.1	0.0	29.4	0.0	0.0	17.6	29.4	29.4	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	17.6	2.9	47.1	23.5	55.9	2.9	32.4	0.0	0.0	5.9	44.1	8.8	2.9	2.9
	５年以上、10年未満	70	7.1	8.6	55.7	65.7	47.1	2.9	7.1	1.4	0.0	4.3	30.0	4.3	8.6	0.0
	10年以上	80	5.0	3.8	31.3	45.0	40.0	1.3	1.3	0.0	0.0	5.0	33.8	5.0	18.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	20.0	20.0	66.7	40.0	33.3	0.0	13.3	6.7	0.0	6.7	46.7	0.0	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	8.3	0.0	54.2	33.3	29.2	4.2	12.5	0.0	0.0	4.2	37.5	4.2	12.5	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	0.0	14.3	42.9	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	10.0	30.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	30.0	0.0

(%)

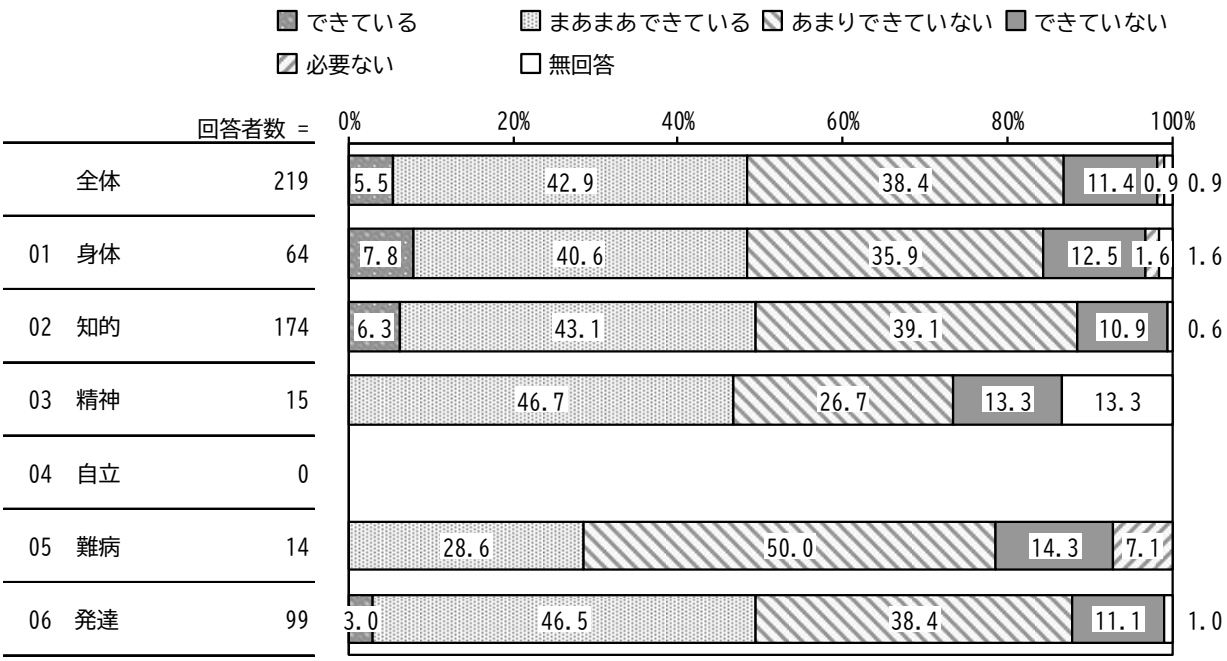
問 46　お子さんの生活に必要な情報を入手できていますか。【○はそれぞれに１つずつ】

①　福祉サービス

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 48.4%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 49.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“できていない”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、『０～２歳』から『９～11 歳』まで年齢が上がるほど“できていない”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“できていない”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“できていない”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、18～39 歳に比べ、『40～59 歳』で“できている”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“できている”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“できている”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で“できている”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』、『医療的ケアを受けている』で“できている”の割合が高くなっています。

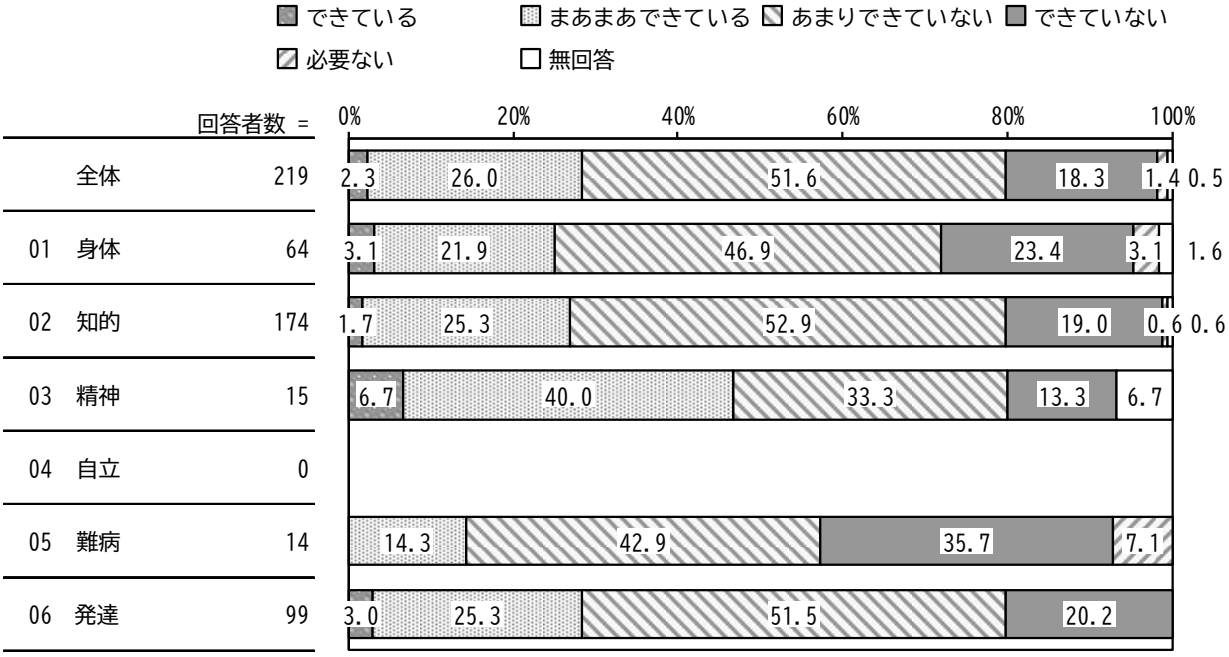
		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		219	5.5	42.9	38.4	11.4	0.9	0.9 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	5.9	55.9	32.4	5.9	0.0	0.0
	６～８歳	44	4.5	50.0	36.4	9.1	0.0	0.0
	９～11歳	40	7.5	40.0	45.0	7.5	0.0	0.0
	12～14歳	39	2.6	48.7	38.5	7.7	2.6	0.0
	15～17歳	59	6.8	27.1	39.0	22.0	1.7	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	4.4	43.3	39.4	11.8	0.5	0.5
	三世代世帯	16	18.8	37.5	25.0	6.3	6.3	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	18.8	31.3	31.3	6.3	6.3	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	47.6	28.6	23.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	5.9	47.1	33.3	13.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
	その他	6	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	4.8	41.9	41.9	9.7	0.8	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	43.6	41.0	12.8	0.0	0.0
	40～59歳	151	5.3	46.4	37.1	10.6	0.0	0.7
	60歳代	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	6.1	47.5	38.4	6.1	2.0	0.0
	やや苦しい	93	5.4	39.8	38.7	15.1	0.0	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	33.3	33.3	23.8	0.0	4.8
サービス	利用している	167	6.6	45.5	38.9	8.4	0.0	0.6
	利用していない	51	2.0	35.3	35.3	21.6	3.9	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	58.8	41.2	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	41.2	41.2	11.8	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	5.7	44.3	37.1	12.9	0.0	0.0
	10年以上	80	7.5	38.8	36.3	12.5	2.5	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	53.3	20.0	13.3	0.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	16.7	45.8	29.2	8.3	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

② 地域情報

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 28.3%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 69.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“できている”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「まあまあできている」、『６～８歳』で「あまりできていない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“できていない”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で“できている”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で“できている”、『やや苦しい』で“できていない”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「あまりできていない」の割合が高く、『利用していない』で「できていない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「まあまあできている」、『５年以上、10 年未満』で“できていない”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“できていない”の割合が高くなっています。

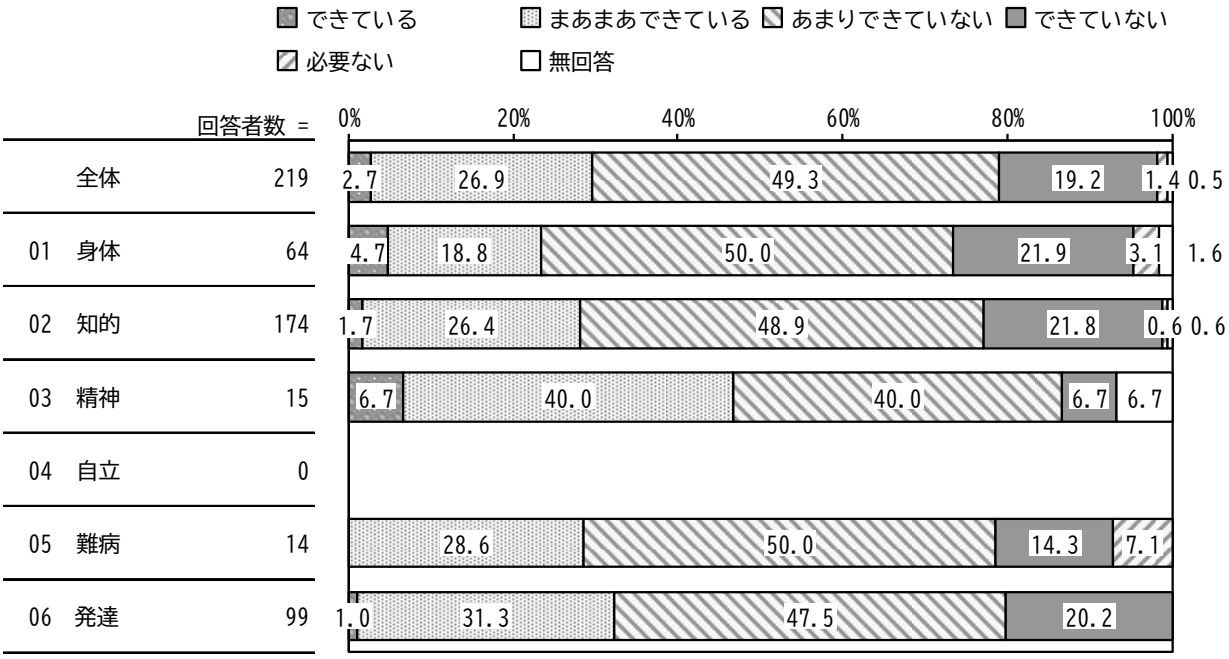
		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		219	2.3	26.0	51.6	18.3	1.4	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	41.2	47.1	11.8	0.0	0.0
	６～８歳	44	2.3	22.7	63.6	11.4	0.0	0.0
	９～11歳	40	5.0	20.0	60.0	15.0	0.0	0.0
	12～14歳	39	2.6	35.9	41.0	17.9	2.6	0.0
	15～17歳	59	1.7	16.9	45.8	30.5	3.4	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	2.0	26.1	52.2	18.7	0.5	0.5
	三世代世帯	16	6.3	25.0	43.8	12.5	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	6.3	18.8	56.3	12.5	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	0.0	31.4	51.0	17.6	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
	その他	6	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	あてはまらない	124	3.2	22.6	56.5	15.3	1.6	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	30.8	51.3	17.9	0.0	0.0
	40～59歳	151	2.0	25.2	53.6	18.5	0.0	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	1.0	33.3	49.5	14.1	2.0	0.0
	やや苦しい	93	3.2	20.4	54.8	20.4	1.1	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	23.8	38.1	28.6	0.0	4.8
サービス	利用している	167	2.4	26.9	53.9	15.6	0.6	0.6
	利用していない	51	2.0	23.5	43.1	27.5	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	27.8	55.6	16.7	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	41.2	52.9	5.9	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	32.4	50.0	17.6	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	2.9	17.1	62.9	17.1	0.0	0.0
	10年以上	80	3.8	27.5	41.3	22.5	3.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	33.3	26.7	26.7	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	8.3	20.8	45.8	25.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	20.0	70.0	10.0	0.0	0.0

③ 社会情勢

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 29.6%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 68.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“できている”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、『０～２歳』から『12～14 歳』まで年齢が上がるほど“できている”の割合が高く、『12～14 歳』から『０～２歳』まで年齢が下がるほど「あまりできていない」の割合が高い傾向にあります。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“できていない”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“できていない”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると全体に比べ、『18～39 歳』で“できていない”の割合が高く、『40～59 歳』で“できている”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“できている”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“できていない”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“できていない”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で“できている”、『聴覚障害がある』で“できていない”の割合が高くなっています。

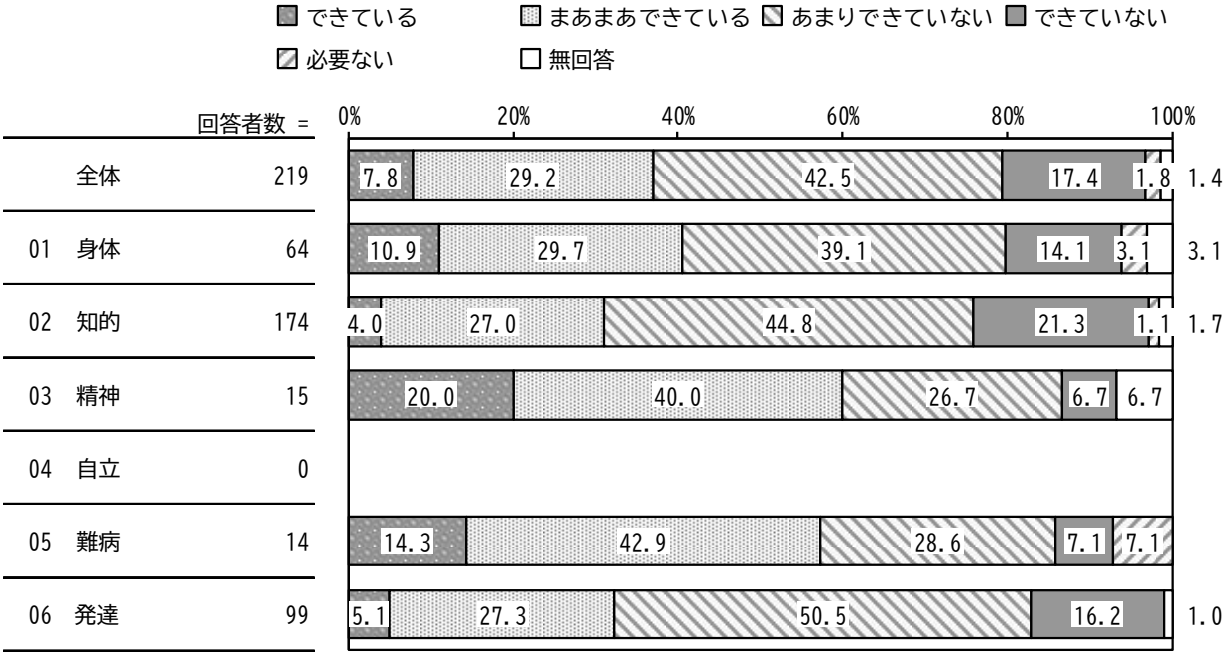
		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		219	2.7	26.9	49.3	19.2	1.4	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	23.5	61.8	14.7	0.0	0.0
	６～８歳	44	0.0	31.8	47.7	20.5	0.0	0.0
	９～11歳	40	5.0	32.5	50.0	12.5	0.0	0.0
	12～14歳	39	10.3	30.8	41.0	15.4	2.6	0.0
	15～17歳	59	0.0	20.3	45.8	28.8	3.4	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	2.5	26.6	51.2	18.7	0.5	0.5
	三世代世帯	16	6.3	31.3	25.0	25.0	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	31.3	37.5	25.0	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	28.6	52.4	19.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	3.9	23.5	58.8	13.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
	その他	6	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	3.2	27.4	47.6	19.4	1.6	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	17.9	59.0	23.1	0.0	0.0
	40～59歳	151	2.6	30.5	48.3	17.9	0.0	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	2.0	31.3	48.5	16.2	2.0	0.0
	やや苦しい	93	3.2	24.7	50.5	20.4	1.1	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	19.0	42.9	28.6	0.0	4.8
サービス	利用している	167	2.4	25.7	51.5	19.2	0.6	0.6
	利用していない	51	3.9	31.4	41.2	19.6	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	11.1	61.1	27.8	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	17.6	70.6	11.8	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	29.4	44.1	26.5	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	2.9	31.4	48.6	17.1	0.0	0.0
	10年以上	80	5.0	27.5	45.0	17.5	3.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	6.7	46.7	26.7	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	8.3	33.3	37.5	20.8	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0

④　趣味や楽しみ

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 37.0%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 59.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神、難病で“できている”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「まあまあできている」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“できていない”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“できている”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「あまりできていない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で“できている”、『不自由が多く、生活が苦しい』で“できていない”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“できていない”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で“できていない”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“できている”の割合が高くなっています。

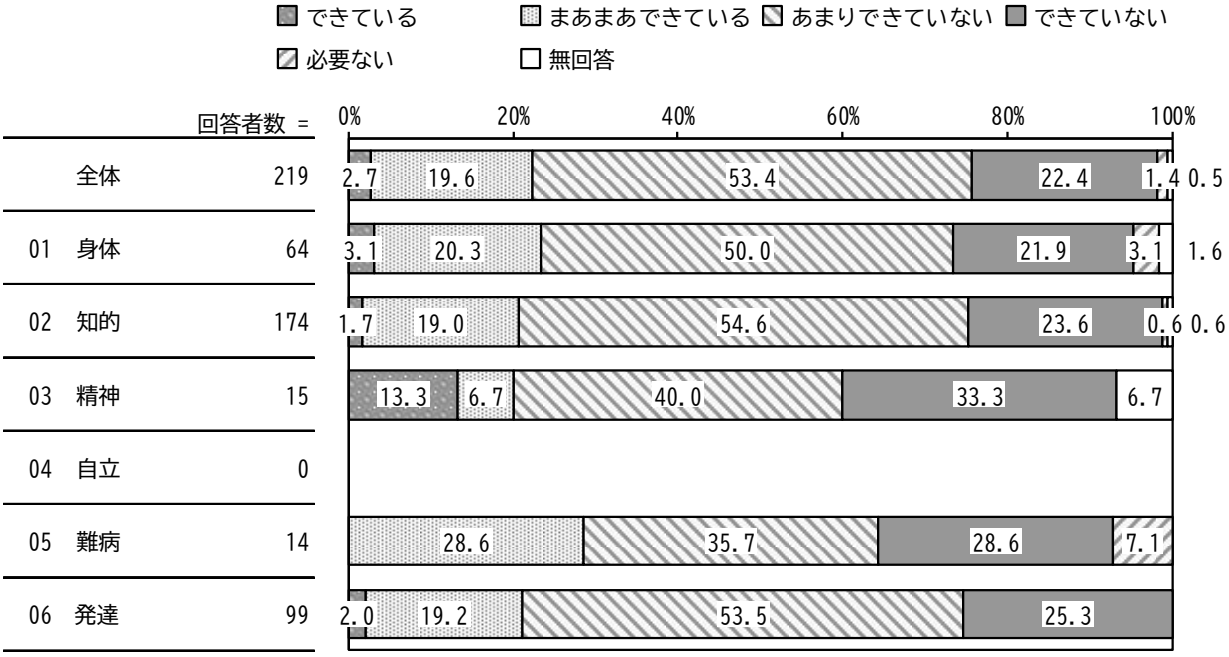
		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		219	7.8	29.2	42.5	17.4	1.8	1.4 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	32.4	55.9	11.8	0.0	0.0
	６～８歳	44	6.8	20.5	52.3	18.2	0.0	2.3
	９～11歳	40	15.0	27.5	45.0	7.5	2.5	2.5
	12～14歳	39	10.3	41.0	30.8	15.4	2.6	0.0
	15～17歳	59	6.8	25.4	35.6	27.1	3.4	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	7.4	28.6	43.3	18.2	1.0	1.5
	三世代世帯	16	12.5	37.5	31.3	6.3	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	18.8	37.5	31.3	6.3	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	9.5	38.1	28.6	23.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	3.9	27.5	45.1	21.6	0.0	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0
	その他	6	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	あてはまらない	124	8.1	29.0	44.4	14.5	2.4	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	7.7	30.8	48.7	12.8	0.0	0.0
	40～59歳	151	6.6	29.8	43.0	17.9	0.7	2.0
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	10.1	38.4	39.4	9.1	3.0	0.0
	やや苦しい	93	5.4	23.7	44.1	23.7	1.1	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	9.5	9.5	52.4	23.8	0.0	4.8
サービス	利用している	167	4.8	26.9	46.7	18.6	1.2	1.8
	利用していない	51	17.6	35.3	29.4	13.7	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	38.9	38.9	11.1	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	0.0	29.4	58.8	11.8	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	32.4	38.2	23.5	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	10.0	22.9	50.0	15.7	1.4	0.0
	10年以上	80	8.8	31.3	35.0	18.8	3.8	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	26.7	40.0	13.3	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	12.5	25.0	37.5	20.8	0.0	4.2
	視覚障害がある	7	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	40.0	40.0	10.0	0.0	0.0

⑤　災害や避難

「できている」「まあまあできている」を合わせた“できている”の割合が 22.3%、「あまりできていない」「できていない」を合わせた“できていない”の割合が 75.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“できていない”の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、『３～５歳』から『12～14 歳』まで年齢が上がるほど“できている”の割合が高く、『15～17 歳』から『３～５歳』まで年齢が下がるほど「あまりできていない」の割合が高い傾向にあります。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“できていない”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で“できていない”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、『18～39 歳』で“できていない”の割合が高くなっています

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「できていない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“できていない”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“できていない”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で“できている”の割合が高くなっています。

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全　体		219	2.7	19.6	53.4	22.4	1.4	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	11.8	67.6	20.6	0.0	0.0
	６～８歳	44	2.3	15.9	56.8	25.0	0.0	0.0
	９～11歳	40	2.5	17.5	57.5	22.5	0.0	0.0
	12～14歳	39	10.3	35.9	46.2	5.1	2.6	0.0
	15～17歳	59	0.0	16.9	44.1	33.9	3.4	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	2.5	19.7	55.2	21.7	0.5	0.5
	三世代世帯	16	6.3	18.8	31.3	31.3	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	25.0	37.5	31.3	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	9.5	66.7	23.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	3.9	15.7	56.9	23.5	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0
	その他	6	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	2.4	22.6	51.6	21.0	1.6	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	12.8	61.5	25.6	0.0	0.0
	40～59歳	151	2.6	21.2	53.6	21.9	0.0	0.7
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	2.0	24.2	58.6	13.1	2.0	0.0
	やや苦しい	93	4.3	15.1	51.6	28.0	1.1	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	19.0	28.6	47.6	0.0	4.8
サービス	利用している	167	2.4	18.0	56.3	22.2	0.6	0.6
	利用していない	51	3.9	25.5	43.1	23.5	3.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	5.6	66.7	27.8	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	11.8	76.5	11.8	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	14.7	55.9	23.5	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	1.4	20.0	51.4	27.1	0.0	0.0
	10年以上	80	3.8	26.3	46.3	18.8	3.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	13.3	53.3	20.0	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	12.5	20.8	58.3	8.3	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	20.0	30.0	50.0	0.0	0.0

問 47　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。【○はいくつでも】

「市の広報紙」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「学校や職場」の割合が 44.7%、「障害者のしおり（市が作成した冊子）」の割合が 38.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神、発達で「市の広報紙」、難病で「障害者団体」、身体で「病院・診療所」、精神で「家族や親戚」の割合が高くなっています。

		調査数	障害者のしおり（市が作成した冊子）	市の広報紙	市のホームページやSNS	都の広報紙やホームページ	その他の広報紙やインターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞のニュース	障害者団体	学校や職場	障害福祉サービス事業所・施設	病院・診療所	図書館の障害のある方向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親戚	友人や知人	その他	特にない	無回答
全　体		219	38.4	45.7	26.0	6.8	15.1	6.4	18.3	44.7	37.4	16.0	0.5	0.5	0.5	1.4	9.1	30.6	5.5	4.6	0.9
障害種別	身体	64	39.1	45.3	23.4	7.8	6.3	6.3	18.8	31.3	29.7	28.1	1.6	1.6	1.6	3.1	6.3	26.6	7.8	4.7	1.6
	知的	174	42.0	43.7	25.9	6.3	17.8	6.9	23.0	50.6	45.4	12.1	0.6	0.6	0.6	1.7	9.2	33.9	5.7	3.4	1.1
	精神	15	20.0	60.0	26.7	6.7	13.3	6.7	6.7	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	28.6	50.0	35.7	0.0	14.3	7.1	28.6	28.6	21.4	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	35.7	14.3	7.1	0.0
	発達	99	47.5	57.6	26.3	7.1	16.2	7.1	20.2	50.5	43.4	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	36.4	6.1	1.0	1.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「市の広報紙」、『３～５歳』で「市のホームページや SNS」、「障害福祉サービス事業所・施設」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「障害者のしおり（市が作成した冊子）」「市の広報紙」「市のホームページや SNS」「都の広報紙やホームページ」「学校や職場」「障害福祉サービス事業所・施設」「友人や知人」の割合が高く、『三世代世帯』で「市内にある掲示板」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「市の広報紙」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「市のホームページや SNS」「病院・診療所」の割合が高く、『40～59 歳』で「学校や職場」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「都の広報紙やホームページ」「その他の広報紙やインターネット、SNS」「障害者団体」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「障害者のしおり（市が作成した冊子）」「市の広報紙」「その他の広報紙やインターネット、SNS」「障害者団体」「学校や職場」「障害福祉サービス事業所・施設」「友人や知人」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「障害者のしおり（市が作成した冊子）」「都の広報紙やホームページ」「テレビ・ラジオ・新聞のニュース」「障害者団体」、『聴覚障害がある』で「病院・診療所」「友人や知人」の割合が高くなっています。

		調査数	障害者のしおり（市が作成した冊子）	市の広報紙	市のホームページやSNS	都の広報紙やホームページ	その他の広報紙やインターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞のニュース	障害者団体	学校や職場	障害福祉サービス事業所・施設	病院・診療所	図書館の障害のある方向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親戚	友人や知人	その他	特にない	無回答
全　体		219	38.4	45.7	26.0	6.8	15.1	6.4	18.3	44.7	37.4	16.0	0.5	0.5	0.5	1.4	9.1	30.6	5.5	4.6	0.9
本人の年齢	０～２歳	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	29.4	29.4	38.2	2.9	23.5	5.9	14.7	23.5	55.9	20.6	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	38.2	5.9	2.9	2.9
	６～８歳	44	47.7	56.8	20.5	9.1	20.5	13.6	22.7	54.5	52.3	20.5	2.3	2.3	2.3	2.3	9.1	38.6	2.3	2.3	0.0
	９～11歳	40	45.0	45.0	25.0	15.0	17.5	2.5	22.5	50.0	47.5	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	30.0	7.5	0.0	0.0
	12～14歳	39	38.5	53.8	30.8	7.7	12.8	2.6	17.9	48.7	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	25.6	7.7	7.7	0.0
	15～17歳	59	30.5	42.4	20.3	1.7	6.8	6.8	15.3	45.8	18.6	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	23.7	5.1	8.5	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	39.4	46.3	27.1	7.4	15.3	6.4	18.2	45.3	39.4	15.8	0.5	0.5	0.5	1.0	8.9	31.5	5.4	3.0	1.0
	三世代世帯	16	25.0	37.5	12.5	0.0	12.5	6.3	18.8	37.5	12.5	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	18.8	6.3	25.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	31.3	12.5	0.0	12.5	6.3	18.8	50.0	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	6.3	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	42.9	57.1	23.8	9.5	0.0	9.5	19.0	47.6	19.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	28.6	9.5	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	47.1	39.2	29.4	9.8	19.6	3.9	13.7	35.3	43.1	19.6	2.0	2.0	2.0	3.9	11.8	33.3	7.8	5.9	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	42.9	71.4	28.6	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0
	その他	6	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	34.7	48.4	27.4	7.3	15.3	6.5	20.2	46.0	41.9	15.3	0.0	0.0	0.0	0.8	7.3	29.8	4.8	4.0	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	41.0	46.2	33.3	10.3	12.8	5.1	17.9	33.3	41.0	23.1	0.0	0.0	0.0	2.6	10.3	33.3	2.6	2.6	0.0
	40～59歳	151	43.7	48.3	25.8	6.6	17.2	7.9	21.2	49.0	41.7	15.2	0.7	0.7	0.7	1.3	9.3	32.5	7.3	3.3	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	32.3	44.4	26.3	8.1	16.2	5.1	17.2	46.5	36.4	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	31.3	7.1	5.1	0.0
	やや苦しい	93	44.1	45.2	28.0	3.2	11.8	7.5	14.0	41.9	37.6	17.2	0.0	0.0	0.0	1.1	12.9	32.3	3.2	5.4	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	42.9	47.6	19.0	19.0	28.6	9.5	38.1	47.6	42.9	19.0	4.8	4.8	4.8	9.5	9.5	23.8	9.5	0.0	9.5
サービス	利用している	167	40.7	47.3	26.3	6.6	17.4	7.2	22.2	49.7	47.9	15.0	0.6	0.6	0.6	1.8	8.4	34.1	6.0	2.4	1.2
	利用していない	51	31.4	39.2	25.5	7.8	7.8	3.9	5.9	29.4	3.9	19.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	19.6	3.9	11.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	33.3	50.0	11.1	5.6	5.6	0.0	11.1	44.4	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	27.8	11.1	5.6	0.0
	１年以上、３年未満	17	41.2	41.2	41.2	5.9	23.5	0.0	11.8	29.4	52.9	35.3	0.0	0.0	0.0	11.8	5.9	41.2	5.9	0.0	5.9
	３年以上、５年未満	34	29.4	38.2	38.2	2.9	23.5	8.8	8.8	26.5	41.2	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	41.2	2.9	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	48.6	48.6	21.4	11.4	17.1	11.4	27.1	54.3	54.3	17.1	1.4	1.4	1.4	1.4	7.1	32.9	7.1	4.3	0.0
	10年以上	80	33.8	46.3	25.0	5.0	10.0	3.8	17.5	47.5	22.5	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	22.5	3.8	7.5	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	53.3	26.7	20.0	13.3	20.0	53.3	53.3	46.7	26.7	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	26.7	0.0	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	33.3	41.7	33.3	0.0	0.0	0.0	8.3	29.2	33.3	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	33.3	12.5	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	40.0	50.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	50.0	10.0	0.0	0.0

(%)

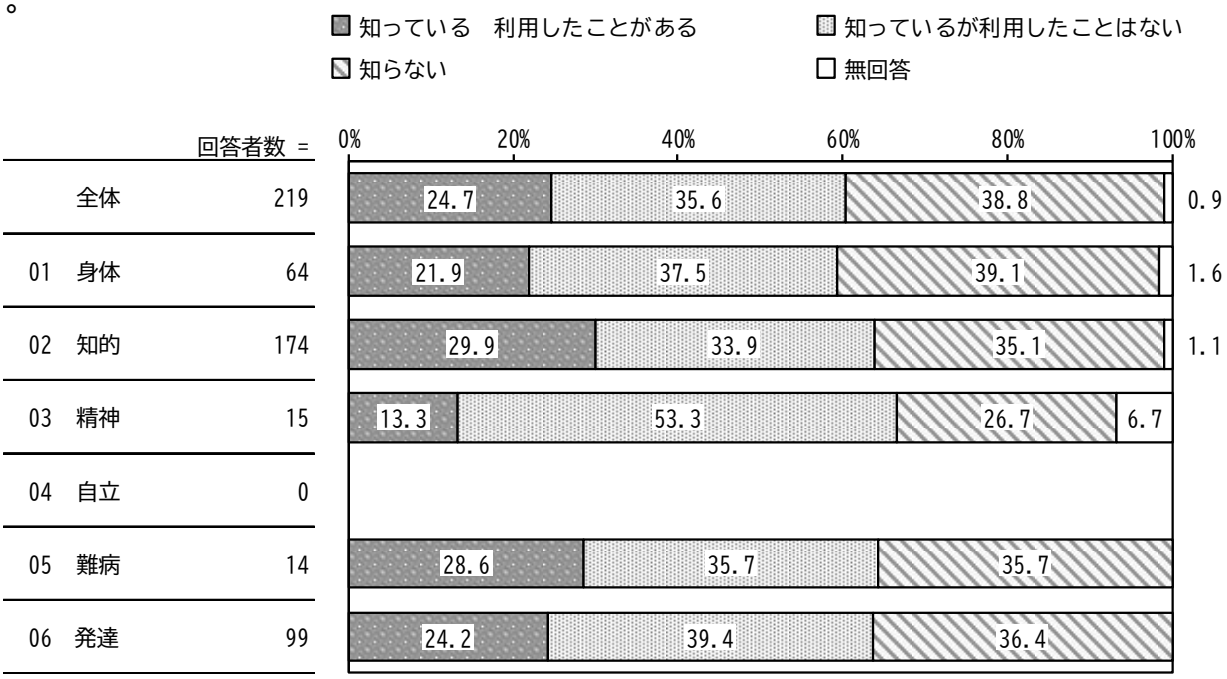
6　福祉サービスについて

問 48　西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。
【○は１つだけ】

「知っている　利用したことがある」の割合が 24.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が 35.6%、「知らない」の割合が 38.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『40～59 歳』で「知っている　利用したことがある」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っているが利用したことはない」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている　利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「知っている　利用したことがある」、『医療的ケアを受けている』で「知っているが利用したことはない」、『聴覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

		調査数	知っている　利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		219	24.7	35.6	38.8	0.9
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0
	３～５歳	34	5.9	32.4	61.8	0.0
	６～８歳	44	31.8	31.8	36.4	0.0
	９～11歳	40	30.0	37.5	32.5	0.0
	12～14歳	39	28.2	28.2	43.6	0.0
	15～17歳	59	23.7	44.1	28.8	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	24.6	36.5	37.9	1.0
	三世代世帯	16	25.0	25.0	50.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	31.3	25.0	43.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	23.8	42.9	33.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	15.7	35.3	49.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	0.0	42.9	0.0
	その他	6	50.0	16.7	33.3	0.0
	あてはまらない	124	24.2	38.7	35.5	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	17.9	41.0	41.0	0.0
	40～59歳	151	27.2	35.1	36.4	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	16.7	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	26.3	37.4	35.4	1.0
	やや苦しい	93	20.4	37.6	41.9	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	28.6	23.8	42.9	4.8
サービス	利用している	167	29.9	37.7	31.7	0.6
	利用していない	51	7.8	27.5	62.7	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	38.9	22.2	38.9	0.0
	１年以上、３年未満	17	35.3	23.5	41.2	0.0
	３年以上、５年未満	34	11.8	44.1	44.1	0.0
	５年以上、10年未満	70	25.7	31.4	41.4	1.4
	10年以上	80	23.8	41.3	33.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	40.0	33.3	20.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	25.0	50.0	25.0	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	42.9	42.9	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	30.0	50.0	0.0

(%)

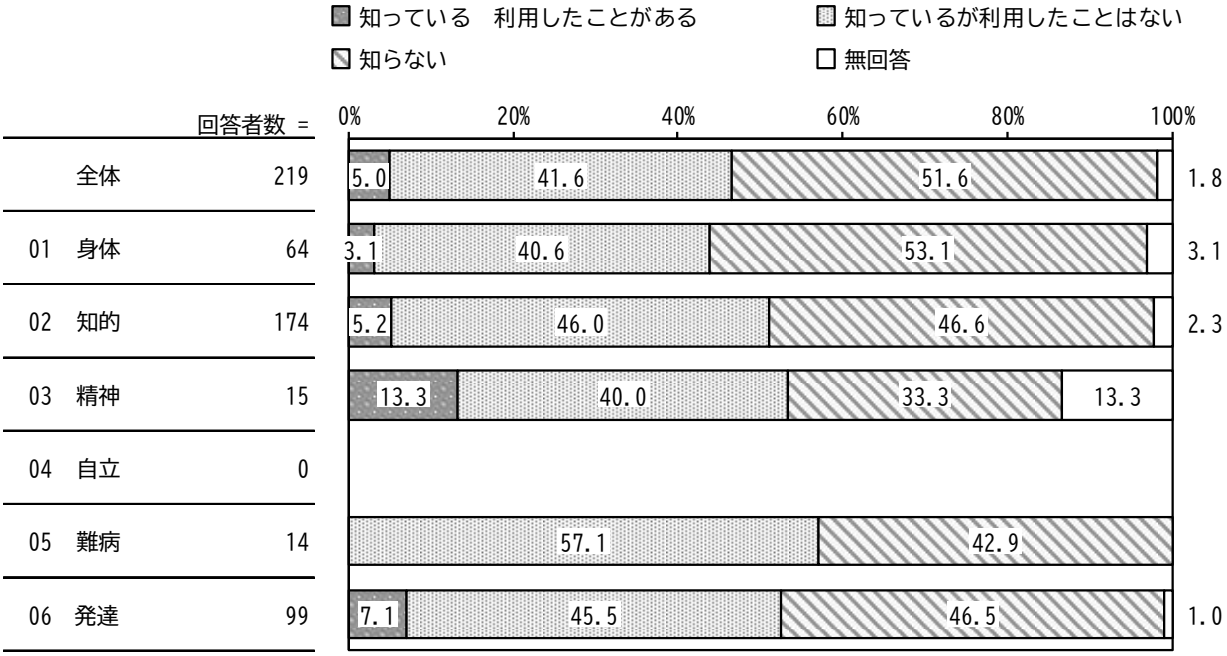
問 49　西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。
【○はそれぞれに１つずつ】

①　基幹相談支援センター「えぽっく」

「知っている　利用したことがある」の割合が 5.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が 41.6%、「知らない」の割合が 51.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「知っているが利用したことはない」、『９～11 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知っている　利用したことがある」「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「知っている　利用したことがある」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高く、『40～59 歳』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っている　利用したことがある」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「知っているが利用したことはない」、『聴覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

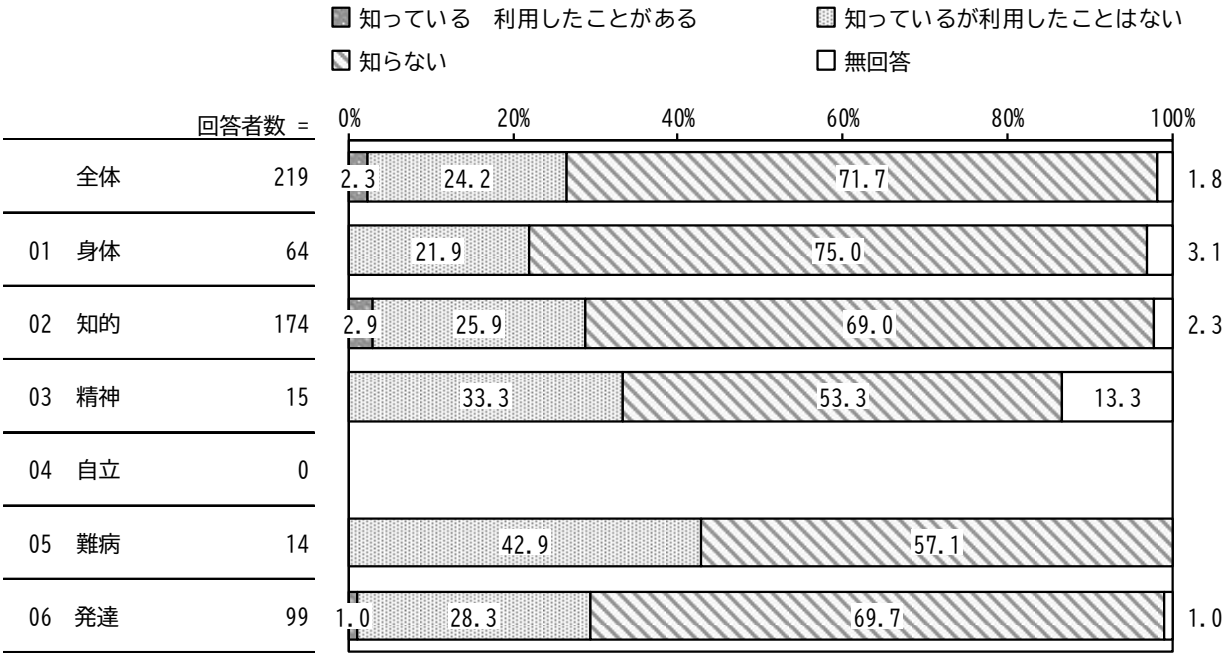
		調査数	知っている　利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		219	5.0	41.6	51.6	1.8 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	３～５歳	34	0.0	47.1	52.9	0.0
	６～８歳	44	9.1	43.2	47.7	0.0
	９～11歳	40	7.5	35.0	57.5	0.0
	12～14歳	39	5.1	38.5	56.4	0.0
	15～17歳	59	3.4	44.1	45.8	6.8
世帯構成	核家族世帯	203	4.4	42.9	51.2	1.5
	三世代世帯	16	12.5	25.0	56.3	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	18.8	25.0	56.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	4.8	47.6	42.9	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	5.9	37.3	56.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	28.6	57.1	0.0
	その他	6	16.7	66.7	16.7	0.0
	あてはまらない	124	3.2	41.9	52.4	2.4
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	5.1	35.9	59.0	0.0
	40～59歳	151	5.3	43.0	49.7	2.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	50.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	3.0	43.4	52.5	1.0
	やや苦しい	93	4.3	40.9	52.7	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	19.0	33.3	42.9	4.8
サービス	利用している	167	6.0	47.3	44.9	1.8
	利用していない	51	2.0	23.5	72.5	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	50.0	44.4	0.0
	１年以上、３年未満	17	11.8	47.1	41.2	0.0
	３年以上、５年未満	34	2.9	50.0	44.1	2.9
	５年以上、10年未満	70	5.7	35.7	58.6	0.0
	10年以上	80	3.8	40.0	52.5	3.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	13.3	66.7	6.7	13.3
	医療的ケアを受けている	24	0.0	54.2	45.8	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	28.6	71.4	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	30.0	70.0	0.0

② 障害者就労支援センター「一歩」

「知っている　利用したことがある」の割合が 2.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が 24.2%、「知らない」の割合が 71.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「知っている　利用したことがある」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高く、『40～59 歳』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っているが利用したことはない」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

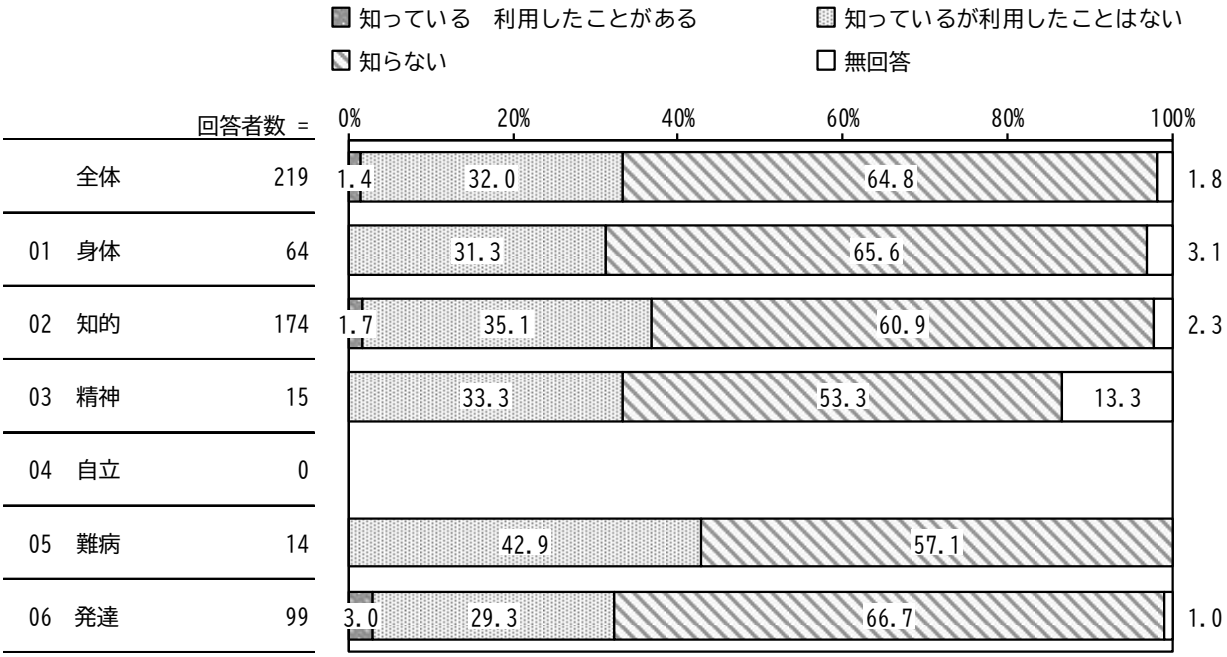
		調査数	知っている　利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		219	2.3	24.2	71.7	1.8 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	17.6	82.4	0.0
	６～８歳	44	2.3	18.2	79.5	0.0
	９～11歳	40	0.0	22.5	77.5	0.0
	12～14歳	39	2.6	28.2	69.2	0.0
	15～17歳	59	5.1	32.2	55.9	6.8
世帯構成	核家族世帯	203	2.5	25.1	70.9	1.5
	三世代世帯	16	0.0	12.5	81.3	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	12.5	87.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	14.3	28.6	52.4	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	0.0	19.6	80.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	57.1	42.9	0.0
	その他	6	16.7	33.3	50.0	0.0
	あてはまらない	124	1.6	23.4	72.6	2.4
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	17.9	82.1	0.0
	40～59歳	151	2.6	25.8	69.5	2.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	50.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	1.0	26.3	71.7	1.0
	やや苦しい	93	4.3	21.5	72.0	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	19.0	76.2	4.8
サービス	利用している	167	1.8	28.1	68.3	1.8
	利用していない	51	3.9	11.8	82.4	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	33.3	61.1	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	29.4	70.6	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	23.5	67.6	2.9
	５年以上、10年未満	70	1.4	15.7	82.9	0.0
	10年以上	80	1.3	28.8	66.3	3.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	33.3	53.3	13.3
	医療的ケアを受けている	24	0.0	37.5	62.5	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	20.0	80.0	0.0

③　地域活動支援センター「ハーモニー」

「知っている　利用したことがある」の割合が 1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 32.0%、「知らない」の割合が 64.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』、『９～11 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高く、『40～59 歳』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

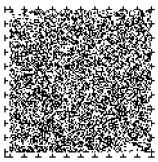
生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知らない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「知っているが利用したことはない」、『３年以上、５年未満』、『５年以上、10 年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』、『医療的ケアを受けている』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

		調査数	知っている　利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		219	1.4	32.0	64.8	1.8 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	29.4	70.6	0.0
	６～８歳	44	2.3	36.4	61.4	0.0
	９～11歳	40	0.0	30.0	70.0	0.0
	12～14歳	39	2.6	30.8	66.7	0.0
	15～17歳	59	1.7	33.9	57.6	6.8
世帯構成	核家族世帯	203	1.5	33.0	64.0	1.5
	三世代世帯	16	0.0	18.8	75.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	12.5	87.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	33.3	61.9	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	0.0	29.4	70.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	6	16.7	16.7	66.7	0.0
	あてはまらない	124	1.6	35.5	60.5	2.4
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	25.6	74.4	0.0
	40～59歳	151	2.0	34.4	61.6	2.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	33.3	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	2.0	35.4	61.6	1.0
	やや苦しい	93	0.0	30.1	67.7	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	23.8	71.4	4.8
サービス	利用している	167	1.8	37.7	58.7	1.8
	利用していない	51	0.0	13.7	84.3	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	33.3	66.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	41.2	58.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	26.5	70.6	2.9
	５年以上、10年未満	70	1.4	28.6	70.0	0.0
	10年以上	80	2.5	35.0	58.8	3.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	46.7	40.0	13.3
	医療的ケアを受けている	24	0.0	45.8	54.2	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	28.6	71.4	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	30.0	70.0	0.0

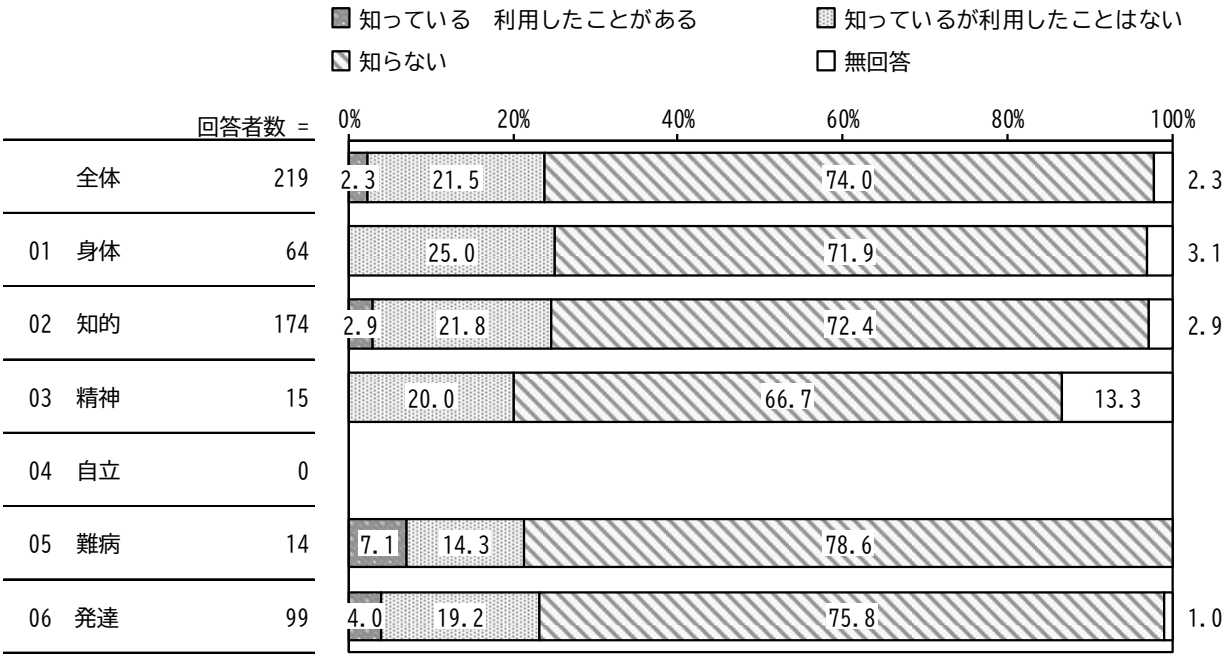


④　保谷障害者福祉センター

「知っている　利用したことがある」の割合が 2.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が 21.5%、「知らない」の割合が 74.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っているが利用したことはない」、精神で「知らない」の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高く、『40～59 歳』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

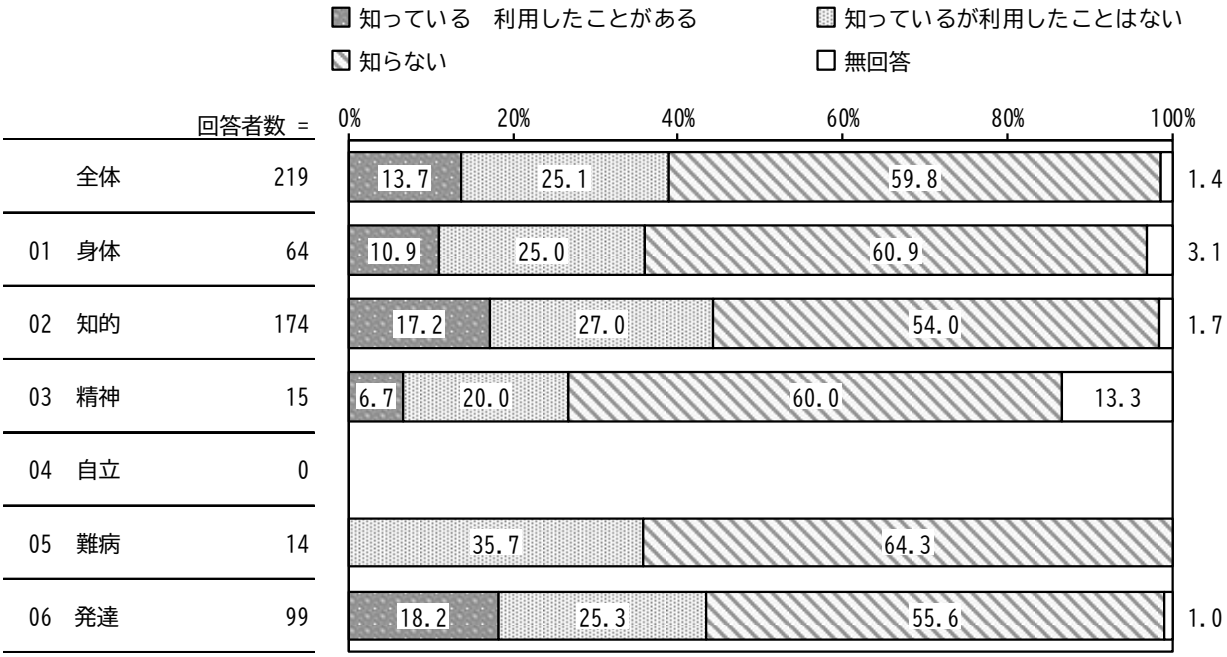
		調査数	知っている　利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		219	2.3	21.5	74.0	2.3 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	３～５歳	34	2.9	20.6	76.5	0.0
	６～８歳	44	2.3	15.9	79.5	2.3
	９～11歳	40	2.5	25.0	72.5	0.0
	12～14歳	39	0.0	25.6	74.4	0.0
	15～17歳	59	3.4	20.3	69.5	6.8
世帯構成	核家族世帯	203	2.5	22.7	72.9	2.0
	三世代世帯	16	0.0	6.3	87.5	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	0.0	100.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	28.6	66.7	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	0.0	19.6	80.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	14.3	85.7	0.0
	その他	6	16.7	16.7	66.7	0.0
	あてはまらない	124	3.2	22.6	71.0	3.2
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	15.4	84.6	0.0
	40～59歳	151	3.3	21.9	72.2	2.6
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	33.3	66.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	2.0	21.2	75.8	1.0
	やや苦しい	93	3.2	21.5	72.0	3.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	19.0	76.2	4.8
サービス	利用している	167	3.0	24.6	70.1	2.4
	利用していない	51	0.0	11.8	86.3	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	27.8	66.7	5.6
	１年以上、３年未満	17	0.0	35.3	64.7	0.0
	３年以上、５年未満	34	2.9	20.6	73.5	2.9
	５年以上、10年未満	70	1.4	15.7	82.9	0.0
	10年以上	80	3.8	22.5	70.0	3.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	46.7	40.0	13.3
	医療的ケアを受けている	24	4.2	37.5	58.3	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	20.0	80.0	0.0

⑤　地域活動支援センター「ブルーム」

「知っている　利用したことがある」の割合が 13.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が 25.1%、「知らない」の割合が 59.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っている　利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

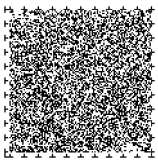
生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っているが利用したことはない」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている　利用したことがある」「知っているが利用したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』、『３年以上、５年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』、『医療的ケアを受けている』で「知っているが利用したことはない」、『聴覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

		調査数	知っている　利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全　体		219	13.7	25.1	59.8	1.4 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	３～５歳	34	2.9	17.6	79.4	0.0
	６～８歳	44	11.4	25.0	63.6	0.0
	９～11歳	40	20.0	35.0	45.0	0.0
	12～14歳	39	7.7	17.9	74.4	0.0
	15～17歳	59	22.0	27.1	45.8	5.1
世帯構成	核家族世帯	203	14.8	25.6	58.6	1.0
	三世代世帯	16	0.0	18.8	75.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	18.8	81.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	9.5	33.3	52.4	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	11.8	23.5	64.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	28.6	71.4	0.0
	その他	6	33.3	16.7	50.0	0.0
	あてはまらない	124	16.9	23.4	58.1	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	15.4	23.1	61.5	0.0
	40～59歳	151	14.6	25.8	58.3	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	33.3	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	14.1	26.3	59.6	0.0
	やや苦しい	93	12.9	24.7	60.2	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	14.3	19.0	61.9	4.8
サービス	利用している	167	17.4	30.5	50.9	1.2
	利用していない	51	2.0	7.8	88.2	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	11.1	22.2	66.7	0.0
	１年以上、３年未満	17	11.8	17.6	70.6	0.0
	３年以上、５年未満	34	8.8	17.6	70.6	2.9
	５年以上、10年未満	70	12.9	27.1	60.0	0.0
	10年以上	80	17.5	28.8	51.3	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	20.0	40.0	26.7	13.3
	医療的ケアを受けている	24	16.7	37.5	45.8	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	14.3	85.7	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	30.0	70.0	0.0



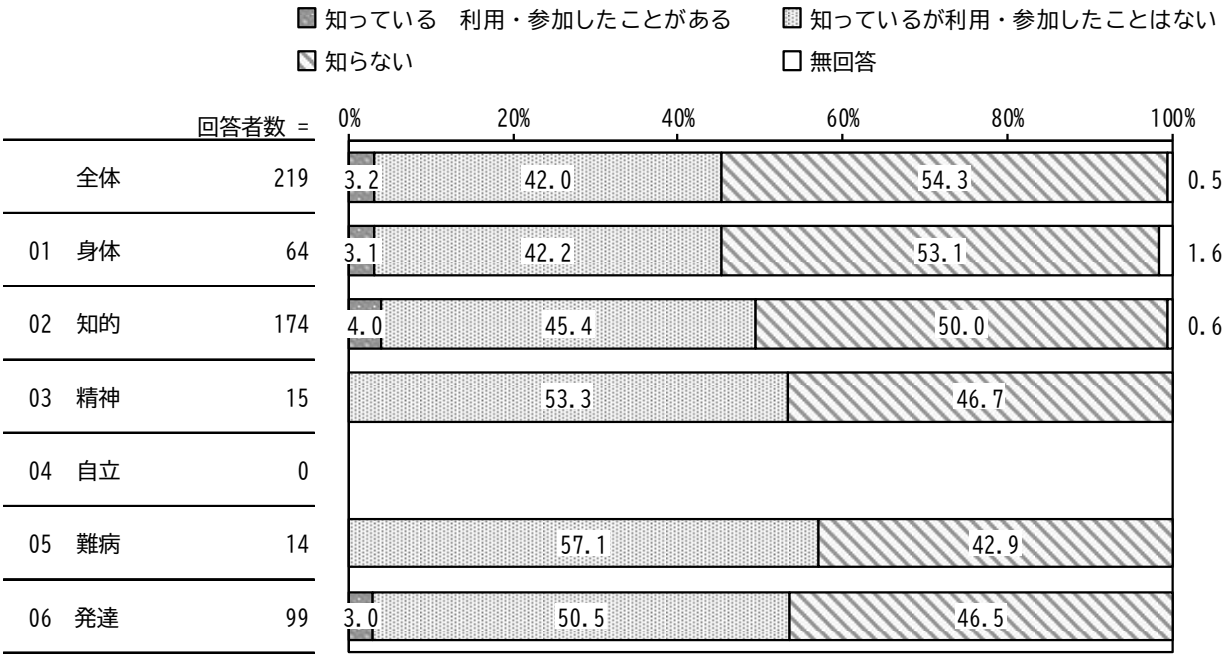
問 50　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。
【○はそれぞれに１つずつ】

①　障害者サポーター養成講座

「知っている　利用・参加したことがある」の割合が 3.2%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 42.0%、「知らない」の割合が 54.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知らない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知っている　利用・参加したことがある」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「知らない」の割合が低くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「知っているが利用・参加したことはない」、『３年以上、５年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

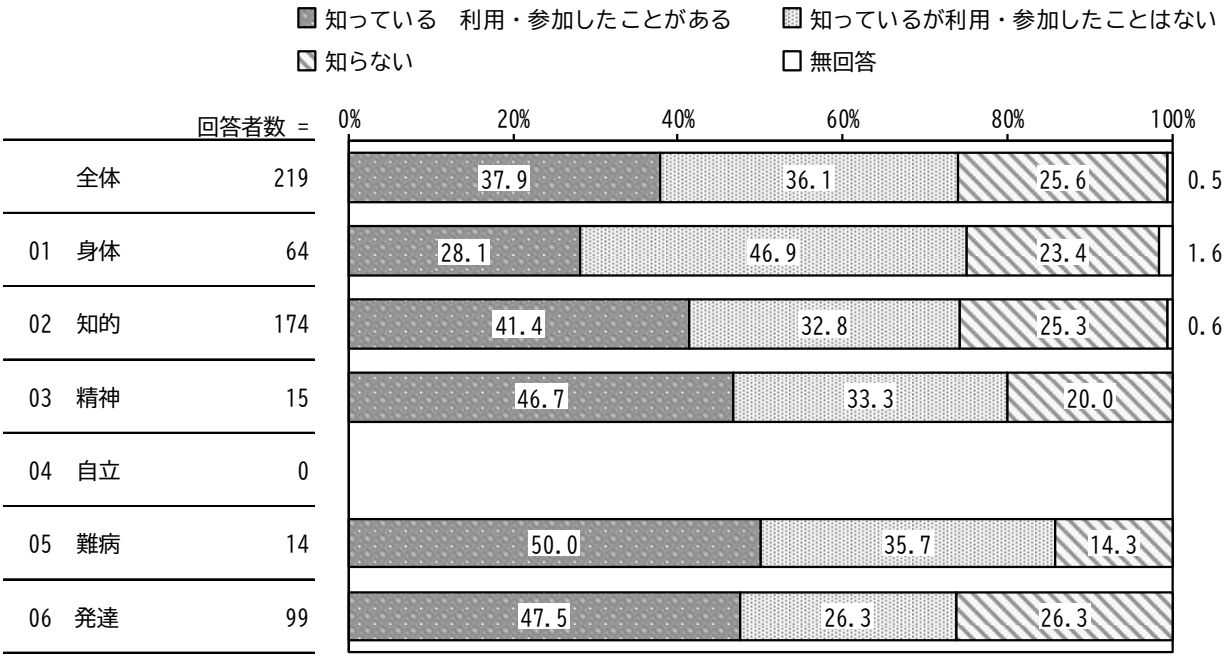
		調査数	知っている　利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		219	3.2	42.0	54.3	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	0.0	66.7	0.0
	３～５歳	34	0.0	32.4	67.6	0.0
	６～８歳	44	0.0	45.5	54.5	0.0
	９～11歳	40	2.5	45.0	52.5	0.0
	12～14歳	39	5.1	46.2	48.7	0.0
	15～17歳	59	5.1	42.4	50.8	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	2.5	41.9	55.7	0.0
	三世代世帯	16	12.5	43.8	37.5	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	12.5	43.8	43.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	42.9	57.1	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	2.0	35.3	62.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	57.1	42.9	0.0
	その他	6	0.0	33.3	66.7	0.0
	あてはまらない	124	3.2	44.4	51.6	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	46.2	51.3	0.0
	40～59歳	151	4.0	45.7	50.3	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	50.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	4.0	41.4	54.5	0.0
	やや苦しい	93	2.2	40.9	55.9	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	47.6	47.6	0.0
サービス	利用している	167	3.6	47.3	48.5	0.6
	利用していない	51	2.0	25.5	72.5	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	50.0	50.0	0.0
	１年以上、３年未満	17	5.9	41.2	52.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	38.2	61.8	0.0
	５年以上、10年未満	70	1.4	42.9	55.7	0.0
	10年以上	80	6.3	41.3	51.3	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	73.3	20.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	8.3	37.5	54.2	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	28.6	71.4	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	40.0	60.0	0.0

② ヘルプカード

「知っている　利用・参加したことがある」の割合が 37.9%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 36.1%、「知らない」の割合が 25.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っている　利用・参加したことがある」、身体で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っている　利用・参加したことがある」の割合が高く、『三世代世帯』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「知っている　利用・参加したことがある」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っている　利用・参加したことがある」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている　利用・参加したことがある」の割合が高く、『利用していない』で「知っているが利用・参加したことはない」「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

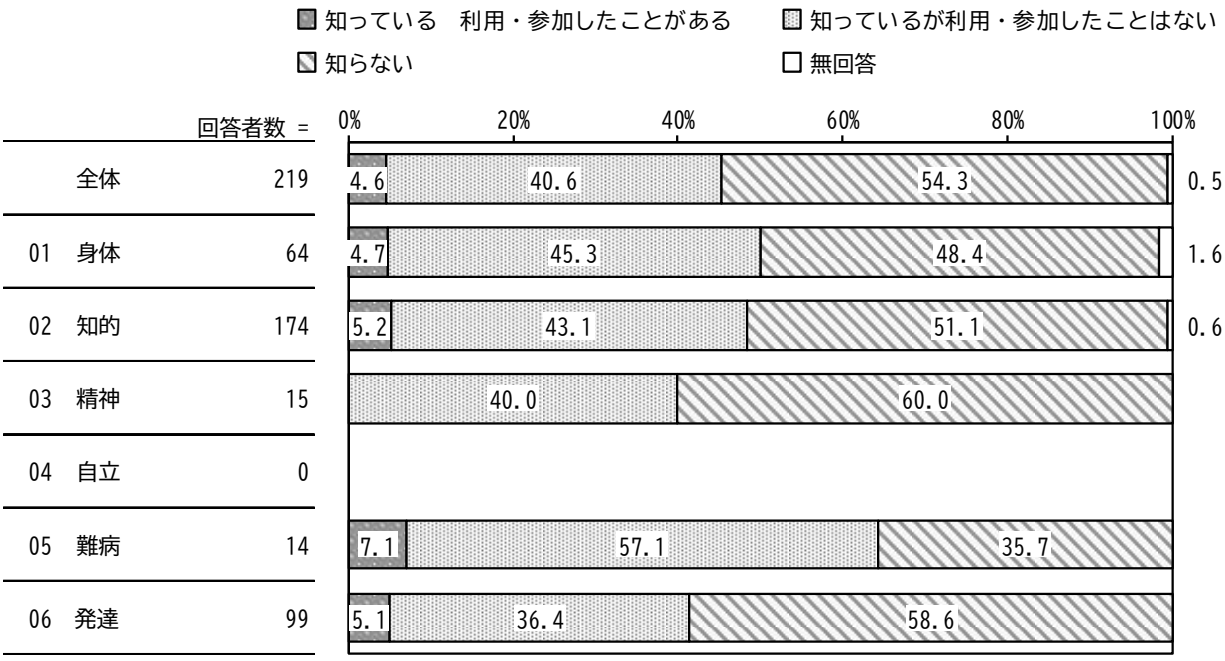
		調査数	知っている　利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		219	37.9	36.1	25.6	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	３～５歳	34	38.2	38.2	23.5	0.0
	６～８歳	44	47.7	20.5	31.8	0.0
	９～11歳	40	40.0	32.5	27.5	0.0
	12～14歳	39	33.3	46.2	20.5	0.0
	15～17歳	59	32.2	40.7	25.4	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	38.9	35.5	25.6	0.0
	三世代世帯	16	25.0	43.8	25.0	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	31.3	31.3	37.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	52.4	38.1	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	39.2	35.3	25.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	28.6	14.3	0.0
	その他	6	50.0	16.7	33.3	0.0
	あてはまらない	124	34.7	39.5	25.0	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	61.5	23.1	15.4	0.0
	40～59歳	151	37.7	38.4	23.8	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	50.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	38.4	36.4	25.3	0.0
	やや苦しい	93	36.6	36.6	25.8	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	42.9	28.6	28.6	0.0
サービス	利用している	167	43.7	32.9	22.8	0.6
	利用していない	51	19.6	47.1	33.3	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	22.2	50.0	27.8	0.0
	１年以上、３年未満	17	35.3	47.1	17.6	0.0
	３年以上、５年未満	34	50.0	35.3	14.7	0.0
	５年以上、10年未満	70	48.6	21.4	30.0	0.0
	10年以上	80	27.5	43.8	27.5	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	33.3	46.7	13.3	6.7
	医療的ケアを受けている	24	37.5	33.3	29.2	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	42.9	28.6	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	70.0	20.0	0.0

③　障害者スポーツ支援事業

「知っている　利用・参加したことがある」の割合が 4.6%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 40.6%、「知らない」の割合が 54.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知らない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高く、『40～59 歳』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

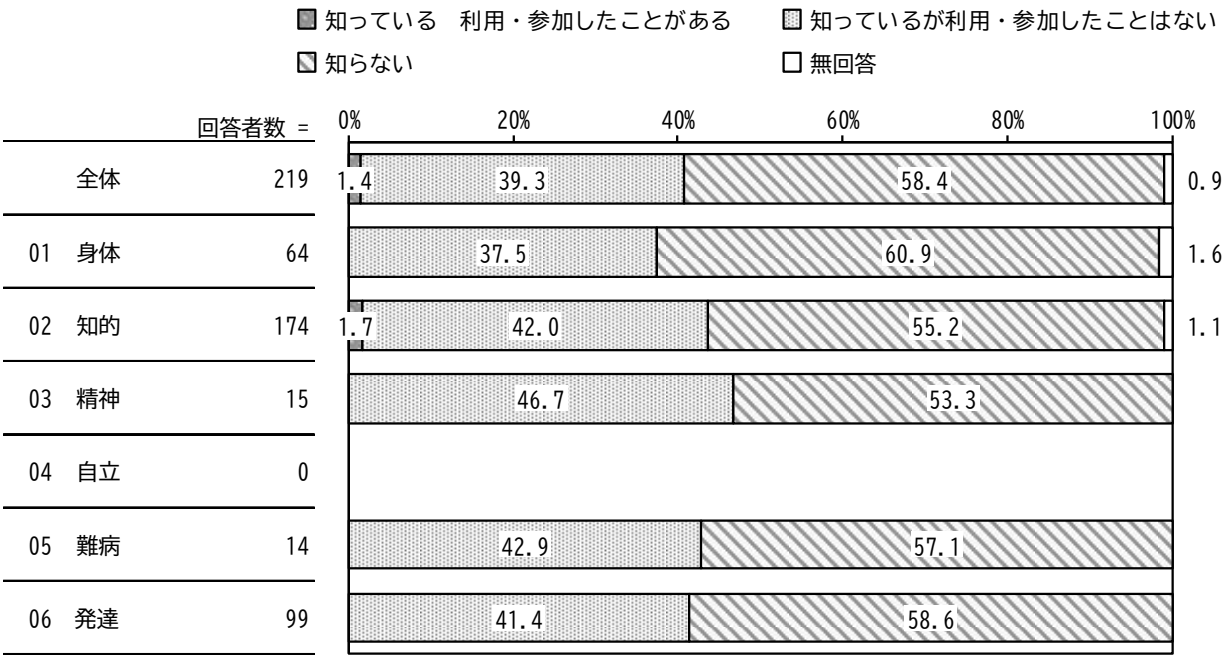
		調査数	知っている　利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		219	4.6	40.6	54.3	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	2.9	29.4	67.6	0.0
	６～８歳	44	4.5	36.4	59.1	0.0
	９～11歳	40	7.5	42.5	50.0	0.0
	12～14歳	39	5.1	43.6	51.3	0.0
	15～17歳	59	3.4	44.1	50.8	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	4.9	41.9	53.2	0.0
	三世代世帯	16	0.0	25.0	68.8	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	25.0	75.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	47.6	52.4	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	5.9	27.5	66.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	28.6	57.1	0.0
	その他	6	0.0	50.0	50.0	0.0
	あてはまらない	124	4.0	46.0	49.2	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	35.9	61.5	0.0
	40～59歳	151	5.3	45.0	49.7	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	50.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	6.1	37.4	56.6	0.0
	やや苦しい	93	2.2	44.1	52.7	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	9.5	38.1	52.4	0.0
サービス	利用している	167	5.4	42.5	51.5	0.6
	利用していない	51	2.0	35.3	62.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	38.9	55.6	0.0
	１年以上、３年未満	17	5.9	41.2	52.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	41.2	58.8	0.0
	５年以上、10年未満	70	5.7	40.0	54.3	0.0
	10年以上	80	5.0	41.3	52.5	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	53.3	33.3	6.7
	医療的ケアを受けている	24	4.2	54.2	41.7	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	60.0	40.0	0.0

④　かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）

「知っている　利用・参加したことがある」の割合が 1.4%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 39.3%、「知らない」の割合が 58.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知っている　利用・参加したことがある」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『40～59 歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知らない」の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「知っているが利用・参加したことはない」、『聴覚障害がある』で「知らない」の割合が高くなっています。

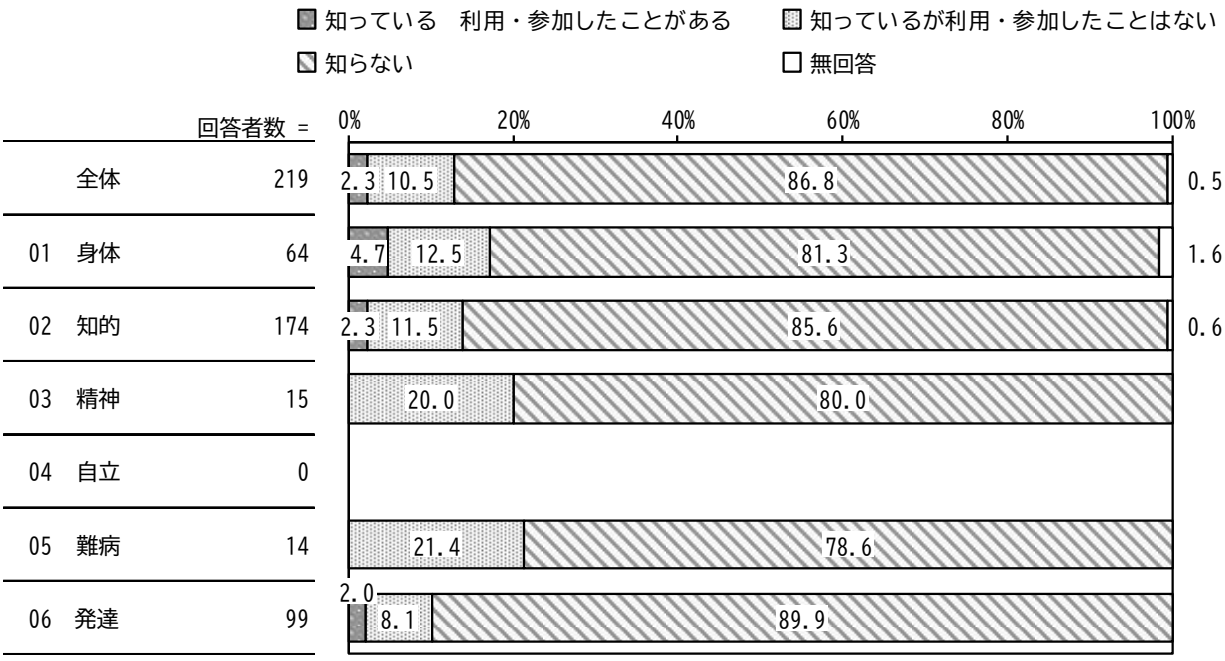
		調査数	知っている　利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		219	1.4	39.3	58.4	0.9 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	29.4	70.6	0.0
	６～８歳	44	2.3	47.7	50.0	0.0
	９～11歳	40	0.0	47.5	52.5	0.0
	12～14歳	39	0.0	43.6	53.8	2.6
	15～17歳	59	3.4	32.2	62.7	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	1.0	39.9	58.6	0.5
	三世代世帯	16	6.3	31.3	56.3	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	6.3	31.3	62.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	42.9	52.4	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	2.0	45.1	52.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	28.6	71.4	0.0
	その他	6	0.0	33.3	50.0	16.7
	あてはまらない	124	0.8	37.9	60.5	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	46.2	51.3	0.0
	40～59歳	151	1.3	41.7	56.3	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	83.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	2.0	43.4	54.5	0.0
	やや苦しい	93	0.0	35.5	62.4	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	42.9	52.4	0.0
サービス	利用している	167	1.8	42.5	55.1	0.6
	利用していない	51	0.0	29.4	68.6	2.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	0.0	16.7	83.3	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	41.2	58.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	2.9	32.4	61.8	2.9
	５年以上、10年未満	70	0.0	47.1	52.9	0.0
	10年以上	80	2.5	40.0	56.3	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	80.0	13.3	6.7
	医療的ケアを受けている	24	0.0	33.3	66.7	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	14.3	85.7	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	10.0	90.0	0.0

⑤ ENJOY ニュースポーツ

「知っている　利用・参加したことがある」の割合が 2.3%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 10.5%、「知らない」の割合が 86.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。



【属性別】

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「知らない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高く、『40～59 歳』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『10 年以上』で「知っているが利用・参加したことはない」、『１年未満』、『３年以上、５年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「知っている　利用・参加したことがある」「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

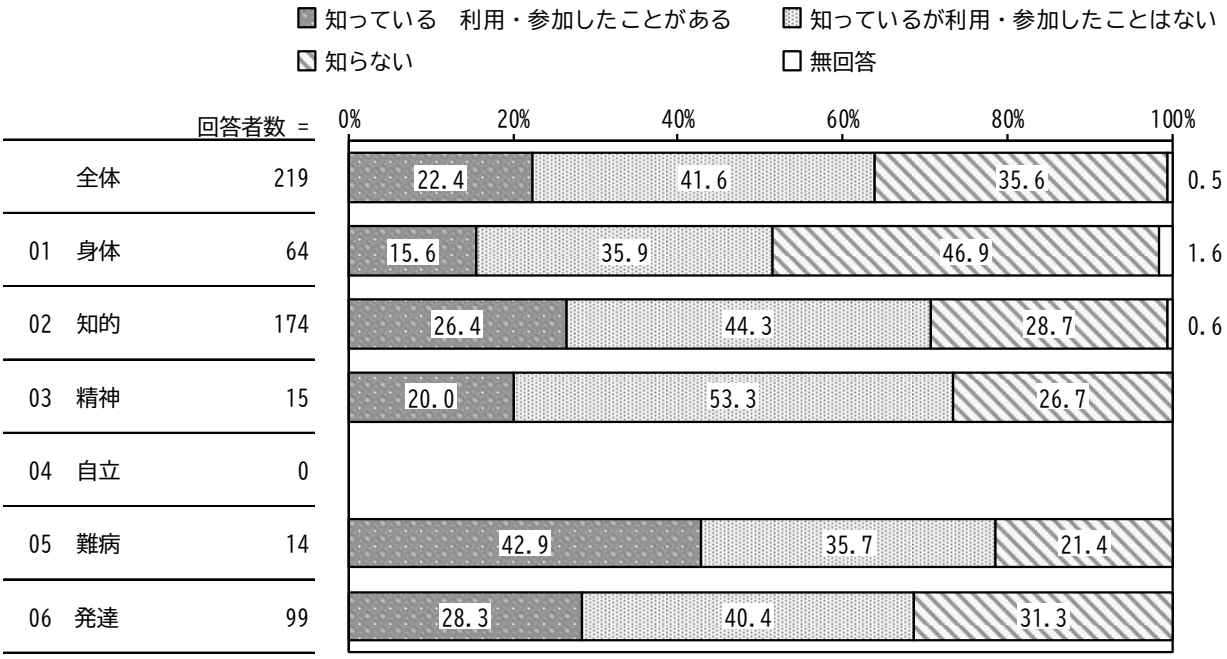
		調査数	知っている　利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		219	2.3	10.5	86.8	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	5.9	94.1	0.0
	６～８歳	44	2.3	9.1	88.6	0.0
	９～11歳	40	0.0	7.5	92.5	0.0
	12～14歳	39	7.7	15.4	76.9	0.0
	15～17歳	59	1.7	13.6	83.1	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	2.5	10.8	86.7	0.0
	三世代世帯	16	0.0	6.3	87.5	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	6.3	93.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	4.8	14.3	81.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	2.0	5.9	92.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	14.3	71.4	0.0
	その他	6	0.0	0.0	100.0	0.0
	あてはまらない	124	1.6	12.1	85.5	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	5.1	94.9	0.0
	40～59歳	151	3.3	12.6	84.1	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	83.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	2.0	13.1	84.8	0.0
	やや苦しい	93	2.2	7.5	89.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	4.8	9.5	85.7	0.0
サービス	利用している	167	3.0	12.6	83.8	0.6
	利用していない	51	0.0	3.9	96.1	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	0.0	94.4	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	11.8	88.2	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	5.9	94.1	0.0
	５年以上、10年未満	70	1.4	7.1	91.4	0.0
	10年以上	80	3.8	17.5	77.5	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	13.3	33.3	46.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	0.0	20.8	79.2	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	0.0	100.0	0.0

⑥　ペアレント・メンター／先輩ママとお話しする会

「知っている　利用・参加したことがある」の割合が 22.4%、「知っているが利用・参加したことはない」の割合が 41.6%、「知らない」の割合が 35.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「知っている　利用・参加したことがある」、精神で「知っているが利用・参加したことはない」、身体で「知らない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『９～11 歳』で「知っている　利用・参加したことがある」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知っている　利用・参加したことがある」の割合が高く、『40～59 歳』で「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知っている　利用・参加したことがある」、『やや苦しい』で「知らない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「知っている　利用・参加したことがある」「知っているが利用・参加したことはない」の割合が高く、『利用していない』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「知っているが利用・参加したことはない」、『医療的ケアを受けている』で「知らない」の割合が高くなっています。

		調査数	知っている　利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない	無回答
全　体		219	22.4	41.6	35.6	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	0.0	66.7	0.0
	３～５歳	34	23.5	44.1	32.4	0.0
	６～８歳	44	36.4	47.7	15.9	0.0
	９～11歳	40	40.0	35.0	25.0	0.0
	12～14歳	39	10.3	48.7	41.0	0.0
	15～17歳	59	6.8	37.3	54.2	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	22.2	42.4	35.5	0.0
	三世代世帯	16	25.0	31.3	37.5	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	31.3	43.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	14.3	52.4	33.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	23.5	43.1	33.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	71.4	14.3	0.0
	その他	6	16.7	16.7	66.7	0.0
	あてはまらない	124	25.0	39.5	34.7	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	33.3	38.5	28.2	0.0
	40～59歳	151	22.5	44.4	33.1	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	50.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	23.2	51.5	25.3	0.0
	やや苦しい	93	18.3	32.3	48.4	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	42.9	33.3	23.8	0.0
サービス	利用している	167	28.1	45.5	25.7	0.6
	利用していない	51	3.9	29.4	66.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	16.7	50.0	33.3	0.0
	１年以上、３年未満	17	35.3	29.4	35.3	0.0
	３年以上、５年未満	34	23.5	44.1	32.4	0.0
	５年以上、10年未満	70	34.3	42.9	22.9	0.0
	10年以上	80	10.0	40.0	48.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	20.0	66.7	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	20.8	25.0	54.2	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	28.6	57.1	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	40.0	40.0	0.0

問 51　お子さんは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。【○はいくつでも】

「放課後等デイサービス」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「相談支援」の割合が 33.8%、「児童発達支援」の割合が 28.8%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「訪問系サービス」「児童発達支援」、知的、発達で「放課後等デイサービス」、精神で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

		調査数	訪問系サービス	短期入所（ショートステイ）	相談支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	入所系サービス	利用したことがない	無回答	
全　体		219	9.6	7.8	33.8	28.8	56.2	0.5	2.7	0.0	23.3	0.5	(%)
障害種別	身体	64	25.0	17.2	35.9	23.4	46.9	1.6	1.6	0.0	35.9	0.0	
	知的	174	9.8	9.8	40.2	32.2	67.2	0.6	2.9	0.0	12.1	0.6	
	精神	15	0.0	6.7	20.0	0.0	46.7	0.0	0.0	0.0	53.3	0.0	
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	難病	14	28.6	14.3	28.6	42.9	42.9	0.0	7.1	0.0	21.4	0.0	
	発達	99	7.1	5.1	38.4	30.3	66.7	0.0	3.0	0.0	16.2	0.0	

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「放課後等デイサービス」、『12～14 歳』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「短期入所（ショートステイ）」「相談支援」「児童発達支援」「放課後等デイサービス」の割合が高く、『三世代世帯』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「児童発達支援」の割合が高く、『40～59 歳』で「放課後等デイサービス」「利用したことがない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「短期入所（ショートステイ）」「相談支援」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、『利用している』で「放課後等デイサービス」の割合が最も高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「児童発達支援」、『５年以上、10 年未満』で「放課後等デイサービス」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「訪問系サービス」「短期入所（ショートステイ）」、『重度心身障害』で「相談支援」「放課後等デイサービス」、『聴覚障害がある』で「児童発達支援」「利用したことがない」の割合が高くなっています。

		調査数	訪問系サービス	短期入所（ショートステイ）	相談支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	入所系サービス	利用したことがない	無回答
全　体		219	9.6	7.8	33.8	28.8	56.2	0.5	2.7	0.0	23.3	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	14.7	5.9	32.4	88.2	0.0	0.0	14.7	0.0	8.8	0.0
	６～８歳	44	9.1	6.8	34.1	43.2	79.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	９～11歳	40	7.5	7.5	40.0	12.5	72.5	0.0	0.0	0.0	22.5	0.0
	12～14歳	39	10.3	5.1	35.9	7.7	59.0	2.6	0.0	0.0	38.5	0.0
	15～17歳	59	6.8	10.2	28.8	5.1	61.0	0.0	1.7	0.0	33.9	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	9.9	8.4	34.5	30.5	58.1	0.5	3.0	0.0	21.2	0.5
	三世代世帯	16	6.3	0.0	25.0	6.3	31.3	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	6.3	0.0	25.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	14.3	4.8	33.3	19.0	52.4	0.0	0.0	0.0	38.1	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	13.7	9.8	31.4	37.3	37.3	0.0	3.9	0.0	27.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	0.0	42.9	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	その他	6	16.7	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	あてはまらない	124	7.3	7.3	36.3	29.8	66.1	0.8	3.2	0.0	16.9	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	10.3	5.1	38.5	51.3	41.0	0.0	2.6	0.0	10.3	2.6
	40～59歳	151	9.9	9.3	37.1	23.8	63.6	0.7	3.3	0.0	22.5	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	8.1	2.0	35.4	24.2	53.5	1.0	1.0	0.0	26.3	0.0
	やや苦しい	93	11.8	11.8	31.2	32.3	57.0	0.0	4.3	0.0	24.7	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	9.5	19.0	47.6	33.3	61.9	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
サービス	利用している	167	12.6	10.2	44.3	37.7	73.7	0.6	3.6	0.0	0.0	0.0
	利用していない	51	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	16.7	5.6	22.2	33.3	50.0	5.6	5.6	0.0	27.8	0.0
	１年以上、３年未満	17	5.9	17.6	41.2	82.4	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	11.8	5.9	26.5	61.8	23.5	0.0	8.8	0.0	26.5	0.0
	５年以上、10年未満	70	8.6	7.1	41.4	20.0	75.7	0.0	0.0	0.0	15.7	0.0
	10年以上	80	8.8	7.5	31.3	10.0	62.5	0.0	1.3	0.0	32.5	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	20.0	20.0	73.3	20.0	86.7	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	37.5	29.2	37.5	41.7	50.0	0.0	4.2	0.0	12.5	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	0.0	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	20.0	30.0	50.0	30.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0

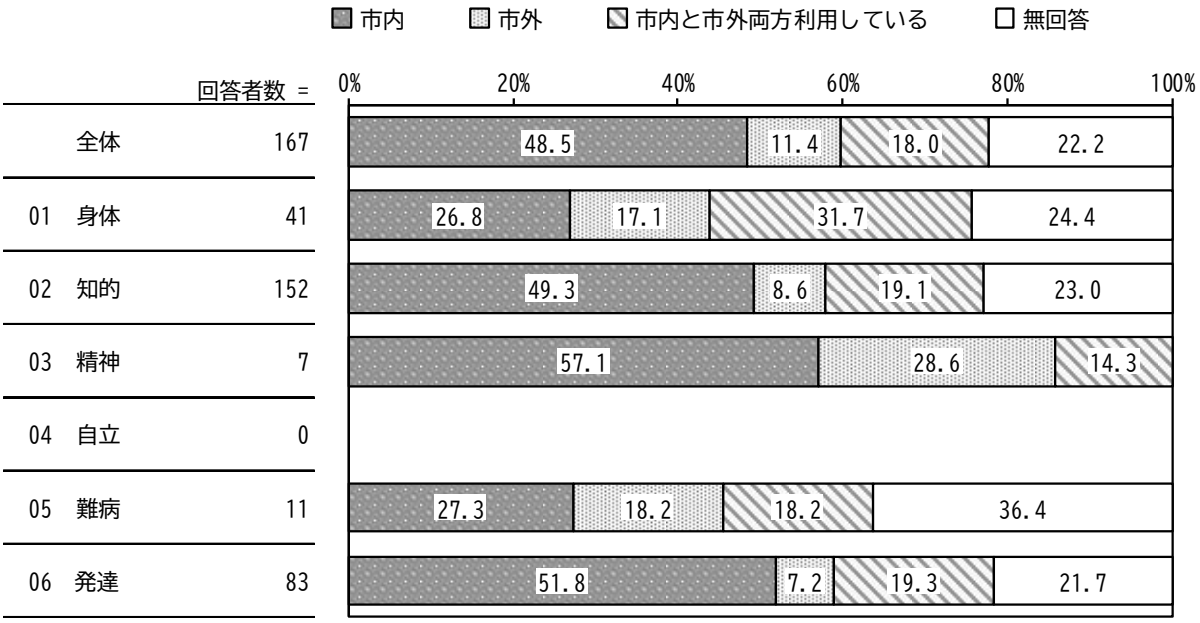
【問 52 は問 51 で「利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問 52　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。
【○は１つだけ】

「市内」の割合が 48.5%、「市外」の割合が 11.4%、「市内と市外両方利用している」の割合が 18.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「市内と市外両方利用している」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「市内」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「市外」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「市外」の割合が高く、『40～59 歳』で「市内」「市内と市外両方利用している」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「市外」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「市内と市外両方利用している」の割合が高くなっています。

		調査数	市内	市外	市内と市外両方利用している	無回答
全　体		167	48.5	11.4	18.0	22.2 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	66.7	33.3	0.0
	３～５歳	31	45.2	12.9	16.1	25.8
	６～８歳	40	52.5	7.5	10.0	30.0
	９～11歳	31	41.9	16.1	25.8	16.1
	12～14歳	24	66.7	0.0	16.7	16.7
	15～17歳	38	44.7	13.2	21.1	21.1
世帯構成	核家族世帯	159	47.8	11.3	18.2	22.6
	三世代世帯	8	62.5	12.5	12.5	12.5
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	8	37.5	12.5	12.5	37.5
	障害者手帳所持者がいる	13	38.5	23.1	23.1	15.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	37	51.4	16.2	13.5	18.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	0.0	60.0	0.0
	その他	4	75.0	25.0	0.0	0.0
	あてはまらない	102	47.1	8.8	19.6	24.5
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	34	44.1	23.5	11.8	20.6
	40～59歳	117	51.3	7.7	20.5	20.5
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	100.0
生活困窮	ゆとりがある	5	40.0	20.0	20.0	20.0
	まあまあゆとりがある	73	46.6	13.7	15.1	24.7
	やや苦しい	69	50.7	7.2	20.3	21.7
	不自由が多く、生活が苦しい	20	50.0	15.0	20.0	15.0
サービス	利用している	167	48.5	11.4	18.0	22.2
	利用していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	13	46.2	30.8	15.4	7.7
	１年以上、３年未満	17	41.2	5.9	23.5	29.4
	３年以上、５年未満	25	40.0	12.0	12.0	36.0
	５年以上、10年未満	59	49.2	11.9	20.3	18.6
	10年以上	53	54.7	7.5	17.0	20.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	13	38.5	0.0	30.8	30.8
	医療的ケアを受けている	21	42.9	4.8	38.1	14.3
	視覚障害がある	5	0.0	20.0	40.0	40.0
	聴覚障害がある	6	16.7	66.7	16.7	0.0

【問 53 は問 52 で「市外」「市内と市外両方利用している」と回答された方にお聞きします。】

問 53　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

自由意見	28　件
市内サービスの不足・施設や空きがないため	19　件
紹介による	3　件
送迎・アクセス問題	2　件
その他	4　件

※1 つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

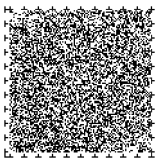
自由意見　（一部抜粋）

【市内サービスの不足・施設や空きがないため】

●自宅での入浴が困難になり、入浴させてくれる放デイを探したが、市内にはなく、やむなく市外を利用している。

●個別の児発として通いたいところが市外だったため。

●市内で医ケアを受け付けている事業所がない。



問 54　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。
【○はいくつでも】

「福祉サービス事業者が少ない」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きが大変」の割合が 39.7%、「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が 37.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「利用できる回数や日時が少ない」の割合が高くなっています。

		調査数	サービス提供や内容に関する情報が少ない	福祉サービス事業者が少ない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日時が少ない	サービスの質について	他の利用者との関係について	利用者負担について	利用したいサービスが地域にない	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		219	37.0	47.0	39.7	18.7	31.1	12.3	4.1	21.0	10.0	14.2	12.8	4.6
障害種別	身体	64	42.2	43.8	31.3	20.3	32.8	14.1	3.1	21.9	18.8	12.5	17.2	4.7
	知的	174	38.5	53.4	44.3	21.3	36.2	13.8	5.2	23.6	9.2	14.4	9.8	2.3
	精神	15	26.7	33.3	40.0	6.7	26.7	13.3	6.7	13.3	13.3	20.0	13.3	13.3
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	35.7	42.9	42.9	28.6	42.9	14.3	0.0	21.4	14.3	7.1	14.3	14.3
	発達	99	42.4	56.6	45.5	19.2	34.3	14.1	5.1	24.2	9.1	21.2	6.1	2.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」、『６～８歳』で「福祉サービス事業者が少ない」「サービスの質について」、『９～11 歳』で「事業者との日時などの調整が大変」の割合が高くなっています。

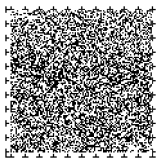
世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「福祉サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」「利用できる回数や日時が少ない」「サービスの質について」「利用者負担について」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「事業者との日時などの調整が大変」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「サービス利用の手続きが大変」の割合が高く、『40～59 歳』で「利用したいサービスが地域にない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「福祉サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」「利用できる回数や日時が少ない」「サービスの質について」「他の利用者との関係について」「利用者負担について」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「福祉サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「利用できる回数や日時が少ない」「サービスの質について」、『聴覚障害がある』で「利用者負担について」「利用したいサービスが地域にない」の割合が高くなっています。



		調査数	サービス提供や内容に関する情報が少ない	福祉サービス事業者が少ない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日時が少ない	サービスの質について	他の利用者との関係について	利用者負担について	利用したいサービスが地域にない	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		219	37.0	47.0	39.7	18.7	31.1	12.3	4.1	21.0	10.0	14.2	12.8	4.6 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	66.7	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	58.8	55.9	50.0	23.5	35.3	14.7	2.9	14.7	11.8	14.7	5.9	2.9
	６～８歳	44	40.9	61.4	45.5	20.5	36.4	22.7	9.1	22.7	11.4	11.4	6.8	2.3
	９～11歳	40	35.0	52.5	45.0	32.5	37.5	2.5	5.0	25.0	2.5	12.5	17.5	5.0
	12～14歳	39	38.5	41.0	28.2	10.3	12.8	10.3	2.6	23.1	17.9	15.4	12.8	7.7
	15～17歳	59	20.3	32.2	30.5	11.9	33.9	11.9	1.7	16.9	8.5	16.9	18.6	5.1
世帯構成	核家族世帯	203	37.9	49.8	41.9	20.2	32.5	12.8	4.4	22.2	9.9	13.8	10.8	4.4
	三世代世帯	16	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3	12.5	18.8	37.5	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	31.3	18.8	12.5	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	18.8	37.5	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	42.9	47.6	28.6	4.8	19.0	14.3	0.0	23.8	14.3	14.3	0.0	9.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	43.1	56.9	47.1	29.4	35.3	17.6	3.9	17.6	11.8	15.7	13.7	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	85.7	42.9	28.6	28.6	14.3	0.0	42.9	28.6	57.1	0.0	0.0
	その他	6	33.3	33.3	50.0	33.3	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	35.5	46.0	39.5	16.9	31.5	10.5	5.6	21.0	8.9	12.1	12.1	5.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	51.3	51.3	48.7	17.9	35.9	12.8	5.1	20.5	5.1	12.8	5.1	2.6
	40～59歳	151	35.8	50.3	41.1	21.9	32.5	13.9	4.0	23.2	11.3	15.9	8.6	3.3
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	32.3	45.5	29.3	14.1	25.3	9.1	3.0	14.1	7.1	13.1	19.2	8.1
	やや苦しい	93	40.9	47.3	45.2	19.4	30.1	15.1	4.3	29.0	10.8	17.2	7.5	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	42.9	57.1	66.7	42.9	66.7	19.0	9.5	19.0	14.3	9.5	0.0	0.0
サービス	利用している	167	37.1	56.3	46.7	23.4	38.3	14.4	5.4	25.1	10.8	14.4	7.8	3.0
	利用していない	51	37.3	17.6	15.7	3.9	7.8	3.9	0.0	7.8	7.8	13.7	29.4	9.8
障害に気づいた時期	１年未満	18	38.9	44.4	38.9	16.7	16.7	5.6	0.0	16.7	22.2	11.1	16.7	5.6
	１年以上、３年未満	17	29.4	41.2	52.9	29.4	41.2	11.8	5.9	23.5	5.9	11.8	11.8	5.9
	３年以上、５年未満	34	52.9	44.1	38.2	11.8	26.5	11.8	2.9	14.7	17.6	17.6	5.9	2.9
	５年以上、10年未満	70	44.3	60.0	50.0	28.6	40.0	15.7	7.1	27.1	4.3	8.6	7.1	4.3
	10年以上	80	25.0	38.8	28.8	11.3	26.3	11.3	2.5	18.8	10.0	18.8	20.0	5.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	73.3	53.3	13.3	53.3	26.7	13.3	26.7	20.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	37.5	58.3	37.5	25.0	20.8	8.3	4.2	25.0	12.5	20.8	12.5	4.2
	視覚障害がある	7	28.6	57.1	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0
	聴覚障害がある	10	40.0	20.0	30.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	30.0	20.0	0.0	10.0

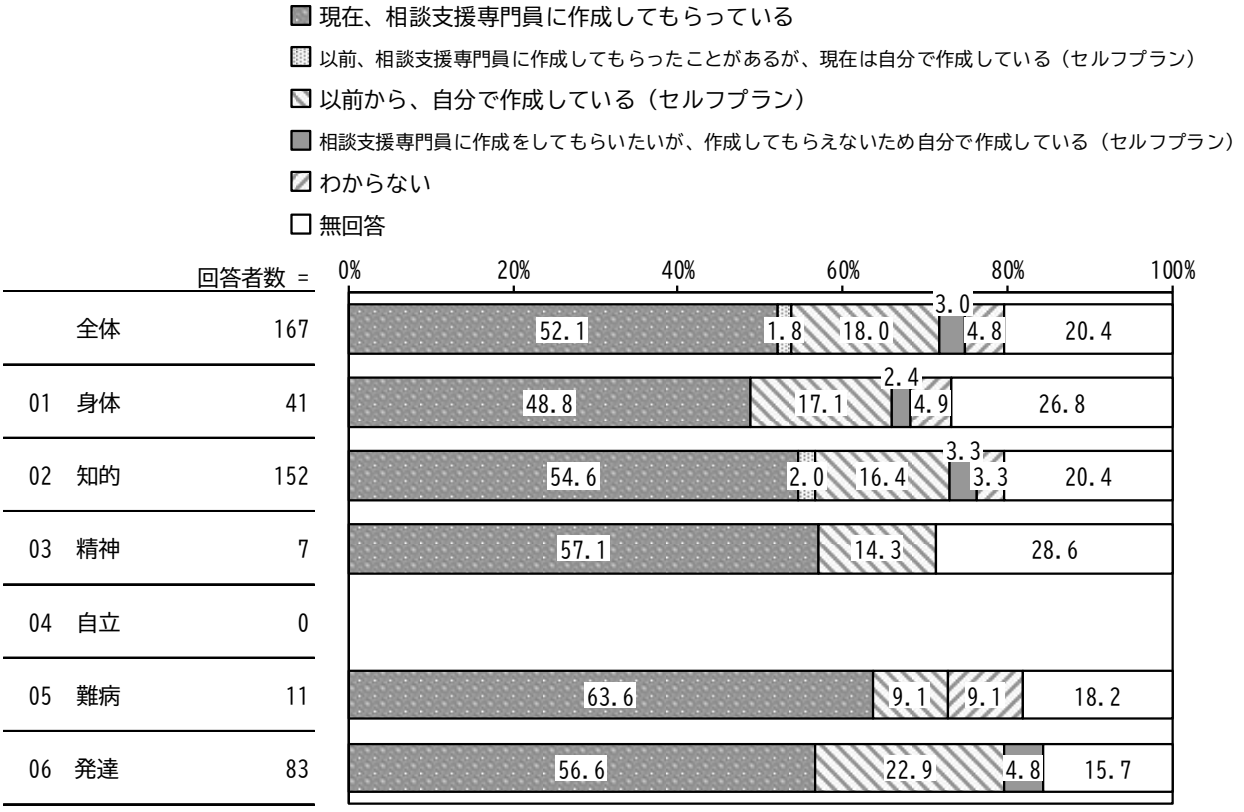
【問 55 は問 51 で「利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問 55　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。【○は１つだけ】

「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」の割合が 18.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が高くなっています。



【属性別】

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」の割合が高く、『医療的ケアを受けている』で「相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）」の割合が高くなっています。

		調査数	現在、相談支援専門員に作成してもらっている	以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）	以前から、自分で作成している（セルフプラン）	相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）	わからない	無回答
全　体		167	52.1	1.8	18.0	3.0	4.8	20.4
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	31	35.5	0.0	22.6	3.2	6.5	32.3
	６～８歳	40	55.0	2.5	17.5	5.0	2.5	17.5
	９～11歳	31	58.1	3.2	9.7	3.2	9.7	16.1
	12～14歳	24	50.0	0.0	16.7	4.2	4.2	25.0
	15～17歳	38	60.5	2.6	18.4	0.0	2.6	15.8
世帯構成	核家族世帯	159	52.2	1.9	18.9	3.1	4.4	19.5
	三世代世帯	8	50.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	8	62.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0
	障害者手帳所持者がいる	13	53.8	0.0	23.1	0.0	0.0	23.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	37	56.8	2.7	8.1	5.4	8.1	18.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0
	その他	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	あてはまらない	102	52.0	2.0	21.6	2.9	3.9	17.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	34	52.9	0.0	23.5	0.0	5.9	17.6
	40～59歳	117	56.4	0.9	17.9	4.3	3.4	17.1
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
生活困窮	ゆとりがある	5	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	まあまあゆとりがある	73	56.2	1.4	16.4	1.4	5.5	19.2
	やや苦しい	69	52.2	1.4	15.9	5.8	1.4	23.2
	不自由が多く、生活が苦しい	20	45.0	5.0	20.0	0.0	10.0	20.0
サービス	利用している	167	52.1	1.8	18.0	3.0	4.8	20.4
	利用していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	13	38.5	0.0	15.4	0.0	15.4	30.8
	１年以上、３年未満	17	41.2	0.0	11.8	5.9	0.0	41.2
	３年以上、５年未満	25	44.0	4.0	28.0	0.0	8.0	16.0
	５年以上、10年未満	59	55.9	1.7	20.3	3.4	1.7	16.9
	10年以上	53	58.5	1.9	13.2	3.8	5.7	17.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	13	61.5	0.0	15.4	0.0	0.0	23.1
	医療的ケアを受けている	21	57.1	0.0	9.5	9.5	4.8	19.0
	視覚障害がある	5	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	60.0
	聴覚障害がある	6	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7

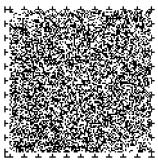
(%)

【問 56 は問 55 でセルフプランを回答された方にお聞きします。】

問 56　「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）」または「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」を回答した方は、自分で作成している理由をお答えください。「相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）」を回答した方は、作成してもらえない理由をお答えください。

自由意見

●相談支援の機関が新規受け入れが出来ないと聞くので、仕方なくセルフプランにしている。
●相談支援専門員に空きがない…と聞いたのでお願いできていないが本当は頼んだほうが良いと思っている。児発から放デイへの切り替えがうまくいかなかったことがある。
●相談支援専門員に作成してもらうには時間がかかる。また子供のことは自分でよくわかっているつもりなので、頼る必要がない。作成を待ってサービスを受けられない時間のほうがもったいないと思ったため。
●相談支援を利用するために日中、仕事を休む必要があるため、自分で作成するしかない。長期休みは放デイも 12:00～しか預かってもらえないので、本当に困っている。
●作成してくれる事業所が見つからなかったから。
●支援員に繋がりにくい。
●特に理由はないが、セルフプランの方が楽そうだから。
●面倒なのでセルフプランにて行っている。
●毎年同じような内容で更新できるため、面談が大変なため。
●現在相談支援専門員を対応して頂ける方を探している。
●支援員に作成してもらう日時を設ける必要がある。毎年大きな変化があまりないので、自分で作成した方が早く、困り事はその都度、事業所に相談をしている。
●現状、放デイを定期利用できていない為。
●相談支援員の空きがない。
●これまでは作成してもらえていたが、職員不足とのことで来年から自分で作成することになった。
●問い合わせの電話をしてみたが、断られてしまった。
●相談支援事業所の数が少なく、新規で契約することが難しいので、契約を諦めてセルフプランにしている。
●専門員の方がどこにいて、どうすればその人と出会えるのかわからないから。
●自分で作成するのに特に困らないから。

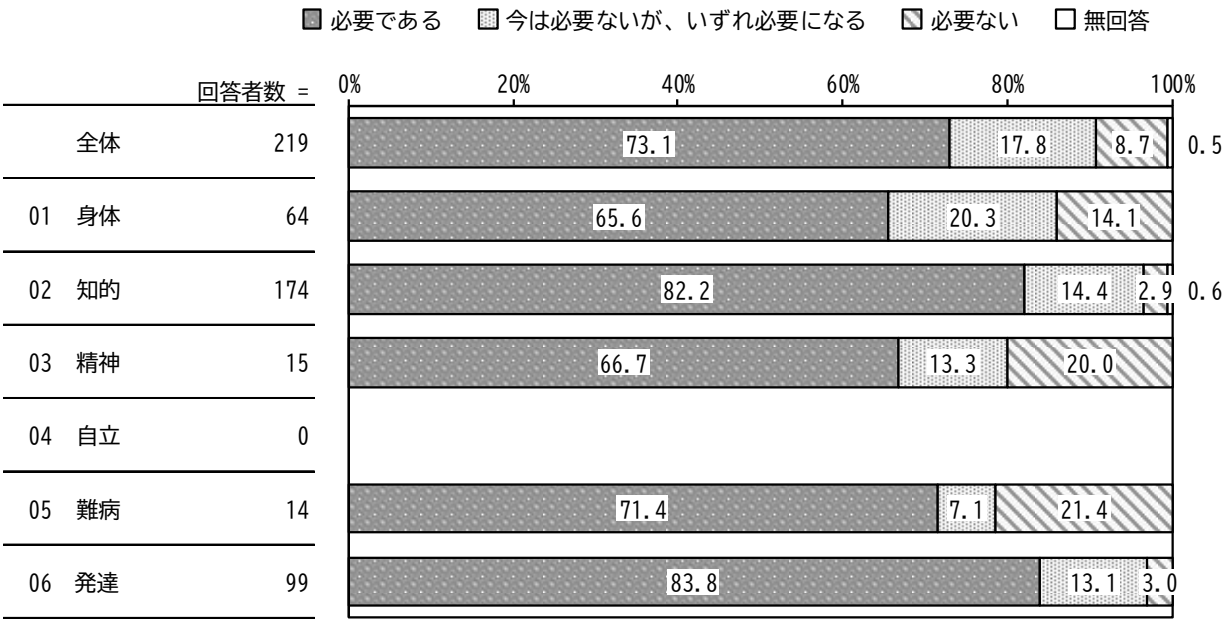


問 57　お子さんの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。【○は１つだけ】

「必要である」の割合が 73.1%、「今は必要ないが、いずれ必要になる」の割合が 17.8%、「必要ない」の割合が 8.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、発達で「必要である」、精神、難病で「必要ない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「必要である」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「必要である」の割合が高く、『三世代世帯』で「今は必要ないが、いずれ必要になる」「必要ない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「必要ない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「必要である」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「必要である」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「必要である」の割合が高く、『利用していない』で「今は必要ないが、いずれ必要になる」「必要ない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「今は必要ないが、いずれ必要になる」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「必要である」、『聴覚障害がある』で「必要ない」の割合が高くなっています。

		調査数	必要である	今は必要ないが、いずれ必要になる	必要ない	無回答
全　体		219	73.1	17.8	8.7	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	79.4	20.6	0.0	0.0
	６～８歳	44	90.9	6.8	2.3	0.0
	９～11歳	40	70.0	20.0	10.0	0.0
	12～14歳	39	59.0	17.9	20.5	2.6
	15～17歳	59	66.1	23.7	10.2	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	75.4	16.7	7.4	0.5
	三世代世帯	16	43.8	31.3	25.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	56.3	18.8	25.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	76.2	14.3	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	68.6	17.6	13.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	85.7	0.0	14.3	0.0
	その他	6	66.7	33.3	0.0	0.0
	あてはまらない	124	75.0	17.7	6.5	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	84.6	12.8	2.6	0.0
	40～59歳	151	74.8	17.2	7.3	0.7
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	50.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	65.7	19.2	14.1	1.0
	やや苦しい	93	79.6	15.1	5.4	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	85.7	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	167	90.4	7.2	1.8	0.6
	利用していない	51	17.6	51.0	31.4	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	61.1	27.8	11.1	0.0
	１年以上、３年未満	17	82.4	17.6	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	79.4	17.6	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	82.9	10.0	7.1	0.0
	10年以上	80	62.5	22.5	13.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	93.3	6.7	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	24	87.5	4.2	8.3	0.0
	視覚障害がある	7	71.4	14.3	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	60.0	20.0	20.0	0.0

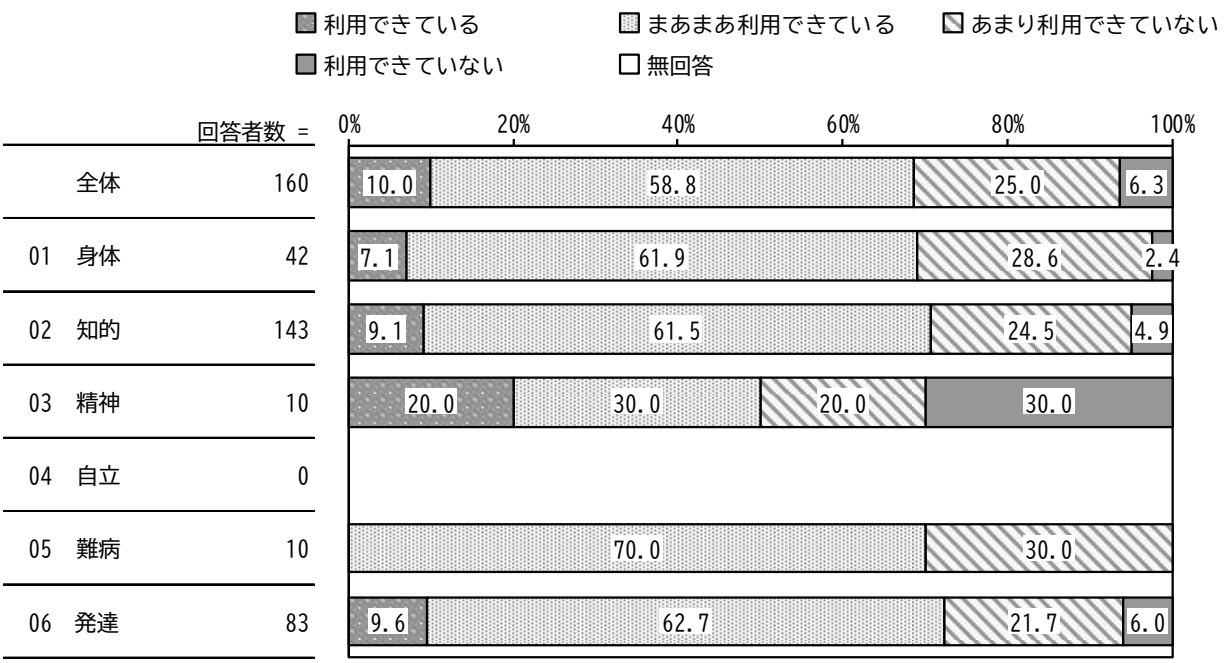
【問 58 は問 57 で「必要である」と回答された方にお聞きします。】

問 58　お子さんは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。
【○は１つだけ】

「まあまあ利用できている」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「あまり利用できていない」の割合が 25.0%、「利用できている」の割合が 10.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「利用できている」「利用できていない」、難病で「まあまあ利用できている」の割合が高くなっています。



【属性別】

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「利用できていない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「利用できていない」の割合が高く、『40～59 歳』で「あまり利用できていない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で「まあまあ利用できている」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「まあまあ利用できている」、『１年未満』で「あまり利用できていない」、『３年以上、５年未満』で「利用できていない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「あまり利用できていない」の割合が高く、『医療的ケアを受けている』で「まあまあ利用できている」の割合が高くなっています。

		調査数	利用できている	まあまあ利用できている	あまり利用できていない	利用できていない	無回答
全　体		160	10.0	58.8	25.0	6.3	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	27	18.5	51.9	25.9	3.7	0.0
	６～８歳	40	0.0	67.5	20.0	12.5	0.0
	９～11歳	28	17.9	53.6	25.0	3.6	0.0
	12～14歳	23	8.7	60.9	26.1	4.3	0.0
	15～17歳	39	10.3	53.8	30.8	5.1	0.0
世帯構成	核家族世帯	153	9.8	59.5	25.5	5.2	0.0
	三世代世帯	7	14.3	42.9	14.3	28.6	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	9	0.0	44.4	22.2	33.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	62.5	25.0	6.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	35	11.4	54.3	20.0	14.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	6	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
	その他	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	93	10.8	61.3	26.9	1.1	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	33	12.1	60.6	18.2	9.1	0.0
	40～59歳	113	9.7	61.1	25.7	3.5	0.0
	60歳代	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	65	10.8	69.2	13.8	6.2	0.0
	やや苦しい	74	9.5	51.4	33.8	5.4	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	18	11.1	44.4	33.3	11.1	0.0
サービス	利用している	151	10.6	61.6	24.5	3.3	0.0
	利用していない	9	0.0	11.1	33.3	55.6	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	11	9.1	45.5	45.5	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	14	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	27	7.4	44.4	25.9	22.2	0.0
	５年以上、10年未満	58	8.6	65.5	22.4	3.4	0.0
	10年以上	50	12.0	58.0	26.0	4.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	14	7.1	64.3	28.6	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	21	4.8	71.4	19.0	4.8	0.0
	視覚障害がある	5	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	6	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

【問 59 は問 58 で「あまり利用できていない」「利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問 59　必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。【○はいくつでも】

「定員がいっぱいで利用できない」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「利用したい時間や時期と合わない」の割合が 28.0%、「市内に利用したい事業所がない」、「自分に適したサービスがわからない」の割合が 18.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「通うのが大変」「利用したい時間や時期と合わない」「市内に利用したい事業所がない」「自分に適したサービスがわからない」の割合が高くなっています。

		調査数	自己負担が大きい	定員がいっぱいで利用できない	通うのが大変	利用したい時間や時期と合わない	市内に利用したい事業所がない	自分に適したサービスがわからない	サービスの利用方法がわからない	その他	無回答
全　体		50	14.0	56.0	12.0	28.0	18.0	18.0	16.0	8.0	4.0
障害種別	身体	13	15.4	53.8	23.1	38.5	30.8	30.8	7.7	7.7	0.0
	知的	42	16.7	57.1	11.9	28.6	14.3	14.3	19.0	7.1	4.8
	精神	5	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	発達	23	17.4	65.2	17.4	30.4	21.7	17.4	13.0	17.4	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、項目間で比べ、『６～８歳』で「定員がいっぱいで利用できない」の割合が高く、『15～17 歳』で「通うのが大変」「利用したい時間や時期と合わない」「市内に利用したい事業所がない」「自分に適したサービスがわからない」「サービスの利用方法がわからない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、項目間で比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「定員がいっぱいで利用できない」「通うのが大変」「利用したい時間や時期と合わない」「市内に利用したい事業所がない」の割合が高く、『あてはまらない』で「自己負担が大きい」「サービスの利用方法がわからない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、項目間で比べ、『まあまあゆとりがある』で「市内に利用したい事業所がない」「自分に適したサービスがわからない」の割合が高く、『やや苦しい』で「自己負担が大きい」「通うのが大変」「利用したい時間や時期と合わない」「サービスの利用方法がわからない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「利用したい時間や時期と合わない」の割合が高くなっています。

		調査数	自己負担が大きい	定員がいっぱいで利用できない	通うのが大変	利用したい時間や時期と合わない	市内に利用したい事業所がない	自分に適したサービスがわからない	サービスの利用方法がわからない	その他	無回答
全　体		50	14.0	56.0	12.0	28.0	18.0	18.0	16.0	8.0	4.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	8	12.5	62.5	50.0	25.0	37.5	25.0	0.0	25.0	0.0
	６～８歳	13	15.4	69.2	0.0	23.1	15.4	7.7	15.4	0.0	7.7
	９～11歳	8	25.0	37.5	12.5	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5
	12～14歳	7	0.0	42.9	0.0	28.6	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0
	15～17歳	14	14.3	57.1	7.1	28.6	21.4	21.4	21.4	14.3	0.0
世帯構成	核家族世帯	47	14.9	55.3	12.8	27.7	19.1	19.1	17.0	6.4	4.3
	三世代世帯	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	5	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	5	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	12	8.3	66.7	25.0	33.3	25.0	16.7	0.0	8.3	8.3
	病気などの理由で不自由な方がいる	3	33.3	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	その他	2	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	26	19.2	50.0	11.5	23.1	15.4	19.2	15.4	3.8	3.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	9	11.1	77.8	33.3	44.4	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1
	40～59歳	33	18.2	51.5	6.1	30.3	15.2	21.2	18.2	6.1	3.0
	60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	13	7.7	53.8	0.0	7.7	23.1	30.8	15.4	0.0	7.7
	やや苦しい	29	17.2	55.2	17.2	34.5	10.3	17.2	20.7	13.8	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	8	12.5	62.5	12.5	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5
サービス	利用している	42	16.7	59.5	9.5	33.3	16.7	14.3	11.9	7.1	4.8
	利用していない	8	0.0	37.5	25.0	0.0	25.0	37.5	37.5	12.5	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	5	20.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	１年以上、３年未満	2	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	13	15.4	53.8	7.7	7.7	15.4	7.7	23.1	15.4	7.7
	５年以上、10年未満	15	13.3	60.0	13.3	40.0	20.0	13.3	13.3	0.0	6.7
	10年以上	15	13.3	60.0	6.7	26.7	6.7	26.7	13.3	13.3	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	4	0.0	75.0	25.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	5	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	視覚障害がある	3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	聴覚障害がある	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

問 60　今から２年後にお子さんが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。【○はいくつでも】

「小学校や中学校、高校の放課後や長期休暇期間に子どもを預けられるサービス」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「学校や障害福祉サービス事業所（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス」の割合が 39.3%、「短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）」の割合が 36.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、発達で「短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）」「小学校や中学校、高校の放課後や長期休暇期間に子どもを預けられるサービス」の割合が高くなっています。

		調査数	訪問系サービス	短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）	保育所や学校などで集団生活をするために必要な能力を身につけるサービス	小学校や中学校、高校の放課後や長期休暇期間に子どもを預けられるサービス	学校や障害福祉サービス事業所（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス	その他	わからない	無回答
全　体		219	8.7	36.1	18.7	51.1	39.3	11.4	18.3	3.2 (%)
障害種別	身体	64	12.5	35.9	12.5	42.2	26.6	12.5	21.9	6.3
	知的	174	10.9	44.3	19.0	58.6	45.4	12.6	9.8	2.3
	精神	15	0.0	26.7	13.3	20.0	20.0	13.3	53.3	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	7.1	28.6	14.3	57.1	28.6	14.3	21.4	0.0
	発達	99	7.1	46.5	19.2	65.7	44.4	15.2	12.1	1.0

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』、『６～８歳』、『９～11 歳』で「小学校や中学校、高校の放課後や長期休暇期間に子どもを預けられるサービス」、『３～５歳』で「学校や障害福祉サービス事業所（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「訪問系サービス」「短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）」「小学校や中学校、高校の放課後や長期休暇期間に子どもを預けられるサービス」「学校や障害福祉サービス事業所（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス」の割合が高く、『三世代世帯』で「保育所や学校などで集団生活をするために必要な能力を身につけるサービス」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）」「保育所や学校などで集団生活をするために必要な能力を身につけるサービス」「学校や障害福祉サービス事業所（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「訪問系サービス」「短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）」の割合が高くなっています。

		調査数	訪問系サービス	短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）	保育所や学校などで集団生活をするために必要な能力を身につけるサービス	小学校や中学校、高校の放課後や長期休暇期間に子どもを預けられるサービス	学校や障害福祉サービス事業所（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス	その他	わからない	無回答
全　体		219	8.7	36.1	18.7	51.1	39.3	11.4	18.3	3.2 (%)
本人の年齢	0～2歳	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	3～5歳	34	5.9	20.6	41.2	76.5	64.7	2.9	8.8	0.0
	6～8歳	44	4.5	45.5	25.0	75.0	45.5	9.1	2.3	0.0
	9～11歳	40	7.5	42.5	22.5	75.0	37.5	12.5	7.5	5.0
	12～14歳	39	12.8	35.9	10.3	43.6	33.3	5.1	28.2	5.1
	15～17歳	59	10.2	33.9	1.7	8.5	25.4	22.0	35.6	5.1
世帯構成	核家族世帯	203	9.4	37.4	18.2	52.7	40.4	11.3	16.7	3.0
	三世代世帯	16	0.0	18.8	25.0	31.3	25.0	12.5	37.5	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	18.8	18.8	37.5	18.8	12.5	37.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	19.0	42.9	14.3	33.3	28.6	4.8	28.6	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	9.8	29.4	33.3	62.7	47.1	11.8	21.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	28.6	28.6	57.1	28.6	28.6	14.3	0.0
	その他	6	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0
	あてはまらない	124	8.1	39.5	13.7	50.8	40.3	10.5	15.3	4.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	5.1	35.9	43.6	66.7	38.5	7.7	7.7	0.0
	40～59歳	151	9.9	41.7	13.2	51.7	42.4	13.2	15.9	2.6
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	5.1	30.3	13.1	50.5	36.4	9.1	19.2	6.1
	やや苦しい	93	11.8	36.6	21.5	50.5	38.7	11.8	20.4	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	14.3	61.9	33.3	57.1	57.1	19.0	4.8	0.0
サービス	利用している	167	10.2	45.5	21.0	59.9	47.3	12.0	8.4	2.4
	利用していない	51	3.9	5.9	11.8	23.5	13.7	9.8	49.0	5.9
障害に気づいた時期	1年未満	18	5.6	27.8	16.7	38.9	27.8	0.0	27.8	5.6
	1年以上、3年未満	17	11.8	35.3	58.8	70.6	52.9	11.8	11.8	0.0
	3年以上、5年未満	34	14.7	23.5	29.4	70.6	41.2	8.8	8.8	0.0
	5年以上、10年未満	70	8.6	47.1	20.0	67.1	47.1	8.6	10.0	0.0
	10年以上	80	6.3	33.8	5.0	27.5	31.3	17.5	28.8	7.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	73.3	0.0	53.3	33.3	6.7	0.0	13.3
	医療的ケアを受けている	24	20.8	50.0	12.5	54.2	37.5	8.3	16.7	8.3
	視覚障害がある	7	0.0	42.9	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	20.0	20.0	40.0	30.0	20.0	30.0	0.0

問 61　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。
【○はいくつでも】

「障害の特性上、避難所にいることが困難」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が 46.1%、「避難時に介助してくれる人がいない」の割合が 29.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体、難病で「避難所で十分な医療的ケアが受けられない」、精神で「障害の特性上、避難所にいることが困難」「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が高くなっています。

		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特にない	無回答
全　体		219	17.8	19.2	29.7	14.6	13.7	49.3	46.1	12.3	10.5	0.5 (%)
障害種別	身体	64	15.6	17.2	37.5	10.9	28.1	29.7	34.4	26.6	14.1	0.0
	知的	174	21.3	21.8	33.9	17.8	11.5	56.9	50.0	8.0	8.6	0.6
	精神	15	20.0	20.0	26.7	13.3	6.7	73.3	60.0	13.3	6.7	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	0.0	21.4	28.6	7.1	28.6	7.1	21.4	42.9	14.3	0.0
	発達	99	17.2	17.2	30.3	14.1	4.0	67.7	56.6	12.1	6.1	0.0

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「避難時に介助してくれる人がいない」「障害の特性上、避難所にいることが困難」「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「避難時に介助してくれる人がいない」「障害の特性上、避難所にいることが困難」の割合が高く、『三世代世帯』で「避難所の場所がわからない」「災害や避難の情報の入手方法がわからない」「助けを呼ぶための手段がない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「避難所の場所がわからない」「避難時に介助してくれる人がいない」「助けを呼ぶための手段がない」「避難所で十分な医療的ケアが受けられない」「障害の特性上、避難所にいることが困難」「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「避難所の場所がわからない」「避難時に介助してくれる人がいない」「障害の特性上、避難所にいることが困難」、『医療的ケアを受けている』で「助けを呼ぶための手段がない」、『医療的ケアを受けている』、『聴覚障害がある』で「避難所で十分な医療的ケアが受けられない」、『聴覚障害がある』で「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が高くなっています。

		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特にない	無回答	
全　体		219	17.8	19.2	29.7	14.6	13.7	49.3	46.1	12.3	10.5	0.5	(%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	34	8.8	20.6	35.3	8.8	17.6	58.8	41.2	8.8	5.9	0.0	
	６～８歳	44	18.2	20.5	40.9	15.9	9.1	63.6	61.4	6.8	4.5	0.0	
	９～11歳	40	17.5	12.5	27.5	15.0	17.5	55.0	37.5	20.0	7.5	2.5	
	12～14歳	39	28.2	25.6	25.6	20.5	10.3	48.7	41.0	5.1	12.8	0.0	
	15～17歳	59	16.9	16.9	22.0	11.9	11.9	30.5	44.1	18.6	18.6	0.0	
世帯構成	核家族世帯	203	17.2	18.2	31.0	13.8	13.8	50.2	46.3	12.8	9.9	0.5	
	三世代世帯	16	25.0	31.3	12.5	25.0	12.5	37.5	43.8	6.3	18.8	0.0	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	31.3	31.3	6.3	25.0	6.3	25.0	50.0	6.3	18.8	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	21	28.6	28.6	28.6	19.0	19.0	47.6	52.4	0.0	4.8	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	13.7	19.6	33.3	11.8	11.8	54.9	37.3	13.7	9.8	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	28.6	57.1	0.0	14.3	71.4	71.4	28.6	0.0	0.0	
	その他	6	33.3	16.7	33.3	33.3	0.0	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0	
	あてはまらない	124	14.5	16.9	28.2	12.1	13.7	48.4	47.6	12.9	12.1	0.8	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	39	12.8	17.9	25.6	10.3	15.4	48.7	43.6	10.3	7.7	0.0	
	40～59歳	151	20.5	21.9	35.1	15.9	15.9	54.3	49.0	12.6	7.3	0.0	
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	33.3	0.0	
	まあまあゆとりがある	99	10.1	12.1	15.2	10.1	11.1	42.4	38.4	13.1	16.2	1.0	
	やや苦しい	93	23.7	26.9	38.7	14.0	12.9	50.5	49.5	12.9	4.3	0.0	
	不自由が多く、生活が苦しい	21	33.3	23.8	57.1	38.1	28.6	76.2	76.2	4.8	4.8	0.0	
サービス	利用している	167	18.0	18.6	32.9	16.8	14.4	58.7	49.7	10.2	8.4	0.0	
	利用していない	51	15.7	19.6	19.6	7.8	11.8	19.6	35.3	19.6	17.6	2.0	
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	27.8	11.1	0.0	16.7	33.3	55.6	11.1	16.7	5.6	
	１年以上、３年未満	17	17.6	29.4	52.9	29.4	17.6	76.5	70.6	5.9	0.0	0.0	
	３年以上、５年未満	34	8.8	23.5	29.4	8.8	11.8	58.8	38.2	2.9	8.8	0.0	
	５年以上、10年未満	70	20.0	15.7	32.9	17.1	17.1	57.1	52.9	12.9	5.7	0.0	
	10年以上	80	22.5	16.3	26.3	15.0	10.0	36.3	36.3	17.5	16.3	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	15	33.3	13.3	53.3	13.3	20.0	60.0	46.7	26.7	6.7	0.0	
	医療的ケアを受けている	24	8.3	20.8	50.0	25.0	29.2	54.2	20.8	20.8	4.2	0.0	
	視覚障害がある	7	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	28.6	57.1	0.0	
	聴覚障害がある	10	10.0	10.0	30.0	0.0	30.0	20.0	90.0	20.0	0.0	0.0	

7　地域生活支援事業について

問 62　お子さんは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。【○はいくつでも】

「移動支援」の割合が 8.7%、「日中一時支援」の割合が 12.8%、「利用したことがない」の割合が 82.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「移動支援」の割合が高くなっています。

		調査数	移動支援	日中一時支援	利用したことがない	無回答
全　体		219	8.7	12.8	82.6	0.5 (%)
障害種別	身体	64	14.1	18.8	76.6	0.0
	知的	174	9.8	16.1	79.9	0.0
	精神	15	20.0	6.7	80.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	7.1	7.1	78.6	7.1
	発達	99	6.1	12.1	84.8	0.0

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「移動支援」、『６～８歳』、『12～14 歳』で「日中一時支援」、『９～11 歳』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「移動支援」の割合が高く、『三世代世帯』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「移動支援」「日中一時支援」、『65 歳以上の高齢者がいる』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「利用したことがない」の割合が高く、『40～59 歳』で「移動支援」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「移動支援」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「移動支援」「日中一時支援」の割合が高く、『利用していない』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「移動支援」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「移動支援」「日中一時支援」の割合が高くなっています。

		調査数	移動支援	日中一時支援	利用したことがない	無回答
全　体		219	8.7	12.8	82.6	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	11.8	85.3	2.9
	６～８歳	44	13.6	18.2	77.3	0.0
	９～11歳	40	5.0	7.5	90.0	0.0
	12～14歳	39	15.4	17.9	76.9	0.0
	15～17歳	59	8.5	10.2	83.1	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	9.4	12.8	82.3	0.5
	三世代世帯	16	0.0	12.5	87.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	6.3	93.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	19.0	23.8	66.7	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	5.9	11.8	88.2	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	0.0	85.7	0.0
	その他	6	0.0	16.7	83.3	0.0
	あてはまらない	124	8.9	12.1	82.3	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	2.6	10.3	89.7	0.0
	40～59歳	151	10.6	14.6	80.8	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	0.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	16.7	83.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	10.1	13.1	80.8	1.0
	やや苦しい	93	6.5	12.9	84.9	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	14.3	9.5	81.0	0.0
サービス	利用している	167	10.8	16.8	77.8	0.6
	利用していない	51	2.0	0.0	98.0	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	16.7	5.6	83.3	0.0
	１年以上、３年未満	17	5.9	17.6	76.5	5.9
	３年以上、５年未満	34	8.8	8.8	85.3	0.0
	５年以上、10年未満	70	7.1	14.3	84.3	0.0
	10年以上	80	8.8	13.8	81.3	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	33.3	40.0	53.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	12.5	16.7	75.0	4.2
	視覚障害がある	7	28.6	14.3	71.4	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	10.0	80.0	0.0

(%)

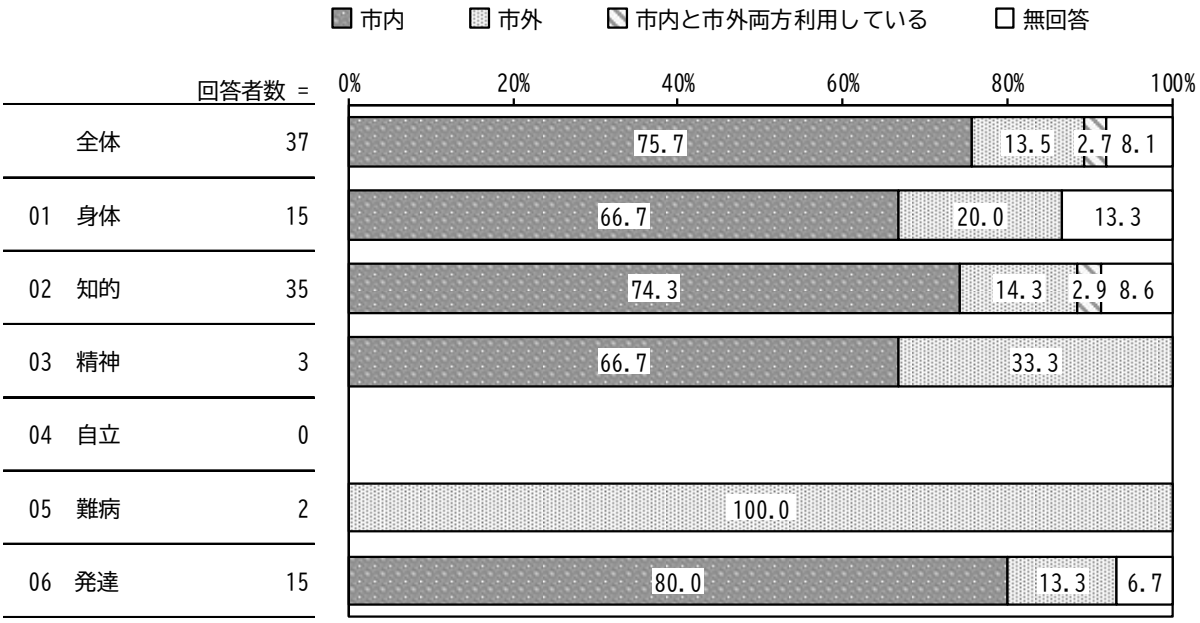
【問 63 は問 62 で「利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問 63　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。
【○は１つだけ】

「市内」の割合が 75.7%、「市外」の割合が 13.5%、「市内と市外両方利用している」の割合が 2.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「市外」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「市内」「市内と市外両方利用している」の割合が高く、『15～17 歳』で「市外」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で「市内」「市内と市外両方利用している」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で「市内と市外両方利用している」の割合が高く、『10 年以上』で「市内」の割合が高くなっています。

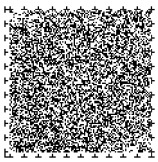
		調査数	市内	市外	市内と市外両方利用している	無回答	
全　体		37	75.7	13.5	2.7	8.1	(%)
本人の年齢	０～２歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	３～５歳	4	75.0	25.0	0.0	0.0	
	６～８歳	10	80.0	0.0	10.0	10.0	
	９～11歳	4	75.0	25.0	0.0	0.0	
	12～14歳	9	77.8	11.1	0.0	11.1	
	15～17歳	10	70.0	20.0	0.0	10.0	
世帯構成	核家族世帯	35	74.3	14.3	2.9	8.6	
	三世代世帯	2	100.0	0.0	0.0	0.0	
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
	障害者手帳所持者がいる	7	71.4	28.6	0.0	0.0	
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	6	83.3	16.7	0.0	0.0	
	病気などの理由で不自由な方がいる	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
	あてはまらない	21	66.7	14.3	4.8	14.3	
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	18～39歳	4	75.0	0.0	0.0	25.0	
	40～59歳	29	79.3	13.8	0.0	6.9	
	60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
生活困窮	ゆとりがある	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
	まあまあゆとりがある	18	77.8	11.1	5.6	5.6	
	やや苦しい	14	71.4	14.3	0.0	14.3	
	不自由が多く、生活が苦しい	4	75.0	25.0	0.0	0.0	
サービス	利用している	36	75.0	13.9	2.8	8.3	
	利用していない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
障害に気づいた時期	１年未満	3	66.7	33.3	0.0	0.0	
	１年以上、３年未満	3	100.0	0.0	0.0	0.0	
	３年以上、５年未満	5	60.0	20.0	0.0	20.0	
	５年以上、10年未満	11	72.7	9.1	9.1	9.1	
	10年以上	15	80.0	13.3	0.0	6.7	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特徴的な状態	重度心身障害	7	85.7	14.3	0.0	0.0	
	医療的ケアを受けている	5	80.0	20.0	0.0	0.0	
	視覚障害がある	2	50.0	0.0	0.0	50.0	
	聴覚障害がある	2	50.0	50.0	0.0	0.0	

【問 64 は問 63 で「市外」「市内と市外両方利用している」と回答された方にお聞きします。】

問 64　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

自由意見

●メインの事業所の定員オーバーの曜日だけやむを得ず利用している。
●市内に空きがある事業所を見つけられない。
●子どもが昨年まで外出時に医療的ケアが必要だったが、医療的ケア児を学校まで送迎してくれる事業所が市内になかったため。
●市内に使える事業所がないため。
●市内でみつからなかったから。



問 65　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。
【○はいくつでも】

「サービス事業者が少ない」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が 37.9%、「サービス利用の手続きが大変」の割合が 21.9%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「サービス事業者が少ない」、精神で「サービス利用の手続きが大変」の割合が高くなっています。

		調査数	サービス提供や内容に関する情報が少ない	サービス事業者が少ない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日時が少ない	サービスの質について	他の利用者との関係について	利用者負担について	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		219	37.9	43.4	21.9	17.4	18.3	8.2	2.3	11.4	6.8	22.4	10.0
障害種別	身体	64	37.5	42.2	15.6	15.6	21.9	6.3	1.6	7.8	9.4	28.1	9.4
	知的	174	41.4	48.9	25.3	19.5	20.7	9.2	2.9	13.8	6.9	14.9	10.9
	精神	15	40.0	33.3	33.3	13.3	13.3	13.3	0.0	0.0	20.0	26.7	6.7
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	50.0	57.1	28.6	21.4	7.1	0.0	0.0	14.3	21.4	21.4	0.0
	発達	99	46.5	49.5	27.3	19.2	19.2	10.1	3.0	15.2	9.1	14.1	9.1

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」「利用できる回数や日時が少ない」「利用者負担について」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が高く、『40～59 歳』で「サービスの質について」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」「利用できる回数や日時が少ない」「サービスの質について」「他の利用者との関係について」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」「利用できる回数や日時が少ない」「サービスの質について」「利用者負担について」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「サービス提供や内容に関する情報が少ない」「サービス事業者が少ない」「サービス利用の手続きが大変」「事業者との日時などの調整が大変」「利用できる回数や日時が少ない」の割合が高くなっています。

		調査数	サービス提供や内容に関する情報が少ない	サービス事業者が少ない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日時が少ない	サービスの質について	他の利用者との関係について	利用者負担について	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		219	37.9	43.4	21.9	17.4	18.3	8.2	2.3	11.4	6.8	22.4	10.0 (%)
本人の年齢	0～2歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	3～5歳	34	50.0	41.2	14.7	14.7	23.5	8.8	2.9	14.7	0.0	20.6	14.7
	6～8歳	44	50.0	47.7	43.2	34.1	27.3	13.6	6.8	11.4	2.3	11.4	9.1
	9～11歳	40	40.0	52.5	15.0	20.0	15.0	5.0	2.5	10.0	7.5	25.0	7.5
	12～14歳	39	30.8	43.6	15.4	7.7	15.4	5.1	0.0	10.3	7.7	28.2	15.4
	15～17歳	59	27.1	37.3	20.3	11.9	13.6	8.5	0.0	11.9	13.6	23.7	5.1
世帯構成	核家族世帯	203	38.9	45.3	22.7	18.2	19.2	8.4	2.5	12.3	4.9	21.2	10.3
	三世代世帯	16	25.0	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	31.3	37.5	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	31.3	18.8	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	31.3	43.8	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	19.0	38.1	23.8	14.3	19.0	0.0	0.0	14.3	9.5	23.8	23.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	54.9	52.9	25.5	21.6	27.5	7.8	3.9	13.7	2.0	17.6	9.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	57.1	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3
	その他	6	33.3	50.0	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	あてはまらない	124	35.5	41.1	20.2	16.9	12.9	8.9	2.4	9.7	4.8	24.2	8.9
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	64.1	43.6	25.6	17.9	20.5	2.6	2.6	12.8	2.6	17.9	7.7
	40～59歳	151	33.1	47.0	22.5	19.2	19.2	9.9	2.6	11.9	8.6	19.2	11.3
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7
	まあまあゆとりがある	99	38.4	39.4	21.2	14.1	10.1	5.1	0.0	5.1	8.1	25.3	11.1
	やや苦しい	93	36.6	44.1	21.5	17.2	20.4	8.6	1.1	17.2	6.5	20.4	9.7
	不自由が多く、生活が苦しい	21	42.9	66.7	33.3	38.1	52.4	23.8	19.0	19.0	4.8	9.5	4.8
サービス	利用している	167	40.7	52.7	24.6	20.4	22.2	9.6	3.0	13.2	6.6	13.8	10.2
	利用していない	51	29.4	13.7	13.7	7.8	5.9	3.9	0.0	5.9	7.8	49.0	9.8
障害に気づいた時期	１年未満	18	16.7	38.9	11.1	16.7	11.1	5.6	0.0	16.7	5.6	33.3	11.1
	１年以上、３年未満	17	41.2	29.4	5.9	11.8	23.5	5.9	0.0	5.9	0.0	23.5	17.6
	３年以上、５年未満	34	44.1	29.4	23.5	17.6	17.6	8.8	0.0	11.8	2.9	17.6	14.7
	５年以上、10年未満	70	50.0	54.3	34.3	25.7	21.4	10.0	7.1	14.3	5.7	15.7	8.6
	10年以上	80	28.8	43.8	16.3	11.3	16.3	7.5	0.0	8.8	11.3	27.5	7.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	53.3	60.0	40.0	33.3	33.3	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	13.3
	医療的ケアを受けている	24	29.2	33.3	4.2	4.2	20.8	0.0	0.0	12.5	12.5	20.8	20.8
	視覚障害がある	7	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3
	聴覚障害がある	10	20.0	30.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	50.0	0.0

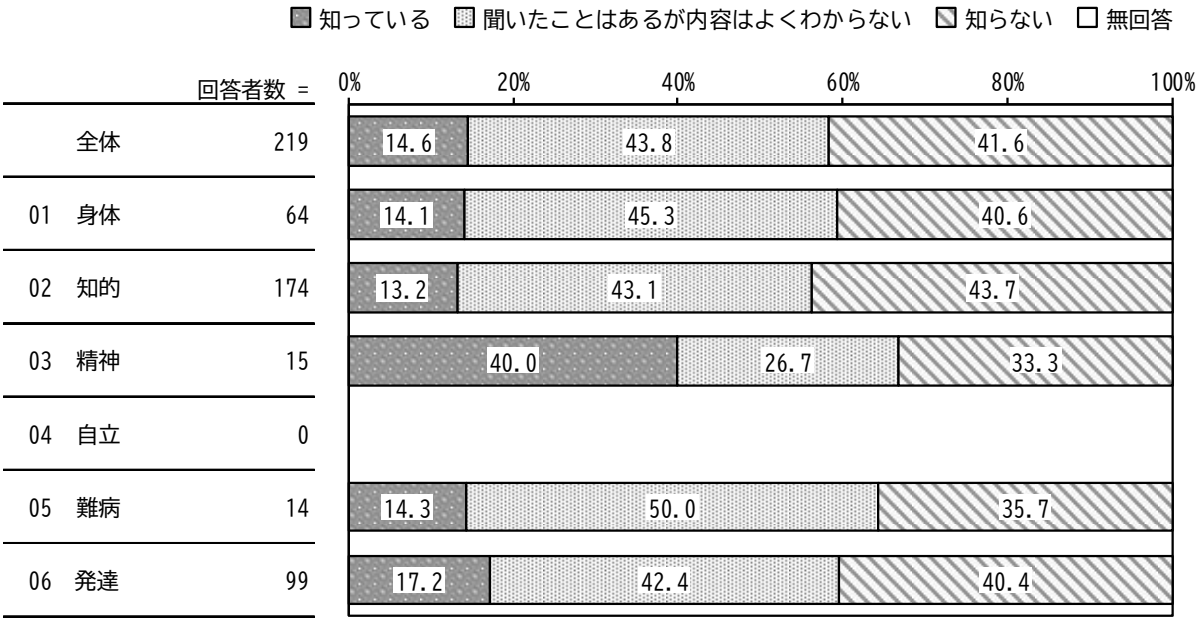
8　子どもの意見の尊重について

問 66　平成 30 年 10 月より施行された「西東京市子ども条例」を知っていますか。
【○は１つだけ】

「知っている」の割合が 14.6%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」の割合が 43.8%、「知らない」の割合が 41.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で「知っている」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で「聞いたことはあるが内容はよくわからない」、『３～５歳』で「知らない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「聞いたことはあるが内容はよくわからない」「知らない」の割合が高く、『三世代世帯』で「知っている」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「知っている」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「知らない」の割合が高く、『40～59 歳』で「聞いたことはあるが内容はよくわからない」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「知らない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で「知っている」、『１年以上、３年未満』、『３年以上、５年未満』で「知らない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で「知っている」の割合が高くなっています。

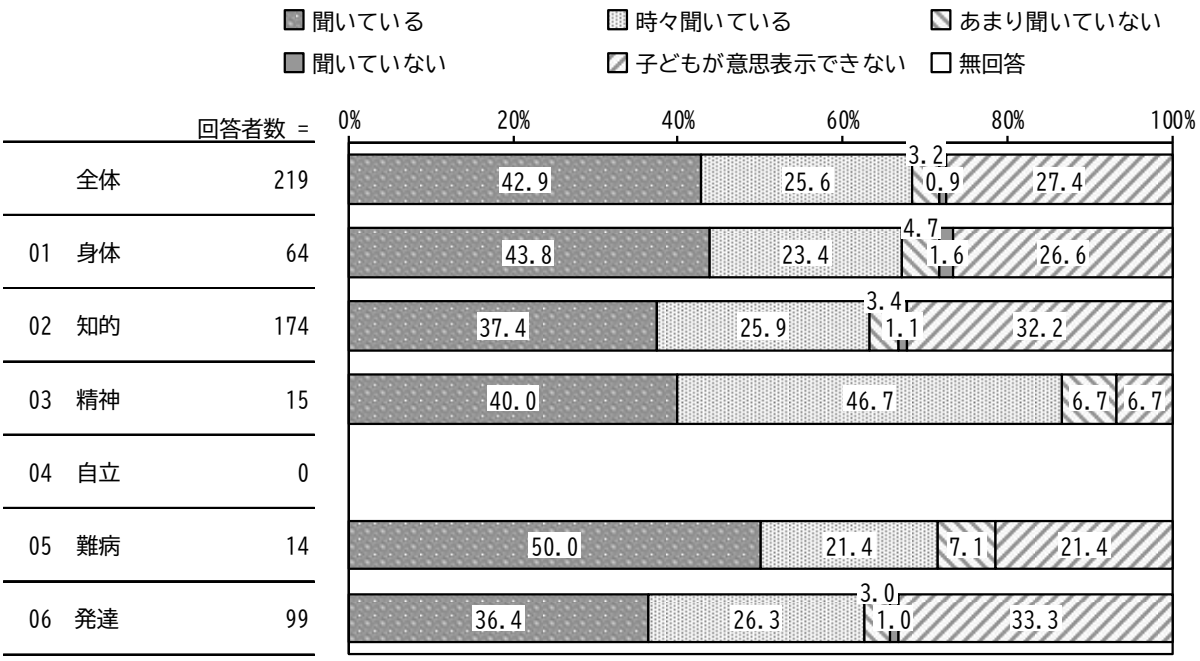
		調査数	知っている	聞いたことはあるが内容はよくわからない	知らない	無回答
全　体		219	14.6	43.8	41.6	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0
	３～５歳	34	2.9	35.3	61.8	0.0
	６～８歳	44	11.4	43.2	45.5	0.0
	９～11歳	40	17.5	47.5	35.0	0.0
	12～14歳	39	15.4	64.1	20.5	0.0
	15～17歳	59	20.3	33.9	45.8	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	12.8	44.8	42.4	0.0
	三世代世帯	16	37.5	31.3	31.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	37.5	25.0	37.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	19.0	42.9	38.1	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	15.7	33.3	51.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	42.9	28.6	0.0
	その他	6	0.0	16.7	83.3	0.0
	あてはまらない	124	12.1	50.8	37.1	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	15.4	30.8	53.8	0.0
	40～59歳	151	14.6	50.3	35.1	0.0
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	0.0	66.7	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	99	18.2	44.4	37.4	0.0
	やや苦しい	93	11.8	44.1	44.1	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	14.3	33.3	52.4	0.0
サービス	利用している	167	15.0	43.7	41.3	0.0
	利用していない	51	13.7	45.1	41.2	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	27.8	38.9	33.3	0.0
	１年以上、３年未満	17	5.9	41.2	52.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	5.9	38.2	55.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	17.1	40.0	42.9	0.0
	10年以上	80	15.0	51.3	33.8	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	0.0	53.3	46.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	25.0	41.7	33.3	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	57.1	28.6	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	40.0	50.0	0.0

問 67　あなたは、家で何かを決めるとき、障害のあるお子さんの意見を聞いていますか。
【○は１つだけ】

「聞いている」「時々聞いている」を合わせた“聞いている”の割合が 68.5%、「あまり聞いていない」「聞いていない」を合わせた“聞いていない”の割合が 4.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“聞いている”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『０～２歳』から『12～14 歳』まで年齢が上がるほど“聞いている”の割合が高く、『12～14 歳』から『０～２歳』まで年齢が下がるほど「子どもが意思表示できない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で“聞いている”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“聞いている”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『17 歳以下』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど“聞いている”の割合が高い傾向にあり、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど「時々聞いている」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“聞いている”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で“聞いている”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『10 年以上』で“聞いている”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で“聞いている”の割合が低くなっています。

		調査数	聞いている	時々聞いている	あまり聞いていない	聞いていない	子どもが意思表示できない	無回答
全　体		219	42.9	25.6	3.2	0.9	27.4	0.0 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	３～５歳	34	29.4	17.6	0.0	0.0	52.9	0.0
	６～８歳	44	25.0	31.8	2.3	2.3	38.6	0.0
	９～11歳	40	47.5	27.5	2.5	0.0	22.5	0.0
	12～14歳	39	59.0	25.6	2.6	0.0	12.8	0.0
	15～17歳	59	52.5	25.4	6.8	1.7	13.6	0.0
世帯構成	核家族世帯	203	42.4	24.6	3.4	0.5	29.1	0.0
	三世代世帯	16	50.0	37.5	0.0	6.3	6.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	56.3	31.3	6.3	6.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	38.1	33.3	0.0	0.0	28.6	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	33.3	27.5	3.9	0.0	35.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	6	50.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	あてはまらない	124	46.0	22.6	3.2	0.8	27.4	0.0
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	41.0	25.6	5.1	0.0	28.2	0.0
	40～59歳	151	40.4	26.5	3.3	1.3	28.5	0.0
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	50.5	27.3	4.0	0.0	18.2	0.0
	やや苦しい	93	37.6	25.8	2.2	2.2	32.3	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	21	23.8	19.0	4.8	0.0	52.4	0.0
サービス	利用している	167	35.3	26.3	3.0	1.2	34.1	0.0
	利用していない	51	66.7	23.5	3.9	0.0	5.9	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	33.3	38.9	5.6	0.0	22.2	0.0
	１年以上、３年未満	17	23.5	5.9	0.0	0.0	70.6	0.0
	３年以上、５年未満	34	35.3	26.5	5.9	0.0	32.4	0.0
	５年以上、10年未満	70	37.1	30.0	1.4	1.4	30.0	0.0
	10年以上	80	57.5	22.5	3.8	1.3	15.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	33.3	26.7	6.7	0.0	33.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	37.5	16.7	0.0	4.2	41.7	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	50.0	10.0	10.0	0.0	30.0	0.0

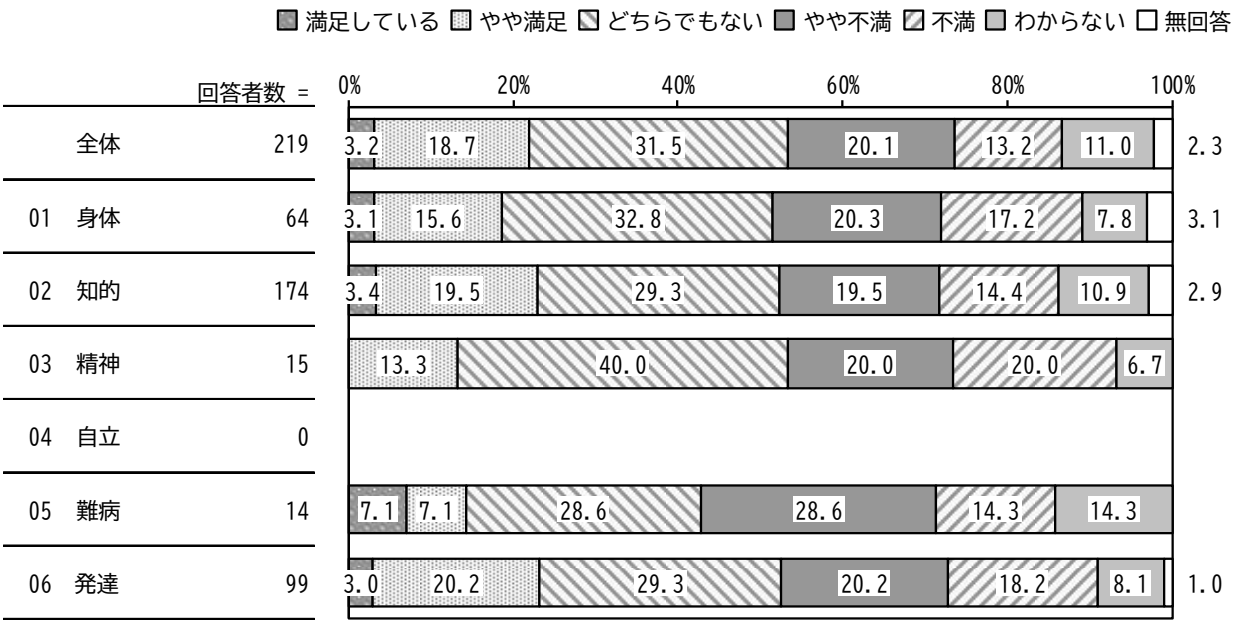
9　西東京市について

問 68　西東京市の障害児施策全般について、総合的に満足していますか。【○は１つだけ】

「満足している」「やや満足」を合わせた“満足している”の割合が 21.9%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が 33.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神、難病で“不満”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』から『０～２歳』まで年齢が下がるほど“不満”の割合が高く、『15～17 歳』から『６～８歳』まで年齢が下がるほど「やや満足」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“不満”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“満足している”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『60 歳代』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど“不満”の割合が高く、『40～59 歳』から『70 歳代』まで年齢が上がるほど「やや満足」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“不満”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“不満”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で“不満”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で“不満”の割合が高くなっています。

		調査数	満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
全　体		219	3.2	18.7	31.5	20.1	13.2	11.0	2.3 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
	３～５歳	34	0.0	14.7	35.3	23.5	17.6	5.9	2.9
	６～８歳	44	2.3	25.0	27.3	25.0	13.6	4.5	2.3
	９～11歳	40	2.5	22.5	32.5	22.5	12.5	7.5	0.0
	12～14歳	39	5.1	20.5	35.9	23.1	2.6	10.3	2.6
	15～17歳	59	5.1	13.6	28.8	11.9	15.3	22.0	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	3.0	17.7	31.5	20.7	14.3	10.8	2.0
	三世代世帯	16	6.3	31.3	31.3	12.5	0.0	12.5	6.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	0.0	50.0	18.8	12.5	0.0	12.5	6.3
	障害者手帳所持者がいる	21	0.0	14.3	38.1	19.0	19.0	4.8	4.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	2.0	11.8	31.4	19.6	23.5	9.8	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	0.0	14.3	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0
	その他	6	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	あてはまらない	124	4.8	18.5	33.9	21.0	8.1	12.1	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	0.0	25.6	20.5	25.6	17.9	5.1	5.1
	40～59歳	151	4.0	17.9	35.8	19.2	11.3	9.9	2.0
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
	まあまあゆとりがある	99	1.0	26.3	30.3	19.2	9.1	11.1	3.0
	やや苦しい	93	4.3	14.0	36.6	21.5	12.9	9.7	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	0.0	0.0	23.8	23.8	38.1	14.3	0.0
サービス	利用している	167	3.0	19.8	31.1	22.8	14.4	6.0	3.0
	利用していない	51	3.9	13.7	33.3	11.8	9.8	27.5	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	5.6	16.7	55.6	11.1	5.6	5.6	0.0
	１年以上、３年未満	17	0.0	0.0	35.3	35.3	23.5	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	0.0	29.4	20.6	20.6	20.6	5.9	2.9
	５年以上、10年未満	70	0.0	20.0	31.4	24.3	14.3	8.6	1.4
	10年以上	80	7.5	17.5	30.0	15.0	8.8	17.5	3.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	6.7	26.7	33.3	20.0	0.0	6.7
	医療的ケアを受けている	24	0.0	20.8	37.5	20.8	20.8	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	0.0	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	0.0	0.0	40.0	10.0	30.0	20.0	0.0

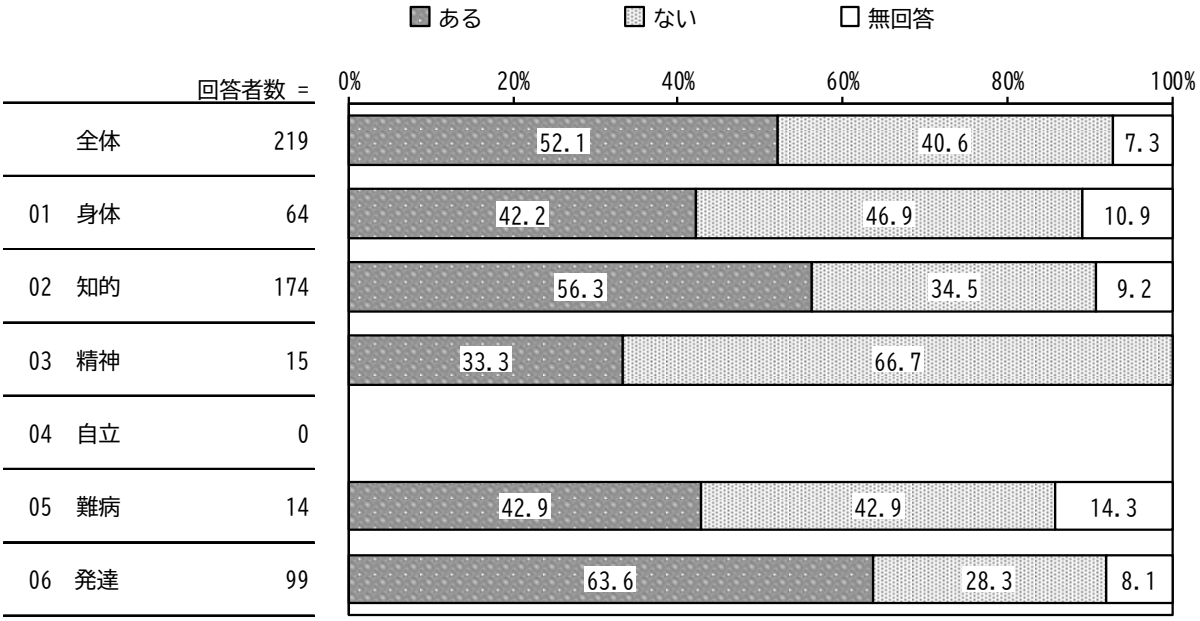
【問 69～71 はお子さんの意思を確認して回答をお願いします。】

問 69　自分の家以外に、西東京市内に居心地のいい場所はありますか。

「ある」の割合が 52.1%、「ない」の割合が 40.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、発達で「ある」、精神で「ない」の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『９～11 歳』で「ある」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で「ない」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で「ある」の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「ある」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『まあまあゆとりがある』で「ある」、『やや苦しい』で「ない」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で「ない」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で「ある」の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「ない」の割合が低くなっています。

		調査数	ある	ない	無回答
全　体		219	52.1	40.6	7.3 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	66.7	33.3	0.0
	３～５歳	34	50.0	38.2	11.8
	６～８歳	44	47.7	36.4	15.9
	９～11歳	40	62.5	35.0	2.5
	12～14歳	39	53.8	43.6	2.6
	15～17歳	59	47.5	47.5	5.1
世帯構成	核家族世帯	203	53.2	38.9	7.9
	三世代世帯	16	37.5	62.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	50.0	50.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	42.9	47.6	9.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	39.2	45.1	15.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	28.6	0.0
	その他	6	16.7	66.7	16.7
	あてはまらない	124	59.7	35.5	4.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	61.5	33.3	5.1
	40～59歳	151	51.7	40.4	7.9
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	33.3	16.7
	まあまあゆとりがある	99	57.6	36.4	6.1
	やや苦しい	93	46.2	46.2	7.5
	不自由が多く、生活が苦しい	21	52.4	38.1	9.5
サービス	利用している	167	57.5	32.9	9.6
	利用していない	51	33.3	66.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	61.1	38.9	0.0
	１年以上、３年未満	17	52.9	35.3	11.8
	３年以上、５年未満	34	38.2	50.0	11.8
	５年以上、10年未満	70	52.9	40.0	7.1
	10年以上	80	55.0	38.8	6.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	53.3	26.7	20.0
	医療的ケアを受けている	24	45.8	41.7	12.5
	視覚障害がある	7	42.9	57.1	0.0
	聴覚障害がある	10	60.0	40.0	0.0

【問 70 は問 69 で「ある」と回答された方にお聞きします。】

問 70　その場所を具体的にお答えください。

自由意見	85　件
放課後等デイサービス	40　件
学校	13　件
公園	10　件
友達の家	4　件
祖父母の家等	4　件
公共施設、複合施設（図書館、市民プール等）	4　件
商業施設	3　件
習い事・教室	3　件
保育園・幼稚園	2　件
その他	2　件

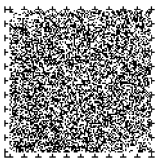
※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【放課後等デイサービス】

●放デイは、大好きで一時も手離さない歌の本を渡して部屋の中に自分から入っていくほど、大好きな場所であると思う。

●児童発達支援事業所

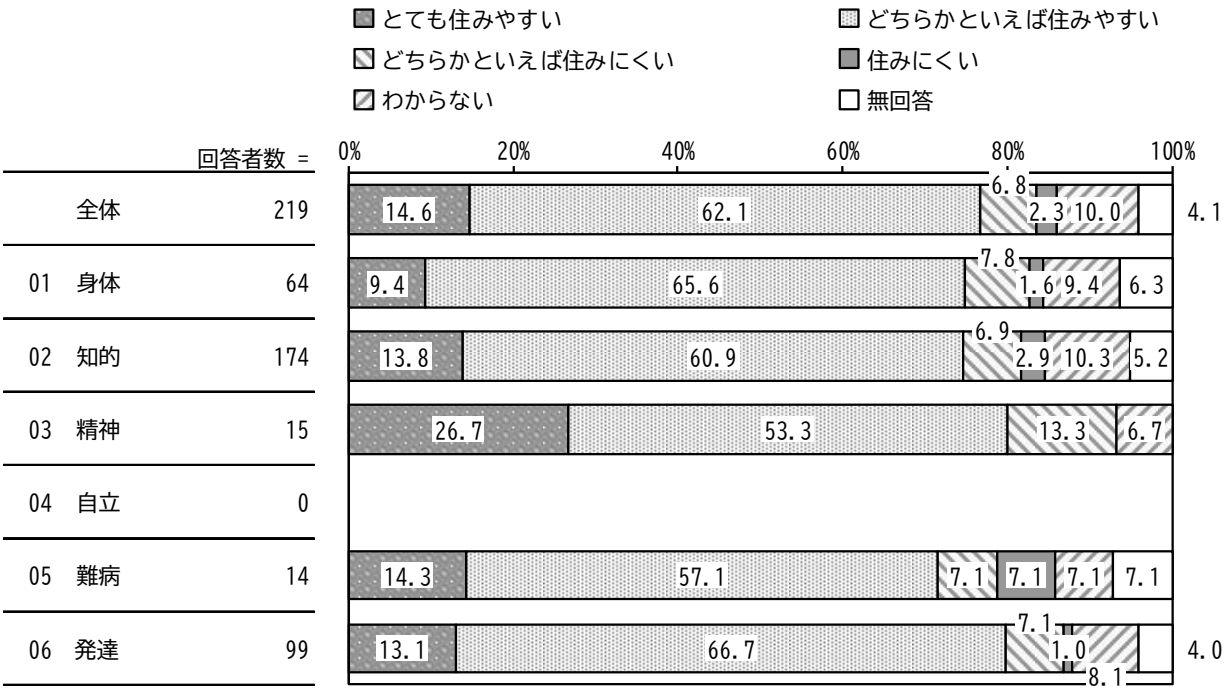


問 71　西東京市は住みやすいまちだと思いますか。【○は１つだけ】

「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が 76.7%、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が 9.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“住みにくい”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』で“住みやすい”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で“住みやすい”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で“住みにくい”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『17 歳以下』から『60 歳代』まで年齢が上がるほど“住みやすい”の割合が高く、『60 歳代』から『18～39 歳』まで年齢が下がるほど「どちらかといえば住みにくい」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“住みにくい”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用していない』で“住みやすい”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『５年以上、10 年未満』で“住みやすい”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“住みにくい”の割合が高くなっています。

		調査数	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	わからない	無回答
全　体		219	14.6	62.1	6.8	2.3	10.0	4.1
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	20.6	58.8	8.8	2.9	5.9	2.9
	６～８歳	44	11.4	54.5	9.1	4.5	9.1	11.4
	９～11歳	40	2.5	67.5	12.5	2.5	15.0	0.0
	12～14歳	39	20.5	71.8	0.0	2.6	5.1	0.0
	15～17歳	59	18.6	61.0	3.4	0.0	11.9	5.1
世帯構成	核家族世帯	203	12.8	62.1	7.4	2.5	10.8	4.4
	三世代世帯	16	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	28.6	47.6	9.5	4.8	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	7.8	58.8	5.9	5.9	13.7	7.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
	あてはまらない	124	12.9	64.5	7.3	1.6	10.5	3.2
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	12.8	59.0	10.3	2.6	12.8	2.6
	40～59歳	151	13.2	62.9	6.0	2.6	10.6	4.6
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	15.2	69.7	4.0	0.0	7.1	4.0
	やや苦しい	93	12.9	59.1	8.6	2.2	12.9	4.3
	不自由が多く、生活が苦しい	21	14.3	38.1	14.3	14.3	14.3	4.8
サービス	利用している	167	12.6	61.7	8.4	3.0	9.0	5.4
	利用していない	51	21.6	62.7	2.0	0.0	13.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	22.2	61.1	11.1	0.0	5.6	0.0
	１年以上、３年未満	17	17.6	58.8	11.8	0.0	5.9	5.9
	３年以上、５年未満	34	23.5	55.9	5.9	5.9	8.8	0.0
	５年以上、10年未満	70	5.7	58.6	8.6	2.9	17.1	7.1
	10年以上	80	16.3	68.8	3.8	1.3	6.3	3.8
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	6.7	66.7	0.0	0.0	13.3	13.3
	医療的ケアを受けている	24	8.3	66.7	8.3	4.2	12.5	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	50.0	30.0	0.0	10.0	0.0

(%)

問 72　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。
【○は３つまで】

「学校における福祉教育の充実」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」の割合が 43.8%、「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」の割合が 36.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で「学校における福祉教育の充実」、精神で「障害に関する講演会や学習会の開催」「福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進」、発達で「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」の割合が高くなっています。

		調査数	障害や障害者についての関心や理解を深めるための広報活動	障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進	学校における福祉教育の充実	障害に関する講演会や学習会の開催	障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供	福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進	障害のある人の地域活動への参加機会の促進	障害のある人に対してのボランティア活動や人材育成への支援	その他	わからない	無回答
全　体		219	30.1	36.5	63.9	13.7	43.8	8.7	17.8	20.5	0.5	5.9	0.9
障害種別	身体	64	18.8	39.1	68.8	9.4	31.3	9.4	17.2	25.0	1.6	9.4	3.1
	知的	174	32.8	40.2	65.5	13.8	46.6	9.2	19.5	21.3	0.0	2.9	1.1
	精神	15	26.7	20.0	53.3	26.7	46.7	20.0	13.3	13.3	0.0	13.3	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	14	14.3	35.7	78.6	14.3	35.7	0.0	14.3	21.4	0.0	7.1	0.0
	発達	99	32.3	35.4	63.6	15.2	54.5	12.1	19.2	25.3	0.0	4.0	0.0

(%)

【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動」「学校における福祉教育の充実」、『９～11 歳』で「障害のある人の地域活動への参加機会の促進」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動」「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」「学校における福祉教育の充実」「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」「障害のある人の地域活動への参加機会の促進」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で「障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進」「学校における福祉教育の充実」、『医療的ケアを受けている』で「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」「福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進」、『聴覚障害がある』で「障害のある人の地域活動への参加機会の促進」の割合が高くなっています。

		調査数	障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動	障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進	学校における福祉教育の充実	障害に関する講演会や学習会の開催	障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供	福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進	障害のある人の地域活動への参加機会の促進	障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援	その他	わからない	無回答
全　体		219	30.1	36.5	63.9	13.7	43.8	8.7	17.8	20.5	0.5	5.9	0.9 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	47.1	38.2	76.5	8.8	44.1	8.8	14.7	14.7	2.9	2.9	0.0
	６～８歳	44	43.2	43.2	59.1	13.6	43.2	4.5	13.6	25.0	0.0	0.0	2.3
	９～11歳	40	20.0	42.5	72.5	12.5	45.0	15.0	30.0	12.5	0.0	2.5	0.0
	12～14歳	39	30.8	30.8	61.5	12.8	41.0	2.6	12.8	23.1	0.0	12.8	0.0
	15～17歳	59	16.9	30.5	57.6	18.6	45.8	11.9	16.9	23.7	0.0	8.5	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	31.0	36.9	65.5	13.8	44.8	8.9	18.2	20.7	0.5	3.9	1.0
	三世代世帯	16	18.8	31.3	43.8	12.5	31.3	6.3	12.5	18.8	0.0	31.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	12.5	31.3	56.3	12.5	31.3	6.3	12.5	25.0	0.0	18.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	28.6	33.3	61.9	33.3	52.4	9.5	9.5	28.6	0.0	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	33.3	35.3	72.5	13.7	47.1	11.8	19.6	5.9	0.0	5.9	2.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	28.6	71.4	0.0	57.1	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0
	その他	6	33.3	0.0	83.3	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	30.6	38.7	60.5	12.1	41.1	8.9	19.4	25.0	0.8	4.0	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	30.8	48.7	74.4	7.7	38.5	5.1	25.6	10.3	0.0	5.1	0.0
	40～59歳	151	31.1	36.4	61.6	15.2	48.3	9.9	17.9	25.8	0.7	3.3	1.3
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	50.0	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	27.3	38.4	62.6	16.2	42.4	8.1	19.2	16.2	1.0	7.1	0.0
	やや苦しい	93	31.2	33.3	68.8	9.7	51.6	10.8	18.3	25.8	0.0	4.3	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	42.9	38.1	52.4	14.3	23.8	4.8	14.3	14.3	0.0	9.5	4.8
サービス	利用している	167	31.7	40.1	65.3	13.2	46.7	8.4	19.8	22.8	0.6	2.4	1.2
	利用していない	51	23.5	25.5	58.8	15.7	33.3	9.8	11.8	13.7	0.0	17.6	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	11.1	50.0	50.0	11.1	33.3	16.7	22.2	33.3	0.0	5.6	0.0
	１年以上、３年未満	17	70.6	41.2	58.8	17.6	29.4	5.9	11.8	5.9	0.0	11.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	35.3	38.2	73.5	5.9	61.8	8.8	11.8	14.7	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	34.3	40.0	70.0	15.7	40.0	7.1	20.0	21.4	1.4	2.9	1.4
	10年以上	80	20.0	28.8	58.8	15.0	45.0	8.8	18.8	22.5	0.0	10.0	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	13.3	53.3	80.0	6.7	26.7	13.3	26.7	20.0	0.0	6.7	6.7
	医療的ケアを受けている	24	20.8	45.8	54.2	8.3	54.2	20.8	20.8	25.0	0.0	8.3	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	42.9	71.4	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	40.0	70.0	20.0	20.0	0.0	30.0	30.0	0.0	10.0	0.0

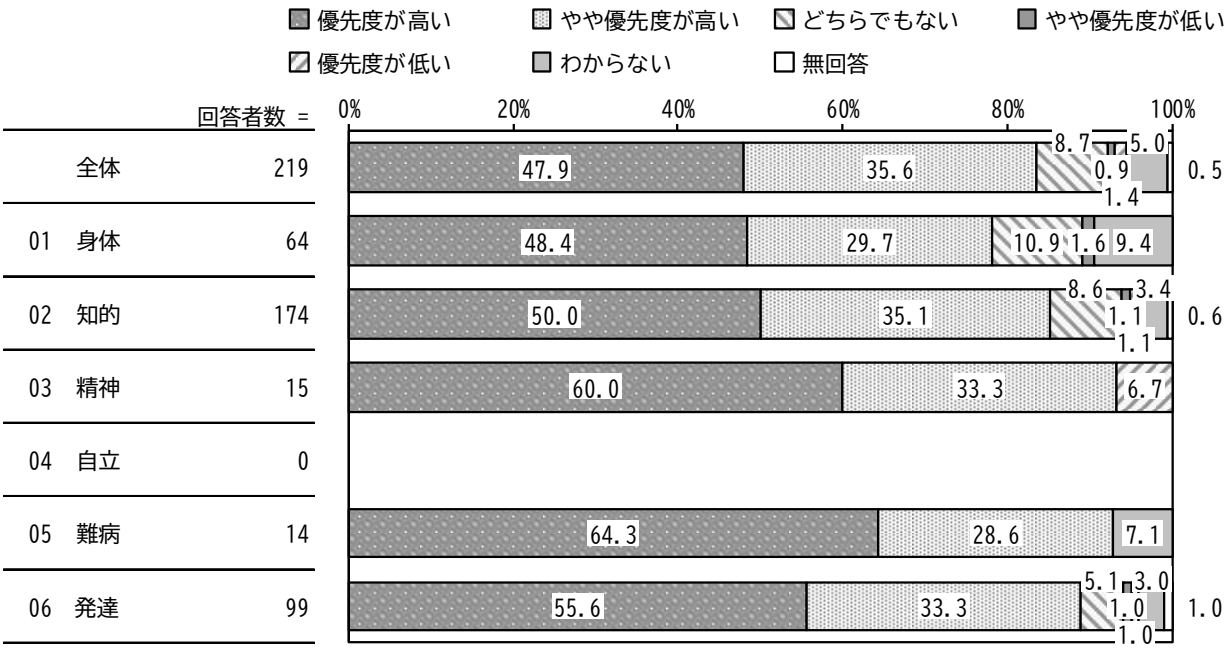
問 73　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。
【○はそれぞれに１つずつ】

①　障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 83.5%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 2.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神、難病で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『15～17 歳』から『３～５歳』まで年齢が下がるほど“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「やや優先度が高い」の割合が高く、『三世代世帯』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「優先度が高い」、『障害者手帳所持者がいる』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

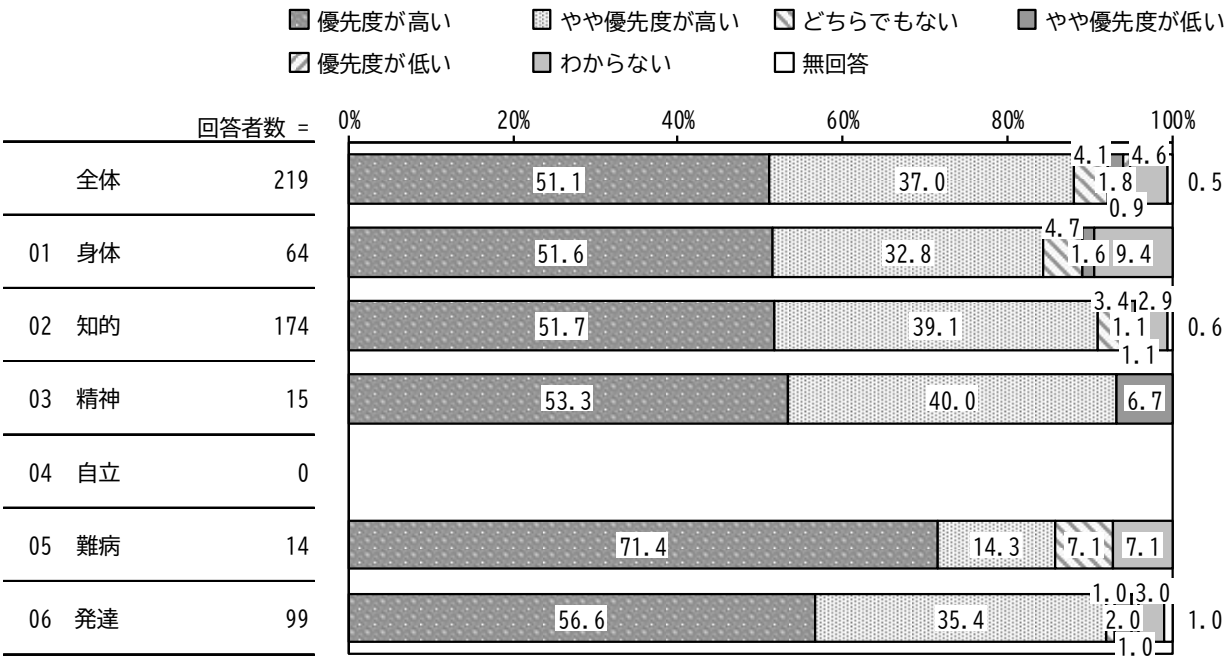
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	47.9	35.6	8.7	0.9	1.4	5.0	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	44.1	47.1	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	44	61.4	29.5	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0
	９～11歳	40	37.5	47.5	7.5	2.5	0.0	5.0	0.0
	12～14歳	39	41.0	38.5	15.4	0.0	0.0	5.1	0.0
	15～17歳	59	52.5	23.7	8.5	1.7	1.7	10.2	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	47.3	36.5	8.9	1.0	1.5	4.4	0.5
	三世代世帯	16	56.3	25.0	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	68.8	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	52.4	47.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	52.9	37.3	5.9	2.0	0.0	2.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	42.7	35.5	12.1	0.8	2.4	5.6	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	48.7	43.6	5.1	0.0	0.0	2.6	0.0
	40～59歳	151	49.7	36.4	8.6	1.3	2.0	1.3	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
	まあまあゆとりがある	99	45.5	37.4	10.1	1.0	1.0	5.1	0.0
	やや苦しい	93	51.6	36.6	7.5	0.0	0.0	3.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	38.1	33.3	4.8	4.8	9.5	9.5	0.0
サービス	利用している	167	49.1	37.1	7.2	1.2	1.8	3.0	0.6
	利用していない	51	45.1	29.4	13.7	0.0	0.0	11.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	33.3	44.4	11.1	0.0	0.0	5.6	5.6
	１年以上、３年未満	17	41.2	52.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	52.9	35.3	8.8	0.0	0.0	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	48.6	41.4	4.3	1.4	2.9	1.4	0.0
	10年以上	80	50.0	25.0	13.8	1.3	1.3	8.8	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	20.0	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	58.3	29.2	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0

② 障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 88.1%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 2.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『12～14 歳』から『３～５歳』まで年齢が下がるほど“優先度が高い”の割合が高く、『０～２歳』から『12～14 歳』まで年齢が上がるほど「どちらでもない」の割合が高い傾向にあります。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で「優先度が高い」、『障害者手帳所持者がいる』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『40～59 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』、『３年以上、５年未満』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

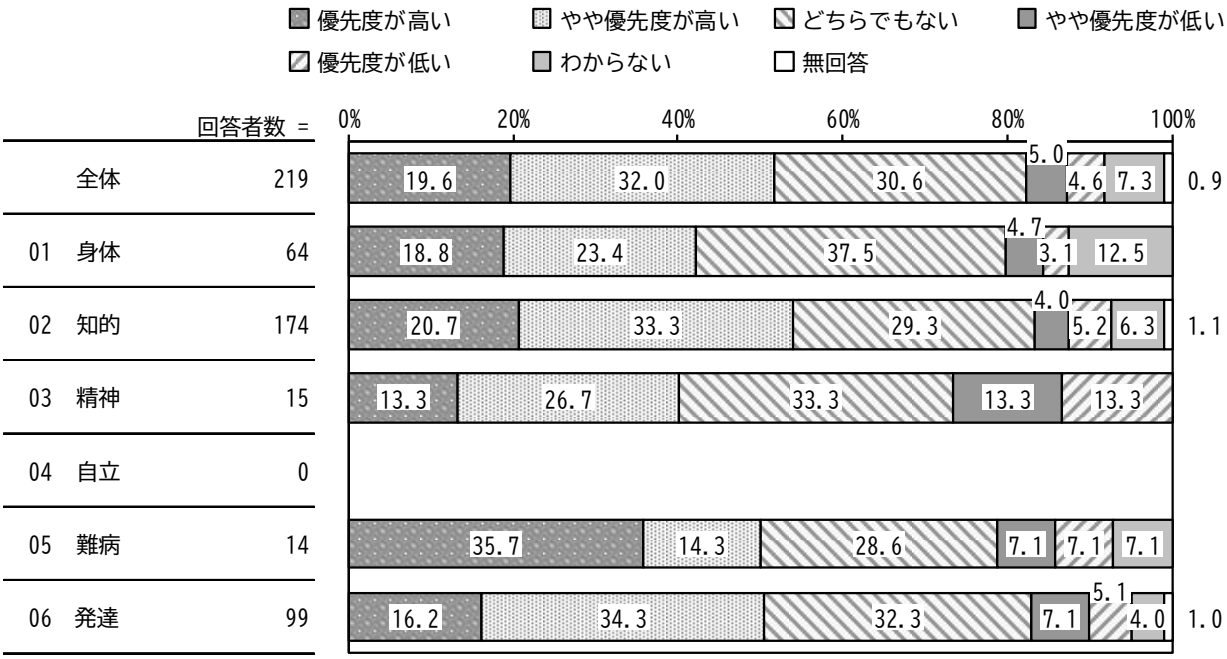
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	51.1	37.0	4.1	1.8	0.9	4.6	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	44.1	52.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	44	68.2	22.7	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0
	９～11歳	40	45.0	40.0	7.5	5.0	0.0	2.5	0.0
	12～14歳	39	41.0	43.6	10.3	0.0	0.0	5.1	0.0
	15～17歳	59	54.2	32.2	0.0	1.7	0.0	10.2	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	50.7	38.4	3.4	2.0	1.0	3.9	0.5
	三世代世帯	16	56.3	18.8	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	47.6	52.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	52.9	39.2	3.9	2.0	0.0	2.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	49.2	36.3	4.8	2.4	1.6	4.8	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	53.8	33.3	7.7	2.6	0.0	2.6	0.0
	40～59歳	151	51.7	40.4	2.6	2.0	1.3	1.3	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	44.4	42.4	6.1	2.0	0.0	5.1	0.0
	やや苦しい	93	59.1	33.3	2.2	1.1	0.0	3.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	42.9	33.3	0.0	4.8	9.5	9.5	0.0
サービス	利用している	167	54.5	36.5	3.0	1.8	1.2	2.4	0.6
	利用していない	51	41.2	37.3	7.8	2.0	0.0	11.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	27.8	55.6	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	47.1	47.1	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	50.0	44.1	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	58.6	31.4	4.3	1.4	2.9	1.4	0.0
	10年以上	80	51.3	32.5	6.3	1.3	0.0	8.8	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	33.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	62.5	29.2	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	30.0	50.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

③　市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 51.6%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 9.6%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が低い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『０～２歳』から『９～11 歳』まで年齢が上がるほど“優先度が低い”の割合が高く、『15～17 歳』から『６～８歳』まで年齢が下がるほど「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『40～59 歳』で　“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『やや苦しい』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

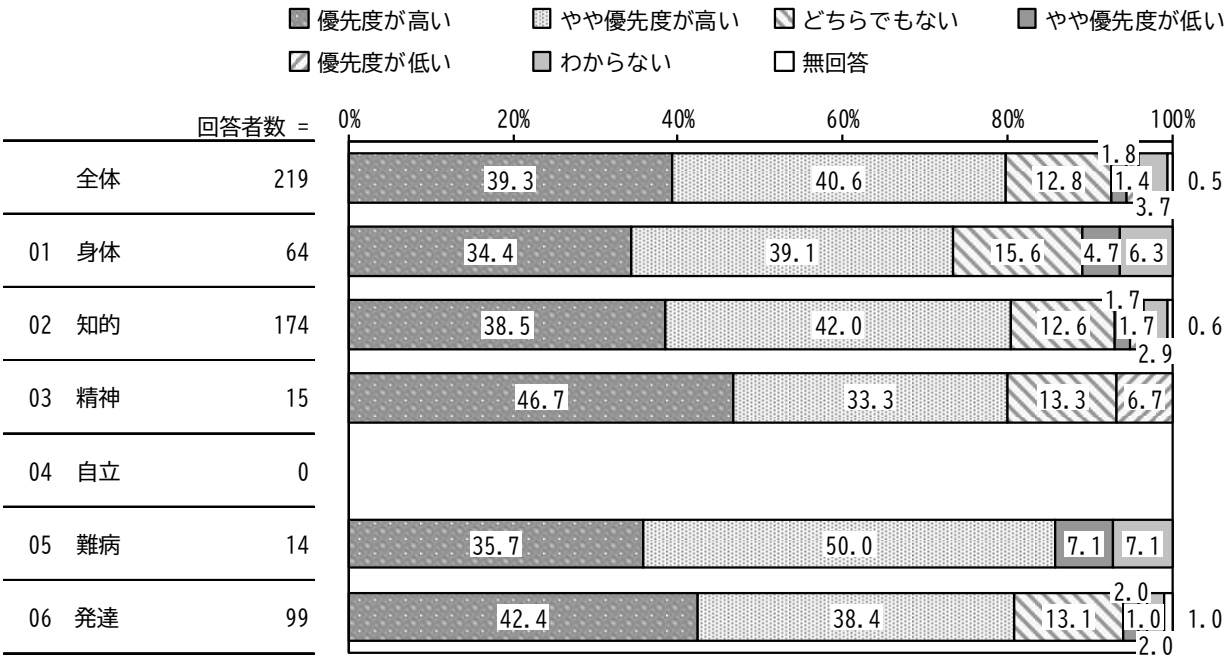
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	19.6	32.0	30.6	5.0	4.6	7.3	0.9 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	26.5	29.4	35.3	2.9	5.9	0.0	0.0
	６～８歳	44	13.6	38.6	31.8	4.5	6.8	4.5	0.0
	９～11歳	40	10.0	35.0	40.0	10.0	2.5	2.5	0.0
	12～14歳	39	15.4	33.3	33.3	5.1	2.6	10.3	0.0
	15～17歳	59	30.5	23.7	20.3	3.4	5.1	13.6	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	19.2	31.5	31.5	4.9	4.9	6.9	1.0
	三世代世帯	16	25.0	37.5	18.8	6.3	0.0	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	18.8	43.8	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	9.5	38.1	38.1	0.0	9.5	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	17.6	35.3	29.4	7.8	5.9	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	6	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	21.0	26.6	33.1	5.6	4.8	7.3	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	10.3	38.5	38.5	5.1	2.6	5.1	0.0
	40～59歳	151	21.2	33.1	29.1	5.3	6.0	4.0	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	14.1	31.3	40.4	3.0	3.0	8.1	0.0
	やや苦しい	93	22.6	36.6	22.6	7.5	4.3	5.4	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	28.6	19.0	19.0	4.8	9.5	14.3	4.8
サービス	利用している	167	19.8	32.3	31.7	4.8	5.4	4.8	1.2
	利用していない	51	19.6	29.4	27.5	5.9	2.0	15.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	22.2	22.2	44.4	0.0	0.0	5.6	5.6
	１年以上、３年未満	17	47.1	29.4	17.6	0.0	0.0	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	8.8	38.2	29.4	2.9	14.7	5.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	11.4	35.7	38.6	8.6	2.9	2.9	0.0
	10年以上	80	25.0	28.8	23.8	5.0	3.8	12.5	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	20.0	26.7	40.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	25.0	20.8	29.2	8.3	12.5	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	30.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0

④　障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 79.9%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 3.2%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で「やや優先度が高い」「どちらでもない」の割合が高く、『三世代世帯』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『40～59 歳』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「やや優先度が高い」「どちらでもない」の割合が高く、『利用していない』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	39.3	40.6	12.8	1.8	1.4	3.7	0.5
本人の年齢	０～２歳	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	38.2	44.1	14.7	2.9	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	44	40.9	45.5	6.8	2.3	2.3	2.3	0.0
	９～11歳	40	35.0	35.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	12～14歳	39	38.5	46.2	10.3	0.0	0.0	5.1	0.0
	15～17歳	59	40.7	37.3	5.1	3.4	3.4	8.5	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	38.4	41.4	13.3	2.0	1.5	3.0	0.5
	三世代世帯	16	50.0	31.3	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	43.8	37.5	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	23.8	57.1	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	41.2	37.3	13.7	5.9	0.0	2.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	38.7	39.5	14.5	0.8	1.6	4.0	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	30.8	51.3	12.8	5.1	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	151	40.4	41.7	11.9	1.3	2.0	2.0	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	31.3	45.5	16.2	3.0	0.0	4.0	0.0
	やや苦しい	93	44.1	39.8	8.6	1.1	1.1	4.3	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	47.6	28.6	14.3	0.0	9.5	0.0	0.0
サービス	利用している	167	34.7	45.5	14.4	1.8	1.2	1.8	0.6
	利用していない	51	52.9	25.5	7.8	2.0	2.0	9.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	33.3	38.9	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6
	１年以上、３年未満	17	64.7	17.6	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	38.2	52.9	5.9	0.0	2.9	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	35.7	38.6	21.4	1.4	1.4	1.4	0.0
	10年以上	80	38.8	42.5	7.5	2.5	1.3	7.5	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	60.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	41.7	33.3	20.8	4.2	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	60.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0

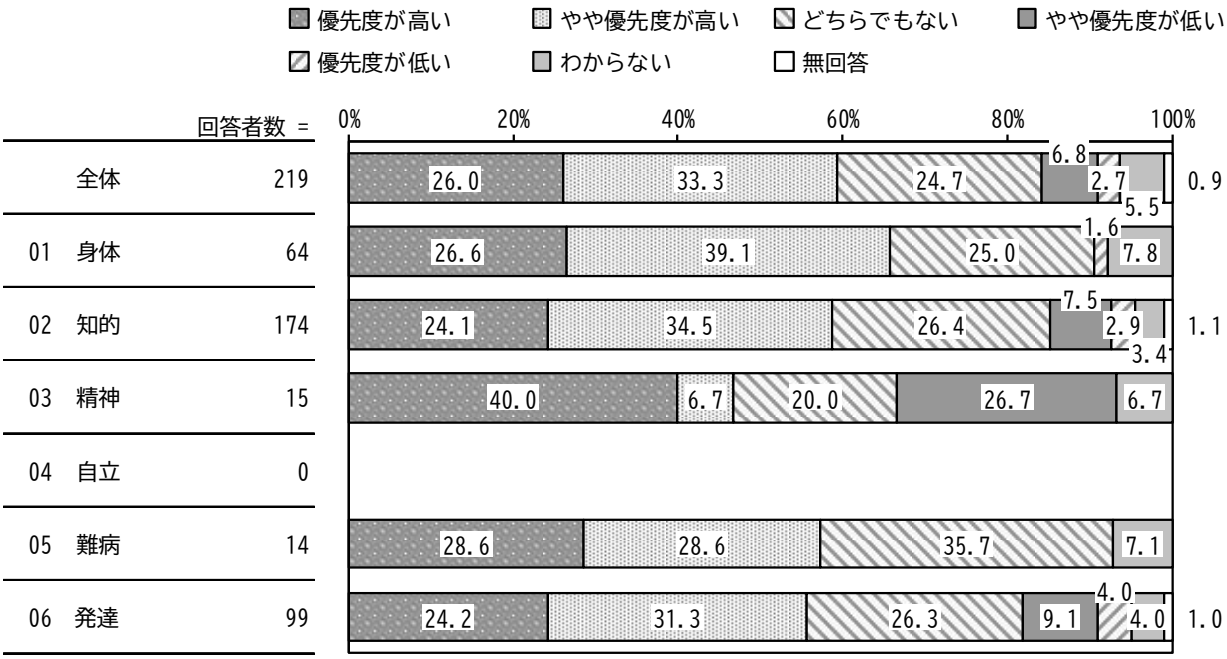
(%)

⑤　一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 59.3%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 9.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が低い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『３～５歳』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『三世代世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『40～59 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	26.0	33.3	24.7	6.8	2.7	5.5	0.9
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	11.8	35.3	41.2	5.9	2.9	2.9	0.0
	６～８歳	44	29.5	31.8	27.3	6.8	4.5	0.0	0.0
	９～11歳	40	25.0	32.5	30.0	5.0	5.0	2.5	0.0
	12～14歳	39	25.6	43.6	15.4	5.1	0.0	10.3	0.0
	15～17歳	59	32.2	27.1	16.9	10.2	1.7	8.5	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	25.6	33.0	26.1	6.4	3.0	4.9	1.0
	三世代世帯	16	31.3	37.5	6.3	12.5	0.0	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	31.3	31.3	25.0	6.3	0.0	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	19.0	38.1	33.3	4.8	0.0	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	23.5	29.4	35.3	5.9	2.0	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	6	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	27.4	33.1	21.0	8.1	4.0	4.8	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	23.1	28.2	33.3	5.1	5.1	5.1	0.0
	40～59歳	151	27.2	37.7	21.9	7.3	2.6	2.0	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	21.2	36.4	28.3	5.1	3.0	6.1	0.0
	やや苦しい	93	28.0	34.4	24.7	7.5	1.1	3.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	28.6	19.0	9.5	14.3	9.5	14.3	4.8
サービス	利用している	167	26.3	34.7	25.7	7.2	2.4	2.4	1.2
	利用していない	51	25.5	27.5	21.6	5.9	3.9	15.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	33.3	16.7	44.4	0.0	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	29.4	35.3	11.8	5.9	5.9	11.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	14.7	26.5	41.2	8.8	2.9	5.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	21.4	40.0	27.1	5.7	4.3	1.4	0.0
	10年以上	80	32.5	33.8	13.8	8.8	1.3	8.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	40.0	33.3	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	33.3	50.0	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	30.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0

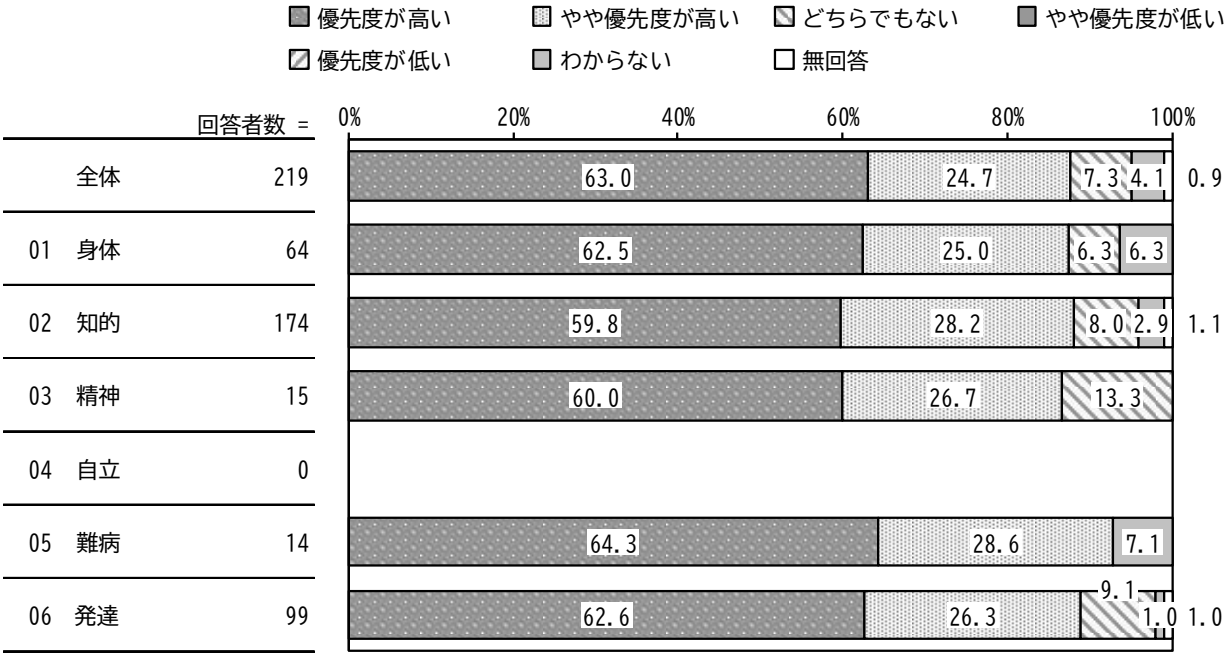
(%)

⑥　障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 87.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、年齢が下がるほど“優先度が高い”の割合が高い傾向にあり、年齢が下がるほど「やや優先度が高い」の割合が高い傾向にあります。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』、『３年以上、５年未満』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	63.0	24.7	7.3	0.0	0.0	4.1	0.9
本人の年齢	０～２歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	61.8	32.4	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	44	63.6	25.0	9.1	0.0	0.0	2.3	0.0
	９～11歳	40	67.5	22.5	7.5	0.0	0.0	2.5	0.0
	12～14歳	39	61.5	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
	15～17歳	59	61.0	22.0	6.8	0.0	0.0	6.8	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	63.5	24.6	7.4	0.0	0.0	3.4	1.0
	三世代世帯	16	56.3	25.0	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	56.3	31.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	57.1	38.1	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	64.7	25.5	5.9	0.0	0.0	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	62.9	23.4	7.3	0.0	0.0	4.8	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	66.7	28.2	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	151	64.2	23.8	8.6	0.0	0.0	2.0	1.3
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	59.6	26.3	9.1	0.0	0.0	5.1	0.0
	やや苦しい	93	63.4	24.7	7.5	0.0	0.0	3.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	76.2	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8
サービス	利用している	167	62.3	26.3	8.4	0.0	0.0	1.8	1.2
	利用していない	51	64.7	19.6	3.9	0.0	0.0	11.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	50.0	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	76.5	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	58.8	38.2	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	65.7	24.3	7.1	0.0	0.0	2.9	0.0
	10年以上	80	62.5	17.5	10.0	0.0	0.0	8.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	33.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	54.2	29.2	12.5	0.0	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0

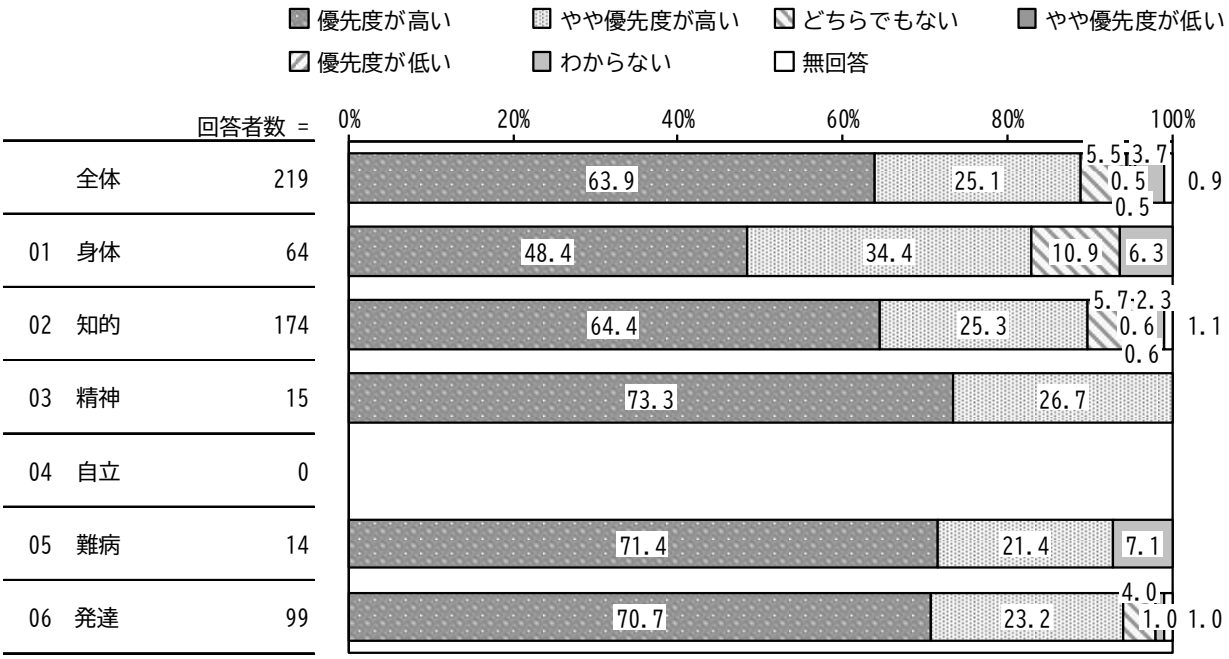
(%)

⑦　障害のある方が働くための機会を創出すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 89.0%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 1.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体で「優先度が高い」の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、年齢が下がるほど“優先度が高い”の割合が高い傾向にあります。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で「優先度が高い」の割合が高く、『利用していない』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「優先度が高い」、『３年以上、５年未満』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

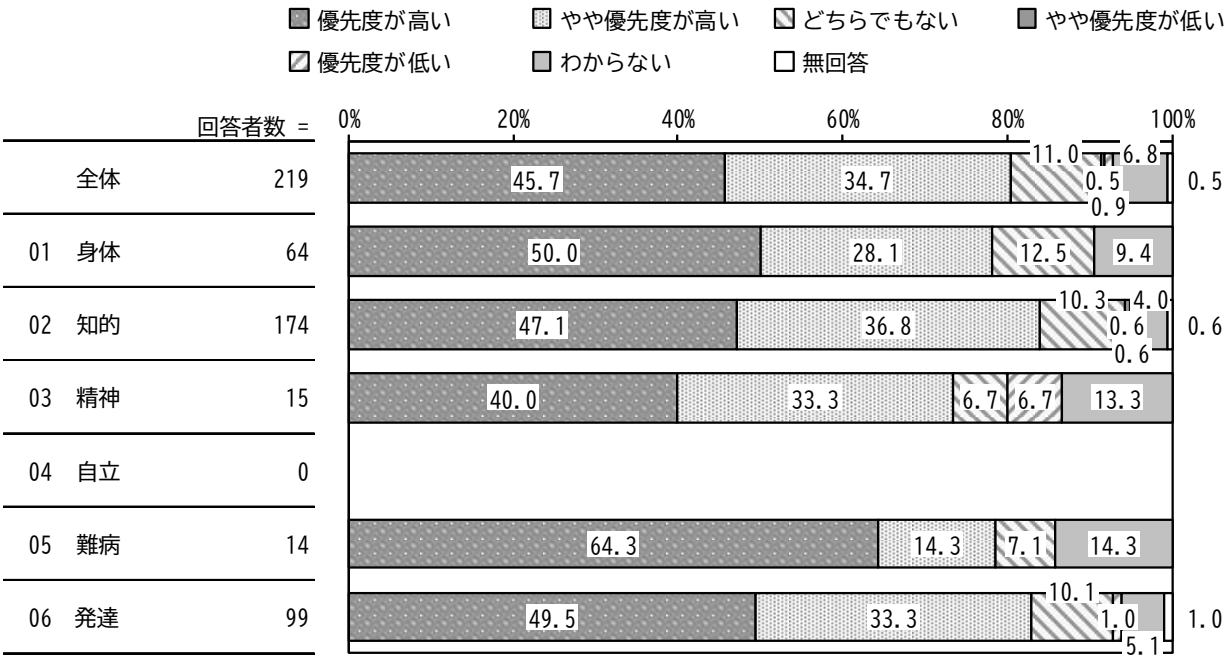
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	63.9	25.1	5.5	0.5	0.5	3.7	0.9 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	58.8	38.2	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	44	65.9	25.0	4.5	2.3	2.3	0.0	0.0
	９～11歳	40	60.0	30.0	7.5	0.0	0.0	2.5	0.0
	12～14歳	39	71.8	20.5	2.6	0.0	0.0	5.1	0.0
	15～17歳	59	61.0	18.6	8.5	0.0	0.0	8.5	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	63.5	26.1	5.9	0.5	0.5	2.5	1.0
	三世代世帯	16	68.8	12.5	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	68.8	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	61.9	23.8	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	72.5	21.6	3.9	0.0	0.0	2.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	61.3	27.4	4.0	0.8	0.8	4.0	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	69.2	25.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	151	65.6	25.8	4.0	0.7	0.7	2.0	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	64.6	23.2	7.1	0.0	0.0	5.1	0.0
	やや苦しい	93	63.4	26.9	4.3	1.1	0.0	3.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	61.9	28.6	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8
サービス	利用している	167	65.9	23.4	6.6	0.6	0.6	1.8	1.2
	利用していない	51	56.9	31.4	2.0	0.0	0.0	9.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	50.0	27.8	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	76.5	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	61.8	35.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	67.1	22.9	7.1	0.0	1.4	1.4	0.0
	10年以上	80	62.5	22.5	5.0	0.0	0.0	8.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	46.7	33.3	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	62.5	25.0	8.3	0.0	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0

⑧　障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 80.4%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 1.4%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が低い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『３年以上、５年未満』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

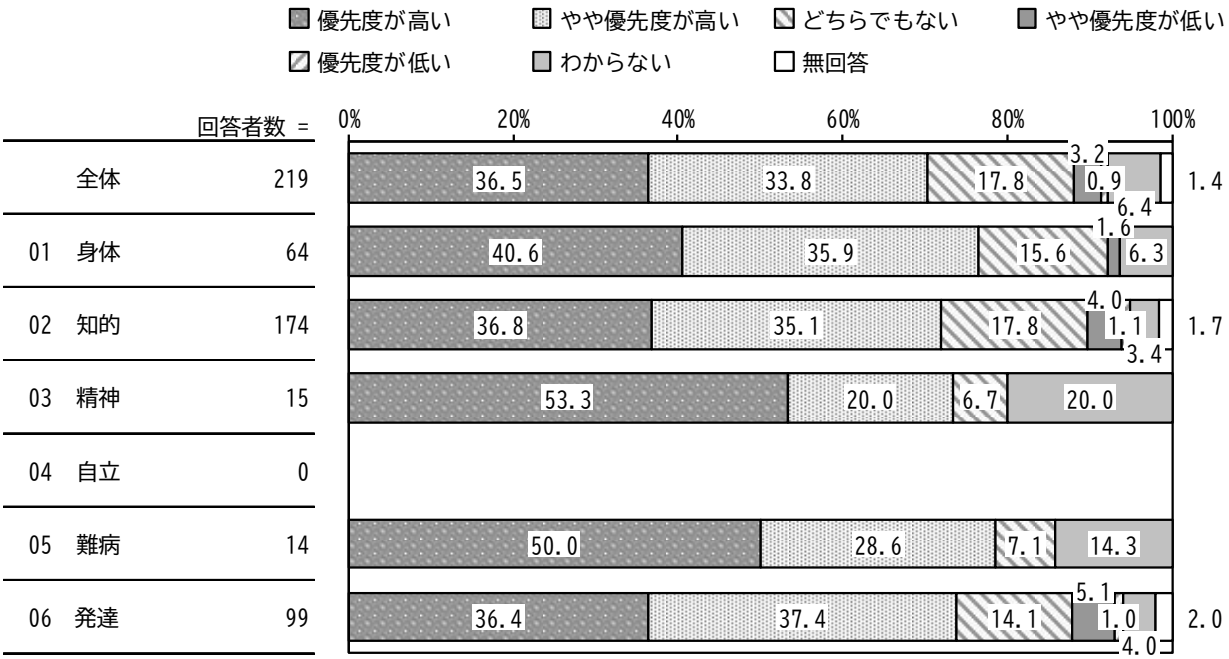
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	45.7	34.7	11.0	0.5	0.9	6.8	0.5 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	38.2	47.1	11.8	0.0	0.0	2.9	0.0
	６～８歳	44	52.3	34.1	11.4	0.0	2.3	0.0	0.0
	９～11歳	40	37.5	37.5	20.0	0.0	2.5	2.5	0.0
	12～14歳	39	48.7	28.2	10.3	0.0	0.0	12.8	0.0
	15～17歳	59	49.2	30.5	5.1	1.7	0.0	11.9	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	45.3	35.5	11.8	0.5	1.0	5.4	0.5
	三世代世帯	16	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	50.0	31.3	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	42.9	33.3	19.0	0.0	0.0	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	47.1	43.1	3.9	0.0	2.0	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	6	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	44.4	33.1	14.5	0.8	0.8	5.6	0.8
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	51.3	33.3	7.7	0.0	2.6	5.1	0.0
	40～59歳	151	46.4	35.8	11.9	0.7	0.7	4.0	0.7
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	44.4	33.3	12.1	1.0	1.0	8.1	0.0
	やや苦しい	93	41.9	39.8	11.8	0.0	0.0	5.4	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	57.1	28.6	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0
サービス	利用している	167	47.3	34.7	11.4	0.0	1.2	4.8	0.6
	利用していない	51	41.2	33.3	9.8	2.0	0.0	13.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	22.2	38.9	33.3	0.0	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	41.2	41.2	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	52.9	38.2	5.9	0.0	0.0	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	44.3	35.7	12.9	1.4	2.9	2.9	0.0
	10年以上	80	50.0	30.0	7.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	13.3	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	62.5	33.3	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	20.0	50.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0

⑨　障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 70.3%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 4.1%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、身体、難病で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『０～２歳』から『９～11 歳』まで年齢が上がるほど“優先度が高い”の割合が高く、『12～14 歳』から『０～２歳』まで年齢が下がるほど「どちらでもない」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』、『障害者手帳所持者がいる』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

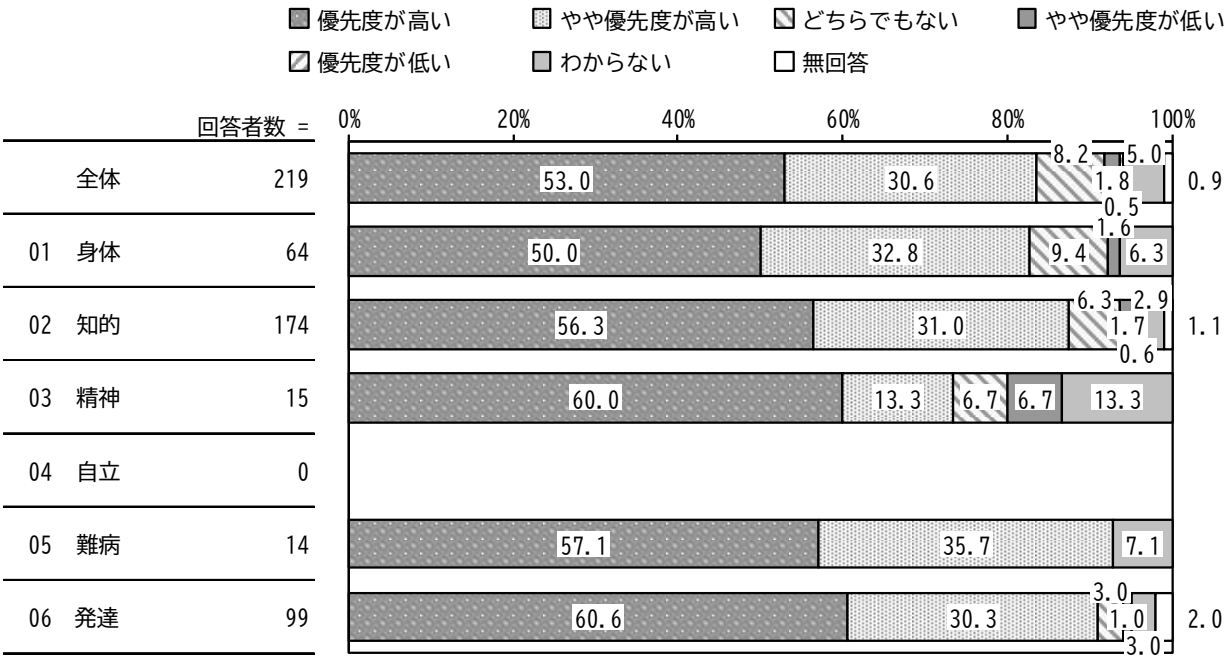
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	36.5	33.8	17.8	3.2	0.9	6.4	1.4 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	44.1	26.5	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	44	38.6	38.6	15.9	4.5	2.3	0.0	0.0
	９～11歳	40	27.5	50.0	15.0	2.5	2.5	2.5	0.0
	12～14歳	39	33.3	33.3	12.8	5.1	0.0	12.8	2.6
	15～17歳	59	39.0	23.7	16.9	3.4	0.0	13.6	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	36.0	35.0	18.2	3.4	1.0	4.9	1.5
	三世代世帯	16	43.8	18.8	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	47.6	19.0	23.8	0.0	0.0	9.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	43.1	31.4	17.6	3.9	0.0	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	31.5	38.7	16.9	3.2	1.6	5.6	2.4
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	41.0	33.3	23.1	2.6	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	151	35.8	36.4	15.9	4.0	1.3	4.6	2.0
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	29.3	41.4	17.2	4.0	0.0	8.1	0.0
	やや苦しい	93	43.0	30.1	16.1	3.2	0.0	5.4	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	33.3	23.8	23.8	0.0	9.5	4.8	4.8
サービス	利用している	167	38.9	32.9	18.6	4.2	1.2	2.4	1.8
	利用していない	51	27.5	37.3	15.7	0.0	0.0	19.6	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	33.3	33.3	27.8	0.0	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	52.9	23.5	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	35.3	38.2	17.6	2.9	0.0	5.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	30.0	44.3	17.1	2.9	2.9	2.9	0.0
	10年以上	80	40.0	25.0	15.0	5.0	0.0	12.5	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	60.0	26.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	54.2	25.0	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	50.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0

⑩　障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 83.6%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 2.3%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、精神で“優先度が高い”の割合が低くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年未満』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

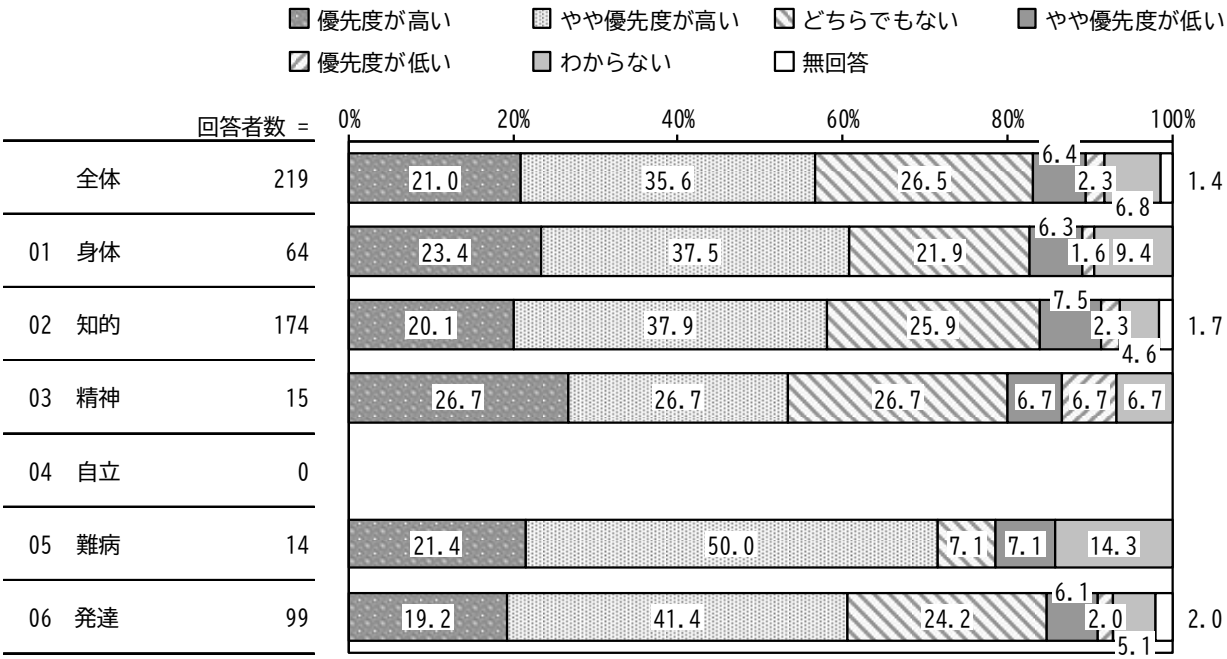
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	53.0	30.6	8.2	1.8	0.5	5.0	0.9 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	47.1	32.4	14.7	2.9	0.0	2.9	0.0
	６～８歳	44	52.3	43.2	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0
	９～11歳	40	52.5	32.5	10.0	2.5	0.0	2.5	0.0
	12～14歳	39	51.3	23.1	10.3	2.6	0.0	10.3	2.6
	15～17歳	59	57.6	23.7	8.5	0.0	0.0	8.5	1.7
世帯構成	核家族世帯	203	52.7	32.5	7.9	2.0	0.5	3.4	1.0
	三世代世帯	16	56.3	6.3	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	68.8	6.3	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	47.6	33.3	14.3	0.0	0.0	4.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	49.0	37.3	5.9	3.9	0.0	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	54.0	29.8	8.1	1.6	0.8	4.0	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	59.0	28.2	2.6	7.7	0.0	2.6	0.0
	40～59歳	151	51.7	33.8	9.3	0.7	0.7	2.6	1.3
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	48.5	32.3	10.1	3.0	0.0	6.1	0.0
	やや苦しい	93	53.8	32.3	7.5	0.0	0.0	4.3	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	71.4	14.3	0.0	4.8	4.8	4.8	0.0
サービス	利用している	167	58.1	28.7	6.6	2.4	0.6	2.4	1.2
	利用していない	51	35.3	37.3	13.7	0.0	0.0	13.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	38.9	16.7	33.3	5.6	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	58.8	29.4	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0
	３年以上、５年未満	34	58.8	26.5	8.8	2.9	0.0	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	48.6	40.0	5.7	1.4	1.4	2.9	0.0
	10年以上	80	56.3	27.5	6.3	0.0	0.0	8.8	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	66.7	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	75.0	20.8	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	30.0	50.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0

⑪　障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 56.6%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 8.7%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『15～17 歳』で「どちらでもない」の割合が低くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『障害者手帳所持者がいる』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で「やや優先度が高い」の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で“優先度が高い”、『３年以上、５年未満』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『重度心身障害』で“優先度が高い”、『医療的ケアを受けている』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

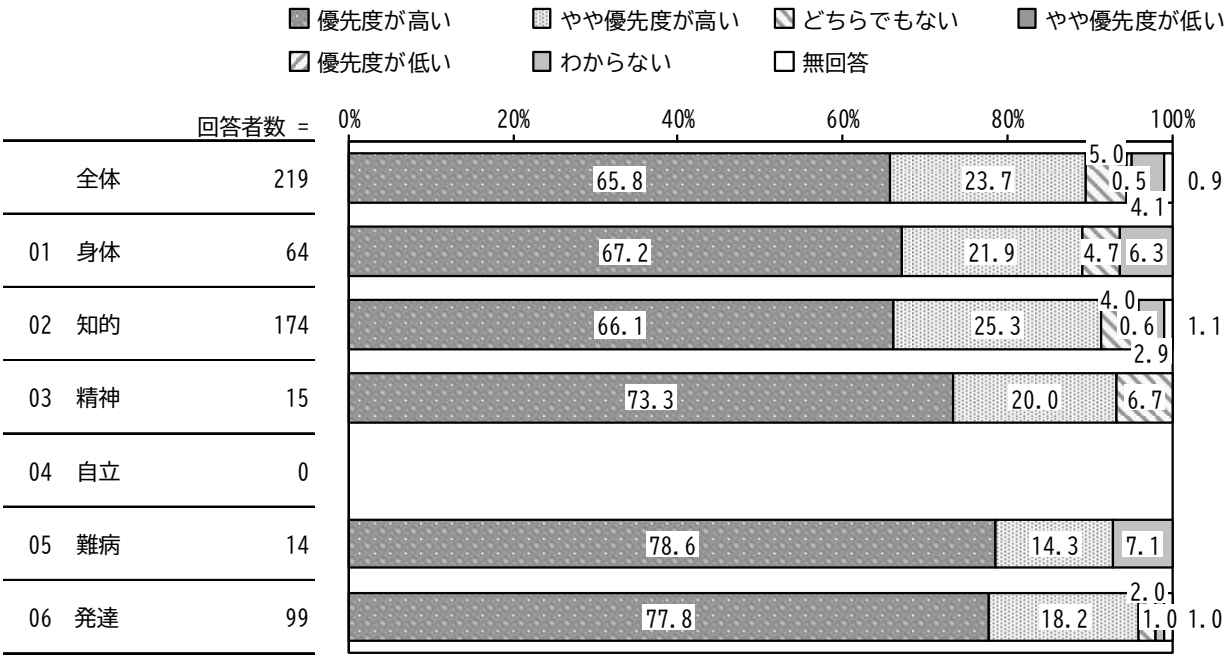
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	21.0	35.6	26.5	6.4	2.3	6.8	1.4 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	11.8	44.1	35.3	5.9	0.0	2.9	0.0
	６～８歳	44	22.7	29.5	31.8	11.4	4.5	0.0	0.0
	９～11歳	40	20.0	42.5	30.0	2.5	2.5	2.5	0.0
	12～14歳	39	23.1	30.8	25.6	5.1	2.6	10.3	2.6
	15～17歳	59	25.4	33.9	15.3	6.8	1.7	13.6	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	20.7	36.0	27.1	6.9	2.5	5.4	1.5
	三世代世帯	16	25.0	31.3	18.8	0.0	0.0	25.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	25.0	25.0	31.3	0.0	0.0	18.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	23.8	38.1	33.3	4.8	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	19.6	37.3	29.4	5.9	3.9	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	6	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
	あてはまらない	124	18.5	35.5	26.6	8.9	1.6	6.5	2.4
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	15.4	43.6	25.6	5.1	5.1	5.1	0.0
	40～59歳	151	22.5	36.4	27.2	7.3	1.3	3.3	2.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	17.2	35.4	32.3	5.1	2.0	8.1	0.0
	やや苦しい	93	25.8	35.5	24.7	6.5	1.1	4.3	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	21	19.0	33.3	4.8	14.3	9.5	14.3	4.8
サービス	利用している	167	21.6	37.1	25.1	7.2	3.0	4.2	1.8
	利用していない	51	19.6	29.4	31.4	3.9	0.0	15.7	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	22.2	33.3	33.3	5.6	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	29.4	35.3	17.6	5.9	0.0	11.8	0.0
	３年以上、５年未満	34	20.6	35.3	26.5	11.8	2.9	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	17.1	35.7	35.7	5.7	2.9	2.9	0.0
	10年以上	80	22.5	36.3	18.8	5.0	2.5	12.5	2.5
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	53.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	33.3	33.3	8.3	16.7	4.2	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	40.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0

⑫　家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 89.5%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 0.5%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、発達で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、年齢が下がるほど“優先度が高い”の割合が高い傾向にあります。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『18～39 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で「優先度が高い」の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で「優先度が高い」、『１年未満』で「どちらでもない」の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『医療的ケアを受けている』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

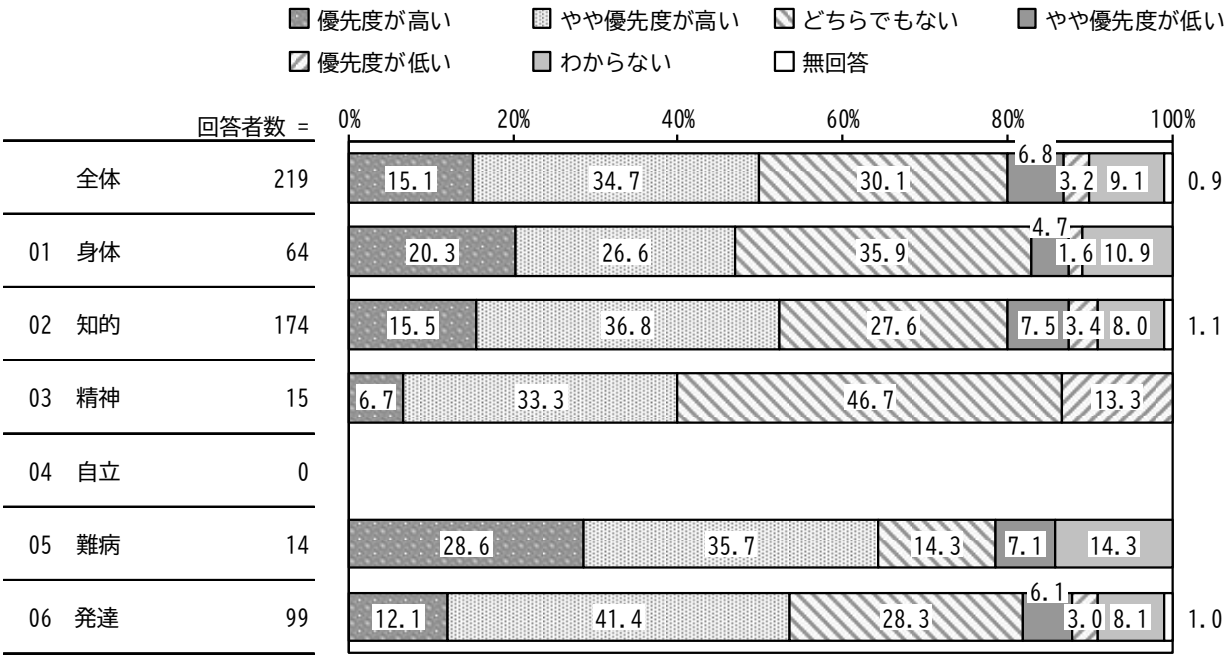
		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	65.8	23.7	5.0	0.0	0.5	4.1	0.9 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３～５歳	34	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	６～８歳	44	72.7	22.7	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0
	９～11歳	40	67.5	22.5	7.5	0.0	0.0	2.5	0.0
	12～14歳	39	53.8	33.3	5.1	0.0	0.0	7.7	0.0
	15～17歳	59	62.7	20.3	5.1	0.0	0.0	8.5	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	66.5	24.1	4.9	0.0	0.5	3.0	1.0
	三世代世帯	16	56.3	18.8	6.3	0.0	0.0	18.8	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	68.8	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	61.9	28.6	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	68.6	21.6	5.9	0.0	0.0	3.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	124	62.9	26.6	4.0	0.0	0.8	4.0	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	76.9	20.5	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	151	67.5	24.5	4.0	0.0	0.7	2.0	1.3
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	60.6	30.3	3.0	0.0	0.0	6.1	0.0
	やや苦しい	93	67.7	20.4	7.5	0.0	0.0	3.2	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	81.0	9.5	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8
サービス	利用している	167	70.1	22.8	3.6	0.0	0.6	1.8	1.2
	利用していない	51	51.0	27.5	9.8	0.0	0.0	11.8	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	55.6	22.2	16.7	0.0	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	76.5	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年以上、５年未満	34	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	５年以上、10年未満	70	70.0	21.4	5.7	0.0	1.4	1.4	0.0
	10年以上	80	60.0	26.3	2.5	0.0	0.0	10.0	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	73.3	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	医療的ケアを受けている	24	66.7	29.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	10	50.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0

⑬　地域のボランティア活動を充実させること

「優先度が高い」「やや優先度が高い」を合わせた“優先度が高い”の割合が 49.8%、「やや優先度が低い」「優先度が低い」を合わせた“優先度が低い”の割合が 10.0%となっています。

【障害種別】

障害種別にみると、全体に比べ、難病で“優先度が高い”の割合が高くなっています。



【属性別】

本人の年齢別にみると、全体に比べ、『６～８歳』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

世帯構成別にみると、項目間で比べ、『核家族世帯』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

同居人の特徴別にみると、全体に比べ、『65 歳以上の高齢者がいる』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

介助者の年齢別にみると、項目間で比べ、『40～59 歳』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

生活困窮別にみると、全体に比べ、『不自由が多く、生活が苦しい』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

サービスの利用別にみると、項目間で比べ、『利用している』で“優先度が高い”の割合が高くなっています。

障害に気づいた時期別にみると、全体に比べ、『１年以上、３年未満』で“優先度が高い”、『３年以上、５年未満』で“優先度が低い”の割合が高くなっています。

特徴的な状態別にみると、全体に比べ、『聴覚障害がある』で“優先度が高い”の割合が低くなっています。

		調査数	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない	無回答
全　体		219	15.1	34.7	30.1	6.8	3.2	9.1	0.9 (%)
本人の年齢	０～２歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	３～５歳	34	14.7	32.4	38.2	8.8	0.0	5.9	0.0
	６～８歳	44	15.9	40.9	20.5	13.6	6.8	2.3	0.0
	９～11歳	40	10.0	37.5	40.0	2.5	5.0	5.0	0.0
	12～14歳	39	15.4	38.5	23.1	7.7	2.6	12.8	0.0
	15～17歳	59	18.6	27.1	30.5	3.4	1.7	15.3	3.4
世帯構成	核家族世帯	203	15.3	35.0	30.0	6.9	3.4	8.4	1.0
	三世代世帯	16	12.5	31.3	31.3	6.3	0.0	18.8	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	16	12.5	25.0	37.5	6.3	0.0	18.8	0.0
	障害者手帳所持者がいる	21	19.0	38.1	38.1	0.0	4.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	51	11.8	43.1	23.5	5.9	5.9	9.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	7	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他	6	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
	あてはまらない	124	15.3	30.6	33.1	8.9	2.4	8.1	1.6
介助者の年齢	17歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～39歳	39	5.1	41.0	28.2	7.7	7.7	10.3	0.0
	40～59歳	151	17.2	34.4	32.5	6.6	2.6	5.3	1.3
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	99	10.1	36.4	32.3	7.1	3.0	11.1	0.0
	やや苦しい	93	19.4	29.0	34.4	7.5	2.2	6.5	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	21	19.0	42.9	4.8	4.8	9.5	14.3	4.8
サービス	利用している	167	16.8	37.1	28.7	6.6	3.0	6.6	1.2
	利用していない	51	9.8	25.5	35.3	7.8	3.9	17.6	0.0
障害に気づいた時期	１年未満	18	22.2	22.2	44.4	5.6	0.0	0.0	5.6
	１年以上、３年未満	17	23.5	47.1	11.8	0.0	0.0	17.6	0.0
	３年以上、５年未満	34	8.8	35.3	29.4	14.7	8.8	2.9	0.0
	５年以上、10年未満	70	10.0	35.7	38.6	7.1	4.3	4.3	0.0
	10年以上	80	18.8	33.8	23.8	5.0	1.3	16.3	1.3
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	15	26.7	20.0	40.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	医療的ケアを受けている	24	29.2	25.0	33.3	8.3	0.0	4.2	0.0
	視覚障害がある	7	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
	聴覚障害がある	10	10.0	30.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0

問 74　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見	92　件
放課後等デイサービス・日中支援の充実	20　件
行政手続き・窓口対応の改善	14　件
生活介護施設・グループホーム等の充実	12　件
教育現場・学校支援の充実	11　件
家族支援・介助者支援の充実	11　件
手当・助成制度の充実（所得制限撤廃含む）	10　件
移動支援・送迎支援の充実	7　件
社会的理解・障害への理解について	5　件
その他	2　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【放課後等デイサービス・日中支援の充実】

●小学校に入った後、仕事ができるか心配している。放デイも狭き門と聞くし、学童も人数が多いと支援が行き届かないのでは？と不安である。

●夏休みにお世話になっている放デイの中には午後のみの場所があり、夏休み中の保護者の仕事が滞ってしまって困っている。息子が自閉症と分かり、様々なサービスに繋がったのは良かったが保護者への注意や教育も充実させたほうがいいと感じている。どう子供に接したらいいか、逆になにをしてはいけないのか教えてほしかった。

●放課後等デイサービスに入れる・入れないにより働き方を考えなくてはいけない状況が変わればいいなと思う。療育の時間も短いのでそのために１日休まざるを得ない。

【行政手続き・窓口対応の改善】

●役所の窓口で、受けられるサービスや手当てのことをもっと丁寧に説明して、しっかり教えてほしい。

●毎年受給者証の申請等があるが、障害は治るものではないので基本的に一生何らかの福祉サービスを利用しないと生きて行くことはできないので、自動更新にできないだろうか。手続きの多さが負担に感じることがある。ただでさえ利用施設の面談、病院への通院、学校への送迎など障害児を育てるのは親の負担が大きい。仕事をしながら今は何とか対応しているが、いつまで維持できるのか。先のことを考えるのが恐ろしい。

Ⅳ　調査結果
～特別支援教育利用者調査～

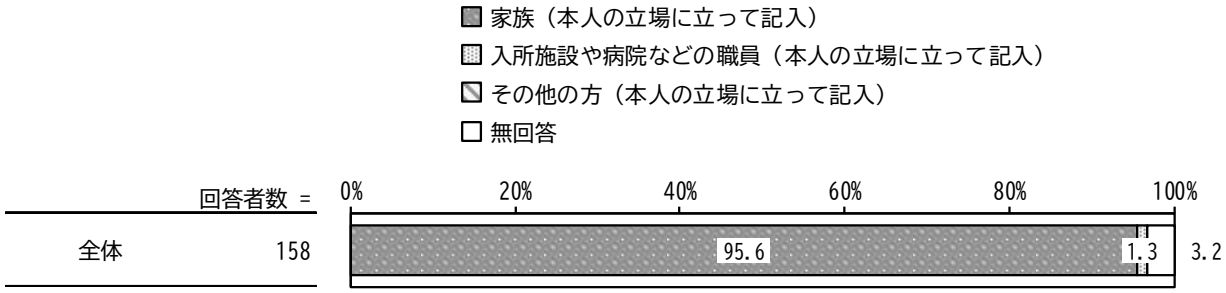
Ⅳ　調査結果　～特別支援教育利用者調査～

１　お子さんのことについて

以降、「お子さん」とは、本調査票を配布された方のことをいいます。

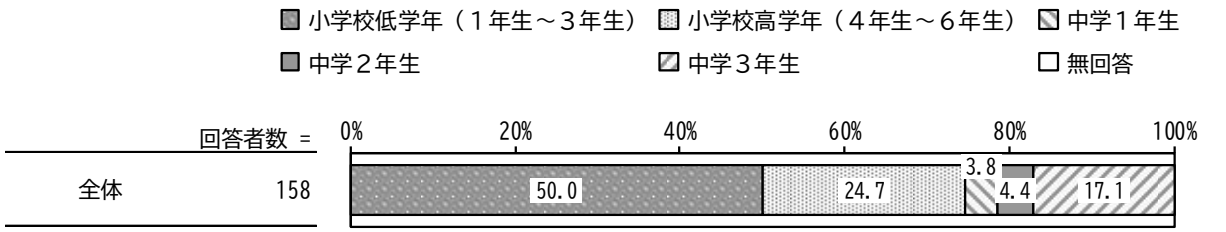
問１　この調査票を記入されるのはどなたですか。【○は１つだけ】

「家族（本人の立場に立って記入）」の割合が 95.6%、「入所施設や病院などの職員（本人の立場に立って記入）」の割合が 1.3%となっています。



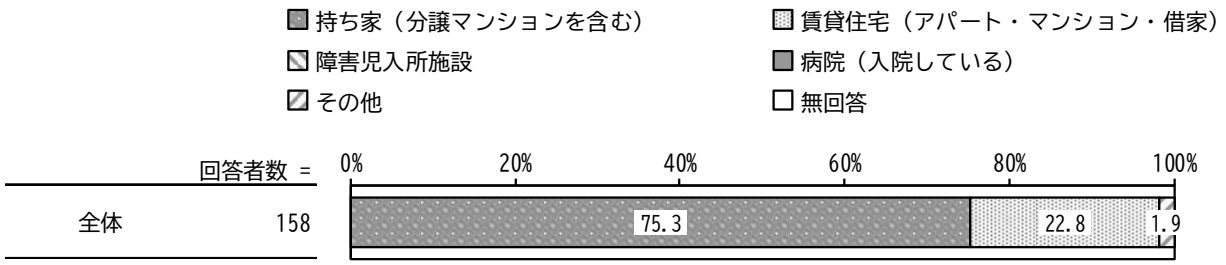
問２　お子さんの学年をお答えください。（令和７年 10 月１日現在）【○は１つだけ】

「小学校低学年（１年生～３年生）」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「小学校高学年（４年生～６年生）」の割合が 24.7%、「中学３年生」の割合が 17.1%となっています。



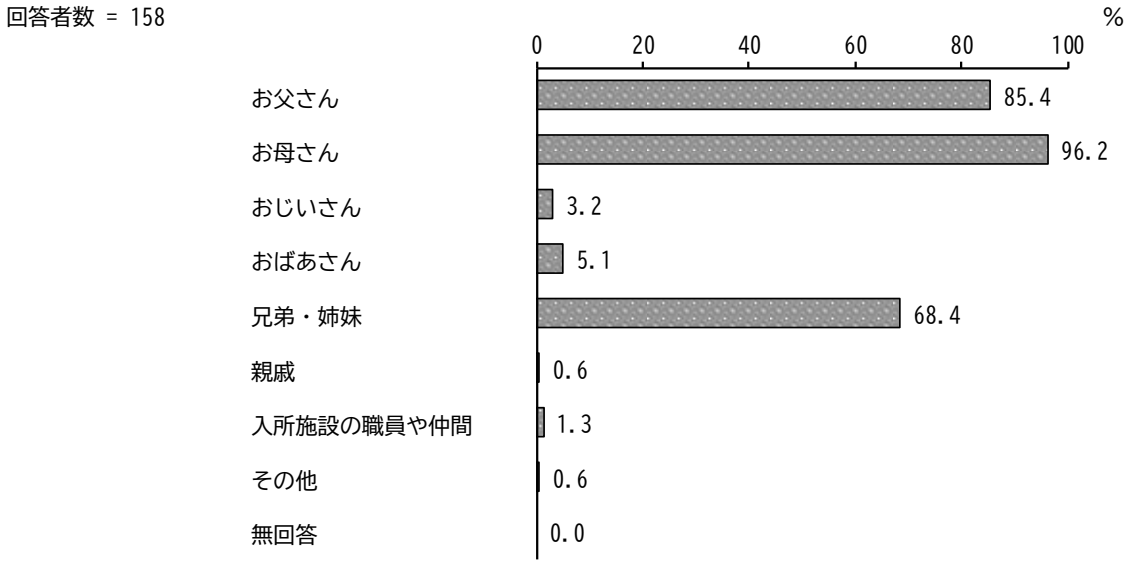
問３　お子さんは、現在どこで暮らしていますか。【○は１つだけ】

「持ち家（分譲マンションを含む）」の割合が 75.3%と最も高く、次いで「賃貸住宅（アパート・マンション・借家）」の割合が 22.8%となっています。



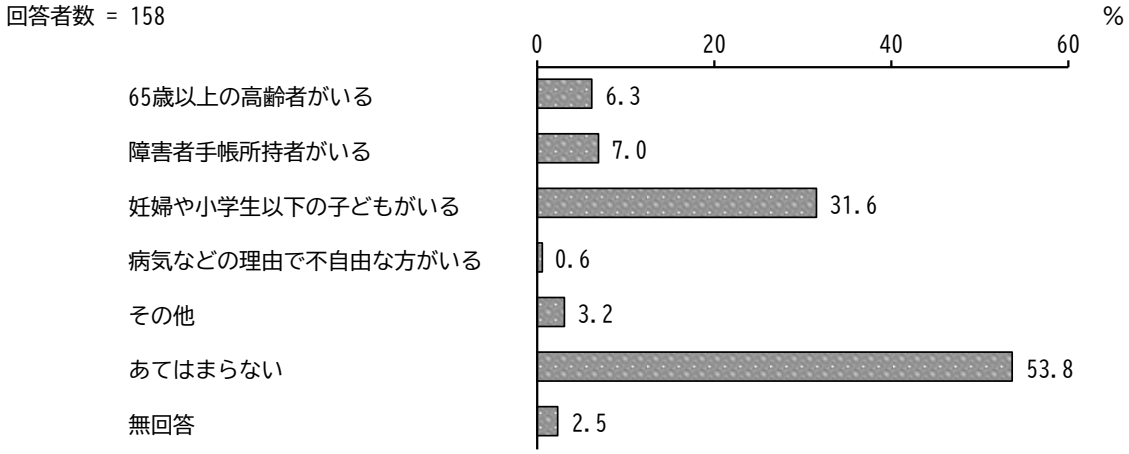
問４　お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さんから見た間柄でお答えください。【○はいくつでも】

「お母さん」の割合が 96.2%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が 85.4%、「兄弟・姉妹」の割合が 68.4%となっています。



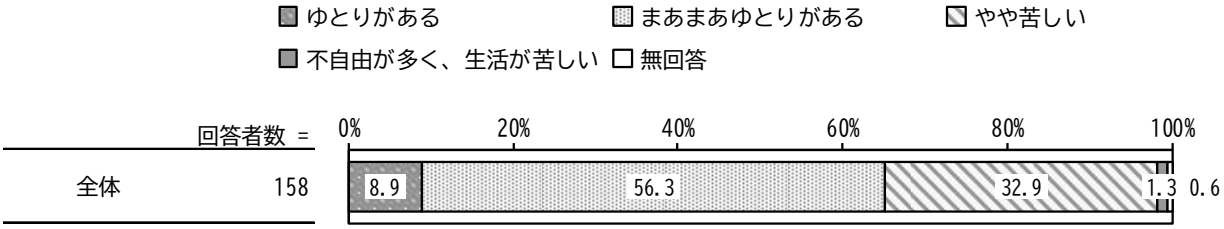
問５　お子さんと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。【○はいくつでも】

「あてはまらない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「妊婦や小学生以下の子どもがいる」の割合が 31.6%となっています。



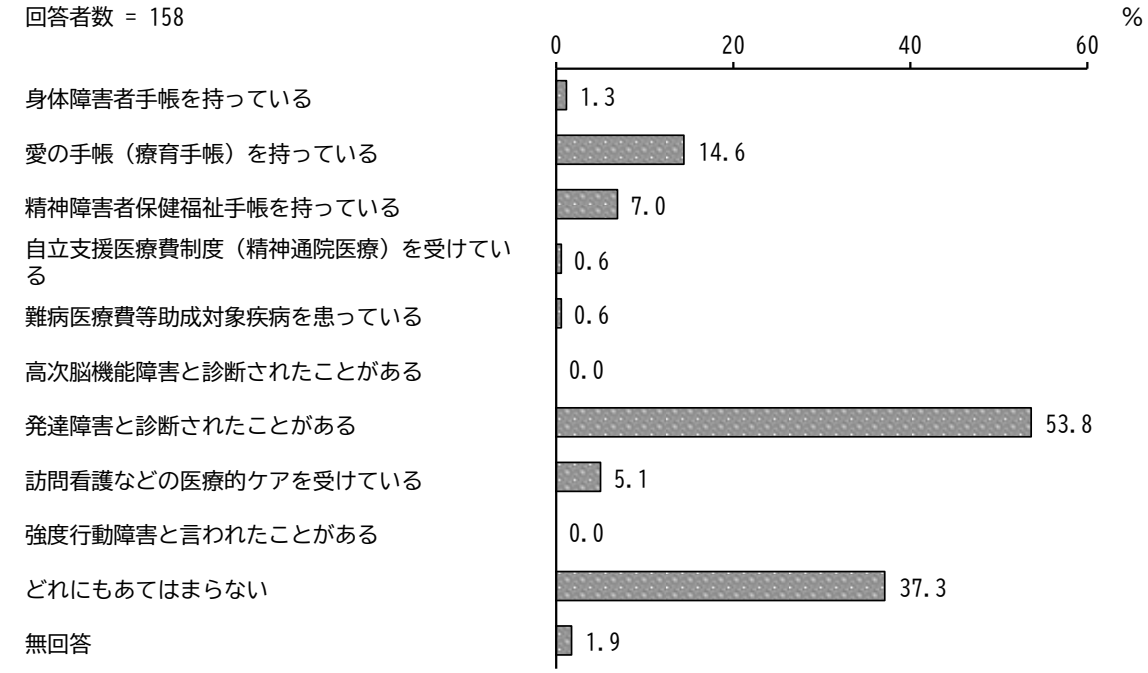
問６　お子さんの世帯の暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。【○は１つだけ】

「まあまあゆとりがある」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 32.9%となっています。



問７　次のうち、お子さんにあてはまるものに○をつけてください。【○はいくつでも】

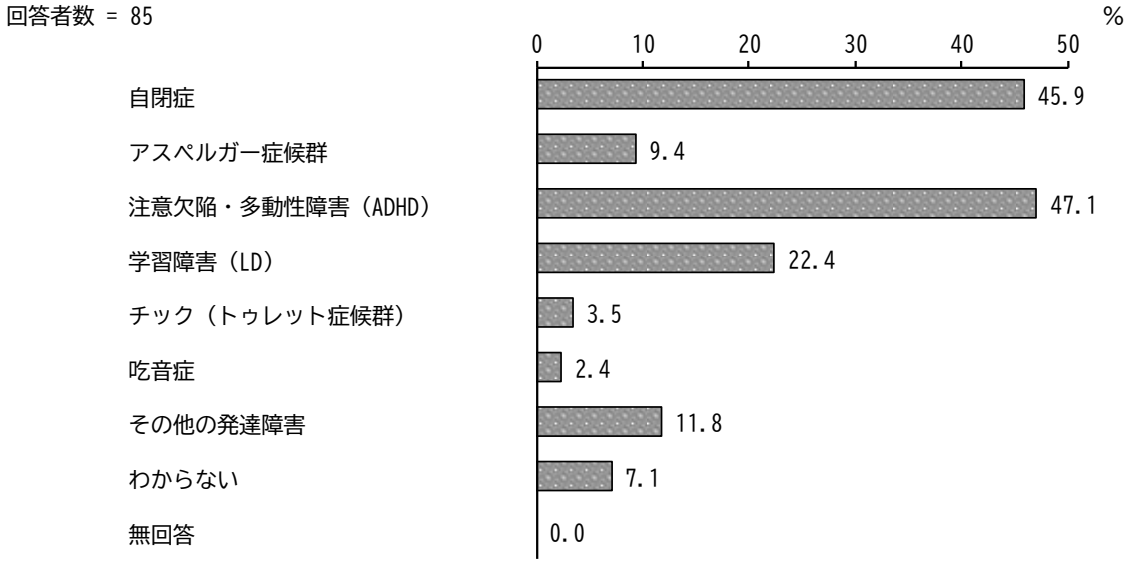
「発達障害と診断されたことがある」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「どれにもあてはまらない」の割合が 37.3%、「愛の手帳（療育手帳）を持っている」の割合が 14.6%となっています。



【問８は問７で「発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

問８　診断内容をお答えください。【○はいくつでも】

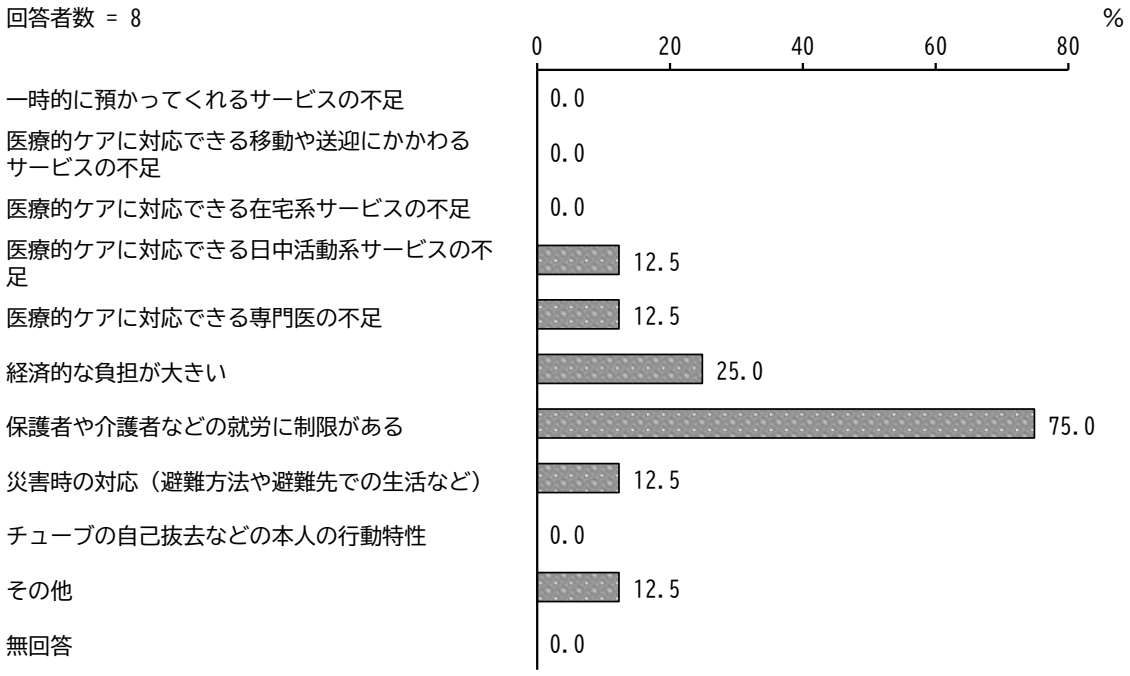
「注意欠陥・多動性障害（ADHD)」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「自閉症」の割合が 45.9%、「学習障害（LD)」の割合が 22.4%となっています。



【問９は問７で「訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問９　医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。【○はいくつでも】

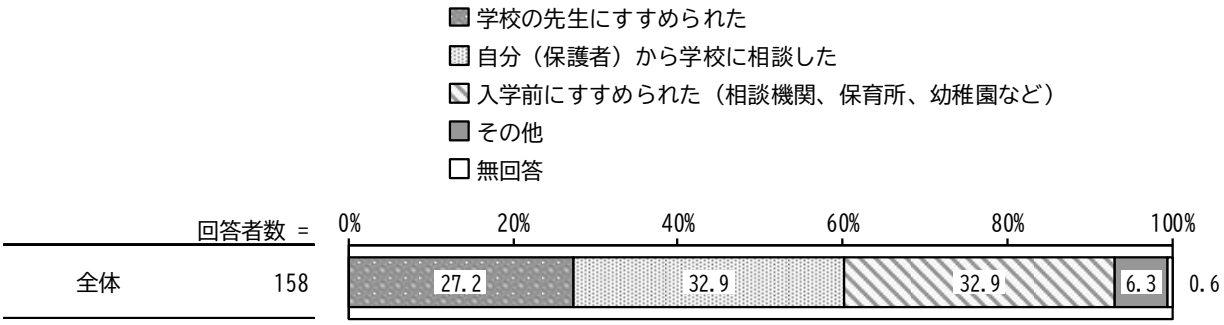
「保護者や介護者などの就労に制限がある」が６件、「経済的な負担が大きい」が２件、「医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足」、「医療的ケアに対応できる専門医の不足」、「災害時の対応（避難方法や避難先での生活など)」が１件となっています。



2　学校生活について

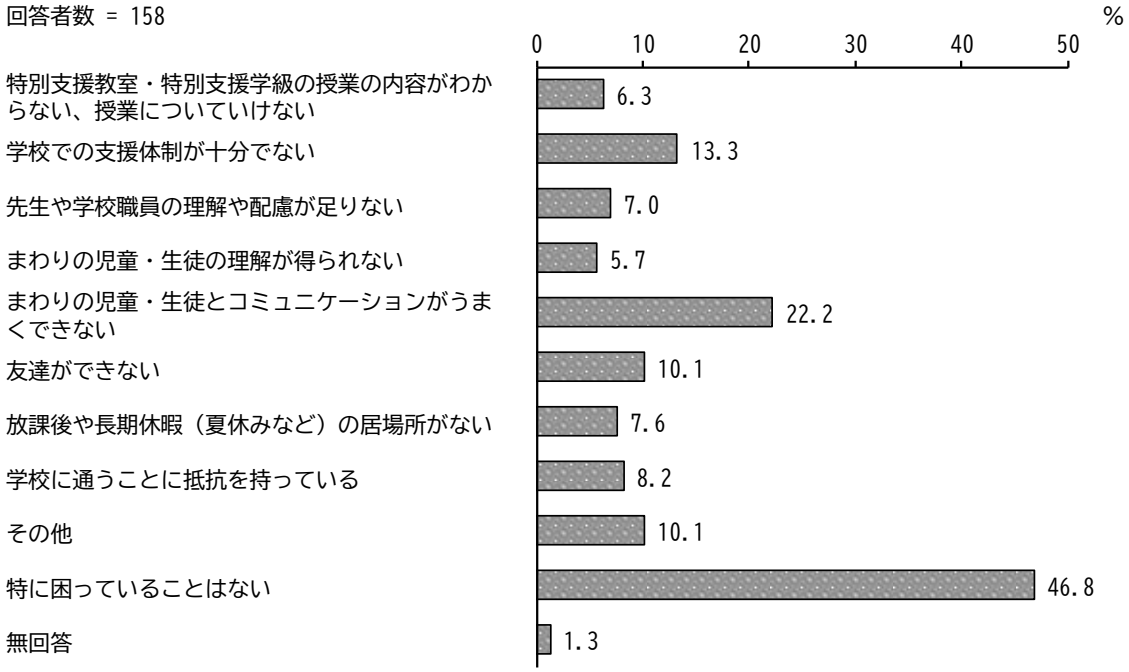
問 10　お子さんが、特別支援教室、特別支援学級に通うようになった主なきっかけをお答えください。【○は１つだけ】

「学校の先生にすすめられた」の割合が 27.2%、「自分（保護者）から学校に相談した」、「入学前にすすめられた（相談機関、保育所、幼稚園など）」の割合が 32.9%となっています。



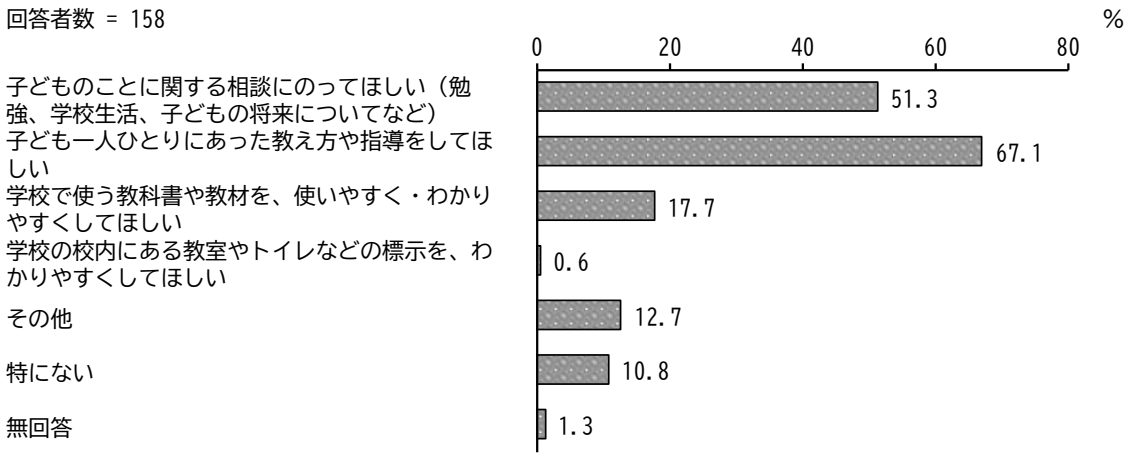
問 11　学校生活の中で、お子さんが困っていることはありますか。【○はいくつでも】

「まわりの児童・生徒とコミュニケーションがうまくできない」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「学校での支援体制が十分でない」の割合が 13.3%、「友達ができない」の割合が 10.1%となっています。



問 12　ご家族（お世話などをしている方）として、学校教育にどのようなことを望んでいますか。【○はいくつでも】

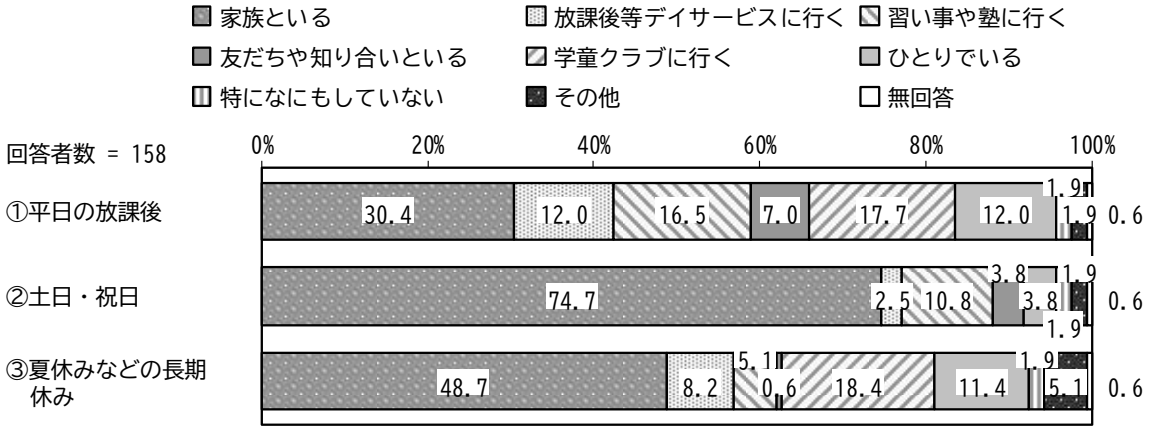
「子ども一人ひとりにあった教え方や指導をしてほしい」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「子どものことに関する相談にのってほしい（勉強、学校生活、子どもの将来についてなど）」の割合が 51.3%、「学校で使う教科書や教材を、使いやすく・わかりやすくしてほしい」の割合が 17.7%となっています。



問 13　お子さんは放課後や土日・祝日の休み、夏休みなどの長期休暇中の日中をどのように過ごしていますか。最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。【○はそれぞれに１つずつ】

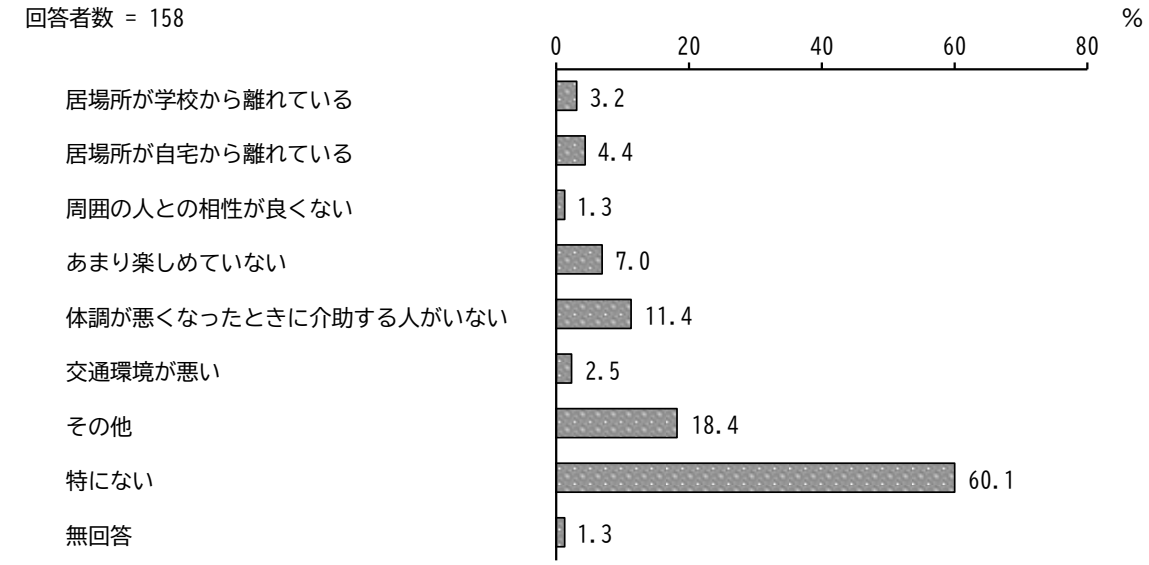
①平日の放課後

『②土日・祝日』で「家族といる」が、『①　平日の放課後』で「放課後等デイサービスに行く」「習い事や塾に行く」「友だちや知り合いといる」「ひとりでいる」が、『③夏休みなどの長期休み』で「学童クラブに行く」「その他」が高くなっています。



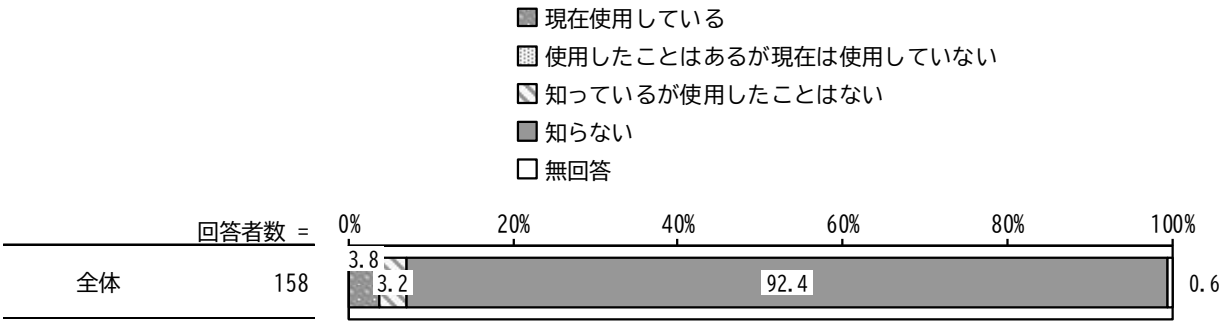
問 14　放課後の過ごし方について困っていることをお答えください。【○はいくつでも】

「体調が悪くなったときに介助する人がいない」の割合が 11.4%と最も高くなっています。



問 15　お子さんの成長等を記録する「サポートファイル」を知っていますか。【○は１つだけ】

「知らない」の割合が 92.4%と最も高くなっています。



問 16　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

自由意見	56　件
関係者、関係機関等で情報共有ができるもの	35　件
個別情報記録・プロフィール充実	9　件
オンライン・デジタル化による記録ツール	4　件
簡易記録・書式の簡便さ	3　件
支援サービスの連携・情報提供	3　件
接し方・取り扱い説明書（利用ガイド）	2　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【関係者、関係機関等で情報共有ができるもの】

●関係機関等の情報共有。

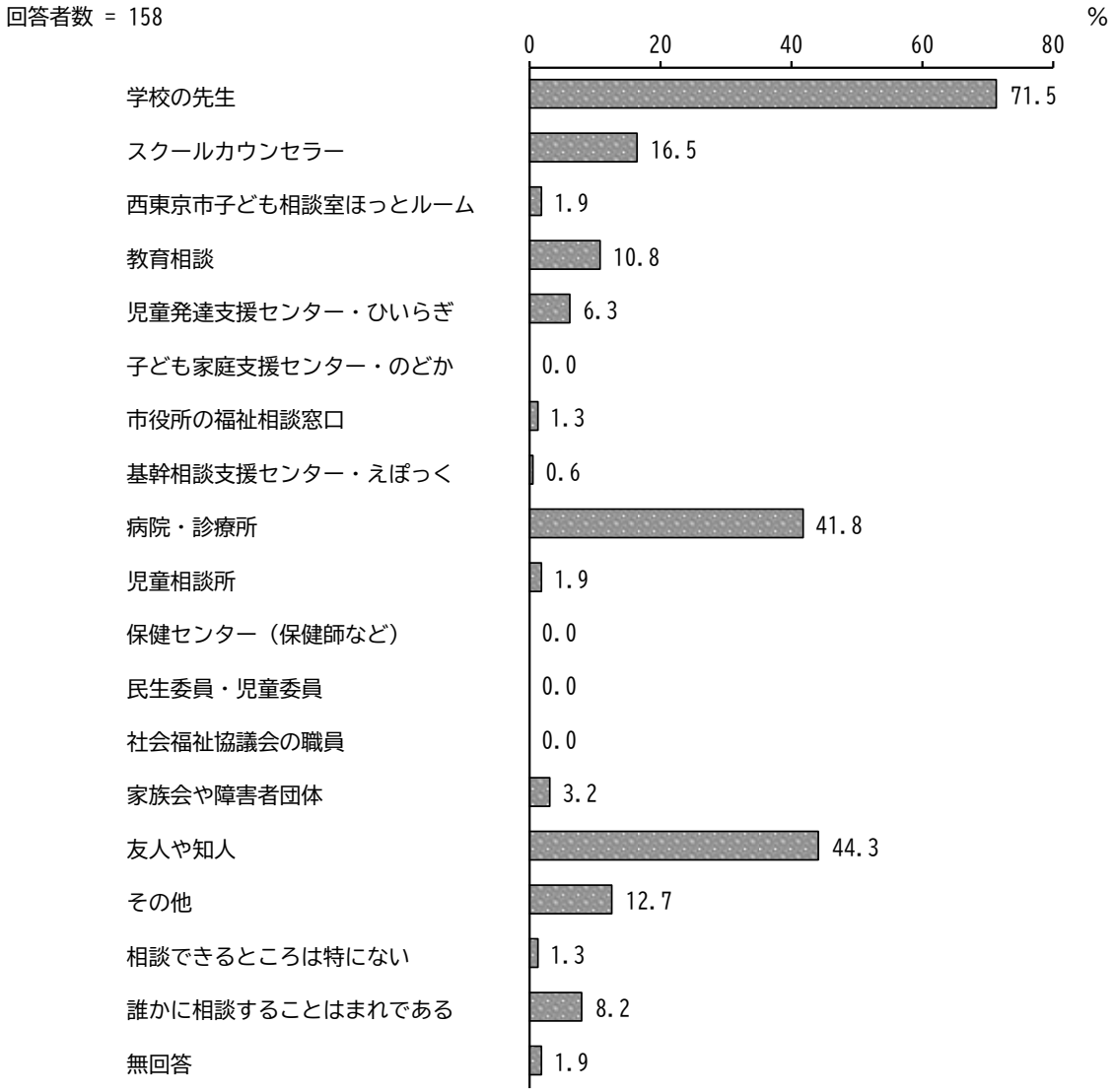
●学級の方で、担当の先生とクラス担任と保護者との共有ファイルがあり、それがとても良くて満足している。

●問 15 の説明に書いてあることが記載されれば今後手続きを行う時にもすごく助かると思う。

3　相談支援や情報入手について

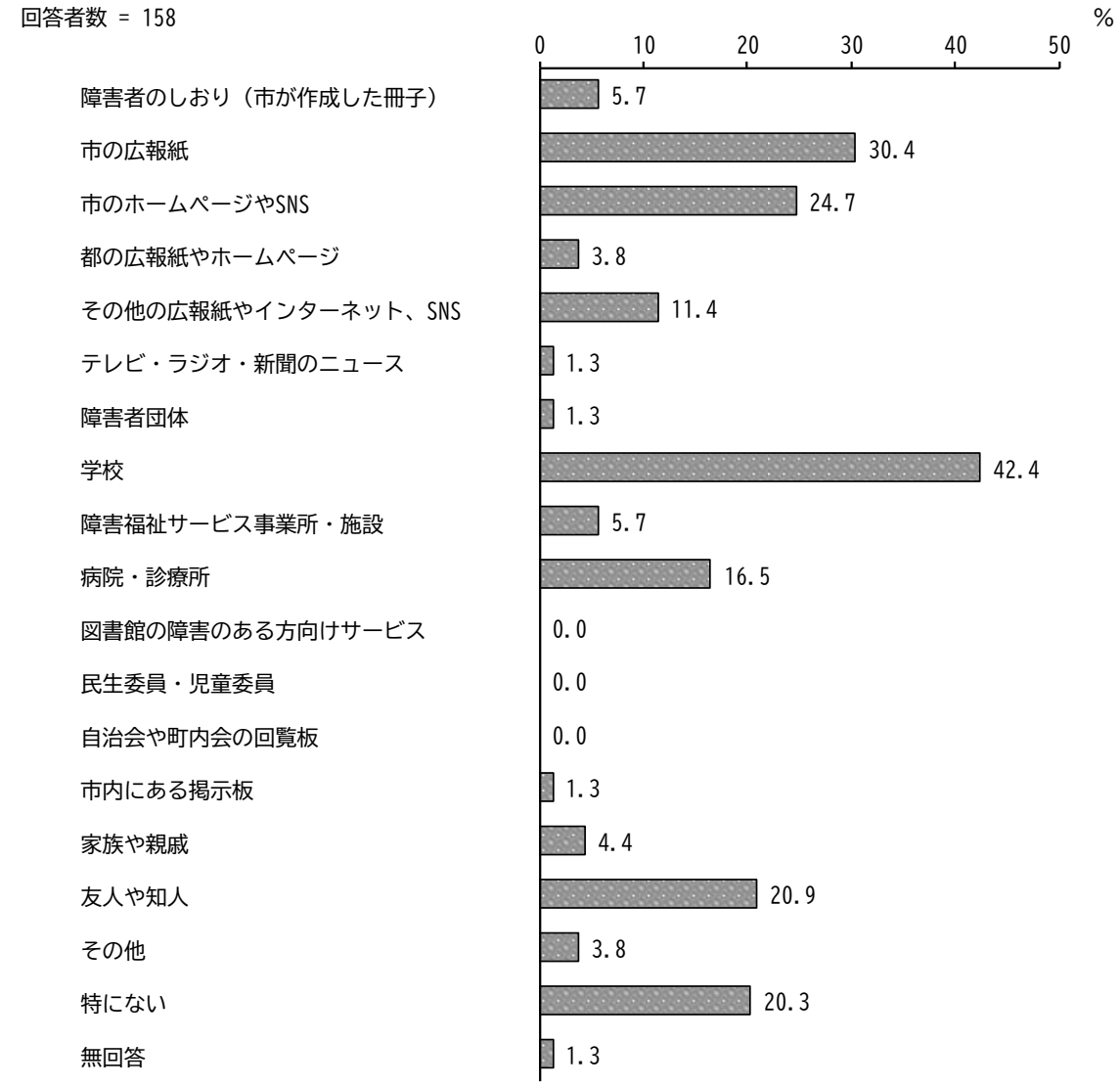
問 17　親族や親戚以外にお子さんの悩みを相談している人や場所をお答えください。
【○はいくつでも】

「学校の先生」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 44.3%、「病院・診療所」の割合が 41.8%となっています。



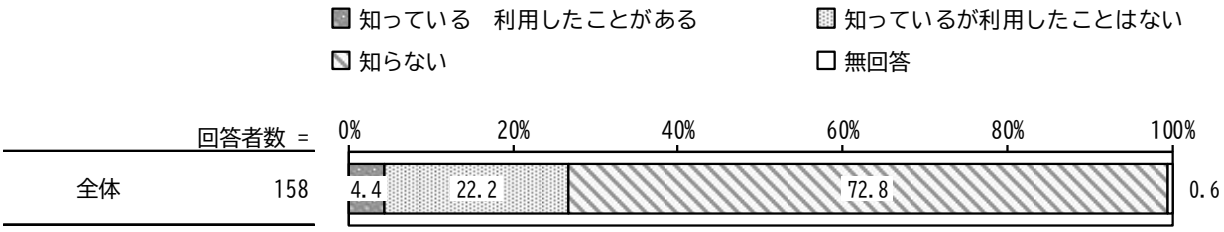
問 18　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。【○はいくつでも】

「学校」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「市の広報紙」の割合が 30.4%、「市のホームページやSNS」の割合が 24.7%となっています。



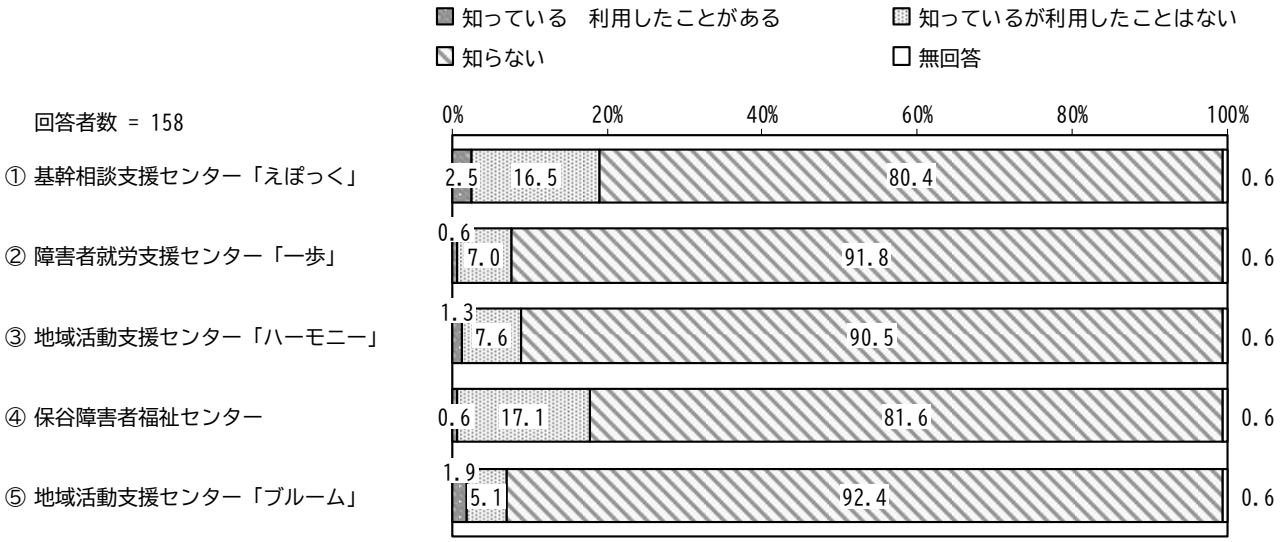
問 19　西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。【○は１つだけ】

「知っている　利用したことがある」の割合が 4.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 22.2%、「知らない」の割合が 72.8%となっています。



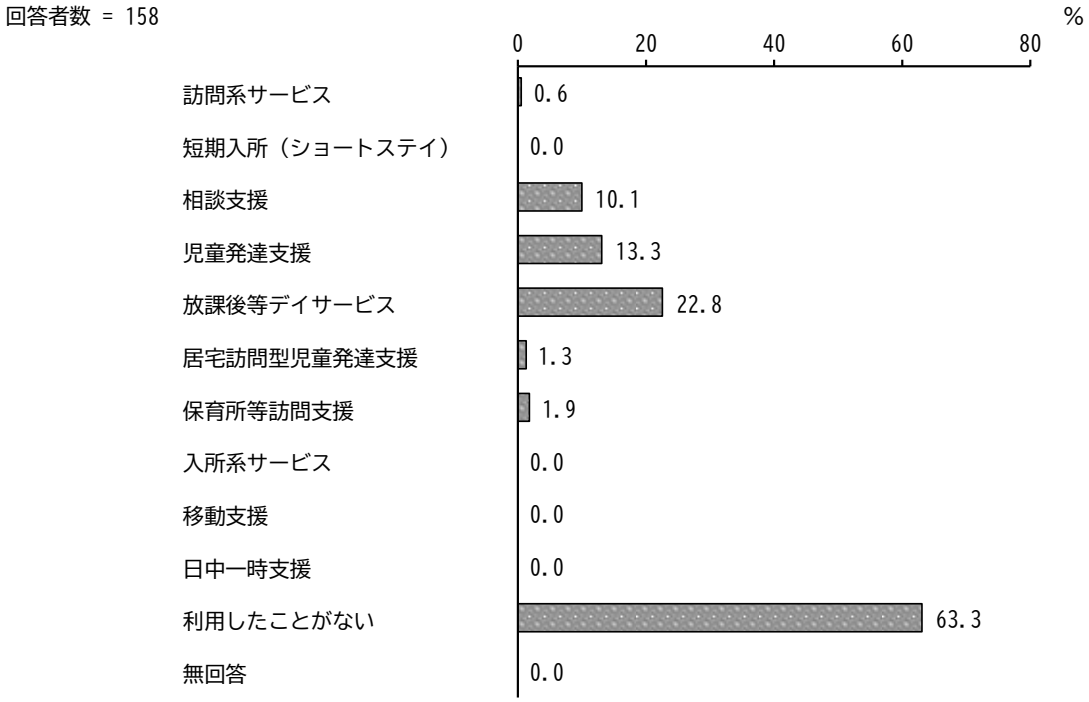
問 20　西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。
【○はそれぞれに１つずつ】

『①　基幹相談支援センター「えぽっく」』で「知っている　利用したことがある」が、『④　保谷障害者福祉センター』で「知っているが利用したことはない」が、『⑤　地域活動支援センター「ブルーム」』で「知らない」が高くなっています。



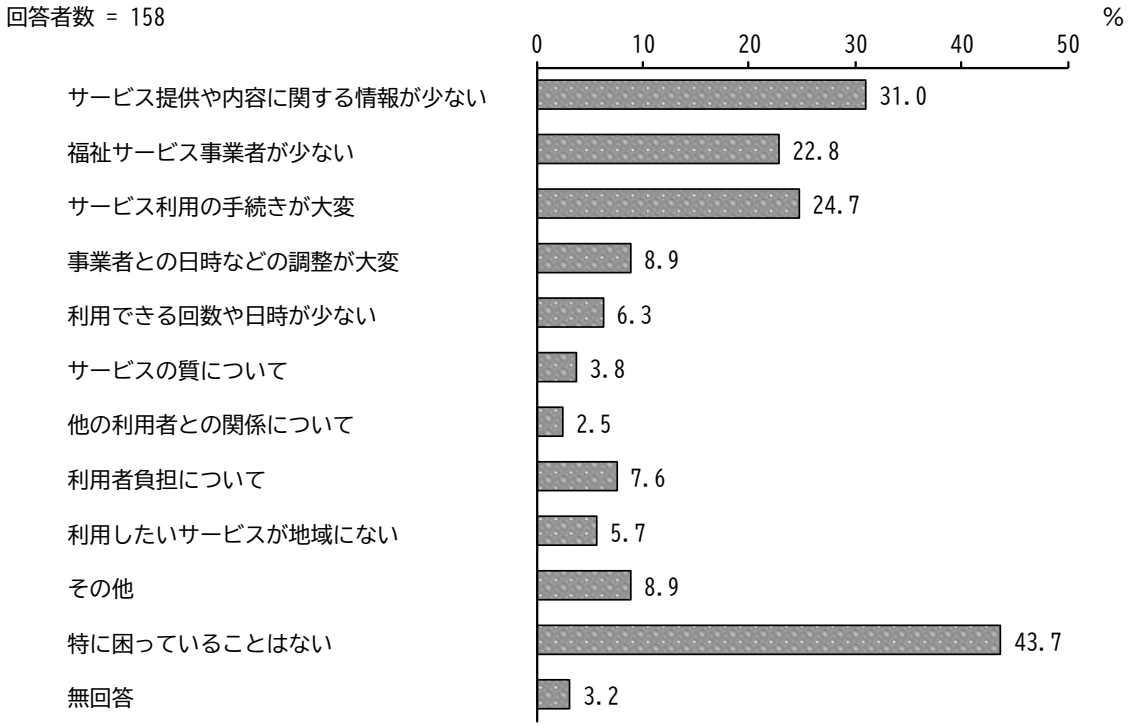
問 21　お子さんは、次の障害福祉サービス、地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。【○はいくつでも】

「利用したことがない」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」の割合が 22.8%、「児童発達支援」の割合が 13.3%となっています。



問 22　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。【○はいくつでも】

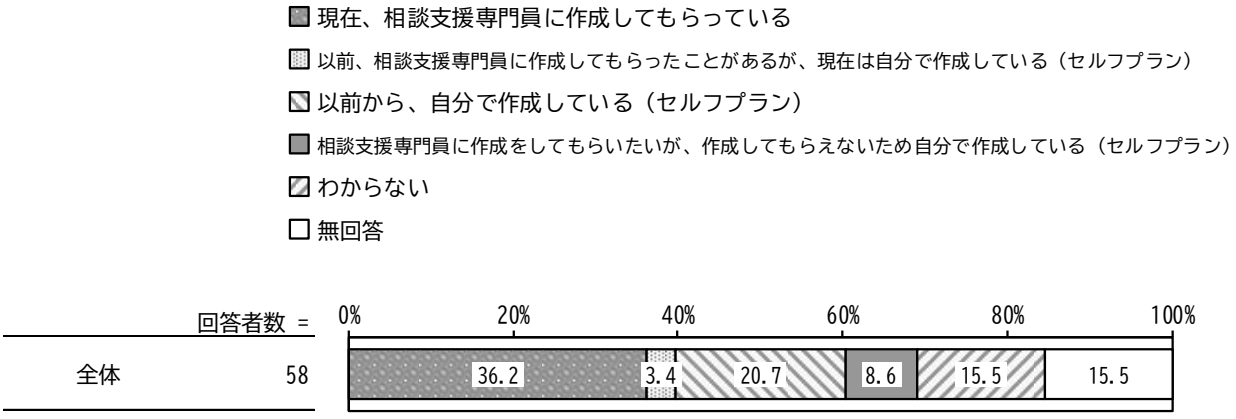
「サービス提供や内容に関する情報が少ない」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きが大変」の割合が 24.7%、「福祉サービス事業者が少ない」の割合が 22.8%となっています。



【問 23 は問 21 で「利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問 23　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。【○は１つだけ】

「現在、相談支援専門員に作成してもらっている」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」の割合が 20.7%となっています。

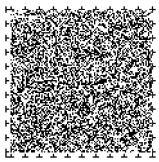


【サービス等利用計画の作成方法で「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）・以前から、自分で作成している（セルフプラン）・相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問 24　「以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）」または「以前から、自分で作成している（セルフプラン）」を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。「相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）」を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

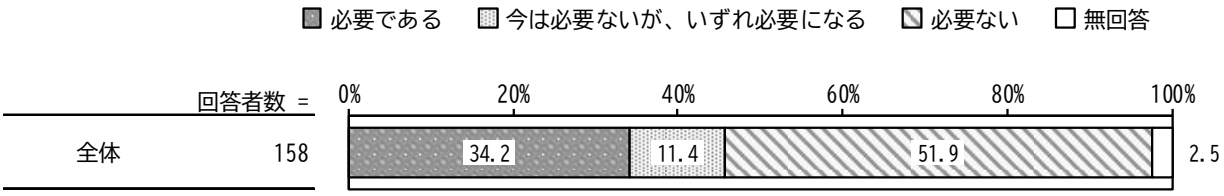
自由意見

●相談支援員を探すのが手間だから。
●専門員に作成してもらえると教えてもらったが、その手続きが面倒で自分で作成することにしたから。
●作成してもらうには日時を要するので、自分で作った方が早いので。
●自分で作成出来るため。
●特に苦に思わないのと、人にお願いするのに面談などを行う時間を持つことが困難な為。
●相談支援員を探しているが、どこも空きがなく仕方なく自分で作成している。
●自分で作成するのが１番楽。
●相談支援専門員に作成いただいたことがないので、必要性がわからないし、利用方法もよくわからない。
●自分で作成した方が手間がかからないと思ったため。
●放課後等デイサービスの空きがないので、作成してもらうことがない。
●空きがない為。
●相談員不足。現在は利用可能なサービスがないと言われた。
●平日仕事をしており、作成を依頼するにあたり日程調整が難しかったと記憶している。
●時間がかかる。



問 25　お子さんの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。【○は１つだけ】

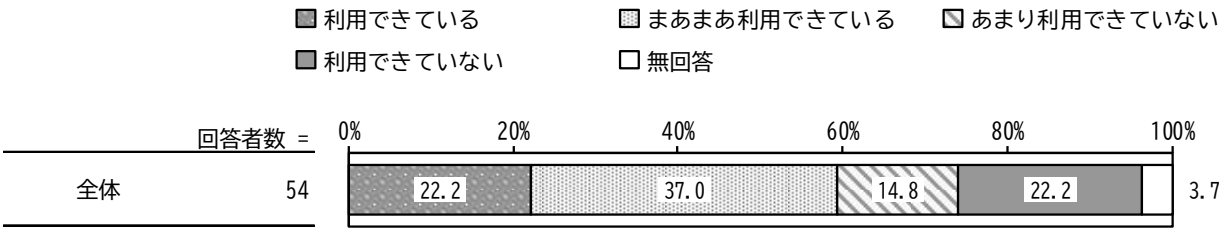
「必要である」の割合が 34.2%、「今は必要ないが、いずれ必要になる」の割合が 11.4%、「必要ない」の割合が 51.9%となっています。



【問 26 は問 25 で「必要である」と回答された方にお聞きします。】

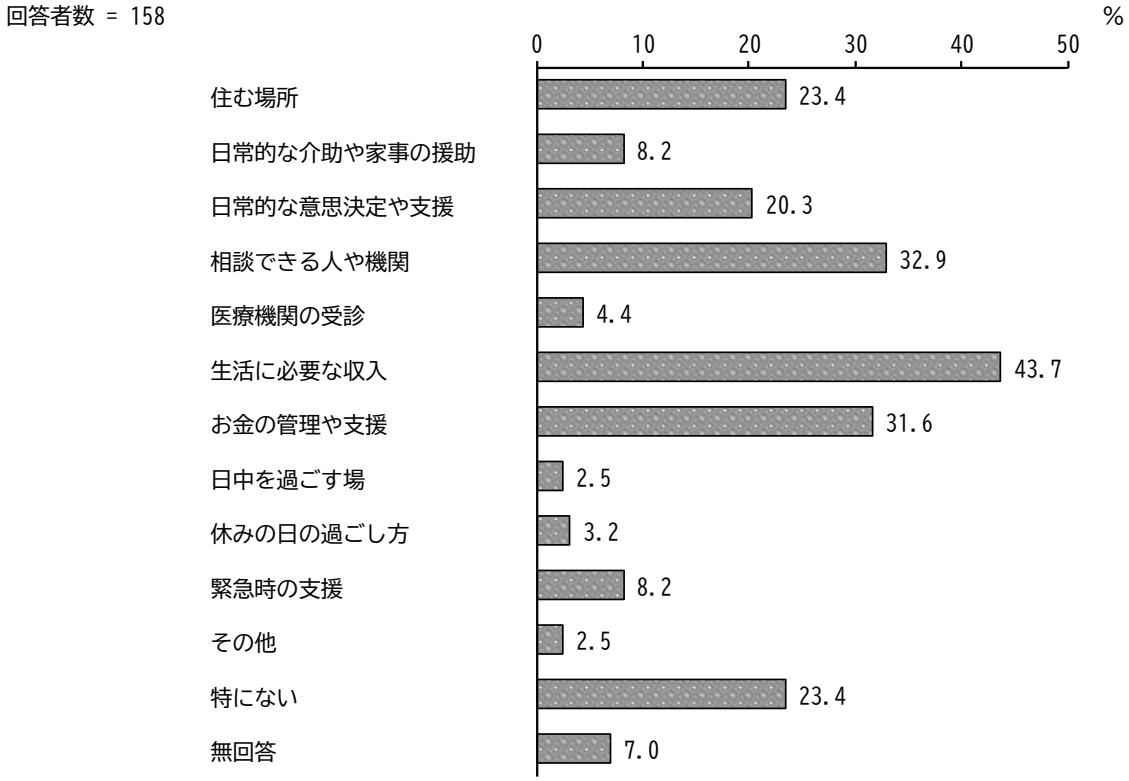
問 26　お子さんは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。
【○は１つだけ】

「まあまあ利用できている」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「利用できている」、「利用できていない」の割合が 22.2%となっています。



問 27　お子さんの親なき後や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。
【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

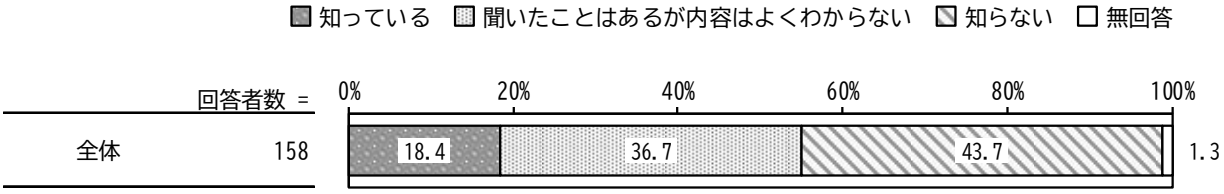
「生活に必要な収入」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「相談できる人や機関」の割合が 32.9%、「お金の管理や支援」の割合が 31.6%となっています。



4　子どもの意見の尊重について

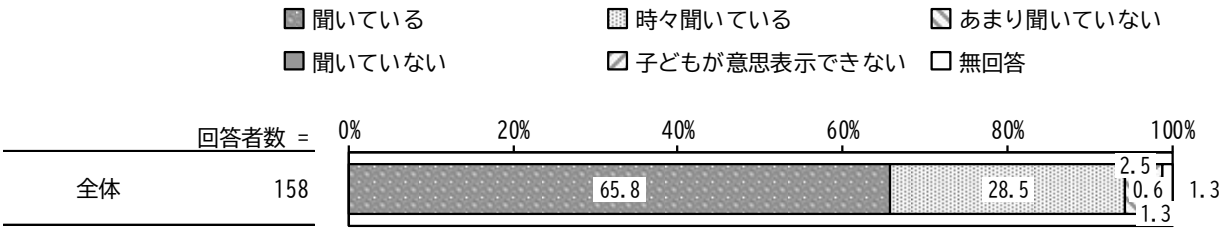
問 28　平成 30 年 10 月より施行された「西東京市子ども条例」を知っていますか。
【○は１つだけ】

「知っている」の割合が 18.4%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」の割合が 36.7%、「知らない」の割合が 43.7%となっています。



問 29　あなたは、家で何かを決めるとき、お子さんの意見を聞いていますか。
【○は１つだけ】

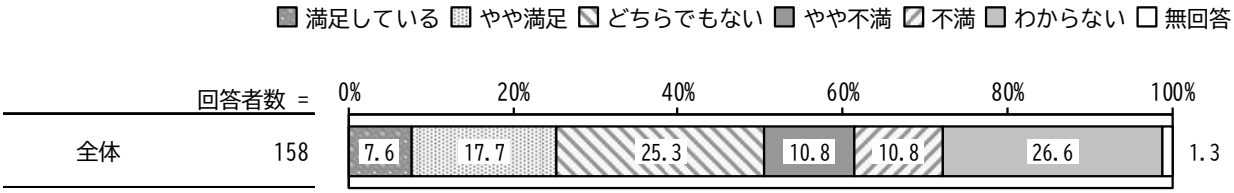
「聞いている」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「時々聞いている」の割合が 28.5%となっています。



5　西東京市について

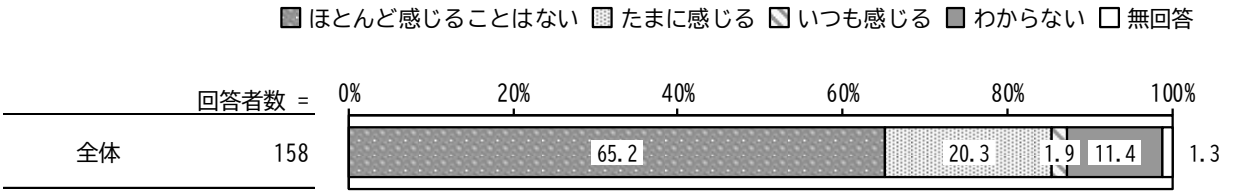
問 30　西東京市の障害児施策全般について、総合的に満足していますか。【○は１つだけ】

「満足している」「やや満足」を合わせた“満足している”の割合が 25.3%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が 21.6%となっています。



問 31　お子さん、またはご家族等（お世話等をしている方）は、お子さんの状態や言動で差別や人権侵害を受けていると感じることはありますか。【○は１つだけ】

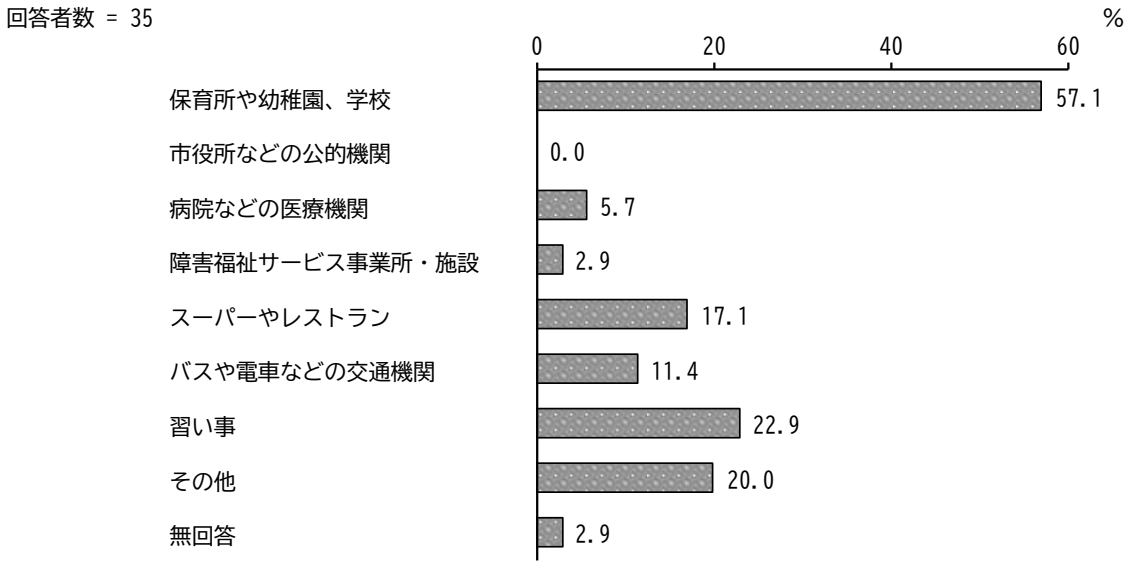
「ほとんど感じることはない」の割合が 65.2%、「たまに感じる」の割合が 20.3%、「いつも感じる」の割合が 1.9%となっています。



【問 32 は問 31 で「たまに感じる」「いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問 32　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所などをお答えください。
【○はいくつでも】

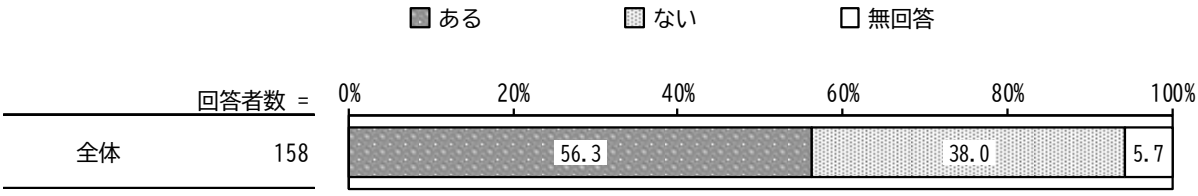
「保育所や幼稚園、学校」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 22.9%、「スーパーやレストラン」の割合が 17.1%となっています。



【問 33～35 はお子さんの意思を確認して回答をお願いします。】

問 33　自分の家以外に、西東京市内に居心地のいい場所はありますか。

「ある」の割合が 56.3%、「ない」の割合が 38.0%となっています。



【自宅以外に居心地のいい場所で「ある」と回答された方にお聞きします。】

問 34　その場所を具体的にお答えください。

自由意見	117　件
学校	30　件
実家、自宅、親戚の家等	15　件
放課後等デイサービス	13　件
公園	11　件
学童	11　件
友達の家	9　件
児童館	7　件
地域施設（コミュニティセンター・食堂・商業施設など）	6　件
習い事・教室	5　件
図書館（一般・保谷図書館含む）	3　件
塾	2　件
その他	5　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【学校】

●クラス内、教室でお友達や先生がいること

●小学校の体育館

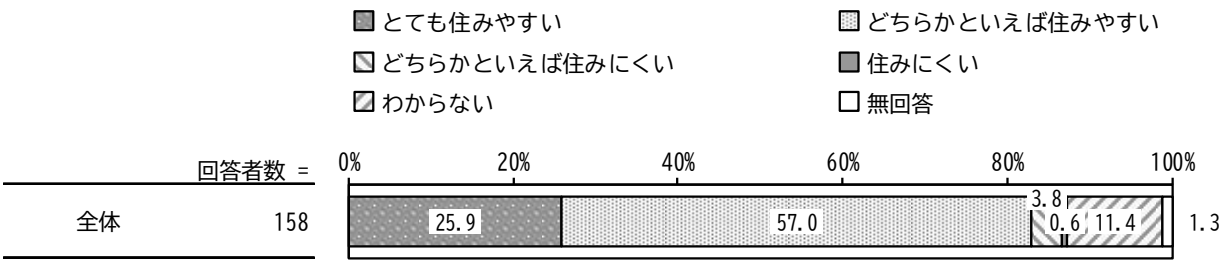
【実家、自宅、親戚の家等】

●伯母の家

●いとこの家

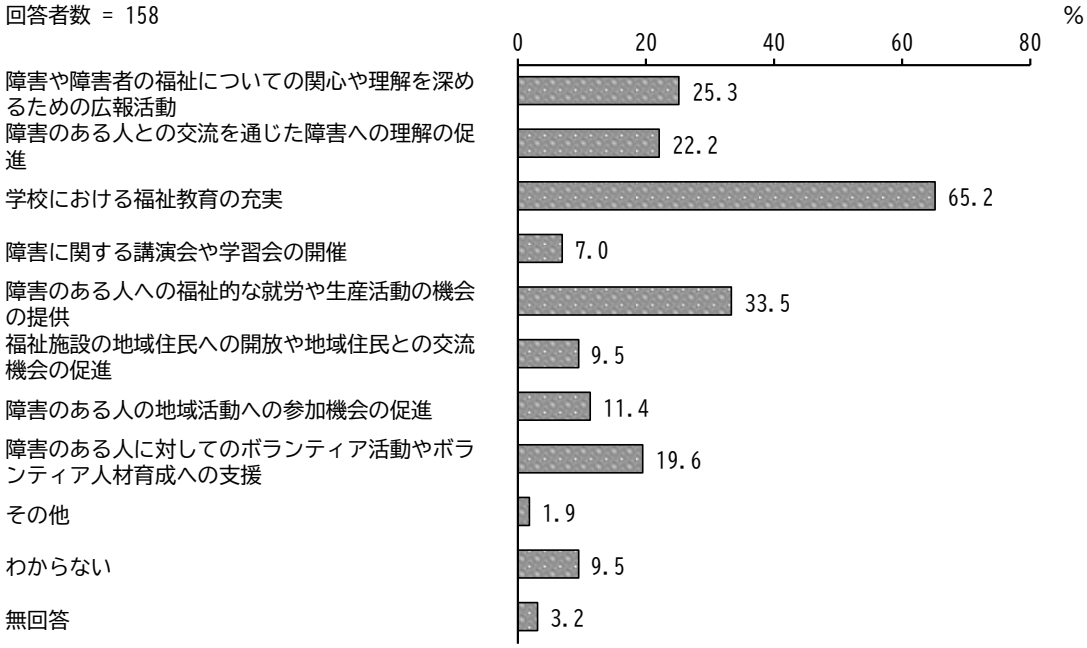
問 35　西東京市は住みやすいまちだと思いますか。【○は１つだけ】

「どちらかといえば住みやすい」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「とても住みやすい」の割合が 25.9%となっています。



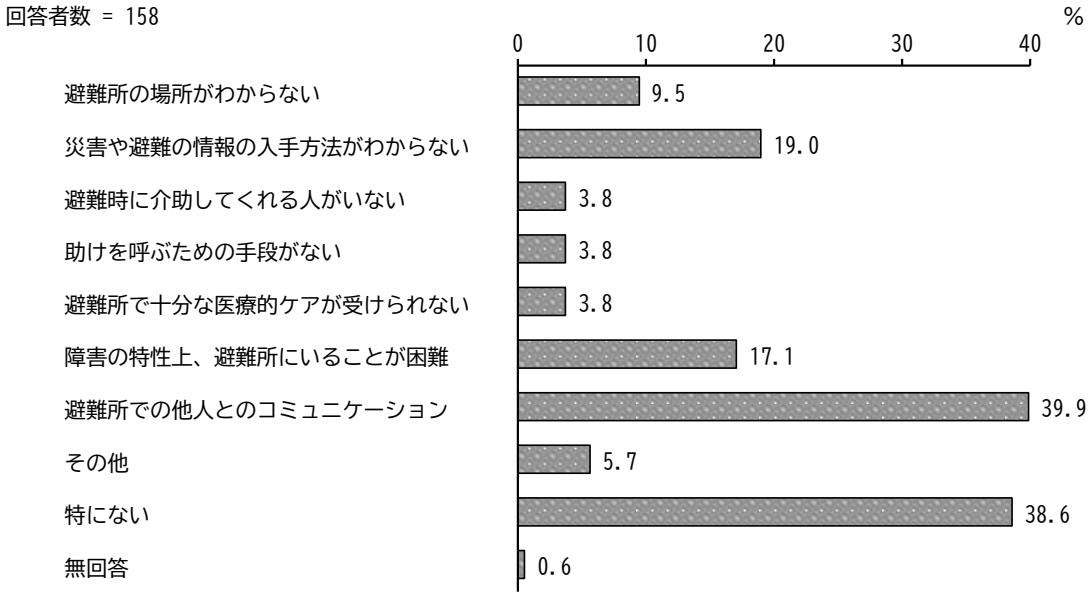
問 36　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。
【○は３つまで】

「学校における福祉教育の充実」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供」の割合が 33.5%、「障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動」の割合が 25.3%となっています。



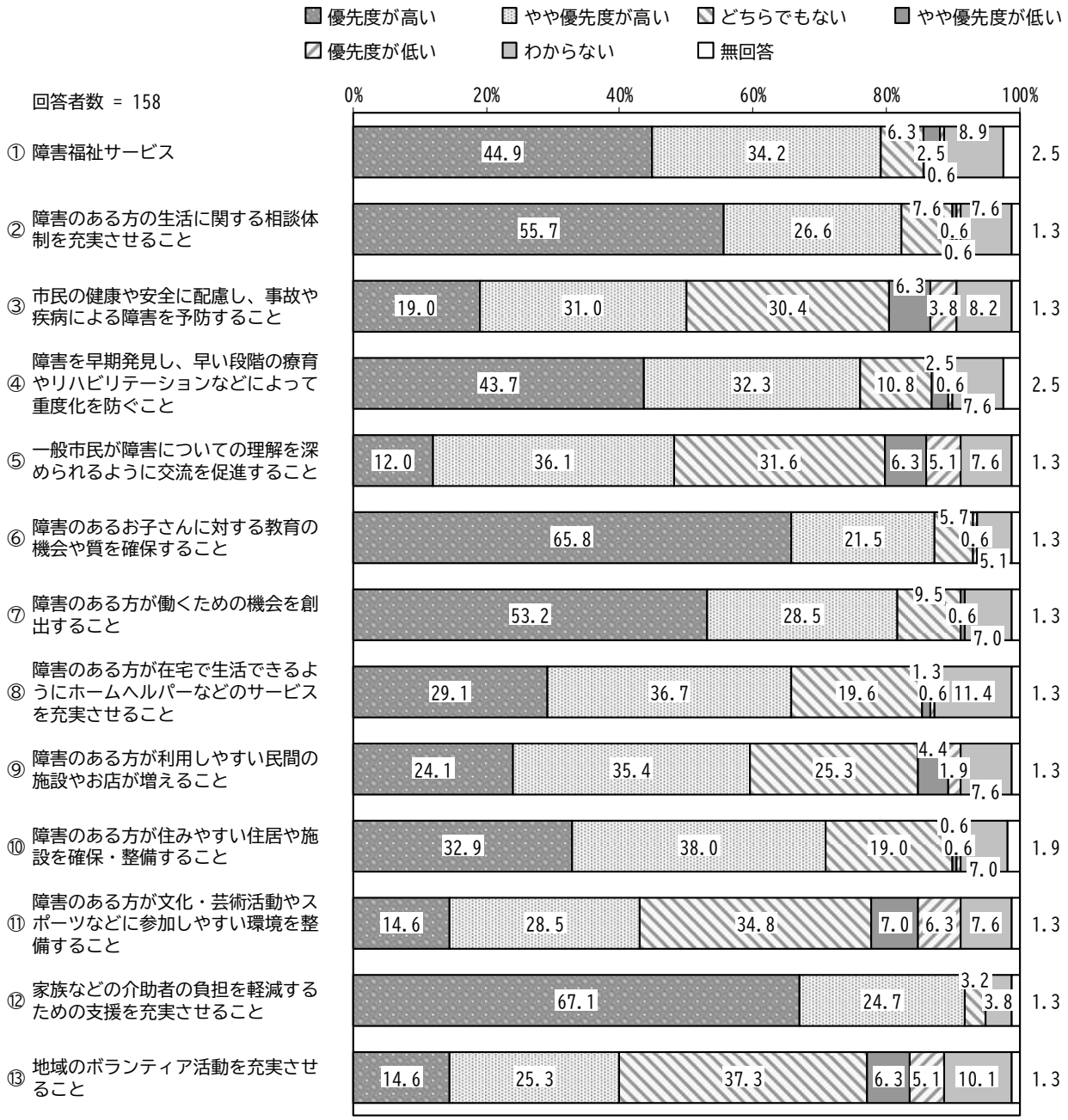
問 37　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。
【○はいくつでも】

「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「災害や避難の情報の入手方法がわからない」の割合が 19.0%、「障害の特性上、避難所にいることが困難」の割合が 17.1%となっています。



問 38　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。
【○はそれぞれに１つずつ】

『⑫　家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること』で「優先度が高い」が、『⑩　障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること』で「やや優先度が高い」が、『⑬　地域のボランティア活動を充実させること』で「どちらでもない」が、『⑪　障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること』で「やや優先度が低い」「優先度が低い」が、『⑧　障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること』で「わからない」が高くなっています。



問 39　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見	41　件
支援体制・切れ目のない支援の充実	7　件
学校相談・就学支援の改善	7　件
通学・交通支援の充実	5　件
相談窓口・情報提供の改善	5　件
制度・申込手続きの改善	5　件
経済的負担軽減・費用無償化	5　件
教育支援・特別支援教室の運営改善	4　件
その他	3　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【支援体制・切れ目のない支援の充実】

●障がいを持っている方の卒後、18 歳からの所属する通所施設、グループホーム等々がもっと増えれば家庭の負担が減ると思っている。

●施設毎の縛りではなく、障害などで困っている一人ひとりに専門の方がついて、その人に対してのアドバイスが貰えると保護者としてとても心強く思う。そして、アドバイザーはＡＩで代用が可能かとは思うが、人と人との繋がりを持ってやってほしいなと思う。

●長い目で相談や支援して貰える場所があると嬉しい。身体的や知能だけではない微妙な軽微な身体的な障害からの生きづらさ、日常の不安定さに大人になるまでの気軽な相談が出来る場所はこれからも必要かもしれないと思った。包括センターや障害に関する相談場所も何故か遠すぎて子供達が私たち親の世代になり、支援が欲しくても相談までに行き着けず苦しむのでは無いか、の懸念もあるし…精神支援もだが各施設の場所ももう少し考えて欲しい。

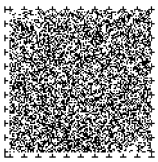
【学校相談・就学支援の改善】

●何度にもわたって相談・健康確認など、学校を早退して市役所などに行く必要があるため教育機会が奪われている。医師相談なども、専門医を学校に派遣いただくなど、本人・家族の負担にならないような工夫を検討いただきたい。

●クラス運営する上で、30 人を１人の教師が授業をしながら観察することは厳しいと思う。各教室に教員資格を持たずとも、子どもを観察・支援する大人を配置・増員してほしい。

●社会的な理解を得ることも大切だが、当事者のご家族、特に保護者の発達特性への理解を深めることがもっとも大切だと思う。保護者が、正しい子どもへの対応方法を知ったり、自分を責める必要のないことを理解できたら、子どもへの対応も変わり皆が生きやすくなっていくのではないかと思う。子どもたちが、自分は自分のままでいいと思えるように、保護者や教育者などの周囲が変わることで、もっともっと生きやすい社会になっていくのではないかと思う。

Ⅴ　調査結果
～施設入所者調査～



Ⅴ　調査結果　～施設入所者調査～

1　事業所の概要について

問１　貴事業所の主な対象者をお答えください。【○はいくつでも】

「知的障害者」の割合が 83.9%と最も高く、次いで「強度行動障害者」の割合が 38.7%、「身体障害者」の割合が 35.5%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「精神障害者」「重症心身障害者」「医療的ケアが必要な方」の割合が高く、『知的障害者』で「強度行動障害者」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「知的障害者」「強度行動障害者」の割合が高く、『東京都外』で「精神障害者」「重症心身障害者」「医療的ケアが必要な方」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「身体障害者」の割合が高く、『ない』で「知的障害者」「精神障害者」「重症心身障害者」「医療的ケアが必要な方」「強度行動障害者」の割合が高くなっています。

		調査数	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重症心身障害者	医療的ケアが必要な方	強度行動障害者	その他	無回答
全　体		31	35.5	83.9	16.1	12.9	3.2	38.7	0.0	0.0 (%)
対象者	身体障害者	11	100.0	72.7	27.3	27.3	9.1	36.4	0.0	0.0
	知的障害者	26	30.8	100.0	15.4	11.5	3.8	42.3	0.0	0.0
	精神障害者	5	60.0	80.0	100.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	75.0	75.0	75.0	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	その他	13	38.5	92.3	15.4	15.4	7.7	92.3	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	35.7	92.9	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	東京都外	17	35.3	76.5	29.4	23.5	5.9	29.4	0.0	0.0
地域移行実績	ある	14	42.9	78.6	0.0	0.0	0.0	35.7	0.0	0.0
	ない	17	29.4	88.2	29.4	23.5	5.9	41.2	0.0	0.0

問２　貴事業所の事業開始年度を和暦でお答えください。【○は１つだけ、数字を記入】

「40 年以上」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「30 年以上、40 年未満」の割合が 25.8%、「20 年以上、30 年未満」の割合が 16.1%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「40 年以上」の割合が高く、知的障害者で「10 年以上、20 年未満」「30 年以上、40 年未満」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「10 年以上、20 年未満」の割合が高く、『東京都外』で「30 年以上、40 年未満」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「40 年以上」の割合が高く、『ない』で「10 年以上、20 年未満」「30 年以上、40 年未満」の割合が高くなっています。

		調査数	10年未満	10年以上、20年未満	20年以上、30年未満	30年以上、40年未満	40年以上	無回答
全　体		31	0.0	12.9	16.1	25.8	41.9	3.2 (%)
対象者	身体障害者	11	0.0	0.0	18.2	9.1	63.6	9.1
	知的障害者	26	0.0	15.4	15.4	26.9	42.3	0.0
	精神障害者	5	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0
	その他	13	0.0	15.4	15.4	38.5	30.8	0.0
所在地	東京都内	14	0.0	21.4	14.3	21.4	42.9	0.0
	東京都外	17	0.0	5.9	17.6	29.4	41.2	5.9
地域移行実績	ある	14	0.0	7.1	14.3	21.4	50.0	7.1
	ない	17	0.0	17.6	17.6	29.4	35.3	0.0

問３　貴事業所が提供している施設入所サービスについて、それぞれの「定員」と 10 月１日現在の「実利用者数」をお答えください。利用者数については年齢別の人数と、西東京市が援護の実施者となっている利用者の内数についても記入してください。【数字を記入】

定員

「50 人以下」、「76～100 人」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「51～75 人」の割合が 29.0%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「76～100 人」の割合が高く、『知的障害者』で「101 人以上」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「50 人以下」「76～100 人」の割合が高く、『東京都外』で「51～75 人」「101 人以上」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「50 人以下」の割合が高く、『ない』で「76～100 人」の割合が高くなっています。

		調査数	50人以下	51～75人	76～100人	101人以上	無回答
全　体		31	32.3	29.0	32.3	6.5	0.0
対象者	身体障害者	11	36.4	18.2	45.5	0.0	0.0
	知的障害者	26	34.6	23.1	34.6	7.7	0.0
	精神障害者	5	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	その他	13	23.1	30.8	38.5	7.7	0.0
所在地	東京都内	14	50.0	14.3	35.7	0.0	0.0
	東京都外	17	17.6	41.2	29.4	11.8	0.0
地域移行実績	ある	14	42.9	28.6	21.4	7.1	0.0
	ない	17	23.5	29.4	41.2	5.9	0.0

(%)

実利用者数全体

実利用者の平均利用者数をみると、「50 歳代」が 19.7 人と最も多く、次いで「60 歳代」が 15.3 人となっています。

【属性別】

対象者別にみると、『精神障害者』で「50 歳代」が多く、『重症心身障害者』で「60 歳代」が多くなっています。

所在地別にみると、『東京都内』で「40 歳代」「50 歳代」が多く、『東京都外』で「50 歳代」「60 歳代」が多くなっています。

地域移行実績別にみると、『ある』『ない』で「50 歳代」が多くなっています。

		調査数	全体	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
全　体		31	62.7	0.7	3.2	7.0	10.4	19.7	15.3	9.0	2.8
対象者	身体障害者	11	55.2	1.0	2.8	8.3	7.1	18.3	15.9	7.7	1.1
	知的障害者	26	64.1	0.7	3.4	7.3	11.1	20.2	15.1	9.4	2.7
	精神障害者	5	69.0	0.0	3.6	6.6	9.4	20.8	15.6	11.0	2.0
	重症心身障害者	4	72.0	0.3	3.5	9.0	8.3	17.5	20.3	11.3	2.0
	その他	13	71.0	0.1	3.5	8.2	13.8	22.5	13.8	8.3	1.6
所在地	東京都内	14	51.9	1.0	3.2	6.9	12.2	16.5	10.4	6.4	2.0
	東京都外	17	72.7	0.3	3.2	7.0	8.8	22.5	19.3	11.0	3.3
地域移行実績	ある	14	62.9	0.3	2.7	6.8	7.3	19.1	18.2	9.8	4.5
	ない	17	62.5	0.8	3.5	7.1	13.4	20.3	12.6	8.4	1.3

(人)

内数　西東京市

西東京市の平均利用者数をみると、「50 歳代」が 1.2 人と最も高く、次いで「60 歳代」が 0.9 人となっています。

【属性別】

対象者別にみると、『身体障害者』で「50 歳代」が多く、『知的障害者』で「50 歳代」が多くなっています。

所在地別にみると、『東京都内』で「40 歳代」「50 歳代」「60 歳代」が多く、『東京都外』で「50 歳代」「60 歳代」が多くなっています。

地域移行実績別にみると、『ある』『ない』で「50 歳代」が多くなっています。

		調査数	全体	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
全　体		31	1.9	0.0	0.0	0.6	0.8	1.2	0.9	0.5	0.5
対象者	身体障害者	11	2.6	0.0	0.0	0.8	0.8	2.2	1.4	0.7	0.7
	知的障害者	26	2.1	0.0	0.0	0.6	0.8	1.2	0.9	0.5	0.5
	精神障害者	5	1.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.7	0.0	0.7	0.5
	重症心身障害者	4	1.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5
	その他	13	2.7	0.0	0.0	0.6	1.2	1.6	1.3	0.6	1.0
所在地	東京都内	14	2.5	0.0	0.0	0.7	1.0	1.6	1.0	0.3	0.5
	東京都外	17	1.4	0.0	0.0	0.6	0.3	0.9	0.8	0.6	0.5
地域移行実績	ある	14	2.6	0.0	0.0	1.3	1.0	2.0	1.8	1.0	1.0
	ない	17	1.3	0.0	0.0	0.4	0.7	0.8	0.0	0.3	0.4

（人）

2　施設入所ニーズの変化について

問４　貴事業所が提供しているサービスへのニーズは直近の２年間でどのように変化していますか。　【○は１つだけ】

「増えている」の割合が 45.2%、「変わらない」の割合が 41.9%、「減っている」の割合が 6.5%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「変わらない」「減っている」の割合が高く、『知的障害者』で「増えている」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「増えている」の割合が高く、『東京都外』で「変わらない」「減っている」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「増えている」「減っている」の割合が高く、『ない』で「変わらない」の割合が高くなっています。

		調査数	増えている	変わらない	減っている	わからない	無回答
全　体		31	45.2	41.9	6.5	3.2	3.2
対象者	身体障害者	11	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0
	知的障害者	26	50.0	38.5	3.8	3.8	3.8
	精神障害者	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	46.2	53.8	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	57.1	35.7	0.0	0.0	7.1
	東京都外	17	35.3	47.1	11.8	5.9	0.0
地域移行実績	ある	14	50.0	28.6	14.3	7.1	0.0
	ない	17	41.2	52.9	0.0	0.0	5.9

(%)

問５　貴事業所が提供しているサービスの定員に対するおおよその充足率を教えてください。
【○はそれぞれに１つ】

①　今年度（令和７年度９月まで）

「90%以上～100%未満」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「100%」の割合が 25.8%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「90%以上～100%未満」「70%未満」の割合が高く、『知的障害者』で「80%以上～90%未満」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』『東京都外』で「90%以上～100%未満」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』『ない』で「90%以上～100%未満」の割合が高くなっています。

		調査数	100%	90%以上～100%未満	80%以上～90%未満	70%以上～80%未満	70%未満	無回答
全　体		31	25.8	48.4	9.7	9.7	6.5	0.0
対象者	身体障害者	11	27.3	54.5	0.0	9.1	9.1	0.0
	知的障害者	26	30.8	46.2	7.7	11.5	3.8	0.0
	精神障害者	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	21.4	57.1	0.0	21.4	0.0	0.0
	東京都外	17	29.4	41.2	17.6	0.0	11.8	0.0
地域移行実績	ある	14	28.6	42.9	7.1	7.1	14.3	0.0
	ない	17	23.5	52.9	11.8	11.8	0.0	0.0

(%)

②　昨年度（令和６年度）

「90%以上～100%未満」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「100%」の割合が 25.8%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「90%以上～100%未満」「70%未満」の割合が高く、『知的障害者』で「70%以上～80%未満」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「90%以上～100%未満」「70%以上～80%未満」の割合が高く、『東京都外』で「100%」「80%以上～90%未満」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「100%」「70%以上～80%未満」「70%未満」の割合が高く、『ない』で「80%以上～90%未満」の割合が高くなっています。

		調査数	100%	90%以上～100%未満	80%以上～90%未満	70%以上～80%未満	70%未満	無回答
全　体		31	25.8	45.2	6.5	9.7	9.7	3.2 (%)
対象者	身体障害者	11	27.3	54.5	0.0	0.0	18.2	0.0
	知的障害者	26	30.8	46.2	3.8	11.5	7.7	0.0
	精神障害者	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	重症心身障害者	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	その他	13	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	21.4	57.1	0.0	14.3	7.1	0.0
	東京都外	17	29.4	35.3	11.8	5.9	11.8	5.9
地域移行実績	ある	14	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0
	ない	17	23.5	47.1	11.8	5.9	5.9	5.9

③　一昨年度（令和５年度）

「90%以上～100%未満」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「100%」の割合が 29.0%、「70%未満」の割合が 12.9%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「100%」「70%未満」の割合が高く、『知的障害者』で「80%以上～90%未満」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「90%以上～100%未満」「70%以上～80%未満」の割合が高く、『東京都外』で「80%以上～90%未満」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「100%」「70%以上～80%未満」の割合が高く、『ない』で「90%以上～100%未満」の割合が高くなっています。

		調査数	100%	90%以上～100%未満	80%以上～90%未満	70%以上～80%未満	70%未満	無回答
全　体		31	29.0	45.2	9.7	3.2	12.9	0.0 (%)
対象者	身体障害者	11	36.4	45.5	0.0	0.0	18.2	0.0
	知的障害者	26	30.8	46.2	7.7	3.8	11.5	0.0
	精神障害者	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	28.6	50.0	0.0	7.1	14.3	0.0
	東京都外	17	29.4	41.2	17.6	0.0	11.8	0.0
地域移行実績	ある	14	35.7	35.7	7.1	7.1	14.3	0.0
	ない	17	23.5	52.9	11.8	0.0	11.8	0.0

問６　貴事業所では利用申請者に対してどのような理由でサービス提供を断ったことがありますか。　【○はいくつでも】

「利用者の状態像にあったサービスを提供できないため」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「定員超過のため」の割合が 41.9%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「利用者の状態像にあったサービスを提供できないため」の割合が高く、『知的障害者』で「定員超過のため」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「定員超過のため」の割合が高く、『東京都外』で「契約事項に反する行為があったため」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で「利用者の状態像にあったサービスを提供できないため」「契約事項に反する行為があったため」の割合が高くなっています。

		調査数	定員超過のため	利用者の状態像にあったサービスを提供できないため	利用者の利用希望時間のサービスを提供できないため	契約事項に反する行為があったため	その他	サービス提供を断ったことはない	無回答
全　体		31	41.9	64.5	0.0	3.2	9.7	0.0	6.5
対象者	身体障害者	11	27.3	72.7	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1
	知的障害者	26	50.0	65.4	0.0	3.8	11.5	0.0	0.0
	精神障害者	5	40.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	重症心身障害者	4	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	その他	13	69.2	69.2	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	50.0	64.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
	東京都外	17	35.3	64.7	0.0	5.9	11.8	0.0	11.8
地域移行実績	ある	14	42.9	57.1	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
	ない	17	41.2	70.6	0.0	5.9	11.8	0.0	5.9

(%)

問７　今後、利用者数の増加やニーズに対応していくために最も必要な対策をお答えください。　【○は１つだけ】

「人材の確保のための支援や情報提供」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「施設・設備整備への支援」の割合が 16.1%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『知的障害者』で「施設・設備整備への支援」「人材の確保のための支援や情報提供」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「人材の確保のための支援や情報提供」の割合が高く、『東京都外』で「施設・設備整備への支援」「職員研修のための支援」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で「人材の確保のための支援や情報提供」「職員研修のための支援」の割合が高くなっています。

		調査数	施設・設備整備への支援	人材の確保のための支援や情報提供	職員研修のための支援	利用者へのサービスに関する情報提供	事業所運営に関する情報提供	その他	無回答
全　体		31	16.1	64.5	3.2	0.0	0.0	6.5	9.7 (%)
対象者	身体障害者	11	9.1	54.5	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2
	知的障害者	26	15.4	69.2	3.8	0.0	0.0	0.0	11.5
	精神障害者	5	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	重症心身障害者	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	15.4	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
所在地	東京都内	14	7.1	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	東京都外	17	23.5	47.1	5.9	0.0	0.0	11.8	11.8
地域移行実績	ある	14	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
	ない	17	17.6	70.6	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9

問８　今後の事業継続について、どのように考えていますか。　【○は１つだけ】

「事業を拡大する」の割合が 3.2%、「現状維持」の割合が 67.7%、「事業を縮小する」の割合が 12.9%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「現状維持」の割合が高く、『知的障害者』で「事業を縮小する」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「事業を拡大する」「現状維持」の割合が高く、『東京都外』で「事業を縮小する」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「現状維持」の割合が高く、『ない』で「事業を拡大する」の割合が高くなっています。

		調査数	事業を拡大する	現状維持	事業を縮小する	わからない	無回答
全　体		31	3.2	67.7	12.9	16.1	0.0 (%)
対象者	身体障害者	11	0.0	90.9	9.1	0.0	0.0
	知的障害者	26	3.8	65.4	15.4	15.4	0.0
	精神障害者	5	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	その他	13	7.7	61.5	23.1	7.7	0.0
所在地	東京都内	14	7.1	78.6	7.1	7.1	0.0
	東京都外	17	0.0	58.8	17.6	23.5	0.0
地域移行実績	ある	14	0.0	71.4	14.3	14.3	0.0
	ない	17	5.9	64.7	11.8	17.6	0.0

問９　医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者に対して、どのような配慮をしていますか。　【○はいくつでも】

「医療機関等との連携」、「特性に合わせた物理的な環境の整備」の割合が 74.2%と最も高く、次いで「わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援」の割合が 64.5%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「定期的なバイタルチェック」「医療機関等との連携」の割合が高く、『知的障害者』で「緊急時に看護師をバックアップする体制」「特性に合わせた物理的な環境の整備」「家族への情報提供や相談支援」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「特性に合わせた物理的な環境の整備」「わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援」「家族への情報提供や相談支援」の割合が高く、『東京都外』で「定期的なバイタルチェック」「医療機関等との連携」「看護師以外の職員への医療的ケア研修の実施」「医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者は利用していない」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「定期的なバイタルチェック」「医療機関等との連携」「特性に合わせた物理的な環境の整備」「わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援」「家族への情報提供や相談支援」の割合が高く、『ない』で「緊急時に看護師をバックアップする体制」「医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者は利用していない」の割合が高くなっています。

		調査数	緊急時に看護師をバックアップする体制	定期的なバイタルチェック	医療機関等との連携	看護師以外の職員への医療的ケア研修の実施	特性に合わせた物理的な環境の整備	わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援	家族への情報提供や相談支援	その他	医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者は利用していない	無回答
全　体		31	19.4	61.3	74.2	16.1	74.2	64.5	54.8	0.0	3.2	0.0
対象者	身体障害者	11	9.1	72.7	90.9	18.2	63.6	72.7	36.4	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	26	23.1	65.4	73.1	15.4	76.9	73.1	57.7	0.0	3.8	0.0
	精神障害者	5	20.0	60.0	40.0	0.0	80.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	25.0	50.0	50.0	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	23.1	61.5	69.2	15.4	84.6	76.9	46.2	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	21.4	50.0	71.4	7.1	85.7	78.6	71.4	0.0	0.0	0.0
	東京都外	17	17.6	70.6	76.5	23.5	64.7	52.9	41.2	0.0	5.9	0.0
地域移行実績	ある	14	0.0	71.4	78.6	14.3	78.6	71.4	64.3	0.0	0.0	0.0
	ない	17	35.3	52.9	70.6	17.6	70.6	58.8	47.1	0.0	5.9	0.0

(%)

問 10　医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者に障害福祉サービスを提供するために必要なことは何ですか。　【○はいくつでも】

「職員の人材育成・研修の充実」の割合が 93.5%と最も高く、次いで「専門知識・介助技術の習得」の割合が 80.6%、「関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保」の割合が 67.7%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「専門知識・介助技術の習得」「新規雇い入れや機器を導入するための資金」「他利用者との兼ね合い」「関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保」の割合が高く、『知的障害者』で「職員の人材育成・研修の充実」「対応できる新規スタッフの雇い入れ」「対応に必要なスペースの確保・増設」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「職員の人材育成・研修の充実」「対応できる新規スタッフの雇い入れ」「対応に必要な機器の購入」「新規雇い入れや機器を導入するための資金」「関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保」の割合が高く、『東京都外』で「対応に必要なスペースの確保・増設」「他利用者との兼ね合い」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「専門知識・介助技術の習得」「対応できる新規スタッフの雇い入れ」「対応に必要な機器の購入」「対応に必要なスペースの確保・増設」「関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保」の割合が高く、『ない』で「他利用者との兼ね合い」の割合が高くなっています。

		調査数	専門知識・介助技術の習得	職員の人材育成・研修の充実	対応できる新規スタッフの雇い入れ	対応に必要な機器の購入	対応に必要なスペースの確保・増設	新規雇い入れや機器を導入するための資金	他利用者との兼ね合い	関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保	その他	わからない	無回答
全　体		31	80.6	93.5	51.6	32.3	25.8	19.4	64.5	67.7	0.0	0.0	0.0
対象者	身体障害者	11	90.9	90.9	36.4	36.4	18.2	27.3	81.8	72.7	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	26	84.6	100.0	53.8	38.5	30.8	19.2	69.2	65.4	0.0	0.0	0.0
	精神障害者	5	80.0	80.0	40.0	20.0	20.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	75.0	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	84.6	100.0	69.2	38.5	23.1	23.1	61.5	53.8	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	78.6	100.0	71.4	35.7	21.4	28.6	57.1	71.4	0.0	0.0	0.0
	東京都外	17	82.4	88.2	35.3	29.4	29.4	11.8	70.6	64.7	0.0	0.0	0.0
地域移行実績	ある	14	85.7	92.9	64.3	35.7	28.6	21.4	57.1	71.4	0.0	0.0	0.0
	ない	17	76.5	94.1	41.2	29.4	23.5	17.6	70.6	64.7	0.0	0.0	0.0

(%)

問 11　今後、サービスを提供していく上での課題などをご自由にお書きください。

自由意見	25　件
人材確保・不足	13　件
利用者の高齢化・ニーズの増加および施設課題	4　件
強度行動障害への対応	4　件
利用者の高齢化・重度化および地域連携	3　件
経営・財政課題	1　件

※1 つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

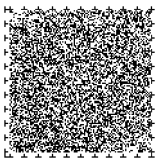
自由意見　（一部抜粋）

【人材確保・不足】

●施設入所だけでなく、法人全体で人材の確保が困難である。

●人材確保。重度高齢利用者と強度行動障害を持っている利用者のフロア整理（共存しているので、対応しやすい配置にするなど）

●人材不足



３　施設入所者の地域移行について

問 12　過去５年間に貴事業所から地域生活へ移行された利用者はいますか。いる場合は人数についてもお答えください。【○は１つだけ】

「いる」の割合が 45.2%、「いない」の割合が 54.8%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「いる」の割合が高くなっています。
所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「いる」の割合が高くなっています。
地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「いる」の割合が高くなっています。

		調査数	いる	いない	無回答
全　体		31	45.2	54.8	0.0 (%)
対象者	身体障害者	11	54.5	45.5	0.0
	知的障害者	26	42.3	57.7	0.0
	精神障害者	5	0.0	100.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	100.0	0.0
	その他	13	38.5	61.5	0.0
所在地	東京都内	14	57.1	42.9	0.0
	東京都外	17	35.3	64.7	0.0
地域移行実績	ある	14	100.0	0.0	0.0
	ない	17	0.0	100.0	0.0

いる場合

「２人」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「１人」、「３～５人」の割合が 28.6%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、『知的障害者』で「１人」「２人」の割合が最も高くなっています。
地域移行実績別については、『ある』で「２人」の割合が最も高くなっています。

		調査数	0人	1人	2人	3～5人	6人以上	無回答
全　体		14	0.0	28.6	35.7	28.6	7.1	0.0 (%)
対象者	身体障害者	6	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	知的障害者	11	0.0	36.4	36.4	18.2	9.1	0.0
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	5	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	8	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	東京都外	6	0.0	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0
地域移行実績	ある	14	0.0	28.6	35.7	28.6	7.1	0.0
	ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問 13 は問 12 で「いる」と回答された方にお聞きします。】

問 13　地域生活へ移行された方の生活拠点についてお答えください。　【○はいくつでも】

「家族や親戚の家」の割合が 21.4%、「ひとり暮らし（一般の家）」の割合が 7.1%、「グループホーム」の割合が 92.9%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、『身体障害者』、『知的障害者』で「グループホーム」の割合が最も高くなっています。

地域移行実績別については、『ある』で「グループホーム」の割合が最も高くなっています。

		調査数	家族や親戚の家	ひとり暮らし（一般の家）	グループホーム	その他	無回答
全　体		14	21.4	7.1	92.9	0.0	0.0 (%)
対象者	身体障害者	6	33.3	16.7	100.0	0.0	0.0
	知的障害者	11	9.1	0.0	90.9	0.0	0.0
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	8	12.5	0.0	87.5	0.0	0.0
	東京都外	6	33.3	16.7	100.0	0.0	0.0
地域移行実績	ある	14	21.4	7.1	92.9	0.0	0.0
	ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問 14 は問 12 で「いる」と回答された方にお聞きします。】

問 14　地域生活への移行を進める上で工夫していることをお答えください。　【○はいくつでも】

「家族とのコミュニケーション」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「本人への動機づけ」、「相談支援専門員との連携」の割合が 71.4%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、全体に比べ、『知的障害者』で「家族とのコミュニケーション」「本人への動機づけ」の割合が高くなっています。

地域移行実績別については、『ある』で「家族とのコミュニケーション」の割合が最も高くなっています。

		調査数	本人への動機づけ	家族とのコミュニケーション	相談支援専門員との連携	医師との連携	地域のボランティアとの連携	多様な関係機関との調整	地域移行支援の申請のタイミング	無回答
全　体		14	71.4	85.7	71.4	0.0	0.0	50.0	7.1	0.0
対象者	身体障害者	6	66.7	83.3	83.3	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0
	知的障害者	11	81.8	90.9	63.6	0.0	0.0	54.5	9.1	0.0
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	5	80.0	100.0	60.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
所在地	東京都内	8	75.0	100.0	62.5	0.0	0.0	62.5	12.5	0.0
	東京都外	6	66.7	66.7	83.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
地域移行実績	ある	14	71.4	85.7	71.4	0.0	0.0	50.0	7.1	0.0
	ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

その他、工夫していることをご自由にお書きください。

自由意見

●入所利用者に共同生活援助（グループホーム）の啓発活動をしている。（地域移行の方はいないが）

●職員研修として、地域住民とのつき合い方や地域行事に参加する際のマナーや支援態度について取り組んでいる。

●利用者、家族にグループホーム見学会の実施をしている。

●住まい、生活拠点の情報提供や見学つきそい等を実施している。

●地域へ出るにあたって具体的に自身で行っていく事を理解して頂けるよう、生活全般の項目について丁寧に説明と、必要に応じて訓練をしている。

問 15　貴事業所の利用者で、西東京市が援護の実施者となっている方のうち、地域生活への移行を希望している方はいますか。いる場合はその人数もお答えください。　【○は１つだけ】

「いる」の割合が 12.9%、「いない」の割合が 83.9%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「いない」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都外』で「いない」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で「いない」の割合が高くなっています。

		調査数	いる	いない	無回答
全　体		31	12.9	83.9	3.2 (%)
対象者	身体障害者	11	27.3	72.7	0.0
	知的障害者	26	11.5	84.6	3.8
	精神障害者	5	0.0	100.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	100.0	0.0
	その他	13	23.1	76.9	0.0
所在地	東京都内	14	21.4	71.4	7.1
	東京都外	17	5.9	94.1	0.0
地域移行実績	ある	14	21.4	78.6	0.0
	ない	17	5.9	88.2	5.9

いる場合

「１人」が３件、「２人以上」が１件となっています。

【属性別】

		調査数	１人	２人以上	無回答
全　体		4	75.0	25.0	0.0 (%)
対象者	身体障害者	3	100.0	0.0	0.0
	知的障害者	3	66.7	33.3	0.0
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0
	その他	3	66.7	33.3	0.0
所在地	東京都内	3	66.7	33.3	0.0
	東京都外	1	100.0	0.0	0.0
地域移行実績	ある	3	100.0	0.0	0.0
	ない	1	0.0	100.0	0.0

【問 16 は問 15 で「いる」と回答された方にお聞きします。】

問 16　地域生活への移行を希望している方のうち、実現できる可能性について、それぞれの人数をお答えください。

「２年以内に実現できる」「実現は難しい」が１件となっています。

【属性別】

		調査数	２年以内に実現できる	５年以内に実現できる	わからない	実現は難しい	無回答
全　体		4	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0 (%)
対象者	身体障害者	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	知的障害者	3	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0
	精神障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	3	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	3	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0
	東京都外	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
地域移行実績	ある	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	ない	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

１．２年以内に実現できる人数

「１人」が１件となっています。

【属性別】

		調査数	１人	２人以上	無回答
全　体		4	25.0	0.0	75.0 (%)
対象者	身体障害者	3	0.0	0.0	100.0
	知的障害者	3	33.3	0.0	66.7
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0
	その他	3	33.3	0.0	66.7
所在地	東京都内	3	33.3	0.0	66.7
	東京都外	1	0.0	0.0	100.0
地域移行実績	ある	3	0.0	0.0	100.0
	ない	1	100.0	0.0	0.0

２．５年以内に実現できる人数

有効回答がありませんでした。

【属性別】

		調査数	１人	２人以上	無回答
全　体		4	0.0	0.0	100.0 (%)
対象者	身体障害者	3	0.0	0.0	100.0
	知的障害者	3	0.0	0.0	100.0
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0
	その他	3	0.0	0.0	100.0
所在地	東京都内	3	0.0	0.0	100.0
	東京都外	1	0.0	0.0	100.0
地域移行実績	ある	3	0.0	0.0	100.0
	ない	1	0.0	0.0	100.0

3．わからない人数

「１人」が２件、「２人以上」が１件となっています。

【属性別】

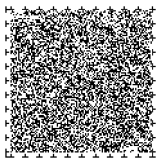
		調査数	１人	２人以上	無回答
全　体		4	50.0	25.0	25.0 (%)
対象者	身体障害者	3	66.7	0.0	33.3
	知的障害者	3	66.7	33.3	0.0
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0
	その他	3	66.7	33.3	0.0
所在地	東京都内	3	66.7	33.3	0.0
	東京都外	1	0.0	0.0	100.0
地域移行実績	ある	3	66.7	0.0	33.3
	ない	1	0.0	100.0	0.0

4．実現は難しい人数

「１人」が１件となっています。

【属性別】

		調査数	１人	２人以上	無回答
全　体		4	25.0	0.0	75.0 (%)
対象者	身体障害者	3	33.3	0.0	66.7
	知的障害者	3	0.0	0.0	100.0
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0
	その他	3	0.0	0.0	100.0
所在地	東京都内	3	0.0	0.0	100.0
	東京都外	1	100.0	0.0	0.0
地域移行実績	ある	3	33.3	0.0	66.7
	ない	1	0.0	0.0	100.0



【問 17 は問 16 で「２年以内に実現できる」「５年以内に実現できる」と回答された方にお聞きします。】

問 17　地域生活への移行先として想定している場所をお答えください。　【○はいくつでも】

有効回答がありませんでした。

【属性別】

		調査数	西東京市	現在の施設がある地域	その他の地域	わからない	無回答
全　体		1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
対象者	身体障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	精神障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
所在地	東京都内	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	東京都外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域移行実績	ある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(%)

問 18　利用者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについてお答えください。
【○はいくつでも】

「利用者本人のニーズ把握」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「利用者家族の高齢化」の割合が 67.7%、「移行後の住まいの確保」の割合が 64.5%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「地域移行支援の認知度」「移行後の住まいの確保」「福祉サービス事業者への引継ぎ」「相談支援機関との連携」の割合が高く、『知的障害者』で「利用者本人のニーズ把握」「利用者家族の高齢化」「移行後の利用者の収入確保」「地域における障害への理解促進」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「利用者本人のニーズ把握」「利用者家族の高齢化」「移行後の住まいの確保」「相談支援機関との連携」の割合が高く、『東京都外』で「重症心身障害者の増加」「移行後の利用者の収入確保」「福祉サービス事業者への引継ぎ」「移行先の地方自治体との連携」「地域における障害への理解促進」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「地域移行支援の認知度」「相談支援機関との連携」の割合が高く、『ない』で「利用者家族の高齢化」「移行後の利用者の収入確保」「福祉サービス事業者への引継ぎ」「医療機関との連携」「移行先の地方自治体との連携」「地域における障害への理解促進」の割合が高くなっています。

		調査数	利用者本人のニーズ把握	重症心身障害者の増加	利用者家族の高齢化	地域移行支援の認知度	移行後の利用者の収入確保	移行後の住まいの確保	福祉サービス事業者への引継ぎ	医療機関との連携	相談支援機関との連携	移行先の地方自治体との連携	地域における障害への理解促進	その他	無回答
全　体		31	71.0	9.7	67.7	29.0	25.8	64.5	32.3	41.9	61.3	35.5	38.7	6.5	0.0
対象者	身体障害者	11	63.6	9.1	63.6	45.5	18.2	81.8	45.5	45.5	72.7	36.4	18.2	18.2	0.0
	知的障害者	26	73.1	11.5	73.1	34.6	26.9	65.4	30.8	46.2	61.5	38.5	42.3	3.8	0.0
	精神障害者	5	60.0	0.0	40.0	20.0	20.0	60.0	60.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	75.0	25.0	50.0	50.0	0.0	75.0	50.0	75.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	その他	13	61.5	15.4	76.9	30.8	23.1	69.2	38.5	38.5	53.8	30.8	46.2	7.7	0.0
所在地	東京都内	14	85.7	0.0	71.4	28.6	14.3	71.4	28.6	42.9	71.4	28.6	28.6	14.3	0.0
	東京都外	17	58.8	17.6	64.7	29.4	35.3	58.8	35.3	41.2	52.9	41.2	47.1	0.0	0.0
地域移行実績	ある	14	71.4	7.1	57.1	35.7	21.4	64.3	21.4	28.6	64.3	21.4	35.7	14.3	0.0
	ない	17	70.6	11.8	76.5	23.5	29.4	64.7	41.2	52.9	58.8	47.1	41.2	0.0	0.0

(%)

4　事業所での取り組みについて

問 19　貴事業所では利用者のニーズを把握するためにどのような取り組みをしていますか。
取り組みの内容をご自由にお書きください。

自由意見	34　件
日常の様子の観察やニーズの聞き取りによる支援計画作成	12　件
会議等による意向確認と情報共有	9　件
地域移行に関する意向確認・支援	7　件
意思決定支援を意識した取組	3　件
絵カードなどの利用による意向確認	3　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【日常の様子の観察やニーズの聞き取りによる支援計画作成】

●半期に一度のモニタリング、計画相談等との連携。

●利用者全員が重度知的、自閉症を重複されていて、コミュニケーションが難しい面がある。そのため日ごろからご本人の様子観察を重視し、好み、得手不得手意志表出の仕方等の把握に努めている。合わせて、ご家族から生育歴帰省時の家庭での様子等の情報共有を積極的に行い支援に活かすようにしている。

●定期的に面談を行い、お話を伺っている。必要に応じて個別支援計画やサービス等利用計画に反映させている。

問 20　貴事業所は、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。

①　地方自治体

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 87.1%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 9.7%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「連携している」「連携していない」の割合が高く、『知的障害者』で「ときどき連携している」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で「連携している」の割合が高く、『東京都外』で「ときどき連携している」「あまり連携していない」の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で“連携している”の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	45.2	41.9	3.2	6.5	3.2 (%)
対象者	身体障害者	11	54.5	36.4	0.0	9.1	0.0
	知的障害者	26	46.2	42.3	3.8	3.8	3.8
	精神障害者	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	30.8	61.5	0.0	0.0	7.7
所在地	東京都内	14	50.0	35.7	0.0	7.1	7.1
	東京都外	17	41.2	47.1	5.9	5.9	0.0
地域移行実績	ある	14	57.1	14.3	7.1	14.3	7.1
	ない	17	35.3	64.7	0.0	0.0	0.0

②　社会福祉協議会

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 90.3%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 6.5%となっています。

【属性別】

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で“連携している”の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「連携している」の割合が高く、『ない』で「ときどき連携している」の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	41.9	48.4	6.5	0.0	3.2
対象者	身体障害者	11	45.5	45.5	0.0	0.0	9.1
	知的障害者	26	46.2	46.2	3.8	0.0	3.8
	精神障害者	5	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
	重症心身障害者	4	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0
	その他	13	53.8	38.5	7.7	0.0	0.0
所在地	東京都内	14	64.3	35.7	0.0	0.0	0.0
	東京都外	17	23.5	58.8	11.8	0.0	5.9
地域移行実績	ある	14	50.0	42.9	7.1	0.0	0.0
	ない	17	35.3	52.9	5.9	0.0	5.9

(%)

③　地域包括支援センター

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 25.9%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 71.0%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で“連携していない”の割合が高くなっています。
所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都外』で“連携していない”の割合が高くなっています。
地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で“連携していない”の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	6.5	19.4	35.5	35.5	3.2 (%)
対象者	身体障害者	11	9.1	9.1	36.4	45.5	0.0
	知的障害者	26	3.8	19.2	34.6	38.5	3.8
	精神障害者	5	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0
	その他	13	0.0	15.4	30.8	46.2	7.7
所在地	東京都内	14	14.3	21.4	14.3	42.9	7.1
	東京都外	17	0.0	17.6	52.9	29.4	0.0
地域移行実績	ある	14	7.1	21.4	21.4	42.9	7.1
	ない	17	5.9	17.6	47.1	29.4	0.0

④　介護福祉関連施設

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 58.0%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 42.0%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で“連携していない”の割合が高くなっています。
所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で“連携している”の割合が高くなっています。
地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で“連携している”の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	16.1	41.9	22.6	19.4	0.0 (%)
対象者	身体障害者	11	27.3	18.2	18.2	36.4	0.0
	知的障害者	26	15.4	42.3	26.9	15.4	0.0
	精神障害者	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	その他	13	23.1	38.5	15.4	23.1	0.0
所在地	東京都内	14	28.6	35.7	21.4	14.3	0.0
	東京都外	17	5.9	47.1	23.5	23.5	0.0
地域移行実績	ある	14	21.4	28.6	14.3	35.7	0.0
	ない	17	11.8	52.9	29.4	5.9	0.0

⑤　幼稚園・保育所

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 29.1%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 67.7%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「ときどき連携している」「連携していない」の割合が高く、『知的障害者』で「連携している」「あまり連携していない」の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都外』で“連携していない”の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で“連携していない”の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	6.5	22.6	29.0	38.7	3.2 (%)
対象者	身体障害者	11	0.0	27.3	9.1	63.6	0.0
	知的障害者	26	7.7	19.2	26.9	42.3	3.8
	精神障害者	5	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	その他	13	7.7	7.7	30.8	46.2	7.7
所在地	東京都内	14	7.1	35.7	14.3	35.7	7.1
	東京都外	17	5.9	11.8	41.2	41.2	0.0
地域移行実績	ある	14	0.0	28.6	28.6	35.7	7.1
	ない	17	11.8	17.6	29.4	41.2	0.0

⑥　小学校・中学校

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 48.4%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 48.4%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で“連携している”の割合が高くなっています。
所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都外』で“連携していない”の割合が高くなっています。
地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で“連携していない”の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	22.6	25.8	29.0	19.4	3.2 (%)
対象者	身体障害者	11	36.4	36.4	9.1	18.2	0.0
	知的障害者	26	26.9	19.2	26.9	23.1	3.8
	精神障害者	5	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	重症心身障害者	4	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0
	その他	13	30.8	15.4	30.8	15.4	7.7
所在地	東京都内	14	21.4	35.7	7.1	28.6	7.1
	東京都外	17	23.5	17.6	47.1	11.8	0.0
地域移行実績	ある	14	14.3	35.7	28.6	14.3	7.1
	ない	17	29.4	17.6	29.4	23.5	0.0

⑦　自治会・町内会

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 87.1%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 12.9%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で“連携していない”の割合が高くなっています。

所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都内』で“連携している”の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ある』で「連携している」「連携していない」の割合が高く、『ない』で「ときどき連携している」「あまり連携していない」の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	38.7	48.4	3.2	9.7	0.0 (%)
対象者	身体障害者	11	45.5	36.4	0.0	18.2	0.0
	知的障害者	26	42.3	46.2	3.8	7.7	0.0
	精神障害者	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	重症心身障害者	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
	その他	13	53.8	30.8	7.7	7.7	0.0
所在地	東京都内	14	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	東京都外	17	29.4	47.1	5.9	17.6	0.0
地域移行実績	ある	14	50.0	35.7	0.0	14.3	0.0
	ない	17	29.4	58.8	5.9	5.9	0.0

⑧　地域の民間企業

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 32.3%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 64.6%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で“連携していない”の割合が高くなっています。
所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都外』で“連携していない”の割合が高くなっています。
地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で“連携している”の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	12.9	19.4	32.3	32.3	3.2 (%)
対象者	身体障害者	11	18.2	9.1	27.3	45.5	0.0
	知的障害者	26	15.4	15.4	34.6	30.8	3.8
	精神障害者	5	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	その他	13	23.1	7.7	38.5	23.1	7.7
所在地	東京都内	14	21.4	14.3	28.6	28.6	7.1
	東京都外	17	5.9	23.5	35.3	35.3	0.0
地域移行実績	ある	14	14.3	14.3	28.6	35.7	7.1
	ない	17	11.8	23.5	35.3	29.4	0.0

⑨　商店街・商工会

「連携している」「ときどき連携している」を合わせた“連携している”の割合が 25.8%、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 70.9%となっています。

【属性別】

対象者別にみると、項目間で比べ、『身体障害者』で「連携している」「連携していない」の割合が高く、『知的障害者』で「あまり連携していない」の割合が高くなっています。

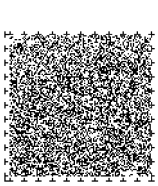
所在地別にみると、項目間で比べ、『東京都外』で“連携していない”の割合が高くなっています。

地域移行実績別にみると、項目間で比べ、『ない』で“連携していない”の割合が高くなっています。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全　体		31	9.7	16.1	29.0	41.9	3.2
対象者	身体障害者	11	18.2	9.1	18.2	54.5	0.0
	知的障害者	26	11.5	11.5	30.8	42.3	3.8
	精神障害者	5	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0
	重症心身障害者	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	その他	13	15.4	7.7	30.8	38.5	7.7
所在地	東京都内	14	14.3	14.3	21.4	42.9	7.1
	東京都外	17	5.9	17.6	35.3	41.2	0.0
地域移行実績	ある	14	21.4	14.3	7.1	50.0	7.1
	ない	17	0.0	17.6	47.1	35.3	0.0

(%)

問 21　貴事業所が抱えている課題に対して、実施している取り組みがあればご自由にお書きください。また、その他、ご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。



自由意見	27　件
人材確保・育成について	8　件
地域移行の促進について	6　件
後見制度の利用、家族の高齢化について	6　件
地域連携・交流について	5　件
その他	2　件

※１つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合があります。

自由意見　（一部抜粋）

【人材確保・育成について】

●法人全体で人材の確保が困難である。

●職員人材を確保するため、今年度より地域・育成係を創設。新しい人材を大学・短大・専門・高校に出向いて、情報提供。新任職員は育成係職員が１年かけて意向確認をしている。

●近年、日本人の若手採用が厳しくなり、近隣の日本語学校と連携して、特定技能生の受け入れ、外国人学生アルバイトの採用を実施している。しかし、言葉の壁の問題により、強度行動障害者の特性や支援方法の研修に悩まされる。介護福祉士の専門性とは質の異なる部分もあり、法人独自のテキストの作成を行っている。

【地域移行の促進について】

●地域移行についてご家族に確認したが、ほとんどのご家族が施設を終の棲家として望んでいる。障害が重度の方は難儀して施設入所させたのにここから出されるのかと心配されている方も多くいた。施設側では様々な取り組みを試みてはいるが、公的な国や各自治体でもこの制度を一般的に広めてもらいたい。

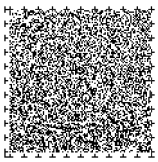
●日中支援型グループホームが整備されたことや、障害サービスの需要が多様化していることが影響しているのか、入所待機者が著しく減少している。入所という言葉の響きで敬遠されがちではあるが、他の入所施設との差別化を図るために外出支援を多くしたり、毎月の行事・イベントの充実を取り組んでいる。選ばれる施設になるためにサービスの質の向上も常に目指していきたいと考えている。

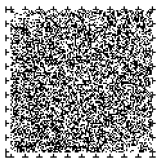
【後見制度の利用、家族の高齢化について】

●利用者の親が高齢になっているため、親亡き後への対策として、後見人をつけるなどの対応をしている。

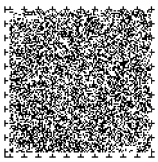
●町内会へ参加をすることで、地域の顔の見える関係づくりを続けている。利用者の兄弟、親、親族が集えるように、場所の提供をしている。親亡き後は、兄弟が後見人となるため、施設を知るきっかけとなればと考えている。

●親族がいない利用者への後見人の選任、市長申立てや医療同意への判断に対して、実施機関の協力もお願いしたい。





Ⅵ　ヒアリング



Ⅵ　ヒアリング

１　目的

令和８年度に『第７期西東京市障害福祉計画・第３期西東京市障害児福祉計画』を見直し、令和９～11 年度を計画期間とする第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画の策定に向けて、市内の当事者団体やサービス事業者における地域ニーズの実態などを把握し、西東京市における障害福祉・障害児福祉施策の現状把握のための基礎資料を作成することを目的として実施しました。

２　実施場所

・西東京市役所田無庁舎
・イングビル

３　実施日程

令和７年11月10日（月）から11月28日（金）まで

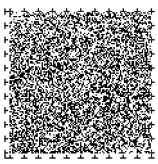
４　実施団体・事業所

種別	団体名称
市内団体・家族会	西東京市手をつなぐ親の会
	西東京市障がい者福祉をすすめる会
	さーくる縁
	西東京市視覚障害者協会
	特定非営利活動法人　自立生活企画
学校ＰＴＡ	田無特別支援学校
	小平特別支援学校
	石神井特別支援学校
	大泉特別支援学校

（順不同）

サービス種別	事業所名
在宅生活を支援するサービス（居宅介護・短期入所等）	訪問サービスいずみ
	ライフサービスぱーとなー
	Life　Design　ほとり
昼間の生活を支援するサービス（生活介護）	Life　Design　あくと
	ラシーネ西東京
	みどり西東京
	カラフル西東京(生活介護)
住まいの場としてのサービス（グループホーム）	グループホーム　マリーナ
	グループホームわんど
	グループホーム　メトロノーム
	アットホームウーノ
生活訓練のためのサービス（自立訓練）	YLひばりが丘カレッジ事業所
就労訓練のためのサービス（就労移行支援・就労継続支援等）	サンワーク田無
	たなし工房
	就労定着支援事業所カノン
	ＩＯＮ第１事業所　就労継続支援Ｂ型
	就労継続支援B型　クルール
相談支援に関するサービス（計画相談支援等）	特定相談支援事業所　ワン・ストップ
	相談支援センターたなし
	相談室　こころ
	相談支援つむぎ田無ルーム
	西東京市児童発達支援センターひいらぎ
基幹相談支援センター・地域活動支援センター	西東京市基幹相談支援センターえぽっく
	地域活動支援センター　ハーモニー
	地域活動支援センター　ブルーム
	西東京市保谷障害者福祉センター
児童発達支援	児童発達支援事業みらい
	児童発達支援・放課後等デイサービスりぼん
	西東京市児童発達支援センターひいらぎ
放課後等デイサービス	ととろキッズ
	ウイング西東京
	りぼんＵ
	療育型放課後等デイサービスここいろ
地域生活支援事業（移動支援・日中一時支援）	ヘルパーステーションウーノ
	Ｐｉｐｐｉ

（順不同）
※一部は書面での回答による



5　意見のまとめ

団体（主な意見）

「障害への理解」を促進するために何が必要だと思いますか。

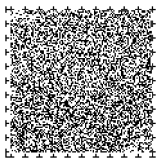
・保護者同士がつながれる場の確保が必要（特に子どもが小さい時期）
・地域住民も巻き込んだイベントの実施
・小学校などへの出前授業による多様性理解の機会提供
・副籍制度における学校側の受け入れ体制の充実
・日常的な交流機会の創出（イベント化ではなく継続的な交流）
・ポスター等による障害特性の周知、年齢層に応じた工夫
・市職員・教育関係者への障害理解研修や体験型ワークショップの実施
・行政による啓発活動やイベントの強化

悩み事などを相談するときに、困ることはありますか。

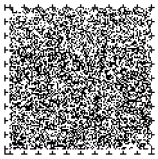
・保護者同士のつながりの希薄化（施設分散により交流機会減少）
・先輩保護者から経験を聞く機会の減少
・障害児を診てくれる病院情報の不足、医療機関探しが困難
・成人後の医療機関探しへの不安
・情報が入手しにくく、卒業後は特に孤立しやすい
・視覚障害に関する専門相談員の不足

“親なき後”や、将来の生活について、心配なことや不安なことは何ですか。

・グループホームは対応に限界があり、トラブルがあると退去させられることがある
・親亡き後のサービスとして、グループホームだけでは不十分なこと
・成年後見人の報酬補助がなく、障害者本人の財産から支払う負担
・障害年金だけでは生活が厳しく、後見人費用が重い
・親が残した資産が後見人報酬に消えてしまう懸念



障害福祉サービスを利用する上で課題となっていることについてお聞かせください。



・放課後等デイサービスの不足
・生活介護事業所の不足（市内では特別支援学校卒業後の事業所が不足している状況、慢性的定員超過）
・トワイライト支援（日中活動終了後の支援）の不足
・移動支援サービスの不足
・日中一時支援事業所が少なく、受給者証があっても利用困難
・受給者証更新手続きの煩雑さ、新しい受給者証が届くのが遅い
・補装具の申請から支給までに時間がかかる
・計画相談支援事業所の不足
・65歳になると介護保険へ移行となり、本人の意向で障害福祉サービスを継続しにくい
・申請・更新手続きが紙ベースで煩雑なうえ、将来必要となる手続きや情報も事前に示されていないため見通しが立てにくい（ライフステージ別ロードマップが必要）

医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に対して、どのような支援やサービスが必要ですか。

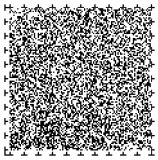
・医療的ケア対応施設の不足（生活介護・短期入所）
・18歳以下の訪問入浴サービスは、他サービスで代替可能な場合や自宅の浴室にリフトを設置した場合に利用できなくなるため、制限を緩和してほしい
・グループホームでは対応できない強度行動障害の方への支援体制の整備
・強度行動障害の状態にならないための予防的支援と適切な対応の普及
・作業中心の生活介護では本人が負担を感じて通えなくなる場合があり、必ず作業を求められる場ではなく、個々の特性に合わせて自由度の高い活動ができる居場所を増やしてほしい
・災害時の避難訓練や福祉避難所の整備、在宅避難の可能性を高めるための電源確保への補助

貴団体のメンバーから特に多く挙げられる要望等はありますか。

・保育園と療育施設併用時に給食費を二重で支払う必要があること
・所得制限による利用料の急激な上昇（中間的料金設定の必要）
・施設不足（放課後等デイサービス、グループホーム、ショートステイ等）
・障害のある子ども・大人が、周囲に気兼ねせず安心して過ごせる活動の場の充実（ユニバーサル遊具、障害児専用時間枠、アート・音楽教室）
・迷子・徘徊対策に関連したGPS端末導入に対する助成制度の要望
・災害時の障害者向け避難訓練の実施、福祉避難所の増設

福祉施設の入所者が地域生活へ移行するにあたって、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。

・入所施設からグループホームへの移行だけでなく、一人暮らしへの移行支援も必要
・段階的な移行支援と生活スキル向上の機会提供
・移動支援サービスの充実



福祉施設を利用している障害者が一般就労へ移行するために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。

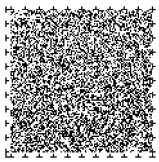
・A型作業所や就労移行支援の不足、西東京市独自の受け皿整備
・B型作業所と一般就労の間の段階的就労の場が必要
・B型作業所の工賃の低さの改善
・短時間・低頻度利用者への支援を継続できる報酬体系の整備
・高等部卒業後にさらに学べる場の確保
・重度障害者が支援付きで一般就労できる制度の導入
・就労時間中も重度訪問介護等を利用できる仕組み

その他（意見・要望）

【余暇活動・居場所】
・卒業後の余暇活動の場が不足している
・高校卒業後は作業所と自宅の往復になりがちで、交流や運動の機会が減少する
・就労後の居場所確保（18歳以降も夕方まで安全に過ごせる場所）
・スポーツ以外のアート、制作、楽器などの教室の充実
・公園のユニバーサル遊具の設置や、スポーツ施設・プール等における障害児専用時間帯の設定など、余暇活動の場の充実

【災害対応・防災】
・災害時に障害のある方が安心して避難できる環境を整える取り組みが必要
・QRコードを活用した安否確認システムの構築
・市による災害時の安否確認一括把握システムの構築
・災害時に障害特性に応じた個別対応が必要
・電源が必要な医療機器利用者への災害時対応が課題
・災害時の避難訓練に障害者も参加しやすい環境づくりが必要
・福祉避難所の増設と情報提供

【情報アクセス・交流】
・障害者の行方不明時の通知システムの構築要望（高齢者の見守りタグのような仕組み）
・精神障害は外見で分かりにくく、困りごとが気づかれにくい問題がある



【制度・経済的負担】
・移動支援事業の対象条件緩和（体幹機能障害や下肢障害への対応）
・障害児の親が移動支援資格を取得し、自分の子どもの支援をした場合に報酬が得られる仕組み
・特別支援学校の通学路の安全確保（信号機・横断歩道・歩道拡幅）
・物価上昇に対応した手当や支援金の増額要望
・障害者の親も働き続けられる環境整備

【健康・医療】
・障害者の健康診断や予防医療の充実
・在宅で地域生活を続けるために短期入所サービスが不可欠
・介護者（保護者）のレスパイト支援拡充が必要

【工賃・社会参加】
・障害者の作品を市役所やイベントで展示・商品化し、工賃向上につなげる取り組みが必要

【人材確保・育成】
・ヘルパー研修強化と人材確保

事業所（主な意見）

貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについてお聞かせください。

【共通】
・利用者の高齢化に伴い、介護や医療的ケアの必要性が増加
・家族がいない利用者の通院付き添いが職員の負担となっている
・高齢利用者の病院受診が頻繁で時間を取られる
・障害福祉から介護保険への移行が難しい（サービス内容・費用面の違い）
・人材不足（特に医療的ケア対応職員・ドライバー）
・キャンセル時の補償がなく事業所負担が大きい
・移動支援の需要に応えられていない、単価が低く採算が取れない
・移動支援請求が紙ベースで非効率
・建物構造上の制約（エレベーターなしで車椅子受け入れ不可）
・行動援護と移動支援の併給不可、医療機関受診に移動支援が使えない

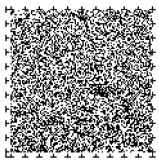
【居宅系サービス】
・障害のある高齢者が一般的な高齢者施設に馴染めない問題がある
・日中一時支援を提供したいが、適切な場所（広さや防音性のある場所）の確保が難しい

【共同生活援助（グループホーム）】
・グループホームが見守り支援施設であるにもかかわらず、実質的に介護施設の役割を担っている

【放課後等デイサービス】
・保育園・学童と療育機関の連携不足、送迎車両や人員の確保が課題

貴事業所において医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に対して、サービスを提供していますか。また、医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に対して、どのような配慮をしていますか。

【生活介護】
・看護師常駐によるインスリン管理（糖尿病1型利用者）
・低血糖時の痙攣発作への緊急対応（鼻から薬を注入）
・アルツハイマー利用者への徘徊防止の工夫
・排泄介助や刻み食の提供など食事面の配慮
・聴覚障害児の受け入れを行っている
・医療的ケアは看護師依頼で対応している



障害福祉サービス利用者から特に多く挙げられる要望等はありますか。

【共通】
・庁内での情報共有不足（庁内で利用者情報が共有されない）
・障害種別によるサービス利用の制限
・障害福祉サービスの利用料には３段階の負担上限額が設定されているが、利用回数やサービスの使い方によって負担感が異なる
・受給者証の早期発行

【生活訓練】
・職員の入れ替わりが多く利用者が不安を感じる

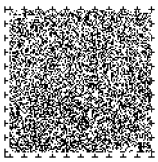
【生活介護】
・事業所独自の行事旅行の行先や宿泊施設選定に関する要望が多い
・土曜日も運用しているものの、利用者からは「休みたい」との要望がある
・同一法人が運営するグループホームへの入所に関する要望

貴事業所では、人材の確保や育成に対して、どのようなことに取り組んでいますか。

【共通】
・ハローワーク、インターネット、シルバー人材センターで募集
・グループホーム兼務職員の採用、高齢者も含めた人材確保
・東京都の人材育成研修や定着支援研修への参加
・OJTの実施
・福祉学生の実習、小中高生の仕事体験受け入れ
・派遣スタッフから正規雇用への移行支援
・人材紹介会社利用、求人サイト活用
・未経験者採用と個別育成プログラム実施

【生活介護】
・法人内に人材開発部を設置し専属担当者を配置

【放課後等デイサービス】
・地域へのチラシ配布、資格取得支援（費用半額負担）



障害福祉サービスの提供（利用計画の作成）において、事業所として困ることが多いのはどのようなことですか。

【共通】

・人材確保が最大の課題（特に医療的ケア対応職員）
・個別支援計画作成にAI活用が始まるが専門性の担保が課題
・計画作成スキルに事業所間格差がある
・利用者の個別性に対応した計画作成が難しい
・相談支援専門員不足、資格取得ハードルが高い
・計画相談支援事業所不足で利用者がたらい回しになる
・サービス利用開始までに数ヶ月かかるため、その間に利用者の意欲が低下する
・受給者証発行遅延でサービス開始が遅れる
・事業所の情報が利用者に十分に伝わっておらず、インターネットなどで探しやすい仕組みが必要
・夜間緊急電話対応で緊急性のない相談が長時間続く

福祉施設の入所者が地域生活へ移行するにあたって、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。

【共同生活援助（グループホーム）】

・保証人問題の解決、不動産関係者向け説明会の開催
・グループホームから一般アパートへの移行時、特に60歳以上で生活保護を受けていない方のアパート契約が難しい
・障害者を受け入れる不動産会社とのネットワーク構築、フォローアップアパートのような中間的住居が必要

福祉施設を利用している障害者が一般就労へ移行するために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。

【就労継続支援B型】

・B型事業所から一般就労へのステップアップ希望が多い
・週10時間超勤務でB型支給決定が切られる制度的問題
・個別事情を勘案した柔軟な支援体制が必要
・就労定着支援の利用料が負担で補助が必要
・無理な一般就労は生活リズムやメンタル面に悪影響を与える可能性があり、本人に合った支援が必要
・企業側は生活面の指導が難しく、間に入る支援者が必要

相談支援や関係機関等の連携について、さらに強化していくために、どのようなことが必要だと思いますか。

【共通】
・障害福祉と高齢福祉の横の連携強化
・市との相談体制強化、協議が必要
・複数事業所利用時の情報共有
・教育機関と福祉サービスの連携強化
・市外事業所との連携強化（情報共有）
・自立支援協議会の機能強化（課題解決に向けた検討不足）
・自立支援協議会に就労支援部会・生活支援部会を設置する
・B型事業所連絡会など横のつながり強化の場が必要
・共同で授産活動や企業開拓ができる体制づくり
・事業所情報を一元化したデータベースやアプリ整備
・共生型サービス提供事業所の見える化

その他（意見・要望）

【事業所間格差・経営課題】
・大手事業所と中小事業所の事業規模格差が問題となっている
・一部の大手事業所は入所金（初期費用）を徴収することで安定した資金を確保し事業拡大できるが、小規模事業所は入所金を設定しにくく、運営費の多くを日々の報酬に依存しているため事業拡大が困難
・経営者の後継者育成が課題

【高齢化対応】
・長年障害福祉サービスで同じ環境で生活してきた利用者にとって、介護保険サービスへの新しい環境への移行は難しい
・職員も利用者も高齢化が進み、事業継続に不安がある
・高齢化する障害者の居場所確保が課題
・65歳を超えると介護保険に切り替わるが、慣れた環境を変えることは本人に負担

【ICT・AI・情報共有】
・ICT・AI導入コストや専門人材不足が課題
・AIを活用した個別支援計画ツールは専門性担保に懸念がある
・自立支援協議会の運営は事業所主体が理想だが実現は難しい

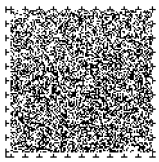
【利用者実態・サービス評価】
・学校卒業後の行先として、車椅子利用者を受け入れる生活介護事業所が少なく待機者が多い
・個別サポート加算の判断に、利用者の実態を正確に把握するため事業所側（現場）の声を聞く機会を増やして意見を反映してほしい
・日中一時支援や緊急一時の単価が長期間上がらず、最低賃金上昇に対応できない

【カスタマーハラスメント・安全対策】
・カスタマーハラスメント対策として市独自のガイドラインを作成してほしい
・職員の入れ替わりが多く利用者が不安を感じる

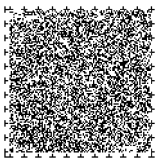
【災害対応・BCP】
・災害時のBCP（事業継続計画）は事業所任せではなく市全体での対応策が必要

【特例的支援・居住問題】
・長期入院や引きこもりから復帰した方への特例的な支援や補助がほしい
・グループホームの家賃上昇問題があり、親の高齢化後の家賃補填が難しくなる懸念

【入所施設不足】
・入所施設不足が課題
・国の流れは「施設から在宅へ」だが、重度の方を受け入れる入所施設が必要
・グループホームでは重度の方の受け入れに限界がある
・入所施設の順番待ちが非常に多い
・短期入所を利用しやすくすることで保護者負担軽減につながる



Ⅵ　資料編



Ⅶ　資料編

1　障害者調査票

①身体障害者調査票

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．宛名の本人
2．宛名の本人の回答を聞いた代理の方
3．家族（本人の立場に立って記入）
4．入所施設（障害者・高齢者支援施設）や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5．その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和７年10月１日現在）

【○は１つだけ】

1．18～19歳
2．20～29歳
3．30～39歳
4．40～49歳
5．50～59歳
6．60～64歳
7．65～69歳
8．70歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1．持ち家（分譲マンションを含む）
2．賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3．グループホーム
4．入所施設（障害者・高齢者支援施設）
5．病院（入院している）
6．その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1．全体がバリアフリー化されている
2．一部がバリアフリー化されている
3．バリアフリー化が全くされていない
4．わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

1．ひとり暮らしをしている
2．配偶者（夫、妻）・パートナー
3．子ども
4．子どもの配偶者・パートナー
5．父親
6．母親
7．祖父母
8．兄弟・姉妹
9．親戚
10．入所施設の職員や仲間
11．その他（　　）

あなたの声をお聞かせください ○

西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月

西東京市長　　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。また、可能な限りご本人の意思を確認して回答を反映していただきますよう、ご協力をお願いします。
○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
○ **令和７年 10 月１日**現在でお答えください。
○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
○ 記入された調査票は、**令和７年 11 月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
下記のＵＲＬにアクセスするか、右下のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
URL: https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/sintai
▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**＿＿＿＿＿＿

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市健康福祉部障害福祉課障害者支援係（田無庁舎）
電　話：０４２－４２０－２８０４（直通）
ＦＡＸ：０４２－４６６－９６６６

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」以外を回答された方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．17歳以下	５．70歳代
２．18～39歳	６．80歳以上
３．40～59歳	７．わからない
４．60歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

１．ゆとりがある	２．まあまあゆとりがある	３．やや苦しい	４．不自由が多く、生活が苦しい

障害について

問10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．強度行動障害と言われたことがある
１０．どれにもあてはまらない

【問11は問10で「１．身体障害者手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問11　身体障害者手帳に記載されている障害名をお答えください。
また、記載されている障害の程度（等級）についてもお答えください。

【○はいくつでも】

障害の内容
１．視覚障害　→（１級・２級・３級・４級・５級・６級）
２．聴覚障害　→（２級・３級・４級・６級）
３．平衡機能障害　→（３級・５級）
４．音声機能・言語機能・そしゃく機能障害　→（３級・４級）
５．肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害） →（１級・２級・３級・４級・５級・６級）
６．肢体不自由（体幹機能障害）　→（１級・２級・３級・５級）
７．内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害） →（１級・３級・４級）
８．内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）　→（１級・２級・３級・４級）
９．わからない

【問12は問10で「１．身体障害者手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問12　障害や疾病などがあることに気がついたのは、おおよそ何年前でしたか。

【○は１つだけ】

１．１年未満	４．５年以上、10年未満
２．１年以上、３年未満	５．１０年以上
３．３年以上、５年未満	６．わからない

【問13は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問13　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱（ぼうこう）カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡（じょくそう）処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【問14は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問14　あなたは、医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。

【○はいくつでも】

１．一時的に預かってくれるサービスの不足
２．医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足
３．医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足
４．医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足
５．医療的ケアに対応できる専門医の不足
６．経済的な負担が大きい
７．保護者や介護者などの就労に制限がある
８．災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）
９．チューブの自己抜去などの本人の行動特性
１０．その他（　　）
１１．医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない

問15　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問16　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

１．ほとんど感じることはない	２．たまに感じる	３．いつも感じる	４．わからない

【問17は問16で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問17　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．学校や職場	６．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	７．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	８．面接などの就職活動の場
４．障害福祉サービス事業所・施設	９．余暇活動の場
５．介護保険サービス事業所・施設	１０．その他（　　）

日常生活について

問18　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問19　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15時）と夕方（15～18時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15時）	【夕方を過ごす場所】（15～18時）
【選択肢】 ○は１つだけ	１．自宅	１．自宅
	２．学校や職場	２．学校や職場
	３．障害福祉サービス事業所・施設	３．障害福祉サービス事業所・施設
	４．介護保険サービス事業所・施設	４．介護保険サービス事業所・施設
	５．親族や親戚の家	５．親族や親戚の家
	６．友人や知人の家	６．友人や知人の家
	７．地域の公共施設など	７．地域の公共施設など
	８．特に決まっていない	８．特に決まっていない

問20　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に５日以上	４．月に２～３日
２．週に３～４日	５．ほとんど外出しない
３．週に１～２日	

問21　外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。

【○はいくつでも】

１．電車	４．福祉タクシー（車いす等に対応した車両）
２．バス	５．自家用車
３．タクシー	６．その他（　　）

問22　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
２．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
３．どこへ外出するにも支援が必要
４．その他（　　）

問23　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
２．他人との会話が難しい
３．視線が気になる
４．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
５．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
６．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
７．バリアフリーの建物が少ない
８．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
９．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
１０．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない
１１．障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
１２．その他（　　）
１３．特にない

【問24は問23で「10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」と回答された方にお聞きします。】

問24　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

問25　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は１つだけ】

１．ある	２．ない	３．どちらともいえない

【問26は問25で「１．ある」と回答された方にお聞きします。】

問26　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

１．スポーツやダンスなど体を動かすこと	６．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
２．絵画や工作などの美術活動	７．近所へ出かけること
３．演奏や歌などの音楽活動	８．旅行
４．仕事や家事の手伝い	９．買い物
５．友人や知人との遊び	１０．その他（　　）

問27　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	３．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
２．障害のある方と一緒に楽しめる活動	４．その他（　　）
	５．特に参加したいと思わない

就労について

問28　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

１．仕事をしている	２．仕事をしていない

【問29は問28で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問29　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は１つだけ】

１．自営業（家業の手伝いを含む）	４．自宅での内職
２．会社・団体などの正規職員	５．通所先
３．パート・アルバイトなどの非正規職員	６．その他（　　）

【問30は問28で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問30　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

１．ハローワーク	５．家族や親戚
２．障害者就労支援センター「一歩」	６．友人や知人
３．就労移行支援事業所	７．その他（　　）
４．学校	８．特に支援やサポートは受けていない

【問31は問28で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問31　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．給与や工賃などの収入が少ない	６．職場の設備が障害に対応していない
２．勤務時間・日数の負荷が大きい	７．職場での障害に対する理解が足りない
３．通勤の負担が大きい	８．職場での悩みを相談できるところがない
４．職務内容が自分に合わない	９．その他（　　）
５．職場の人間関係が難しい	１０．特に困っていることはない

【問32は問28で「２．仕事をしていない」と回答された方にお聞きします。】

問32　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

問33　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで１日６時間程度働きたい
３．すぐに（継続して）パートなどで１日４時間程度働きたい
４．すぐに（継続して）パートなどで１日２時間程度働きたい
５．すぐに（継続して）通所先などで働きたい
６．１年以内に何らかの形で働きたい
７．いずれ働くことを考えている
８．働くことは考えていない

問34　障害のある方が働くために必要だと思うことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口	
２．障害のある方を雇用したい事業者の求人情報	
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	
７．障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	
１１．その他（　　）	
１２．わからない	

相談支援や情報入手について

問35　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

１．頻繁に相談している	２．必要に応じて相談している	３．あまり相談していない	４．相談したことがない

問36　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口	８．幼稚園や保育所の先生
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口	９．民生委員・児童委員
３．障害福祉サービス事業所・施設の職員	１０．社会福祉協議会の職員
４．介護保険サービス事業所・施設の職員	１１．障害者団体
５．職場や学校	１２．友人や知人
６．病院や診療所	１３．その他（　　）
７．児童相談所	１４．相談できる人や場所は特にない

問37　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．自分の健康や障害に関すること	６．経済的なこと
２．家族との関係に関すること	７．障害や介護サービスに関すること
３．仕事や職場の人間関係に関すること	８．虐待や差別に関すること
４．友人や仲間に関すること	９．その他（　　）
５．自分の今後の生活や将来に関すること	１０．特にない

問38　あなたは、親なき後（※）や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

１．住む場所	７．お金の管理や支援
２．日常的な介助や家事の援助	８．日中を過ごす場
３．日常的な意思決定や支援	９．休みの日の過ごし方
４．相談できる人や機関	10．緊急時の支援
５．医療機関の受診	11．その他（　　）
６．生活に必要な収入	12．特にない

※親なき後とは、親や日常的に世話をしている家族がいなくなったり、支援できなくなった後の生活（本人の高齢化含む）を指します。例えば、将来一人で生活する場合や、親や家族以外の支援者の助けや福祉サービスを受けながら暮らす場合などが含まれます。

問39　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	①	2	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問40　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

１．障害者のしおり（市が作成した冊子）	１０．病院や診療所
２．市の広報紙	１１．図書館の障害のある方向けサービス
３．市のホームページやSNS	１２．民生委員・児童委員
４．都の広報紙やホームページ	１３．自治会や町内会の回覧板
５．その他の広報紙やインターネット、SNS	１４．市内にある掲示板
６．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	１５．家族や親戚
７．障害者団体	１６．友人や知人
８．職場や学校	１７．その他（　　）
９．障害福祉サービス事業所・施設	１８．特にない

問41　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．点字、音声の出版物が少ない	６．周囲との意思疎通がとりづらい
２．公的な場での音声案内が不足している	７．困っていることを周りに伝えられない
３．手話や要約筆記ができる人が少ない	８．緊急時や災害時の情報が入りにくい
４．公共施設の案内表示がわからない	９．郵便物の重要度がわからない
５．インターネットが利用しにくい	１０．その他（　　）
	１１．特にない

問42　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

１．対面での会話	６．点字
２．電話やテレビ電話を使った会話	７．手話
３．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	８．家族や介助者を介した伝言
４．インターネットや携帯などの電子メール	９．その他（　　）
５．SNS	１０．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問43　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．知っている　利用したことがある	２．知っているが利用したことはない
３．知らない	

問44　あなたは、西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 基幹相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 基幹相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問45　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加したことがある	知っているが 利用・参加したことはない	知らない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	1	2	3
⑤ ENJOYニュースポーツ	1	2	3
⑥ ピアカウンセリング	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある方へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターを証明するサポートキーホルダー（初級）、サポートリストバンド（中級）をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある方が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOYニュースポーツ	障害のある方もない方も、年齢に関係なく、誰でも気軽に参加し、一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろなスポーツを行います。
ピアカウンセリング	障害があり、同じような悩みや課題のある方同士で、同じ仲間として相談に乗り、一緒に解決策を考える事業です。

問46　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援、重度障害者等包括支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援（A型・B型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	障害福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害のある方（お子さん）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．共同生活援助（グループホーム）	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

【問47は問46で「13.利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問47　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内	２．市外	３．市内と市外両方利用している

【問48は問47で「２．市外」または「３．市内と市外両方利用している」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問48　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問49　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない	７．他の利用者との関係について
２．障害福祉サービス事業者が少ない	８．利用者負担について
３．サービス利用の手続きが大変	９．利用したいサービスが地域にない
４．事業者との日時などの調整が大変	10．その他（　　）
５．利用できる回数や日時が少ない	11．特に困っていることはない
６．サービスの質について	

【問50は問49で「９．利用したいサービスが地域にない」と回答された方にお聞きします。】

問50　利用したいサービスを教えてください。

【問51は問46で「13.利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問51　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。

【○は１つだけ】

１．現在、相談支援専門員に作成してもらっている
２．以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
３．以前から、自分で作成している（セルフプラン）
４．相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）
５．わからない

【問52は問51で「２・３・４」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問52　２または３を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。４を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

問53　あなたの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

１．必要である	２．今は必要ないが、いずれ必要になる	３．必要ない

【問54は問53で「１．必要である」と回答された方にお聞きします。】

問54　あなたは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

１．利用できている	２．まあまあ利用できている	３．あまり利用できていない	４．利用できていない

【問55は問54で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問55　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

問56　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．通所先に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス（日中一時支援など）
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問57　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問58　問57で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	５．障害福祉サービス事業所・施設の職員
２．別居している家族や親戚	６．介護保険サービス事業所・施設の職員
３．友人や知人	７．その他（　　）
４．弁護士や後見人	８．いない

問59　あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．知っている　利用している	２．知っているが、利用していない	３．知らない

【問60は問59で「１．知っている　利用している」「２．知っているが、利用していない」と回答された方にお聞きします。】

問60　どのようなことが理由で成年後見制度を利用していますか、もしくは将来的に利用することになると思いますか。

【○はいくつでも】

１．預貯金などの管理・解約	６．訴訟手続き
２．福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）	７．親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった
３．不動産の処分	８．その他（　　）
４．相続手続き	９．将来的にも利用することはない
５．保険金受取	

問61　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．避難所の場所がわからない	5．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
2．災害や避難の情報の入手方法がわからない	6．障害の特性上、避難所にいることが困難
3．避難時に介助してくれる人がいない	7．避難所での他人とのコミュニケーション
4．助けを呼ぶための手段がない	8．その他（　　）
	9．特にない

問62　障害のある方の成長等を記録する「サポートファイル（※）」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．現在使用している	3．知っているが使用したことはない
2．使用したことはあるが現在は使用していない	4．知らない

※サポートファイルは、障害のある方の生い立ちから家庭生活での様子や成長、医療機関・相談機関・就学機関・学校・福祉サービス事業所等における支援内容等を記録し、成長の気づきや関係機関等との情報共有を図ることを目的としたものです。現在西東京市では、サポートファイルの提供等は行っておりませんが、作成に向けて検討を行っております。なお、サポートファイルの名称や取組は自治体によって異なります。

問63　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

地域生活支援事業について

問64　あなたは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

地域生活支援事業の名称	サービスの内容
1．移動支援	屋外での移動が困難な人について、外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促すサービス
2．日中一時支援	日中の時間帯の障害福祉サービス事業所において、障害のある人等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行うサービス
3．利用したことがない	

【問65は問64で「３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問65　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

1．市内	2．市外	3．市内と市外両方利用している

【問66は問65で「２．市外」または「３．市内と市外両方利用している」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問66　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問67　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

1．サービス提供や内容に関する情報が少ない	6．サービスの質について
2．サービス事業者が少ない	7．他の利用者との関係について
3．サービス利用の手続きが大変	8．利用者負担について
4．事業者との日時などの調整が大変	9．その他（　　）
5．利用できる回数や日時が少ない	10．特に困っていることはない

西東京市について

問68　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問69　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある	２．ない

【問70は問69で「１．ある」と回答された方にお聞きします。】

問70　その場所を具体的にお答えください。

問71　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

【○は３つまで】

１．障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動
２．障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
３．学校における福祉教育の充実
４．障害に関する講演会や学習会の開催
５．障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
６．福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進
７．障害のある人の地域活動への参加機会の促進
８．障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
９．その他（　　）
１０．わからない

問72　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない
【記入例】 ① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	①	2	3	4	5	6
① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	1	2	3	4	5	6
② 障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること	1	2	3	4	5	6
③ 市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	1	2	3	4	5	6
④ 障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑤ 一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	1	2	3	4	5	6
⑥ 障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること	1	2	3	4	5	6
⑦ 障害のある方が働くための機会を創出すること	1	2	3	4	5	6
⑧ 障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	1	2	3	4	5	6
⑨ 障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	1	2	3	4	5	6
⑩ 障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	1	2	3	4	5	6
⑪ 障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	1	2	3	4	5	6
⑫ 家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	1	2	3	4	5	6
⑬ 地域のボランティア活動を充実させること	1	2	3	4	5	6

問73　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

調査票に記載のあったサービス、施設、事業等について、より詳しく知りたい場合は、右記のＱＲコードから障害者のしおりをご覧ください。

あなたの声をお聞かせください

西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月

西東京市長　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。また、可能な限りご本人の意思を確認して回答に反映していただきますよう、ご協力をお願いします。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ **令和７年10月１日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、**令和７年11月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
- ○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
  下記のＵＲＬにアクセスするか、右下のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
  URL: https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/titeki
  ▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**＿＿＿＿＿＿

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市健康福祉部障害福祉課障害者支援係（田無庁舎）
電　話：０４２－４２０－２８０４（直通）
ＦＡＸ：０４２－４６６－９６６６

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1. 宛名の本人
2. 宛名の本人の回答を聞いた代理の方
3. 家族（本人の立場に立って記入）
4. 入所施設（障害者・高齢者支援施設）や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5. その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和７年10月１日現在）

【○は１つだけ】

1. 18～19歳	5. 50～59歳
2. 20～29歳	6. 60～64歳
3. 30～39歳	7. 65～69歳
4. 40～49歳	8. 70歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）	4. 入所施設（障害者・高齢者支援施設）
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	5. 病院（入院している）
3. グループホーム	6. その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている	3. バリアフリー化が全くされていない
2. 一部がバリアフリー化されている	4. わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

1. ひとり暮らしをしている	7. 祖父母
2. 配偶者（夫、妻）・パートナー	8. 兄弟・姉妹
3. 子ども	9. 親戚
4. 子どもの配偶者・パートナー	10. 入所施設の職員や仲間
5. 父親	11. その他（　　）
6. 母親	

【問6は問5で「1．ひとり暮らしをしている」以外を回答された方にお聞きします。】

問6　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．65歳以上の高齢者がいる	3．妊婦や小学生以下の子どもがいる
2．障害者手帳所持者がいる	4．病気などの理由で不自由な方がいる
	5．あてはまらない

問7　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は1つだけ】

1．配偶者（夫、妻）・パートナー	7．兄弟・姉妹
2．子ども	8．親戚
3．子どもの配偶者・パートナー	9．近所の友人や知人
4．父親	10．ホームヘルパーなどのサービス事業者
5．母親	11．特に介助・支援を必要としない
6．祖父母	12．その他（　　）

問8　問7で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。

※年齢がわからない場合は「7．わからない」に○をしてください。

【○は1つだけ】

1．17歳以下	5．70歳代
2．18～39歳	6．80歳以上
3．40～59歳	7．わからない
4．60歳代	

問9　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は1つだけ】

1．ゆとりがある	2．まあまあゆとりがある	3．やや苦しい	4．不自由が多く、生活が苦しい

障害について

問10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

1．身体障害者手帳を持っている
2．愛の手帳（療育手帳）を持っている
3．精神障害者保健福祉手帳を持っている
4．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
5．難病医療費等助成対象疾病を患っている
6．高次脳機能障害と診断されたことがある
7．発達障害と診断されたことがある
8．訪問看護などの医療的ケアを受けている
9．強度行動障害と言われたことがある
10．どれにもあてはまらない

【問11は問10で「2．愛の手帳（療育手帳）を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問11　愛の手帳（療育手帳）に記載されている障害の程度をお答えください。

【○は1つだけ】

1．1度	3．3度
2．2度	4．4度
	5．わからない

【問12は問10で「2．愛の手帳（療育手帳）を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問12　障害や疾病などがあることに気がついたのは、おおよそ何年前でしたか。

【○は1つだけ】

1．1年未満	4．5年以上、10年未満
2．1年以上、3年未満	5．10年以上
3．3年以上、5年未満	6．わからない

【問13は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問13　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【問14は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問14　あなたは、医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。

【○はいくつでも】

１．一時的に預かってくれるサービスの不足
２．医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足
３．医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足
４．医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足
５．医療的ケアに対応できる専門医の不足
６．経済的な負担が大きい
７．保護者や介護者などの就労に制限がある
８．災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）
９．チューブの自己抜去などの本人の行動特性
１０．その他（　　）
１１．医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない

問15　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問16　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

１．ほとんど感じることはない	２．たまに感じる	３．いつも感じる	４．わからない

【問17は問16で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問17　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．学校や職場	６．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	７．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	８．面接などの就職活動の場
４．障害福祉サービス事業所・施設	９．余暇活動の場
５．介護保険サービス事業所・施設	１０．その他（　　）

日常生活について

問18　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問19　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15時）と夕方（15～18時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15時）	【夕方を過ごす場所】（15～18時）
【選択肢】 ○は１つだけ	1．自宅	1．自宅
	2．学校や職場	2．学校や職場
	3．障害福祉サービス事業所・施設	3．障害福祉サービス事業所・施設
	4．介護保険サービス事業所・施設	4．介護保険サービス事業所・施設
	5．親族や親戚の家	5．親族や親戚の家
	6．友人や知人の家	6．友人や知人の家
	7．地域の公共施設など	7．地域の公共施設など
	8．特に決まっていない	8．特に決まっていない

問20　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は１つだけ】

1．週に５日以上	2．週に３～４日	3．週に１～２日	4．月に２～３日	5．ほとんど外出しない

問21　外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。

【○はいくつでも】

1．電車	4．福祉タクシー（車いす等に対応した車両）
2．バス	5．自家用車
3．タクシー	6．その他（　　）

問22　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
3．どこへ外出するにも支援が必要
4．その他（　　）

問23　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
2．他人との会話が難しい
3．視線が気になる
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
7．バリアフリーの建物が少ない
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない
11．障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
12．その他（　　）
13．特にない

【問24は問23で「10. 電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」と回答された方にお聞きします。】

問24　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

問25　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は１つだけ】

1．ある	2．ない	3．どちらともいえない

【問26は問25で「1．ある」と回答された方にお聞きします。】

問26　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと	6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
2．絵画や工作などの美術活動	7．近所へ出かけること
3．演奏や歌などの音楽活動	8．旅行
4．仕事や家事の手伝い	9．買い物
5．友人や知人との遊び	10．その他（　　）

問27　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
2．障害のある方と一緒に楽しめる活動	4．その他（　　）
	5．特に参加したいと思わない

就労について

問28　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない

【問29は問28で「1．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問29　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は１つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）	4．自宅での内職
2．会社・団体などの正規職員	5．通所先
3．パート・アルバイトなどの非正規職員	6．その他（　　）

【問30は問28で「1．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問30　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

1．ハローワーク	5．家族や親戚
2．障害者就労支援センター「一歩」	6．友人や知人
3．就労移行支援事業所	7．その他（　　）
4．学校	8．特に支援やサポートは受けていない

【問31は問28で「1．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問31　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．給与や工賃などの収入が少ない	6．職場の設備が障害に対応していない
2．勤務時間・日数の負荷が大きい	7．職場での障害に対する理解が足りない
3．通勤の負担が大きい	8．職場での悩みを相談できるところがない
4．職務内容が自分に合わない	9．その他（　　）
5．職場の人間関係が難しい	10．特に困っていることはない

【問32は問28で「２．仕事をしていない」と回答された方にお聞きします。】

問32　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

1．仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）
2．求職中、もしくは職業訓練中である
3．仕事をしたいと思わない
4．仕事をしたいと思うが、できない
5．その他（　　）

問33　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
2．すぐに（継続して）パートなどで１日６時間程度働きたい
3．すぐに（継続して）パートなどで１日４時間程度働きたい
4．すぐに（継続して）パートなどで１日２時間程度働きたい
5．すぐに（継続して）通所先などで働きたい
6．１年以内に何らかの形で働きたい
7．いずれ働くことを考えている
8．働くことは考えていない

問34　障害のある方が働くために必要だと思うことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口
2．障害のある方を雇用したい事業者の求人情報
3．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
4．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
5．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
6．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
7．障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
8．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
9．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
10．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
11．その他（　　）
12．わからない

相談支援や情報入手について

問35　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

1．頻繁に相談している	2．必要に応じて相談している	3．あまり相談していない	4．相談したことがない

問36　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．市役所の相談窓口
2．市役所以外の障害福祉の相談窓口
3．障害福祉サービス事業所・施設の職員
4．介護保険サービス事業所・施設の職員
5．職場や学校
6．病院や診療所
7．児童相談所
8．幼稚園や保育所の先生
9．民生委員・児童委員
10．社会福祉協議会の職員
11．障害者団体
12．友人や知人
13．その他（　　）
14．相談できる人や場所は特にない

問37　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．自分の健康や障害に関すること
2．家族との関係に関すること
3．仕事や職場の人間関係に関すること
4．友人や仲間に関すること
5．自分の今後の生活や将来に関すること
6．経済的なこと
7．障害や介護サービスに関すること
8．虐待や差別に関すること
9．その他（　　）
10．特にない

問38　あなたは、親なき後（※）や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

１．住む場所	７．お金の管理や支援
２．日常的な介助や家事の援助	８．日中を過ごす場
３．日常的な意思決定や支援	９．休みの日の過ごし方
４．相談できる人や機関	１０．緊急時の支援
５．医療機関の受診	１１．その他（　　）
６．生活に必要な収入	１２．特にない

※親なき後とは、親や日常的に世話をしている家族がいなくなったり、支援できなくなった後の生活（本人の高齢化含む）を指します。例えば、将来一人で生活する場合や、親や家族以外の支援者の助けや福祉サービスを受けながら暮らす場合などが含まれます。

問39　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	①	2	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問40　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

１．障害者のしおり（市が作成した冊子）	１０．病院や診療所
２．市の広報紙	１１．図書館の障害のある方向けサービス
３．市のホームページやSNS	１２．民生委員・児童委員
４．都の広報紙やホームページ	１３．自治会や町内会の回覧板
５．その他の広報紙やインターネット、SNS	１４．市内にある掲示板
６．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	１５．家族や親戚
７．障害者団体	１６．友人や知人
８．職場や学校	１７．その他（　　）
９．障害福祉サービス事業所・施設	１８．特にない

問41　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．点字、音声の出版物が少ない	６．周囲との意思疎通がとりづらい
２．公的な場での音声案内が不足している	７．困っていることを周りに伝えられない
３．手話や要約筆記ができる人が少ない	８．緊急時や災害時の情報が入りにくい
４．公共施設の案内表示がわからない	９．郵便物の重要度がわからない
５．インターネットが利用しにくい	１０．その他（　　）
	１１．特にない

問42　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

１．対面での会話	６．点字
２．電話やテレビ電話を使った会話	７．手話
３．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	８．家族や介助者を介した伝言
４．インターネットや携帯などの電子メール	９．その他（　　）
５．SNS	１０．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問43　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．知っている 利用したことがある	2．知っているが 利用したことはない	3．知らない

問44　あなたは、西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 基幹相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 基幹相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問45　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	1	2	3
⑤ ENJOYニュースポーツ	1	2	3
⑥ ピアカウンセリング	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある方へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターを証明するサポートキーホルダー（初級）、サポートリストバンド（中級）をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある方が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
かわうそ水泳教室 （障害者水泳教室）	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOYニュースポーツ	障害のある方もない方も、年齢に関係なく、誰でも気軽に参加し、一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろなスポーツを行います。
ピアカウンセリング	障害があり、同じような悩みや課題のある方同士で、同じ仲間として相談に乗り、一緒に解決策を考える事業です。

問46　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
1．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援、重度障害者等包括支援など
2．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
3．自立訓練 （機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
4．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
5．就労継続支援 （A型・B型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
6．就労定着支援	障害福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
7．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
8．短期入所 （ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害のある方（お子さん）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
９．共同生活援助（グループホーム）	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

【問47は問46で「13.利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問47　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内	２．市外	３．市内と市外両方利用している

【問48は問47で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問48　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問49　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない	７．他の利用者との関係について
２．障害福祉サービス事業者が少ない	８．利用者負担について
３．サービス利用の手続きが大変	９．利用したいサービスが地域にない
４．事業者との日時などの調整が大変	１０．その他（　　）
５．利用できる回数や日時が少ない	１１．特に困っていることはない
６．サービスの質について	

【問50は問49で「９．利用したいサービスが地域にない」と回答された方にお聞きします。】

問50　利用したいサービスを教えてください。

【問51は問46で「１３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問51　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。

【○は１つだけ】

１．現在、相談支援専門員に作成してもらっている
２．以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
３．以前から、自分で作成している（セルフプラン）
４．相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）
５．わからない

【問52は問51で「２・３・４」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問52　２または３を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。４を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

問53　あなたの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

１．必要である	２．今は必要ないが、いずれ必要になる	３．必要ない

【問54は問53で「１．必要である」と回答された方にお聞きします。】

問54　あなたは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

１．利用できている	２．まあまあ利用できている	３．あまり利用できていない	４．利用できていない

【問55は問54で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問55　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

問56　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．通所先に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス（日中一時支援など）
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問57　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問58　問57で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	５．障害福祉サービス事業所・施設の職員
２．別居している家族や親戚	６．介護保険サービス事業所・施設の職員
３．友人や知人	７．その他（　　）
４．弁護士や後見人	８．いない

問59　あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．知っている利用している	２．知っているが、利用していない	３．知らない

【問60は問59で「１．知っている　利用している」「２．知っているが、利用していない」と回答された方にお聞きします。】

問60　どのようなことが理由で成年後見制度を利用していますか、もしくは将来的に利用することになると思いますか。

【○はいくつでも】

１．預貯金などの管理・解約	６．訴訟手続き
２．福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設利用等のため）	７．親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった
３．不動産の処分	８．その他（　　）
４．相続手続き	９．将来的にも利用することはない
５．保険金受取	

問61　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．避難所の場所がわからない	5．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
2．災害や避難の情報の入手方法がわからない	6．障害の特性上、避難所にいることが困難
3．避難時に介助してくれる人がいない	7．避難所での他人とのコミュニケーション
4．助けを呼ぶための手段がない	8．その他（　　）
	9．特にない

問62　障害のある方の成長等を記録する「サポートファイル（※）」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．現在使用している	3．知っているが使用したことはない
2．使用したことはあるが現在は使用していない	4．知らない

※サポートファイルは、障害のある方の生い立ちから家庭生活での様子や成長、医療機関・相談機関・就学機関・学校・福祉サービス事業所等における支援内容等を記録し、成長の気づきや関係機関等との情報共有を図ることを目的としたものです。現在西東京市では、サポートファイルの提供等は行っておりませんが、作成に向けて検討を行っております。なお、サポートファイルの名称や取組は自治体によって異なります。

問63　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

地域生活支援事業について

問64　あなたは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

地域生活支援事業の名称	サービスの内容
1．移動支援	屋外での移動が困難な人について、外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促すサービス
2．日中一時支援	日中の時間帯の障害福祉サービス事業所において、障害のある人等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行うサービス

3．利用したことがない	

【問65は問64で「３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問65　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

1．市内	2．市外	3．市内と市外両方利用している

【問66は問65で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問66　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問67　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

1．サービス提供や内容に関する情報が少ない	6．サービスの質について
2．サービス事業者が少ない	7．他の利用者との関係について
3．サービス利用の手続きが大変	8．利用者負担について
4．事業者との日時などの調整が大変	9．その他（　　）
5．利用できる回数や日時が少ない	１０．特に困っていることはない

西東京市について

問68　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問69　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

1．ある　　2．ない

【問70は問69で「1．ある」と回答された方にお聞きします。】

問70　その場所を具体的にお答えください。

問71　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

【○は３つまで】

1．障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動
2．障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
3．学校における福祉教育の充実
4．障害に関する講演会や学習会の開催
5．障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
6．福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進
7．障害のある人の地域活動への参加機会の促進
8．障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
9．その他（　　）
10．わからない

問72　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない
【記入例】 ① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	①	2	3	4	5	6
① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	1	2	3	4	5	6
② 障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること	1	2	3	4	5	6
③ 市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	1	2	3	4	5	6
④ 障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑤ 一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	1	2	3	4	5	6
⑥ 障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること	1	2	3	4	5	6
⑦ 障害のある方が働くための機会を創出すること	1	2	3	4	5	6
⑧ 障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	1	2	3	4	5	6
⑨ 障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	1	2	3	4	5	6
⑩ 障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	1	2	3	4	5	6
⑪ 障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	1	2	3	4	5	6
⑫ 家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	1	2	3	4	5	6
⑬ 地域のボランティア活動を充実させること	1	2	3	4	5	6

問73　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～

調査票に記載のあったサービス、施設、事業等について、より詳しく知りたい場合は、右記のＱＲコードから障害者のしおりをご覧ください。

あなたの声をお聞かせください

西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月

西東京市長　　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。また、可能な限りご本人の意思を確認して回答に反映していただきますよう、ご協力をお願いします。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ **令和７年 10 月１日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、**令和７年 11 月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
- ○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
  下記のＵＲＬにアクセスするか、右下のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
  URL: https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/seisin
  ▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**＿＿＿＿＿＿

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市健康福祉部障害福祉課障害者支援係（田無庁舎）
電　話：０４２－４２０－２８０４（直通）
ＦＡＸ：０４２－４６６－９６６６

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1. 宛名の本人
2. 宛名の本人の回答を聞いた代理の方
3. 家族（本人の立場に立って記入）
4. 入所施設（障害者・高齢者支援施設）や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5. その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和７年10月１日現在）

【○は１つだけ】

1. 18～19歳
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～64歳
7. 65～69歳
8. 70歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3. グループホーム
4. 入所施設（障害者・高齢者支援施設）
5. 病院（入院している）
6. その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている
2. 一部がバリアフリー化されている
3. バリアフリー化が全くされていない
4. わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

1. ひとり暮らしをしている
2. 配偶者（夫、妻）・パートナー
3. 子ども
4. 子どもの配偶者・パートナー
5. 父親
6. 母親
7. 祖父母
8. 兄弟・姉妹
9. 親戚
10. 入所施設の職員や仲間
11. その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」以外を回答された方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．17歳以下	５．70歳代
２．18～39歳	６．80歳以上
３．40～59歳	７．わからない
４．60歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

１．ゆとりがある	２．まあまあゆとりがある	３．やや苦しい	４．不自由が多く、生活が苦しい

障害について

問10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．強度行動障害と言われたことがある
１０．どれにもあてはまらない

【問11は問10で「３．精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問11　精神障害者保健福祉手帳に記載されている障害の程度（等級）をお答えください。

【○は１つだけ】

１．１級	３．３級
２．２級	４．わからない

【問12は問10で「３．精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問12　体調の変化があることに気がついたのは、おおよそ何年前でしたか。

【○は１つだけ】

１．１年未満	４．５年以上、10年未満
２．１年以上、３年未満	５．１０年以上
３．３年以上、５年未満	６．わからない

【問13は問10で「３．精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問13　体調の変化に気がついてから、どれくらいで医療機関を受診しましたか。

【○は１つだけ】

１．１か月以内	４．１～５年以内
２．１～６か月以内	５．５年以上たってから
３．６か月～１年以内	６．医療機関に行ったことがない

【問14は問10で「３．精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問14　この１年間で、精神的な不調のために通っている医療機関への通院頻度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に１回くらい	５．３か月に１回くらい
２．２週に１回くらい	６．６か月に１回くらい
３．月に１回くらい	７．具合が悪くなったときだけ
４．２か月に１回くらい	８．その他（　　）
	９．特に病院に行っていない

【問15は問10で「３．精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問15　通院の際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．予定日の当日に体調不良で通院できない	６．仕事を休みづらい（休めない）
２．経済的な負担が大きい	７．主治医との意思疎通がとりづらい
３．病院までの移動が困難	８．病院を変えたいが相談できない
４．同伴者がいない	９．その他（　　）
５．介助者の負担が大きい	１０．特にない

【問16は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問16　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【問17は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問17　あなたは、医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。

【○はいくつでも】

１．一時的に預かってくれるサービスの不足
２．医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足
３．医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足
４．医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足
５．医療的ケアに対応できる専門医の不足
６．経済的な負担が大きい
７．保護者や介護者などの就労に制限がある
８．災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）
９．チューブの自己抜去などの本人の行動特性
１０．その他（　　）
１１．医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない

問18　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問19　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

１．ほとんど感じることはない	２．たまに感じる	３．いつも感じる	４．わからない

【問20は問19で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問20　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．学校や職場	６．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	７．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	８．面接などの就職活動の場
４．障害福祉サービス事業所・施設	９．余暇活動の場
５．介護保険サービス事業所・施設	１０．その他（　　）

日常生活について

問21　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問22　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15時）と夕方（15～18時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15時）	【夕方を過ごす場所】（15～18時）
【選択肢】 ○は１つだけ	１．自宅	１．自宅
	２．学校や職場	２．学校や職場
	３．障害福祉サービス事業所・施設	３．障害福祉サービス事業所・施設
	４．介護保険サービス事業所・施設	４．介護保険サービス事業所・施設
	５．親族や親戚の家	５．親族や親戚の家
	６．友人や知人の家	６．友人や知人の家
	７．地域の公共施設など	７．地域の公共施設など
	８．特に決まっていない	８．特に決まっていない

問23　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に５日以上	２．週に３～４日	３．週に１～２日	４．月に２～３日	５．ほとんど外出しない

問24　外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。

【○はいくつでも】

１．電車	４．福祉タクシー（車いす等に対応した車両）
２．バス	５．自家用車
３．タクシー	６．その他（　　）

問25　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
3．どこへ外出するにも支援が必要
4．その他（　　）

問26　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
2．他人との会話が難しい
3．視線が気になる
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
7．バリアフリーの建物が少ない
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない
11．障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
12．その他（　　）
13．特にない

【問27は問26で「10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」と回答された方にお聞きします。】

問27　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

問28　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は１つだけ】

1．ある	2．ない	3．どちらともいえない

【問29は問28で「1．ある」と回答された方にお聞きします。】

問29　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと
2．絵画や工作などの美術活動
3．演奏や歌などの音楽活動
4．仕事や家事の手伝い
5．友人や知人との遊び
6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
7．近所へ出かけること
8．旅行
9．買い物
10．その他（　　）

問30　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動
2．障害のある方と一緒に楽しめる活動
3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
4．その他（　　）
5．特に参加したいと思わない

就労について

問31　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない

【問32は問31で「1．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問32　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は１つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）
2．会社・団体などの正規職員
3．パート・アルバイトなどの非正規職員
4．自宅での内職
5．通所先
6．その他（　　）

【問33は問31で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問33　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

１．ハローワーク	５．家族や親戚
２．障害者就労支援センター「一歩」	６．友人や知人
３．就労移行支援事業所	７．その他（　　）
４．学校	８．特に支援やサポートは受けていない

【問34は問31で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問34　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．給与や工賃などの収入が少ない	６．職場の設備が障害に対応していない
２．勤務時間・日数の負荷が大きい	７．職場での障害に対する理解が足りない
３．通勤の負担が大きい	８．職場での悩みを相談できるところがない
４．職務内容が自分に合わない	９．その他（　　）
５．職場の人間関係が難しい	１０．特に困っていることはない

【問35は問31で「２．仕事をしていない」と回答された方にお聞きします。】

問35　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

問36　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで１日６時間程度働きたい
３．すぐに（継続して）パートなどで１日４時間程度働きたい
４．すぐに（継続して）パートなどで１日２時間程度働きたい
５．すぐに（継続して）通所先などで働きたい
６．１年以内に何らかの形で働きたい
７．いずれ働くことを考えている
８．働くことは考えていない

問37　障害のある方が働くために必要だと思うことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある方を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問38　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

１．頻繁に相談している	２．必要に応じて相談している	３．あまり相談していない	４．相談したことがない

問39　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口	８．幼稚園や保育所の先生
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口	９．民生委員・児童委員
３．障害福祉サービス事業所・施設の職員	１０．社会福祉協議会の職員
４．介護保険サービス事業所・施設の職員	１１．障害者団体
５．職場や学校	１２．友人や知人
６．病院や診療所	１３．その他（　　）
７．児童相談所	１４．相談できる人や場所は特にない

問40　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．自分の健康や障害に関すること	6．経済的なこと
2．家族との関係に関すること	7．障害や介護サービスに関すること
3．仕事や職場の人間関係に関すること	8．虐待や差別に関すること
4．友人や仲間に関すること	9．その他（　　）
5．自分の今後の生活や将来に関すること	10．特にない

問41　あなたは、親なき後（※）や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

1．住む場所	7．お金の管理や支援
2．日常的な介助や家事の援助	8．日中を過ごす場
3．日常的な意思決定や支援	9．休みの日の過ごし方
4．相談できる人や機関	10．緊急時の支援
5．医療機関の受診	11．その他（　　）
6．生活に必要な収入	12．特にない

※親なき後とは、親や日常的に世話をしている家族がいなくなったり、支援できなくなった後の生活（本人の高齢化含む）を指します。例えば、将来一人で生活する場合や、親や家族以外の支援者の助けや福祉サービスを受けながら暮らす場合などが含まれます。

問42　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	①	2	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問43　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

1．障害者のしおり（市が作成した冊子）	10．病院や診療所
2．市の広報紙	11．図書館の障害のある方向けサービス
3．市のホームページやSNS	12．民生委員・児童委員
4．都の広報紙やホームページ	13．自治会や町内会の回覧板
5．その他の広報紙やインターネット、SNS	14．市内にある掲示板
6．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	15．家族や親戚
7．障害者団体	16．友人や知人
8．職場や学校	17．その他（　　）
9．障害福祉サービス事業所・施設	18．特にない

問44　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．点字、音声の出版物が少ない	6．周囲との意思疎通がとりづらい
2．公的な場での音声案内が不足している	7．困っていることを周りに伝えられない
3．手話や要約筆記ができる人が少ない	8．緊急時や災害時の情報が入りにくい
4．公共施設の案内表示がわからない	9．郵便物の重要度がわからない
5．インターネットが利用しにくい	10．その他（　　）
	11．特にない

問45　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

1．対面での会話	6．点字
2．電話やテレビ電話を使った会話	7．手話
3．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	8．家族や介助者を介した伝言
4．インターネットや携帯などの電子メール	9．その他（　　）
5．SNS	10．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問46　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．知っている 利用したことがある	2．知っているが 利用したことはない	3．知らない

問47　あなたは、西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 基幹相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 基幹相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問48　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	1	2	3
⑤ ENJOYニュースポーツ	1	2	3
⑥ ピアカウンセリング	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある方へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターを証明するサポートキーホルダー（初級）、サポートリストバンド（中級）をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある方が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
かわうそ水泳教室 （障害者水泳教室）	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOYニュースポーツ	障害のある方もない方も、年齢に関係なく、誰でも気軽に参加し、一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろなスポーツを行います。
ピアカウンセリング	障害があり、同じような悩みや課題のある方同士で、同じ仲間として相談に乗り、一緒に解決策を考える事業です。

問49　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援、重度障害者等包括支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練 （機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援 （A型・B型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	障害福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所 （ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害のある方（お子さん）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．共同生活援助 （グループホーム）	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

【問50は問49で「１３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問50　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内	２．市外	３．市内と市外両方利用している

【問51は問50で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問51　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問52　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。
【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない	７．他の利用者との関係について
２．障害福祉サービス事業者が少ない	８．利用者負担について
３．サービス利用の手続きが大変	９．利用したいサービスが地域にない
４．事業者との日時などの調整が大変	１０．その他（　　）
５．利用できる回数や日時が少ない	１１．特に困っていることはない
６．サービスの質について	

【問53は問52で「９．利用したいサービスが地域にない」と回答された方にお聞きします。】

問53　利用したいサービスを教えてください。

【問54は問49で「１３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問54　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。
【○は１つだけ】

１．現在、相談支援専門員に作成してもらっている
２．以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
３．以前から、自分で作成している（セルフプラン）
４．相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）
５．わからない

【問55は問54で「２・３・４」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問55　２または３を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。４を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

問56　あなたの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。
【○は１つだけ】

１．必要である	２．今は必要ないが、いずれ必要になる	３．必要ない

【問57は問56で「１．必要である」と回答された方にお聞きします。】

問57　あなたは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。
【○は１つだけ】

１．利用できている	２．まあまあ利用できている	３．あまり利用できていない	４．利用できていない

【問58は問57で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問58　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。
【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

問59　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。
【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．通所先に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス（日中一時支援など）
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問60　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問61　問60で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	５．障害福祉サービス事業所・施設の職員
２．別居している家族や親戚	６．介護保険サービス事業所・施設の職員
３．友人や知人	７．その他（　　）
４．弁護士や後見人	８．いない

問62　あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．知っている 利用している	２．知っているが、利用していない	３．知らない

【問63は問62で「１．知っている　利用している」「２．知っているが、利用していない」と回答された方にお聞きします。】

問63　どのようなことが理由で成年後見制度を利用していますか、もしくは将来的に利用することになると思いますか。

【○はいくつでも】

１．預貯金などの管理・解約	６．訴訟手続き
２．福祉サービスの契約 （ホームヘルパーや施設利用等のため）	７．親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった
３．不動産の処分	８．その他（　　）
４．相続手続き	９．将来的にも利用することはない
５．保険金受取	

問64　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

問65　障害のある方の成長等を記録する「サポートファイル（※）」を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．現在使用している	３．知っているが使用したことはない
２．使用したことはあるが現在は使用していない	４．知らない

※サポートファイルは、障害のある方の生い立ちから家庭生活での様子や成長、医療機関・相談機関・就学機関・学校・福祉サービス事業所等における支援内容等を記録し、成長の気づきや関係機関等との情報共有を図ることを目的としたものです。現在西東京市では、サポートファイルの提供等は行っておりませんが、作成に向けて検討を行っております。なお、サポートファイルの名称や取組は自治体によって異なります。

問66　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

地域生活支援事業について

問67　あなたは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

地域生活支援事業の名称	サービスの内容
１．移動支援	屋外での移動が困難な人について、外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促すサービス
２．日中一時支援	日中の時間帯の障害福祉サービス事業所において、障害のある人等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行うサービス
３．利用したことがない	

【問68は問67で「３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問68　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内　　２．市外　　３．市内と市外両方利用している

【問69は問68で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問69　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問70　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない
２．サービス事業者が少ない
３．サービス利用の手続きが大変
４．事業者との日時などの調整が大変
５．利用できる回数や日時が少ない
６．サービスの質について
７．他の利用者との関係について
８．利用者負担について
９．その他（　　）
１０．特に困っていることはない

西東京市について

問71　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問72　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問73は問72で「１．ある」と回答された方にお聞きします。】

問73　その場所を具体的にお答えください。

問74　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

【○は３つまで】

１．障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動
２．障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
３．学校における福祉教育の充実
４．障害に関する講演会や学習会の開催
５．障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
６．福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進
７．障害のある人の地域活動への参加機会の促進
８．障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
９．その他（　　）
１０．わからない

問75　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない
【記入例】 ① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	①	2	3	4	5	6
① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	1	2	3	4	5	6
② 障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること	1	2	3	4	5	6
③ 市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	1	2	3	4	5	6
④ 障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑤ 一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	1	2	3	4	5	6
⑥ 障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること	1	2	3	4	5	6
⑦ 障害のある方が働くための機会を創出すること	1	2	3	4	5	6
⑧ 障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	1	2	3	4	5	6
⑨ 障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	1	2	3	4	5	6
⑩ 障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	1	2	3	4	5	6
⑪ 障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	1	2	3	4	5	6
⑫ 家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	1	2	3	4	5	6
⑬ 地域のボランティア活動を充実させること	1	2	3	4	5	6

問76　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

調査票に記載のあったサービス、施設、事業等について、より詳しく知りたい場合は、右記のＱＲコードから障害者のしおりをご覧ください。

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．宛名の本人
2．宛名の本人の回答を聞いた代理の方
3．家族（本人の立場に立って記入）
4．入所施設（障害者・高齢者支援施設）や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5．その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和７年10月１日現在）

【○は１つだけ】

1．18～19歳
2．20～29歳
3．30～39歳
4．40～49歳
5．50～59歳
6．60～64歳
7．65～69歳
8．70歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1．持ち家（分譲マンションを含む）
2．賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3．グループホーム
4．入所施設（障害者・高齢者支援施設）
5．病院（入院している）
6．その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1．全体がバリアフリー化されている
2．一部がバリアフリー化されている
3．バリアフリー化が全くされていない
4．わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

1．ひとり暮らしをしている
2．配偶者（夫、妻）・パートナー
3．子ども
4．子どもの配偶者・パートナー
5．父親
6．母親
7．祖父母
8．兄弟・姉妹
9．親戚
10．入所施設の職員や仲間
11．その他（　　）

あなたの声をお聞かせください

西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月

西東京市長　　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。なお、可能な限りご本人の意思を確認して回答に反映し、反映できない場合は、無回答のまま次の設問にお進みください。
○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
○ **令和７年 10 月１日**現在でお答えください。
○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
○ 記入された調査票は、**令和７年 11 月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
下記のＵＲＬにアクセスするか、右のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
URL: https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/jiritu
▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**＿＿＿＿＿＿

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課　障害者支援係（田無庁舎）
電　話：０４２－４２０－２８０４（直通）
ＦＡＸ：０４２－４６６－９６６６

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」以外を回答された方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．17歳以下	５．70歳代
２．18～39歳	６．80歳以上
３．40～59歳	７．わからない
４．60歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

１．ゆとりがある	２．まあまあゆとりがある	３．やや苦しい	４．不自由が多く、生活が苦しい

障害について

問10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．強度行動障害と言われたことがある
１０．どれにもあてはまらない

問11　体調の変化があることに気がついたのは、おおよそ何年前でしたか。

【○は１つだけ】

１．１年未満	４．５年以上、10年未満
２．１年以上、３年未満	５．１０年以上
３．３年以上、５年未満	６．わからない

問12　体調の変化に気がついてから、どれくらいで医療機関を受診しましたか。

【○は１つだけ】

１．１か月以内	４．１～５年以内
２．１～６か月以内	５．５年以上たってから
３．６か月～１年以内	６．医療機関に行ったことがない

問13　この１年間で、精神的な不調のために通っている医療機関への通院頻度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に１回くらい	５．３か月に１回くらい
２．２週に１回くらい	６．６か月に１回くらい
３．月に１回くらい	７．具合が悪くなったときだけ
４．２か月に１回くらい	８．その他（　　）
	９．特に病院に行っていない

問14　通院の際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．予定日の当日に体調不良で通院できない	６．仕事を休みづらい（休めない）
２．経済的な負担が大きい	７．主治医との意思疎通がとりづらい
３．病院までの移動が困難	８．病院を変えたいが相談できない
４．同伴者がいない	９．その他（　　）
５．介助者の負担が大きい	１０．特にない

【問15は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問15　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【問16は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問16　あなたは、医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。

【○はいくつでも】

１．一時的に預かってくれるサービスの不足
２．医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足
３．医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足
４．医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足
５．医療的ケアに対応できる専門医の不足
６．経済的な負担が大きい
７．保護者や介護者などの就労に制限がある
８．災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）
９．チューブの自己抜去などの本人の行動特性
１０．その他（　　）
１１．医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない

問17　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問18　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

１．ほとんど感じることはない	２．たまに感じる	３．いつも感じる	４．わからない

【問19は問18で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問19　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．学校や職場	６．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	７．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	８．面接などの就職活動の場
４．障害福祉サービス事業所・施設	９．余暇活動の場
５．介護保険サービス事業所・施設	１０．その他（　　）

日常生活について

問20　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問21　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15時）と夕方（15～18時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15時）	【夕方を過ごす場所】（15～18時）
【選択肢】 ○は１つだけ	１．自宅	１．自宅
	２．学校や職場	２．学校や職場
	３．障害福祉サービス事業所・施設	３．障害福祉サービス事業所・施設
	４．介護保険サービス事業所・施設	４．介護保険サービス事業所・施設
	５．親族や親戚の家	５．親族や親戚の家
	６．友人や知人の家	６．友人や知人の家
	７．地域の公共施設など	７．地域の公共施設など
	８．特に決まっていない	８．特に決まっていない

問22　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に５日以上	２．週に３～４日	３．週に１～２日	４．月に２～３日	５．ほとんど外出しない

問23　外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。

【○はいくつでも】

１．電車	４．福祉タクシー（車いす等に対応した車両）
２．バス	５．自家用車
３．タクシー	６．その他（　　）

問24　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
２．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
３．どこへ外出するにも支援が必要
４．その他（　　）

問25　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
2．他人との会話が難しい
3．視線が気になる
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
7．バリアフリーの建物が少ない
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない
11．障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
12．その他（　　）
13．特にない

【問26は問25で「10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」と回答された方にお聞きします。】

問26　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

問27　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は１つだけ】

1．ある	2．ない	3．どちらともいえない

【問28は問27で「1．ある」と回答された方にお聞きします。】

問28　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと
2．絵画や工作などの美術活動
3．演奏や歌などの音楽活動
4．仕事や家事の手伝い
5．友人や知人との遊び
6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
7．近所へ出かけること
8．旅行
9．買い物
10．その他（　　）

問29　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動
2．障害のある方と一緒に楽しめる活動
3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
4．その他（　　）
5．特に参加したいと思わない

就労について

問30　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない

【問31は問30で「1．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問31　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は１つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）
2．会社・団体などの正規職員
3．パート・アルバイトなどの非正規職員
4．自宅での内職
5．通所先
6．その他（　　）

【問32は問30で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問32　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

１．ハローワーク	５．家族や親戚
２．障害者就労支援センター「一歩」	６．友人や知人
３．就労移行支援事業所	７．その他（　　）
４．学校	８．特に支援やサポートは受けていない

【問33は問30で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問33　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．給与や工賃などの収入が少ない	６．職場の設備が障害に対応していない
２．勤務時間・日数の負荷が大きい	７．職場での障害に対する理解が足りない
３．通勤の負担が大きい	８．職場での悩みを相談できるところがない
４．職務内容が自分に合わない	９．その他（　　）
５．職場の人間関係が難しい	１０．特に困っていることはない

【問34は問30で「２．仕事をしていない」と回答された方にお聞きします。】

問34　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

問35　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで１日６時間程度働きたい
３．すぐに（継続して）パートなどで１日４時間程度働きたい
４．すぐに（継続して）パートなどで１日２時間程度働きたい
５．すぐに（継続して）通所先などで働きたい
６．１年以内に何らかの形で働きたい
７．いずれ働くことを考えている
８．働くことは考えていない

問36　障害のある方が働くために必要だと思うことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある方を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問37　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

１．頻繁に相談している	２．必要に応じて相談している	３．あまり相談していない	４．相談したことがない

問38　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口	８．幼稚園や保育所の先生
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口	９．民生委員・児童委員
３．障害福祉サービス事業所・施設の職員	１０．社会福祉協議会の職員
４．介護保険サービス事業所・施設の職員	１１．障害者団体
５．職場や学校	１２．友人や知人
６．病院や診療所	１３．その他（　　）
７．児童相談所	１４．相談できる人や場所は特にない

問39　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．自分の健康や障害に関すること	6．経済的なこと
2．家族との関係に関すること	7．障害や介護サービスに関すること
3．仕事や職場の人間関係に関すること	8．虐待や差別に関すること
4．友人や仲間に関すること	9．その他（　　）
5．自分の今後の生活や将来に関すること	10．特にない

問40　あなたは、親なき後（※）や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

1．住む場所	7．お金の管理や支援
2．日常的な介助や家事の援助	8．日中を過ごす場
3．日常的な意思決定や支援	9．休みの日の過ごし方
4．相談できる人や機関	10．緊急時の支援
5．医療機関の受診	11．その他（　　）
6．生活に必要な収入	12．特にない

※親なき後とは、親や日常的に世話をしている家族がいなくなったり、支援できなくなった後の生活（本人の高齢化含む）を指します。例えば、将来一人で生活する場合や、親や家族以外の支援者の助けや福祉サービスを受けながら暮らす場合などが含まれます。

問41　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	①	2	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問42　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

1．障害者のしおり（市が作成した冊子）	10．病院や診療所
2．市の広報紙	11．図書館の障害のある方向けサービス
3．市のホームページやSNS	12．民生委員・児童委員
4．都の広報紙やホームページ	13．自治会や町内会の回覧板
5．その他の広報紙やインターネット、SNS	14．市内にある掲示板
6．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	15．家族や親戚
7．障害者団体	16．友人や知人
8．職場や学校	17．その他（　　）
9．障害福祉サービス事業所・施設	18．特にない

問43　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．点字、音声の出版物が少ない	6．周囲との意思疎通がとりづらい
2．公的な場での音声案内が不足している	7．困っていることを周りに伝えられない
3．手話や要約筆記ができる人が少ない	8．緊急時や災害時の情報が入りにくい
4．公共施設の案内表示がわからない	9．郵便物の重要度がわからない
5．インターネットが利用しにくい	10．その他（　　）
	11．特にない

問44　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

1．対面での会話	6．点字
2．電話やテレビ電話を使った会話	7．手話
3．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	8．家族や介助者を介した伝言
4．インターネットや携帯などの電子メール	9．その他（　　）
5．SNS	10．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問45　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．知っている利用したことがある	2．知っているが利用したことはない	3．知らない

問46　あなたは、西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 基幹相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 基幹相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問47　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	1	2	3
⑤ ENJOYニュースポーツ	1	2	3
⑥ ピアカウンセリング	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある方へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターを証明するサポートキーホルダー（初級）、サポートリストバンド（中級）をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある方が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
かわうそ水泳教室 （障害者水泳教室）	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOYニュースポーツ	障害のある方もない方も、年齢に関係なく、誰でも気軽に参加し、一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろなスポーツを行います。
ピアカウンセリング	障害があり、同じような悩みや課題のある方同士で、同じ仲間として相談に乗り、一緒に解決策を考える事業です。

問48　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援、重度障害者等包括支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練 （機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援 （A型・B型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	障害福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所 （ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害のある方（お子さんなど）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．共同生活援助 （グループホーム）	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報提供や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

【問49は問48で「13.利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問49　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内	２．市外	３．市内と市外両方利用している

【問50は問49で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問50　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問51　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。
【○はいくつでも】

1．サービス提供や内容に関する情報が少ない	7．他の利用者との関係について
2．障害福祉サービス事業者が少ない	8．利用者負担について
3．サービス利用の手続きが大変	9．利用したいサービスが地域にない
4．事業者との日時などの調整が大変	10．その他（　　）
5．利用できる回数や日時が少ない	11．特に困っていることはない
6．サービスの質について	

【問52は問51で「9．利用したいサービスが地域にない」と回答された方にお聞きします。】

問52　利用したいサービスを教えてください。

【問53は問48で「13．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問53　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。
【○は１つだけ】

1．現在、相談支援専門員に作成してもらっている
2．以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
3．以前から、自分で作成している（セルフプラン）
4．相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）
5．わからない

【問54は問53で「2・3・4」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問54　2または3を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。4を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

問55　あなたの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。
【○は１つだけ】

1．必要である	2．今は必要ないが、いずれ必要になる	3．必要ない

【問56は問55で「1．必要である」と回答された方にお聞きします。】

問56　あなたは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。
【○は１つだけ】

1．利用できている	2．まあまあ利用できている	3．あまり利用できていない	4．利用できていない

【問57は問56で「3．あまり利用できていない」「4．利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問57　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。
【○はいくつでも】

1．自己負担が大きい	5．市内に利用したい事業所がない
2．定員がいっぱいで利用できない	6．自分に適したサービスがわからない
3．通うのが大変	7．サービスの利用方法がわからない
4．利用したい時間や時期と合わない	8．その他（　　）

問58　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。
【○はいくつでも】

1．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
2．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
3．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
4．通所先に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
5．通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス（日中一時支援など）
6．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
7．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
8．その他（　　）
9．わからない

問59　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

1．ひとり暮らしがしたい
2．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
3．自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい
4．グループホームで暮らしたい
5．施設に入所して暮らしたい
6．わからない

問60　問59で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

1．同居している家族や親戚	5．障害福祉サービス事業所・施設の職員
2．別居している家族や親戚	6．介護保険サービス事業所・施設の職員
3．友人や知人	7．その他（　　）
4．弁護士や後見人	8．いない

問61　あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．知っている 利用している	2．知っているが、利用していない	3．知らない

【問62は問61で「1．知っている　利用している」「2．知っているが、利用していない」と回答された方にお聞きします。】

問62　どのようなことが理由で成年後見制度を利用していますか、もしくは将来的に利用することになると思いますか。

【○はいくつでも】

1．預貯金などの管理・解約	6．訴訟手続き
2．福祉サービスの契約 （ホームヘルパーや施設利用等のため）	7．親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった
3．不動産の処分	8．その他（　　）
4．相続手続き	9．将来的にも利用することはない
5．保険金受取	

問63　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．避難所の場所がわからない	5．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
2．災害や避難の情報の入手方法がわからない	6．障害の特性上、避難所にいることが困難
3．避難時に介助してくれる人がいない	7．避難所での他人とのコミュニケーション
4．助けを呼ぶための手段がない	8．その他（　　）
	9．特にない

問64　障害のある方の成長等を記録する「サポートファイル（※）」を知っていますか。

【○はいくつでも】

1．現在使用している	3．知っているが使用したことはない
2．使用したことはあるが現在は使用していない	4．知らない

※サポートファイルは、障害のある方の生い立ちから家庭生活での様子や成長、医療機関・相談機関・就学機関・学校・福祉サービス事業所等における支援内容等を記録し、成長の気づきや関係機関等との情報共有を図ることを目的としたものです。現在西東京市では、サポートファイルの提供等は行っておりませんが、作成に向けて検討を行っております。なお、サポートファイルの名称や取組は自治体によって異なります。

問65　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

地域生活支援事業について

問66　あなたは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

地域生活支援事業の名称	サービスの内容
１．移動支援	屋外での移動が困難な人について、外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促すサービス
２．日中一時支援	日中の時間帯の障害福祉サービス事業所において、障害のある人等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行うサービス
３．利用したことがない	

【問67は問66で「３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問67　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内　　２．市外　　３．市内と市外両方利用している

【問68は問67で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問68　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問69　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない
２．サービス事業者が少ない
３．サービス利用の手続きが大変
４．事業者との日時などの調整が大変
５．利用できる回数や日時が少ない
６．サービスの質について
７．他の利用者との関係について
８．利用者負担について
９．その他（　　）
１０．特に困っていることはない

西東京市について

問70　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問71　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問72は問71で「１．ある」と回答された方にお聞きします。】

問72　その場所を具体的にお答えください。

問73　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

【○は３つまで】

１．障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動
２．障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
３．学校における福祉教育の充実
４．障害に関する講演会や学習会の開催
５．障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
６．福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進
７．障害のある人の地域活動への参加機会の促進
８．障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
９．その他（　　）
１０．わからない

問74　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない
【記入例】 ① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	①	2	3	4	5	6
① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	1	2	3	4	5	6
② 障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること	1	2	3	4	5	6
③ 市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	1	2	3	4	5	6
④ 障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑤ 一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	1	2	3	4	5	6
⑥ 障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること	1	2	3	4	5	6
⑦ 障害のある方が働くための機会を創出すること	1	2	3	4	5	6
⑧ 障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	1	2	3	4	5	6
⑨ 障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	1	2	3	4	5	6
⑩ 障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	1	2	3	4	5	6
⑪ 障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	1	2	3	4	5	6
⑫ 家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	1	2	3	4	5	6
⑬ 地域のボランティア活動を充実させること	1	2	3	4	5	6

問75　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

調査票に記載のあったサービス、施設、事業等について、より詳しく知りたい場合は、右記のＱＲコードから障害者のしおりをご覧ください。

あなたの声をお聞かせください

西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月

西東京市長　　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。また、可能な限りご本人の意思を確認して回答に反映していただきますよう、ご協力をお願いします。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ **令和７年 10 月１日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、**令和７年 11 月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
- ○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
  下記のＵＲＬにアクセスするか、右下のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
  URL: https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/nanbyou
  ▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**＿＿＿＿＿＿

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市健康福祉部障害福祉課障害者支援係（田無庁舎）
電　話：０４２－４２０－２８０４（直通）
ＦＡＸ：０４２－４６６－９６６６

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1. 宛名の本人
2. 宛名の本人の回答を聞いた代理の方
3. 家族（本人の立場に立って記入）
4. 入所施設（障害者・高齢者支援施設）や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5. その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和７年10月１日現在）

【○は１つだけ】

1. 18～19歳
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～64歳
7. 65～69歳
8. 70歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3. グループホーム
4. 入所施設（障害者・高齢者支援施設）
5. 病院（入院している）
6. その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている
2. 一部がバリアフリー化されている
3. バリアフリー化が全くされていない
4. わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

1. ひとり暮らしをしている
2. 配偶者（夫、妻）・パートナー
3. 子ども
4. 子どもの配偶者・パートナー
5. 父親
6. 母親
7. 祖父母
8. 兄弟・姉妹
9. 親戚
10. 入所施設の職員や仲間
11. その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」以外を回答された方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．17歳以下	５．70歳代
２．18～39歳	６．80歳以上
３．40～59歳	７．わからない
４．60歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

１．ゆとりがある	２．まあまあゆとりがある	３．やや苦しい	４．不自由が多く、生活が苦しい

障害について

問10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．強度行動障害と言われたことがある
１０．どれにもあてはまらない

【問11は問10で「５．難病医療費等助成対象疾病を患っている」と回答された方にお聞きします。】

問11　疾病などがあることに気がついたのは、おおよそ何年前でしたか。

【○は１つだけ】

１．１年未満	４．５年以上、10年未満
２．１年以上、３年未満	５．１０年以上
３．３年以上、５年未満	６．わからない

【問12は問10で「５．難病医療費等助成対象疾病を患っている」と回答された方にお聞きします。】

問12　難病の治療のために通っている医療施設への、この１年間の通院頻度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に１回くらい	５．３か月に１回くらい
２．２週に１回くらい	６．６か月に１回くらい
３．月に１回くらい	７．具合が悪くなったときだけ
４．２か月に１回くらい	８．その他（　　）
	９．特に病院に行っていない

【問13は問10で「５．難病医療費等助成対象疾病を患っている」と回答された方にお聞きします。】

問 13　通院の際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．予定日の当日に体調不良で通院できない	６．仕事を休みづらい（休めない）
２．経済的な負担が大きい	７．主治医との意思疎通がとりづらい
３．病院までの移動が困難	８．病院を変えたいが相談できない
４．同伴者がいない	９．その他（　　）
５．介助者の負担が大きい	１０．特にない

【問14は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問14　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【問15は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問15　あなたは、医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。

【○はいくつでも】

１．一時的に預かってくれるサービスの不足
２．医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足
３．医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足
４．医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足
５．医療的ケアに対応できる専門医の不足
６．経済的な負担が大きい
７．保護者や介護者などの就労に制限がある
８．災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）
９．チューブの自己抜去などの本人の行動特性
１０．その他（　　）
１１．医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない

問16　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問17　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

１．ほとんど感じることはない	２．たまに感じる	３．いつも感じる	４．わからない

【問18は問17で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問18　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．学校や職場	６．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	７．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	８．面接などの就職活動の場
４．障害福祉サービス事業所・施設	９．余暇活動の場
５．介護保険サービス事業所・施設	１０．その他（　　）

日常生活について

問19　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問20　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15時）と夕方（15～18時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15時）	【夕方を過ごす場所】（15～18時）
【選択肢】 ○は１つだけ	１．自宅	１．自宅
	２．学校や職場	２．学校や職場
	３．障害福祉サービス事業所・施設	３．障害福祉サービス事業所・施設
	４．介護保険サービス事業所・施設	４．介護保険サービス事業所・施設
	５．親族や親戚の家	５．親族や親戚の家
	６．友人や知人の家	６．友人や知人の家
	７．地域の公共施設など	７．地域の公共施設など
	８．特に決まっていない	８．特に決まっていない

問21　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に５日以上	２．週に３～４日	３．週に１～２日	４．月に２～３日	５．ほとんど外出しない

問22　外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。

【○はいくつでも】

1．電車	4．福祉タクシー（車いす等に対応した車両）
2．バス	5．自家用車
3．タクシー	6．その他（　　）

問23　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
3．どこへ外出するにも支援が必要
4．その他（　　）

問24　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
2．他人との会話が難しい
3．視線が気になる
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
7．バリアフリーの建物が少ない
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない
11．障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
12．その他（　　）
13．特にない

【問25は問24で「10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」と回答された方にお聞きします。】

問25　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

問26　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は１つだけ】

1．ある	2．ない	3．どちらともいえない

【問27は問26で「1．ある」と回答された方にお聞きします。】

問27　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと	6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
2．絵画や工作などの美術活動	7．近所へ出かけること
3．演奏や歌などの音楽活動	8．旅行
4．仕事や家事の手伝い	9．買い物
5．友人や知人との遊び	10．その他（　　）

問28　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
2．障害のある方と一緒に楽しめる活動	4．その他（　　）
	5．特に参加したいと思わない

就労について

問29　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない

【問30は問29で「1．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問30　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は１つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）	4．自宅での内職
2．会社・団体などの正規職員	5．通所先
3．パート・アルバイトなどの非正規職員	6．その他（　　）

【問31は問29で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問31　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

１．ハローワーク	５．家族や親戚
２．障害者就労支援センター「一歩」	６．友人や知人
３．就労移行支援事業所	７．その他（　　）
４．学校	８．特に支援やサポートは受けていない

【問32は問29で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問32　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．給与や工賃などの収入が少ない	６．職場の設備が障害に対応していない
２．勤務時間・日数の負荷が大きい	７．職場での障害に対する理解が足りない
３．通勤の負担が大きい	８．職場での悩みを相談できるところがない
４．職務内容が自分に合わない	９．その他（　　）
５．職場の人間関係が難しい	１０．特に困っていることはない

【問33は問29で「２．仕事をしていない」と回答された方にお聞きします。】

問33　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

問34　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで１日６時間程度働きたい
３．すぐに（継続して）パートなどで１日４時間程度働きたい
４．すぐに（継続して）パートなどで１日２時間程度働きたい
５．すぐに（継続して）通所先などで働きたい
６．１年以内に何らかの形で働きたい
７．いずれ働くことを考えている
８．働くことは考えていない

問35　障害のある方が働くために必要だと思うことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある方を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問36　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

１．頻繁に相談している	２．必要に応じて相談している	３．あまり相談していない	４．相談したことがない

問37　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口	８．幼稚園や保育所の先生
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口	９．民生委員・児童委員
３．障害福祉サービス事業所・施設の職員	１０．社会福祉協議会の職員
４．介護保険サービス事業所・施設の職員	１１．障害者団体
５．職場や学校	１２．友人や知人
６．病院や診療所	１３．その他（　　）
７．児童相談所	１４．相談できる人や場所は特にない

問38　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．自分の健康や障害に関すること	6．経済的なこと
2．家族との関係に関すること	7．障害や介護サービスに関すること
3．仕事や職場の人間関係に関すること	8．虐待や差別に関すること
4．友人や仲間に関すること	9．その他（　　）
5．自分の今後の生活や将来に関すること	10．特にない

問39　あなたは、親なき後（※）や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

1．住む場所	7．お金の管理や支援
2．日常的な介助や家事の援助	8．日中を過ごす場
3．日常的な意思決定や支援	9．休みの日の過ごし方
4．相談できる人や機関	10．緊急時の支援
5．医療機関の受診	11．その他（　　）
6．生活に必要な収入	12．特にない

※親なき後とは、親や日常的に世話をしている家族がいなくなったり、支援できなくなった後の生活（本人の高齢化含む）を指します。例えば、将来一人で生活する場合や、親や家族以外の支援者の助けや福祉サービスを受けながら暮らす場合などが含まれます。

問40　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	①	2	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問41　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

1．障害者のしおり（市が作成した冊子）	10．病院や診療所
2．市の広報紙	11．図書館の障害のある方向けサービス
3．市のホームページやSNS	12．民生委員・児童委員
4．都の広報紙やホームページ	13．自治会や町内会の回覧板
5．その他の広報紙やインターネット、SNS	14．市内にある掲示板
6．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	15．家族や親戚
7．障害者団体	16．友人や知人
8．職場や学校	17．その他（　　）
9．障害福祉サービス事業所・施設	18．特にない

問42　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．点字、音声の出版物が少ない	6．周囲との意思疎通がとりづらい
2．公的な場での音声案内が不足している	7．困っていることを周りに伝えられない
3．手話や要約筆記ができる人が少ない	8．緊急時や災害時の情報が入りにくい
4．公共施設の案内表示がわからない	9．郵便物の重要度がわからない
5．インターネットが利用しにくい	10．その他（　　）
	11．特にない

問43　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

1．対面での会話	6．点字
2．電話やテレビ電話を使った会話	7．手話
3．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	8．家族や介助者を介した伝言
4．インターネットや携帯などの電子メール	9．その他（　　）
5．SNS	10．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問44　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．知っている 利用したことがある	2．知っているが 利用したことはない	3．知らない

問45　あなたは、西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 基幹相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 基幹相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問46　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	1	2	3
⑤ ENJOYニュースポーツ	1	2	3
⑥ ピアカウンセリング	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある方へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターを証明するサポートキーホルダー（初級）、サポートリストバンド（中級）をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある方が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
かわうそ水泳教室 （障害者水泳教室）	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOYニュースポーツ	障害のある方もない方も、年齢に関係なく、誰でも気軽に参加し、一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろなスポーツを行います。
ピアカウンセリング	障害があり、同じような悩みや課題のある方同士で、同じ仲間として相談に乗り、一緒に解決策を考える事業です。

問47　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援、重度障害者等包括支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練 （機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援 （A型・B型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	障害福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所 （ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害のある方（お子さん）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．共同生活援助 （グループホーム）	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

【問48は問47で「１３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問48　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内	２．市外	３．市内と市外両方利用している

【問49は問48で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問49　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問50　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。
【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない	７．他の利用者との関係について
２．サービス事業者が少ない	８．利用者負担について
３．サービス利用の手続きが大変	９．利用したいサービスが地域にない
４．事業者との日時などの調整が大変	１０．その他（　　）
５．利用できる回数や日時が少ない	１１．特に困っていることはない
６．サービスの質について	

【問51は問50で「９．利用したいサービスが地域にない」と回答された方にお聞きします。】

問51　利用したいサービスを教えてください。

【問52は問47で「１３.利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問52　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。
【○は１つだけ】

１．現在、相談支援専門員に作成してもらっている
２．以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
３．以前から、自分で作成している（セルフプラン）
４．相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）
５．わからない

【問53は問52で「２、３、４」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問53　２または３を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。４を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

問 54　あなたの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。
【○は１つだけ】

１．必要である	２．今は必要ないが、いずれ必要になる	３．必要ない

【問55は問54で「１．必要である」と回答された方にお聞きします。】

問55　あなたは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。
【○は１つだけ】

１．利用できている	２．まあまあ利用できている	３．あまり利用できていない	４．利用できていない

【問56は問55で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問56　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。
【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

問57　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。
【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．通所先に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス（日中一時支援など）
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問58　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問59　問58で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	５．障害福祉サービス事業所・施設の職員
２．別居している家族や親戚	６．介護保険サービス事業所・施設の職員
３．友人や知人	７．その他（　　）
４．弁護士や後見人	８．いない

問60　あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．知っている 利用している	２．知っているが、利用していない	３．知らない

【問61は問60で「１．知っている　利用している」「２．知っているが、利用していない」と回答された方にお聞きします。】

問61　どのようなことが理由で成年後見制度を利用していますか、もしくは将来的に利用することになると思いますか。

【○はいくつでも】

１．預貯金などの管理・解約	６．訴訟手続き
２．福祉サービスの契約 （ホームヘルパーや施設利用等のため）	７．親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった
３．不動産の処分	８．その他（　　）
４．相続手続き	９．将来的にも利用することはない
５．保険金受取	

問62　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

問63　障害のある方の成長等を記録する「サポートファイル（※）」を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．現在使用している	３．知っているが使用したことはない
２．使用したことはあるが現在は使用していない	４．知らない

※サポートファイルは、障害のある方の生い立ちから家庭生活での様子や成長、医療機関・相談機関・就学機関・学校・福祉サービス事業所等における支援内容等を記録し、成長の気づきや関係機関等との情報共有を図ることを目的としたものです。現在西東京市では、サポートファイルの提供等は行っておりませんが、作成に向けて検討を行っております。なお、サポートファイルの名称や取組は自治体によって異なります。

問64　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

地域生活支援事業について

問65　あなたは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

地域生活支援事業の名称	サービスの内容
１．移動支援	屋外での移動が困難な人について、外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促すサービス
２．日中一時支援	日中の時間帯の障害福祉サービス事業所において、障害のある人等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行うサービス
３．利用したことがない	

【問66は問65で「３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問66　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内　　２．市外　　３．市内と市外両方利用している

【問67は問66で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問67　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問68　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない
２．サービス事業者が少ない
３．サービス利用の手続きが大変
４．事業者との日時などの調整が大変
５．利用できる回数や日時が少ない
６．サービスの質について
７．他の利用者との関係について
８．利用者負担について
９．その他（　　）
１０．特に困っていることはない

西東京市について

問69　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問70　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問71は問70で「１．ある」と回答された方にお聞きします。】

問71　その場所を具体的にお答えください。

問72　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

【○は３つまで】

１．障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動
２．障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
３．学校における福祉教育の充実
４．障害に関する講演会や学習会の開催
５．障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
６．福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進
７．障害のある人の地域活動への参加機会の促進
８．障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
９．その他（　　）
１０．わからない

問73　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない
【記入例】 ① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	①	2	3	4	5	6
① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	1	2	3	4	5	6
② 障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること	1	2	3	4	5	6
③ 市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	1	2	3	4	5	6
④ 障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑤ 一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	1	2	3	4	5	6
⑥ 障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること	1	2	3	4	5	6
⑦ 障害のある方が働くための機会を創出すること	1	2	3	4	5	6
⑧ 障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	1	2	3	4	5	6
⑨ 障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	1	2	3	4	5	6
⑩ 障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	1	2	3	4	5	6
⑪ 障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	1	2	3	4	5	6
⑫ 家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	1	2	3	4	5	6
⑬ 地域のボランティア活動を充実させること	1	2	3	4	5	6

問74　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

調査票に記載のあったサービス、施設、事業等について、より詳しく知りたい場合は、右記のＱＲコードから障害者のしおりをご覧ください。

あなたの声をお聞かせください

西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月

西東京市長　　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。また、可能な限りご本人の意思を確認して回答に反映していただきますよう、ご協力をお願いします。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ **令和７年 10 月１日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、**令和７年 11 月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
- ○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
  下記のＵＲＬにアクセスするか、右下のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
  URL:https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/hattatu
  ▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**＿＿＿＿＿＿

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市健康福祉部障害福祉課障害者支援係（田無庁舎）
電　話：０４２－４２０－２８０４（直通）
ＦＡＸ：０４２－４６６－９６６６

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1. 宛名の本人
2. 宛名の本人の回答を聞いた代理の方
3. 家族（本人の立場に立って記入）
4. 入所施設（障害者･高齢者支援施設）や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5. その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和７年10月１日現在）

【○は１つだけ】

1. 18～19歳
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～64歳
7. 65～69歳
8. 70歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）
2. 賃貸住宅（アパート･マンション･借家）
3. グループホーム
4. 入所施設（障害者･高齢者支援施設）
5. 病院（入院している）
6. その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている
2. 一部がバリアフリー化されている
3. バリアフリー化が全くされていない
4. わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

1. ひとり暮らしをしている
2. 配偶者（夫、妻）･パートナー
3. 子ども
4. 子どもの配偶者･パートナー
5. 父親
6. 母親
7. 祖父母
8. 兄弟･姉妹
9. 親戚
10. 入所施設の職員や仲間
11. その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」以外を回答された方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．17歳以下	５．70歳代
２．18～39歳	６．80歳以上
３．40～59歳	７．わからない
４．60歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

１．ゆとりがある	２．まあまあゆとりがある	３．やや苦しい	４．不自由が多く、生活が苦しい

障害について

問10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．強度行動障害と言われたことがある
１０．どれにもあてはまらない

【問11は問10で「７．発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

問11　診断内容をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自閉症	５．チック（トゥレット症候群）
２．アスペルガー症候群	６．吃音症
３．注意欠陥多動性障害（ADHD）	７．その他の発達障害
４．学習障害（LD）	８．わからない

【問12は問10で「７．発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

問12　日常生活を送る中で、不自由さを感じはじめたのは、おおよそ何年前でしたか。

【○は１つだけ】

１．１年未満	４．５年以上、10年未満
２．１年以上、３年未満	５．１０年以上
３．３年以上、５年未満	６．わからない

【問13は問10で「７．発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

問13　発達障害であると感じた際の相談先はどこですか。また、相談した人がいれば併せてお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の窓口	１１．児童発達支援センターひいらぎ
２．かかりつけのの医師や看護師	１２．その他の福祉施設や相談支援事業所
３．心療内科	１３．保育所や幼稚園、学校
４．市が実施する乳幼児健診	１４．社会福祉協議会
５．東京都発達障害者支援センター TOSCA	１５．職場の同僚
６．保健所、保健センター	１６．友人や知人
７．産業医・カウンセラー	１７．家族や親戚
８．ハローワーク	１８．自分自身でなんとなく気がついた
９．子ども家庭支援センター のどか	１９．その他（　　）
１０．児童相談所	２０．特に相談していない
	２１．わからない

【問14は問13で「20．特に相談していない」と回答された方にお聞きします。】

問14　相談されなかった理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．困っていることがなかった	５．身近に相談できる人や場所がなかった
２．どこに相談できるのかわからなかった	６．学校や職場などに知られたくなかった
３．発達障害を受け入れられなかった	７．その他（　　）
４．相談することのメリットが感じられなかった	

【問15は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問15　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【問16は問10で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問16　あなたは、医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。

【○はいくつでも】

１．一時的に預かってくれるサービスの不足
２．医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足
３．医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足
４．医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足
５．医療的ケアに対応できる専門医の不足
６．経済的な負担が大きい
７．保護者や介護者などの就労に制限がある
８．災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）
９．チューブの自己抜去などの本人の行動特性
１０．その他（　　）
１１．医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない

問17　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問18　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

１．ほとんど感じることはない	２．たまに感じる	３．いつも感じる	４．わからない

【問19は問18で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問19　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．学校や職場	６．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	７．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	８．面接などの就職活動の場
４．障害福祉サービス事業所・施設	９．余暇活動の場
５．介護保険サービス事業所・施設	１０．その他（　　）

日常生活について

問20　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問21　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15時）と夕方（15～18時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15時）	【夕方を過ごす場所】（15～18時）
【選択肢】 ○は１つだけ	１．自宅	１．自宅
	２．学校や職場	２．学校や職場
	３．障害福祉サービス事業所・施設	３．障害福祉サービス事業所・施設
	４．介護保険サービス事業所・施設	４．介護保険サービス事業所・施設
	５．親族や親戚の家	５．親族や親戚の家
	６．友人や知人の家	６．友人や知人の家
	７．地域の公共施設など	７．地域の公共施設など
	８．特に決まっていない	８．特に決まっていない

問22　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に５日以上	２．週に３～４日	３．週に１～２日	４．月に２～３日	５．ほとんど外出しない

問23　外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。

【○はいくつでも】

1．電車	4．福祉タクシー（車いす等に対応した車両）
2．バス	5．自家用車
3．タクシー	6．その他（　　）

問24　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
3．どこへ外出するにも支援が必要
4．その他（　　）

問25　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
2．他人との会話が難しい
3．視線が気になる
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
7．バリアフリーの建物が少ない
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない
11．障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
12．その他（　　）
13．特にない

【問26は問25で「10．電車・バス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」と回答された方にお聞きします。】

問26　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

問27　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は１つだけ】

1．ある	2．ない	3．どちらともいえない

【問28は問27で「1．ある」と回答された方にお聞きします。】

問28　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと	6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
2．絵画や工作などの美術活動	7．近所へ出かけること
3．演奏や歌などの音楽活動	8．旅行
4．仕事や家事の手伝い	9．買い物
5．友人や知人との遊び	10．その他（　　）

問29　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
2．障害のある方と一緒に楽しめる活動	4．その他（　　）
	5．特に参加したいと思わない

就労について

問30　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない

【問31は問30で「1．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問31　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は１つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）	4．自宅での内職
2．会社・団体などの正規職員	5．通所先
3．パート・アルバイトなどの非正規職員	6．その他（　　）

【問32は問30で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問32　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

１．ハローワーク	５．家族や親戚
２．障害者就労支援センター「一歩」	６．友人や知人
３．就労移行支援事業所	７．その他（　　）
４．学校	８．特に支援やサポートは受けていない

【問33は問30で「１．仕事をしている」と回答された方にお聞きします。】

問33　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．給与や工賃などの収入が少ない	６．職場の設備が障害に対応していない
２．勤務時間・日数の負荷が大きい	７．職場での障害に対する理解が足りない
３．通勤の負担が大きい	８．職場での悩みを相談できるところがない
４．職務内容が自分に合わない	９．その他（　　）
５．職場の人間関係が難しい	１０．特に困っていることはない

【問34は問30で「２．仕事をしていない」と回答された方にお聞きします。】

問34　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

問35　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで１日６時間程度働きたい
３．すぐに（継続して）パートなどで１日４時間程度働きたい
４．すぐに（継続して）パートなどで１日２時間程度働きたい
５．すぐに（継続して）通所先などで働きたい
６．１年以内に何らかの形で働きたい
７．いずれ働くことを考えている
８．働くことは考えていない

問36　障害のある方が働くために必要だと思うことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある方を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問37　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

１．頻繁に相談している	２．必要に応じて相談している	３．あまり相談していない	４．相談したことがない

問38　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口	８．幼稚園や保育所の先生
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口	９．民生委員・児童委員
３．障害福祉サービス事業所・施設の職員	１０．社会福祉協議会の職員
４．介護保険サービス事業所・施設の職員	１１．障害者団体
５．職場や学校	１２．友人や知人
６．病院や診療所	１３．その他（　　）
７．児童相談所	１４．相談できる人や場所は特にない

問39　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．自分の健康や障害に関すること	6．経済的なこと
2．家族との関係に関すること	7．障害や介護サービスに関すること
3．仕事や職場の人間関係に関すること	8．虐待や差別に関すること
4．友人や仲間に関すること	9．その他（　　）
5．自分の今後の生活や将来に関すること	10．特にない

問40　あなたは、親なき後（※）や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

1．住む場所	7．お金の管理や支援
2．日常的な介助や家事の援助	8．日中を過ごす場
3．日常的な意思決定や支援	9．休みの日の過ごし方
4．相談できる人や機関	10．緊急時の支援
5．医療機関の受診	11．その他（　　）
6．生活に必要な収入	12．特にない

※親なき後とは、親や日常的に世話をしている家族がいなくなったり、支援できなくなった後の生活（本人の高齢化含む）を指します。例えば、将来一人で生活する場合や、親や家族以外の支援者の助けや福祉サービスを受けながら暮らす場合などが含まれます。

問41　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	①	2	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問42　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

1．障害者のしおり（市が作成した冊子）	10．病院や診療所
2．市の広報紙	11．図書館の障害のある方向けサービス
3．市のホームページやSNS	12．民生委員・児童委員
4．都の広報紙やホームページ	13．自治会や町内会の回覧板
5．その他の広報紙やインターネット、SNS	14．市内にある掲示板
6．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	15．家族や親戚
7．障害者団体	16．友人や知人
8．職場や学校	17．その他（　　）
9．障害福祉サービス事業所・施設	18．特にない

問43　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．点字、音声の出版物が少ない	6．周囲との意思疎通がとりづらい
2．公的な場での音声案内が不足している	7．困っていることを周りに伝えられない
3．手話や要約筆記ができる人が少ない	8．緊急時や災害時の情報が入りにくい
4．公共施設の案内表示がわからない	9．郵便物の重要度がわからない
5．インターネットが利用しにくい	10．その他（　　）
	11．特にない

問44　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

1．対面での会話	6．点字
2．電話やテレビ電話を使った会話	7．手話
3．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	8．家族や介助者を介した伝言
4．インターネットや携帯などの電子メール	9．その他（　　）
5．SNS	10．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問45　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．知っている 利用したことがある	2．知っているが 利用したことはない	3．知らない

問46　あなたは、西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 基幹相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 基幹相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問47　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	1	2	3
⑤ ENJOYニュースポーツ	1	2	3
⑥ ピアカウンセリング	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある方へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターを証明するサポートキーホルダー（初級）、サポートリストバンド（中級）をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある方が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
かわうそ水泳教室 （障害者水泳教室）	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOYニュースポーツ	障害のある方もない方も、年齢に関係なく、誰でも気軽に参加し、一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろなスポーツを行います。
ピアカウンセリング	障害があり、同じような悩みや課題のある方同士で、同じ仲間として相談に乗り、一緒に解決策を考える事業です。

問48　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援、重度障害者等包括支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練 （機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援 （A型・B型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	障害福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所 （ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害のある方（お子さん）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．共同生活援助 （グループホーム）	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

【問49は問48で「１３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問49　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内	２．市外	３．市内と市外両方利用している

【問50は問49で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問50　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問51　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。
【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない	７．他の利用者との関係について
２．サービス事業者が少ない	８．利用者負担について
３．サービス利用の手続きが大変	９．利用したいサービスが地域にない
４．事業者との日時などの調整が大変	１０．その他（　　）
５．利用できる回数や日時が少ない	１１．特に困っていることはない
６．サービスの質について	

【問52は問51で「９．利用したいサービスが地域にない」と回答された方にお聞きします。】

問52　利用したいサービスを教えてください。

【問53は問48で「１３.利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問53　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。
【○は１つだけ】

１．現在、相談支援専門員に作成してもらっている
２．以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
３．以前から、自分で作成している（セルフプラン）
４．相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）
５．わからない

【問54は問53で「２・３・４」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問54　２または３を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。４を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

問55　あなたの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。
【○は１つだけ】

１．必要である	２．今は必要ないが、いずれ必要になる	３．必要ない

【問56は問55で「１．必要である」と回答された方にお聞きします。】

問56　あなたは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。
【○は１つだけ】

１．利用できている	２．まあまあ利用できている	３．あまり利用できていない	４．利用できていない

【問57は問56で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問57　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。
【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

問58　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。
【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．通所先に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．通所先や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス（日中一時支援など）
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問59　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通所型の障害福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問60　問59で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	５．障害福祉サービス事業所・施設の職員
２．別居している家族や親戚	６．介護保険サービス事業所・施設の職員
３．友人や知人	７．その他（　　）
４．弁護士や後見人	８．いない

問61　あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．知っている 利用している	２．知っているが、利用していない	３．知らない

【問62は問61で「１．知っている　利用している」「２．知っているが、利用していない」と回答された方にお聞きします。】

問62　どのようなことが理由で成年後見制度を利用していますか、もしくは将来的に利用することになると思いますか。

【○はいくつでも】

１．預貯金などの管理・解約	６．訴訟手続き
２．福祉サービスの契約 （ホームヘルパーや施設利用等のため）	７．親等の主たる介護者が高齢等のため支援が難しくなった
３．不動産の処分	８．その他（　　）
４．相続手続き	９．将来的にも利用することはない
５．保険金受取	

問63　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

問64　障害のある方のプロフィールやこれまでの支援内容等を記録する「サポートファイル（※）」を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．現在使用している	３．知っているが使用したことはない
２．使用したことはあるが現在は使用していない	４．知らない

※サポートファイルは、障害のある方の生い立ちから家庭生活での様子や成長、医療機関・相談機関・就学機関・学校・福祉サービス事業所等における支援内容等を記録し、成長の気づきや関係機関等との情報共有を図ることを目的としたものです。現在西東京市では、サポートファイルの提供等は行っておりませんが、作成に向けて検討を行っております。なお、サポートファイルの名称や取組は自治体によって異なります。

問65　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

地域生活支援事業について

問66　あなたは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

地域生活支援事業の名称	サービスの内容
１．移動支援	屋外での移動が困難な人について、外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促すサービス
２．日中一時支援	日中の時間帯の障害福祉サービス事業所において、障害のある人等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行うサービス
３．利用したことがない	

【問67は問66で「３．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問67　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内　　２．市外　　３．市内と市外両方利用している

【問68は問67で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」を回答された方にお聞きします。】

問68　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問69　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない
２．サービス事業者が少ない
３．サービス利用の手続きが大変
４．事業者との日時などの調整が大変
５．利用できる回数や日時が少ない
６．サービスの質について
７．他の利用者との関係について
８．利用者負担について
９．その他（　　）
１０．特に困っていることはない

西東京市について

問70　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問71　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問72は問71で「１．ある」と回答された方にお聞きします。】

問72　その場所を具体的にお答えください。

問73　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

【○は３つまで】

１．障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動
２．障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
３．学校における福祉教育の充実
４．障害に関する講演会や学習会の開催
５．障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
６．福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進
７．障害のある人の地域活動への参加機会の促進
８．障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
９．その他（　　）
１０．わからない

問74　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない
【記入例】 ① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	①	2	3	4	5	6
① 障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	1	2	3	4	5	6
② 障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること	1	2	3	4	5	6
③ 市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	1	2	3	4	5	6
④ 障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑤ 一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	1	2	3	4	5	6
⑥ 障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること	1	2	3	4	5	6
⑦ 障害のある方が働くための機会を創出すること	1	2	3	4	5	6
⑧ 障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	1	2	3	4	5	6
⑨ 障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	1	2	3	4	5	6
⑩ 障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	1	2	3	4	5	6
⑪ 障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	1	2	3	4	5	6
⑫ 家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	1	2	3	4	5	6
⑬ 地域のボランティア活動を充実させること	1	2	3	4	5	6

問75　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

調査票に記載のあったサービス、施設、事業等について、より詳しく知りたい場合は、右記のＱＲコードから障害者のしおりをご覧ください。

あなたの声をお聞かせください

西東京市の児童福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月　　西東京市長　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

- ○ このアンケートは封筒宛名のお子さまの保護者の方を対象に実施しております。
- ○ 質問の中には、お子さんの意思を確認するものが含まれています。可能な限り、お子さんの意思を確認して回答に反映いただきますよう、ご協力をお願いします。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ **令和７年10月１日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、**令和７年11月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
- ○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
  下記のＵＲＬにアクセスするか、右下のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
  URL: https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/syougaiji
  ▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**＿＿＿＿＿＿

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所健康福祉部障害福祉課障害者支援係（田無庁舎）
電話：０４２－４２０－２８０４（直通）
FAX：０４２－４６６－９６６６

２　障害児調査票

問１　この調査票を記入されるのはどなたですか。

【○は１つだけ】

1. 家族（本人の立場に立って記入）
2. 入所施設や病院などの職員（本人の立場に立って記入）
3. その他の方（本人の立場に立って記入）

お子さんのことについて

以降、「お子さん」とは封筒の宛名に記載された方をいいます。

問２　お子さんの年齢をお答えください。（令和７年10月１日現在）

【○は１つだけ】

1. 0～2歳	3. 6～8歳	5. 12～14歳
2. 3～5歳	4. 9～11歳	6. 15～17歳

問３　お子さんは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）	3. 障害児入所施設
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	4. 病院（入院している）
	5. その他（　　）

問４　お子さんのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている	3. バリアフリー化が全くされていない
2. 一部がバリアフリー化されている	4. わからない

問５　お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さんから見た間柄でお答えください。

【○はいくつでも】

1. お父さん	4. おばあさん	7. 入所施設の職員や仲間
2. お母さん	5. 兄弟・姉妹	8. その他（　　）
3. おじいさん	6. 親戚	

問６　お子さんと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

1. 65歳以上の高齢者がいる	4. 病気などの理由で不自由な方がいる
2. 障害者手帳所持者がいる	5. その他（　　）
3. 妊婦や小学生以下の子どもがいる	6. あてはまらない

問７　普段、お子さんを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．お父さん	４．おばあさん	７．近所の人、友だちや知り合い
２．お母さん	５．兄弟・姉妹	８．ホームヘルパーなどのサービス事業者
３．おじいさん	６．親戚	９．特に介助・支援を必要としない

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．17歳以下	３．40～59歳	５．70歳代	７．わからない
２．18～39歳	４．60歳代	６．80歳以上	

【問９は問７で「１．お父さん」「２．お母さん」と回答された方にお聞きします。】

問９　現在、お子さんを主に介助・支援している方のお勤め状況を教えてください。

【○はいくつでも】

１．正規の職員・従業員	３．自営業	５．就労していない
２．非正規の職員・従業員	４．その他（　　）	

【問10は問７で「１．お父さん」「２．お母さん」と回答された方にお聞きします。】

問10　就労にあたって不足している支援を教えてください。

【○はいくつでも】

１．日中活動の場などの預け先	６．学校等での医療的ケア
２．預け先での時間延長	７．医療的ケアの可能なヘルパー
３．放課後等デイサービス	８．事業主や会社・職場の理解
４．緊急時の一時預かりサービス	９．その他（　　）
５．送迎サービス	

【問11は問９で「５．就労していない」と回答された方にお聞きします。】

問11　就労していない理由を教えてください。

【○は１つだけ】

１．現在、求職中である
２．以前は働いていたが、障害のあるお子さんの面倒をみるために辞めたから
３．働きたいが、障害のあるお子さんを預けるところがないから
４．病気や障害などで働けないから
５．働く必要がないから
６．その他（　　）

問12　お子さんの世帯の暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

１．ゆとりがある	２．まあまあゆとりがある	３．やや苦しい	４．不自由が多く、生活が苦しい

障害について

問13　次のうち、お子さんにあてはまるものに○をつけてください。手帳をお持ちの方は等級・程度についても○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている	（１級　２級　３級　４級　５級　６級）
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている	（１度　２度　３度　４度）
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている	（１級　２級　３級）
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている	
６．高次脳機能障害と診断されたことがある	
７．発達障害と診断されたことがある	
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている	
９．強度行動障害と言われたことがある	
１０．どれにもあてはまらない	

問14　お子さんに発達の遅れや障害があることに気がついたのは、おおよそ何年前でしたか。

【○は１つだけ】

１．１年未満	３．３年以上、５年未満	５．１０年以上
２．１年以上、３年未満	４．５年以上、10年未満	６．わからない

【問15 は問13で「１．身体障害者手帳を持っている」と回答された方にお聞きします。】

問15　身体障害者手帳に記載されている障害をお答えください。

【○はいくつでも】

１．視覚障害	６．肢体不自由（上肢・下肢機能障害）
２．聴覚障害	７．肢体不自由（体幹機能障害）
３．平衡機能障害	８．内部障害
４．音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	９．わからない
５．乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	

【問16 は問13で「７．発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

問16　診断内容をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自閉症	５．チック（トゥレット症候群）
２．アスペルガー症候群	６．吃音症
３．注意欠陥多動性障害（ADHD）	７．その他の発達障害
４．学習障害（LD）	８．わからない

【問17 は問13で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問17　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【問18 は問13で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問18　医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。

【○はいくつでも】

１．一時的に預かってくれるサービスの不足	
２．医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	
３．医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	
４．医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	
５．医療的ケアに対応できる専門医の不足	
６．経済的な負担が大きい	
７．保護者や介護者などの就労に制限がある	
８．災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）	
９．チューブの自己抜去などの本人の行動特性	
１０．その他（　　）	
１１．医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない	

問19　お子さんに発達の遅れや障害があると気がついた、最初のきっかけをお答えください。

【○は１つだけ】

１．市役所が実施する乳幼児健診	５．家族や親戚への相談
２．かかりつけの医師や看護師の助言	６．自分自身でなんとなく気がついた
３．保育所や幼稚園、学校の先生の助言	７．その他（　　）
４．友人や知人への相談	

問20　お子さんに発達の遅れや障害があると気がついたときに、保護者や家族の方が相談した機関をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の窓口	８．児童発達支援センターひいらぎ
２．かかりつけの医師や看護師	９．その他の障害福祉サービス事業所・施設や相談支援事業所
３．東京都発達障害者支援センター TOSCA	１０．保育所や幼稚園、学校
４．心療内科	１１．社会福祉協議会
５．保健所、保健センター	１２．その他（　　）
６．子ども家庭支援センター のどか	１３．特に相談していない
７．児童相談所	１４．わからない

【問21 は問20 で「13. 特に相談していない」と回答された方にお聞きします。】

問21　相談されなかった理由をお答えください。　【○はいくつでも】

1．困っていることがなかった	5．身近に相談できる人や場所がなかった
2．どこに相談できるのかわからなかった	6．学校などに知られたくなかった
3．障害を受け入れられなかった	7．その他（　　）
4．相談することのメリットが感じられなかった	

問22　療育や支援で、さらに充実させるべきだと思うことはありますか。

【○は３つまで】

1．乳幼児健診の充実
2．発育・発達上の課題の早期発見・診断
3．専門的な相談体制
4．地域における療育、リハビリテーション体制の整備
5．保育園や幼稚園での障害児保育・教育の充実
6．学校での障害者理解の普及・啓発
7．自立に向けた専門的な教育の充実
8．通学・通園時の介助・付き添い支援
9．放課後や休日などの居場所づくり
10．安心して遊べる機会・場の確保
11．地域との交流の機会や環境づくり
12．保護者が介助(支援)できない時の一時預かりや介助など
13．医療体制の充実
14．障害福祉事業所と学校の連携
15．入所施設の充実
16．その他（　　）
17．特にない

問23　この１年間にお子さんの発達や障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。　【○は１つだけ】

1．ほとんど感じることはない	2．たまに感じる	3．いつも感じる	4．わからない

【問24 は問23 で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問24　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所などをお答えください。

【○はいくつでも】

1．保育所や幼稚園、学校	5．スーパーやレストラン
2．市役所などの公的機関	6．バスや電車などの交通機関
3．病院などの医療機関	7．習い事
4．障害福祉サービス事業所・施設	8．その他（　　）

日常生活について

問25　お子さんは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑫のそれぞれ１つに○をつけてください。

【○はそれぞれに１つずつ】

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする	①	2	3
① 食事をする	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑩ お小遣いの管理をする	1	2	3
⑪ 薬の管理をする	1	2	3
⑫ 災害時の避難をする	1	2	3

問26　お子さんが外出する際に、徒歩や車いす等での移動以外によく利用する移動手段を教えてください。

【○はいくつでも】

1．電車	4．福祉タクシー（車いす等に対応した車両）
2．バス	5．自家用車
3．タクシー	6．その他（　　）

問27　お子さんが外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
3．どこへ外出するにも支援が必要
4．その他（　　）

問28　お子さんの外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
2．他人との会話が難しい
3．視線が気になる
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
7．バリアフリーの建物が少ない
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
10．電車やバス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない
11．障害のある方用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
12．その他（　　）
13．特にない

【問29は問28で「10．電車やバス・タクシーなどの公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない」を回答された方にお聞きします。】

問29　公共交通機関が利用しづらいまたは利用できない理由を教えてください。

【問30～32はお子さんの意思を確認して回答をお願いします。】

問30　お子さんは普段の生活の中で楽しいことはありますか。

【○は１つだけ】

1．ある	2．ない

【問31は問30で「1．ある」と回答された方にお聞きします。】

問31　お子さんの楽しいことの内容をお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと	6．テレビやビデオ、映画をみること
2．絵をかいたり工作をすること	7．近所におでかけをすること
3．楽器をひいたり歌うこと	8．旅行に行くこと
4．お父さんやお母さんの手伝いをすること	9．買い物に行くこと
5．友達と遊ぶこと	10．その他（　　）

【問32は問30で「1．ある」と回答された方にお聞きします。】

問32　お子さんの楽しいことがある場所はどこですか。

【○はいくつでも】

1．保育所や幼稚園、学校	6．バスや電車などの交通機関
2．図書館、美術館、博物館など	7．習い事の教室
3．障害福祉サービス事業所・施設	8．自宅
4．スーパーやショッピングモール	9．ご近所や友達の家
5．映画館	10．その他（　　）

問33　今後、お子さんを参加させたいと思う活動についてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動
2．保護者と一緒に参加できる活動
3．障害のある方と一緒に参加できる活動
4．障害の有無にかかわらず参加できる活動
5．その他（　　）

幼稚園や保育所、学校での生活について

問34　お子さんの通っている学校などの種類をお答えください。

【○は１つだけ】

1．幼稚園
2．保育所
3．小学校・中学校・高校の通常学級
4．小学校・中学校の通常学級と特別支援教室を併用
5．小学校・中学校の特別支援学級
6．特別支援学校
7．その他（　　）
8．どこにも通所していない

問35　幼稚園、保育所、学校などでの生活で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．通うための付き添いの負担が大きい
2．トイレなどのバリアフリー設備が不十分
3．障害を理由にイジメや仲間外れにされる
4．先生や職員の理解や配慮が足りない
5．周囲の児童・生徒の理解が得られない
6．体力がついていけない
7．学力がついていけない
8．体調が悪くなったときの居場所がない
9．介助体制が十分でない
10．医療的なケアが受けられない
11．その他（　　）
12．特に困っていることはない

問36　お子さんは放課後や土日・祝日の休み、夏休みなどの長期休暇中の日中をどのように過ごしていますか。最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ。該当しない項目は記入不要。】

	1 家族といる	2 放課後等デイサービスに行く	3 習い事や塾に行く	4 友だちや知り合いといる	5 学童クラブに行く	6 ヘルパーなどと外出する	7 ひとりでいる	8 特になにもしていない	9 その他
【記入例】①平日の放課後	①	2	3	4	5	6	7	8	9
①平日の放課後	1	2	3	4	5	6	7	8	9
②土日・祝日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
③夏休みなどの長期休み	1	2	3	4	5	6	7	8	9

【「9．その他」と回答された方にお聞きします。】

	最も頻度の多い過ごし方をお書きください
①平日の放課後	
②土日・祝日	
③夏休みなどの長期休み	

問37　放課後の過ごし方について困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．居場所が学校から離れている
2．居場所が自宅から離れている
3．周囲の人との相性が良くない
4．あまり楽しめていない
5．体調が悪くなったときに介助する人がいない
6．交通環境が悪い
7．その他（　　）
8．特にない

【問38 はお子さんの意思を確認して回答をお願いします。】

問38　高等学校卒業後、日中をどのように過ごしたいですか。

【○は１つだけ】

1．家でのんびりと暮らしたい
2．会社などで働きたい
3．会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい
4．会社で働けるようになるために、技術を身につける訓練をしたい
5．障害福祉サービス事業所・施設で日常生活を過ごすための訓練をしたい
6．病院などで日常生活の訓練や介護を受けたい
7．障害のある方といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい
8．学校（大学や専門学校など）に通いたい
9．その他（　　）
10．わからない

問39　お子さんの高等学校卒業後のことで、不安に感じていることはありますか？

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

1．就職・就労の場の確保に関すること
2．進学・学び続ける選択肢が限られること
3．生活スキルや自立支援に関すること
4．福祉サービスや制度の利用に関すること
5．コミュニティへの参加に関すること
6．保護者の方の就労（仕事）に関すること
7．保護者の方の負担増加に関すること
8．お子さんの心身の健康に関すること
9．その他（　　）
10．わからない

問40　お子さんの親なき後（※）や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

1．住む場所
2．日常的な介助や家事の援助
3．日常的な意思決定や支援
4．相談できる人や機関
5．医療機関の受診
6．生活に必要な収入
7．お金の管理や支援
8．日中を過ごす場
9．休みの日の過ごし方
10．緊急時の支援
11．その他（　　）
12．特にない

※親なき後とは、お子さんを日常的に世話をしている親や家族がいなくなったり、支援できなくなった後の生活（本人の高齢化含む）を指します。例えば、お子さんが将来一人で生活する場合や、親や家族以外の支援者の助けや福祉サービスを受けながら暮らす場合などが含まれます。

問41　将来、お子さんが自分らしく働くために必要だと思うことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．障害のある方が就職や転職についての悩みを相談する窓口
2．障害のある方を雇用したい事業者の求人情報
3．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
4．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
5．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
6．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
7．障害のある方を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
8．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
9．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
10．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
11．その他（　　）
12．わからない

問42　障害のあるお子さんの成長等を記録する「サポートファイル（※）」を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．現在使用している	３．知っているが使用したことはない
２．使用したことはあるが現在は使用していない	４．知らない

※サポートファイルは、お子さんの生い立ちから家庭生活での様子や成長、医療機関・相談機関・就学機関・学校・福祉サービス事業所等における支援内容等を記録し、お子さんの成長の気づきや関係機関等との情報共有を図ることを目的としたものです。現在西東京市では、サポートファイルの提供等は行っておりませんが、作成に向けて検討を行っております。なお、サポートファイルの名称や取組は自治体によって異なります。

問43　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

相談支援や情報入手について

問44　お子さんの成長や将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

１．頻繁に相談している	２．必要に応じて相談している	３．あまり相談していない	４．相談したことがない

問45　親族や親戚以外にお子さんの悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口	７．幼稚園や保育所の先生
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口	８．民生委員・児童委員
３．障害福祉サービス事業所・施設の職員	９．社会福祉協議会の職員
４．職場や学校	１０．障害者団体
５．病院や診療所	１１．友人や知人
６．児童相談所	１２．その他（　　）
	１３．特にいない

問46　お子さんの生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】① 福祉サービス	①	2	3	4	5
① 福祉サービス	1	2	3	4	5
② 地域情報	1	2	3	4	5
③ 社会情勢	1	2	3	4	5
④ 趣味や楽しみ	1	2	3	4	5
⑤ 災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や楽しみ：障害のあるお子さんが楽しめるイベントや活動に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問47　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

１．障害者のしおり（市が作成した冊子）	１０．病院・診療所
２．市の広報紙	１１．図書館の障害のある方向けサービス
３．市のホームページやSNS	１２．民生委員・児童委員
４．都の広報紙やホームページ	１３．自治会や町内会の回覧板
５．その他の広報紙やインターネット、SNS	１４．市内にある掲示板
６．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	１５．家族や親戚
７．障害者団体	１６．友人や知人
８．学校や職場	１７．その他（　　）
９．障害福祉サービス事業所・施設	１８．特にない

福祉サービスについて

問48　西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．知っている　利用したことがある	２．知っているが利用したことはない	３．知らない

問49　西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 基幹相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 基幹相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問50　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加したことがある	知っているが 利用・参加したことはない	知らない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	1	2	3
⑤ ENJOY ニュースポーツ	1	2	3
⑥ ペアレント・メンター／先輩ママとお話しする会	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある方へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターを証明するサポートキーホルダー（初級）、サポートリストバンド（中級）をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある方が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
かわうそ水泳教室（障害者水泳教室）	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOY ニュースポーツ	障害のある方もない方も、年齢に関係なく、誰でも気軽に参加し、一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろなスポーツを行います。
ペアレント・メンター／先輩ママとお話しする会	障害のあるお子さんを育てた経験のある保護者がその経験を活かして、同じような悩みや課題のある保護者の相談に乗り、一緒に解決策を考える相談相手になる事業です。

問51　お子さんは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
２．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害のある方（お子さん）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
３．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
４．児童発達支援	未就学児を対象に、日常生活の動作や集団生活への適応訓練などの支援を行うサービス （理学療法などの医療的管理下での支援を行う医療型児童発達支援も含む）
５．放課後等デイサービス	学校の授業終了後や学校の休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進のための支援を行うサービス
６．居宅訪問型児童発達支援	重度の障害等により外出が著しく困難な障害児の居宅を訪問して発達支援を行うサービス
７．保育所等訪問支援	専門の支援員が障害のあるお子さんの通う保育所などを訪問し、対象の児童に対して集団生活への適応に向けた専門的な支援などを行うサービス
８．入所系サービス	福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設
９．利用したことがない	

【問52は問51で「９．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問52　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

１．市内	２．市外	３．市内と市外両方利用している

【問53は問52で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」と回答された方にお聞きします。】

問53　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問54　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない	７．他の利用者との関係について
２．福祉サービス事業者が少ない	８．利用者負担について
３．サービス利用の手続きが大変	９．利用したいサービスが地域にない
４．事業者との日時などの調整が大変	１０．その他（　　）
５．利用できる回数や日時が少ない	１１．特に困っていることはない
６．サービスの質について	

【問55は問51で「９．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問55　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。

【○は１つだけ】

１．現在、相談支援専門員に作成してもらっている
２．以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
３．以前から、自分で作成している（セルフプラン）
４．相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）
５．わからない

【問56は問55で「２・３・４」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問56　２または３を回答した方は、自分で作成している理由をお答えください。４を回答した方は、作成してもらえない理由をお答えください。

問57　お子さんの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

1．必要である	2．今は必要ないが、いずれ必要になる	3．必要ない

【問58は問57で「1．必要である」と回答された方にお聞きします。】

問58　お子さんは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

1．利用できている	2．まあまあ利用できている	3．あまり利用できていない	4．利用できていない

【問59は問58で「3．あまり利用できていない」「4．利用できていない」と回答された方にお聞きします。】

問59　必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．自己負担が大きい	5．市内に利用したい事業所がない
2．定員がいっぱいで利用できない	6．自分に適したサービスがわからない
3．通うのが大変	7．サービスの利用方法がわからない
4．利用したい時間や時期と合わない	8．その他（　　）

問60　今から２年後にお子さんが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

1．訪問系サービス
2．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
3．保育所や学校などで集団生活をするために必要な能力を身につけるサービス
4．小学校や中学校、高校の放課後や長期休暇期間に子どもを預けられるサービス
5．学校や障害福祉サービス事業所（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス
6．その他（　　）
7．わからない

問61　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．避難所の場所がわからない	5．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
2．災害や避難の情報の入手方法がわからない	6．障害の特性上、避難所にいることが困難
3．避難時に介助してくれる人がいない	7．避難所での他人とのコミュニケーション
4．助けを呼ぶための手段がない	8．その他（　　）
	9．特にない

地域生活支援事業について

問62　お子さんは、次の地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

地域生活支援事業の名称	サービスの内容
1．移動支援	屋外での移動が困難な人について、外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促すサービス
2．日中一時支援	日中の時間帯の障害福祉サービス事業所において、障害のある人等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行うサービス
3．利用したことがない	

【問63は問62で「3．利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問63　現在利用しているサービスの事業所（施設）は市内の事業所（施設）ですか。

【○は１つだけ】

1．市内	2．市外	3．市内と市外両方利用している

【問64は問63で「２．市外」「３．市内と市外両方利用している」と回答された方にお聞きします。】

問64　市外の事業所（施設）を利用している理由を教えてください。

問65　地域生活支援事業について、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない	７．他の利用者との関係について
２．サービス事業者が少ない	８．利用者負担について
３．サービス利用の手続きが大変	９．その他（　　）
４．事業者との日時などの調整が大変	１０．特に困っていることはない
５．利用できる回数や日時が少ない	
６．サービスの質について	

子どもの意見の尊重について

問66　平成30年10月より施行された「西東京市子ども条例」を知っていますか。

【○は１つだけ】

１．知っている	３．知らない
２．聞いたことはあるが内容はよくわからない	

問67　あなたは、家で何かを決めるとき、障害のあるお子さんの意見を聞いていますか。

【○は１つだけ】

１．聞いている	４．聞いていない
２．時々聞いている	５．子どもが意思表示できない
３．あまり聞いていない	

西東京市について

問68　西東京市の障害児施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

【問69～71はお子さんの意思を確認して回答をお願いします。】

問69　自分の家以外に、西東京市内に居心地のいい場所はありますか。

１．ある	２．ない

【問70は問69で「１．ある」と回答された方にお聞きします。】

問70　その場所を具体的にお答えください。

問71　西東京市は住みやすいまちだと思いますか。

【○は１つだけ】

１．とても住みやすい	４．住みにくい
２．どちらかといえば住みやすい	５．わからない
３．どちらかといえば住みにくい	

問72　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

【○は３つまで】

1．障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動
2．障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
3．学校における福祉教育の充実
4．障害に関する講演会や学習会の開催
5．障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
6．福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進
7．障害のある人の地域活動への参加機会の促進
8．障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
9．その他（　　）
10．わからない

問73　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない
【記入例】 ①　障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	①	2	3	4	5	6
①　障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	1	2	3	4	5	6
②　障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること	1	2	3	4	5	6
③　市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	1	2	3	4	5	6
④　障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑤　一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	1	2	3	4	5	6
⑥　障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること	1	2	3	4	5	6
⑦　障害のある方が働くための機会を創出すること	1	2	3	4	5	6
⑧　障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	1	2	3	4	5	6
⑨　障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	1	2	3	4	5	6
⑩　障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	1	2	3	4	5	6
⑪　障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	1	2	3	4	5	6
⑫　家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	1	2	3	4	5	6
⑬　地域のボランティア活動を充実させること	1	2	3	4	5	6

問74　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～

調査票に記載のあったサービス、施設、事業等について、より詳しく知りたい場合は、右記のＱＲコードから障害者のしおりをご覧ください。

問1　この調査票を記入されるのはどなたですか。

【○は１つだけ】

1．家族（本人の立場に立って記入）
2．入所施設や病院などの職員（本人の立場に立って記入）
3．その他の方（本人の立場に立って記入）

お子さんのことについて

以降、「お子さん」とは、本調査票を配布された方のことをいいます。

問2　お子さんの学年をお答えください。（令和７年10月１日現在）

【○は１つだけ】

1．小学校低学年（１年生～３年生）
2．小学校高学年（４年生～６年生）
3．中学１年生
4．中学２年生
5．中学３年生

問3　お子さんは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1．持ち家（分譲マンションを含む）
2．賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3．障害児入所施設
4．病院（入院している）
5．その他（　　）

問4　お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さんから見た間柄でお答えください。

【○はいくつでも】

1．お父さん
2．お母さん
3．おじいさん
4．おばあさん
5．兄弟・姉妹
6．親戚
7．入所施設の職員や仲間
8．その他（　　）

問5　お子さんと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．65歳以上の高齢者がいる
2．障害者手帳所持者がいる
3．妊婦や小学生以下の子どもがいる
4．病気などの理由で不自由な方がいる
5．その他（　　）
6．あてはまらない

問6　お子さんの世帯の暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

1．ゆとりがある	2．まあまあゆとりがある	3．やや苦しい	4．不自由が多く、生活が苦しい

★ あなたの声をお聞かせください ★

西東京市の児童福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、支援を必要とされる方々や特別な配慮が必要な方々の日常生活の状況やサービスの利用状況をきちんと把握し、ご意見・ご要望などをお伺いしながら策定を進めていくことが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、**障害の有無にかかわらず、特別支援教育を受けているお子さんの保護者の方々を対象**としています。お子さんのご状況により該当する設問は異なりますので、該当する設問についてお答えください。なお、調査は無記名であり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月

西東京市長　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 質問の中には、お子さんの意思を確認するものが含まれています。可能な限り、お子さんの意思を確認して回答に反映いただきますよう、ご協力をお願いします。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ **令和７年10月１日**現在でお答えください。
- ○ 記入された調査票は、**令和７年11月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
- ○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
  下記のＵＲＬにアクセスするか、右下のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
  URL: https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/tokubetusien
  ▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所健康福祉部障害福祉課障害者支援係（田無庁舎）
電話：０４２－４２０－２８０４（直通）
FAX：０４２－４６６－９６６６

問７　次のうち、お子さんにあてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている	５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている	６．高次脳機能障害と診断されたことがある
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている	７．発達障害と診断されたことがある
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
	９．強度行動障害と言われたことがある
	１０．どれにもあてはまらない

【問８は問７で「７．発達障害と診断されたことがある」と回答された方にお聞きします。】

問８　診断内容をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自閉症	５．チック（トゥレット症候群）
２．アスペルガー症候群	６．吃音症
３．注意欠陥・多動性障害（ADHD）	７．その他の発達障害
４．学習障害（LD）	８．わからない

【問９は問７で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答された方にお聞きします。】

問９　医療的なケアに関して、困っていることや不安なことはありますか。

【○はいくつでも】

１．一時的に預かってくれるサービスの不足
２．医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足
３．医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足
４．医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足
５．医療的ケアに対応できる専門医の不足
６．経済的な負担が大きい
７．保護者や介護者などの就労に制限がある
８．災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）
９．チューブの自己抜去などの本人の行動特性
１０．その他（　　）

学校生活について

問10　お子さんが、特別支援教室、特別支援学級に通うようになったきっかけをお答えください。

【○は１つだけ】

１．学校の先生にすすめられた	３．入学前にすすめられた（相談機関、保育所、幼稚園など）
２．自分（保護者）から学校に相談した	４．その他（　　）

問11　学校生活の中で、お子さんが困っていることはありますか。

【○はいくつでも】

１．特別支援教室・特別支援学級の授業の内容がわからない、授業についていけない
２．学校での支援体制が十分でない
３．先生や学校職員の理解や配慮が足りない
４．まわりの児童・生徒の理解が得られない
５．まわりの児童・生徒とコミュニケーションがうまくできない
６．友達ができない
７．放課後や長期休暇（夏休みなど）の居場所がない
８．学校に通うことに抵抗を持っている
９．その他（　　）
１０．特に困っていることはない

問12　ご家族（お世話などをしている方）として、学校教育にどのようなことを望んでいますか。

【○はいくつでも】

１．子どものことに関する相談にのってほしい（勉強、学校生活、子どもの将来についてなど）
２．子ども一人ひとりにあった教え方や指導をしてほしい
３．学校で使う教科書や教材を、使いやすく・わかりやすくしてほしい
４．学校の校内にある教室やトイレなどの標示を、わかりやすくしてほしい
５．その他（　　）
６．特にない

問13　お子さんは放課後や土日・祝日の休み、夏休みなどの長期休暇中の日中をどのように過ごしていますか。最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	1 家族といる	2 放課後等デイサービスに行く	3 習い事や塾に行く	4 友だちや知り合いといる	5 学童クラブに行く	6 ひとりでいる	7 特になにもしていない	8 その他
【記入例】 ①平日の放課後	①	2	3	4	5	6	7	8
①平日の放課後	1	2	3	4	5	6	7	8
②土日・祝日	1	2	3	4	5	6	7	8
③夏休みなどの長期休み	1	2	3	4	5	6	7	8

問14　放課後の過ごし方について困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．居場所が学校から離れている	5．体調が悪くなったときに介助する人がいない
2．居場所が自宅から離れている	6．交通環境が悪い
3．周囲の人との相性が良くない	7．その他（　　）
4．あまり楽しめていない	8．特にない

問15　お子さんの成長等を記録する「サポートファイル（※）」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．現在使用している	3．知っているが使用したことはない
2．使用したことはあるが現在は使用していない	4．知らない

※サポートファイルは、お子さんの生い立ちから家庭生活での様子や成長、医療機関・相談機関・就学機関・学校・福祉サービス事業所等における支援内容等を記録し、お子さんの成長の気づきや関係機関等との情報共有を図ることを目的としたものです。現在西東京市では、サポートファイルの提供等は行っておりませんが、作成に向けて検討を行っております。なお、サポートファイルの名称や取組は自治体によって異なります。

問16　どのようなサポートファイルがあれば、使用してみたいと思いますか。

相談支援や情報入手について

問17　親族や親戚以外にお子さんの悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．学校の先生	10．児童相談所
2．スクールカウンセラー	11．保健センター（保健師など）
3．西東京市子ども相談室ほっとルーム	12．民生委員・児童委員
4．教育相談	13．社会福祉協議会の職員
5．児童発達支援センター・ひいらぎ	14．家族会や障害者団体
6．子ども家庭支援センター・のどか	15．友人や知人
7．市役所の福祉相談窓口	16．その他（　　）
8．基幹相談支援センター・えぽっく	17．相談できるところは特にない
9．病院・診療所	18．誰かに相談することはまれである

問18　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

1．障害者のしおり（市が作成した冊子）	10．病院・診療所
2．市の広報紙	11．図書館の障害のある方向けサービス
3．市のホームページやSNS	12．民生委員・児童委員
4．都の広報紙やホームページ	13．自治会や町内会の回覧板
5．その他の広報紙やインターネット、SNS	14．市内にある掲示板
6．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	15．家族や親戚
7．障害者団体	16．友人や知人
8．学校	17．その他（　　）
9．障害福祉サービス事業所・施設	18．特にない

問19　西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．知っている　利用したことがある	2．知っているが利用したことはない	3．知らない

問20　西東京市内にある次の障害福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 基幹相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 基幹相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問21　お子さんは、次の障害福祉サービス、地域生活支援事業を過去１年間に利用したことがありますか。利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

障害福祉サービスの名称	サービスの内容
1．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
2．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害のある方（お子さん）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
3．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
4．児童発達支援	未就学児を対象に、日常生活の動作や集団生活への適応訓練などの支援を行うサービス （理学療法などの医療的管理下での支援を行う医療型児童発達支援も含む）
5．放課後等デイサービス	学校の授業終了後や学校の休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進のための支援を行うサービス
6．居宅訪問型児童発達支援	重度の障害等により外出が著しく困難な障害児の居宅を訪問して発達支援を行う
7．保育所等訪問支援	専門の支援員が障害のあるお子さんの通う保育所などを訪問し、対象の児童に対して集団生活への適応に向けた専門的な支援などを行うサービス
8．入所系サービス	福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設
9．移動支援	屋外での移動が困難な人について、外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促すサービス
10．日中一時支援	日中の時間帯の障害福祉サービス事業所において、障害のある人等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行うサービス
11．利用したことがない	

問22　障害福祉サービスについて、困っていることや改善してほしいことはありますか。

【○はいくつでも】

1．サービス提供や内容に関する情報が少ない	7．他の利用者との関係について
2．福祉サービス事業者が少ない	8．利用者負担について
3．サービス利用の手続きが大変	9．利用したいサービスが地域にない
4．事業者との日時などの調整が大変	10．その他（　　）
5．利用できる回数や日時が少ない	11．特に困っていることはない
6．サービスの質について	

【問23は問21で「11.利用したことがない」以外を回答された方にお聞きします。】

問23　障害福祉サービスを利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が必要になります。あなたは、どのようにサービス等利用計画を作成していますか。

【○は１つだけ】

1．現在、相談支援専門員に作成してもらっている
2．以前、相談支援専門員に作成してもらったことがあるが、現在は自分で作成している（セルフプラン）
3．以前から、自分で作成している（セルフプラン）
4．相談支援専門員に作成をしてもらいたいが、作成してもらえないため自分で作成している（セルフプラン）
5．わからない

【問24は問23で「２・３・４」のいずれかを回答された方にお聞きします。】

問24　２または３を回答した方は、自分で作成している理由を教えてください。４を回答した方は、作成してもらえない理由を教えてください。

問25　お子さんの日々の暮らしに、障害福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

1．必要である	2．今は必要ないが、いずれ必要になる	3．必要ない

【問26は問25で「1．必要である」と回答された方にお聞きします。】

問26　お子さんは、生活に必要な障害福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

1．利用できている	2．まあまあ利用できている	3．あまり利用できていない	4．利用できていない

問27　お子さんの親なき後（※）や将来の生活について、心配なことや不安がありますか。

【特に当てはまるものについて、３つまで○をしてください】

1．住む場所	7．お金の管理や支援
2．日常的な介助や家事の援助	8．日中を過ごす場
3．日常的な意思決定や支援	9．休みの日の過ごし方
4．相談できる人や機関	10．緊急時の支援
5．医療機関の受診	11．その他（　　）
6．生活に必要な収入	12．特にない

※親なき後とは、お子さんを日常的に世話をしている親や家族がいなくなったり、支援できなくなった後の生活（本人の高齢化含む）を指します。例えば、お子さんが将来一人で生活する場合や、親や家族以外の支援者の助けや福祉サービスを受けながら暮らす場合などが含まれます。

子どもの意見の尊重について

問28　平成30年10月より施行された「西東京市子ども条例」を知っていますか。

【○は１つだけ】

1．知っている	3．知らない
2．聞いたことはあるが内容はよくわからない	

問29　あなたは、家で何かを決めるとき、お子さんの意見を聞いていますか。

【○は１つだけ】

1．聞いている	4．聞いていない
2．時々聞いている	5．子どもが意思表示できない
3．あまり聞いていない	

西東京市について

問30　西東京市の障害児施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

問31　お子さん、またはご家族等（お世話等をしている方）は、お子さんの状態や言動で差別や人権侵害を受けていると感じることはありますか。

【○は１つだけ】

１．ほとんど感じることはない	２．たまに感じる	３．いつも感じる	４．わからない

【問32は問31で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答された方にお聞きします。】

問32　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所などをお答えください。

【○はいくつでも】

１．保育所や幼稚園、学校	５．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	６．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	７．習い事
４．障害福祉サービス事業所・施設	８．その他（　　）

【問33～35はお子さんの意思を確認して回答をお願いします。】

問33　自分の家以外に、西東京市内に居心地のいい場所はありますか。

１．ある	２．ない

【問34は問33で「１．ある」と回答された方にお聞きします。】

問34　その場所を具体的にお答えください。

問35　西東京市は住みやすいまちだと思いますか。

【○は１つだけ】

１．とても住みやすい	４．住みにくい
２．どちらかといえば住みやすい	５．わからない
３．どちらかといえば住みにくい	

問36　「障害」に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

【○は３つまで】

１．障害や障害者の福祉についての関心や理解を深めるための広報活動
２．障害のある人との交流を通じた障害への理解の促進
３．学校における福祉教育の充実
４．障害に関する講演会や学習会の開催
５．障害のある人への福祉的な就労や生産活動の機会の提供
６．福祉施設の地域住民への開放や地域住民との交流機会の促進
７．障害のある人の地域活動への参加機会の促進
８．障害のある人に対してのボランティア活動やボランティア人材育成への支援
９．その他（　　）
１０．わからない

問37　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

問38　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

		優先度が高い	やや優先度が高い	どちらでもない	やや優先度が低い	優先度が低い	わからない
	【記入例】						
①	障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	①	2	3	4	5	6
①	障害福祉サービスなどの障害のある方への情報提供を充実させること	1	2	3	4	5	6
②	障害のある方の生活に関する相談体制を充実させること	1	2	3	4	5	6
③	市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	1	2	3	4	5	6
④	障害を早期発見し、早い段階の療育やリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑤	一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	1	2	3	4	5	6
⑥	障害のあるお子さんに対する教育の機会や質を確保すること	1	2	3	4	5	6
⑦	障害のある方が働くための機会を創出すること	1	2	3	4	5	6
⑧	障害のある方が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	1	2	3	4	5	6
⑨	障害のある方が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	1	2	3	4	5	6
⑩	障害のある方が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	1	2	3	4	5	6
⑪	障害のある方が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	1	2	3	4	5	6
⑫	家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	1	2	3	4	5	6
⑬	地域のボランティア活動を充実させること	1	2	3	4	5	6

問39　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～

調査票に記載のあったサービス、施設、事業等について、より詳しく知りたい場合は、右記のＱＲコードから障害者のしおりをご覧ください。

西東京市　施設入所者に関する調査

西東京市の障害福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第８期西東京市障害福祉計画・第４期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、西東京市から施設入所支援のサービスの決定を受け、障害者支援施設に入所している方の状況を把握し、今後の支援の在り方などを検討することが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートに回答いただいた結果は統計的な処理を行います。事業所の回答が特定されないように情報保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和７年10月

西東京市長　　池澤　隆史

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名の事業所の管理者の方によるご記入をお願いします。なお、管理者の方による回答が難しい場合は、代理の方がご記入ください。
- ○ **令和７年 10 月１日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、**令和７年 11 月７日（金）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
- ○ インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
  下記のＵＲＬにアクセスするか、右下のＱＲコードを読み込んでください。なお、インターネットで回答いただいた場合は、本調査票の提出は不要です。
  URL: https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/sisetunyuukyo
  ▷インターネットでの回答には右記ＩＤの入力が必要です。**ＩＤ：**＿＿＿＿＿＿

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所健康福祉部障害福祉課障害者支援係（田無庁舎）
電話：０４２－４２０－２８０４（直通）
FAX：０４２－４６６－９６６６

はじめに、本調査に回答していただく方のお名前などを記入してください。

１．貴事業所名	
２．ご記入いただく方の氏名	
３．連絡先	電話　　（　　）
	メール　　@

事業所の概要について

問１　貴事業所の主な対象者をお答えください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者	５．医療的ケアが必要な方
２．知的障害者	６．強度行動障害者
３．精神障害者	７．その他（　　）
４．重症心身障害者	

問２　貴事業所の事業開始年度を和暦でお答えください。

【○は１つだけ、数字を記入】

１．昭和 ２．平成 ３．令和	＿＿＿＿＿ 年度から事業開始

問３　貴事業所が提供している施設入所サービスについて、それぞれの「定員」と10月１日現在の「実利用者数」をお答えください。利用者数については年齢別の人数と、西東京市が援護の実施者となっている利用者の内数についても記入してください。

【数字を記入】

定員	＿＿＿＿ 人

【利用者数】10月1日現在

	年齢別							
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
実利用者数全体								
内数 西東京市								

［人］

施設入所ニーズの変化について

問４　貴事業所が提供しているサービスへのニーズは直近の２年間でどのように変化していますか。

【○は１つだけ】

１．増えている	２．変わらない	３．減っている	４．わからない

問５　貴事業所が提供しているサービスの定員に対するおおよその充足率を教えてください。

【○はそれぞれに１つ】

	100%	90%以上～100%未満	80%以上～90%未満	70%以上～80%未満	70%未満
① 今年度（令和７年度9月まで）	1	2	3	4	5
② 昨年度（令和６年度）	1	2	3	4	5
③ 一昨年度（令和５年度）	1	2	3	4	5

問６　貴事業所では利用申請者に対してどのような理由でサービス提供を断ったことがありますか。

【○はいくつでも】

１．定員超過のため
２．利用者の状態像にあったサービスを提供できないため
３．利用者の利用希望時間のサービスを提供できないため
４．契約事項に反する行為があったため
５．その他（　　）
６．サービス提供を断ったことはない

問７　今後、利用者数の増加やニーズに対応していくために最も必要な対策をお答えください。

【○は１つだけ】

１．施設・設備整備への支援	４．利用者へのサービスに関する情報提供
２．人材の確保のための支援や情報提供	５．事業所運営に関する情報提供
３．職員研修のための支援	６．その他（　　）

問８　今後の事業継続について、どのように考えていますか。

【○は１つだけ】

１．事業を拡大する	３．事業を縮小する
２．現状維持	４．わからない

問９　医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者に対して、どのような配慮をしていますか。

【○はいくつでも】

１．緊急時に看護師をバックアップする体制
２．定期的なバイタルチェック
３．医療機関等との連携
４．看護師以外の職員への医療的ケア研修の実施
５．特性に合わせた物理的な環境の整備
６．わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援
７．家族への情報提供や相談支援
８．その他（　　）
９．医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者は利用していない

問10　医療的ケアが必要な方や重度心身障害者、強度行動障害者に障害福祉サービスを提供するために必要なことは何ですか。

【○はいくつでも】

１．専門知識・介助技術の習得
２．職員の人材育成・研修の充実
３．対応できる新規スタッフの雇い入れ
４．対応に必要な機器の購入
５．対応に必要なスペースの確保・増設
６．新規雇い入れや機器を導入するための資金
７．他利用者との兼ね合い
８．関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保
９．その他（　　）
10．わからない

問11　今後、サービスを提供していく上での課題などをご自由にお書きください。

施設入所者の地域移行について

問12　過去５年間に貴事業所から地域生活へ移行された利用者はいますか。いる場合は人数についてもお答えください。

【○は１つだけ】

１．いる（　　人）	２．いない

【問13は問12で「１．いる」と回答された方にお聞きします。】

問13　地域生活へ移行された方の生活拠点についてお答えください。

【○はいくつでも】

１．家族や親戚の家	３．グループホーム
２．ひとり暮らし（一般の家）	４．その他（　　）

【問14は問12で「１．いる」と回答された方にお聞きします。】

問14　地域生活への移行を進める上で工夫していることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．本人への動機づけ	５．地域のボランティアとの連携
２．家族とのコミュニケーション	６．多様な関係機関との調整
３．相談支援専門員との連携	７．地域移行支援の申請のタイミング
４．医師との連携	

その他、工夫していることをご自由にお書きください。

問15　貴事業所の利用者で、西東京市が援護の実施者となっている方のうち、地域生活への移行を希望している方はいますか。いる場合はその人数もお答えください。

【○は１つだけ】

１．いる（　　人）	２．いない

【問16は問15で「１．いる」と回答された方にお聞きします。】

問16　地域生活への移行を希望している方のうち、実現できる可能性について、それぞれの人数をお答えください。

１．２年以内に実現できる（　　人）	３．わからない　（　　人）
２．５年以内に実現できる（　　人）	４．実現は難しい　（　　人）

【問17は問16で「１．２年以内に実現できる」「２．５年以内に実現できる」と回答された方にお聞きします。】

問17　地域生活への移行先として想定している場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．西東京市	３．その他の地域
２．現在の施設がある地域	４．わからない

問18　利用者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．利用者本人のニーズ把握	７．福祉サービス事業者への引継ぎ
２．重症心身障害者の増加	８．医療機関との連携
３．利用者家族の高齢化	９．相談支援機関との連携
４．地域移行支援の認知度	１０．移行先の地方自治体との連携
５．移行後の利用者の収入確保	１１．地域における障害への理解促進
６．移行後の住まいの確保	１２．その他（　　）

事業所での取り組みについて

問19　貴事業所では利用者のニーズを把握するためにどのような取り組みをしていますか。
取り組みの内容をご自由にお書きください。

問20　貴事業所は、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。

例）地方自治体（市）が実施するイベントに出店した
社会福祉協議会を通じた地域活動やボランティア活動に参加した
地域包括支援センターとのケース会議に参加した
介護福祉関連施設と協働したイベントを実施した
小学校へ出前講座に出向き、障害者理解のための普及啓発を行った

【○はそれぞれに１つ】

	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない
【記入例】 ① 地方自治体	①	2	3	4
① 地方自治体	1	2	3	4
② 社会福祉協議会	1	2	3	4
③ 地域包括支援センター	1	2	3	4
④ 介護福祉関連施設	1	2	3	4
⑤ 幼稚園・保育所	1	2	3	4
⑥ 小学校・中学校	1	2	3	4
⑦ 自治会・町内会	1	2	3	4
⑧ 地域の民間企業	1	2	3	4
⑨ 商店街・商工会	1	2	3	4

問21　貴事業所が抱えている課題に対して、実施している取り組みがあればご自由にお書きください。また、その他、ご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

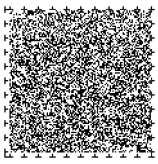
（例）・・・親亡き後への対策、人材の確保や定着、地域との交流促進など

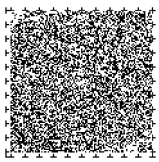
～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～

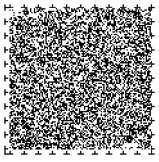
令和７年度実施

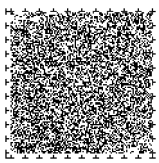
西東京市の障害者福祉に関する調査報告書

発行年月：令和８年３月
発　　行：西東京市 健康福祉部 障害福祉課
〒188-8666
東京都西東京市南町五丁目６番 13 号
（西東京市役所田無庁舎）
電　　話：042-464-1311（代表）
Ｆ Ａ Ｘ：042-466-9666









リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。